契約社員に関する実態調査

平成 28 年 3 月

東京都産業労働局

まえがき

近年、就業形態は多様化し、パートタイマー・派遣労働者・契約社員等のいわゆる非正規労働者は全労働者の4割近くを占め、いまや職場に欠くことのできない人材となっています。

しかし一方で、雇止めや解雇等をめぐる労使間トラブルは依然として多く、 また正社員との待遇の格差等、多くの問題を抱えています。

こうした中、平成24年の労働契約法改正では、雇止め法理が法定化され、 有期労働契約が反復更新して通算5年を超えた場合の無期労働契約への転換、 有期労働契約者と無期契約労働者の間での不合理な労働条件の相違の禁止が規 定されました。

東京都産業労働局では、一昨年度のパートタイマー、昨年度の派遣労働者に 続いて、本年度は契約社員に関する実態調査を実施し、その労働実態や契約社 員という働き方に対する労使双方の意識を把握することといたしました。

この調査結果を労使の皆様をはじめとした多くの方々にご利用いただき、雇 用環境の整備、改善の一助となれば幸いです。

最後に、この調査の実施に当たりまして、ご協力いただきました事業所ならびに契約社員の皆様、また、ご多忙の中、専門的見地からご助言を頂きました専修大学法学部准教授の長谷川聡先生に厚く御礼を申し上げます。

平成28年3月

東京都産業労働局労働相談情報センター

目 次

第1章	5 調査の概要	1
1 調	査の趣旨	3
2 調	査の対象	3
3 調	査の方法	4
4 調	査の期間	4
5 調	査票の回収及び集計状況	4
6 利	用上の注意	4
7 調	査結果の概要	4
第2章	5 事業所調査の集計結果	19
1 回	答事業所の概要	21
1. 1	主要事業內容別構成	21
1.2	常用労働者数規模別構成	21
1.3	契約社員導入事業所の主要事業内容別・常用労働者数規模別構成	22
1.4	過去3年間の採用者数	22
1.5	労働組合の有無別構成	24
2 就	業形態別従業者数	25
3 有	期雇用労働者の雇用開始年次	27
3. 1	契約社員	27
3. 2	有期パートタイマー	27
3.3	嘱託社員	28
3.4	派遣労働者	28
4 有	期雇用労働者を活用している理由	29
4. 1	契約社員	29
4. 2	有期パートタイマー	30
4.3	嘱託社員	31
4. 4	派遣労働者	32
5 年	代別男女別契約社員数	34
5. 1	年代別男女別契約社員数	35
6 業	務内容別の契約社員の人数・平均年収	38
6. 1	契約社員の人数	
6. 2	平均年収	39

7	労働条件の明示方法	40
8	労働契約について(労働契約期間、更新回数・通算勤続年数の上限)	41
8.	1 労働契約期間	41
	8.1.1 労働契約期間の決め方	41
	8.1.2 労働契約期間	42
8.	2 更新回数・通算勤続年数	42
	8.2.1 更新回数や通算勤続年数の上限設定	42
	8.2.2 更新回数の上限	43
	8.2.3 通算勤続年数の上限	43
8.	3 更新回数や通算勤続年数の上限の定め方	43
9	労働契約締結時の契約更新についての書面による明示	44
9.	1 更新の有無についての書面による明示	44
9.	2 更新の基準についての書面による明示	44
10	契約の更新方法	45
11	契約更新の判断要素	
12	無期転換ルールについて	47
12	2.1 無期転換ルールの認知度	
12	2.2 無期転換ルールへの対応予定	
12	2.3 無期転換する場合の雇用形態	48
13	労働条件	
13	3.1 就業規則	
13	3.2 週所定労働時間	
13	3.3 残業	
	13.3.1 残業の有無	
	13.3.2 月平均残業時間	
13	3.4 賞与	
	13.4.1 賞与の支給の有無	
	13.4.2 賞与の年間支給額	
13	3.5 退職金制度	
	3.6 雇用保険	
13	3.7 健康保険	
	3.8 厚生年金保険	
	3.9 定期健康診断	
	3.10 福利厚生制度	
13	3.11 育児休業の適用状況	
	13.11.1 過去3年間の契約社員の育児休業の取得状況	56

13. 11. 2	育児休業取得後の契約社員の就業状況	56
13.12 介記	護休業の適用状況	57
13. 12. 1	過去3年間の契約社員の介護休業の取得状況	57
14 契約社員	と正社員との労働条件の相違	58
14.1 労働	か条件の相違の有無と見直し予定	59
14. 1. 1	賃金	59
14. 1. 2	賞与	59
14. 1. 3	退職金	60
14. 1. 4	通勤手当	60
14. 1. 5	有給休暇	61
14. 1. 6	特別休暇(慶弔等)	61
14. 1. 7	食堂、更衣室、休憩室の利用	62
14. 1. 8	福利厚生(特別休暇(慶弔等)・食堂、更衣室、休憩室の利用を除く)	62
14. 1. 9	教育訓練	63
14. 1. 10	安全管理	63
14.2 労働	か条件の見直し理由	63
15 正社員へ	-の転換	64
15.1 契約	社員から正社員への転換制度の有無	64
15.2 過去	3年間での正社員への転換実績	64
15. 2. 1	過去3年間での正社員への転換実績の有無	64
15. 2. 2	過去3年間で正社員に転換した契約社員の数	65
15. 2. 3	契約社員として採用してから正社員に転換するまでの期間	65
15.3 契約	社員の正社員への転換の基準	66
16 研修(教	対育訓練)制度	67
16.1 研修	等の実施時期	67
16.2 研修	をの実施方法	67
16.3 研修	髪の実施内容	68
17 契約社員	しの雇止め	69
17.1 過去	3年間での契約社員の雇止めの有無	69
17.2 雇业	と めの際の予告の有無	69
17. 2. 1	予告(30 日前)の実施状況	69
17. 2. 2	雇止めの理由の説明	70
17.3 雇业	<u>-</u> めの理由	70
17.4 雇业	よめを行った際のトラブル発生の有無とその原因	71
18 契約期間]途中の契約解除(中途解約)	72
18.1 契約]期間途中での契約解除の有無	72

18. 2	契約期間途中での契約解除の理由	72
18.3	契約期間途中での契約解除の際の対応	73
19 契	約社員からの契約期間途中での退職の申し出	74
19. 1	契約社員からの契約期間途中での退職の申し出の有無	74
19. 2	申し出を受けた際の対応	74
20 有	期雇用労働者を活用するメリット	75
20. 1	契約社員を活用するメリット	75
20. 2	有期パートタイマーを活用するメリット	77
20.3	嘱託社員を活用するメリット	78
20.4	派遣労働者を活用するメリット	80
21 有	期雇用労働者を活用するデメリット	82
21. 1	契約社員を活用するデメリット	82
21. 2	有期パートタイマーを活用するデメリット	83
21.3	嘱託社員を活用するデメリット	85
21. 4	派遣労働者を活用するデメリット	86
22 今	後の従業員の雇用計画	88
22. 1	正社員	88
22. 2	契約社員	88
22.3	有期パートタイマー	89
22.4	無期パートタイマー	90
22.5	嘱託社員	90
22.6	派遣労働者	91
23 有	期雇用についての意見(自由意見欄)	92
23. 1	有期雇用全般に対する意見	92
23. 2	現在の雇用状況	92
23. 3	今後の採用方針	93
23. 4	法改正についての意見、行政への要望等	94
第3章	三 契約社員(個人)調査の集計結果	97
1 回	答者の概要	99
1. 1	性別構成	99
1.2	年代別構成	99
1.3	家計中心者	99
1.4	最終学歴	100
1.5	勤務先の主要事業内容	100
1.6	労働組合への加入状況	100

	1.	.7 業務内容	101
2		契約社員になる前の他の勤務形態での勤務経験の有無	102
3		契約社員になる前の勤務状況	103
	3.	.1 契約社員になる前の通算勤務年数	103
	3.	.2 契約社員になる直前の勤務形態	103
	3.	.3 直前の勤務先を辞めた理由	104
4		契約社員の仕事を選んだ理由	105
5		現在の契約について	106
	5.	.1 契約期間	106
	5.	. 2 継続勤務期間	107
	5.	.3 契約更新回数・通算勤続年数の上限	108
		5.3.1 上限設定の有無	108
		5.3.2 契約更新回数の上限	108
		5.3.3 通算勤続年数の上限	109
6		労働条件	110
	6.	.1 週の所定労働時間	110
	6.	.2 交通費の支給	111
	6.	.3 賃金形態	111
	6.	.4 10月に支払われた賃金額	112
	6.	.5 賞与・一時金	113
	6.	.6 年収見込額	114
	6.	.7 退職金制度	115
	6.	.8 定期健康診断	115
	6.	.9 福利厚生制度	115
	6.	.10 雇用保険への加入	116
	6.	.11 健康保険への加入	116
	6.	.12 公的年金への加入	116
	6.	. 13 就業規則	117
	6.	.14 現在の職場での育児休業の利用の有無	117
	6.	.15 現在の職場での介護休業の利用の有無	117
7		労働条件の通知の状況及びその実態	118
	7.	1.1 労働条件等の通知の状況	118
		7.1.1 契約期間	118
		7.1.2 就業場所及び従事する業務	119
		7.1.3 就業時間、休憩時間	119
		7.1.4 休日労働、時間外労働	119

7. 1. 5	賃金	119
7. 1. 6	退職に関する事項	119
7. 1. 7	中途解約の場合の措置	120
7.1.8	契約更新の有無	120
7.1.9	契約更新の基準	120
7. 1. 10	正社員への転換の有無	120
7. 1. 11	正社員への転換の基準	120
7. 1. 12	安全衛生	121
7. 1. 13	福利厚生制度	121
7.2 実態	きとの差異	122
7. 2. 1	契約期間	122
7. 2. 2	就業場所及び従事する業務	123
7. 2. 3	就業時間、休憩時間	123
7.2.4	休日労働、時間外労働	123
7. 2. 5	賃金	123
7. 2. 6	退職に関する事項	123
7. 2. 7	中途解約の場合の措置	123
7. 2. 8	契約更新の有無	124
7. 2. 9	契約更新の基準	124
7. 2. 10	正社員への転換の有無	124
7. 2. 11	正社員への転換の基準	124
7. 2. 12	安全衛生	124
7. 2. 13	福利厚生制度	125
8 9月の	烤業状況	126
8.1 残業	色の有無	126
	時間	
8.3 残業	6代の支払い形態	127
9 契約社	員と正社員との労働条件の相違	128
9.1 労働	刺契約法改正	
(契)	約期間の定めがあることによる不合理な労働条件の相違の禁止)の認知度	128
9.2 労働	1条件の相違の有無	128
9. 2. 1	賃金	
9. 2. 2	賞与	
9. 2. 3	退職金	
9. 2. 4	通勤手当	
9. 2. 5	有給休暇	130

9.2.6 特別休暇(慶弔等)	130
9.2.7 食堂、更衣室、休憩室の利用	131
9.2.8 福利厚生(特別休暇(慶弔等)・食堂、更衣室、休憩室の利用を除く)	131
9.2.9 教育訓練	131
9.2.10 安全管理	132
9.3 不合理と感じる最も大きな理由	132
10 正社員への転換制度	133
10.1 正社員への転換制度の有無	133
10.2 正社員への転換希望の有無	133
10.3 正社員への転換を希望しない理由	134
11 研修(教育訓練)	136
11.1 研修の実施時期	136
11.2 研修の実施方法	136
11.3 業務上のスキルを習得した場所	137
11.4 今後希望する研修内容	137
12 契約の更新	138
12.1 現在の契約の更新の有無	138
12.2 何回目の更新か	138
12.3 更新の際の労働条件の見直しの有無	139
12.4 直近の更新時の見直しの結果	139
12.4.1 賃金について	139
12.4.2 労働時間について	139
12.4.3 契約について	140
12.4.3.1 契約期間	140
12.4.3.2 契約期間の上限の設定	140
12.4.3.3 更新の基準	
12.4.4 仕事の内容について	
12.4.4.1 業務内容	141
12.4.4.2 業務量	141
12.4.4.3 責任	
13 無期転換ルールについて	142
13.1 無期転換ルールの認知度	
13.2 無期転換ルールの利用希望	142
13.3 無期転換ルールを利用する条件	143
13.4 無期転換ルールを利用したくない理由	
14 雇止めの経験	145

14. 1	他の会社での契約社員としての勤務の有無	145
14. 2	会社からの雇止めの通告の有無と理由	145
14. 3	雇止めに対して納得できたか	146
15 契約	り期間中の中途解約	147
15. 1	会社からの中途解約の通告の有無と理由	147
16 契約	り期間中の途中退職	148
16. 1	契約期間中に途中退職を会社に申し出たことの有無	148
16. 2	途中退職を申し出た理由	148
16. 3	途中退職を申し出た結果、退職できたか	149
17 契約	り社員の会社への要望	150
18 近1	>将来についての希望	151
19 契約	り社員という働き方について感じていること(自由意見欄)	152
19. 1	契約社員という働き方における肯定的な意見	152
19. 2	契約社員という働き方における否定的な意見	153
19. 3	契約社員という働き方に対する要望	160
19. 4	その他の意見	166
第4章	正社員と比較した働き方及び待遇について	171
1 正社	土員との働き方の比較	173
1. 1	仕事の内容	173
1.2	仕事の量	174
1.3	仕事の責任	175
1.4	残業時間(時間外労働)	176
1.5	賃金(時間単価)	177
2 正社	員との待遇の相違	179
2. 1	賃金	179
2.2	賞与	180
2.3	退職金	181
2.4	教育訓練	182
第5章	集計表	183
Ę	事業所調査	185
萝	双約社員調査	238
参考	今回調査に使用した調査票	281

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査の趣旨

就業形態は多様化し、パートタイマー・派遣労働者・契約社員等のいわゆる非正規労働者の割合は4割近くを占め(総務省統計局「労働力調査」)、職場に欠くことのできない存在となっている。

しかし一方で、雇止めや契約期間途中の解雇・退職など、労使間のトラブルは後を絶た ず、また、正社員との待遇の格差など問題を多く抱えている。

東京都では、非正規労働者のうち、「有期・直接雇用のフルタイム労働者」を「契約社員」 と位置付けて調査を実施している。今回調査は、前回調査からの経年比較を行いつつ、契 約社員の労働実態や契約社員という働き方に対する労使の意識を把握するとともに、平成 24年の労働契約法改正による企業の対応や雇用管理の変化を調査し、今後の労働行政の 基礎資料とするものである。

契約社員及び他の就業形態の定義は以下のとおり。

契約社員:一日の所定労働時間及び一週の所定労働日数が正社員とほぼ同じで、期間 の定めのある契約に基づき直接雇用されている者。

正社員:フルタイムで仕事に従事し、特に雇用期間を定められていない者。なお、他 企業への出向者は除く。

有期パートタイマー:一般的に正社員より一日の所定労働時間が短いか、一週の所定 労働日数が少ない者で、雇用期間の定めがある者。

無期パートタイマー:一般的に正社員より一日の所定労働時間が短いか、一週の所定 労働日数が少ない者で、雇用期間の定めがない者。

嘱託社員:定年退職者等で、一定期間再雇用する目的で契約し雇用されている者。 派遣労働者:「労働者派遣法」に基づき、派遣元事業所より派遣されている者。

2 調査の対象

以下を調査の対象とした。

- (1) 事業所:都内の常用従業者規模30人以上の3,000事業所
- (2) 契約社員:事業所調査の結果から協力を得られた事業所の契約社員 2,000 人 ※調査対象事業所については、平成 24 年経済センサスー活動調査 (39,742 事業所) より無作為抽出した。なお、常用労働者規模が 30 人未満と回答した事業所についても 集計対象とした。
- ※調査対象契約社員については、協力が得られた事業所に属する契約社員を対象とした。

3 調査の方法

事業所及び契約社員に対してそれぞれ以下を調査の手法とした。

(1) 事業所:調査票の郵送配布、郵送回収

(2) 契約社員:事業所を通じて調査票を配布し、その後、郵送にて直接回収

4 調査の期間

事業所及び契約社員本人に対してそれぞれ以下の期間で実態調査を実施した。

- (1) 事業所: 平成27年9月14日に郵送し、同年10月13日を返信投函が切とした。
- (2)契約社員: 平成27年10月16日に郵送し、同年11月13日を返信投函が切とした。

5 調査票の回収及び集計状況

調査票の回収状況は、事業所及び契約社員別に以下のとおりであった。

	発送数	回収数	有効回答数	数 回収率	有効回収率
	(A)	(B)	(C)	(B/A)	(C/A)
事業所調査	3,000	818	815	27.3%	27. 2%
契約社員調	査 1,955	547	547	28.0%	28.0%

※回収数 (B) より白紙回答票、無効回答票を除いたものを有効回答数 (C) とした。

※回収のあった事業所のうち契約社員を導入しているのは370事業所(45.4%)。

6 利用上の注意

- (1) 「N」は回答者数を表す。
- (2)集計表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているので、割合の合計が100%とならない場合がある。
- (3) 複数回答を可とした設問では、内訳の和が計の数値を超える場合がある。 また、 選択肢ごとに回答者数 (N) に対する割合を算出しているため、割合の合計が 100% を超える場合がある。
- (4) 概要及び報告書中の図表の単位は、特に記載がある場合を除きパーセント(%)である。
- (5) 概要及び報告書中に用いる「ポイント」とは、パーセントとパーセントとの差を 表す。
- (6) 母数が10未満のものは集計対象とはしたが、原則として分析の対象から外した。

7 調査結果の概要

(1)契約社員の導入状況

(1.1) 就業形態別従業者数 [事業所調査]

○調査対象事業者に就業形態別の従業者数を聞いたところ、「正社員」が57.1%を占

めて最も多く、以下、「有期パートタイマー」(25.4%)、「契約社員」(7.4%)、「派遣労働者」(3.5%)、「嘱託社員」(2.8%)、「無期パートタイマー」(2.8%) と続いている。 [P25]

○前回調査と比較すると、就業形態別の従業員数の割合は、「正社員」が前回の 66.0% から 8.9 ポイント、「派遣労働者」が前回の 4.5%から 1.0 ポイント、「契約社員」が前回の 8.3%から 0.9 ポイント、「嘱託社員」が前回の 3.0%から 0.2 ポイント 減少し、逆に、「有期パートタイマー」が前回の 14.1%から 11.3 ポイント、「無期パートタイマー」が前回の 2.3%から 0.5 ポイント増加している。 [P25]

(1.2) 契約社員の導入状況 [事業所調査]

- ○契約社員を導入している事業所の割合は 45.4% (370 社/815 社) となっている。 [P35]
- ○前回調査と比較すると、契約社員を導入している事業所の割合は前回の46.6%から1.2ポイント減少している。[P35]
- ○主業事業内容別に見ると、契約社員導入事業所割合が全業種平均(45.4%)に比べて高いのは「教育、学習支援業」(70.9%)、「金融・保険業」(60.0%)、「情報通信業」(48.7%)、「サービス業」(48.6%)である。逆に低いのは、「飲食店、宿泊業」(29.0%)、「医療、福祉」(37.0%)、「建設業」(41.2%)、「不動産業」(42.9%)、「運輸業」(43.1%)、「製造業」(43.8%)、「卸売・小売業」(44.1%)となっている。

 [P35]
- ○企業規模別に見ると、契約社員を導入している事業所の割合は、「29人以下」規模 事業所で27.1%と最も低くなっている。「100人以上」規模では5割以上の事業所 が契約社員を導入しており、「500~999人」規模事業所で71.1%と最も高くなっ ている。 [P35]

(1.3) 男女別の契約社員人数 [事業所調査]

○男女別に契約社員人数の割合について見ると、男性が 48.1%、女性が 51.9%となっている。 [P35]

(1.4) 業務内容別の契約社員の人数 [事業所調査]

○契約社員の業務内容別の人数は「専門的・技術的業務」が32.3%で最も多く、以下、「事務的業務」(19.8%)、「販売業務」(17.0%)、「生産工程・労務」(13.6%)と続いている。[P38]

(1.5) 現在の契約での業務内容 [契約社員調査]

- ○現在の契約での業務内容は、「事務的業務」が 42.8%を占めて最も多く、以下、「専門的・技術的業務」(28.0%)、「サービス業務」(10.2%) と続いている。 [P101]
- ○男女別に見ると、男性は「専門的・技術的業務」が 32.3%で最も多く、女性は「事務的業務」が 58.8%で最も多くなっている。 [P101]

(2) なぜ契約社員なのか

(2.1) 有期雇用労働者を活用している理由(3つまで回答可)[事業所調査]

- ○契約社員を活用している理由としては、「専門的・技術的な業務に対応するため」が 47.8%と最も多く、以下、「正社員としての適性をみるため」(39.6%)、「人件費節減のため」(21.9%)と続いている。 [P29]
- ○有期パートタイマーを活用している理由としては、「仕事の繁閑に対応するため」 が 40.6%と最も多く、以下、「人件費節減のため」(34.7%)、「専門的・技術的な 業務に対応するため」(27.7%)と続いている。 [P30]
- ○嘱託社員を活用している理由としては、「高齢者の再雇用のため」が 78.4%と最も 多く、「専門的・技術的な業務に対応するため」も 50.0%となっている。 [P31]
- ○派遣労働者を活用している理由としては、「一時的な業務に対応するため」が 44.8%と最も多く、以下、「専門的・技術的な業務に対応するため」(42.6%)、「仕 事の繁閑に対応するため」(36.1%)と続いている。 [P32]

(2.2) 契約社員を活用するメリット(2つまで回答可)[事業所調査]

○契約社員導入事業所の契約社員を活用するメリットは、「仕事量の変化への即応」が 40.3%と最も多く、以下、「自社で養成できない労働者の確保」(23.5%)、「賃金・福利厚生費の減少」(20.0%)、「一時的欠員の補充」(18.4%)と続いている。
[P75]

(2.3) 契約社員を活用するデメリット(2つまで回答可)[事業所調査]

○契約社員導入事業所の契約社員を活用するデメリットは、「継続的人材確保の困難」が 25.4%と最も多く、以下、「人事管理の繁雑さ」(24.3%)、「労働者の質のバラツキ」(23.0%)、「技術伝承・ノウハウ蓄積の困難さ」(17.3%) と続いている。 [P82]

(2.4) 契約社員の仕事を選んだ理由(2つまで回答可)[契約社員調査]

○契約社員の仕事を選んだ理由としては、「正社員として働ける適当な企業がなかったから」が 28.0%で最も多く、以下、「やりたい仕事だったから」(25.2%)、「専門的な技術や資格が生かせるから」(23.2%)、「自分の都合(勤務日・時間等)にあわせて働けるから」(18.5%)と続いている。 [P105]

(2.5) 契約社員の会社への要望(3つまで回答可)[契約社員調査]

○会社への要望を聞いたところ、「賃金制度の改善・アップ」が 61.6%で最も多く、 以下、「継続した雇用の確保」(46.8%)、「正社員への転換」(33.8%) と続いている。 [P150]

(3)契約社員の労務管理と労働条件

(3.1) 労働条件の明示方法(複数回答可)[事業所調査]

○労働条件の明示方法については「雇用契約書」が81.4%で最も多く、以下、「労働 条件通知書」が52.7%、「就業規則の明示または交付」が50.8%、「口頭による」

(3.2) 就業規則[事業所調査]

○適用する就業規則については「契約社員用の就業規則を適用する」が 62.7%を占め、「正社員の就業規則を準用している」が 33.5%となっている。 [P50]

(3.3) 労働契約期間 [事業所調査]

(3.3.1) 労働契約期間

○契約期間については、「1年」が66.8%を占めて最も多くなっている。 [P42]

(3.3.2) 更新回数や通算勤続年数の上限設定(複数回答可)

- ○更新回数や通算勤続年数の上限設定については、「設定していない」が 76.8%で最も多く、「通算勤続年数に上限を設定している」が 14.9%、「更新回数に上限を設定している」が 10.8%となっている。 [P42]
- ○更新回数の上限については、「4回」が 42.5%と最も多く、以下、「3回」(20.0%)、「2回」(17.5%)と続いている。

更新回数の上限について、契約社員の労働契約期間別に見ると、契約期間「1年」においては、更新回数の上限を「4回」と設定している事業所が48.5%と半数近くを占めている。 [P43]

○通算勤続年数の上限については、「5年」が63.6%を占めて最も多く、次いで「3年」が20.0%となっている。5年を超える上限を設定しているとの回答はなかった。

[P43]

(3.4) 年収

(3.4.1) 平均年収 [事業所調査]

- ○平均年収は全業種・全業務内容平均で362.9万円となっている。 [P39]
- ○業務内容別の平均年収(業務内容別に事業所が記入した平均年収の単純平均)を見ると、「管理的業務」が599.9万円で最も高く、「専門的・技術的業務」が448.0万円で続き、以下、「販売業務」(333.0万円)、「運輸・通信業務」(332.9万円)、「保安業務」(306.7万円)、「事務的業務」(303.8万円)、「生産工程・労務」(286.9万円)、「サービス業務」(285.6万円)となっている。 [P39]

(3.4.2) 年収見込額 [契約社員調査]

- ○年収見込額(税込) は平均307.1万円で、「200万円以上300万円未満」が37.5% を占めて最も多くなっている。「300万円未満」が49.4%で5割近くを占め、「500万円以上」は8.0%となっている。 [P114]
- ○前回調査と比較すると、年収見込額について、「300万円未満」が前回の54.0%から4.6ポイント減少し、逆に、「300万円以上」が前回の38.8%から4.1ポイント増加している。 [P114]
- ○業務内容別に年収見込額の平均を高い順に見ると、「管理的業務」(485.3万円)、「専門的・技術的業務」(375.8万円)、「販売業務」(300.7万円)となっており、低い順では「生産工程・労務」(195.2万円)、「サービス業務務」(261.7万円)、「事務

的業務」(278.9万円)となっている。

(3.5) 賞与 [事業所調査]

(3.5.1) 賞与の支給の有無

○賞与の支給については、「全員に支給」が 40.8%で最も多く、「一部に支給」(17.3%) をあわせると 58.1%となる。一方、「支給なし」は 40.0%を占めている。 [P52]

(3.5.2) 賞与の年間支給額

○賞与を支給している場合の年間支給額については、「20 万円以上 40 万円未満」が 19.5%で最も多く、以下、「40 万円以上 60 万円未満」(19.1%)、「60 万円以上 80 万円未満」(12.1%)となっている。また、「全員に支給」の場合の年間支給額は加 重平均(※)で 51.5 万円となっている。 [P52]

※契約社員全員に賞与を支給している事業所のみを対象とし(一部に支給している事業 所は人数が不明のため除いた)、各事業所の契約社員数を加味して算出した加重平均。

(3.6) 退職金制度 [事業所調査]

- ○退職金制度の有無については、「あり」が 13.2%、「なし」が 84.1%となっている。 「P531
- ○主要事業内容別に見ると、「あり」の割合が全業種平均(13.2%)より高いのは、「教育、学習支援業」(33.3%)、「医療、福祉」(26.5%)、「建設業」(23.8%)、「製造業」(17.1%)となっている。 [P53]

(3.7) 週所定労働時間[事業所調査]

○週所定労働時間の平均は38.6時間となっている。「40時間」が51.6%と過半数を 占めて最も多く、次いで「35時間以上40時間未満」(42.2%)となっている。

[P50]

(3.8) 残業 [事業所調査]

(3.8.1) 残業の有無

○残業の有無については、「ある」が 71.4%、「ない」が 25.4%となっている。[P51]

(3.8.2) 月平均残業時間

○残業がある場合の月平均残業時間は13.7時間となっている。残業時間は「10時間以上20時間未満」が31.8%と最も多く、以下、「20時間以上30時間未満」(18.9%)、「5時間以上10時間未満」(16.3%)、「1時間以上5時間未満」(12.9%)、「30時間以上」(9.8%)、「1時間未満」(0.4%)となっている。 [P51]

(3.9) 育児・介護休業の適用状況 [事業所調査]

(3.9.1) 育児休業の適用状況

- ○過去3年間において育児休業を取得した契約社員の有無については、「いる」が20.8%、「いない」が75.4%となっている。[P56]
- ○前回調査と比較すると、育児休業を取得した契約社員の有無について、「いる」が 前回の14.9%から5.9ポイント増加している。[P56]
- ○育児休業を取得した契約社員が「いる」とした事業所に休業後の契約社員の就業状

況を聞いたところ、休業中を除いた246名のうち、「復帰し在職中」が180名 (73.2%)、「復帰後退職」が38名(15.4%)、「復帰せず退職」が28名(11.4%) [P56] となっている。

○前回調査と比較すると、育児休業後の契約社員の就業状況は、「復帰し在職中」が 前回の83.2%から10.0ポイント減少した一方、「復帰後退職」が前回の8.1%か ら 7.3 ポイント、「復帰せず退職」が前回の 8.7%から 2.7 ポイント増加している。

[P57]

(3.9.2) 介護休業の適用状況

○過去3年間において介護休業を取得した契約社員の有無については、「いる」が 2.2%、「いない」が89.5%となっている。 [P57]

(3.10) 研修(教育訓練)制度[事業所調査]

(3.10.1) 研修等の実施時期(複数回答可)

- ○契約社員に対する研修等の実施時期については、「契約途中に実施」が53.2%で最 も多く、「採用時に実施」が50.0%、「実施していない」は16.5%となっている。 [P67]

○前回調査と比較すると、契約社員に対する研修等を「実施していない」は前回の 25.3%から8.8ポイント減少している。 [P67]

(3.10.2) 研修の実施方法(複数回答可)

- ○研修を実施している事業所における研修の実施方法は、「社内の 0,JT」が 88.5%と 最も多く、「社内の Off-JT」が 43.3%、「外部の研修に参加」が 28.2% となってい る。 [P67]
- ○前回調査と比較すると、「社内の OJT」が前回の 92.8%から 4.3 ポイント減少した 一方、「社内の Off-JT」が前回の 41.0%から 2.3 ポイント、「外部の研修に参加」 が前回の27.2%から1.0ポイント増加している。 [P67]

(3.10.3) 研修の実施内容(複数回答可)

○研修を実施している事業所の研修内容については「担当業務に関する専門的技 術・知識」が87.5%と最も多く、以下、「一般常識・マナー」(44.3%)、「パソコ ン・OA 機器操作」(32.8%)、「担当業務以外の仕事の幅を広げるための知識・技術」 (25.6%)、「マネジメントに関する知識」(8.5%)となっている。 [P68]

(3.11) 正社員への転換

(3.11.1) 契約社員から正社員への転換制度の有無[事業所調査]

- ○契約社員から正社員への転換制度の有無については、「ある」が 61.1%、「ない」 が36.8%となっている。 [P64]
- ○前回調査と比較すると、契約社員から正社員への「転換制度がある」が前回の 58.2%から2.9ポイント増加している。 [P64]

(3.11.2) 過去3年間での正社員への転換実績[事業所調査]

○過去3年間での契約社員の正社員への転換実績については、「ある」が54.6%、「な

- ○前回調査と比較すると、正社員への転換実績が「ある」は前回の 50.9%から 3.7 ポイント増加している。 [P64]
- ○転換実績があるとした事業所にその数を聞いたところ、「10 人未満」が 76.2%と 最も多く、以下、「10 人以上 30 人未満」が 13.9%、「30 人以上」が 7.0%となって いる。また、転換実績があるとした 1 事業所あたりの平均転換社員数は 9.7 人となっている。 [P65]
- ○転換実績があるとした事業所に契約社員として採用してから正社員に転換するまでの期間を聞いたところ、「1年以上3年未満」が52.0%で最も多く、「3年以上5年未満」が18.8%、「1年未満」が15.8%となっており、これらを合わせると86.6%の事業所が採用から5年未満で正社員に転換している。 [P65]

(3.11.3) 正社員への転換希望の有無 [契約社員調査]

○正社員への転換希望の有無については、「希望する」が 34.2%、「希望しない」が 38.8%、「どちらともいえない」が 22.1%となっている。 [P133]

(3.11.4) 正社員への転換を希望しない理由(複数回答可)[契約社員調査]

○正社員への転換を希望しない理由については、「体力・体調面で心配だから」が 29.2%で最も多く、以下、「人事異動や転勤があるから」(24.5%)、「仕事と私生活 の両立が困難になるから」(24.5%)、「労働時間(残業、休日出勤等)が長くなる から」(21.2%)、「責任が重くなるから」(18.4%)と続いている。 [P134]

(3.12) 契約の更新 [契約社員調査]

(3.12.1) 現在の契約の更新の有無

○現在の契約が更新されたものであるかどうかについては、「更新されている」が 75.3%、「更新されていない」が 23.4%となっている。 [P138]

(3.12.2) 更新回数

- ○現在の契約が更新されたものであるとした回答者に更新の回数を聞いたところ、「1回」が24.0%で最も多く、「3回以下」の更新の割合が55.8%と過半数を占めている。 [P138]
- ○前回調査と比較すると、契約更新回数について、「3回以下」が前回の45.3%から10.5ポイント増加し、逆に、「4回以上」が前回の51.0%から8.5ポイント減少している。また、更新回数の平均は5.3回となっており、前回調査(5.7回)より更新回数の平均値が減少している。 [P138]

(3.13) 契約社員の雇止め

(3.13.1) 過去3年間での契約社員の雇止めの有無 [事業所調査]

- ○過去3年間における契約社員の雇止めの有無については、「ある」が19.5%、「ない」が76.2%となっている。[P69]
- ○前回調査と比較すると、雇止めの有無について、「ある」が前回の 28.4%から 8.9 ポイント減少している。 [P69]

(3.13.2) 雇止めの理由(複数回答可)[事業所調査]

- ○雇止めを行ったことがある事業所にその理由を聞いたところ、「労働者の能力不 足」が55.6%と最も多く、以下、「労働者の勤務態度不良」(47.2%)、「業務量の 減少」(25.0%)、「労働者の傷病などの健康不良」(25.0%)と続いている。[P70]
- ○前回調査と比較すると、雇止めの理由について、「業務量の減少」が前回の 35.7% から 10.7 ポイント、「経営状況の悪化」が前回の 18.8%から 9.1 ポイント減少している。一方、「労働者の勤務態度不良」が前回の 40.2%から 7.0 ポイント、「労働者の能力不足」が前回の 50.0%から 5.6 ポイント増加している。 [P70]

(3.13.3) 会社からの雇止めの通告の有無 [契約社員調査]

○過去に他の会社で契約社員として働いたことがあるとした回答者に雇止めを通告されたことがあるかを聞いたところ、「ある」が 27.0%、「ない」が 72.3%となっている。 「P145]

(3.14) 契約期間途中の契約解除(中途解約)

(3.14.1) 契約期間途中の契約解除の有無「事業所調査」

○過去3年間に契約期間途中での雇用契約の解除を行ったことの有無については、「ある」が9.2%、「ない」が86.8%となっている。 [P72]

(3.14.2) 契約期間途中での契約解除の理由(複数回答可)[事業所調査]

- ○契約期間途中での契約解除の理由を聞いたところ、「労働者の勤務態度不良」が 50.0%と最も多く、以下、「労働者の傷病などの健康不良」(38.2%)、「労働者の能力不足」(32.4%)と続いている。 [P72]
- ○前回調査と比較すると、契約期間途中での契約解除の理由について、「業務量の減少」が前回の29.7%から20.9ポイント、「経営状況の悪化」が前回の21.6%から18.7ポイント、「プロジェクトの終了」が前回の21.6%から9.8ポイント減少している。逆に「周囲との人間関係」が前回の10.8%から12.7ポイント、「労働者の勤務態度不良」が前回の37.8%から12.2ポイント、「労働者の傷病などの健康不良」が前回の32.4%から5.8ポイント増加している。 [P72]

(3.14.3) 会社からの中途解約の通告の有無 [契約社員調査]

○過去に他の会社で契約社員として働いたことがあるとした回答者に会社から中途解約を通告されたことがあるかについて聞いたところ、「ある」が9.5%、「ない」が89.8%となっている。 [P147]

(3.15) 契約社員からの契約期間途中での退職の申し出

(3.15.1) 契約社員からの契約期間途中での退職の申し出の有無[事業所調査]

- ○過去3年間に契約社員から契約期間途中での退職の申し出を受けたことの有無については、「ある」が62.4%、「ない」が34.3%となっている。 [P74]
- ○前回調査と比較すると、契約社員から契約期間途中で退職の申し出を受けたことが「ある」が前回の52.2%から10.2ポイント増加している。 [P74]

(3.15.2) 契約期間中に途中退職を会社に申し出たことの有無 [契約社員調査]

- ○過去に他の会社で契約社員として働いたことがあるとした回答者に契約期間中に途中退職を会社に申し出たことがあるかについて聞いたところ、「ある」が 58.4%、「ない」が 40.9%となっている。 [P148]
- ○前回調査と比較すると、契約期間中に途中退職を申し出たことの有無について、「ある」が前回の51.4%から7.0ポイント増加している。 [P148]

(4) 改正労働契約法への対応

(4.1) 無期転換ルール

(4.1.1) 無期転換ルールの認知度 [事業所調査] [契約社員調査]

○無期転換ルールについては、事業所調査では、「知っていた」が90.8%、「知らなかった」が8.1%となっている。一方、契約社員調査では、「知っていた」が35.5%、「知らなかった」が63.1%となっており、事業所と従業員の認知度には大きな差がある。 [P47/142]

(4.1.2) 無期転換ルールへの対応予定(複数回答可)[事業所調査]

○無期転換ルールの対応予定については、「現在検討中」が 42.2%となっている。具体的な対応内容としては、「今後も有期労働契約で雇用し、通算 5 年を超える契約社員から申し込みがあれば無期契約に転換する」(40.0%)、「更新回数や勤続年数に上限を設置し、通算勤続年数が 5 年以内となるようにする」(9.7%)、「今後も有期労働契約で雇用し、通算 5 年を超える前に無期契約に転換する」(8.1%)と続いている。 [P47]

(4.1.3) 無期転換する場合の雇用形態(複数回答可)[事業所調査]

○無期転換する場合の雇用形態については、「有期労働契約時と同一の労働条件で、 契約期間のみ無期契約とする」が 51.4%で最も多く、以下、「既存の正社員区分に 転換する」(30.7%)、「現在検討中」(25.1%)と続いている。 [P48]

(4.1.4) 無期転換ルールの利用希望 [契約社員調査]

- ○無期転換ルールの利用希望については、「条件によっては利用したい」が 41.7%を 占めて最も多く、「利用したい」(19.0%) と合わせると 6割を超えている。一方、 「利用したくない」は 12.8%であった。また「わからない」が 24.1%となってい る。 「P1421
- ○無期転換ルールを「条件によっては利用したい」とした回答者に、利用する条件を聞いたところ、「賃金、賞与等の待遇がよくなること」が 71.9%で最も多く、以下、「正社員への転換であること」(45.2%)、「職務内容が現在と変わらないこと」(44.7%)、「転勤がないこと」(23.7%)と続いている。 [P143]
- ○無期転換ルールを「利用したくない」とした回答者にその理由を聞いたところ、「現在の勤務先に長期間勤めるつもりがないから」が 61.4%で最も多く、以下、「契約社員の方が契約更新時に労働条件の交渉をしやすいから」(11.4%)、「契約社員の方が職場の人間関係がわずらわしくないから」(10.0%)、「契約社員の方が専門性

(4.2) 契約期間の定めがあることによる不合理な労働条件の相違の禁止

(4.2.1) 法改正の認知度 [契約社員調査]

○労働契約法改正(契約期間の定めがあることによる不合理な労働条件の相違の禁止)については、「知っていた」が23.8%、「知らなかった」が69.8%となっている。 [P128]

(4.2.2) 契約社員と正社員との労働条件の相違 [事業所調査] [契約社員調査]

○契約社員と正社員との労働条件の相違の有無を聞いたところ、「相違はない」の割合は他の労働条件と比べて、「退職金」(事業所調査:17.8%、契約社員調査:13.3%)、「賞与」(事業所調査:18.1%、契約社員調査:5.9%)、「賃金」(事業所調査:34.3%、契約社員調査:22.3%)において低くなっている。

逆に、「相違はない」の割合が高い労働条件として、「食堂、更衣室、休憩室の利用」(事業所調査:95.9%、契約社員調査:77.9%)、「安全管理」(事業所調査:95.4%、契約社員調査:69.7%)、「通勤手当」(事業所調査:87.8%、契約社員調査:73.5%)がある。

[P58/129]

○契約社員調査において、「賞与」及び「退職金」では、「相違があり不合理である」 の割合が最も多く、それぞれ33.1%、32.2%となっている。 [P129]

(4.2.3) 不合理と感じる最も大きな理由 [契約社員調査]

○労働条件に不合理な相違があるとした回答者に不合理と感じる最も大きな理由を聞いたところ、「業務内容が同じだから」が 40.5%を占めて最も多く、以下、「業務に伴う責任の程度が同じだから」(25.0%)、「職務の内容等の違いに比べて、労働条件の相違が大きすぎるから」(15.1%)、「勤務時間、勤務日数が同じだから」(11.5%)となっている。 [P132]

(5) 正社員と比較した働き方及び待遇について

(5.1) 正社員との働き方の比較 [事業所調査] [契約社員調査]

(5.1.1) 仕事の内容

- ○事業所調査において、正社員との仕事の内容の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」が47.6%と半数近くを占め、「正社員より簡易」が25.7%、「どちらともいえない」が24.3%、「正社員より困難」が0.5%となっている。 [P173]
- ○契約社員調査において、正社員との仕事の内容の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」は 49.7%、「正社員より困難」は 6.4%となり、「正社員と同じ」と「正社員より困難」をあわせた「同等以上」は 56.1%となっている。逆に、「正社員より簡易」は 16.3%となっている。 [P174]
- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との仕事の内容の比較について、いずれも「正社員と同じ」が半数近くを占めるが、「正社員より簡易」は事業所調査が25.7%で、契約社員調査より9.4ポイント高く、逆に、「正社員と同

じ」と「正社員より困難」をあわせた「同等以上」は契約社員調査が 56.1%で、 事業所調査より 8.0 ポイント高くなっている。 [P174]

(5.1.2) 仕事の量

○事業所調査において、正社員との仕事の量の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」が52.2%と過半数を占め、「正社員より少ない」が24.6%、「どちらともいえない」が21.4%となっている。「正社員より多い」との回答はなかった。

[P174]

- ○契約社員調査において、正社員との仕事の量の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」は 47.2%、「正社員より多い」は 15.0%となり、「正社員と同じ」と「正社員より多い」をあわせた「同等以上」は 62.2%となっている。逆に、「正社員より少ない」は 17.2%となっている。 [P175]
- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との仕事の量の比較について、いずれも「正社員と同じ」が5割前後を占めるが、「正社員より少ない」は事業所調査が24.6%で、契約社員調査より7.4ポイント高く、逆に「正社員と同じ」と「正社員より多い」をあわせた「同等以上」は契約社員調査が62.2%で、事業所調査より10.0ポイント高くなっている。 [P175]

(5.1.3) 仕事の責任

○事業所調査において、正社員との仕事の責任の比較について聞いたところ、「正社員より軽い」が48.9%と半数近くを占め、「正社員と同じ」が30.8%、「どちらともいえない」が18.1%となっている。「正社員より重い」との回答はなかった。

[P175]

- ○契約社員調査において、正社員との仕事の責任の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」は 49.4%、「正社員より重い」は 12.2%となり、「正社員と同じ」と「正社員より重い」をあわせた「同等以上」は 61.6%となっている。逆に、「正社員より軽い」は 22.7%となっている。 [P176]
- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との仕事の責任の比較について、事業所調査では「正社員より軽い」が48.9%と最も多いが、契約社員調査では「正社員と同じ」(49.4%)が半数近くを占めて最も多くなっている。「正社員より軽い」は事業所調査が契約社員調査より26.2ポイント高く、逆に、「正社員と同じ」と「正社員より重い」をあわせた「同等以上」は契約社員調査が61.6%で、事業所調査より30.8ポイント高くなっている。 [P176]

(5.1.4) 残業時間(時間外労働)

- ○事業所調査において、正社員との残業時間の比較について聞いたところ、「正社員より少ない」が46.8%と半数近くを占め、「正社員と同じ」が37.3%、「どちらともいえない」が13.2%、「正社員より多い」が0.5%となっている。 [P176]
- ○契約社員調査において、正社員との残業時間について聞いたところ、「正社員と同じ」は37.8%、「正社員より多い」は7.9%となり、「正社員と同じ」と「正社員よ

り多い」を合わせた「同等以上」は 45.7% となっている。逆に「正社員より少ない」は 37.5% となっている。 [P177]

○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との残業時間の比較について、事業所調査では「正社員より少ない」が46.8%と最も多いが、契約社員調査では「正社員と同じ」が37.8%で最も多くなっている。「正社員より少ない」は事業所調査が契約社員調査より9.3ポイント高く、逆に、「正社員と同じ」と「正社員より多い」をあわせた「同等以上」は契約社員調査が45.7%で、事業所調査より7.9ポイント高くなっている。 [P177]

(5.1.5) 賃金 (時間単価)

- ○事業所調査において、正社員との賃金の比較について聞いたところ、「正社員より低い」が45.4%と半数近くを占め、「正社員と同じ」が24.3%、「どちらともいえない」が23.2%、「正社員より高い」が5.1%となっている。 [P177]
- ○契約社員調査において、正社員との賃金の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」は11.0%、「正社員より高い」は2.4%となり、「正社員と同じ」と「正社員より高い」をあわせた「同等以上」は13.4%となっている。逆に、「正社員より低い」は54.1%となっている。 [P178]
- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との賃金の比較について、「正社員より低い」は契約社員調査が54.1%で、事業所調査より8.7ポイント高くなっている。逆に、「正社員と同じ」と「正社員より高い」をあわせた「同等以上」は事業所調査が29.4%で、契約社員調査より16.0ポイント高くなっている。

[P178]

(5.2) 正社員との待遇の相違 [事業所調査] [契約社員調査]

(5.2.1) 賃金

- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、契約社員と正社員との賃金の相違について、「相違はない」は契約社員調査が22.3%で、事業所調査(34.3%)より12.0ポイント低くなっている。 [P179]
- ○正社員と「仕事の内容が同じ」、「仕事の量が同じ」、「仕事の責任が同じ」場合に限定すると、事業所調査においては、いずれの場合も賃金の「相違はない」と回答した事業所が5割前後を占め、事業所調査全体(34.3%)よりも高くなっている。特に、「仕事の責任が同じ」場合は「相違はない」が55.3%となり、事業所調査全体より21.0ポイント高くなっている。

契約社員調査においては、いずれの場合も「相違はない」は2割強で契約社員調査全体と大きな差はなかったが、「相違があり不合理である」の割合はいずれの場合も契約社員調査全体(25.0%)より高く、「仕事の内容が同じ」場合には3割を超えている。 [P179]

(5.2.2) 賞与

○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、契約社員と正社員との賞与の相

違について、「相違はない」は契約社員調査が15.9%で、事業所調査(18.1%)より2.2ポイント低くなっている。 [P180]

○正社員と「仕事の内容が同じ」、「仕事の量が同じ」、「仕事の責任が同じ」場合に限定すると、事業所調査においては、いずれの場合も賞与の「相違はない」と回答した事業所が2割を超えており、「仕事の責任が同じ」場合は28.9%と、事業所調査全体(18.1%)より10.8ポイント高くなっている。

契約社員調査においては、いずれの場合も「相違はない」は2割弱で契約社員調査全体(15.9%)と大きな差はなかったが、「相違があり不合理である」の割合はいずれの場合も契約社員調査全体(33.1%)より高く、「仕事の内容が同じ」場合は40.8%、「仕事の責任が同じ」場合は39.6%と4割前後を占めている。[P180]

(5.2.3) 退職金

- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、契約社員と正社員との退職金の相違について、「相違はない」は契約社員調査が13.3%で、事業所調査(17.8%)より4.5ポイント低くなっている。 [P181]
- ○正社員と「仕事の内容が同じ」、「仕事の量が同じ」、「仕事の責任が同じ」場合に限定すると、事業所調査においては、いずれの場合も退職金の「相違はない」と回答した事業所が2割を超えている。

契約社員調査においては、「相違はない」の割合は、「仕事の内容が同じ」場合 (12.9%) と「仕事の責任が同じ」場合 (13.0%) は契約社員調査全体(13.3%) よりも低くなっているが、「相違があるが不合理ではない」と合わせると、おおむ ね契約社員調査全体と同様の割合を占めている。また、「相違があり不合理である」 の割合は、いずれの場合も契約社員調査全体 (32.2%) より高く、「仕事の内容が同じ」場合 (38.6%) は 6.4 ポイント高くなっている。 [P181]

(5.2.4) 教育訓練

- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、契約社員と正社員との教育訓練の相違について、「相違はない」は契約社員調査が50.6%で、事業所調査(79.2%)より28.6ポイント低くなっている。 [P182]
- ○正社員と「仕事の内容が同じ」、「仕事の量が同じ」、「仕事の責任が同じ」場合に限定すると、事業所調査においては、いずれの場合も教育訓練の「相違はない」と回答した事業所が8割を超え、事業所調査全体(79.2%)より高くなっている。 契約社員調査においては、「相違はない」の割合はいずれの場合も6割前後となり、契約社員調査全体(50.6%)より高くなっている。 [P182]

(6) 有期雇用についての事業所の自由回答 [事業所調査]

○事業所からは約30件の自由回答が寄せられたが、うち3割弱は正社員を基本的な 雇用形態としているとの姿勢を示しており、2割弱は有期雇用という働き方を選択 する労働者もいるとの意見であった。また、労働契約法や労働者派遣法などの法改

- ○有期雇用についての意見(抜粋)
- 契約社員は正社員としての適性を見極めるために雇用しているので、これまでほとんど正社員化されている。
- ・正社員になりたくない人や正社員になれない理由がある人への雇用対応として、 パートタイマー等の雇用形態は必要だと思う。
- ・有期雇用者に無期雇用への転換を勧めても、他部署に異動したくない、責任を持ちたくない等の理由で辞退するケースが多々あり、必ずしも労働者が無期雇用を求めているわけではないのが現状。
- ・労働契約法の改正により、早期の雇用契約打ち切りを招いて雇用が不安定になっては本末転倒ではなかろうか。
- ・夫の扶養の範囲内で働きたいという意向が強い労働者もいる。税制を変えて長く 働けば収入も増えるようにしないと、有期雇用者の数ばかり増えて、人事管理の 手間やコストが負担となるし、教育訓練やノウハウの蓄積においても課題が出る。

(7) 契約社員という働き方についての自由回答 [契約社員調査]

- ○契約社員回答者からは約250件の自由回答が寄せられたが、そのうち7割弱は何らかの不満あるいは契約社員という働き方や制度に対する否定的な意見であった。 具体的には、不安定な雇用による将来への不安感、正社員と同じ仕事内容、労働時間、責任の中での待遇の格差、正社員への転換機会の少なさなどが多く挙げられた。 また、法改正(無期転換ルール)への意見も寄せられた。
- 〇一方、契約社員という働き方を肯定的に捉えた意見は1割強を占めた。具体的には、仕事と家庭の両立、自由な時間の確保、専門的知識・技術の活用、限定的な責任などが挙げられている。
- ○残りの2割強は、契約社員という働き方に対して肯定・否定が入り混じる、あるいはどちらとも受け取れる意見であった。 [P152~]
- ○契約社員という働き方に対する意見(抜粋)

【否定的な意見】

- ・正社員と同じように働いているにもかかわらず、賞与や退職金がない事は不満である。
- ・仕事内容や責任は正社員と同等であるにも関わらず、適正な研修がないことに不 満を感じる。
- ・いつ契約を切られるか不安がついてまわる。賞与も退職金制度もなく、安心して 長く働き続ける事ができない。
- ・常に契約が切れる事を頭に入れ、転職活動を行いつつ勤務をしなければいけない。
- ・正社員と同等の仕事をしているのに賃金が低すぎ、不安定な雇用のため、将来の 設計が立てづらい。

・正社員と労働時間や責任が同じであれば、契約社員という働き方が必要なのか疑問に感じる。

【肯定的な意見】

- ・人事異動や配置変更がなく希望の業務につけるので、自分には契約社員の働き方 が合っている。
- ・契約社員として専門的技術、経験を評価してもらっており、全く問題ない働き方と考えている。
- ・正社員と比べて自由がきき、責任が軽いので働きやすい。
- ・残業なしで帰らせてもらえているから仕事と子育てを両立できている。正社員と して働くのは、子供が手をはなれ、残業もこなして、しっかり働ける状態になった 時を希望しているので、今はこのまま契約社員として働きたい。

【その他】

- ・被雇用者に一方的に不利なものでなければ、契約形態の多様性は尊重されるべきである。
- ・契約社員は正社員のように急な異動や転勤がないので働きやすい。ただ、更新時期になると不安な日々が続く。
- ・雇用形態に関係なく業務のスキルアップを考え前進していきたい。

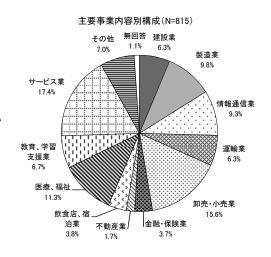
第2章 事業所調査の集計結果

第2章 事業所調査の集計結果

1 回答事業所の概要

1.1 主要事業内容別構成

○全事業所における主要事業内容別構成については、「サービス業」が17.4%で最も多く、以下、「卸売・小売業」(15.6%)、「医療・福祉」(11.3%)、「製造業」(9.8%)と続いている。

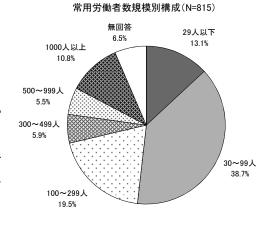


1.2 常用労働者数規模別構成

○全事業所における常用労働者数規模別構成については、全常用労働者数が「30~99人」 規模の事業所が38.7%で最も多く、以下、「100~299人」(19.5%)、「29人以下」 (13.1%)、「1000人以上」(10.8%)と続いている。

また、「100 人未満」規模事業所が51.8%で 過半数を占め、「500 人以上」は16.3%となっている。

○主要事業内容別に見ると、「運輸業」、「金

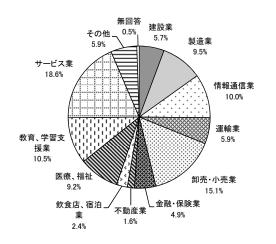


融・保険業」、「教育、学習支援業」を除く全ての業種で「30~99 人」規模事業所が最も多くなっている。次に事業所数が多いのは、約半数の業種において「100~299 人」規模事業所で2割前後を占めている。「飲食店、宿泊業」においては「29 人以下」規模事業所が2割強、また、「金融・保険業」においては「1000 人以上」規模事業所が3割強を占めている。

1.3 契約社員導入事業所の主要事業内容別・常用労働者数規模別構成

○契約社員導入事業所における主要事業内容別構成については、「サービス業」が18.6%で最も多く、以下、「卸売・小売業」(15.1%)、「教育、学習支援業」(10.5%)、「情報通信業」(10.0%)が続いている。

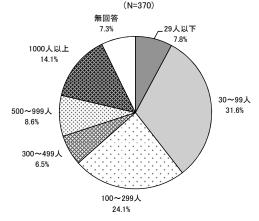
主要事業内容別構成<契約社員導入事業所>(N=370)



○契約社員導入事業所における常用労働者数規模別構成については、全常用労働者数が「30~99 人」規模の事業所が31.6%で最も多く、以下、「100~299 人」(24.1%)、「1000 人以上」(14.1%)、「500~999 人」(8.6%)と続いている。

全事業所と比べると、契約社員導入事業 所は企業規模が大きい事業所の割合が高 くなっている。

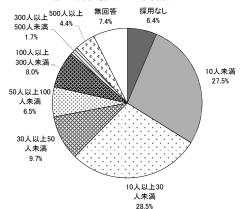
常用労働者数規模別構成<契約社員導入事業所>



1.4 過去3年間の採用者数

○全事業所において、過去3年間で採用した 正社員数は、「10人以上30人未満」が28.5% で最も多く、「10人未満」(27.5%)とあわ せると過半数を占めている。

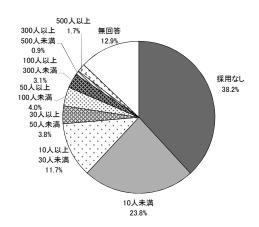
過去3年間で採用した正社員数(N=815)



○全事業所において、過去3年間で採用した 契約社員数は、「10人未満」が23.8%、「採 用なし」が38.2%となっている。

契約社員導入事業所についてのみ見ると、「10 人未満」である事業所が39.2%で最も多く、「10 人以上30 人未満」(20.8%)とあわせると6割を占めている。

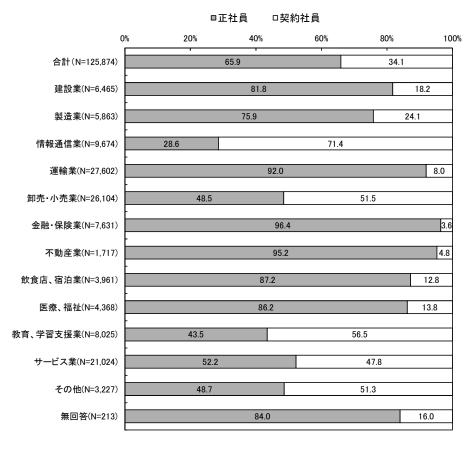
過去3年間で採用した契約社員数(N=815)



○全事業所における過去3年間の正社員と契約社員の採用者数の合計を100としてその比率を見ると、正社員が65.9%、契約社員が34.1%となっている。

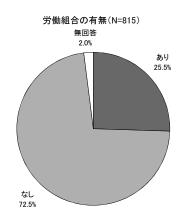
主要事業内容別に見ると、正社員の採用割合は、「金融・保険業」(96.4%)、「不動産業」(95.2%)、「運輸業」(92.0%)で特に高くなっている。一方、契約社員の採用割合は、「情報通信業」(71.4%)、「教育、学習支援業」(56.5%)、「卸売・小売業」(51.5%)、「サービス業」(47.8%)で高くなっている。

過去3年間の採用者数(正社員・契約社員比率)



1.5 労働組合の有無別構成

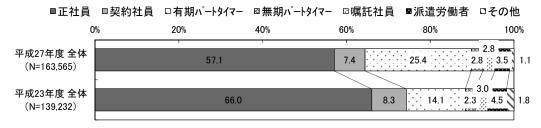
- ○労働組合の有無については、「あり」が 25.5%となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、労働組合が「あり」とした事業所の割合は、「運輸業」(56.9%)、「教育、学習支援業」(43.6%)、「金融・保険業」(43.3%)で高くなっており、逆に、「サービス業」(12.0%)、「医療、福祉」(13.0%)では低くなっている。
- ○企業規模別に見ると、労働組合が「あり」 とした事業所の割合は、「29人以下」規模 事業所では12.1%であるが、規模が大きく



なるにつれて上昇し、「1000人以上」規模事業所では64.8%となっている。

2 就業形態別従業者数

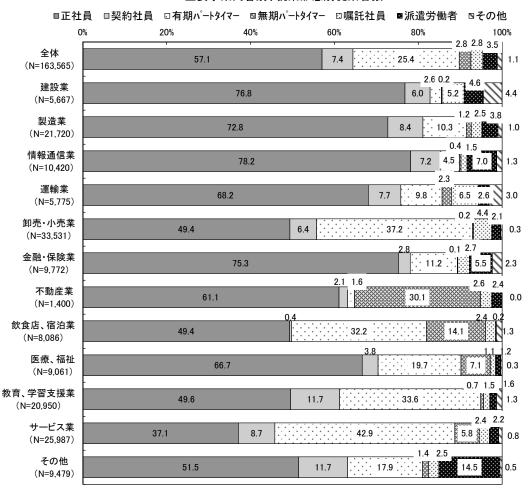
就業形態別従業者数

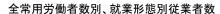


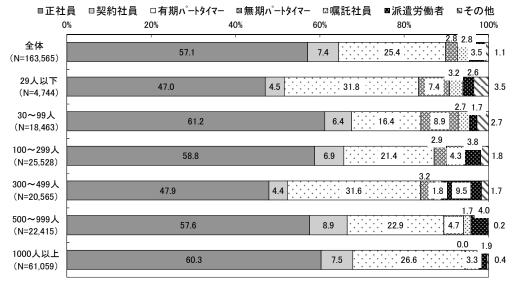
- ○就業形態別の従業者数の割合は、「正社員」が 57.1%を占めて最も多く、以下、「有期パートタイマー」(25.4%)、「契約社員」(7.4%)、「派遣労働者」(3.5%)、「嘱託社員」(2.8%)、「無期パートタイマー」(2.8%) と続いている。
- ○前回調査と比較すると、就業形態別の従業員数の割合は、「正社員」が前回の 66.0% から 8.9 ポイント、「派遣労働者」が前回の 4.5%から 1.0 ポイント、「契約社員」が前回の 8.3%から 0.9 ポイント、「嘱託社員」が前回の 3.0%から 0.2 ポイント減少し、逆に、「有期パートタイマー」が前回の 14.1%から 11.3 ポイント、「無期パートタイマー」が前回の 2.3%から 0.5 ポイント増加している。
- ○各就業形態別にその割合が高い業種は以下となっている。
 - ・「契約社員」の割合が全業種平均(7.4%)と比べて高い業種は「教育、学習支援業」(11.7%)、「サービス業」(8.7%)、「製造業」(8.4%)などである。
 - 「正社員」の割合が全業種平均(57.1%)と比べて高い業種は「情報通信業」(78.2%)、「建設業」(76.8%)、「金融・保険業」(75.3%)、「製造業」(72.8%)などである。
 - ・「有期パートタイマー」の割合が全業種平均(25.4%)と比べて高い業種は「サービス業」(42.9%)、「卸売・小売業」(37.2%)、「教育、学習支援業」(33.6%)、「飲食店、宿泊業」(32.2%)などである。
 - ・「無期パートタイマー」の割合が全業種平均 (2.8%) と比べて高い業種は「不動産業」 (30.1%)、「飲食店、宿泊業」 (14.1%)、「医療、福祉」 (7.1%) などである
 - ・「嘱託社員」の割合が全業種平均(2.8%)と比べて高い業種は「運輸業」(6.5%)、「建設業」(5.2%)である。
 - ・「派遣労働者」の割合が全業種平均(3.5%)と比べて高い業種は「情報通信業」(7.0%)、「金融・保険業」(5.5%)などである。
- ○契約社員導入事業所と契約社員未導入事業所を就業形態別に比較すると、全従業者数に占める「正社員」の割合が導入事業所では54.8%であるのに対し、未導入事業所では63.3%となり、導入事業所の方が8.5ポイント低くなっている。
- ○企業規模別に契約社員の割合を見ると、最も高いのは「500~999 人」規模事業所で 8.9%、次に「1000 人以上」規模事業所(7.5%)となっており、最も低いのは「300

~499 人」規模事業所(4.4%)、次に「29 人以下」規模事業所(4.5%)となっている。

主要事業内容別、就業形態別従業者数

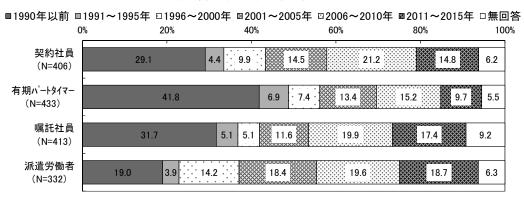






3 有期雇用労働者の雇用開始年次

有期雇用労働者の雇用開始年次



3.1 契約社員

- ○契約社員の雇用開始年次は、「1990年以前」の事業所の割合が29.1%で最も多く、 以下「2006~2010年」(21.2%)、「2011~2015年」(14.8%)、「2001~2005年」(14.5%)、 「1996~2000年」(9.9%)、「1991~1995年」(4.4%)と続いている。
- ○主要事業内容別に見ると、「2011~2015 年」から契約社員を活用している事業所の割合が全業種平均(14.8%)と比べて高い業種は、「運輸業」(30.4%)、「情報通信業」(29.3%)、「金融・保険業」(28.6%)などである。
 - 一方「1990年以前」から契約社員を活用している事業所の割合が全業種平均(29.1%) と比べて高い業種は「教育、学習支援業」(50.0%)、「建設業」(38.1%) などであ る。
- ○企業規模別に見ると、契約社員を「2001 年以降」に活用するようになった事業所の 割合は全企業規模平均では50.5%であるが、「29 人以下」規模事業所(61.7%)、「30 ~99 人」規模事業所(60.6%)では6割を超えている。また、「1990 年以前」から契 約社員を活用している事業所の割合は、「1000 人以上」規模事業所(40.7%)、「300 ~499 人」規模事業所(38.5%)、「100~299 人」規模事業所(33.7%)で全企業規模 平均(29.1%)と比べて高くなっている。

3.2 有期パートタイマー

- ○有期パートタイマーの雇用開始年次は、「1990年以前」の事業所の割合が 41.8%を 占めている。
- ○主要事業内容別に見ると、「2006 年以降」に有期パートタイマーを活用するようになった事業所の割合が全業種平均(24.9%)と比べて高い業種は「情報通信業」(45.0%)、「運輸業」(40.9%)などであり、「1990 年以前」の事業所の割合が高い業種は「教育、学習支援業」(64.6%)、「建設業」(50.0%)などである。
- ○企業規模別に見ると、有期パートタイマーを「1990年以前」に活用するようになっ

た事業所の割合が全業種平均(41.8%)と比べて高いのは「1000人以上」規模事業所(56.3%)、「100~299人」規模事業所(47.5%)、「500~999人」規模事業所(46.9%)など比較的規模が大きい事業所となっている。

3.3 嘱託社員

- ○嘱託社員の雇用開始年次は、「1990年以前」の事業所の割合が31.7%で最も多く、次に「2006~2010年」が19.9%を占めている。
- ○主要事業内容別に見ると、「1990年以前」に嘱託社員を活用するようになった事業所の割合が全業種平均の割合が全業種平均(31.7%)と比べて高い業種は、「サービス業」(36.2%)、「金融・保健業」(36.0%)などである。また、「2011~2015年」に嘱託社員を活用するようになった事業所が全業種平均(17.4%)と比べて高い業種は、「情報通信業」(46.9%)、「飲食店、宿泊業」(30.0%)などである。
- ○企業規模別に見ると、「1000 人以上」規模事業所においては「1990 年以前」に嘱託 社員を活用するようになった事業所が 50.0%を占めている。一方、「29 人以下」事業 所においては、「2006 年以降」に活用するようになった事業所が 57.6%と過半数を占 めている。

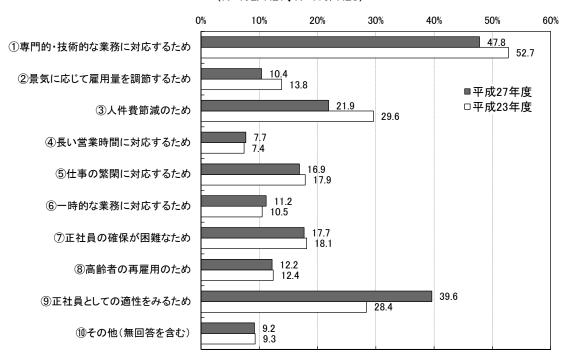
3.4 派遣労働者

- ○派遣労働者の雇用開始年次は、「2006~2010年」の事業所の割合が19.6%で最も多く、「1990年以前」(19.0%)、「2011~2015年」(18.7%)と続いている。
- ○主要事業内容別に見ると、「2006 年以降」に派遣労働者を活用するようになった事業 所の割合が全業種平均(38.3%)と比べて高い業種は、「医療、福祉」(64.3%)、「情報通信業」(48.1%)などである。
- ○企業規模別に見ると、「2006 年以降」に派遣労働者を活用するようになった事業所の 割合は、「30~99 人」規模事業所(48.9%)、「29 人以下」規模事業所(43.3%)で全 企業規模平均(38.3%)と比べて高くなっている。

4 有期雇用労働者を活用している理由(3つまで回答可)

4.1 契約社員

契約社員を活用している理由 (N=402/H27、N=419/H23)



- ○契約社員を活用している理由としては、「専門的・技術的な業務に対応するため」が 47.8%と最も多く、以下、「正社員としての適性をみるため」(39.6%)、「人件費節 減のため」(21.9%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員を活用している理由は、いずれも「専門的・技術的な業務に対応するため」(前回調査(52.7%)、今回調査(47.8%)が最も多くなっている。また、「正社員としての適性を見るため」が前回の28.4%から11.2ポイント増加した一方、「人件費節減のため」が前回の29.6%から7.7ポイント減少し、前回と順位が入れ替わっている。
- ○主要事業内容別に見ると、「運輸業」、「飲食店、宿泊業」、「不動産業」を除いた全ての業種で「専門的・技術的な業務に対応するため」が4割以上となっている。また、「正社員としての適性を見るため」もほとんどの業種で3割以上となっている。
- ○上位3つの活用理由を選択した事業所数割合が全業種平均に比べて高い業種は以下 のとおりである。
 - ①専門的・技術的な業務に対応するため(全業種平均 47.8%) 「情報通信業」(62.5%) 「教育、学習支援業」(61.0%)

「製造業」(52.5%)

②正社員としての適性を見るため(同39.6%)

「金融・保険業」(61.9%) 「教育、学習支援業」(46.3%)

「医療、福祉」(43.6%) 「運輸業」(40.9%)

「卸売・小売業」(39.7%)

③人件費節減のため (同 21.9%)

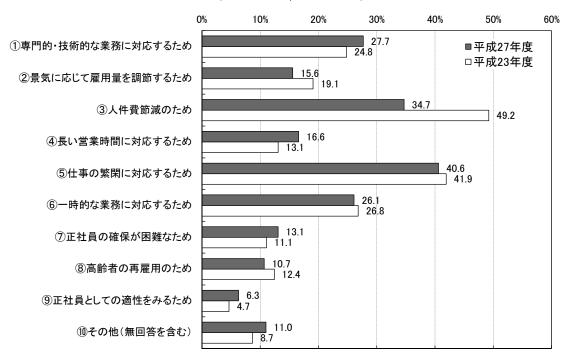
「医療、福祉」(30.8%) 「製造業」(27.5%)

「教育、学習支援業」(24.4%) 「金融・保険業」(23.8%)

「サービス業」(22.5%)

4.2 有期パートタイマー

有期パートタイマーを活用している理由 (N=429/H27、N=451/H23)



- ○有期パートタイマーを活用している理由としては、「仕事の繁閑に対応するため」が 40.6%と最も多く、以下、「人件費節減のため」(34.7%)、「専門的・技術的な業務 に対応するため」(27.7%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、有期パートタイマーを活用している理由について、前回調査で最も多かった「人件費節減のため」が前回の49.2%から14.5ポイント減少している。一方、「長い営業時間に対応するため」が前回の13.1%から3.5ポイント、「専門的・技術的な業務に対応するため」が前回の24.8%から2.9ポイント増加してい

る。

- ○上位3つの活用理由を選択した事業所数割合が全業種平均に比べて高い業種は以下 のとおりである。
 - ①仕事の繁閑に対応するため(全業種平均40.6%)

「運輸業」(54.5%)

「製造業」(52.4%)

「卸売・小売業」(51.4%)

「飲食店、宿泊業」(50.0%)

「金融・保険業」(43.8%)

「サービス業」(42.3%)

②人件費節減のため (同34.7%)

「教育、学習支援業」(48.9%)

「飲食店、宿泊業」(38.9%)

「卸売・小売業」(38.6%)

「金融・保険業」(37.5%)

「サービス業」(37.2%)

③専門的・技術的な業務に対応するため(同27.7%)

「教育、学習支援業」(48.9%)

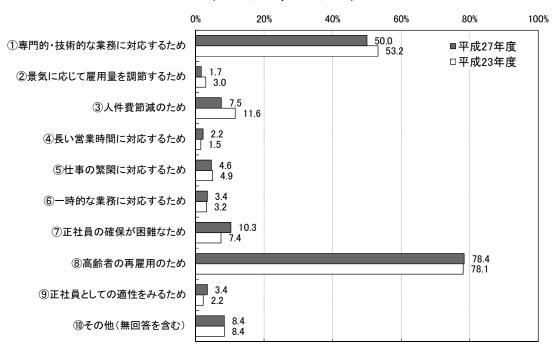
「情報通信業」(42.9%)

「医療、福祉」(42.0%)

「金融・保険業」(37.5%)

4.3 嘱託社員

嘱託社員を活用している理由 (N=416/H27、N=406/H23)



○嘱託社員を活用している理由としては、「高齢者の再雇用のため」が 78.4%と最も多く、「専門的・技術的な業務に対応するため」も 50.0%となっている。

- ○前回調査と比較すると、嘱託社員を活用している理由について、いずれも「高齢者の再雇用のため」が最も多くなっているが、「人件費節減のため」が前回の11.6%から4.1ポイント、「専門的・技術的な業務に対応するため」が前回の53.2%から3.2ポイント減少し、「正社員の確保が困難なため」が前回の7.4%から2.9ポイント増加している。
- ○上位2つの活用理由を選択した事業所数割合が全業種平均に比べて高い業種は以下 のとおりである。
 - ①高齢者の再雇用のため (全業種平均 78.4%)

「建設業」(85.7%) 「製造業」(85.5%)

「情報通信業」(84.4%) 「運輸業」(83.9%)

「金融・保険業」(80.0%) 「卸売・小売業」(79.4%)

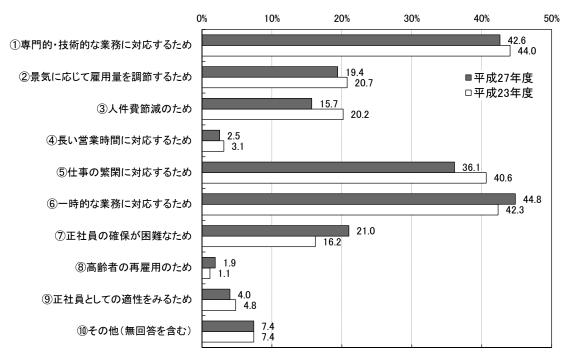
②専門的・技術的な業務に対応するため(同50.0%)

「金融・保健業」(68.0%) 「建設業」(57.1%)

「製造業」(54.5%) 「医療、福祉」(52.9%)

4.4 派遣労働者

派遣労働者を活用している理由 (N=324/H27、N=352/H23)



○派遣労働者を活用している理由としては、「一時的な業務に対応するため」が 44.8% と最も多く、以下、「専門的・技術的な業務に対応するため」(42.6%)、「仕事の繁閑に対応するため」(36.1%)と続いている。

- ○前回調査と比較すると、派遣労働者を活用している理由について、前回調査で最も 多かった「専門的・技術的な業務に対応するため」が前回の 44.0%から 1.4 ポイン ト減少した一方、「一時的な業務に対応するため」が前回の42.3%から2.5ポイント 増加して今回調査では最も多くなっている。また、「正社員の確保が困難なため」が 前回の16.2%から4.8ポイント増加し、逆に、「仕事の繁閑に対応するため」が前回 の 40.6%から 4.5 ポイント、「人件費節約のため」が前回の 20.2%から 4.5 ポイン ト減少している。
- ○上位3つの活用理由を選択した事業所数割合が全業種平均に比べて高い業種は以下 のとおりである。

①一時的な業務に対応するため(全業種平均44.8%)

「製造業」(58.5%)

「教育、学習支援業」(53.1%)

「建設業」(50.0%)

「卸売・小売業」(49.2%)

②専門的・技術的な業務に対応するため(同42.6%)

「教育・学習支援業」(62.5%) 「情報通信業」(51.9%)

「サービス業」(50.0%)

「建設業」(43.8%)

③仕事の繁閑に対応するため(同36.1%)

「運輸業」(62.5%)

「情報通信業」(55.6%)

「製造業」(46.3%)

「卸売・小売業」(40.7%)

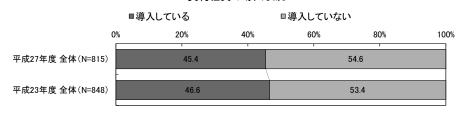
「建設業」(37.5%)

★5 項から 19 項は「契約社員」を雇用している事業所(有効回答事業所数 370)の回答集計結果である。

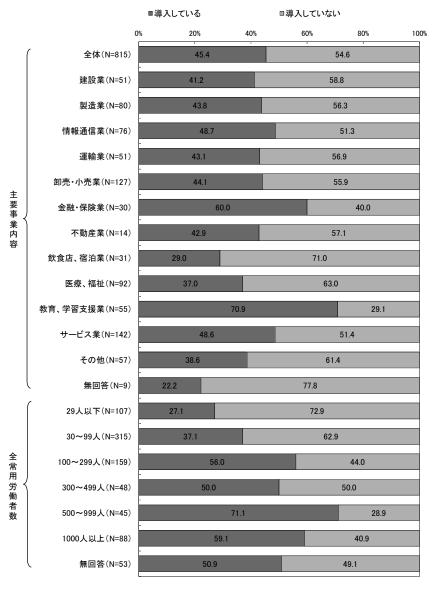
5 年代別男女別契約社員数

★契約社員の導入状況は以下のとおりである。

契約社員の導入状況



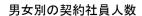
契約社員の導入状況

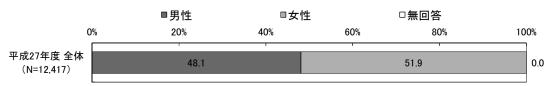


【契約社員の導入状況】

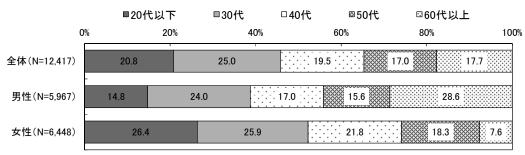
- ○契約社員を導入している事業所の割合は 45.4% (370 社/815 社) となっている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員を導入している事業所の割合は前回の 46.6%から 1.2 ポイント減少している。
- ○主業事業内容別に見ると、契約社員導入事業所割合が全業種平均(45.4%)に比べて高いのは「教育、学習支援業」(70.9%)、「金融・保険業」(60.0%)、「情報通信業」(48.7%)、「サービス業」(48.6%)である。逆に低いのは、「飲食店、宿泊業」(29.0%)、「医療、福祉」(37.0%)、「建設業」(41.2%)、「不動産業」(42.9%)、「運輸業」(43.1%)、「製造業」(43.8%)、「卸売・小売業」(44.1%)となっている。
- ○企業規模別に見ると、契約社員を導入している事業所の割合は、「29人以下」規模事業所で27.1%と最も低くなっている。「100人以上」規模では5割以上の事業所が契約社員を導入しており、「500~999人」規模事業所で71.1%と最も高くなっている。

5.1 年代別男女別契約社員数





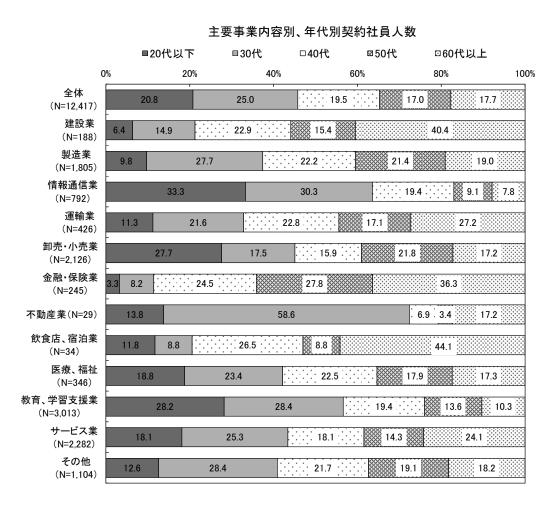
男女別、年代別契約社員人数



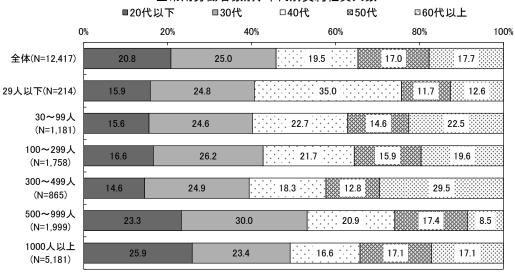
- ○男女別に契約社員人数の割合について見ると、男性が 48.1%、女性が 51.9%となっている。
- ○契約社員数の年代別構成比は「30 代」が25.0%を占めて最も多く、以下、「20 代以下」(20.8%)、「40 代」(19.5%)、「60 代以上」(17.7%)、「50 代」(17.0%)と続いている。
- ○男女別に見ると、男性においては「60代以上」が28.6%で女性より21.0ポイント 高く、女性においては「20代以下」が26.4%で男性より11.6ポイント高くなって

いる。

- ○主要事業内容別に見ると、「30代以下」の割合は「不動産業」(72.4%)、「情報通信業」(63.6%)、「教育、学習支援業」(56.6%)で全業種平均(45.8%)と比べて高く、逆に「金融・保険業」(11.5%)、「飲食店、宿泊業」(20.6%)、「建設業」(21.3%)で低くなっている。また、「60代以上」の割合は「飲食店、宿泊業」(44.1%)、「建設業」(40.4%)、「金融・保険業」(36.3%)などで全業種平均(17.7%)と比べて高くなっている。
- ○企業規模別に見ると、「30代以下」の割合が全企業規模平均(45.8%)と比べて高いのは、「500~999人」規模事業所(53.3%)、「1000人以上」規模事業所(49.3%)となっている。

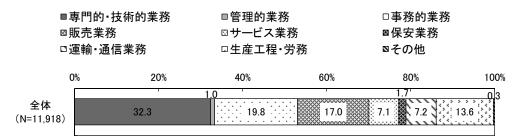


全常用労働者数別、年代別契約社員人数



6 業務内容別の契約社員の人数・平均年収

業務内容別の契約社員の構成比



6.1 契約社員の人数

- ○契約社員の業務内容別の人数は「専門的・技術的業務」が32.3%で最も多く、以下、「事務的業務」(19.8%)、「販売業務」(17.0%)、「生産工程・労務」(13.6%)と続いている。
- ○契約社員の割合が高い4業務について、全業種平均と比べて契約社員数割合が高い 業種は以下のとおりである。
 - ①専門的・技術的業務(全業種平均 32.3%) 「教育、学習支援業」(73.6%) 「医療、福祉」(45.5%)

「情報通信業」(37.1%)

②事務的業務(同19.8%)

「不動産業」(89.7%) 「金融・保険業」(72.6%)

「飲食店、宿泊業」(41.2%) 「サービス業」(25.9%)

「教育、学習支援業」(23.7%) 「医療、福祉」(21.9%)

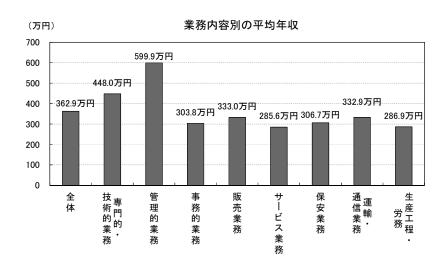
③販売業務 (同 17.0%)

「卸売・小売業」(78.0%) 「金融・保険業」(19.4%)

④生産工程・労務(同13.6%)

「製造業」(68.9%) 「建設業」(52.5%)

6.2 平均年収



- ○平均年収は全業種・全業務内容平均で362.9万円となっている。
- ○業務内容別の平均年収(業務内容別に事業所が記入した平均年収の単純平均)を見ると、「管理的業務」が599.9万円で最も高く、「専門的・技術的業務」が448.0万円で続き、以下、「販売業務」(333.0万円)、「運輸・通信業務」(332.9万円)、「保安業務」(306.7万円)、「事務的業務」(303.8万円)、「生産工程・労務」(286.9万円)、「サービス業務」(285.6万円)となっている。
- ○主要事業内容別に平均年収を見ると、高い順に「教育、学習支援業」(418.6万円)、「建設業」(403.0万円)、「情報通信業」(400.2万円)、「製造業」(375.8万円)となっている。

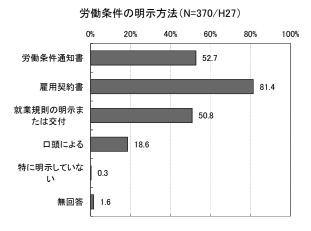
業務内容別の平均年収

平均年収単位:万円

		全体	専門的•技 術的業務	管理的業務	事務的業務	販売業務	サービス業 務	保安業務	運輸·通信 業務		収単位:万円 その他
合計		362.9	448.0	599.9	303.8	333.0	285.6	306.7	332.9	286.9	276.5
	建設業	403.0	440.7	700.0	298.9	-	380.0	-	-	500.0	-
主要事業内容	製造業	375.8	460.6	826.8	278.0	313.0	285.0	_	469.0	287.7	-
	情報通信業	400.2	458.4	-	295.4	453.3	-	-	280.0	314.0	-
	運輸業	341.4	583.0	786.0	312.0	_	276.7	-	281.4	267.7	-
	卸売・小売業	341.8	416.3	376.4	323.4	313.8	330.0	-	376.0	349.3	183.0
	金融•保険業	352.7	470.5	_	301.4	383.0	240.0		550.0	270.0	-
	不動産業	332.5	300.0	480.0	312.0	-	320.0	-	-	-	-
	飲食店、宿泊業	318.9	292.0	330.0	310.6	_	341.2	-	_	-	-
	医療、福祉	305.6	390.8	322.7	285.8	-	242.6	400.0	-	186.7	-
	教育、学習支援業	418.6	475.2	930.0	332.6	300.0	281.0	198.0		279.3	370.0
	サービス業	353.8	491.9	480.0	307.1	275.8	301.2	300.3	342.0	270.0	-
	その他	383.6	448.4	713.7	283.7	762.0	227.0	360.0	374.5	286.0	-
	無回答	265.6	309.0	-	211.5	-	287.0	-	-	-	-
全常用労働者数	29人以下	355.5	451.9	290.0	295.1	315.0	331.8	_	260.0	350.0	-
	30~99人	367.6	424.4	655.0	311.5	374.6	256.8	-	373.3	286.8	-
	100~299人	353.5	431.9	462.0	298.7	396.7	279.6	274.0	272.0	287.5	-
	300~499人	343.3	498.4	543.0	288.4	255.0	288.3	279.0	338.0	226.0	183.0
	500~999人	438.7	600.6	670.3	347.3	283.2	300.5	390.0	_	249.0	370.0
	1000人以上	357.9	412.6	773.4	284.6	304.8	351.7	240.0	275.0	312.8	-
	無回答	309.5	362.3	375.0	279.8	256.0	286.3	375.0	377.8	282.0	-

7 労働条件の明示方法(複数回答可)

- ○労働条件の明示方法について は「雇用契約書」が81.4%で最 も多く、以下、「労働条件通知 書」が52.7%、「就業規則の明 示または交付」が50.8%、「口 頭による」が18.6%となってい る。
- ○主要事業内容別に見ると、労働 条件の明示方法について、「雇 用契約書」によるとした事業所



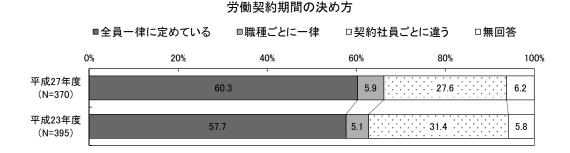
は、全ての業種において7割以上となり、「労働条件通知書」によるとした事業所は ほとんどの業種において5割以上となっている。また、多くの業種において、5割 以上の事業所が「就業規則の明示または交付」を行っているが、「サービス業」では 34.8%と低くなっている。

○企業規模別に見ると、全ての企業規模において「雇用契約書」により労働条件を明示している事業所の割合は7割以上となっている。また、「300人以上」規模の事業所では、「就業規則の明示または交付」も6割弱と高くなっている。

8 労働契約について (労働契約期間、更新回数・通算勤続年数の上限)

8.1 労働契約期間

8.1.1 労働契約期間の決め方



- ○労働契約期間の決め方としては、「全員一律に定めている」が 60.3%で最も多く、「契約社員ごとに違う」が 27.6%、「職種ごとに一律」が 5.9%となっている。
- ○前回調査と比較すると、「全員一律に定めている」が前回の 57.7%から 2.6 ポイント増加している。
- ○主要事業内容別に見ると、「建設業」を除いた全ての業種で「全員一律に定めている」 の割合が最も多くなっている。「建設業」では「契約社員ごとに違う」が 52.4%を占 めて最も多くなっている。

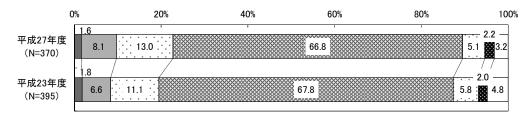
労働契約期間の決め方別にその割合が高い業種は以下のとおりである。

- ・「全員一律に定めている」が全業種平均(60.3%)と比べて多い業種としては「卸売・小売業」(78.6%)、「医療、福祉」(73.5%)などがある。
- ・「契約社員ごとに違う」が全業種平均(27.6%)と比べて多い業種としては「建設業」(52.4%)、「情報通信業」(43.2%)などがある。
- ・「職種ごとに一律」が全業種平均(5.9%)と比べて多い業種としては「運輸業」(13.6%)、「教育、学習支援業」(12.8%)などがある。

8.1.2 労働契約期間

労働契約期間

■3ヶ月未満 ■3~6ヶ月未満 □6~12ヶ月未満 図1年 □1年超~3年以下 ■3年を超える □無回答



- ○契約期間については、「1年」が66.8%を占めて最も多くなっている。
- ○前回調査と比較すると、契約期間について、「1年」が前回の67.8%から1.0ポイント、「1年超~3年以下」が前回の5.8%から0.7ポイント減少している。一方、「1年未満」が前回の19.5%から3.2ポイント増加している。
- ○主要事業内容別に見ると、労働契約期間別にその割合が高い業種は以下のとおりで ある。
 - ・「1 年未満」が全業種平均(22.7%)と比べて多い業種としては「情報通信業」(35.1%)、「運輸業」(31.8%)、「金融・保険業」(27.8%)、「サービス業」(27.5%) などがある。
 - ・「1 年超~3 年以下」が全業種平均(5.1%)と比べて多い業種としては「運輸業」(13.6%)、「教育、学習支援業」(12.8%)などがある。

8.2 更新回数·通算勤続年数

8.2.1 更新回数や通算勤続年数の上限設定(複数回答可)

- ○更新回数や通算勤続年数の上限 設定については、「設定していない」が76.8%で最も多く、「通 算勤続年数に上限を設定している」が14.9%、「更新回数に上 限を設定している」が10.8%となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、全て

更新回数や通算勤続年数の上限設定(N=370/H27)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
更新回数に上限を
設定している
通算勤続年数に上
限を設定している
設定していない
無回答 4.1

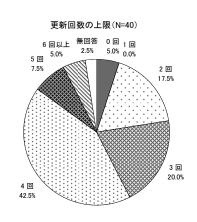
の業種において「設定していない」が最も多くなっている。

「教育、学習支援業」は、「更新回数に上限を設定している」が35.9%、「通算勤続年数に上限を設定している」が43.6%となっており、上限を設定している割合が他業種と比べて高くなっている。

- ○企業規模別に見ると、全ての企業規模において「設定していない」が最も多くなっているが、「29人以下」規模事業所では9割を超えている一方、「500人以上」規模事業所では7割弱と低くなっている。
- ○契約社員の労働契約期間別に見ると、契約期間が「1年未満」では上限を「設定していない」が8割を超えているが、契約期間が長くなるにつれてその割合は減少している。

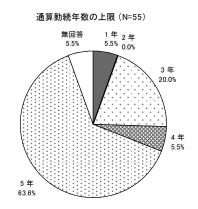
8.2.2 更新回数の上限

- ○更新回数の上限については、「4回」が 42.5% と 最も多く、以下、「3回」(20.0%)、「2回」(17.5%) と続いている。
- ○更新回数の上限について、契約社員の労働契約 期間別に見ると、契約期間「1年」においては、 更新回数の上限を「4回」と設定している事業所 が48.5%と半数近くを占めている。



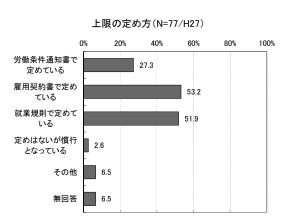
8.2.3 通算勤続年数の上限

○通算勤続年数の上限については、「5年」が63.6% を占めて最も多く、次いで「3年」が20.0%となっている。5年を超える上限を設定しているとの 回答はなかった。



8.3 更新回数や通算勤続年数の上限の定め方(複数回答可)

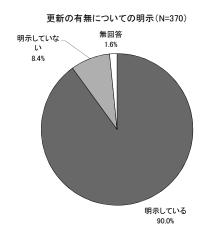
○上限の定め方については、「雇用契約書で定めている」が53.2%と最も多く、以下「就業規則で定めている」(51.9%)、「労働条件通知書で定めている」(27.3%)となっている。



9 労働契約締結時の契約更新についての書面による明示

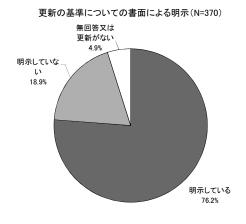
9.1 更新の有無についての書面による明示

○労働契約を締結する際に、更新の有無について書面による明示を行っているかを聞いたところ、「明示している」が90.0%を占め、「明示していない」が8.4%となっている。



9.2 更新の基準についての書面による明示

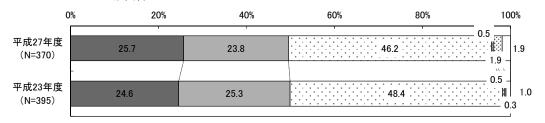
- ○労働契約を締結する際に、契約更新の基準 について書面による明示を行っているかを 聞いたところ、「明示している」が 76.2%を 占め、「明示していない」が 18.9%となって いる。
- ○主要事業内容別に見ると、更新の基準について書面で「明示している」の割合は、「運輸業」(90.9%)、「サービス業」(87.0%)で高くなっている。
- ○企業規模別に見ると、「1000人以上」規模事業所では「明示している」が92.3%と高くなっている。



10 契約の更新方法

契約の更新方法

- ■労使のどちらかから終了の申し出がない限り、ほぼ自動的に更新する
- □一定の更新の基準に基づき判断する □個々の労働者ごとに更新するかどうか判断する
- ∞更新はしない
- □その他
- □無回答



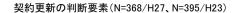
- ○契約の更新方法については、「個々の労働者ごとに更新するかどうか判断する」が 46.2%で最も多く、以下、「労使のどちらかから終了の申し出がない限り、ほぼ自動 的に更新する」(25.7%)、「一定の更新の基準に基づき判断する」(23.8%) と続い ている。
- ○前回調査と比較すると、契約の更新方法について、「個々の労働者ごとに更新するか どうか判断する」が前回の48.4%から2.2ポイント、「一定の更新の基準に基づき判 断する」が前回の25.3%から1.5ポイント減少している。一方、「労使のどちらかか ら終了の申し出がない限り、ほぼ自動的に更新する」が前回の24.6%から1.1ポイ ント増加している。
- ○主要事業内容別に見ると、「個々の労働者ごとに更新するかどうか判断する」の割合 が全業種平均(46.2%)と比べて高い業種としては、「教育、学習支援業」(61.5%)、 「金融・保険業」(61.1%)、「運輸業」(54.5%) などがある。

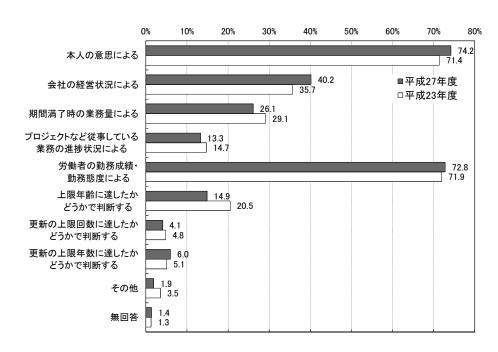
「労使のどちらかから終了の申し出がない限り、ほぼ自動的に更新する」の割合が 全業種平均(25.7%)と比べて高い業種としては、「医療、福祉」(41.2%)、「サー ビス業」(34.8%) などがある。

「一定の更新の基準に基づき判断する」の割合が全業種平均(23.8%)と比べて高 い業種としては、「医療、福祉」(32.4%)、「運輸業」(31.8%) などがある。

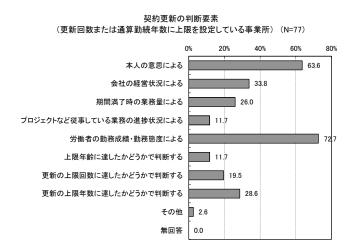
○企業規模別に見ると、「労使のどちらかから終了の申し出がない限り、ほぼ自動的に 更新する」の割合は、「100 人未満」規模事業所では3割を大きく超えているのに対 し、「500人以上」規模事業所では1割前後となっており、企業規模が小さい事業所 において割合が高くなっている。一方、「一定の更新の基準に基づき判断する」の割 合は、「300人未満」規模事業所では1割台にとどまっているのに対し、「500人以上」 規模事業所では3割~4割を占めており、企業規模が大きい事業所において割合が 高くなっている。

11 契約更新の判断要素(3つまで回答可)





- ○契約更新の判断要素としては、「本人の意思による」が 74.2%と最も多く、次に「労働者の勤務成績・勤務態度による」が 72.8%で続いている。
- ○前回調査と比較すると、契約更新の判断要素について、「会社の経営状態による」が前回の35.7%から4.5ポイント、「本人の意思による」が前回の71.4%から2.8ポイント増加している。一方、「上限年齢に達したかどうかで判断する」が前回の20.5%から5.6ポイント、「期間満了時の業務量による」が前回の29.1%から3.0ポイント、「プロジェクトなど従事している業務の進捗状況による」が前回の14.7%から1.4ポイント減少している。
- ○契約の更新回数または通算勤 続年数(もしくはその双方) に上限を設定していると回答 があった事業所に限定すると、 「労働者の勤務成績・勤務態 度による」が72.7%で最も多 く、次いで「本人の意思によ る」(63.6%)となっている。 「更新の上限年数に達したか どうかで判断する」は28.6%、



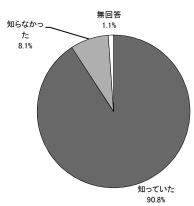
「更新の上限回数に達したかどうかで判断する」は19.5%となった。

12 無期転換ルールについて

12.1 無期転換ルールの認知度

- ○無期転換ルールについては、「知っていた」が 90.8%、「知らなかった」が 8.1%となっている。契約社員調査の結果では、「知っていた」が 35.5%、「知らなかった」が 63.1%となっており、事業所と従業員の認知度には大きな差がある (142ページ参照)。
- ○主要事業内容別に見ると、「建設業」では「知らなかった」が23.8%となり、他の業種と比べて割合が高くなっている。
- ○企業規模別に見ると、「知らなかった」の割 合は「100 人未満」規模事業所では1割を超えているが、「100 人以上」規模事業所

では1割を下回り、「1000人以上」規模事業所では1.9%と低くなっている。



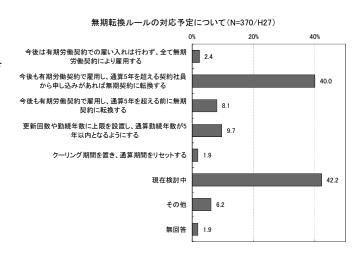
無期転換ルールの認知度(N=370)

12.2 無期転換ルールへの対応予定(複数回答可)

○無期転換ルールの対応予定 については、「現在検討中」 が 42.2%となっている。具 体的な対応内容としては、

「今後も有期労働契約で雇用し、通算5年を超える契約社員から申し込みがあれば無期契約に転換する」

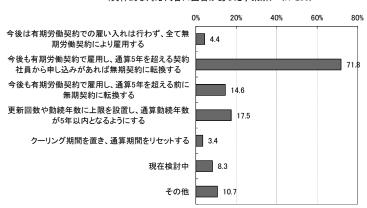
(40.0%)、「更新回数や勤 続年数に上限を設置し、通 算勤続年数が5年以内とな



るようにする」(9.7%)、「今後も有期労働契約で雇用し、通算5年を超える前に無期契約に転換する」(8.1%) と続いている。

○主要事業内容別に見ると、「教育、学習支援業」では「更新回数や勤続年数に上限を 設置し、通算勤続年数が5年以内となるようにする」が28.2%、「クーリング期間を 置き、通算期間をリセットする」が10.3%となっており、全業種平均(それぞれ9.7%、 1.9%)と比べて高くなっている。 ○具体的な対応内容に回答があった事業所(「現在検討中」のみ及びにでいる。 「その他」のみ及びにでいる。 「その他」のみ及びにでいる。 「その他」のみ及びにでいる。 「その他」のみ及びにでいる。 「見ると、71.8%の事業所が「通算5年を超える前に転換する」と回答し、「通算5年を超える前

無期転換ルールの対応予定について (具体的な対応内容に回答があった事業所)(N=206)

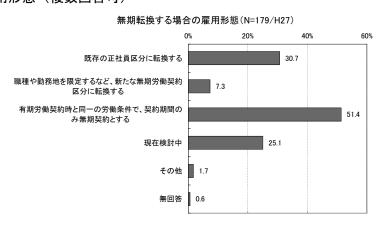


に無期契約に転換する」が14.6%、「全て無期労働契約により雇用する」が4.4%となり、多くの企業において法の趣旨に沿った対応を予定している。

一方、「更新回数や勤続年数に上限を設置し、通算勤続年数が5年以内となるようにする」が17.5%、「クーリング期間を置き、通算期間をリセットする」が3.4%となり、無期転換ルールの適用対象となる契約社員を抑制する対応を予定している事業所も見られる。

12.3 無期転換する場合の雇用形態(複数回答可)

○無期転換する場合の雇用 形態については、「有期労働契約時と同一の労働条件で、契約期間のみ無期契約とする」が51.4%で最も多く、以下、「既存の正社員区分に転換する」(30.7%)、「現在検討中」(25.1%)と続いている。



○主要事業内容別に見ると、ほとんどの業種において「有期労働契約時と同一の労働 条件で、契約期間のみ無期契約とする」が最も多くなっている。

「有期労働契約時と同一の労働条件で、契約期間のみ無期契約とする」の割合が全業種平均(51.4%)と比べて高い業種は、「医療、福祉」(75.0%)、「製造業」(59.1%)などである。

○企業規模別に見ると、「現在検討中」は「29 人以下」規模事業所では 40.0%であるのに対し、「1000 人以上」規模事業所では 8.3%と少なくなっている。

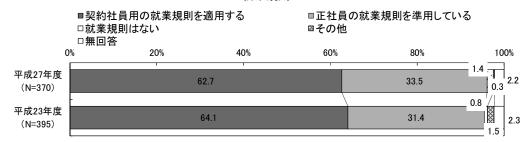
「既存の正社員区分に転換する」は「100人未満」規模事業所では4割~5割となっ

ているのに対し、「1000人以上」規模事業所では2割弱となっており、規模が小さい事業所において割合が高くなっている。また、「職種や勤務地を限定するなど、新たな無期労働契約区分に転換する」は「300人未満」規模事業所では1割未満であるのに対し、「1000人以上」規模事業所では2割を超えており、規模が大きい事業所において割合が高くなっている。

13 労働条件

13.1 就業規則



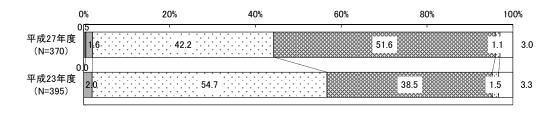


- ○適用する就業規則については「契約社員用の就業規則を適用する」が 62.7%を占め、 「正社員の就業規則を準用している」が 33.5%となっている。
- ○前回調査と比較すると、「契約社員用の就業規則を適用」が前回の 64.1%から 1.4 ポイント減少し、「正社員の就業規則を準用」は前回の 31.4%から 2.1 ポイント増加した。
- ○主要事業内容別に見ると、ほとんどの業種において「契約社員用の就業規則を適用する」が最も多くなっている。「契約社員用の就業規則を適用する」は、「医療、福祉」 (73.5%)、「運輸業」(68.2%)で高く、「正社員の就業規則を準用している」は「情報通信業」(43.2%)、「製造業」(42.9%)で高くなっている。

13.2 週所定労働時間

週所定労働時間

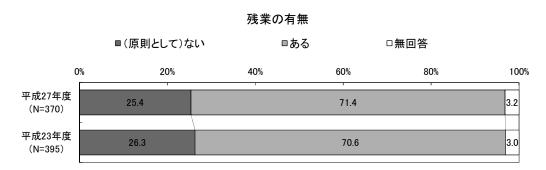
■30時間未満 ■30時間以上35時間未満 □35時間以上40時間未満 ◎40時間 □40時間超 □無回答



- ○週所定労働時間の平均は38.6時間となっている。「40時間」が51.6%と過半数を 占めて最も多く、次いで「35時間以上40時間未満」(42.2%)となっている。
- ○前回調査と比較すると、「40 時間」が前回の38.5%から13.1 ポイント増加し、「35 時間以上40 時間未満」が前回の54.7%から12.5 ポイント減少している。
- ○主要事業内容別に見ると、週所定労働時間の平均はほとんどの業種で38時間以上40時間未満であるが、「金融・保険業」は37.7時間であった。

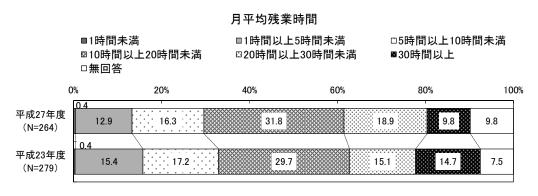
13.3 残業

13.3.1 残業の有無



- ○残業の有無については、「ある」が71.4%、「ない」が25.4%となっている。
- ○前回調査と比較すると、残業は「ある」が前回の 70.6%から 0.8 ポイント増加し、 逆に「ない」は前回の 26.3%から 0.9 ポイント減少している。
- ○主要事業内容別に見ると、ほとんどの業種において残業は「ある」と回答した事業 所が6割以上を占めており、特に「運輸業」(86.4%)、「情報通信業」(81.1%)で高 くなっている。一方、「教育、学習支援業」(51.3%)、「医療、福祉」(55.9%)では 「ある」の割合が低くなっている。

13.3.2 月平均残業時間



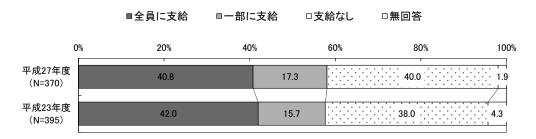
- ○残業がある場合の月平均残業時間は13.7時間となっている。残業時間は「10時間以上20時間未満」が31.8%と最も多く、以下、「20時間以上30時間未満」(18.9%)、「5時間以上10時間未満」(16.3%)、「1時間以上5時間未満」(12.9%)、「30時間以上」(9.8%)、「1時間未満」(0.4%)となっている。
- ○前回調査と比較すると、月平均残業時間は「20 時間以上 30 時間未満」が前回 15.1% から 3.8 ポイント、「10 時間以上 20 時間未満」が前回の 29.7%から 2.1 ポイント増加している。一方、「30 時間以上」が前回の 14.7%から 4.9 ポイント、「10 時間未満」が前回の 33.0%から 3.4 ポイント減少している。

○主要事業内容別に月平均残業時間を見ると、「建設業」(24.5 時間)、「情報通信業」 (16.5 時間)、「運輸業」(16.5 時間)、「サービス業」(15.0 時間)では全業種平均(13.7 時間)と比べて長くなっており、逆に「金融・保険業」(8.5 時間)、「医療、福祉」(9.3 時間)では短くなっている。

13.4 賞与

13.4.1 賞与の支給の有無

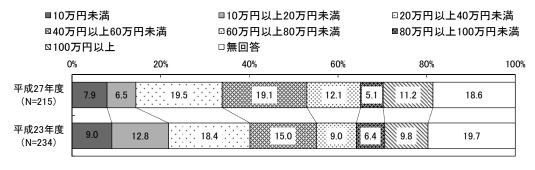
賞与の支給の有無



- ○賞与の支給については、「全員に支給」が 40.8%で最も多く、「一部に支給」(17.3%) をあわせると 58.1%となる。一方、「支給なし」は 40.0%を占めている。
- ○主要事業内容別に見ると、「全員に支給」の割合が全業種平均(40.8%)と比べて高い業種としては、「製造業」(57.1%)、「教育、学習支援業」(53.8%)などがある。
- ○企業規模別に見ると、「支給なし」の割合は企業規模が小さくなるにつれて増える傾向にあり、「29人以下」規模事業所では62.1%となっている。
- 〇労働組合の有無別に見ると、「全員に支給」と「一部に支給」をあわせた割合は、労働組合「あり」(68.2%)が労働組合「なし」(51.3%)よりも 16.9 ポイント高くなっている。

13.4.2 賞与の年間支給額

賞与の年間支給額



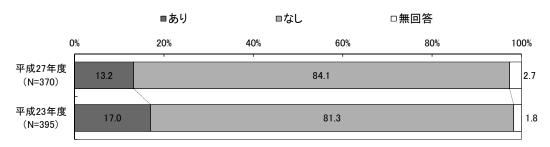
○賞与を支給している場合の年間支給額については、「20 万円以上 40 万円未満」が 19.5%で最も多く、以下、「40 万円以上 60 万円未満」(19.1%)、「60 万円以上 80 万 円未満」(12.1%)となっている。また、「全員に支給」の場合の年間支給額は加重 平均(※)で 51.5 万円となっている。

※契約社員全員に賞与を支給している事業所のみを対象とし(一部に支給している事業 所は人数が不明のため除いた)、各事業所の契約社員数を加味して算出した加重平均。

○主要事業内容別に見ると、賞与の年間支給額は、「建設業」(106.1万円)、「教育、学習支援業」(88.5万円)、「製造業」(63.8万円)で全業種平均(51.5万円)と比べて高くなっている。

13.5 退職金制度

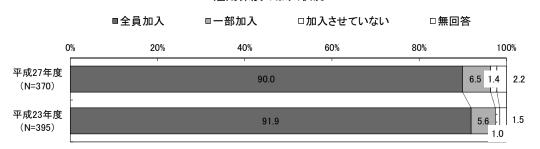




- ○退職金制度の有無については、「あり」が13.2%、「なし」が84.1%となっている。
- ○前回調査と比較すると、退職金制度の有無について、「あり」は前回の17.0%から3.8 ポイント減少している。
- ○主要事業内容別に見ると、「あり」の割合が全業種平均(13.2%)より高いのは、「教育、学習支援業」(33.3%)、「医療、福祉」(26.5%)、「建設業」(23.8%)、「製造業」(17.1%)となっている。

13.6 雇用保険

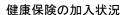
雇用保険の加入状況

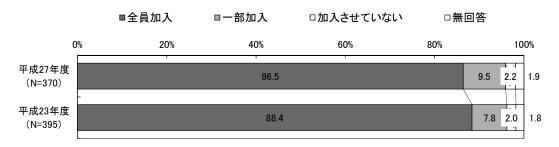


○雇用保険への加入状況については、「全員加入」が90.0%、「一部加入」が6.5%となり、「加入させていない」は1.4%となっている。

- ○前回調査と比較すると、雇用保険への加入状況について、「全員加入」が前回の 91.9% から 1.9 ポイント減少し、「一部加入」は前回の 5.6% から 0.9 ポイント、「加入させていない」は前回の 1.0% から 0.4 ポイント増加している。
- ○主要事業内容別に見ると、雇用保険への加入状況について、「全員加入」の割合は「卸売・小売業」(96.4%)、「金融・保険業」(94.4%)で高くなっており、逆に「加入させていない」の割合は「建設業」(4.8%)、「医療、福祉」(2.9%)で高くなっている。

13.7 健康保険

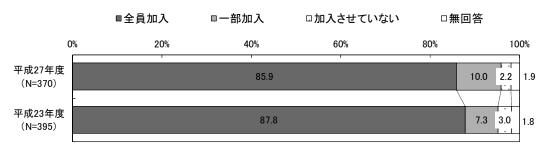




- ○健康保険への加入状況については、「全員加入」が86.5%、「一部加入」が9.5%となり、「加入させてない」は2.2%となっている。
- ○前回調査と比較すると、健康保険への加入状況について、「全員加入」が前回の88.4% から1.9 ポイント減少し、「一部加入」は前回の7.8%から1.7 ポイント、「加入させていない」は前回の2.0%から0.2 ポイント増加している。
- ○主要事業内容別に見ると、健康保険への加入状況について、「全員加入」の割合は「金融・保険業」(94.4%)、「卸売・小売業」(92.9%)、「医療、福祉」(91.2%)で高くなっており、逆に「加入させていない」の割合は「建設業」(9.5%)、「運輸業」(4.5%)で高くなっている。

13.8 厚生年金保険

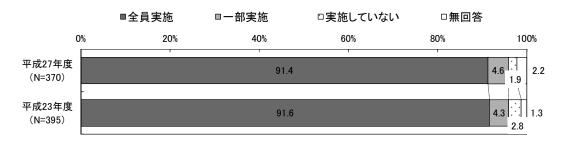
厚生年金保険の加入状況



- ○厚生年金保険への加入状況については、「全員加入」が 85.9%、「一部加入」が 10.0% となり、「加入させてない」は 2.2% となっている。
- ○前回調査と比較すると、厚生年金保険への加入状況について、「全員加入」が前回の87.8%から1.9ポイント、「加入させていない」は前回の3.0%から0.8ポイント減少し、「一部加入」は前回の7.3%から2.7ポイント増加している。
- ○主要事業内容別に見ると、厚生年金保険への加入状況について、「全員加入」の割合は「金融・保険業」(94.4%)、「卸売・小売業」(92.9%)、「医療、福祉」(91.2%)で高くなっており、逆に「加入させていない」の割合は「建設業」(9.5%)、「運輸業」(4.5%)で高くなっている。

13.9 定期健康診断

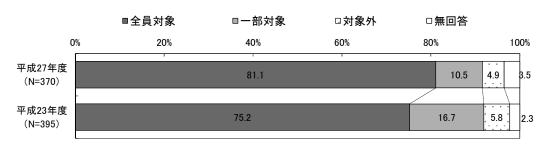
定期健康診断の実施状況



- ○定期健康診断の実施状況については、「全員実施」が91.4%、「一部実施」が4.6% となり、「実施していない」は1.9%となっている。
- ○前回調査と比較すると、定期健康診断の実施状況について、「実施していない」は前回の2.8%から0.9ポイント減少している。
- ○主要事業内容別に見ると、定期健康診断の実施状況について、「実施していない」の 割合は、「建設業」(4.8%)、「サービス業」(4.3%)で高くなっている。

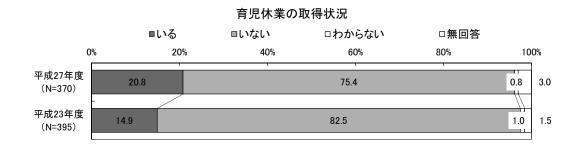
13.10 福利厚生制度

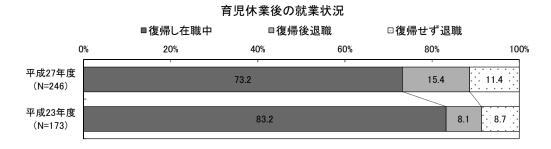
福利厚生制度の対象状況



- ○福利厚生制度については、「全員対象」が81.1%、「一部対象」が10.5%となり、「対象外」は4.9%となっている。
- ○前回調査と比較すると、福利厚生制度について、「全員対象」は前回の75.2%から5.9ポイント増加し、「対象外」は前回の5.8%から0.9ポイント減少している。
- ○主要事業内容別に見ると、福利厚生制度について、「全員対象」の割合は「卸売・小売業」(94.6%)、「サービス業」(85.5%)で高くなっており、逆に「対象外」の割合は「建設業」(19.0%)、「医療、福祉」(11.8%)で高くなっている。

13.11 育児休業の適用状況





13.11.1 過去3年間の契約社員の育児休業の取得状況

- ○育児休業を取得した契約社員の有無については、「いる」が 20.8%、「いない」が 75.4% となっている。
- ○前回調査と比較すると、育児休業を取得した契約社員の有無について、「いる」が前回の14.9%から5.9ポイント増加している。
- ○主要事業内容別に見ると、育児休業を取得した契約社員が「いる」と回答した事業 所の割合が全業種平均(20.8%)を超えているのは、「製造業」(28.6%)、「教育、 学習支援業」(28.2%)、「金融・保険業」(27.8%)、「卸売・小売業」(26.8%)、「医療、福祉」(26.5%)となっている。

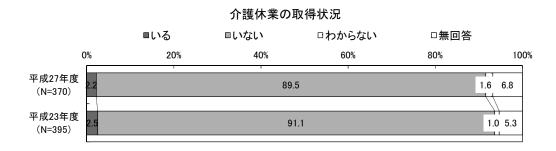
13.11.2 育児休業取得後の契約社員の就業状況

○育児休業を取得した契約社員が「いる」と回答した事業所に休業後の契約社員の就業状況を聞いたところ、休業中を除いた246名のうち、「復帰し在職中」が180名

(73.2%)、「復帰後退職」が38名(15.4%)、「復帰せず退職」が28名(11.4%)となっている。

- ○前回調査と比較すると、育児休業後の契約社員の就業状況は、「復帰し在職中」が前回の83.2%から10.0 ポイント減少した一方、「復帰後退職」が前回の8.1%から7.3 ポイント、「復帰せず退職」が前回の8.7%から2.7 ポイント増加している。
- ○主要事業内容別に見ると、「復帰し在職中」の割合が全業種平均(73.2%)より高いのは、「金融・保険業」(100.0%)、「医療、福祉」(81.3%)、「製造業」(80.0%)となっている。

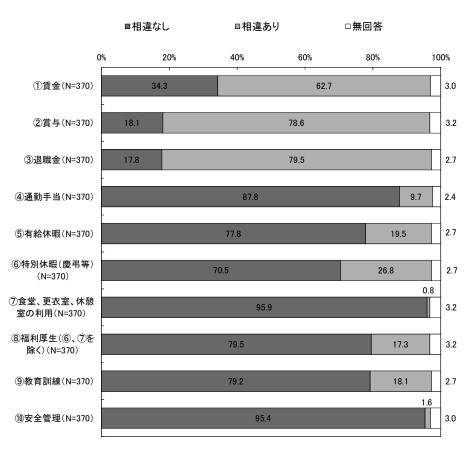
13.12 介護休業の適用状況



13.12.1 過去3年間の契約社員の介護休業の取得状況

○介護休業を取得した契約社員の有無については、「いる」が 2.2%、「いない」が 89.5% となっている。

14 契約社員と正社員との労働条件の相違



正社員との労働条件の相違の有無

- ○契約社員と正社員との労働条件の相違の有無を聞いたところ、他の労働条件と比べて、「退職金」(17.8%)、「賞与」(18.1%)、「賃金」(34.3%)において、「相違なし」の割合が特に低くなっている。
- ○上記3項目以外の労働条件については、ほとんどの労働条件について、「相違なし」が8~9割前後を占めているが、「特別休暇」については「相違なし」が70.5%とやや低くなっている。
- ○「食堂、更衣室、休憩室の利用」は95.9%、「安全管理」は95.4%、「通勤手当」は87.8%となり、9割前後の事業所が契約社員と正社員との間で「相違なし」と回答している。

14.1 労働条件の相違の有無と見直し予定

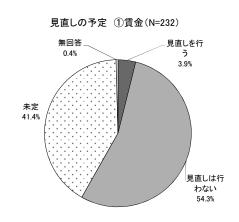
14.1.1 賃金

14.1.1.1 賃金の相違

- ○契約社員と正社員との賃金の相違について聞いたところ、「相違なし」が34.3%、「相違あり」が62.7%となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、「相違なし」の割合は、「教育、学習支援業」(53.8%)、「建設業」(52.4%)、「情報通信業」(48.6%)で高くなっている。また、「相違あり」の割合は、「医療、福祉」(79.4%)、「製造業」(68.6%)で高くなっている。

14.1.1.2 賃金の見直し予定

- ○契約社員と正社員の賃金に「相違がある」と回答 した事業所に対して、見直しの予定を聞いたとこ ろ、「見直しを行う」が3.9%、「見直しは行わな い」が54.3%、「未定」が41.4%となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、「見直しは行わない」 の割合は、「教育、学習支援業」(76.5%)、「運輸 業」(71.4%)、「製造業」(70.8%)で高くなって いる。



14.1.2 賞与

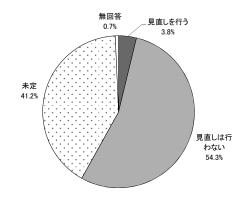
14.1.2.1 賞与の相違

- ○契約社員と正社員との賞与の相違について聞いたところ、「相違なし」が 18.1%、「相違あり」が 78.6%となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、「教育、学習支援業」では「相違なし」が 33.3%で、他の 業種と比べて高くなっている。また、「相違あり」の割合は、「医療、福祉」(94.1%) で高くなっている。

14.1.2.2 賞与の見直し予定

- ○契約社員と正社員の賞与に「相違がある」と 回答した事業所に対して、見直しの予定を聞 いたところ、「見直しを行う」が3.8%、「見 直しは行わない」が54.3%、「未定」が41.2% となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、「見直しは行わない」の割合は、「製造業」(76.9%)、「教育、学習支援業」(76.0%)、「運輸業」(66.7%)

見直しの予定 ②賞与(N=291)



で高くなっている。

14.1.3 退職金

14.1.3.1 退職金の相違

- ○契約社員と正社員との退職金の相違について聞いたところ、「相違なし」が 17.8%、「相違あり」が 79.5%となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、「相違なし」の割合は、「教育、学習支援業」(30.8%)、「医療、福祉」(26.5%)、「情報通信業」(24.3%)で高くなっている。一方、「相違あり」の割合は、「金融・保険業」(88.9%)、「製造業」(88.6%)、「運輸業」(86.4%)で高くなっている。
- ○企業規模別に見ると、退職金の「相違なし」と回答した事業所の割合は、「100 人未満」規模事業所では2割を超えている。

14.1.3.2 退職金の見直し予定

- ○契約社員と正社員の退職金に「相違がある」 と回答した事業所に対して、見直しの予定を 聞いたところ、「見直しを行う」が 2.0%、「見 直しは行わない」が 60.5%、「未定」が 37.1% となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、「見直しは行わない」の割合は、「製造業」(77.4%)、「教育、学習支援業」(76.9%)、「運輸業」(73.7%)で高くなっている。

見直しの予定 ③退職金(N=294)

無回答
0.3%
見直しを行う
2.0%

見直しは行
わない
60.5%

14.1.4 通勤手当

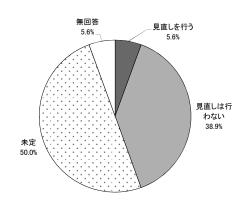
14.1.4.1 通勤手当の相違

- ○契約社員と正社員との通勤手当の相違について聞いたところ、「相違なし」が87.8%を占め、「相違あり」が9.7%となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、ほとんどの業種において「相違なし」の割合が9割前後を占めている。「情報通信業」では「相違あり」が16.2%を占め、他の業種と比べて割合が高くなっている。
- ○企業規模別に見ると、ほとんどの企業規模において「相違なし」は9割前後となっているが、「29人以下」規模事業所では75.9%と割合が低くなっている。

14.1.4.2 通勤手当の見直し予定

○契約社員と正社員の通勤手当に「相違がある」と回答した事業所に対して、見直しの 予定を聞いたところ、「見直しを行う」が 5.6%、「見直しは行わない」が38.9%、「未 定」が50.0%となっている。

見直しの予定 ④通勤手当(N=36)



14.1.5 有給休暇

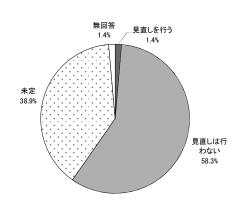
14.1.5.1 有給休暇の相違

- ○契約社員と正社員との有給休暇の相違について聞いたところ、「相違なし」が 77.8%、「相違あり」が 19.5%となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、「相違なし」の割合は、「建設業」(90.5%)、「卸売・小売業」(87.5%)で高くなっている。一方、「相違あり」は「運輸業」(40.9%)、「情報通信業」(27.0%)で高くなっている。
- ○企業規模別に見ると、「相違あり」は、「29 人以下」規模事業所(34.5%)、「500~999 人」規模事業所(34.4%)、「1000 人以上」規模事業所(30.8%)で3割を超え、全 体平均と比べて高くなっている。

14.1.5.2 有給休暇の見直し予定

○契約社員と正社員の有給休暇に「相違がある」 と回答した事業所に対して、見直しの予定を聞いたところ、「見直しを行う」が 1.4%、「見直 しは行わない」が 58.3%、「未定」が 38.9%となっている。

見直しの予定 ⑤有給休暇(N=72)



14.1.6 特別休暇 (慶弔等)

14.1.6.1 特別休暇(慶弔等)の相違

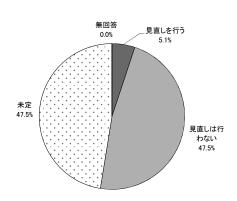
- ○契約社員と正社員との特別休暇(慶弔等)の相違について聞いたところ、「相違なし」が 70.5%、「相違あり」が 26.8%となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、「相違なし」の割合は、「教育、学習支援業」(87.2%)、「卸売・小売業」(76.8%)、「建設業」(76.2%)で高くなっている。一方、「相違あり」の割合は、「運輸業」(45.5%)、「医療、福祉」(44.1%)で高くなっている。
- ○企業規模別に見ると、「相違あり」の割合は「29人以下」規模事業所では20.7%で

あるのに対し、「500人以上」規模事業所では3割を超えており、規模が大きい事業 所において割合が高くなっている。

14.1.6.2 特別休暇(慶弔等)の見直し予定

○契約社員と正社員の特別休暇(慶弔等)に「相 違がある」と回答した事業所に対して、見直 しの予定を聞いたところ、「見直しを行う」 が 5.1%、「見直しは行わない」が 47.5%、 「未定」が 47.5%となっている。

見直しの予定 ⑥特別休暇(慶弔等)(N=99)



14.1.7 食堂、更衣室、休憩室の利用

14.1.7.1 食堂、更衣室、休憩室の利用の相違

○契約社員と正社員との食堂、更衣室、休憩室の利用の相違について聞いたところ、「相違なし」が95.9%を占め、「相違あり」は0.8%となっている。

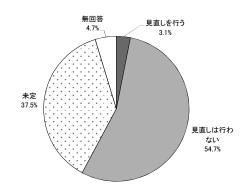
14.1.8 福利厚生(特別休暇(慶弔等)・食堂、更衣室、休憩室の利用を除く) 14.1.8.1 福利厚生の相違

- ○契約社員と正社員との福利厚生の相違について聞いたところ、「相違なし」が 79.5%、「相違あり」が 17.3%となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、「相違なし」の割合は、「卸売・小売業」(87.5%)、「教育、学習支援業」(87.2%)、「運輸業」(86.4%)で高くなっている。一方、「相違あり」の割合は、「金融・保険業」(27.8%)、「製造業」(25.7%)、「建設業」(23.8%)で高くなっている。

14.1.8.2 福利厚生の見直し予定

○契約社員と正社員の福利厚生に「相違がある」と回答した事業所に対して、見直しの予定を聞いたところ、「見直しを行う」が3.1%、「見直しは行わない」が54.7%、「未定」が37.5%となっている。

見直しの予定 ⑧福利厚生(⑥・⑦を除く)(N=64)



14.1.9 教育訓練

14.1.9.1 教育訓練の相違

- ○契約社員と正社員との教育訓練の相違について聞いたところ、「相違なし」が 79.2%、「相違あり」が 18.1%となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、「相違なし」の割合は、「運輸業」(95.5%)、「医療、福祉」 (94.1%)で高くなっている。一方、「相違あり」の割合は、「金融・保険業」(33.3%)で高くなっている。
- ○企業規模別に見ると、「相違なし」の割合は「300人未満」規模事業所では8割を超 えているが、「500人以上」規模事業所では6割強となっている。

14.1.9.2 教育訓練の見直し予定

○契約社員と正社員の教育訓練に「相違がある」と回答した事業所に対して、見直しの 予定を聞いたところ、「見直しを行う」が 6.0%、「見直しは行わない」が56.7%、「未 定」が37.3%となっている。

見直しの予定 ③教育訓練(N=67)
無回答
0.0%
見直しを行う
6.0%

見直しは行
わない
56.7%

14.1.10 安全管理

14.1.10.1 安全管理の相違

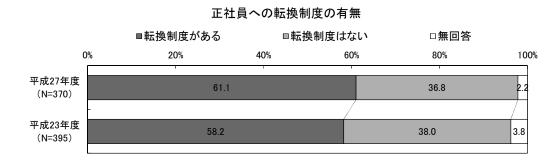
○契約社員と正社員との安全管理の相違について聞いたところ、「相違なし」が 95.4% を占め、「相違あり」は 1.6%となっている。

14.2 労働条件の見直し理由(複数回答可)

○労働条件の「見直しを行う」との回答があった事業所に対して、見直しを行う理由を聞いたところ、「業務内容が同じだから」が 60.0%で最も多く、「業務時間や勤務日数が同じだから」(30.0%)、「業務内容等の違いに比べて、労働条件の相違が大きいから」(20.0%)となっている。

15 正社員への転換

15.1 契約社員から正社員への転換制度の有無

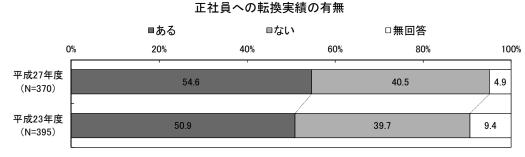


- ○契約社員から正社員への転換制度の有無については、「ある」が 61.1%、「ない」が 36.8%となっている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員から正社員への「転換制度がある」が前回の 58.2% から 2.9 ポイント増加している。
- ○主要事業内容別に見ると、転換制度が「ある」と回答した事業所の割合は「医療、 福祉」(82.4%)、「サービス業」(68.1%)で高い一方、「教育、学習支援業」(51.3%)、 「製造業」(51.4%)で低くなっている。

15.2 過去3年間での正社員への転換実績

い」が40.5%となっている。

15.2.1 過去3年間での正社員への転換実績の有無

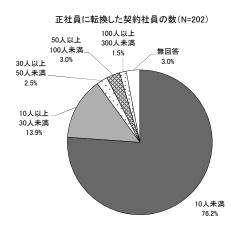


- ○過去3年間での契約社員の正社員への転換実績については、「ある」が54.6%、「な
- ○前回調査と比較すると、正社員への転換実績が「ある」は前回の 50.9%から 3.7 ポイント増加している。

○主要事業内容別に見ると、過去3年間での正社員への転換実績が「ある」とした事 業所の割合は「教育、学習支援業」(64.1%)、「医療、福祉」(61.8%) で高くなっ ている。一方、「建設業」では転換実績が「ない」の割合が61.9%と高くなってい

15.2.2 過去3年間で正社員に転換した契約社員の数

- ○契約社員の正社員への転換実績があるとし た事業所にその数を聞いたところ、「10人 未満」が 76.2%と最も多く、以下、「10人 以上30人未満」が13.9%、「30人以上」が 7.0%となっている。また、転換実績がある とした1事業所あたりの平均転換社員数は 9.7人となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、過去3年間で正 社員に転換した契約社員の1事業所あたり の平均人数は、「情報通信業」(16.4人)、「サ ービス業」(14.9人)、「製造業」(13.9人)で多くなっている。



15.2.3 契約社員として採用してから正社員に転換するまでの期間

- ○転換実績があるとした事業所に契約社員と して採用してから正社員に転換するまでの 期間を聞いたところ、「1年以上3年未満」 が 52.0%で最も多く、「3年以上5年未満」 が 18.8%、「1 年未満」が 15.8%となって おり、これらを合わせると86.6%の事業所 が採用から5年未満で正社員に転換してい る。
- ○主要事業内容別に見ると、正社員に転換す るまでの期間について「3年未満」が全体

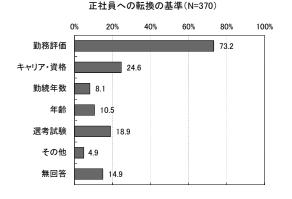
無回答 5年以上 3.0% 1年未満 3年以上5年 18.8% 1年以上3年 未満 52.0%

契約社員として採用してから正社員に転換するまで の期間(N=202)

- 平均(67.8%)よりも低い業種は、「製造業」(40.0%)、「運輸業」(50.0%)、「教育、 学習支援業」(52.0%)、「情報通信業」(57.9%)、「金融・保険業」(60.0%)となっ ている。
- ○企業規模別に見ると、「1 年未満」は「29 人以下」規模事業所(27.3%)、「30~39 人」 規模事業所(22.8%)で2割を超えている。一方、「3年以上」は、「1000人以上」 規模事業所(34.4%)、「500~999人」規模事業所(33.3%)で3割を超えている。

15.3 契約社員の正社員への転換の基準(2つまで回答可)

- ○契約社員から正社員への転換の基準としては、「勤務評価」が73.2%と最も多く、以下、「キャリア・資格」(24.6%)、「選考試験」(18.9%)、「年齢」(10.5%)、「勤続年数」(8.1%)となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、全ての業種に おいて「勤務評価」が最も多くなってい る。「キャリア・資格」の割合が高い業 種は、「建設業」(47.6%)、「医療、福祉」



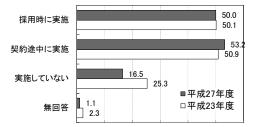
(35.3%)、「選考試験」の割合が高い業種は、「金融・保険業」(27.8%)、「サービス業」(24.6%)、「勤続年数」の割合が高い業種は、「金融・保険業」(22.2%) などとなっている。

○企業規模別に見ると、「選考試験」を正社員への転換の基準としている割合は、「29 人以下」規模事業所では 3.4%であるが、「300人以上」規模事業所では 2割を超え、 「1000人以上」規模事業所では 34.6%となっており、企業規模が大きい事業所で割 合が高くなっている。

16 研修(教育訓練)制度

16.1 研修等の実施時期(複数回答可)

- ○契約社員に対する研修等の実施時期 については、「契約途中に実施」が 53.2%で最も多く、「採用時に実施」 が50.0%、「実施していない」は 16.5%となっている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員に 対する研修等を「実施していない」



研修等の実施時期(N=370/H27、N=395/H23)

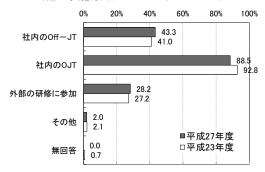
は前回の25.3%から8.8ポイント減少している。

○主要事業内容別に見ると、「実施していない」が1割未満であった(=研修等を実施する事業所の割合が相対的に高い)業種としては「医療、福祉」(2.9%)、「金融・保険業」(5.6%)がある。逆に「実施していない」が2割を超えた(=研修等を実施する事業所の割合が相対的に低い)業種としては、「情報通信業」(27.0%)、「建設業」(23.8%)、「卸売・小売業」(21.4%)がある。

16.2 研修の実施方法(複数回答可)

- ○研修を実施している事業所における 研修の実施方法については、「社内の 0JT」が88.5%と最も多く、「社内の 0ff-JT」が43.3%、「外部の研修に 参加」が28.2%となっている。
- ○前回調査と比較すると、「社内の0JT」 が前回の92.8%から4.3ポイント減 少した一方、「社内の0ff-JT」が前

研修の実施方法(N=305/H27、N=290/H23)

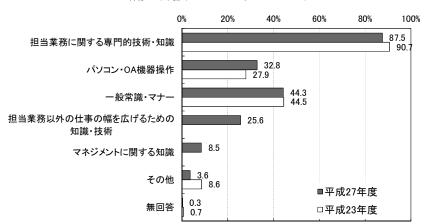


回の 41.0%から 2.3 ポイント、「外部の研修に参加」が前回の 27.2%から 1.0 ポイント増加している。

○主要事業内容別に見ると、全ての業種で「社内の 0JT」の割合が最も高くなっている。「外部の研修に参加」の割合が全業種平均 (28.2%) より高い業種としては、「建設業」 (37.5%)、「運輸業」 (36.8%)、「情報通信業」 (34.6%)、「教育、学習支援業」 (34.4%) などがある。

16.3 研修の実施内容(複数回答可)

研修の内容(N=305/H27、N=290/H23)



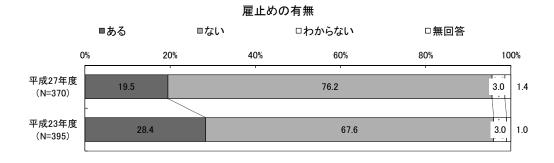
※「担当業務以外の仕事の幅を広げるための知識・技術」、「マネジメントに関する知識」は本調査より項目追加

- ○研修を実施している事業所の研修内容については「担当業務に関する専門的技術・ 知識」が87.5%と最も多く、以下、「一般常識・マナー」(44.3%)、「パソコン・0A 機器操作」(32.8%)、「担当業務以外の仕事の幅を広げるための知識・技術」(25.6%)、 「マネジメントに関する知識」(8.5%) となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、研修内容は全ての業種において、「担当業務に関する専門的技術・知識」が最も多くなっている。次に多いのはおおむね「一般常識・マナー」であるが、「金融・保険業」、「建設業」では「パソコン・0A機器操作」となっている。また、「担当業務以外の仕事の幅を広げるための知識・技術」は「金融・保険業」(35.3%)、「サービス業」(31.6%)など、「マネジメントに関する知識」は「サービス業」(19.3%)、「運輸業」(10.5%)などで、研修を実施している割合が他の業種と比べて高くなっている。

17 契約社員の雇止め

『雇止め(やといどめ)』…… 更新が可能な有期労働契約を締結している場合に、使用者が有期労働契約を更新しないことを言う。ただし、あらかじめ労働者が契約の更新を希望しない旨を申し出ていた場合を除く。なお、契約期間の途中で雇用契約を解約する場合を含まない。

17.1 過去3年間での契約社員の雇止めの有無

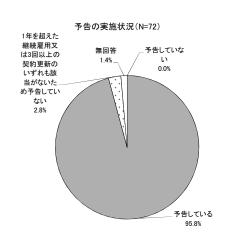


- ○過去3年間における契約社員の雇止めの有無については、「ある」が19.5%、「ない」が76.2%となっている。
- ○前回調査と比較すると、雇止めの有無について、「ある」が前回の 28.4%から 8.9 ポイント減少している。
- ○過去3年間に雇止めを行ったことが「ある」と回答した事業所の割合が2割を超えた業種は、「卸売・小売業」(28.6%)、「教育、学習支援業」(25.6%)、「製造業」(22.9%)、「金融・保険業」(22.2%)となっている。

17.2 雇止めの際の予告の有無

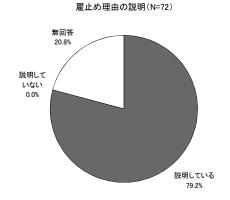
17.2.1 予告(30日前)の実施状況

- ○雇止めの際の30日前の予告については、 雇止めを行ったことがあると回答のあっ た事業所72社のうち69社(95.8%)が 「予告している」と回答した。
- ○「予告していない」と回答した事業所はな かった。



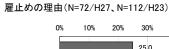
17.2.2 雇止めの理由の説明

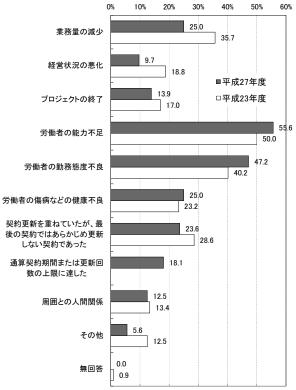
○雇止めの理由の説明は、雇止めを行ったこ とがあると回答のあった事業所 72 社のう ち57社(79.2%)が「説明している」と 回答した。



17.3 雇止めの理由(複数回答可)

- ○雇止めを行ったことがある事業所に その理由を聞いたところ、「労働者の 能力不足」が55.6%と最も多く、以 下、「労働者の勤務態度不良」 (47.2%)、「業務量の減少」(25.0%)、 「労働者の傷病などの健康不良」 (25.0%) と続いている。
- ○前回調査と比較すると、雇止めの理 由について、「業務量の減少」が前回 の 35.7%から 10.7 ポイント、「経営 状況の悪化」が前回の18.8%から 9.1 ポイント、「契約更新を重ねてい たが、最後の契約ではあらかじめ更 新しない契約であった」が前回の 28.6%から 5.0 ポイント減少してい る。一方、「労働者の勤務態度不良」 が前回の40.2%から7.0ポイント、 「労働者の能力不足」が前回の 50.0%から 5.6 ポイント増加してい る。





※「通算契約期間または更新回数の上限に達した」は、本調査より項目追加

17.4 雇止めを行った際のトラブル発生の有無とその原因 (雇止めに伴うトラブルの原因については複数回答可)

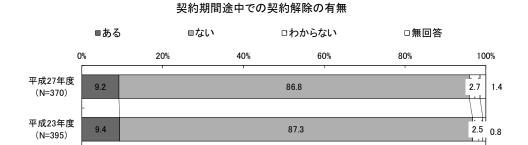
- ○雇止めを行った際のトラブルについては、 「あった」が 12.5%、「なかった」が 80.6% となっている。
- ○トラブルの原因を聞いたところ(複数回答可)、「雇止めの理由について納得してもらえなかった」が88.9%と最も多くなっている。同項以外の原因は大きく低下するが、「雇止めの人選について納得してもらえなかった」(11.1%)、「契約の更新の可能性について労使の認識が異なっていた」(11.1%)、「更新後の労働条件について折

り合いがつかなかった」(11.1%)となっている。

雇止めを行った際のトラブル発生の有無(N=72) わからない 4.2% あった 12.5% なかった 80.6%

18 契約期間途中の契約解除(中途解約)

18.1 契約期間途中での契約解除の有無

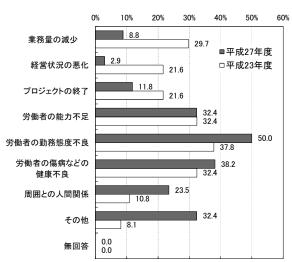


- ○過去3年間に契約期間中での雇用契約の解除を行ったことの有無については、「ある」が9.2%、「ない」が86.8%となっている。
- ○前回調査と比較すると、概ね同様の結果となっている。
- ○主要事業内容別に見ると、過去3年間に契約期間途中で雇用契約の解除を行ったことが「ある」事業所が他の業種と比べて多いのは、「サービス業」(13.0%)、「金融・保険業」(11.1%)、「情報通信業」(10.8%)となっている。

18.2 契約期間途中での契約解除の理由(複数回答可)

- ○契約期間途中での契約解除の理由 を聞いたところ、「労働者の勤務態 度不良」が50.0%と最も多く、以 下、「労働者の傷病などの健康不 良」(38.2%)、「労働者の能力不足」 (32.4%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、契約期間 途中での契約解除の理由について、 「業務量の減少」が前回の29.7% から20.9ポイント、「経営状況の 悪化」が前回の21.6%から18.7 ポイント、「プロジェクトの終了」

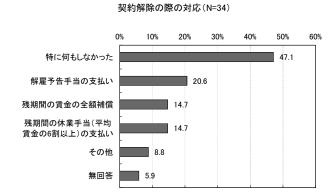
契約解除の理由(N=34/H27、N=37/H23)



が前回の 21.6%から 9.8 ポイント減少している。逆に「周囲との人間関係」が前回 の 10.8%から 12.7 ポイント、「労働者の勤務態度不良」が前回の 37.8%から 12.2 ポイント、「労働者の傷病などの健康不良」が前回の 32.4%から 5.8 ポイント増加している。

18.3 契約期間途中での契約解除の際の対応(複数回答可)

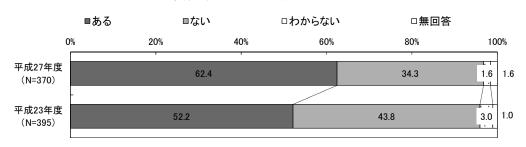
○契約期間途中での契約解除の際の対応としては、「特になにもしなかった」が47.1%となっている。何らかの対応を行った場合の対応内容としては、「解雇予告手当の支払い」が20.6%、「残期間の賃金の全額補償」が14.7%、「残期間の休業手当(平均賃金の6割以上)の支払い」が14.7%となっている。



19 契約社員からの契約期間途中での退職の申し出

19.1 契約社員からの契約期間途中での退職の申し出の有無

契約期間途中での退職の申し出の有無

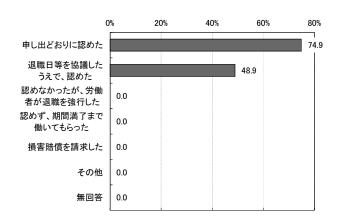


- ○過去3年間に契約社員から契約期間途中での退職の申し出を受けたことの有無については、「ある」が62.4%、「ない」が34.3%となっている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員から契約期間途中で退職の申し出を受けたことが「ある」が前回の52.2%から10.2ポイント増加している。
- ○主要事業内容別に見ると、過去3年間に契約社員から契約途中期間で退職の申し出を受けたことが「ある」と回答した事業所の割合が全業種平均(62.4%)と比べて高い業種は、「金融・保険業」(72.2%)、「製造業」(68.6%)、「サービス業」(68.1%)などとなっている。

19.2 申し出を受けた際の対応(複数回答可)

○申し出を受けた際の対応としては、「申し出どおりに認めた」が74.9%、「退職日程を協議したうえで、認めた」が48.9%となっている。

申し出を受けた際の対応(N=231)

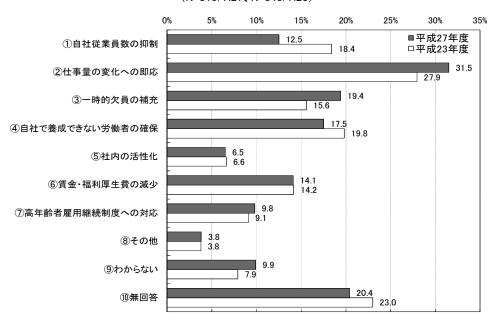


★20 項から 23 項は有期雇用の有無にかかわらず、全回答事業所 (815 事業所)の回答集計結果である。

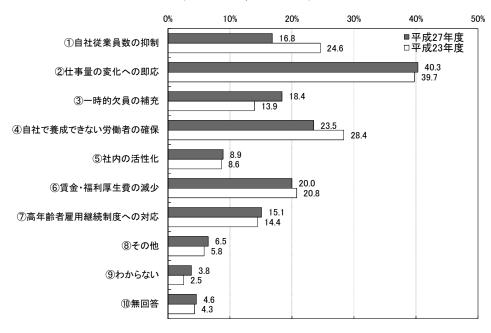
20 有期雇用労働者を活用するメリット(2つまで回答可)

20.1 契約社員を活用するメリット

契約社員を活用するメリット(全事業所) (N=815/H27、N=848/H23)



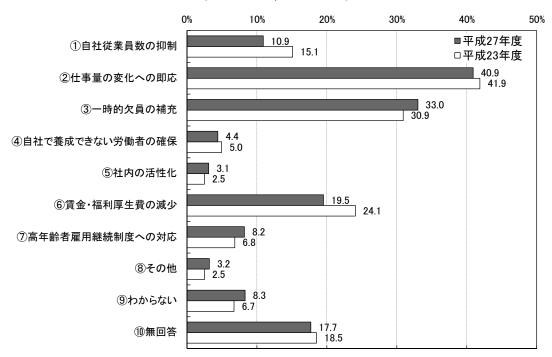
契約社員を活用するメリット(契約社員導入事業所) (N=370/H27、N=395/H23)



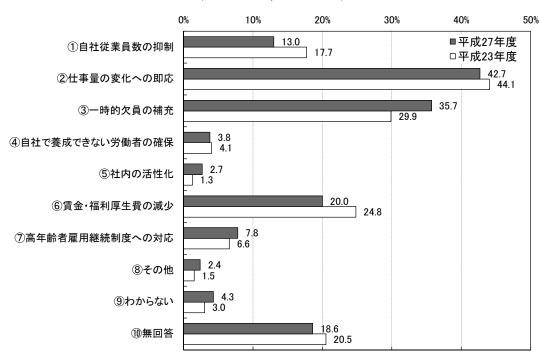
- ○契約社員導入及び未導入事業所(以下、「全事業所」とする。)の契約社員を活用するメリットは、「仕事量の変化への即応」が31.5%と最も多く、以下「一時的欠員の補充」(19.4%)、「自社で養成できない労働者の確保」(17.5%)、「賃金・福利厚生費の減少」(14.1%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、全事業所の契約社員を活用するメリットは、いずれも「仕事量の変化への即応」が最も多く、前回の 27.9%から 3.6 ポイント増加している。また、「一時的欠員の補充」も前回の 15.6%から 3.8 ポイント増加している。一方、「自社従業員数の抑制」は前回の 18.4%から 5.9 ポイント、「自社で養成できない労働者の確保」は前回の 19.8%から 2.3 ポイント減少している。
- ○契約社員導入事業所の契約社員を活用するメリットは、「仕事量の変化への即応」が 40.3%と最も多く、以下、「自社で養成できない労働者の確保」(23.5%)、「賃金・福 利厚生費の減少」(20.0%)、「一時的欠員の補充」(18.4%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員導入事業所の契約社員を活用するメリットは、いずれも「仕事量の変化への即応」が最も多くなっている。また、「一時的欠員の補充」は前回の13.9%から4.5ポイント増加した一方、「自社従業員数の抑制」が前回の24.6%から7.8ポイント、「自社で養成できない労働者の確保」が前回の28.4%から4.9ポイント減少している。
- ○全事業所と対比して見ると、契約社員導入事業所が全事業所より「仕事量の変化への即応」では8.8 ポイント、「自社で養成できない労働者の確保」では6.0 ポイント、「賃金・福利厚生の減少」では5.9 ポイント、「高年齢者雇用継続制度への対応」では5.3 ポイント、「自社従業員数の抑制」では4.3 ポイント、「社内の活性化」では2.4 ポイント高くなっており、一方、「一時的欠員の補充」では1.0 ポイント低くなっている。

20.2 有期パートタイマーを活用するメリット

有期パートタイマーを活用するメリット(全事業所) (N=815/H27、N=848/H23)

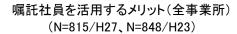


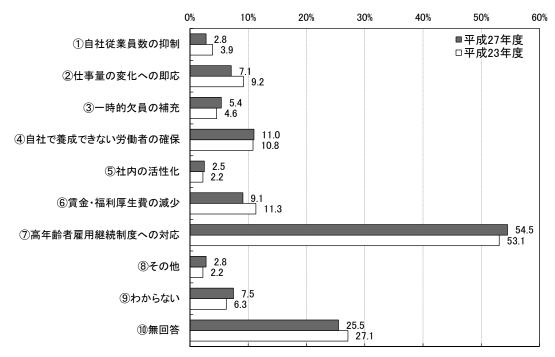
有期パートタイマーを活用するメリット(契約社員導入事業所) (N=370/H27、N=395/H23)



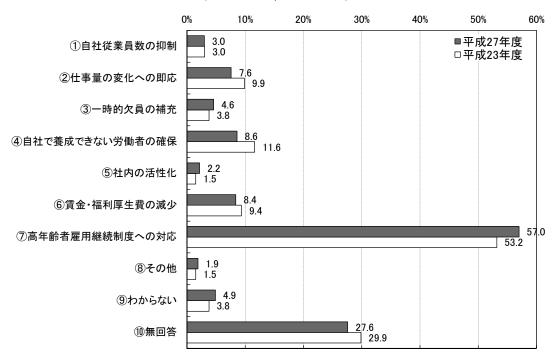
- ○契約社員導入事業所の有期パートタイマーを活用するメリットは、「仕事量の変化への即応」が42.7%と最も多く、以下、「一時的欠員の補充」(35.7%)、「賃金・福利厚生費の減少」(20.0%)、「自社従業員数の抑制」(13.0%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員導入事業所の有期パートタイマーを活用するメリットは、いずれも「仕事量の変化への即応」が最も多いが、前回の44.1%から1.4ポイント減少している。また、「賃金・福利厚生費の減少」が前回の24.8%から4.8ポイント、「自社従業員数の抑制」が前回の17.7%から4.7ポイント減少した一方、「一時的欠員の補充」が前回の29.9%から5.8ポイント増加している。
- ○契約社員導入事業所において、契約社員を活用するメリットと対比して見ると、有期パートタイマーを活用するメリットは「一時的欠員の補充」で17.3 ポイント契約社員より高くなっている。一方、「自社で養成できない労働者の確保」で19.7 ポイント、「高年齢者雇用継続制度への対応」で7.3 ポイント、「社内の活性化」で6.2 ポイント契約社員より低くなっている。

20.3 嘱託社員を活用するメリット





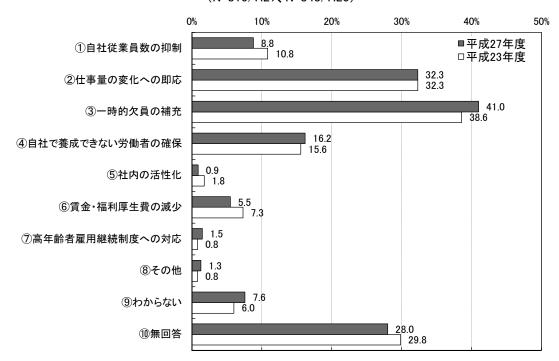
嘱託社員を活用するメリット(契約社員導入事業所) (N=370/H27、N=395/H23)



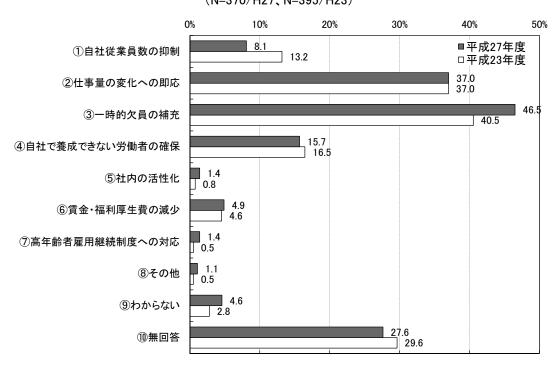
- ○契約社員導入事業所の嘱託社員を活用するメリットは、「高年齢者雇用継続制度への対応」が57.0%と最も多く、以下、「自社で養成できない労働者の確保」(8.6%)、「賃金・福利厚生費の減少」(8.4%)、「仕事量の変化への即応」(7.6%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員導入事業所の嘱託社員を活用するメリットは、いずれも「高年齢者雇用継続制度への対応」が最も多く、前回の53.2%から3.8ポイント増加している。一方、「自社で養成できない労働者の確保」が前回の11.6%から3.0ポイント、「仕事量の変化への即応」が前回の9.9%から2.3ポイント減少している。
- ○契約社員導入事業所において、契約社員を活用するメリットと対比して見ると、嘱託社員を活用するメリットは「高年齢者雇用継続制度への対応」で41.9ポイント契約社員より高くなっている。一方、「仕事量の変化への即応」で32.7ポイント、「自社で養成できない労働者の確保」で14.9ポイント契約社員より低くなっている。

20.4 派遣労働者を活用するメリット

派遣労働者を活用するメリット(全事業所) (N=815/H27、N=848/H23)



派遣労働者を活用するメリット(契約社員導入事業所) (N=370/H27、N=395/H23)

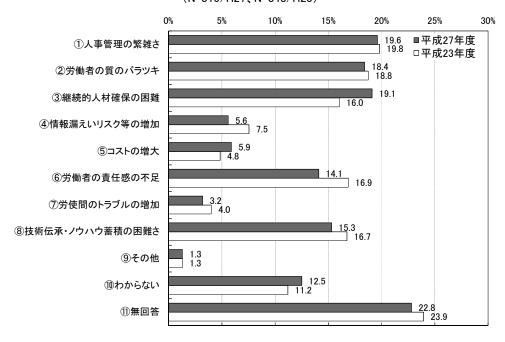


- ○契約社員導入事業所の派遣労働者を活用するメリットは、「一時的欠員の補充」が 46.5%と最も多く、以下、「仕事量の変化への即応」(37.0%)、「自社で養成できない労働者の確保」(15.7%)、「自社従業員数の抑制」(8.1%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員導入事業所の派遣労働者を活用するメリットは、いずれも「一時的欠員の補充」が最も多く、前回の40.5%から6.0ポイント増加している。一方、「自社従業員数の抑制」が前回の13.2%から5.1ポイント、「自社で養成できない労働者の確保」が前回の16.5%から0.8ポイント減少している。
- ○契約社員導入事業所において、契約社員を活用するメリットと対比して見ると、派遣労働者を活用するメリットは「一時的欠員の補充」で28.1 ポイント契約社員より高くなっている。一方、「賃金・福利厚生費の減少」で15.1 ポイント、「高年齢者雇用継続制度への対応」で13.7 ポイント契約社員より低くなっている。

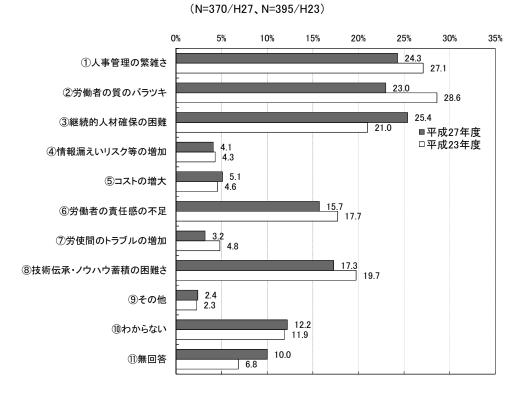
21 有期雇用労働者を活用するデメリット(2つまで回答可)

21.1 契約社員を活用するデメリット

契約社員を活用するデメリット(全事業所) (N=815/H27、N=848/H23)

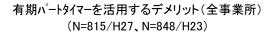


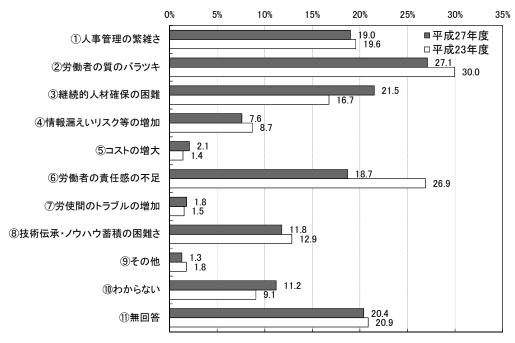
契約社員を活用するデメリット(契約社員導入事業所)

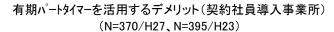


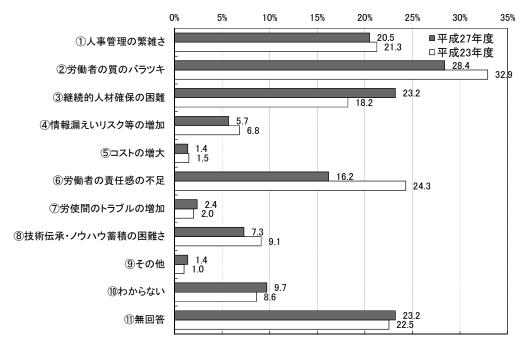
- ○契約社員導入及び未導入事業所(以下、「全事業所」とする。)の契約社員を活用するデメリットは、「人事管理の複雑さ」が19.6%と最も多く、以下、「継続的人材確保の困難」(19.1%)、「労働者の質のバラツキ」(18.4%)、「技術伝承・ノウハウ蓄積の困難さ」(15.3%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、全事業所の契約社員を活用するデメリットは、いずれも「人事管理の煩雑さ」が最も多くなっている。また、「継続的人材確保の困難」が前回の 16.0%から3.1ポイント増加している。
- ○契約社員導入事業所の契約社員を活用するデメリットは、「継続的人材確保の困難」が 25.4%と最も多く、以下、「人事管理の繁雑さ」(24.3%)、「労働者の質のバラツキ」(23.0%)、「技術伝承・ノウハウ蓄積の困難さ」(17.3%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員導入事業所の契約社員を活用するデメリットは、「労働者の質のバラツキ」が前回の28.6%から5.6ポイント減少し、「継続的人材確保の困難」が前回の21.0%から4.4ポイント増加している。
- ○全事業所と対比してみると、契約社員導入事業所が全事業所より「継続的人材確保の困難」では 6.3 ポイント、「人事管理の繁雑さ」では 4.7 ポイント、「労働者の質のバラツキ」では 4.6 ポイント、「技術伝承・ノウハウ蓄積の困難さ」では 2.0 ポイント、「労働者の責任感の不足」では 1.6 ポイント高くなっている一方、「情報漏えいリスク等の増加」では 1.5 ポイント、「コストの増大」では 0.8 ポイント低くなっている。

21.2 有期パートタイマーを活用するデメリット





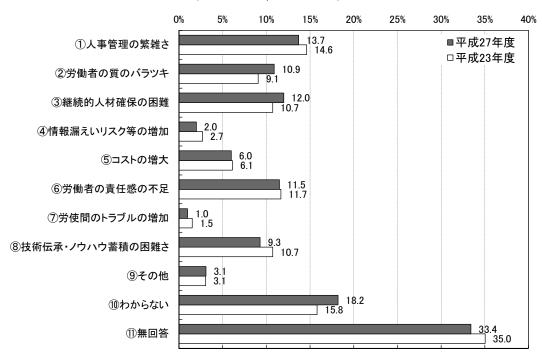




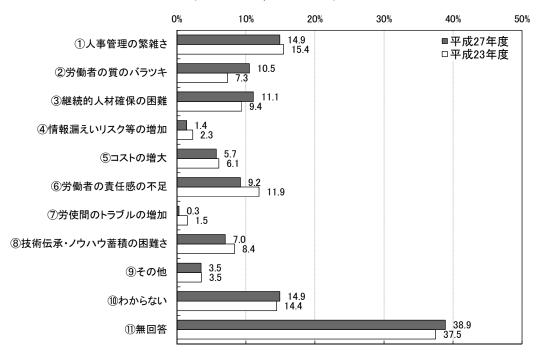
- ○契約社員導入事業所の有期パートタイマーを活用するデメリットは、「労働者の質のバラツキ」が28.4%と最も多く、以下、「継続的人材確保の困難」(23.2%)、「人事管理の繁雑さ」(20.5%)、「労働者の責任感の不足」(16.2%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員導入事業所の有期パートタイマーを活用するデメリットは、いずれも「労働者の質のバラツキ」が最も多いが、前回の32.9%から4.5 ポイント減少している。また、「労働者の責任感の不足」は前回の24.3%から8.1 ポイント減少した一方、「継続的人材確保の困難」が前回の18.2%から5.0 ポイント増加している。
- ○契約社員導入事業所において、契約社員を活用するデメリットと対比して見ると、 有期パートタイマーを活用するデメリットは「労働者の質のバラツキ」で 5.4 ポイン ト契約社員より高くなっている。一方、「技術伝承・ノウハウ蓄積の困難さ」で 10.0 ポイント、「人事管理の繁雑さ」で 3.8 ポイント、「コストの増大」で 3.7 ポイント契 約社員より低くなっている。

21.3 嘱託社員を活用するデメリット

嘱託社員を活用するデメリット(全事業所) (N=815/H27、N=848/H23)

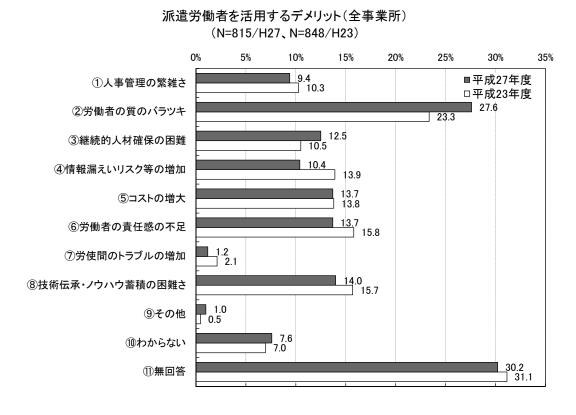


嘱託社員を活用するデメリット(契約社員導入事業所) (N=370/H27、N=395/H23)

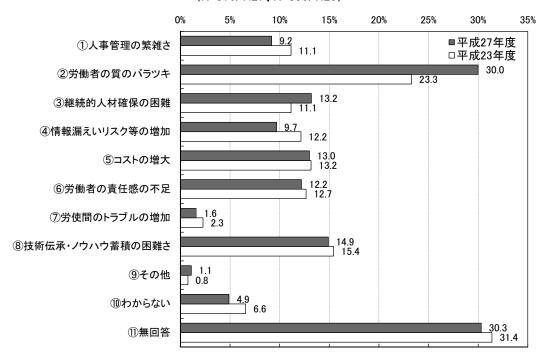


- ○契約社員導入事業所の嘱託社員を活用するデメリットは、「人事管理の繁雑さ」が 14.9%と最も多く、以下、「継続的人材確保の困難」(11.1%)、「労働者の質のバラツ キ」(10.5%)、「労働者の責任感の不足」(9.2%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員導入事業所の嘱託社員を活用するデメリットは、いずれも「人事管理の繁雑さ」が最も多くなっている。また、「労働者の質のバラツキ」は前回の7.3%から3.2ポイント、「継続的人材確保の困難」が前回の9.4%から1.7ポイント増加している。一方、「労働者の責任感の不足」が前回の11.9%から2.7ポイント、「技術伝承・ノウハウ蓄積の困難さ」が前回の8.4%から1.4ポイント、「労使間のトラブルの増加」が前回の1.5%から1.2ポイント減少している。
- ○契約社員導入事業所において、契約社員を活用するデメリットと対比して見ると、嘱託社員を活用するデメリットは「コストの増大」で 0.6 ポイント契約社員より高くなっている。一方、「継続的人材確保の困難」で 14.3 ポイント、「労働者の質のバラッキ」で 12.5 ポイント、「技術伝承・ノウハウ蓄積の困難さ」で 10.3 ポイント契約社員より低くなっている。

21.4 派遣労働者を活用するデメリット



派遣労働者を活用するデメリット(契約社員導入事業所) (N=370/H27、N=395/H23)

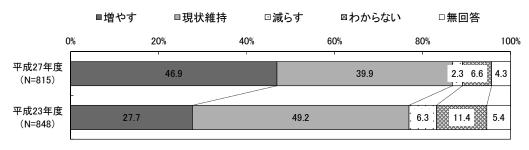


- ○契約社員導入事業所の派遣労働者を活用するデメリットは、「労働者の質のバラツキ」が30.0%と最も多く、以下、「技術伝承・ノウハウ蓄積の困難さ」(14.9%)、「継続的人材確保の困難」(13.2%)、「コストの増大」(13.0%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、契約社員導入事業所の派遣労働者を活用するデメリットは、いずれも「労働者の質のバラツキ」が最も多く、前回の23.3%から6.7ポイント増加している。また、「継続的人材確保の困難」が前回の11.1%から2.1ポイント増加した一方、「情報漏えいリスク等の増加」が前回の12.2%から2.5ポイント、「人事管理の繋雑さ」が前回の11.1%から1.9ポイント減少している。
- ○契約社員導入事業所において、契約社員を活用するデメリットと対比して見ると、派遣労働者を活用するデメリットは「コストの増大」で7.9ポイント、「労働者の質のバラツキ」で7.0ポイント、「情報漏えいリスク等の増加」で5.6ポイント契約社員より高くなっている。一方、「人事管理の繁雑さ」で15.1ポイント、「継続的人材確保の困難」で12.2ポイント契約社員より低くなっている。

22 今後の従業員の雇用計画

22.1 正社員

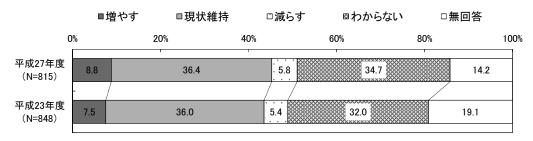




- ○契約社員導入及び未導入事業所(以下(「全事業所」とする。)の正社員の雇用計画は、「増やす」が46.9%、「現状維持」が39.9%、「減らす」が2.3%となっている。契約社員導入事業所の正社員の雇用計画は、「増やす」が45.9%、「現状維持」が41.1%、「減らす」が2.7%となっており、全事業所と比較すると、契約社員導入事業所においては正社員を「増やす」と回答した事業所の割合が1.0ポイント低くなっている。
- ○前回調査と比較すると、全事業所の正社員の雇用計画は「増やす」が前回の 27.7% から 19.2 ポイントと大幅に増加した一方、「現状維持」が前回の 49.2%から 9.3 ポイント、「減らす」が前回の 6.3%から 4.0 ポイント減少している。
- ○全事業所の正社員の雇用計画について主要事業内容別に見ると、「卸売・小売業」、「金融・保険業」、「教育、学習支援業」を除いた全ての業種で「増やす」が最も多くなっており、「建設業」(74.5%)、「情報通信業」(63.2%)、「不動産業」(57.1%)でその割合が高くなっている。一方、「教育、学習支援業」では「減らす」が12.7%となり、他の業種と比べて割合が高くなっている。

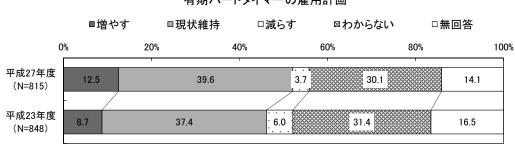
22.2 契約社員

契約社員の雇用計画



- ○全事業所の契約社員の雇用計画は、「現状維持」が36.4%、「増やす」が8.8%、「減らす」が5.8%となっている。契約社員導入事業所の契約社員の雇用計画は、「現状維持」が48.6%、「増やす」が17.3%、「減らす」が10.5%となっており、全事業所と比較すると、契約社員導入事業所においては契約社員を「現状維持」すると回答した事業所の割合が12.2ポイント、「増やす」が8.5ポイント、「減らす」が4.7ポイント高くなっている。
- ○前回調査と比較すると、全事業所の契約社員の雇用計画は「増やす」が前回の 7.5% から 1.3 ポイント増加している。
- ○全事業所の契約社員の雇用計画について主要事業内容別に見ると、「増やす」は「サービス業」で13.4%となり、他の業種と比べて割合が高くなっている。一方、「減らす」の割合は「教育、学習支援業」(18.2%)、「卸売・小売業」(11.0%)で高くなっている。

22.3 有期パートタイマー

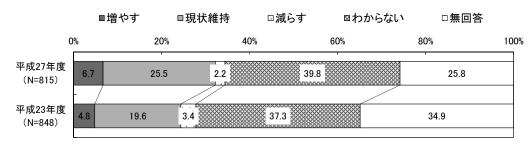


有期パートタイマーの雇用計画

- ○全事業所の有期パートタイマーの雇用計画は、「現状維持」が39.6%、「増やす」が12.5%、「減らす」が3.7%となっている。契約社員導入事業所の有期パートタイマーの雇用計画は、「現状維持」が40.0%、「増やす」が15.1%「減らす」が5.4%となっており、全事業所と比較すると、契約社員導入事業所においては有期パートタイマーを「増やす」と回答した事業所の割合が2.6ポイント、「減らす」が1.7ポイント高くなっている。
- ○前回調査と比較すると、全事業所の有期パートタイマーの雇用計画は「増やす」が 前回の8.7%から3.8ポイント増加した一方、「減らす」が前回の6.0%から2.3ポ イント減少している。
- ○全事業所の有期パートタイマーの雇用計画について主要事業内容別に見ると、「増やす」の割合は「医療、福祉」(27.2%)、「飲食店、宿泊業」(19.4%)、「サービス業」(19.0%)で他の業種と比べて高くなっている。一方、「減らす」の割合は「教育、学習支援業」(10.9%)、「情報通信業」(6.6%)、「製造業」(6.3%)で高くなっている。

22.4 無期パートタイマー

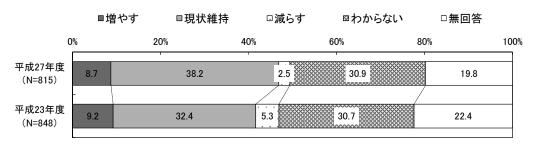
無期パートタイマーの雇用計画



- ○全事業所の無期パートタイマーの雇用計画は、「現状維持」が25.5%、「増やす」が6.7%、「減らす」が2.2%となっている。契約社員導入事業所の無期パートタイマーの雇用計画は、「現状維持」が19.7%、「増やす」が4.1%、「減らす」が3.0%となっており、全事業所と比較すると、契約社員導入事業所においては無期パートタイマーを「現状維持」すると回答した事業所の割合が5.8ポイント、「増やす」が2.6ポイント低くなっている。
- ○前回調査と比較すると、全事業所の無期パートタイマーの雇用計画は「増やす」は 前回の4.8%から1.9ポイント、「現状維持」は前回の19.6%から5.9ポイント増加 している。一方、「減らす」は前回の3.4%から1.2ポイント減少している。
- ○全事業所の無期パートタイマーの雇用計画について主要事業内容別に見ると、「増やす」の割合は「飲食店、宿泊業」(19.4%)、「医療、福祉」(15.2%)で他の業種と比べて高くなっている。一方、「減らす」の割合は「教育、学習支援業」で12.7%と高くなっている。

22.5 嘱託社員

嘱託社員の雇用計画

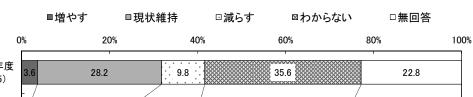


○全事業所の嘱託社員の雇用計画は、「現状維持」が38.2%、「増やす」が8.7%、「減らす」が2.5%となっている。契約社員導入事業所の嘱託社員の雇用計画は、「現状維持」が40.3%、「増やす」が9.5%、「減らす」が2.7%となっており、全事業所と

比較すると、契約社員導入事業所においては嘱託社員を「現状維持」すると回答した事業所の割合が 2.1 ポイント、「増やす」が 0.8 ポイント高くなっている。

- ○前回調査と比較すると、全事業所の嘱託社員の雇用計画は「現状維持」が前回の32.4%から5.8ポイント増加しており、「減らす」は前回の5.3%から2.8ポイント減少している。
- ○全事業所の嘱託社員の雇用計画について主要事業内容別に見ると、「増やす」の割合は「運輸業」で23.5%となり、他の業種と比べて高くなっている。一方、「減らす」の割合は「教育、学習支援業」(7.3%)、「不動産業」(7.1%)で高くなっている。

22.6 派遣労働者



派遣労働者の雇用計画

- 平成27年度 (N=815) 3.6 28.2 9.8 35.6 22.8 平成23年度 (N=848) 24.2 14.3 34.7 24.9
- ○全事業所の派遣労働者の雇用計画は、「現状維持」が28.2%、「減らす」が9.8%、「増やす」が3.6%となっている。契約社員導入事業所の派遣労働者の雇用計画は、「現状維持」が27.8%、「減らす」が14.1%、「増やす」が4.6%となっており、全事業所と比較すると、契約社員導入事業所においては派遣労働者を「減らす」と回答した事業所の割合が4.3ポイント高くなっている。
- ○前回調査と比較すると、全事業所の派遣労働者の雇用計画は、「現状維持」が前回の24.2%から4.0ポイント、「増やす」が前回の2.0%から1.6ポイント増加した一方、「減らす」が前回の14.3%から4.5ポイント減少している。
- ○全事業所の派遣労働者の雇用計画について主要事業内容別に見ると、「増やす」の割合は「教育、学習支援業」(7.3%)、「金融・保険業」(6.7%)で他の業種と比べて高くなっている。一方、「減らす」の割合は「製造業」(16.3%)、「卸売・小売業」(15.0%)で高くなっている。

23 有期雇用についての意見(自由意見欄)

23.1 有期雇用全般に対する意見

○消費税増税もあり、雇用単価も上昇するため、事業の継続がむずかしくなる。 …………(製造業) ○最低賃金が上がっても契約金額が上がらず、利益が減る一方。 …………………………(サービス業) ○福祉業界(特に介護、保育)は、慢性的に人材不足です。当法人では、賃金等を抑制するために有期労 働者を採用している訳ではなく、本人が希望する働き方を考慮すると、どうしても、正社員と差別化を 図るしかないのです。ただ、もっと好条件で募集をかけたいのですが、収入が決まっているため、好条 件(賃金)にもできないです。とにかく人材確保が大変で、この先を考えると恐ろしくなります。(医療、福祉) ○会社が求めるスキルを持つ人材が非常に見つかりにくくなっている ………………(サービス業) ○週における欠員防止には役立つが、継続的雇用には役立たず、労働者の再募集につながるというデメリ ○有期パートタイマーの中には、入社後すぐ退職したり、出勤しなくなる者もおり、連絡不通等が多々あ り、正直「続くかどうか」は実績ができてみないとわからない。にもかかわらず、雇用保険・社会保険 を短時間労働者へ適用拡大することは実体に沿っておらず現実的ではないと感じる。 (卸売・小売業) ○有期雇用の契約更新時期を管理し、更新契約の漏れがないように更新手続事務を行うなど、労務管理が 煩雑である。有期雇用のメリットとして、業務に適しているか判断し、良好な者は正社員にすることと している点は、都合が良いと考えます。 …………………………………………… (医療、福祉) ○派遣の何がいけなくて法改正をするのかわからない。定時で帰れる、責任の重い仕事をしなくて良いな ど、派遣には派遣の良さがある。正社員が良くて派遣がダメという風潮に疑問を感じる。資格や技能が あれば、正社員より派遣の方が稼げたりもする。低賃金で切られたりする派遣スタッフは能力が低いの が問題なのだから、法改正するより、技能を身につける方に注力するべきだと思います。能力給なのだ から、向上心を持つべき。正社員にしかなりたくないなら、それに見合う人間になるべき。派遣は企業 にとってリスクなく人を増やせて、スタッフにとっては気楽に働ける良いシステムなのに、どんどん改

23.2 現在の雇用状況

○有期雇用といっても毎年半期に一度更新し、雇用継続しているので、一定期間限りの雇用契約ではありません。有休等も引き継ぎしていますので、一般的な有期雇用ではない事をつけ加えておきます。また、有期パートタイマーから契約社員への登用制度もあり、契約社員から正社員登用もありますので、やる気しだいによっては雇用形態の変化もあります。ただ、労働者自身がパートタイム契約を希望し、正社員や契約社員に興味がない方も多い気がします。小売業においては、薄利多売で利益が低いので、人件費があまり高騰してしまうと倒産、閉鎖するところも出てくるのではないのでしょうか。 …… (卸売・小売業) ○本人が希望しての有期雇用(週 3or4 勤務)なので、本人が希望すればいつでも正職員にする予定です。 (サービス業) ○原則、入社後6ヵ月間を契約社員とし、6ヵ月後に正社員転換している。実際の運用や過去実績でも、最大で1年までの契約となっており、その後、契約を終了するか、または正社員に転換している。 (製造業) ○8:00~23:00までの勤務時間帯で実働1日7時間を基準としているが、家庭の事情等で夜の時間帯に

勤務が不可能な方の労働形態として、パート・契約職員という正職員を補完する業務が形成された。看	
護師等の人材不足もあり、正職員への転換を経営側から勧めているが、家庭との両立を考えるとパート	
のままの方が良いという回答が多い。事務職員、看護助手については、業務量を考えて将来は正職員へ	
の登用を考えている。職種(看護士、事務職員、看護助手)が異なることから、一概に全員を正職員に	
勧められない事情があり、また、労働者の資質も様々であり、所内で将来について検討中である。	
(医療、福祉)	
○当社は正社員しかおらず、契約社員等や外国人の雇用がないので、他社の情報も気になります。	
(運輸業)	
○原則として、警備員に契約社員はいない。	
〇パートタイマー、契約社員を含め、契約期間は1年で区切っておりますが、実質的には自動更新となっ	
ているため、有期、無期を意識している職員は少ないと思います。また、今回該当の事業所は契約社員	
の在籍がありません。全体では、フルタイム相当の職員は、正規約60%、契約40%程度となっておりま	
す。 (その他)	
○弊社における有期雇用(契約社員)は、あくまで、正社員としての適性を見極めるために雇用している	
ので、継続して契約社員を雇用するわけではありません。自己都合による退社以外は、これまでほとん	
ど正社員化されています。	
○仕事が1年ごとの入札であるため、有期雇用になります。(サービス業)	
○弊社はビル清掃を業としておりまして、清掃の実務または単純作業しかやりたくないという労働者が多	
く在籍しております。無期雇用者(正社員)は他部署への人事異動がありますので、有期雇用者に無期	
雇用を勧めても、他部署に異動したくない、清掃しかできない、責任を持ちたくないとの理由で辞退す	
るケースが多々あります。必ずしも労働者が無期雇用を求めているわけではないのが現状です。	
○当社は全員正社員制度であり、子育て等で正社員(5日-40時間)と同等の時間働くことが出来ない者が	
契約社員となっています。その後、本人が望めば正社員に無条件でなれます。60 才代の契約社員は、定	
年後(60才)の者です。新入社員も正社員として採用しています。(サービス業)	
○業種の特殊性により、有期雇用は実施していない。 (その他)	
23.3 今後の採用方針	
○現在の労働者びいきの労働基準法では、契約社員、バイト社員での入職をメインに雇用していくほかな	
い。正社員にふさわしい労働意欲、姿勢があれば、正社員に登用することも考えている。待遇の大幅な	
見直しもある。	
○当社の業務は有期雇用やパートではまかせられません。今後も社員以外採らずじっくりと育てます。	
(建設業)	
○当社では正社員で全部をまかなう予定。 (建設業)	
○契約社員は、条件等が中途半端なので、増やす予定はありません。正社員になると、人事異動で遠隔地	
への勤務の可能性があるので、正社員募集を受けない人もいます。売上が頭打ちなので、人件費は減ら	
す傾向にあり、正社員が減り、有期パートが増えています。有期パートにも責任を持ってもらう為、手	
当の増も考えています。正社員の定年は60才なので、65才までは再雇用(嘱託)しています。但し、	
まからも考えています。正社員の定中は500才なので、500才までは円准用で嘱託がしています。但し、 能力に差があり、希望者を全員雇わなければならない為、今後増えそうです。社員の総数はある程度決	
っている(人件費のトータルは決まっている)ので、再雇用が増えると正規の新人が雇えなくなります。	
(卸売・小売業)	

23.4 法改正についての意見、行政への要望等

- ○労働契約法が改正され、「施行日 (H25.4.1) から5年を超えて反復更新され、有期労働者から期間の定めのない労働契約の申込みがあった場合はその任期満了日の翌日から無期労働契約としなければならない」とされたところである。しかしながら、5年を超えた(超える)有期労働者が全員無期への申込みをされた場合、全ての労働者を無期へと転換することは難しい。5年を超えて契約更新する者の選抜について、転換基準等が必要になるが、労働紛争となる可能性も大きく秘めていることから非常にナーバスな問題である。とどのつまり、早期の雇用契約打ち切りを招いて雇用が不安定になっては本末転倒ではなかろうか。 (教育、学習支援業)
- ○正社員になりたくない人や正社員になれない理由のある人への雇用対応として、パートタイマー等の雇用形態は必要だと思う。雇用保険との関連で、例えば障害者雇用の義務化について、短時間しか就労できない(雇用保険に入れない)人は人数にカウントされないので、障害があっても歓迎されないような現象が起きるかもしれないと思う。人工透析を受けながら1日おきに就労している人についても障害者の人数には0と書くしかない。就労の自由や障害者や高齢者の就労について考えるとき、企業がデメリットと感じてしまうような制度上の矛盾をなんとかする必要があると思う。 ………… (医療、福祉)
- ○弊社は人材派遣事業を営んでいるため、契約社員の90%以上が派遣先で仕事をする派遣従業員であり、 さらにその90%は外国籍の技術者であるという特殊性がある。国籍を問わずこうした特定の専門能力を 持った人材は、海外でプラントやインフラ設備の構築を請け負う日系のエンジニアリング企業にとって 即戦力となる人材として、国内の事業所およびプラント建設現地において多くの継続的需要がある。グ ローバルに展開するエンジニアリング業界では、こうした専門性をもった人材の流動性が国境を越えて きわめて高く、個々のプロジェクトの期間(平均1~3年、場合によってはそれ以上)に応じた有期雇用 が一般的である。また、技術者側にとっても、様々な雇用主、プロジェクトあるいは職種におけるキャ リアを積み重ねて自らの能力レベルおよび付加価値をステップアップさせてゆく、いわゆる"ジョブホ ッピング"を志向するケースが多い。外国人技術者はこうした事情もあり、我が国で働く場合において も、終身雇用は最初から想定外であり、無期雇用に対するこだわりもまったくない。一方我が国では、 これまで戦後の高度成長を支える大きな要因の一つとなった、新卒者一斉採用による終身雇用制が、21 世紀になって限界を迎えていることは明らかであり、こうした雇用形態のみを正規雇用として定義し、 望ましい働きかたとみなすこと自体に無理が生じている。労働法制、とりわけ労働者派遣法にいたって は、ここ何年かの改定を通じた迷走は甚だしく、目先かつ部分的修正を繰り返すことで初期の専門技術 者派遣の目的に合致せず、派遣従業員自身の不利益を増大しかねないなど、全体最適に程遠く多くの弊 害を生むにいたっている(本年9月30日施行の改正派遣法はどう考えても改悪デメリットの方が大きい)。 これからの日本の状況とりわけ少子高齢化傾向を急に是正できないことを考えれば、女性、高齢者さら には外国人の活用は言うまでもなく、これまでの正規・非正規の線引きを撤廃して、労働者および雇用 者である企業双方の潜在的ニーズを満たすような、多様な働きかたを可能とする方向に変えざるを得な い。法規制は職場での具体的な現実を踏まえたうえで、そうした長期の視点から整備してゆくべきであ る。特に東京都におかれては、これからのあるべき日本のショーケースとして、様々な特区制度を活用 して、多様な働きかたの実現をリードしてほしい。その一環として外国人材の活用は避けてとおれず、 すべての外国人にとって真に住みやすく働きやすい都市づくりが進むことが大いに望まれる。東京オリ ンピックの後の経済的落ち込みを懸念する声も多いが、それを避けるためにもオリンピックを目的とせ ず、手段の一つと考えることによって、我が国のあるべき未来へ向けたあらたな都市づくりのスプリン グボードにしてもらいたいものである。 ………………………………………………………(サービス業)
- ○夫の扶養の範囲内で働きたいという意向が強い労働者もいる。そのため時給単価が 1000 円程度となると、

年間の勤務時間が制約され、人数を増やしてカバーせざるを得なくなる。税制を変えていただき、長く働けば収入も増える(家計、世帯)となるようにしてもらいたい。そうしないと、有期雇用者の数ばかり増えて、人事管理の手間やコストが負担となるし、教育訓練やノウハウの蓄積においても課題が出る。......(医療、福祉)

○<労働者派遣法改正について>派遣職員本人が、派遣としての働き方を望んでいる場合、「1人の派遣労働者が同じ部署で働ける期間を3年とする」枠を撤廃してほしい。お互いの希望が一致していれば、継続してもらいたい。(優秀な人を確保するため)。

<労働契約法無期労働契約への転換制度について>事業場全体の方針として、「通算勤続年数が5年以内となる」よう制度が定められたため、一斉に教員が辞める時期があり、次の教員を探せるか心配があります。今現在無期転換制度は検討しておらず、クーリングオフ期間が上手に利用できるか等、今後の検討が必要です。 (教育、学習支援業)

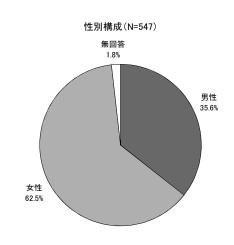
第3章 契約社員(個人)調査の集計結果

第3章 契約社員(個人)調査の集計結果

1 回答者の概要

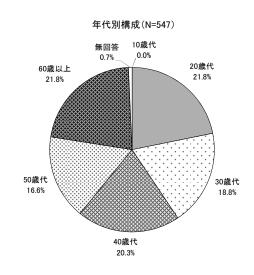
1.1 性別構成

○男女別構成は、「男性」が35.6%、「女性」 が62.5%となっている。



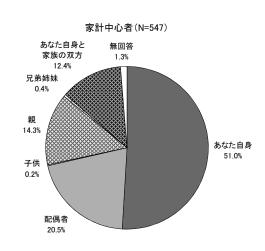
1.2 年代別構成

○年代別構成は、「20歳代」と「60歳以上」が21.8%で最も多く、以下、「40歳代」 (20.3%)、「30歳代」(18.8%)、「50歳代」 (16.6%)と続いている。



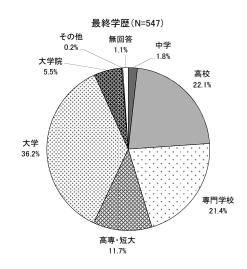
1.3 家計中心者

○家計中心者は、「回答者自身」が 51.0%を 占めて最も多く、以下、「配偶者」(20.5%)、 「親」(14.3%)、「回答者自身と家族の双 方」(12.4%) と続いている。



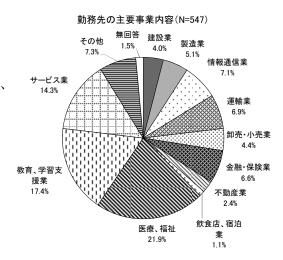
1.4 最終学歴

○最終学歴は、「大学」が 36.2%を占めて最 も多く、以下、「高校」(22.1%)、「専門学 校」(21.4%)「高専・短大」(11.7%)と続 いている。



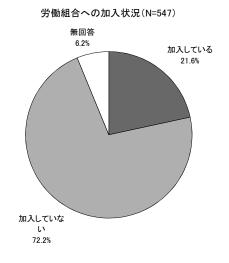
1.5 勤務先の主要事業内容

○勤務先の主要事業内容は、「医療、福祉」が 21.9%を占めて最も多く、以下、「教育、学 習支援業」(17.4%)、「サービス業」(14.3%)、 「情報通信業」(7.1%) と続いている。



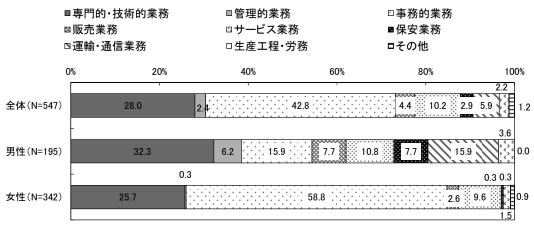
1.6 労働組合への加入状況

○労働組合への加入状況は、「加入している」が 21.6%、「加入していない」が 72.2% となっている。



1.7 業務内容

業務内容



※「その他」には「無回答」を含む

- ○現在の契約での業務内容は、「事務的業務」が 42.8%を占めて最も多く、以下、「専門的・技術的業務」(28.0%)、「サービス業務」(10.2%) と続いている。
- ○男女別に見ると、男性は「専門的・技術的業務」が32.3%で最も多く、女性は「事務的業務」が58.8%で最も多くなっている。
- ○勤務先の主要事業内容ごとに第3順位までの業務内容をあげると以下のとおりである。

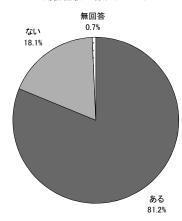
主要事業内容別の業務内容

	第 1 順位	第2順位	第3順位
建設業	専門的・技術的業務(59.1%)	事務的業務 (18.2%)	管理的業務(13.6%)
製造業	専門的・技術的業務(60.7%)	事務的業務 (14.3%)	生産工程・労務(10.7%)
情報通信業	事務的業務 (59.0%)	専門的・技術的業務(33.3%)	運輸・通信業務 (5.1%)
運輸業	運輸・通信業務 (71.1%)	事務的業務 (21.1%)	生産工程・労務(5.3%)
卸売・ 小売業	販売業務(37.5%)	専門的・技術的業務(33.3%)	事務的業務(25.0%)
金融・ 保険業	事務的業務(58.3%)	販売業務 (16.7%)	専門的・技術的業務/管理的業務/サービス業務/保安業務(5.6%)
不動産業	事務的業務(76.9%)	専門的・技術的業務/管理的業務/販売業 務(7.7%)	-
飲食店、 宿泊業	サービス業務 (50.0%)	専門的・技術的業務/事務的業務/生産工程・労務(16.7%)	-
医療、福祉	事務的業務(40.0%)	専門的・技術的業務(37.5%)	サービス業務(19.2%)
教育、 学習支援業	事務的業務 (60.0%)	専門的・技術的業務 (35.8%)	管理的業務(3.2%)
サービス業	サービス業務(30.8%)	事務的業務 (24.4%)	保安業務(17.9%)

2 契約社員になる前の他の勤務形態での勤務経験の有無

- ○契約社員になる前の契約社員以外の勤務形態で働いた経験の有無は、「ある」が81.2%、「ない」が18.1%となっている。
- ○契約社員になる前の他の勤務形態での 勤務経験の有無について、業務内容別 に見ると、「ある」は「事務的業務」 (77.4%)を除いて全ての業務内容で 8割を超えている。

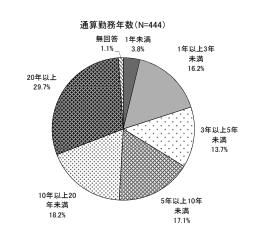
契約社員になる前の他勤務形態での 勤務経験の有無(N=547)



3 契約社員になる前の勤務状況

3.1 契約社員になる前の通算勤務年数

- ○契約社員になる前の通算勤務年数は、「20年以上」が29.7%を占めて最も多く、以下、「10年以上20年未満」(18.2%)、「5年以上10年未満」(17.1%)と続いている。
- ○契約社員になる前の通算勤務年数を男女別に見ると、男性は「20年以上」(52.8%)が最も多く、「5年以上」は78.0%、「5年未満」が21.4%となっている。一方、女性は「10年以上20年未満」(21.5%)が最も



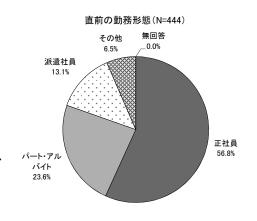
多く、「5年以上」は57.1%、「5年未満」は41.5%となっている。

「20 年未満の区分」はいずれも女性の方が男性より高くなっているが、「20 年以上」では男性(52.8%)が女性(16.0%)より36.8 ポイント高くなっている。

○契約社員になる前の通算勤務年数を業務内容別に見ると、「サービス業務」を除いた 全ての業務で「20年以上」が最も多く、特に「管理的業務」は「20年以上」が72.7% と他の業務内容と比べて高くなっている。「サービス業務」は「1年以上3年未満」 (22.9%)が最も多くなっている。

3.2 契約社員になる直前の勤務形態

- ○契約社員になる直前の勤務形態は、「正社 員」が 56.8%を占めて最も多く、以下、 「パート・アルバイト」(23.6%)、「派 遣社員」(13.1%)、「その他」(6.5%) となっている。
- ○契約社員になる直前の勤務形態について、 男女別に見ると、「正社員」であった割 合は男性(76.1%)が女性(45.8%)よ り30.3ポイント高くなっている。



○契約社員になる直前の勤務形態について、業務内容別に見ると、「正社員」であった 割合は、「事務的業務」(49.7%)、「サービス業務」(37.5%)を除いた全ての業務内 容において5割を超えている。

「事務的業務」では「派遣社員」から、「サービス業務」では「パート・アルバイト」 から契約社員になった人の割合が他の業務内容に比べて高くなっている。

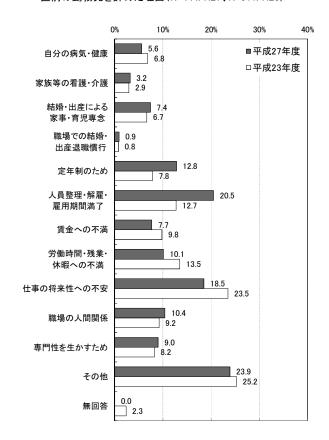
3.3 直前の勤務先を辞めた理由(2つまで回答可)

○直前の勤務先をやめた理由としては、「人員整理・解雇・雇用期間満了」が20.5%で最も多く、以下、「仕事の将来性への不安」(18.5%)、「定年制のため」(12.8%)、「職場の人間関係」

(10.4%) と続いている。

○直前の勤務先を辞めた理由を男 女別に見ると、「人員整理・解雇・ 雇用期間満了」は男性 16.6%、女 性 22.5%、「仕事の将来性への不 安」は男性 17.8%、女性 19.3% で、男女とも 2 割前後となってい る。

また、男性は「定年制のため」 (31.3%)、「賃金への不満」 (10.4%)の割合が高くなっており、女性は「結婚・出産による家事・育児専念」(11.6%)、「労働時間・残業・休暇への不満」 直前の勤務先を辞めた理由(N=444/H27、N=511/H23)

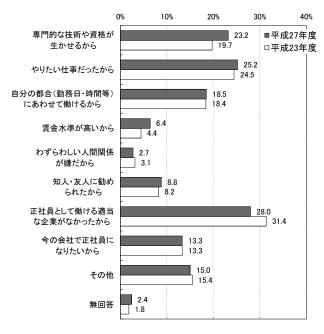


(12.7%)、「専門性を生かすため」(11.3%)の割合が高くなっている。

4 契約社員の仕事を選んだ理由(2つまで回答可)

- ○契約社員の仕事を選んだ理由 としては、「正社員として働け る適当な企業がなかったから」 が28.0%で最も多く、以下、「や りたい仕事だったから」 (25.2%)、「専門的な技術や資 格が生かせるから」(23.2%)、
 - (25.2%)、「専門的な技術や貸格が生かせるから」(23.2%)、「自分の都合(勤務日・時間等)にあわせて働けるから」
 - (18.5%) と続いている。
- ○前回調査と比較すると、いずれ も「正社員として働ける適当な 企業がなかったから」(前回調 査(31.4%)、今回調査 (28.0%))が最も多くなって
 - いるが、前回から3.4ポイント

契約社員の仕事を選んだ理由(N=547/H27、N=609/H23)



減少している。一方、「専門的な技術や資格が生かせるから」が前回の 19.7%から 3.5 ポイント、「賃金水準が高いから」が前回の 4.4%から 2.0 ポイント、「やりたい 仕事だったから」が前回の 24.5%から 0.7 ポイント増加している。

○契約社員の仕事を選んだ理由を男女別に見ると、男性は「専門的な技術や資格が生かせるから」が 29.2%で最も多く、一方、女性は「正社員として働ける適当な企業がなかったから」が 28.4%で最も多くなっている。

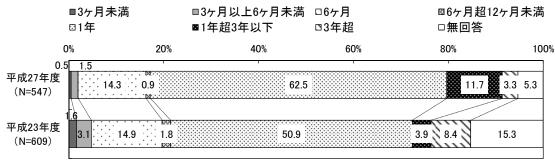
「専門的な技術や資格が生かせるから」は男性が 29.2%、女性が 19.9%で 9.3 ポイント、「知人・友人に勧められたから」は男性が 12.3%、女性が 7.0%で 5.3 ポイント男性が高くなっている。また、「自分の都合(勤務日・時間等)にあわせて働けるから」は女性が 22.5%、男性が 11.8%で 10.7 ポイント、「やりたい仕事だったから」は女性が 27.5%、男性が 22.1%で 5.4 ポイント女性が高くなっている。

○年齢別に見ると、「専門的な技術や資格が生かせるから」は年齢が高くなるにつれて増加する傾向にある。20歳代に特徴的な理由として、「やりたい仕事だったから」(42.9%)、「今の会社で正社員になりたいから」(30.3%)が他の年齢層に比べて高くなっている。また、40歳代では「自分の都合(勤務日・時間等)にあわせて働けるから」(33.3%)、50歳代では「正社員として働ける適当な企業がなかったから」(42.9%)が高くなっている。

5 現在の契約について

5.1 契約期間





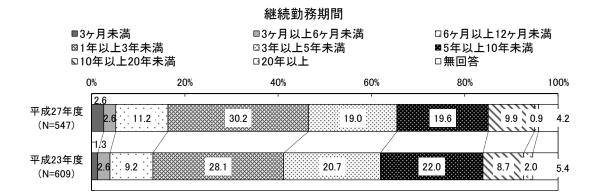
- ○現在の契約期間は、「1年」が62.5%を占めて最も多く、以下、大きく割合が低下して「6ヶ月」(14.3%)、「1年超3年以下」(11.7%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、いずれも「1年」が最も多く、前回の 50.9%から 11.6 ポイント増加している。また、「1年超 3年以下」は前回の 3.9%から 7.8 ポイント増加した一方、「1年未満」は前回の 21.4%から 4.2 ポイント減少している。
- ○現在の契約期間を男女別に見ると、男女とも「1年」が6割を超えて最も多くなっている。

「1 年超 3 年以下」は女性が 13.7%、男性が 8.2%で 5.5 ポイント女性が高くなって おり、逆に「6 ヶ月以下」は男性が 22.6%、女性が 12.3%で 10.3 ポイント男性が高くなっている。

○現在の契約期間を業務内容別に見ると、「運輸・通信業務」(25.0%)、「販売業務」 (45.8%)を除いた全ての業務で「1年」が5割以上を占めている。

他の業務内容に比べて「6ヶ月以下」の割合が高いのは「運輸・通信業務」(71.9%)であり、「1年超」の割合が高いのは「販売業務」(20.9%)、「事務的業務」(19.2%)となっている。

5.2 継続勤務期間



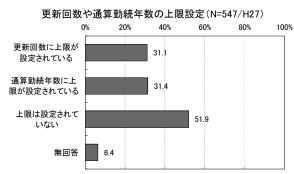
- ○平成 27 年 11 月現在での継続勤務期間の平均年数は 4.4 年であった。継続勤務期間 については、「1 年以上 3 年未満」が 30.2%を占めて最も多く、以下、「5 年以上 10 年未満」(19.6%)、「3 年以上 5 年未満」(19.0%) と続いている。
- ○前回調査と比較すると、継続勤務期間について、「3年以上」が前回の53.4%から4.0 ポイント減少し、逆に、「3年未満」が前回の41.2%から5.4ポイント増加している。
- ○継続勤務期間を男女別に見ると、「1年以上3年未満」の割合が男性27.2%、女性32.7%を占めて男女ともに最も多くなっている。
- ○継続勤務期間を業務内容別に見ると、平均年数は「販売業務」が 6.0 年と最も長く、 以下、「運輸・通信業務」(5.7年)、「管理的業務」(5.1年)と続いている。 他の業務内容に比べ「1年以上3年未満」の割合が多い業務内容は「専門的・技術的 業務」(34.0%)、「事務的業務」(33.3%)、「生産工程・労務」(33.3%)、「保安業務」 (31.3%)となっている。

他の業務内容に比べ「1 年未満」の割合が多い業務内容は「サービス業務」(25.0%)、「生産工程・労務」(25.0%)で、「3 年以上」の割合が多い業務内容は「販売業務」(75.0%)、「運輸・通信業務」(65.6%)、「管理的業務」(61.6%)となっている。

5.3 契約更新回数・通算勤続年数の上限

5.3.1 上限設定の有無(複数回答可)

○更新回数や通算勤続年数の上限 設定については、「上限は設定されていない」が51.9%で最も多く、 「通算勤続年数に上限が設定されている」が31.4%、「更新回数 に上限が設定されている」が31.1%となっている。



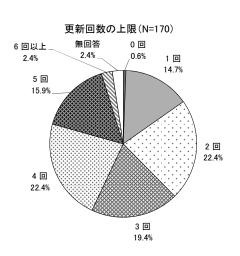
- ○更新回数や通算勤続年数の上限
 - 設定を男女別に見ると、「上限は設定されていない」の割合が男性 63.6%、女性 45.3% を占めて男女とも最も多くなっている。
- ○業務内容別に見ると、「上限は設定されていない」の割合は「事務的業務」(36.3%) を除く全ての業務内容で6割以上となっており、特に「運輸・通信業務」(84.4%) では他の業務内容と比べて高くなっている。

「事務的業務」では、「通算勤続年数に上限が設定されている」が 49.1%、「更新回数に上限が設定されている」が 42.7%となり、上限が設定されている割合が高くなっている。

○契約期間別に見ると、契約期間が長い方が、更新回数や通算勤続年数の上限を「設定していない」とする割合が低い傾向が見られる。

5.3.2 契約更新回数の上限

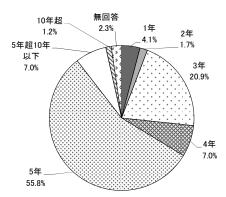
○更新回数の上限については、「2回」と「4回」 がともに22.4%で最も多く、以下、「3回」 (19.4%)、「5回」(15.9%)と続いている。



5.3.3 通算勤続年数の上限

- ○通算勤続年数の上限の平均は4.5年であった。通算勤続年数の上限については、「5年」が55.8%で過半数を占めて最も多く、以下、「3年」が20.9%、「4年」が7.0%、「5年超10年以下」が7.0%となっている。
- ○労働組合加入の有無別に見ると、加入者・ 非加入者ともに「5年」の割合が最も多く、 労働組合加入者は61.9%、非加入者は 52.4%となっている。また、通算勤続年数

通算勤続年数の上限 (N=172)



の上限が「5年を超える」との回答は、労働組合加入者は 14.3%、非加入者は 6.4% となっている。

6 労働条件

6.1 週の所定労働時間

- ○週の所定労働時間は、平均 38.4 時間で、「35 時間以上 40 時間未満」が 40.0%、「40 時間」が 34.6%となり、これらをあわせた「35 時間以上 40 時間以下」が 74.6%を占めている。
- ○週の所定労働時間を男女別に見ると、男性では「40 時間」が43.6%、「35 時間以上40時間未満」が30.3%であるが、女性では「35時間以上40時間未満」が46.2%、「40時間」が29.8%となっている。

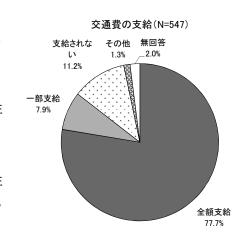
無回答 30時間未満 30時間以上 35時間未満 4.0% 35時間未満 4.0% 40時間 40時間 34.6%

週の所定労働時間(N=547)

- ○業務内容別に見ると、「保安業務」を除いた全ての業務内容で「35 時間以上 40 時間 未満」又は「40 時間」のいずれかが最も多くなっており、「保安業務」では「40 時間超」(31.3%)が最も多くなっている。また、他の業務内容と比較して「35 時間以上 40 時間未満」の割合が高いのは「生産工程・労務」(66.7%)、「事務的業務」(55.6%)で、「40 時間超」では、「保安業務」(31.3%)、「販売業務」(20.8%)となっている。
- ○労働組合加入の有無別に見ると、「40 時間未満」では、労働組合非加入者は 50.8%、加入者は 45.7%となり、5.1 ポイント非加入者が高くなっている。また、「40 時間以上」では、労働組合加入者は 46.7%、非加入者は 44.3%となっており、2.4 ポイント加入者が高くなっている。

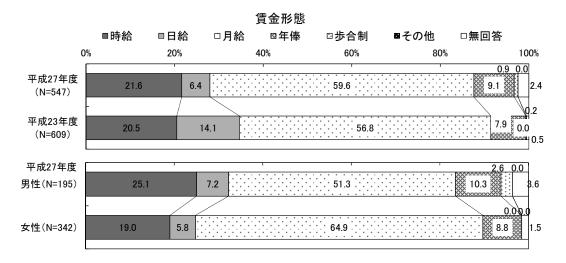
6.2 交通費の支給

- ○交通費の支給については、「全額支給」が 77.7%を占め、「支給されない」が11.2%、 「一部支給」が7.9%となっている。
- ○男女別に見ると、男女とも「全額支給」が 7割を超えているが、女性が 79.2%で男性 より 4.3 ポイント高くなっている。一方、 「一部支給」は男性が 10.8%で女性より 4.4 ポイント高く、「支給されない」も男性 が 12.3%で女性より 1.8 ポイント高くなっ ている。



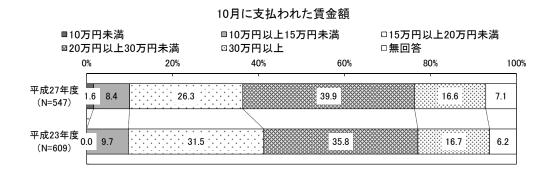
○業務内容別に見ると、全ての業務で「全額支給」が最も多く、「管理的業務」で100.0%、「保安業務」で93.8%となっている。一方、「支給されない」の割合は、「運輸・通信業務」(34.4%)で高くなっている。

6.3 賃金形態

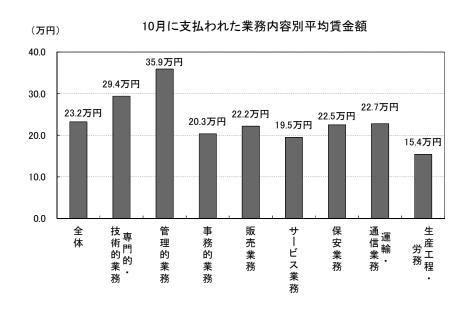


- ○賃金形態としては、「月給」が59.6%を占めて最も多く、以下、「時給」(21.6%)、「年棒」(9.1%)、「日給」(6.4%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、賃金形態について、「月給」が前回の 56.8% から 2.8 ポイント、「年俸」が前回の 7.9% から 1.2 ポイント、「時給」が前回の 20.5% から 1.1 ポイント増加している。一方、「日給」は前回の 14.1% から 7.7 ポイント減少している。
- ○業務内容別に賃金形態を見ると、「月給」では「管理的業務」(69.2%)、「事務的業務」(68.8%)が、「時給」では「運輸・通信業務」(68.8%)、「生産工程・労務」(58.3%)、「販売業務」(41.7%)が、「日給」では「専門的・技術的業務」(11.1%)が、「年俸」では「管理的業務」(30.8%)、「専門的・技術的業務」(15.0%)が他の業務内容と比べて割合が高くなっている。
- ○労働組合加入の有無別に見ると、加入者・非加入者ともに「月給」が最も多くを占めるが、労働組合加入者は 62.7%、非加入者は 58.7%で 4.0 ポイント加入者が高い。 一方、「年俸」では非加入者が 10.4%、加入者が 5.1%で 5.3 ポイント、「日給」では非加入者が 7.3%、加入者が 2.5%で 4.8 ポイント非加入者が高くなっている。

6.4 10月に支払われた賃金額

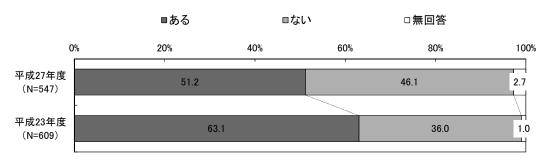


- ○10月分の賃金額(税込、通勤手当除く)は、平均が23.2万円で、「20万円以上30万円未満」が39.9%を占めて最も多く、以下、「15万円以上20万円未満」(26.3%)、「30万円以上」(16.6%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、10月分の賃金額について、「20万円未満」が前回の41.2%から4.9ポイント減少し、逆に、「20万円以上」が前回の52.5%から4.0ポイント増加している。
- ○業務内容別の平均賃金額を見ると、高い順に「管理的業務」(35.9万円)、「専門的・技術的業務」(29.4万円)、「運輸・通信業務」(22.7万円)となっており、低い順では「生産工程・労務」(15.4万円)、「サービス業務」(19.5万円)、「事務的業務」(20.3万円)となっている。

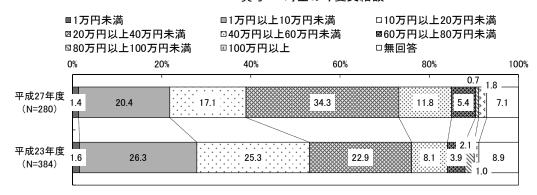


6.5 賞与·一時金





賞与・一時金の今夏支給額

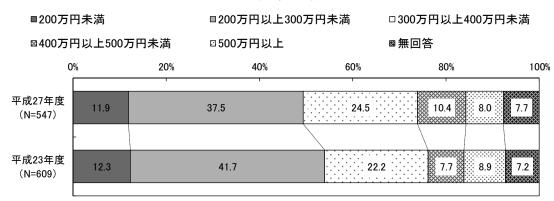


- ○賞与・一時金については、「ある」が 51.2%、「ない」が 46.1%となっている。「ある」とした回答者の今夏の支給額(税込)は平均 26.6万円で、「20万円以上 40万円未満」が 34.3%を占めて最も多く、以下、「1万円以上 10万円未満」(20.4%)、「10万円以上 20万円未満」(17.1%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、賞与・一時金について「ある」が前回の 63.1%から 11.9 ポイント減少している。
 - また、賞与・一時金が「ある」とした回答者の今夏の支給額は、「20 万円未満」が前回の53.2%から14.3 ポイント減少し、「20 万円以上」が前回の38.0%から16.0 ポイント増加している。
- ○男女別に見ると、女性は「ある」が 53.5% と 5 割を超えているが、男性は 47.2% で 6.3 ポイント女性が高くなっている。
 - また、賞与・一時金が「ある」とした回答者の支給額の平均は、男性が25.7万円、 女性が27.2万円となっている。
- ○業務内容別に見ると賞与・一時金が「ある」の割合は、「保安業務」(18.8%)、「専門的・技術的業務」(34.6%)、「サービス業務」(44.6%)、「管理的業務」(46.2%)で低くなっており、これらを除く業務内容では「ある」が6割を超えている。
 - 支給額の平均を高い順に見ると、「管理的業務」(62.0万円)、「専門的・技術的業務」(37.4万円)、「事務的業務」(27.4万円)となっており、低い順では「生産工程・

労務」(6.5万円)、「運輸・通信業務」(9.6万円)、「保安業務」(13.3万円)となっている。

6.6 年収見込額





- ○年収見込額(税込) は平均 307.1 万円で、「200 万円以上 300 万円未満」が 37.5%を 占めて最も多くなっている。「300 万円未満」が 49.4%で5割近くを占め、500 万円 以上」は 8.0%となっている。
- ○前回調査と比較すると、年収見込額について、「300万円未満」が前回の54.0%から4.6ポイント減少し、逆に、「300万円以上」が前回の38.8%から4.1ポイント増加している。
- ○業務内容別に年収見込額の平均を高い順に見ると、「管理的業務」(485.3万円)、「専門的・技術的業務」(375.8万円)、「販売業務」(300.7万円)となっており、低い順では「生産工程・労務」(195.2万円)、「サービス業務」(261.7万円)、「事務的業務」(278.9万円)となっている。

6.7 退職金制度

- ○退職金制度については、「ある」が14.4%、「ない」が76.4%、「わからない」が5.9%となっている。
- ○男女別に見ると、退職金制度が「ある」は、 女性が 16.4%、男性が 11.8%で 4.6 ポイン ト女性が高くなっている。
- ○業務内容別に見ると、退職金制度が「ある」の割合は、「販売業務」(45.8%)で高くなっている。一方、「ない」の割合は「運輸・通信業務」(93.8%)で高くなっている。
- ○労働組合加入の有無別で見ると、退職金制度 が「ある」は、労働組合加入者が19.5%、非加入者が11.6%で7.9ポイント加入者 が高くなっている。



退職金制度(N=547)

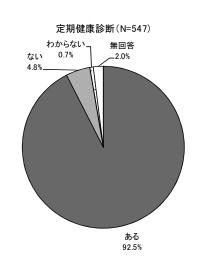
無回答

3.3%

わからない

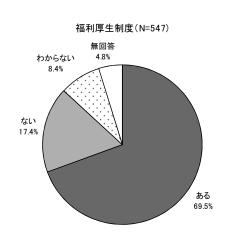
6.8 定期健康診断

○定期健康診断については、「ある」が92.5%、「ない」が4.8%となっている。



6.9 福利厚生制度

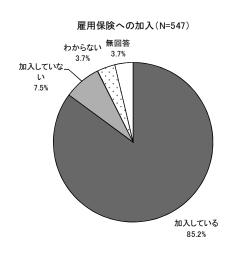
- ○福利厚生制度については、「ある」が69.5%、「ない」が17.4%、「わからない」が8.4%となっている。
- ○男女別に見ると、福利厚生制度が「ある」は、 女性が 74.0%、男性が 63.6%で 10.4 ポイン ト女性が高くなっている。
- ○業務内容別に見ると、福利厚生制度が「ある」の割合は、「管理的業務」(84.6%)、「販売業務」(79.2%)で高く、「保安業務」(37.5%)、「運輸・通信業務」(40.6%)で低くなっている。



○労働組合加入の有無別で見ると、福利厚生制度が「ある」は、労働組合加入者が81.4%、 非加入者が66.3%で15.1ポイント加入者が高くなっている。

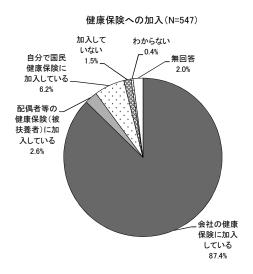
6.10 雇用保険への加入

○雇用保険への加入については、「加入している」が 85.2%、「加入していない」が 7.5% となっている。



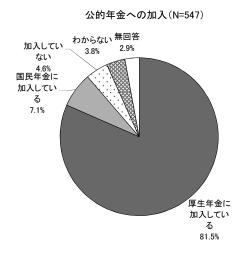
6.11 健康保険への加入

○健康保険への加入については、「会社の健康保険に加入している」が87.4%、「自分で国民健康保険に加入している」が6.2%、「配偶者等の健康保険(被扶養者)に加入している」が2.6%、「加入していない」が1.5%となっている。



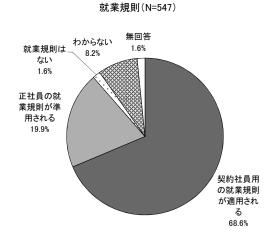
6.12 公的年金への加入

○公的年金への加入については、「厚生年金に加入している」が81.5%、「国民年金に加入している」が7.1%、「加入していない」が4.6%となっている。



6.13 就業規則

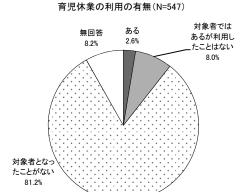
- ○適用されている就業規則については、「契 約社員用の就業規則が適用される」が 68.6%、「正社員の就業規則が準用される」 が19.9%となっている。
- ○業務内容別に見ると、いずれの業務でも「契約社員用の就業規則が適用される」が最も多く、「運輸・通信業務」(87.5%)、「サービス業務」(75.0%)、「生産工程・労務」(75.0%)、「事務的業務」(71.8%)で他の業務内容より割合が高くなっている。一方、「正社員の就業規則が準用され



る」は、「販売業務」(33.3%)、「管理的業務」(30.8%)で割合が高くなっている。

6.14 現在の職場での育児休業の利用の有無

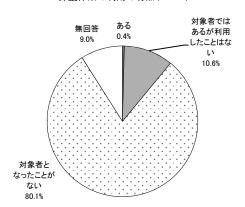
○現在の職場での育児休業の利用の有無については、「対象者となったことがない」が81.2%を占めて最も多く、「対象者であるが利用したことはない」が8.0%、「(利用したことが)ある」が2.6%となっている。 育児休業の対象者においては24.1%が「(利用したことが)ある」となっている。



6.15 現在の職場での介護休業の利用の有無

○現在の職場での介護休業の利用の有無に ついては、「対象者となったことがない」が 80.1%を占めて最も多く、「対象者であるが 利用したことはない」が10.6%、「(利用した ことが)ある」が0.4%となっている。介護 休業の対象者においては3.3%が「(利用した ことが)ある」となっている。

介護休業の利用の有無(N=547)

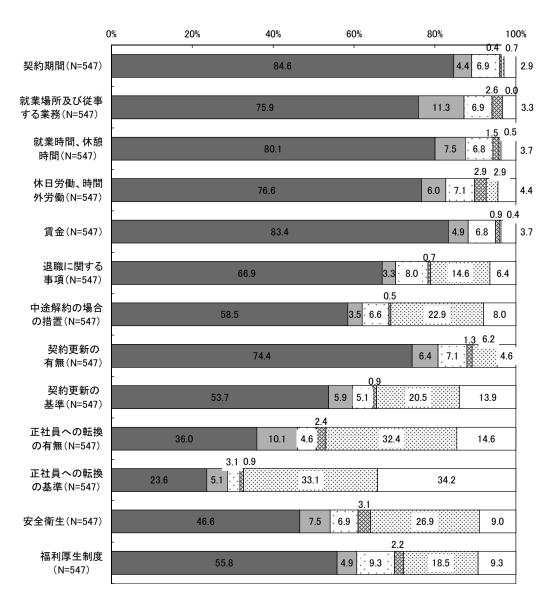


7 労働条件の通知の状況及びその実態

7.1 労働条件等の通知の状況

労働条件等の通知の状況

- ■文書にて契約締結時に通知された □文書にて契約締結後に通知された □現在も明確でない
- □口頭にて契約締結時に通知された 図口頭にて契約締結後に通知された
- □無回答



7.1.1 契約期間

○契約期間の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が84.6%、「契約締結後に文書にて」が6.9%で、あわせると文書通知割合は91.5%となっている。

○業務内容別に見ると、文書による通知の割合はほとんどの業務内容で9割前後を占めているが、「販売業務」(75.0%)では低くなっている。

7.1.2 就業場所及び従事する業務

- ○就業場所及び従事する業務の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が 75.9%、「契約締結後に文書にて」が 6.9%で、あわせると文書通知割合は 82.8% と なっている。
- ○業務内容別に見ると、文書による通知の割合は、ほとんどの業務内容で8割前後を 占めているが、「販売業務」(70.8%)では低くなっている。

7.1.3 就業時間、休憩時間

- ○就業時間、休憩時間の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が80.1%、「契約締結後に文書にて」が6.8%で、あわせると文書通知割合は86.9%となっている。
- ○業務内容別に見ると、文書による通知の割合は、ほとんどの業務内容で8割を超えているが、「保安業務」(68.8%)、「販売業務」(75.0%)では低くなっている。

7.1.4 休日労働、時間外労働

- ○休日労働、時間外労働の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が 76.6%、「契約締結後に文書にて」が 7.1%で、あわせると文書通知割合は 83.7%となっている。
- ○業務内容別に見ると、文書による通知の割合は、ほとんどの業務内容で8割前後を 占めているが、「販売業務」(66.7%)、「保安業務」(68.8%)では低くなっている。

7.1.5 賃金

- ○賃金の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が83.4%、「契約締結後に 文書にて」が6.8%で、あわせると文書通知割合は90.2%となっている。
- ○業務内容別に見ると、文書による通知の割合は、ほとんどの業務内容で9割を超えているが「販売業務」(75.0%)、「保安業務」(81.3%)「サービス業務」(84.0%)では低くなっている。

7.1.6 退職に関する事項

- ○退職に関する事項の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が 66.9%、「契約締結後に文書にて」が 8.0%で、あわせると文書通知割合は 74.9%となっている。
- ○業務内容別に見ると、文書による通知の割合はほとんどの業務内容で7割を超えているが、「販売業務」(54.2%)、「生産工程・労務」(58.3%)では低くなっている。

7.1.7 中途解約の場合の措置

- ○中途解約の場合の措置の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が 58.5%、「契約締結後に文書にて」が 6.6%で、あわせると文書通知割合は 65.1%となっている。また、「現在も明確でない」が 22.9%となっている。
- ○業務内容別に見ると、文書による通知の割合は、ほとんどの業務内容で6割を超えているが、「販売業務」(50.0%)、「保安業務」(50.0%)では低くなっている。

7.1.8 契約更新の有無

- ○契約更新の有無の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が 74.4%、「契約締結後に文書にて」が 7.1%で、あわせると文書通知割合は 81.5%となっている。
- ○業務内容別に見ると、文書による通知の割合は、ほとんどの業務内容で8割を超えているが、「販売業務」(66.7%)、「生産工程・労務」(66.7%)では低くなっている。

7.1.9 契約更新の基準

- ○契約更新の基準の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が53.7%、「契約締結後に文書にて」が5.1%で、あわせると文書通知割合は58.8%となっている。
- ○業務内容別に見ると、文書による通知の割合は、ほとんどの業務内容で6割前後を 占めているが、「販売業務」(45.8%)、「生産工程・労務」(50.0%)では低くなって いる。また、「管理的業務」では文書通知割合が92.3%と高くなっている。

7.1.10 正社員への転換の有無

- ○正社員への転換の有無の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が 36.0%、「契約締結後に文書にて」が 4.6%で、あわせると文書通知割合は 40.6%となっている。また、「現在も明確でない」が 32.4%となっている。
- ○業務内容別に見ると、文書による通知の割合は、ほとんどの業務内容で4割前後となっているが、「専門的・技術的業務」(32.7%)、「販売業務」(33.3%)、「生産工程・労務」(33.3%)では低くなっている。また、「サービス業務」では文書通知割合が58.9%と高くなっている。

7.1.11 正社員への転換の基準

- ○正社員への転換の基準の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が 23.6%、「契約締結後に文書にて」が 3.1%で、あわせると文書通知割合は 26.7%となっている。また、「現在も明確でない」が 33.1%となっている。
- ○業務内容別に見ると、文書による通知の割合は、ほとんどの業務内容で2割を超えているが、「保安業務」(18.8%)では低くなっている。また、「サービス業務」では文書通知割合が44.7%と高くなっている。

7.1.12 安全衛生

- ○安全衛生の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が 46.6%、「契約締結 後に文書にて」が 6.9%で、あわせると文書通知割合は 53.5%となっている。また、「現在も明確でない」が 26.9%となっている。
- ○業務内容別に見ると、文書による通知の割合は、「運輸・通信業務」(40.6%)、「生産工程・労務」(41.7%)、「保安業務」(43.8%)で低くなっており、「管理的業務」(84.6%)、「サービス業務」(69.6%)で高くなっている。

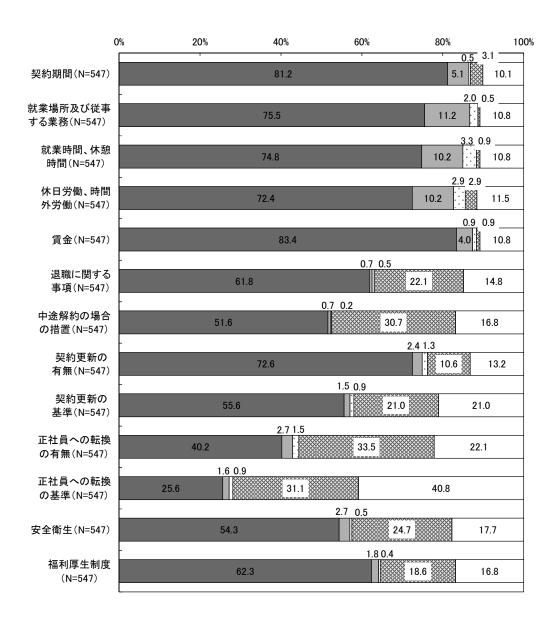
7.1.13 福利厚生制度

- ○福利厚生制度の通知の状況については、「契約締結時に文書にて」が 55.8%、「契約締結後に文書にて」が 9.3%で、あわせると文書通知割合は 65.1%となっている。
- ○業務内容別に見ると、文書による通知の割合は、ほとんどの業務内容で6割を超えているが、「保安業務」(37.5%)、「運輸・通信業務」(46.9%)、「生産工程・労務」(50.0%)では低くなっている。

7.2 実態との差異

実態との差異

■同じだった □少し違っていた □まったく違っていた 図わからない □無回答



7.2.1 契約期間

- ○契約期間の実態との差異については、「同じだった」が81.2%を占め、「少し違っていた」が5.1%、「まったく違っていた」が0.5%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「同じだった」は多くの業務で8割を超えているが、「生産工程・労務」(66.7%)、「販売業務」(70.8%)、「サービス業務」(75.0%)では低くなっている。

7.2.2 就業場所及び従事する業務

- ○就業場所及び従事する業務の実態との差異については、「同じだった」が 75.5%を占め、「少し違っていた」が 11.2%、「まったく違っていた」が 2.0%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「同じだった」はほとんどの業務で7割を超えているが、「販売業務」(66.7%)、「保安業務」(68.8%)では低くなっている。

7.2.3 就業時間、休憩時間

- ○就業時間、休憩時間の実態との差異については、「同じだった」が 74.8%を占め、「少し違っていた」が 10.2%、「まったく違っていた」が 3.3%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「同じだった」は多くの業務で7割を超えているが、「保安業務」(62.5%)、「サービス業務」(67.9%)、「運輸・通信業務」(68.8%)では低くなっている。また、「運輸・通信業務」では、「少し違っていた」(18.8%)、「まったく違っていた」(3.1%)をあわせた割合が21.9%で他の業務に比べ高くなっている。

7.2.4 休日労働、時間外労働

- ○休日労働、時間外労働の実態との差異については、「同じだった」が 72.4%を占め、「少し違っていた」が 10.2%、「まったく違っていた」が 2.9%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「同じだった」は多くの業務で7割を超えており、「管理的業務」(92.3%)では特に高くなっている。

7.2.5 賃金

- ○賃金の実態との差異については、「同じだった」が83.4%を占め、「少し違っていた」が4.0%、「まったく違っていた」が0.9%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「同じだった」は多くの業務で8割を超えており、「管理的業務」では100.0%であった。一方、「販売業務」(75.0%)、「サービス業務」(75.0%)、「保安業務」(75.0%)では低くなっている。

7.2.6 退職に関する事項

- ○退職に関する事項の実態との差異については、「同じだった」が 61.8%を占め、「少し違っていた」が 0.7%、「まったく違っていた」が 0.5%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「同じだった」はほとんどの業務で6割前後となっているが、「生産工程・労務」(41.7%)では低くなっている。

7.2.7 中途解約の場合の措置

○中途解約の場合の措置の実態との差異については、「同じだった」が51.6%を占め、「少し違っていた」が0.7%、「まったく違っていた」が0.2%となっている。また、通知の状況について「現在も明確でない」が22.9%であることを反映してか、「わか

らない」が30.7%、「無回答」が16.8%となっている。

○業務内容別に見ると、「同じだった」は多くの業務で5割前後となっており、「管理的業務」(84.6%)では高くなっている。

7.2.8 契約更新の有無

- ○契約更新の有無の実態との差異については、「同じだった」が 72.6%を占め、「少し違っていた」が 2.4%、「まったく違っていた」が 1.3%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「同じだった」は多くの業務で7割を超えているが、「管理的 業務」(92.3%)、「保安業務」(87.5%)では高くなっている。

7.2.9 契約更新の基準

- ○契約更新の基準の実態との差異については、「同じだった」が 55.6%を占め、「少し違っていた」が 1.5%、「まったく違っていた」が 0.9%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「同じだった」はほとんどの業務で5割を超えているが、「管理的業務」(92.3%)では特に高く、「生産工程・労務」(41.7%)、「販売業務」(45.8%)では低くなっている。

7.2.10 正社員への転換の有無

- ○正社員への転換の有無の実態との差異については、「同じだった」が 40.2%、「少し違っていた」が 2.7%、「まったく違っていた」が 1.5%となっている。また、通知の状況について「現在も明確でない」が 32.4%であることを反映してか、「わからない」が 33.5%、「無回答」が 22.1%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「同じだった」はほとんどの業務で4割前後であるが、「管理的業務」(61.5%)、「運輸・通信業務」(50.0%)では高く、「生産工程・労務」(33.3%)では低くなっている。

7.2.11 正社員への転換の基準

- ○正社員への転換の基準の実態との差異については、「同じだった」が 25.6%、「少し違っていた」が 1.6%、「まったく違っていた」が 0.9%となっている。また、通知の状況について「現在も明確でない」が 33.1%であることを反映してか、「わからない」が 31.1%、「無回答又は転換なし」が 40.8%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「同じだった」は「運輸・通信業務」(40.6%)では高く、「生産工程・労務」(16.7%)、「保安業務」(18.8%)では低くなっている。

7.2.12 安全衛生

○安全衛生の実態との差異については、「同じだった」が 54.3%を占め、「少し違っていた」が 2.7%、「まったく違っていた」が 0.5%となっている。また、通知の状況

について「現在も明確でない」が 26.9%であることを反映してか、「わからない」が 24.7%、「無回答」が 17.7%となっている。

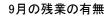
○業務内容別に見ると、「同じだった」はほとんどの業務で5割を超えているが、「管理的業務」(84.6%)では高くなっており、「生産工程・労務」(33.3%)、「保安業務」(37.5%)では低くなっている。

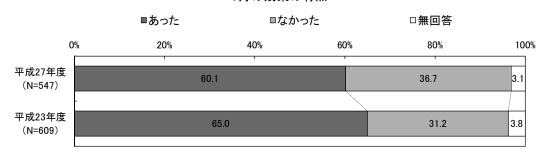
7.2.13 福利厚生制度

- ○福利厚生制度の実態との差異については、「同じだった」が 62.3%を占め、「少し違っていた」が 1.8%、「まったく違っていた」が 0.4%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「同じだった」は多くの業務で6割前後であるが、「管理的業務」(84.6%)では高く、「保安業務」(31.3%)、「生産工程・労務」(41.7%)では低くなっている。

8 9月の残業状況

8.1 残業の有無





- ○9月の残業の有無については、「あった」が60.1%、「なかった」が36.7%となって いる。
- ○前回調査と比較すると、9月の残業の有無について、「あった」が前回の65.0%から 4.9 ポイント減少し、一方、「なかった」が前回の31.2%から5.5 ポイント増加して いる。
- ○業務内容別に見ると、9月の残業が「あった」のは、割合の高い順では、「運輸・通 信業務」(78.1%)、「保安業務」(68.8%)、「専門的・技術的業務」(63.4%)で、低 い順では、「生産工程・労務」(41.7%)、「サービス業務」(53.6%)、「管理的業務」 (53.8%) となっている。

8.2 残業時間

(N=396)

220

129

9月の残業時間 ■1時間未満 □1時間以上5時間未満 □5時間以上10時間未満 図10時間以上20時間未満 □20時間以上30時間未満 ■30時間以上60時間未満 □60時間以上 □無回答 100% 20% 40% 60% 80% 0.0 平成27年度 27.4 18.2 17.0 14.0 17.6 27 30 (N=329) 0.5 平成23年度

25.3

13.1

192

18

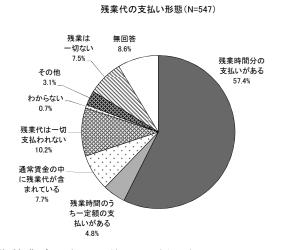
5.3

- ○「9月に残業があった」とした回答者の平均残業時間は15.9時間となっており、「1 時間以上5時間未満」が27.4%を占めて最も多く、以下、「5時間以上10時間未満」 (18.2%)、「30時間以上60時間未満」(17.6%)と続いている。
- ○前回調査と比較すると、「10時間以上」が前回の62.9%から11.6ポイント減少し、 「10時間未満」が前回の35.4%から10.2ポイント増加している。

○9月の平均残業時間を業務内容別に見ると、「保安業務」が32.4時間で最も長く、以下、「専門的・技術的業務」が21.8時間、「運輸・通信業務」が19.2時間となっている。

8.3 残業代の支払い形態

- ○残業代の支払形式については、「残業時間分の支払いがある」が57.4%で最も多くなっている。一方、「通常賃金の中に残業代が含まれている」が7.7%、「残業時間のうち一定額の支払いがある」が4.8%を占め、「残業代は一切支払われない」も10.2%を占めている。
- ○業務内容別に見ると、残業代の支払い 形式として「残業時間分の支払いがあ る」は全体平均では 57.4%であるが、



「管理的業務」(23.1%)、「専門的・技術的業務」(43.1%)では低くなっている。 また、「残業代は一切支払われない」は全体平均では10.2%であるが、「専門的・技 術的業務」(15.7%)、「管理的業務」(15.4%)では高くなっている。

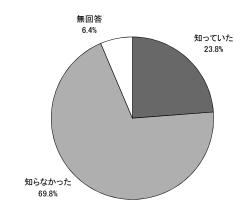
「通常賃金の中に残業代が含まれている」は全体平均では7.7%であるが、「管理的業務」では30.8%と高くなっている。

9 契約社員と正社員との労働条件の相違

9.1 労働契約法改正(契約期間の定めがあることによる不合理な労働条件の相違の禁止)の認知度

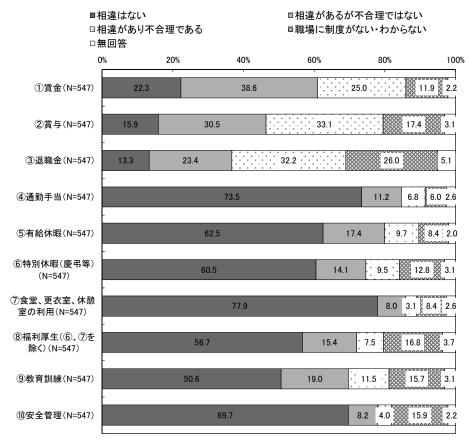
- ○労働契約法改正(契約期間の定めがあることによる不合理な労働条件の相違の禁止)については、「知っていた」が23.8%、「知らなかった」が69.8%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「管理的業務」を除く全ての業務で「知らなかった」が6割を超え、「運輸・通信業務」(78.1%)、「生産工程・労務」(75.0%)、「サービス業務」(73.2%)で割合が高くなっている。

労働契約法(期間の定めがあることによる不合理な労働条件の相違の禁止)の認知度(N=547)



9.2 労働条件の相違の有無

正社員との労働条件の相違の有無



- ○契約社員と正社員との労働条件の相違の有無を聞いたところ、「相違はない」の割合は、「退職金」(13.3%)、「賞与」(15.9%)、「賃金」(22.3%)において他の労働条件と比べて低くなっている。また、「賞与」及び「退職金」では、「相違があり不合理である」の割合が最も多く、それぞれ33.1%、32.2%となっている。
- ○上記3項目以外の労働条件については、ほとんどの労働条件について、「相違はない」が6~7割前後を占めているが、「教育訓練」については「相違はない」が50.6%とやや低くなっている。
- ○「相違はない」の割合が高い労働条件として、「食堂、更衣室、休憩室の利用」(77.9%)、「通勤手当」(73.5%)、「安全管理」(69.7%)がある。

9.2.1 賃金

- ○正社員との賃金の相違について聞いたところ、「相違があるが不合理ではない」が 38.6%で最も多く、「相違があり不合理である」が 25.0%、「相違はない」が 22.3% となっている。
- ○男女別に見ると、男女ともに「相違があるが不合理ではない」が最も多く4割弱を 占めている。「相違はない」は男性(26.7%)が女性(20.5%)より6.2ポイント高 く、「相違があり不合理である」は女性(27.5%)が男性(20.0%)より7.5ポイン ト高くなっている。
- ○業務内容別に見ると、「相違はない」は「管理的業務」(53.8%)で高くなっている。 「相違があり不合理である」は「運輸・通信業務」(40.6%)で高くなっている。
- ○労働組合加入の有無別に見ると、「相違はない」の割合は、労働組合加入者 (29.7%) が非加入者 (21.3%) より 8.4 ポイント高くなっている。

9.2.2 賞与

- ○正社員との賞与の相違について聞いたところ、「相違があり不合理である」が 33.1% で最も多く、「相違があるが不合理ではない」が 30.5%、「相違はない」が 15.9% となっている。
- ○男女別に見ると、男性は「相違があるが不合理ではない」が 34.4% (女性は 28.7%) で最も多く、女性は「相違があり不合理である」が 37.7% (男性は 24.1%) で最も 多くなっている。
- ○業務内容別に見ると、「相違はない」は「管理的業務」(38.5%)で高くなっている。 また、「相違があるが不合理ではない」は「販売業務」(45.8%)で高く、「相違があ り不合理である」は「運輸・通信業務」(50.0%)、「生産工程・労務」(41.7%)で 高くなっている。
- ○労働組合加入の有無別に見ると、「相違はない」の割合は、労働組合加入者 (27.1%) が非加入者 (13.4%) より 13.7 ポイント高くなっている。

9.2.3 退職金

- ○正社員との退職金の相違について聞いたところ、「相違があり不合理である」が 32.2%で最も多く、「相違があるが不合理ではない」が23.4%、「相違はない」が13.3% となっている。また、「職場に制度がない・わからない」は26.0%となっている。
- ○男女別に見ると、「相違があり不合理である」は、女性(36.5%)が男性(23.6%)より12.9ポイント高くなっている。
- ○業務内容別に見ると、「相違はない」は「管理的業務」(30.8%)で高く、「相違があり不合理である」は、「運輸・通信業務」(50.0%)で高くなっている。
- ○労働組合加入の有無別に見ると、「相違はない」の割合は、労働組合加入者 (21.2%) が非加入者 (12.2%) より9.0ポイント高くなっている。

9.2.4 通勤手当

- ○正社員との通勤手当の相違について聞いたところ、「相違はない」が 73.5%を占めて 最も多く、「相違があるが不合理ではない」が 11.2%、「相違があり不合理である」 が 6.8%となっている。
- ○業務内容別に見ると、ほとんどの業務内容で「相違はない」が7割~8割前後を占めており、「管理的業務」(84.6%)、「販売業務」(83.3%)で割合が高くなっている。 一方、「運輸・通信業務」では「相違はない」が34.4%と低く、「相違があるが不合理ではない」(21.9%)と「相違があり不合理である」(21.9%)の割合が他の業務内容と比べて高くなっている。

9.2.5 有給休暇

- ○正社員との有給休暇の相違について聞いたところ、「相違はない」が 62.5%で最も多く、「相違があるが不合理ではない」が 17.4%、「相違があり不合理である」が 9.7% となっている。
- ○業務内容別に見ると、ほとんどの業務内容で「相違はない」が最も多く、「販売業務」 (79.2%)、「管理的業務」(76.9%)で割合が高くなっている。一方、「運輸・通信業務」では「相違はない」が28.1%と低く、「相違があり不合理である」が34.4%と高くなっている。

9.2.6 特別休暇 (慶弔等)

- ○正社員との特別休暇 (慶弔等)の相違について聞いたところ、「相違はない」が 60.5% で最も多く、「相違があるが不合理ではない」が 14.1%、「相違があり不合理である」が 9.5%となっている。
- ○業務内容別に見ると、全ての業務内容で「相違はない」が最も多く、「販売業務」 (75.0%)、「管理的業務」(69.2%)で割合が高い。一方、「運輸・通信業務」(31.3%)、 「生産工程・労務」(33.3%)は「相違はない」の割合が低くなっている。

9.2.7 食堂、更衣室、休憩室の利用

- ○正社員との食堂、更衣室、休憩室の利用の相違について聞いたところ、「相違はない」が 77.9%を占めて最も多く、「相違があるが不合理ではない」が 8.0%、「相違があり不合理である」が 3.1%となっている。
- ○男女別に見ると、「相違はない」は女性(81.9%)が男性(71.8%)より10.1ポイント高くなっている。
- ○業務内容別に見ると、ほとんどの業務内容で「相違はない」が8割前後を占めているが、「保安業務」(50.0%)、「生産工程・労務」(50.0%)、「運輸・通信業務」(68.8%)で割合が低くなっている。

9.2.8 福利厚生(特別休暇(慶弔等)・食堂、更衣室、休憩室の利用を除く)

- ○正社員との福利厚生(特別休暇(慶弔等)、食堂、更衣室、休憩室の利用を除く)の 相違について聞いたところ、「相違はない」が56.7%で最も多く、「相違があるが不 合理ではない」が15.4%、「相違があり不合理である」が7.5%となっている。
- ○業務内容別に見ると、「相違はない」は「管理的業務」(76.9%)、「販売業務」(66.7%)、「専門的・技術的業務」(62.7%)で高い一方、「運輸・通信業務」(21.9%)、「保安業務」(31.3%)、「生産工程・労務」(33.3%)では低くなっている。「相違があり不合理である」は「生産工程・労務」(25.0%)、「運輸・通信業務」(18.8%)で高くなっている。
- ○労働組合加入の有無別に見ると、「相違はない」の割合は、労働組合加入者(65.3%)が非加入者(54.9%)より10.4ポイント高くなっている。

9.2.9 教育訓練

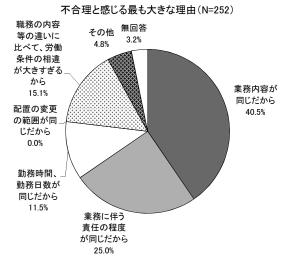
- ○正社員との教育訓練の相違について聞いたところ、「相違はない」が50.6%で最も多く、「相違があるが不合理ではない」が19.0%、「相違があり不合理である」が11.5%となっている。
- ○男女別に見ると、「相違はない」は男性(57.4%)が女性(47.1%)より10.3ポイント高く、「相違があり不合理である」は、女性(14.3%)が男性(6.2%)より8.1ポイント高くなっている。
- ○業務内容別に見ると、「相違はない」は「保安業務」(68.8%)、「管理的業務」(61.5%)、「専門的・技術的業務」(60.8%)、「販売業務」(58.3%)で高い一方、「運輸・通信業務」(34.4%)、「事務的業務」(41.9%)では低くなっている。
- ○労働組合加入の有無別に見ると、「相違はない」の割合は、労働組合加入者(61.0%)が非加入者(47.1%)より13.9ポイント高くなっている。

9.2.10 安全管理

- ○正社員との安全管理の相違について聞いたところ、「相違はない」が 69.7%で最も多く、「相違があるが不合理ではない」が 8.2%、「相違があり不合理である」が 4.0% となっている。
- ○業務内容別に見ると、「相違はない」は、「管理的業務」(84.6%)、「サービス業務」(76.8%)、「販売業務」(75.0%)で高くなっている。一方、「運輸・通信業務」は「相違はない」が40.6%と低く、「相違があるが不合理ではない」(21.9%)と「相違があり不合理である」(9.4%)の割合が他の業務内容と比べて高くなっている。

9.3 不合理と感じる最も大きな理由

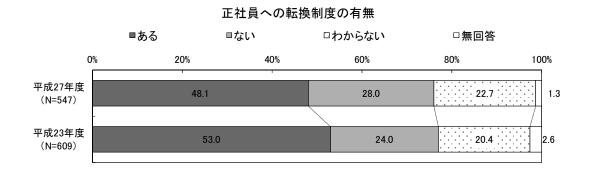
- ○労働条件に不合理な相違があるとした 回答者に不合理であると感じる最も大 きな理由を聞いたところ、「業務内容が 同じだから」が 40.5%を占めて最も多 く、以下、「業務に伴う責任の程度が同 じだから」(25.0%)、「職務の内容等の 違いに比べて、労働条件の相違が大き すぎるから」(15.1%)、「勤務時間、勤 務日数が同じだから」(11.5%)となっ ている。
- ○男女別に見ると、男女ともに「業務内 容が同じだから」が最も多くなっている。



また、「業務に伴う責任の程度が同じだから」が男性は31.5%、女性は22.5%で、9.0 ポイント男性が高く、「職務の内容等の違いに比べて労働条件の相違が大きすぎるから」は、女性が17.3%、男性が9.6%で、7.7 ポイント女性が高くなっている。

10 正社員への転換制度

10.1 正社員への転換制度の有無



- ○正社員への転換制度の有無については、「ある」が 48.1%、「ない」が 28.0%、「わからない」が 22.7%となっている。
- ○前回調査と比較すると、正社員への転換制度の有無について、「ある」が前回の 53.0% から 4.9 ポイント減少している。一方、「ない」が前回の 24.0%から 4.0 ポイント増加している。
- ○男女別に見ると、「ある」の割合は、女性が 49.4%で、男性より 3.8 ポイント高くなっている。
- ○業務内容別に見ると、正社員への転換制度が「ある」の割合は、「運輸・通信業務」 (68.8%)、「販売業務」(54.2%)、「サービス業務」(53.6%)で高くなっている。逆に、転換制度が「ない」の割合は、「管理的業務」(53.8%)で高くなっている。
- ○労働組合加入の有無別に見ると、正社員への転換制度が「ある」とした割合は労働組合加入者(68.6%)が非加入者(40.8%)より27.8ポイント高くなっている。

10.2 正社員への転換希望の有無

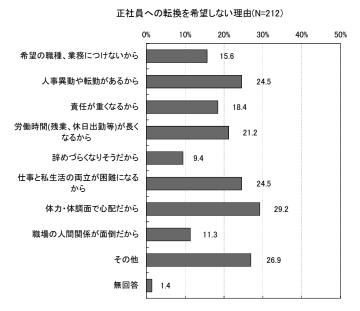
- ○正社員への転換希望の有無については、 「希望する」が 34.2%、「希望しない」が 38.8%、「どちらともいえない」が 22.1% となっている。
- ○男女別に見ると、正社員への転換を「希望する」は女性 (37.7%) が男性 (28.2%) より 9.5 ポイント高くなっている。

正社員への転換希望の有無(N=547) 無回答 4.9% どちらともい えない 22.1% 希望する 34.2%

- ○年齢別に見ると、正社員への転換を「希望する」は、20歳代(58.0%)及び30歳代(42.7%)で高くなっている。一方、「希望しない」は60歳以上(64.7%)及び50歳代(48.4%)で高くなっている。
- ○業務内容別に見ると、正社員への転換を「希望する」の割合は、「専門的・技術的業務」(38.6%)、「事務的業務」(37.2%)で高くなっており、逆に「希望しない」は「管理的業務」(76.9%)、「生産工程・労務」(58.3%)、「サービス業務」(46.4%)で高くなっている。
- ○労働組合加入の有無別に見ると、正社員への転換を「希望する」は労働組合加入者 (39.0%) が非加入者 (30.9%) より8.1 ポイント高くなっている。

10.3 正社員への転換を希望しない理由(複数回答可)

いている。



- ○男女別に見ると、男性は「体力・体調面で心配だから」が35.9%で最も多く、女性は「仕事と私生活の両立が困難になるから」が33.6%で最も多くなっている。
- ○年齢別に見ると、各年齢層において特徴的な理由は以下のとおりである。
 - 20 歳代 「職場の人間関係が面倒だから」(52.2%)

「辞めづらくなりそうだから」(34.8%) 「責任が重くなるから」(26.1%)

- 30歳代 「仕事と私生活の両立が困難になるから」(37.5%)
- 40歳代 「仕事と私生活の両立が困難になるから」(42.9%) 「労働時間(残業、休日出勤等)が長くなるから」(40.0%)
- 50 歳代 「人事異動や転勤があるから」(40.9%)
- 60歳以上 「体力・体調面で心配だから」(45.5%)
- ○業務内容別に見ると、ほとんどの業務で「体力・体調面で心配だから」が最も多く、特に「運輸・通信業務」(46.2%)、「販売業務」(45.5%)、「サービス業務」(42.3%)などで割合が高くなっている。

<正社員への転換を希望しない理由(「その他」抜粋)>

- ・年齢的に無理だと思うから
- ・正社員には夜勤が必須であるため
- ・正社員は本来業務以外の仕事が多いため
- ・今の仕事を長く続けたいと思わないから
- ・ほかにやりたい仕事があるから
- ・希望してもどうせなれないから
- ・正社員になれない理由が明確でないため

11 研修(教育訓練)

11.1 研修の実施時期(複数回答可)

- ○研修の実施時期については、 「採用時に実施」が38.2%、「契 約途中に実施」が32.9%、「実 施されていない」が38.6%と なっている。
- ○業務内容別に見ると、研修の実施時期は業務内容によって異なり、「契約途中に実施」は「保安業務」(62.5%)、「生産工程・労務」(41.7%)で高く、「採用

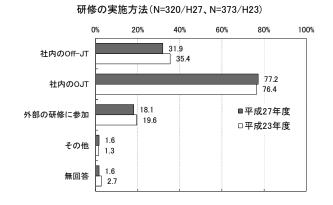
研修の実施時期(N=547/H27、N=609/H23)

0% 20% 40% 60%
採用時に実施 32.0
平成27年度
平成27年度
平成23年度
実施されていない 33.7
38.6

時に実施」は「保安業務」(62.5%)、「運輸・通信業務」(53.1%)で高い。一方で「実施されていない」は「管理的業務」(46.2%)、「専門的・技術的業務」(45.1%)、「事務的業務」(42.7%)で高くなっている。

11.2 研修の実施方法(複数回答可)

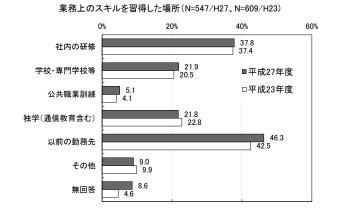
- ○研修の実施方法については、「社内の0JT」が77.2%で最も多く、以下、「社内の0ff-JT」(31.9%)、「外部の研修に参加」(18.1%)となっている。
- ○業務内容別に見ると、研修の実施方法について、「社内の 0JT」は「サービス業務」(87.2%)で最も高く、「社内の 0ff-JT」は



「販売業務」(53.8%) で最も高くなっている。また、「外部の研修に参加」は高い順に「販売業務」(30.8%)、「運輸・通信業務」(26.1%)、「専門的・技術的業務」(24.7%)となっている。

11.3 業務上のスキルを習得した場所(複数回答可)

- ○業務上のスキルを習得した場所 については、「以前の勤務先」が 46.3%で最も多く、以下、「社内 の研修」(37.8%)、「学校・専門 学校等」(21.9%)、「独学」 (21.8%) となっている。
- ○業務内容別に見ると、「以前の勤務先」の割合が他の業務内容に 比べ多いのは「販売業務」 (62.5%)、「管理的業務」

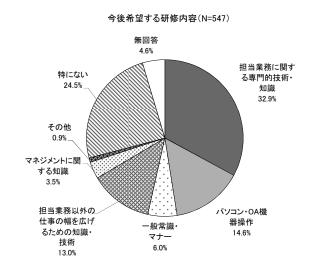


(53.8%)、「専門的・技術的業務」(50.3%)であり、「社内の研修」の割合が他の業務内容に比べ多いのは「保安業務」(75.0%)、「運輸・通信業務」(53.1%)、「サービス業務」(51.8%)となっている。

また、「独学(通信教育含む)」の割合が他の業務内容に比べ多いのは「生産工程・ 労務」(33.3%)、「管理的業務」(30.8%)であり、「学校・専門学校等」の割合が他 の業務内容に比べ多いのは「専門的業務・技術的業務」(37.3%)となっている。

11.4 今後希望する研修内容

- ○今後希望する研修内容については、「担当業務に関する専門的技術・知識」が32.9%を占めて最も多く、以下、「パソコン・OA機器操作」(14.6%)、「担当業務以外の仕事の幅を広げるための知識・技術」(13.0%)と続いている。
- ○業務内容別に見ると、「担当業務 に関する専門的技術・知識」の割 合は他の業務内容と比べて「専門 的・技術的業務」(41.8%)で高

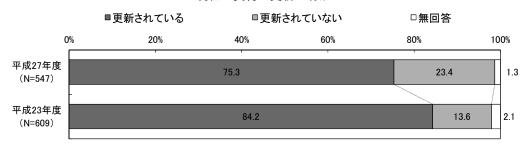


く、「パソコン・0A機器操作」の割合は「事務的業務」(21.4%)で高くなっている。 また、「担当業務以外の仕事の幅を広げるための知識・技術」の割合は、「販売業務」 (25.0%)、「サービス業務」(23.2%)で高く、「マネジメントに関する知識」の割合は「管理的業務」(15.4%)で高くなっている。

12 契約の更新

12.1 現在の契約の更新の有無

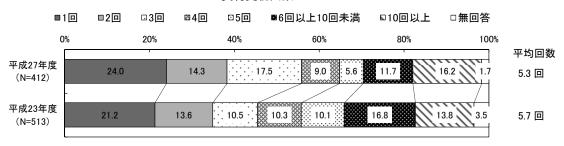
現在の契約の更新の有無



- ○現在の契約が更新されたものであるかどうかについては、「更新されている」が 75.3%、「更新されていない」が 23.4%となっている。
- ○前回調査と比較すると、現在の契約が更新されたものであるかどうかについて、「更新されている」が前回の84.2%から8.9ポイント減少し、逆に、「更新されていない」が前回の13.6%から9.8ポイント増加している。
- ○業務内容別に見ると、現在の契約は「更新されている」がいずれの業務内容においても7割を超えている。

12.2 何回目の更新か

契約更新回数

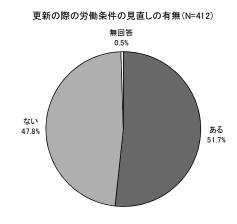


- ○現在の契約が更新されたものであるとした回答者に更新の回数を聞いたところ、「1回」が24.0%で最も多く、「3回以下」の更新の割合が55.8%と過半数を占めている。
- ○前回調査と比較すると、契約更新回数について、「3回以下」が前回の45.3%から10.5 ポイント増加し、逆に、「4回以上」が前回の51.0%から8.5ポイント減少している。 また、更新回数の平均は5.3回となっており、前回調査(5.7回)より更新回数の平 均値が減少している。
- ○業務内容別に見ると、契約更新の平均回数は、「運輸・通信業務」(8.8回)、「販売業務」(7.6回)、「管理的業務」(6.1回)、「専門的・技術的業務」(5.4回)で全体平均(5.3回)より多くなっている。「運輸・通信業務」は「6回以上」が54.9%となり、

他の業務と比べて多くなっている。

12.3 更新の際の労働条件の見直しの有無

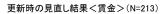
- ○契約更新の際の労働条件の見直しの有無については、「ある」が 51.7%、「ない」が 47.8%となっている。
- ○男女別に見ると、「ある」の割合は、女性(49.6%) が男性(54.4%)より少なくなっている。
- ○業務内容別に見ると、「ない」の割合が高いのは「保安業務」(73.3%)、「管理的業務」(63.6%)、「サービス業務」(56.1%)、「事務的業務」(50.9%)で、他の業務内容は全て「ある」の割合が高くなっている。

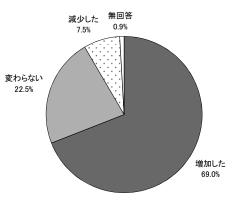


12.4 直近の更新時の見直しの結果

12.4.1 賃金について

- ○労働条件の見直しがあったとした回答者に直近の見直しの結果を聞いたところ、賃金については、「増加した」が69.0%と最も多く、以下、「変わらない」が22.5%、「減少した」が7.5%となっている。
- ○業務内容別に見ると、賃金の見直し結果については、全ての業務において、「増加した」が6割を超えている。

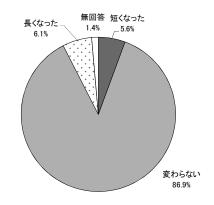




12.4.2 労働時間について

○労働時間については、「変わらない」が 86.9% と 最も多く、以下、「長くなった」が 6.1%、「短 くなった」が 5.6% となっている。

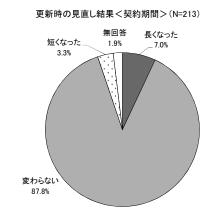
更新時の見直し結果<労働時間>(N=213)



12.4.3 契約について

12.4.3.1 契約期間

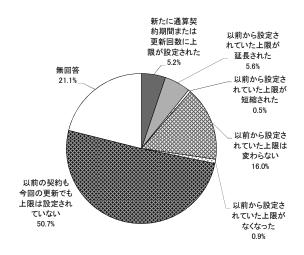
○契約期間については、「変わらない」が 87.8%で最も多く、以下、「長くなった」 が7.0%、「短くなった」が3.3%となっ ている。



12.4.3.2 契約期間の上限の設定

- ○契約期間の上限の設定については、 「以前の契約も今回の更新でも上限は設定されていない」が50.7%を占めて最も多く、以下、「以前から設定されていた上限は変わらない」(16.0%)、「以前から設定されていた上限が延長された」(5.6%)、「新たに通算契約期間または更新回数に上限が設定された」(5.2%)なっている。
- ○業務内容別に見ると、「新たに通算 契約期間または更新回数に上限が

更新時の見直し結果<契約期間の上限の設定>(N=213)

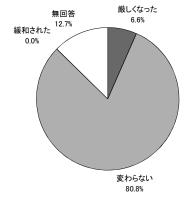


設定された」は「事務的業務」で 10.8%となり、他の業務内容に比べて高くなっている。

12.4.3.3 更新の基準

○更新の基準については、「変わらない」が 80.8%で最も多く、「厳しくなった」が 6.6%となっている。「緩和された」との 回答はなかった。

更新時の見直し結果<契約更新の基準>(N=213)

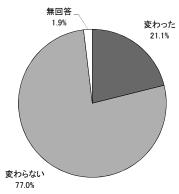


12.4.4 仕事の内容について

12.4.4.1 業務内容

○業務内容については、「変わらない」が 77.0%、「変わった」が21.1%となっている。

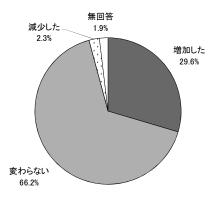
更新時の見直し結果<業務内容>(N=213)



12.4.4.2 業務量

- ○業務量については、「変わらない」が 66.2%で最も多く、以下、「増加した」 が29.6%、「減少した」が2.3%となっ ている。
- ○業務内容別に見ると、業務量の見直し結果については、「増加した」は「運輸・通信業務」(47.4%)、「販売業務」 (38.5%)で他の業務内容と比べて高くなっている。

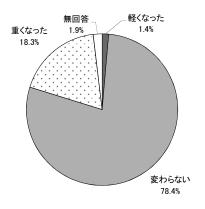
更新時の見直し結果<業務量>(N=213)



12.4.4.3 責任

○責任については、「変わらない」が 78.4% で最も多く、以下、「重くなった」が 18.3%、「軽くなった」が 1.4%となって いる。

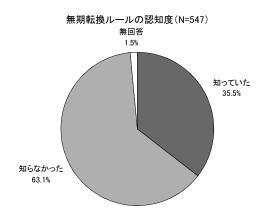
更新時の見直し結果<仕事の責任>(N=213)



13 無期転換ルールについて

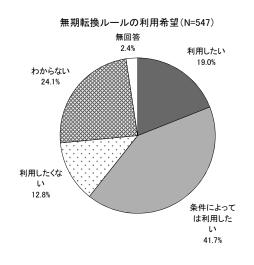
13.1 無期転換ルールの認知度

- ○無期転換ルールについては、「知っていた」が 35.5%、「知らなかった」が 63.1% となっている。事業所調査の結果では「知っていた」が 90.8%、「知らなかった」が 8.1%となっており、事業所と従業員の認知度には大きな差がある (47ページ参照)。
- ○業務内容別に見ると、「知らなかった」は「保安業務」(87.5%)、「サービス業務」(76.8%)、「運輸・通信業務」(75.0%)で割合が高くなっている。



13.2 無期転換ルールの利用希望

- ○無期転換ルールの利用希望については、 「条件によっては利用したい」が 41.7% を占めて最も多く、「利用したい」(19.0%) とあわせると 6 割を超えている。一方、「利 用したくない」は 12.8%であった。 また 「わからない」が 24.1%となっている。
- ○男女別に見ると、「利用したい」と「条件によっては利用したい」をあわせると、男性は 45.6%、女性は 69.3%で、23.7 ポイント女性が高くなっている。一方、「利用



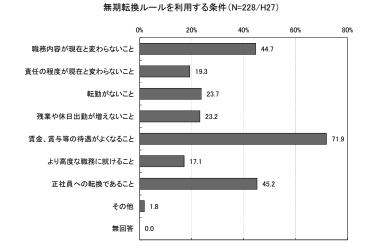
したくない」は、男性は 19.5%、女性は 8.8% と 10.7 ポイント男性が高くなっている。

- ○年齢別に見ると、「利用したい」と「条件によっては利用したい」をあわせると、40 歳代(73.8%)及び50歳代(73.7%)では7割を超えて高くなっている。一方、60 歳以上(32.8%)では低くなっている。
- ○業務内容別に見ると、多くの業務内容で「条件によっては利用したい」が最も多く、「運輸・通信業務」(46.9%)、「事務的業務」(46.6%)、「専門的・技術的業務」(42.5%)で割合が高い。「利用したい」と「条件によっては利用したい」をあわせると、「事務的業務」では 72.2% となり、全体平均(60.7%)に比べて高くなっている。一方、「管理的業務」では「利用したくない」が 46.2%と高くなっている。

13.3 無期転換ルールを利用する条件(複数回答可)

○無期転換ルールを「条件によっては利用したい」とした回答者に、利用する条件を聞いたところ、「賃金、賞与等の待遇がよくなること」が71.9%で最も多く、以下、「正社員への転換であること」

(45.2%)、「職務内容 が現在と変わらないこ

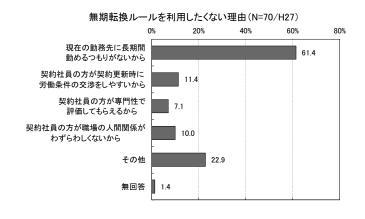


と」(44.7%)、「転勤がないこと」(23.7%)となっている。

- ○男女別に見ると、男女ともに「賃金、賞与等の待遇がよくなること」が最も多く6割を超えている。また、次に多いのは、男性では「職務内容が現在と変わらないこと」(56.3%)、女性では「正社員への転換であること」(50.6%)となっている。
- ○年齢別に見ると、無期転換ルールを利用する条件として「正社員への転換であること」と回答した割合は20歳代では64.0%と高く、20歳代から40歳代まではいずれも5割以上であるが、50歳代では28.9%、60歳以上では9.4%となり、年齢が上がるにつれて低くなっている。
 - 50歳代及び60歳以上では、「職務内容が現在と変わらないこと」が5割を大きく超えている。
- ○業務内容別に見ると、ほとんどの業務内容で「賃金、賞与等の待遇がよくなること」 が最も多くなっている。

13.4 無期転換ルールを利用したくない理由(複数回答可)

○無期転換ルールを「利用 したくない」とした回答 者にその理由を聞いた ところ、「現在の勤務先 に長期間勤めるつもり がないから」が61.4% で最も多く、以下、「契 約社員の方が契約更新 時に労働条件の交渉を



しやすいから」(11.4%)「契約社員の方が職場の人間関係がわずらわしくないから」(10.0%)、「契約社員の方が専門性で評価してもらえるから」(7.1%)となっ

ている。

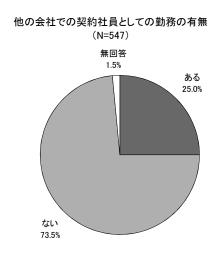
- ○男女別に見ると、男女ともに「現在の勤務先に長期間勤めるつもりがないから」が 最も多く、男性(71.1%)が女性(50.0%)より21.1ポイント高くなっている。
- ○年齢別に見ると、「現在の勤務先に長期間勤めるつもりがないから」は 60 歳以上で 72.7%となっているが、20 歳代 (70.0%)、30 歳代 (66.7%) においても割合が 高くなっている。
- ○業務内容別に見ると、ほとんどの業務内容で「現在の勤務先に長期間勤めるつもりがないから」が最も多い。また、「専門的・技術的業務」では「契約社員の方が専門性で評価してもらえるから」が 18.5%となっている。

14 雇止めの経験

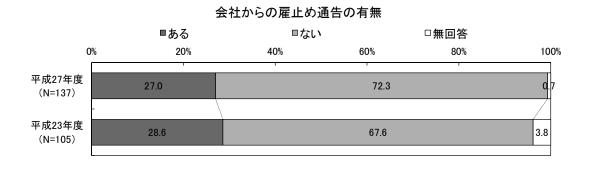
『雇止め(やといどめ)』…… 更新が可能な有期労働契約を締結している場合に、使用者が有期労働契約を更新しないことを言う。ただし、あらかじめ労働者が契約の更新を希望しない旨を申し出ていた場合を除く。 なお、契約期間の途中で雇用契約を解約する場合を含まない。

14.1 他の会社での契約社員としての勤務の有無

- ○過去に他の会社で契約社員として働いた ことがあるかを聞いたところ、「ある」が 25.0%、「ない」が 73.5%となっている。
- ○男女別に見ると、他の会社で契約社員として働いたことが「ある」の割合は、男性は20.5%、女性は27.5%となっている。
- ○業務内容別に見ると、他の会社で契約社員 として働いたことが「ある」の割合は、ほ とんどの業務において3割前後となって いるが、「販売業務」では12.5%と低くな っている。



14.2 会社からの雇止めの通告の有無と理由

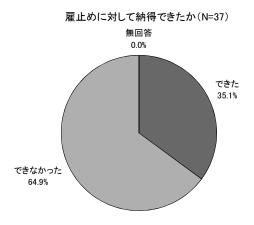


- ○過去に他の会社で契約社員として働いたことがあるとした回答者に雇止めを通告されたことがあるかを聞いたところ、「ある」が 27.0%、「ない」が 72.3%となっている。
- ○前回調査と比較すると、会社からの雇止め通告の有無について、「ある」が前回の 28.6%から 1.6 ポイント減少した一方、「ない」が前回の 67.6%から 4.7 ポイント増 加している。
- ○雇止めを通告されたことがある回答者に雇止めの主な理由は何と説明されたか聞い

たところ (複数回答可)、「経営状況の悪化」が 32.4%で最も多く、以下、「通算契約 期間または更新回数の上限に達した」(21.6%)、「業務量の減少」(16.2%) と続いている。

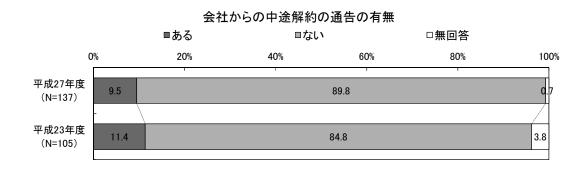
14.3 雇止めに対して納得できたか

- ○雇止めを通告されたことがある回答者に 雇止めに対して納得できたか聞いたとこ ろ、「できなかった」が 64.9%、「できた」 が 35.1%となっている。
- ○雇止めに対して納得できなかった回答者 に雇止めの際の対応方法について聞いた ところ(複数回答可)、「やむを得ず、通 告を受入れた」が83.3%と最も多くなっ ている。



15 契約期間中の中途解約

15.1 会社からの中途解約の通告の有無と理由

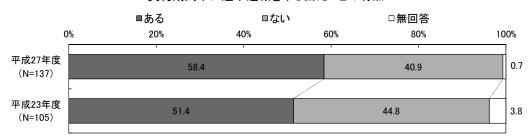


- ○過去に他の会社で契約社員として働いたことがあるとした回答者に会社から中途解約を通告されたことがあるかについて聞いたところ、「ある」が9.5%、「ない」が89.8%となっている。
- ○前回調査と比較すると、会社からの中途解約の通告の有無について、「ある」が前回 の 11.4%から 1.9 ポイント減少し、一方、「ない」が前回の 84.8%から 5.0 ポイント増加している。
- ○中途解約を通告されたことがある回答者に中途解約の主な理由は何と説明されたか 聞いたところ(複数回答可)、「経営状況の悪化」が46.2%で最も多くなっている。
- ○中途解約を通告されたことのある回答者に中途解約を通告された際の対応方法を聞いたところ、「何の補償も受けず退社」と「解雇予告手当相当額を受けて退社」がともに30.8%で最も多くなっている。

16 契約期間中の途中退職

16.1 契約期間中に途中退職を会社に申し出たことの有無

契約期間中に途中退職を申し出たことの有無

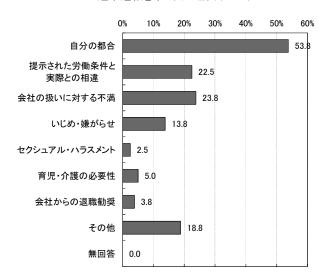


- ○過去に他の会社で契約社員として働いたことがあるとした回答者に契約期間中に途中退職を会社に申し出たことがあるかについて聞いたところ、「ある」が 58.4%、「ない」が 40.9%となっている。
- ○前回調査と比較すると、契約期間中に途中退職を申し出たことの有無について、「ある」が前回の51.4%から7.0ポイント増加し、一方、「ない」が前回の44.8%から3.9ポイント減少している。

16.2 途中退職を申し出た理由(複数回答可)

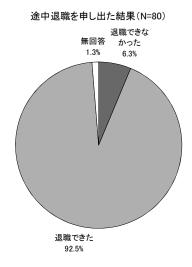
○契約期間中に途中退職を会社に 申し出たことがある回答者に途 中退職を申し出た理由について 聞いたところ、「自分の都合」が 53.8%で最も多く、以下、「会社 の扱いに対する不満」(23.8%)、 「提示された労働条件と実際と の相違」(22.5%)と続いている。

途中退職を申し出た理由(N=80)

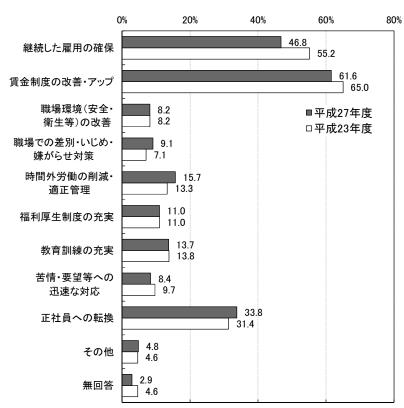


16.3 途中退職を申し出た結果、退職できたか

○契約期間中に途中退職を会社に申し出た ことがある回答者に途中退職を申し出た 結果について聞いたところ、「退職できた」 が92.5%、「退職できなかった」が6.3% となっている。



17 契約社員の会社への要望 (3つまで回答可)



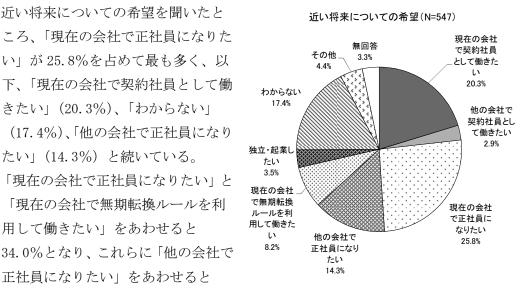
会社への要望(N=547/H27、N=609/H23)

- ○会社への要望を聞いたところ、「賃金制度の改善・アップ」が 61.6%で最も多く、以下、「継続した雇用の確保」(46.8%)、「正社員への転換」(33.8%) と続いている。
- ○前回調査と比較すると、会社への要望について、いずれも「賃金制度の改善・アップ」(今回調査 (61.6%)、前回調査 (65.0%)) が最も多くなっている。また、「継続した雇用の確保」が前回の55.2%から8.4ポイント減少した一方、「正社員への転換」が前回の31.4%から2.4ポイント、「時間外労働の削減・適正管理」が前回の13.3%から2.4ポイント、「職場での差別・いじめ・嫌がらせ対策」が前回の7.1%から2.0ポイント増加している。
- ○業務内容別に見ると、会社への要望は、全ての業務内容で「賃金制度の改善・アップ」が最も多くなっている。
- ○労働組合加入の有無別に見ると、会社への要望は、「賃金制度の改善・アップ」が労働組合加入者(66.1%)、非加入者(60.0%)ともに最も多くなっている。また、「時間外労働の削減・適正管理」については、労働組合加入者(25.4%)が非加入者(12.9%)より高くなっている。

近い将来についての希望

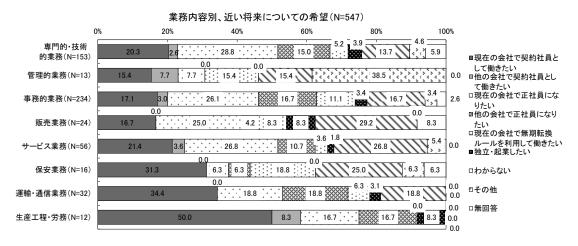
○近い将来についての希望を聞いたと ころ、「現在の会社で正社員になりた い」が25.8%を占めて最も多く、以 下、「現在の会社で契約社員として働 きたい」(20.3%)、「わからない」 (17.4%)、「他の会社で正社員になり たい」(14.3%) と続いている。 「現在の会社で正社員になりたい」と 「現在の会社で無期転換ルールを利 用して働きたい」をあわせると

正社員になりたい」をあわせると



48.3%と半数近くの契約社員が安定的な雇用を希望している。

- ○男女別に見ると、男性は「現在の会社で契約社員として働きたい」(29.2%)が最も 多く、女性は「現在の会社で正社員になりたい」(29.2%)が最も多くなっている。 また、「現在の会社で無期転換ルールを利用して働きたい」は、女性(9.1%)が男 性(7.2%)より高く、「独立・起業したい」は男性(4.6%)が女性(2.9%)より 高くなっている。
- ○業務内容別に見ると、ほとんどの業務内容において「現在の会社で正社員になりた い」と「現在の会社で契約社員として働きたい」が上位1位・2位を占めている。「現 在の会社で契約社員として働きたい」は他の業務内容と比べて「生産工程・労務」 (50.0%)で高くなっている。また、「現在の会社で正社員になりたい」は「保安業 務」(6.3%)、「管理的業務」(7.7%)で低くなっているが、これらの業務では「現 在の会社で無期転換ルールを利用して働きたい」がそれぞれ 18.8%、15.4%となり、 他の業務内容と比べて高くなっている。



19 契約社員という働き方について感じていること(自由意見欄)

19.1 契約社員という働き方における肯定的な意見

○休みが確保されていて良いと思う。(専門的・技術的業務)
○割り切って仕事ができるという意味ではよい。将来的に展望が見えづらいため、不安は多少ある。やっ
てみたい仕事内容は契約社員という形態が多いのが実情。(事務的業務)
○責任が少ないというメリットがあるかわりに、期限つきで働くことを選択したため、今後収入がなくな
る等の不安はあるがその点は承知の上である。(事務的業務)
○現在、仕事と子育てを両立できているのは、残業なしで帰らせてもらえているからです。正社員として
働くのは、子供が手をはなれ、残業もこなして、しっかり働ける状態になった時を希望しているので、
今はこのまま契約社員として働きたいと考えています。(事務的業務)
○雇用先の都合で契約が打ち切られる将来の不安感はある。ただ今の状況、条件でのストレスはないです。
がんばって働きたいと思います。(専門的・技術的業務)
○契約社員として専門的技術、経験を評価してもらっており、全く問題ない働き方と考えている。
···············(専門的・技術的業務)
○働いている人の中には、正直、使えない人もいるので、有期契約で契約切りという型で、終わりを迎え
るのは良いと思う。しかし、しっかり働いている方は正社員になるのは当然だと思われる。
(生産工程・労務)
○専門職としては、契約社員としての形式はあっても良いと思う。一社のみの契約とは限らず、数社との
契約もありうるので、必要な形式と考える。(専門的・技術的業務)
○今の会社では契約社員だと人事異動や配置変更がなく希望の業務につけるので、自分には合っているの
かなと思います。正社員より少し給与が低いですが、賞与、有給もあるので普通に生活する分には困り
ません。今後も契約更新できるのであれば、今の働き方を続けていきたいです。今まで正社員でもいく
つかの会社で働きましたが、パワハラ、ブラック企業など、本当にありました。正社員であってもとて
も続けられる環境ではない会社をいくつも経験しました。はっきり言ってメンタルをやられます。そん
なところにいるくらいであれば契約社員でも環境の良い所をえらびます。今の職場を見つけるまで、本
当に大変な経験をしました。ブラック企業がなくなり、理不尽な思いをさせられる人がなくなることを
祈ります。(専門的・技術的業務)
○契約社員にはわずらわしい人間関係や長時間の拘束がないというわけではなく、契約社員だからこその
わずらわしさはたくさんある。しかし、職業上、いくつかの分野の仕事をかけもちしているメリットが
あるため、契約社員ですごしている。(専門的・技術的業務)
○正社員と比べて自由がきき、そして責任が軽いので働きやすいです。契約社員であるメリットの方が今
は高いので、とりあえずこのままで働くつもりです。(専門的・技術的業務)
○残業をしなくて良い。(専門的・技術的業務)
○比較的に自由が利くので、良いと思います。
○多様化していく社会状況においては、いろいろな形態の労働者がいて良いのだと思います。正社員を望
まない人もいると思います。(事務的業務)
○自由である ····································
○契約社員でも、自分の条件(勤務地、賃金、労働時間)に合っているので満足しています。子供が学童
保育の利用ができる学年すでは 期間がちょうど合っているので 私にとっても都合が良い 家計の主

は天であり、私目身は契約社員でも目分の条件に合っ仕事なので、満足しています。 … (事務的業務)
○現在の職場には、職務内容、環境において、とても恵まれていると感じております。納得した上で有期
雇用という働き方をしている訳ですが、先々の心配をせずに、安心して働き続けることができたら、仕
事に対してもより充実感と集中力を発揮できるだろうとも感じております。 (事務的業務)
○正規雇用ではないので自己のスキルアップのみを意識して働ける点が良い。スキルアップさえ出来れば
収入アップも見込める点が良い。正規雇用の方が無意味な業務に束縛されてスキルアップが出来ない。
有能な新入社員は一年で辞めていってしまう。(専門的・技術的業務)
○年俸制のため残業等はないが、特異分野の教育担当者として身分的には問題はない。 … (事務的業務)
○小さい会社で、残業代もつかず、何時間も働かされる正社員よりは、今の契約社員という形(いつ契約
を切られるかはわからない不安はあるが)の方が健康的だったので、今の雇用形態を選んだ。結婚して
いる身なので、正社員でなくてもよいと思える心のゆとりが得られることも理由にある。正社員で安心
が買えるのはほんのひとにぎりの会社だけだ。自分に合った働き方で公私共にバランスをとり、生きて
いくことを選ぶ。たくさんお金は稼げないが、心身を病むよりはだんぜんに良いと思う。(事務的業務)
\bigcirc 60 才を過ぎているので今から正社員として働く気は無い。正社員と労働条件(賃金・待遇)が大幅に変
わらなければ問題無い。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
○退職金はありませんが、厚生年金、健康保険に加入できているので、特に不満はない。 (事務的業務)
○年令的に正社員での就職が無理で契約社員になりましたが、最近契約社員で良かったと思うようになり
ました。今の職場には5年いる事になりますが、それ以上同じ仕事をしたいとは思いません。契約期間
が終了したら、また違った新たな職場に行きたいと思います。就職出来るかどうかわかりませんが。
(事務的業務)
○自分に合っている
○私の年齢を考えても、大変ありがたい事です。会社の一員として、気持ちも引き締まり、向上していき
たいと思います。正社員と同じように責任を果していかないとと考えております。 (事務的業務)
○賞与がないので割り切って働いている。同じ条件で働くなら、退職金や賞与のある正社員が望ましいが
パートから契約社員に変わったばかりだし、多少仕事量が増えても固定給になったので、少し安心した。
(事務的業務)
○身体の変り目という事もあり現在の形態で働かせて頂ければ細く長く勤める事が出来ると思っています
会社の方にも意向を伝えているので、長期働く事が出来ればと思っています。 (専門的・技術的業務)
○私は今の会社での契約社員としての働き方については満足しています。結婚をしているため、家庭と仕
事の両立がしやすいです。賃金についてはもう少しアップしてほしいとは思いますが、働き方からする
と申し分ないと思います。今の会社では、働き方は契約社員ですが、仕事内容や責任は社員の方たちと
あまり変わらないと思います。

19.2 契約社員という働き方における否定的な意見

○都合良く仕事(業務)を任せやすいが、時間外勤務等は発生しないため、もどかしく感じることがある。
 学生に対し責任を担う仕事ではあるが、いつまで継続するかは決まっていないため、しっかりした事を伝えられない。
 ○正社員と業務内容が同じだが賃金が低すぎる。
 ○部署の異動がなく、20年近く同じ仕事をすれば、正社員よりも仕事の知識もスキルも上がり仕事量も増

```
える。上司の評価が悪いならば納得もするが、そうでないのなら、正社員になれない理由が分からない。
長年いれば教える立場にもなるが、賃金の格差が広がる度に理不尽な事だと思う。 …… (事務的業務)
○契約社員はいつでも切れるので会社側が有利。ボーナスや特別休暇がない。 … (専門的・技術的業務)
○契約社員しか経験した事はありませんが、正社員と同じ規則なのに、休みが少なかったりします。この
 事を会社に申し出ると面倒なので口には出しませんが、あまりよい気分ではありません。ずっと今の会
社で働きたいので波風立たせたくないのです。 …………………(専門的・技術的業務)
○他の会社の契約社員は正社員と働き方が異なるということを聞き、私の会社では正社員の方と働き方は
変わらないので、会社によってそれぞれ異なることが分かりました。全く同じ仕事をしているのに、給
与や賞与、手当が異なるのは、働いていて納得いかないことです。 …………(事務的業務)
○契約社員はアルバイトのちょっと良い条件の整った就業形態。本人の感覚と雇用主との感覚に違いがあ
 る、温度差のある雇用形態。あまり良いイメージはありません。 …………………(事務的業務)
○正社員とまったく一緒の仕事内容であるのに、賞与等がなく有休が少ないのは不公平だと思う。
 ------(事務的業務)
○正社員と同じ仕事なのになぜ退職金制度に加入できないのかと疑問に思う。そもそも契約社員というも
のは必要なのか疑問に思う。 ...... (事務的業務)
○契約社員だと正社員に比べ責任があまりないと思っていたが、今働いている会社は、正社員でも契約社
 員でも仕事の量がかわらないので、給料は安いわりに正社員よりは大変だと思います。 (事務的業務)
○周囲に契約社員が居ない事もあり理解が乏しいため、社員と同様の仕事またはそれ以上の業務量を求め
 られる。賃金が安いのに、その差は何なのか?上司の理解も乏しく、会社に理解を求めるのが難しい。
 契約社員は、いいように使われている様に思う。 ………………………………(専門的・技術的業務)
○毎年更新はしているが、いつ契約を切られるか不安がついてまわる。賞与も退職金制度もなく、安心し
 て長く働き続ける事ができないと感じている。 ……………………………………………(事務的業務)
○社会人になり27年間前職で正社員として働いてきた。今回、任期付きの採用は、職業的特徴と考えてい
た。改めて、「契約社員」という表現での自分の職を考えると、不安定な環境を自ら選択したのだと認識
 を深めた。 …… (専門的・技術的業務)
○業務内容や責任にほとんど差はないのに、契約と正社員で待遇に差があるのはどうかと思う。正社員に
 してくれるのか、してくれないのかはっきりしてほしい。正社員にしてもらえないなら他を考えなけれ
ばならない。 …… (事務的業務)
○勤続10年以上でも1年で10~20円(時給)しか上がらない。新人の正社員の育成にかかわっても、す
 でにその社員の人たちの給与は倍。退職金がないのはとても残念。リーマンショックの時、社員もみん
 な給与は上がらないといって 4 年すえ置き、国家資格を持っている者を契約社員として雇用することで
 単価を安くでき、会社として高利益。出来ない社員がたくさんいるのに、その人達は正社員として高額
 な給料を貰っているのがわかってしまうと、タダ働きしている自分にむなしさを感じます。
 ······(專門的·技術的業務)
○正社員と業務内容は変わらない。家庭の事情(子供がいる)で夜勤ができないので、契約社員にしかな
れないのに、実際の業務内容は同じことをしている。 ……………(専門的・技術的業務)
○社員と契約社員とは賃金待遇も違うため差を感じる。契約は更新されないと終わりなので長くいてもあ
 まりメリットはありません。契約社員は派遣社員と同じで扱いはとても悪いです。企業にとっても使い
すて出来るツールでしかないのだと感じています。 …………………(専門的・技術的業務)
○正社員と同じ仕事をしているのに賃金などで違いがあるのがとても納得いかない。 … (サービス業務)
○正社員とあまり変わらない働き方であるのに、住宅手当など保障が少ないと思う。将来に対して不安し
```

かない。
○仕事内容も社員と大差ないのに、都合よく使われるだけでイライラが募るばかりです。(サービス業務
○正社員で無断欠勤や仕事をまじめにやらない人がいるが、賞与も昇給もある。契約社員は仕事内容も
任も全く一緒で、一生懸命仕事しても、賞与も昇給も一切ない。はじめは、3 年たてば昇給があると
っていたが、3年目になる際の面談で昇給があるか尋ねた所、「ない」と言われた。しかも、新しい契約
社員の募集条件は、今の契約社員で働く人達より1.5万くらい給料が高い。やりがいを全く感じない。
······(專門的·技術的業務)
○低賃金で、労働条件においても正社員より低いのに、都合よく正社員以上の労働を与えられます。キ・
リアアップを望むと退職を要求されます。人として労働者をみておらず、ただの駒、雇用してあげてい
るという状況が伝わってきます。(専門的・技術的業務)
○契約社員は、正社員と比べると責任が少ないものだと思っていたが、実際には責任が同じなのでどう
と思う。(事務的業務)
○雇用主にとってまことに都合のよい雇用形態であります。被雇用者にとってはまことに理不尽な雇用F
態であります。(例) 正社員:月給制、退職金あり、賞与高額 /契約社員:日給月給、退職金なし、第
与微小(専門的・技術的業務)
○不公平そのものです。現在の職場に勤務して10年以上たつが、あと2年で契約が切れ、退職となります。
2 年後は 60 才過ぎているので、正社員には出来ないそうです。私の後輩達は、6 年目には正社員にな
ています。賃金も私より多く、不公平を感じています。(正社員の定年は65才ですが、70才を過ぎてい
る人もいます。)
○正社員と同じように働いているのに、賞与がないのは納得がいかない。それを訴えてしまえば解雇に対
ることもありそうでなかなか言うことも出来ない。(専門的・技術的業務)
○契約社員なので転勤はないが、有給休暇が正社員は初年度 20 日に対して契約社員は 10 日間と半分の
め、休暇がなかなか取れないでいる。直・明・公休の3交代制なので直勤務(24時間)休むと2日分
休暇となるので一年間で実質5日しか休めない計算になり、身体的・精神的につらいものがある。
(保安業務)
○正社員以上の仕事をしているにもかかわらず賃金は正社員よりはるかに低い。退職金もない。6年過
ないと正社員の対象にならないのはおかしい。何故、6 年なのか。仕事量はどんどん増えてゆく。正社
員にまかせて欲しいと思う時が多々ある。(専門的・技術的業務)
○将来への不安。 (サービス業務)
○契約社員なので、だれも長く勤めない。契約社員に責任をおしつけられ、社員と同じ内容の仕事をして
いるのに、賃金が割に合わない。忙しい時には、早く出社をして対応しているのに、社員はマイペーン
である。(事務的業務)
○契約社員という雇用形態に対しての社会の目線が厳しい。「契約社員=使い捨ての駒」という会社ばか
で辛い。「契約社員は頑張らない」のではなく、「契約社員は頑張れない」の間違い。正社員への転換な
ない。不当な扱いばかり受ける。
○派遣社員から契約社員へと変わった。契約社員は人によっては差別される。派遣の時と比べて、賃金工
ップ要求出来る様になったが、アップ率は社員と同じ基準の為、基準以上の昇給をしてくれない。正社
員しか受けられない研修がありその内容も知らされない為、スキルアップが難しい。 … (事務的業務)
○契約更新や中途解約を楯にされ働きづらい。正社員より仕事が出来るので仕事を回してもらえない。」
純な作業や買い物等の雑用が多い。意見等を求められる事もなく仕事の改善に加われない。
(事務的業務)

○正社員と変わらない業務、責任を担っている場合、契約社員と正社員を分けて雇用していることに疑問
を感じる。契約社員の期限が、無期転換ルールを利用できない 5 年未満での契約しかできない場合、と
んなに熱心に仕事に従事しても期限が来れば辞めざるを得ない事に虚しさを感じる。
(専門的・技術的業務)
○不安定、不安。契約社員というだけで業務内容は同じなのに社内での扱いが異なるのが辛い。(出張希望
を出しても正社員が優先される。業務の引き継ぎがされないなど)(専門的・技術的業務)
○半年契約では、毎回の契約時にスキルアップしたにもかかわらず 0 スタートになり、賃金アップが見込
めない。何年も同じ時給では人は定着しないし、スキルも上がらない。(運輸・通信業務)
○労働時間が決まっているという事から契約社員になりました。業務内容は最初のうちは、確かにイメー
ジした通りであったが、年数が増すにつれ業務内容が異なって来ている事に疑問符がつきます。
(サービス業務)
○契約社員は、実態としては雇われる側のメリットになる部分は無い場合が多い雇用形態であるように感
じる。
○1年ごとの更新なので、不安定に感じる。同じ職務内容なのに、正社員とのボーナス格差が不明瞭。
○不安定。心身気をつかう。疲れる(管理的業務)
○1 年契約のため更新時期が近づくと次の更新をしてもらえるのか不安になる。会社に対してあまり意見
を言うこと自体がはばかられる。更新に響くのではないかと萎縮してしまう。15年程同社にて勤務をし
ているが、労働環境や勤務状況について人事担当と話をしたのはこの 2 年程であり、会社は契約社員の
ことは気にもとめていないと感じた。(事務的業務)
○常に契約が切れる事(有期3年のため)を頭に入れ、転職活動を行いつつ、勤務をしなければいけない。
契約が切れたときの事を考えると、プライベートの将来設計が立てづらい。会社側は、社員を契約社員
にすることで、いつでも切る事ができるという優位に立っている。それを恐れて、できない仕事は多い。
(業務内容不明)
○正社員と同等の仕事をしているのに賃金が低すぎ、不安定な雇用のため、将来の設計が立てられず、こ
れまでも立ててこられなかった。責任だけは取らされるので不満だ。ただ、急な雇用終了がないため派
遣よりはよいかと思っている。(事務的業務)
○正社員と労働時間や責任が同じであれば、契約社員という働き方が必要なのか疑問に感じている。
○契約を継続出来るか不安も有ります。(専門的・技術的業務)
○専門的な職業で、かつ正社員採用が数少ない業種のため、自分のやりたい仕事を優先するために契約社
員として働くことが多かった。様々な職場を体験できる事は面白く、やりがいもあるが、雇用の安定性
と将来に不安を感じる。40 才を越えて今後ますます就職が厳しくなることが予想され、このまま続ける
ことは難しいと感じている。(事務的業務)
○弱い立場・・・・・・・・・・・・・・・・・・(専門的・技術的業務)
○継続して働きたいと常々思っているので不安定なイメージがある。(事務的業務)
○正社員と労働に関する量や質は変わらないのに待遇に差がある。 (管理的業務)
○半年ごとの契約更新時に、終了するかもしれない不安がある。(運輸・通信業務)
○業務はほぼ社員と一緒だが、待遇は悪く会社に都合のいいだけの制度の様な気がする。 (事務的業務)
○私は嘱託社員で1年契約です。警備会社の仕事はきつく責任は重いが、賃金は他の正社員より少なく、
ボーナスもでません。(保安業務)

○契約社員=あまりコストのかからない使い捨ての労働力。派遣会社ができはじめた 30 年以上前は、派遣
社員や非常勤社員は、低賃金だがその分任せられる仕事もアシスタント業務で、負担が軽かった。今の
職場は正規職員が働かない、働きたくない人の割合があまりにも多く、彼らの本来やるべき仕事を、平
気で非常勤におしつけてくる。"働く非常勤"の首切りではなく、彼らを職場から去らせるべきだと思い
ます。(事務的業務)
○同じ仕事をしていても、正社員より補償が少ない。会社内での差を感じる。(ボーナスや育休の待遇があ
まり良くない)
○初めての就職活動で契約社員として就職しましたが、今となっては後悔があります。採用人数の多さか
ら、契約社員になりましたが、奨学金の返済もあり、1 人暮らしの費用を考えると決して余裕のある生
活ではありません。交通費は支給されますが、住宅手当が支給されないのが苦しいです。この経験を生
かし、次の転職を頑張りたいと今は思っています。(事務的業務)
○同じ時間で働いているのに、契約社員というだけで契約更新を心配したり、賞与がないという状況で、
この会社で長く働けるか、と聞かれると難しい。会社から嫌われたら契約更新をさせてもらえない、と
いうような実態を最近目の当たりにしたので怖いな、と思った。(事務的業務)
○現在の職場では契約社員も正社員も業務内容・時間全てが同じで線引きされていないにもかかわらず、
賃金も手当も違うのは納得がいきません。 (事務的業務)
○無期転換ルールを利用して働いている人が周りに居ないため、理解りませんが、契約の最長年数まで 個
いても、結局は仕事を探しつづけています。このまま年をとってゆくような不安な中で働いている状況
です。ハローワークで職業訓練を受けて資格を取得しても年令ではじかれることは変わりません。1年
半正社員採用に向けて就職活動を頑張りましたが、難しかったです。新卒の人に対してフォローが多V
と思いますが、中間の 30~40 代へのフォローアップが、少ないと思います。好きで契約社員を続けてV る人はいないと思います。(事務的業務)
○55 才以下の場合、1 年更新で雇止めの可能性があるという状況は非常に不安定だと思う。
(専門的・技術的業務)
○労働内容に比べて給料が安過ぎる。業務分担が不公平である。 (運輸・通信業務)○不安。正社員になりたいと思います。 (サービス業務)
○学んできたスキルを失うような仕事の与えられ方で、残念です。正社員としての立場なら、差別なくま
○学んできたスキルを失りよりな仕事の与えられ方で、残念です。正任貞としての立場なら、左別なくま仕事ができたでしょうか。
○職場の異動がないのはメリットだが、社員と同じように働いているにもかかわらず、賞与や退職金がないまして出た。
い事は不満に感じている。
○正社員と同じ業務をやっているが、ボーナスが全くないことは不合理と感じます。 ··· (サービス業務)
○正規・非正規という区別がされているのに、同じ業務内容・量・責任の重さを共有することを当然とする。 □ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
る雰囲気や風潮があるように思える。非正規であるが故に、自分の容量を著しく超えた仕事量を任され
ても断れないことが度々ある。また、残業を要請される場合も、こちらの都合を確認するよりも前に-
方的に伝えられることがこれまでのどの企業にもあり、断わることが難しくなったり、断わることでを
内の居場所(居心地)が悪くなり、不当な評価をされることがあった。(運輸・通信業務)
○同一労働なのに、賃金が正社員よりも低いのにはやっていられない。(サービス業務)
○同僚の中で私が一番勤続が長く、仕事量も多い為、リーダー的存在であるが、"リーダー手当"的なもの
は何もなく、低賃金で働かせられる事をいいことに見て見ぬふりをしているように思える。同じ医療技
術者でも臨床経験・個人の勉強量や仕事に対する取り組み方の違いによって、スキル(技術)や知識、
仕事の出来学えに大きか差があるものである 施設にとってけ低賃金で雇えれば得である 何年勤め」

うが、正社員への移行の話等全く無く、賞与や退職金も無い。"都合のいいように雇われている"と感じ
る。
○解雇される不安。転職が決まり次第辞めたい。「正社員になりたい」という気持ちと自分の将来を人質に
とられ、企業の都合の良いように使われ、ボーナスももらえず、いらなくなったら捨てられる道具。結
局、先に道はなく、将来を潰され路頭に迷う。仕事内容も、時間も正職員と同じだし、それ以上に働い
ているのに、「代わりならいくらでもいる」と言われたこともある。がんばりを認めてもらえず、契約期
間がおわれば無慈悲に終了、はむなしい。(専門的・技術的業務)
○専門力を買われて契約を結んだが、それまでの経歴、職歴も含め、リスペクトされてしかるべき存在で
あると思っていた。また、弱みを補てんする存在であると思って働いている。しかし、「人事」は人事(ひ
とごと) であると聞いたことがあるが、何度か痛感。契約内容の見えぬまま、翌年の人事の決定の前に、
契約を更新するか否かを紙面のみで差し込んできます。プライドをいつのまにか忘れさってしまう働き
方だと思います。positive な意味は感じられません。(専門的・技術的業務)
○正社員と同じように仕事の目標を立てて仕事をしたいのに、差別される。正社員と同じ仕事もしくはそ
れ以上のことをしているのに給料(賃金)改善アップはない。認められないのがつらい。正社員は、仕
事の命令だけをして契約社員に押しつけられる。契約社員は、勉強会に参加できず、仕事の最新情報が
得られない。仕事上のミスは絶対できない。残業代はつけられないが、ノーミスで時間内に仕事を済ま
せないといけないので大変だ。
○よく言われることですが正社員と変わらない仕事をしているのに賞与の差があるのは理解に難しい。
······(専門的・技術的業務)
○求人情報では「正社員登用の制度あり」というので期待して入社しましたが、実際には落とすための試
験でした。会社は正社員にするつもりなど全くありません。正社員と全く同じ業務についているのに、
きつい仕事は契約社員に押しつけ、正社員は楽な仕事をしています。最初はこの会社で頑張ろうと思っ
ていましたが、実態を知れば知るほどやる気をなくしていきます。契約社員になりたくてなっているの
ではありません。40歳を過ぎると特別なスキルでもない限り、正社員で入れる会社などありません。今
のままでは昇給もないし、お先真っ暗です。(保安業務)
○契約社員の業務に対して、正社員の無知・理解の低さが不満。一部の契約社員の業務は認知されず、契
約社員の人数不足による業務の滞りがあっても、社員のフォローがうすく、一向に認知・理解をしよう
としない。契約社員の立場や在り方とは何なのだろうか?また、契約社員の職種の違いとはいえ、年中
無休の営業時間に対して、勤務体制(時間帯や休日)に差がある為、一部の契約社員に負担を感じる。
勤務体制にも社員のフォローはないのに、会社としては、営業時間に対しての勤務体制の基準では考え
ないのだろうか?そして、お客様の立場も考え、日々の業務内容で問題点や改善の提案・確認をしても
改善されない。業務に対してのお客様目線や社員の業務内容の効率化は考えないのだろうか?契約社員
の立場・理解は示されず、会社に不満・不信があり、憤りを感じる。(事務的業務)
○正社員と変わらない。ふだんの業務の中で契約社員だと意識することはない。ただし賃金は正社員と差
がある。 (事務的業務)
○正社員の契約社員への上から目線、差別的発言は疲れます。(事務的業務)
○正社員と仕事内容や責任など同じことをやっているのに、給料や休みや保障が違い弱い身分だなと思う。
(運輸・通信業務)
○今回の職場で初めて正社員ではない立場で働いた。仕事内容には不満はないものの、言葉のはしばしに
正社員ではない、という「差」のようなものを感じる。会社都合の転職であったが、年齢的に正社員で
の就職けむずかしく 現在の契約終了後のメドけ全くたっていたいのが不安(事務的業務)

○仕事をしている以上、責任を持って仕事をしています。しかし、正社員と同じ責任、仕事をしていると "賃金が低いのに"と感じる事はよくあります。量は正社員の方の方が多いので文句は言えませんが。 仕事柄、責任は一緒ではあるが、賃金に見合った仕事にしてほしい。 ……… (専門的・技術的業務) ○正社員と派遣の中間でとても立場が曖昧。業務その他の線引も明確でなく、都合良く指示を受ける。評 価制度が無い為モチベーションは低下する。正社員との待遇の差が大きい。特に賃金、福利厚生。(事務的業務) ○正規の社員・職員に応募する際に、契約社員での経験は重視されずカウントされないのではないかとい う不安は常にあります。契約社員という立場はやはり説得力がない。扱いが軽い。 …… (事務的業務) ○1 年ごと更新、最長 5 年という契約ですが、査定項目自体、あるのかどうか疑問です。与えられた仕事 量が私の 1/10 程度でも、恐らく同程度の基本給をもらっている契約社員や社員がいる一方で、私以上の 処理能力を持つ派遣スタッフには、恐らく私の 2/3~1/2 の給与しか支払われません。当然、その派遣ス タッフからの風当たりはものすごく強く、精神的にキツいです。また、超過勤務時間を記録するのは面 倒くさい、と言う社員がいて、記録しづらい雰囲気があります。社員は他の社員、契約社員、派遣スタ ッフに仕事を割り振ることができますが、契約社員にはそのような権限はなく、断わったら来期の更新 は無いかもしれないという不安が常にあるため、社員より多く割り振られても引受けるしかない感じで、 さらに、異動も原則ありません。契約書に書いてある業務内容が概要のみなので、後からどんどん割り 振ることが可能なのです。この4年半、とても疲れました。 …………(専門的・技術的業務) ○正職員は出退勤時間の運用が非常にルーズで(サービス残業しているのかもわからないが、)連日、定刻 より 5~10 分遅れて出勤してくる人が多い。同じことを契約職員がやれば、5~10 分でも 1 時間の時間 休をつけると強制されるが、納得いかない。何のために契約社員を雇っているのか、有期雇用職員に対 して、どういう仕事をどのようにしてほしいのかについて、正職員が何も考えておらず明確・具体的に ガイドできないような職場なので、正職員自らの仕事に対する意識が甘いのだと思う。(事務的業務) ○契約社員から正社員になれる職場であれば、年齢等も気にすることなく、心に余裕を持って働きつづけ られるように思う。が、契約にその先がないと転職のことを考えたり、将来のことについても常に頭の 中で考えていなければならない。せっかく仕事を覚え、スムーズに業務をこなせるようになってきた所 で終わってしまうのが契約社員のように思う。(スキルアップする前に終わり、その後も同じようなこと の繰り返しではないかと思ってしまう) ………………………………………(事務的業務) ○契約社員と正社員の差が全くないのに給料が違うので、納得いかない。給料が安いのであれば正社員と の差別化をはかってほしい。 …… (事務的業務) ○有期契約なので、雇用先に対する忠誠心は低くなりがちになる。業務も最低限のパフォーマンスにとど めておこうという気持ちになる。 ……………………………………………………… (事務的業務) ○同じだけの仕事をしているのに正社員とは差がある。契約社員にする理由が不明。 … (サービス業務) ○契約社員は不安定なので、早く正職員のポジションを得たいと思うが、専門性を生かせるポジション探 ○専任と契約社員の仕事差別があり、「専任は企画・運営、契約社員は単純ノーマルな仕事を」、「専任は電 話を取らなくていい。コピーやその他単純作業は契約社員にまわせ」という上司の言い方がとても嫌で す。自分では一生懸命働かせていただいていますが、パワハラがすごい。 …………(事務的業務) ○女性で30代後半になると、仕事の幅というか、就業できるところ等々が一気に減ってくる。そんななか、 さらに出産・育児をしていると、何かと融通のきく派遣・契約という働き方しか選択できないというの が現状。本当は正社員として同じところで長く働きたいと思うが、年齢ですでに応募すらできないこと

が多い。派遣では長くて3年、契約でも無期転換ルールにかからない期間までしか更新しないところが 多いので、結局3、4年に1度は職場を変わらなければならないのは、正直しんどいです。それでも仕事 しないと生活できないので現状をやむを得ず受け入れているのです。 …………(事務的業務) ○若い人がなかなか正社員になれず、男性などは低い賃金でハードに働き、これでは結婚することもでき ないのでは?と何度も思いました。会社のずるさを感じてしまいました。私自身は高齢なのでよいので すが、社員をうまく使っているな…と思いました。結婚しても共働きになってしまうのは、男性の賃金 に問題があるのではないでしょうか。私の頃は結婚しても男性(夫)の賃金で生活していました。 ------(生産工程・労務) ○若い人達にとって、計画的な生活設計が出来ないのではないか。結婚出来ない人が増えて、出生率に影 響が出る。貧富の差が出る。会社の利益追求だけで良いのか? ………(専門的・技術的業務) ○なぜボーナスがないのかわからないです。1 人暮らしをしていると、税金や年金などで手取りはわずか です。若い人があまり結婚・子育てに積極的にならないのは、手取りの少なさにあります。食費をけず って、毎日カップラーメンの人もいます。高齢者がほとんど使っている健康保険、年金の支払い額に疑 問を感じます。いつになったら日本の若者はしあわせになるのでしょうか。 …………(事務的業務) ○年齢的に契約社員しか面接までたどりつけない。正社員の仕事は若くないと話がすすまない。5年の契 約社員から正社員への転換を希望しても社内の試験や面接で切られる。契約社員の更新回数が会社によ ってまちまち。仕事が決まらないから契約社員ではたらいています。 ……………(事務的業務) ○正社員として働けるなら働きたい。しかし、企業が正社員を雇用しない現在では、労働条件は同じなの に賃金が安い派遣社員や契約社員を選択しなければ、働く場所がなく、生活が成り立たない。生活のた めに仕方なく契約社員として働いている。 ………………………………………………………(事務的業務) ○契約でも更新できるならそこでずっと働けるのでいいと思うが、更新できない場所もあるのでずっと続 けたい人は、厳しい状況だなと思いました。 ………………………………………………………(事務的業務) ○労働者側は辞めやすく、会社側も辞めさせやすい。賞与など払わないので、会社としては人件費削減に なると思う。契約社員は雇用の安定にはならないので (今の会社は、正社員登用は無いので)、長く働く 気はない。 …… (サービス業務) ○期間が定まっている分、雇用主と労働者がお互いを見定めることが出来ると思いますが、労働者の立場 からしますと、安定した働き方ではないと感じます。昨今の経済状況から有期契約や、パート、アルバ イトの仕事が多くなりましたが、業務の引継等の現場の状況を鑑ると頻繁に人員交代が起こることは好 ましいことではありません。折角教育、研修したのにすぐに辞めてしまう様ではきちんと研修しようと も思わないかも知れません。それが、現場で、無知な人が起こす事故や失敗につながり、退職→人員不 足といった悪循環を招くのではないでしょうか。つまり、安定した雇用の確保というのは、雇用主と労 働者の両者にとってのメリットが大きいのです。 ……………………(専門的・技術的業務)

19.3 契約社員という働き方に対する要望

○同じ会社で働く人たちは、皆、平等に扱われるべきではないか。 ………………(事務的業務)

○現在は準社員に近いので不満はありませんが、会社に何かあった時一番先に解雇されるのではという不安があります。退職金がないかわりに、他の社員より給料が高いというのが契約社員という認識でした

が、社員との給料の差がないのが現状です。会社にとって都合の良い契約社員と感じない契約であって
ほしいです。(専門的・技術的業務)
○会社によっては、正社員との業務内容に大差がなくても、待遇面などで条件が大きく異なる点は問題だ
と思う。労働者を正規、非正規で分けるのであれば、業務内容や責任、時間外労働など明確な差をつけ
るべきで、それができないのであれば、同一労働には同一賃金であるべきだと思う。一度正社員になる
と解雇が難しいため、辞めずに居すわる優秀でない正社員と、優秀でも派遣や契約社員などの非正規雇
用の人が混在する職場を沢山見てきました。正社員が30代後半より上が多く、非正規は20代~30代前
半が多かったように思います。これは世代別の格差でもあるのではないでしょうか。 … (事務的業務)
○一般に正社員と比べると労働者にとっては不利なものでしかない。雇用者にも労働者にも「正社員>契
約社員」という認識が根付いてしまっていることも要因に感じる。雇い止めに関しては仕方のないこと
だと思うが、手当・給与・退職金等に関して差を設けることは違法とし、上記の認識を正し、制度を抜
け穴としてではなく、正しい意義で運用してほしい。(事務的業務)
○会社への要望があっても、伝える相手が正社員では、契約の立場、状況がわかっていないため、全く伝
わらず、流されるといったことがあっても他に相談できる相手がいない。同業他社はどうなっているの
か気になる。より不安定であるのだからもう少し保障が欲しい。(事務的業務)
○正社員の方との線引きが大きい。常勤だから非常勤だからとの考えは良くないです。契約に必ず次期更
新するとはうたっていないので経営状況では辞めなければならないのかなと思ってしまう。頑張っても
あと何年だからみとめられないのかなと思う。年をとっても勉強したいのでチャンスも平等に与えて欲
しいです。
○現在の職場で長く雇用された場合には、多少なりとも賞与が出れば仕事に張り合いが出るのですが。
(サービス業務)
○将来がとても不安であります。現在は収入があるだけマシですが、将来が見えず先がないです。「3年以
上契約社員として勤務すれば正社員雇用」みたいな制度があると良いですが(事務的業務)
○5年間真面目に働いてきたにもかかわらず、任期満了になると次の就職先に向けて何の手助けもしても
らえず、「使い捨て」という印象を受けます。もう少し契約社員のために「正社員登用」または「就職先
斡旋」などの制度を充実させていただけないでしょうか。法律を改正しても、それを守らない企業の方
が多いです。特に大学業界は職員の大半が非正規で、使い捨てばかりです。(事務的業務)
○将来に対して不安がある。賃金のアップや、正社員への登用、退職金の支払いなど希望する。
(事務的業務)
○社員と同じような仕事の内容はあたり前かもしれないが、委員会など仕事以外の責任ある仕事を任され
るのは違う気がする。昇給もボーナスも退職金もなく目標や楽しみがない中で、仕事への気持ちを保ち
続けようと努力しているが、全く社員と区別ない仕事では気持ちが続かない。(委員会の仕事は資料づく
りなど時間外や自宅でやっている人が多いため)退職金や昇給も少しでもいいから考えてほしい。
(専門的・技術的業務)
○有期雇用は、メリットよりもデメリットの方が多いと思います (労働者の視点では)。期限のある雇用環
境では、仕事に対する責任感も生まれにくいと思っています。一方で、会社からは、それなりの仕事量
が求められるので、そのアンバランスさに日々疑問を感じています。正社員になることが、昔よりも難
しい時代に、もっと有効なルールを定めてほしいところです。(事務的業務)
○契約社員と常用職員とがあり、部署によって仕事内容は違いますが、賃金の差があることに対して不満
です。同じ職種であるにもかかわらず月給と賞与が違うというのは、とても理不尽で働く意欲を失いか
ねません。1日でも早い賃金制度の見直し、改善をお願いしたいです。 (専門的・技術的業務)

〇正社員と仕事内容が同じであるため、採用されて気が抜けた業務態度を取っている正社員を見ると納得
いきません。面接でただ口が上手いだけで採用された方を見ると腹が立ちます。憧れていた仕事につけ
たため、続けていきたいです。正社員でなくても契約更新の上限はなくして欲しいですし、1から採用
試験を受けさせることを廃止してもらいたいです。面接でどの位仕事ができるか分かるのでしょうか、
実際に見て判断した方が良い場合もあると思います。(専門的・技術的業務)
○会社側が、いつでも契約更新をしない権利を行使できる、という不安定さには、不安を感じる。ただ、
正社員転換の機会を与えられているが、転勤が前提条件であるため、家庭の事情もあり、正社員転換は
難しい。正社員と同じ内容の仕事を低賃金で行っているのであるから、せめて、雇用の保障はしてほし
い、と思います。
○3ヶ月ごとの契約では、不安定である。給料も安く使い捨てだと思う。無期転換ルールは、5年ではなく
1年ぐらいに変更してほしい。大企業の正社員だけベースアップをして、そのため、契約社員が切られ
たりしていると思う。正社員がベースアップするなら契約社員もするべきである。 (生産工程・労務)
○個人的には不安を感じます。契約社員というのも一つの雇用の形だと思うので、もう少し安心して働け
る環境を確保して貰えればと思います。
○せめて、1年働いて本人が希望し、そして会社に認めてもらい、正社員として働く事ができれば、もう
少し意欲がわくと思う。(生産工程・労務)
○正社員との条件が違いすぎる。契約社員や派遣社員の改正も歓迎しますが正社員の改正もして、平等に
より近くしてほしい。(専門的・技術的業務)
○期限が限られており、満期になると、正社員にもなれないため、非常にストレスがたまる。将来が見え
ず、不安である。雇用の枠が増えると良い。(専門的・技術的業務)
○色々と経験を積むという点では働き方としては良いのではないかと思いますが、結局の所、先があるか
と問われるとほとんどないであろうというのが現状であり、せっかく知識や経験を得てもそれを将来生
かせるかどうか、このままでいいのか、他に正社員になる道を探すべきでは等と悩みばかりです。もう
少し正社員になる道を増やしても良いのではないかと思います。 (サービス業務)
○仕事内容や責任は正社員と同等であるにも関わらず適正な研修がないことに不満を感じます。責任を与
えられることはやりがいにつながるので良いのですが、見合った研修を希望します。 (その他)
○退職金がなく、慰労金として勤続年数×1万円程度と聞いています。将来的な事を考えると、契約社員
ではなく、正社員として長く働き続けられる職場に転職したいと考えています。契約でも、退職金とし
て明確な金額を提示してもらった方が見通しを持って働きやすいと感じます。 (専門的・技術的業務)
○正社員と同じ保障を受けられるべきである。
○契約社員という働き方は、もっと自由なものだと思っていた。休みは取りやすい職場だとは感じるが、
もっと好きな日に好きなように働いていたいと思っている。それでなければ、契約社員でいる意味はな
いと思う。正社員になりたくてもなることができなくて、契約社員として働いているところもあるので、
今後はどこかで正社員を目指したい。契約社員でも正社員と業務は変わらないので、賃金をあげて欲し
いと思う。
○正社員とくらべて、要望等しっかり聞き入れてもらえていないと思います。改善していただきたいと思
います。
○5年契約だと言われたので働くことにしたが、入社してみると1年契約の4回更新だった。1年契約社員
であるために、保育園(認可)に入れず、待期児童となってしまった。正社員でないと不利になること
がこんなところにあると思わずとても後悔した。契約社員の労働環境の改善もそうだが、正社員と同条
件で働く者にとって、保育所入所などについて差別がないようにしてもらいたい。

(専門的・技術的業務)
○現在の職場は環境は悪くないが、収入は低い。有期の契約社員に対しても、正社員と同様のモチベーシ
ョンを求められることに違和感がある。有期と区切られているのに、中長期の目標を与えられても積極
的に考えようとは思えない。契約社員への仕事の振り方は考えたほうがいいと思う。 … (事務的業務)
○社員と同等の仕事をしていても給与は上がらないし契約期間も1年ごとの更新という内容が契約書に明
記されている。本人が希望すれば社員への道がひらかれるようになればよいと思う。 … (事務的業務)
○正社員とほとんど同内容の仕事量、勤務時間であるのに、賞与は無し、退職金も無しで勤務しています。
契約社員になり、もうすぐ5年ですが、給与のアップもありません。その間、消費税がアップし、実際
には減給に等しいです。正社員と同等とはいかないまでも、少しの寸志程度の一時金や、給与のベース
アップがあれば、モチベーションももう少し高くなるのにと思ってしまいます。 (事務的業務)
○仕事に慣れてくると業務量が増え、負担増となるが、賃金・処遇等が良くなるわけではないので、時期
そのことに対して疑問を感じる。せめて、正社員になれないとしても、成果分の報酬が与えられればも
う少し仕事へ対する情熱も変わってくると思う。(事務的業務)
○正社員と同じ業務内容であったり、業務に対しての責任も同条件にも関わらず、正社員の方が賃金や有
給休暇等の待遇面が良いというのはいかがなものか。もちろん個人差はあるが、人によっては正社員と
いう立場だけで契約社員を下に見る者もいるので、せめて待遇面だけでも条件を良くしてもらえれば、
もっと労働者も増えると思う。もちろんそうなるには契約社員側のスキルの向上も必要になってくるの
で今後も努力を怠らないようにしていきたい。(運輸・通信業務)
○同じ職務内容の正社員と比べ、条件等、不遇であると感じています。研修制度の充実や、賃金制度の改
善を望みます。
○賃金を正社員と同じにしてほしい。有休の数を正社員と同じにしてほしい。 (事務的業務)
○賃金をあげてほしいです。更新は長いほうがいいです。(サービス業務)
○正社員、契約社員のくくりがなくなることが理想と思います。雇用側の都合で簡単に辞めさせることが
できないようにすれば契約社員という雇用形態はなくなるのではありませんか?中途採用の年齢制限も
何かと理由をつけて設定されている。(事務的業務)
○契約社員の扱い方を各企業で検討すべきと感じます。出勤日や勤務内容が正社員と大差ないにも関わら
ず、賃金に差が出るというのはやはり不満も出るのではないでしょうか。職務の差を明確にすることや
賃金・待遇等が改善されることで、働きがいをもって働ける方が増えてくるのではないでしょうか。(値
育の現場は正社員の賃金も決して高くないので難しいかもしれませんが…)。定時で帰りたいです…。
(専門的・技術的業務)
○派遣社員よりも賃金の面では恵まれていると思いますが、退職金やボーナスがない分、もう少し賃金制
度の改善があった方がモチベーションが上がるかなと感じます。(事務的業務)
○仕事の内容は正社員の方と同じで、業務量、責任も正社員と同じように課されているのに、賃金や諸条
件に違いがある事に不平等を感じる。正社員と契約社員を区分けしているのであれば正社員と同様な業
務、残業は要求しないべきだと思う。(事務的業務)
○先のある契約社員であることが望ましい。(専門的・技術的業務)
○「契約」社員であるが故に、勤めている会社は残業代が支払われません。他の方の条件に比べればめぐ
まれていると思いますが、残業代はほしいです。(事務的業務)
○私の場合、同一企業に定年後特別社員として働いているので、一般に言う契約社員とは少し立場が違い
ます。ほとんど現在は正社員と同様の仕事をしているので、もう少し賃金面で up を図ってもらえれば。
思います。(専門的・技術的業務)

- ○契約社員という雇用形態は、名目は社員という肩書が付いているが、実際には期間雇用のアルバイトというとなんら変わらないと思う。年々、キャリアアップして仕事の量、責任がふえても、一向に仕事の改善や能力のアップの努力をしない正社員との賃金格差、福利厚生の差がありすぎる。雇用形態にかかわらず、同一労働、同一賃金という原則に基づき、正当なスキル評価をするべきだと思う。

- ○正社員として働きたいが介護との両立が成り立たなくなる為、現在は契約社員として働いている。業務 に関する責任の程度は正社員と同等なので、賃金、賞与、退職金などの改善を望む。 (サービス業務)
- ○使い捨ての人材なのだなぁと感じることが多くあります。勤務時間外に自費を使ってスキルアップし資格取得しても、それが評価される事はありません。年齢が上がるにつれ再就職も困難です。「契約社員」「非常勤職員」など「正規」に対しての呼び方がありますが、このような職名自体に、違和感を覚えます。「正社員」も労働契約を結んで働いていますし、「非常勤」も「常勤」同様、毎日フルタイムで働いているのに…と。フルタイムなら全員同じ条件になればいいと思います。終身雇用と比べ生活が不安定になる訳なので、その保障のために本来なら終身雇用よりもむしろ高待遇であってもよいはずです。人件費削減の為に有期雇用にしよう、という考え方は改めてもらいたいです。 ………… (事務的業務)
- ○契約社員であるがゆえに、責任が無いと、会社トップが考えているようですが、お客様に接する最前線がパート労働者であり、お客様の心もようがよくわかるものです。親密なる労使状況がなければ、すぐお客様より反感を買います。契約、正規の別など不用と考える。 …………………………………………………………(販売業務)
- ○業務によって賃金の幅があるのかもしれませんが、賃金設定が採用時から大卒初任給に数万円加算した 額程度で変わりません。(契約書に記載された内容どおりなので仕方ないと諦めていますが。) 有期の限 定期間の社員であれば、賃金水準を高めに考慮していただきたい。 ………………… (事務的業務)
- ○通算5年満了時に正社員になれる見込みがあれば現在の職場で続けていきたいが見込みがないようであれば3年満了(初回)時点で更新せず退職して別の仕事を探したい。更新した場合、年齢的にも転職が厳しくなるので初回満了時に正社員に登用される見込みがどれくらいあるか知りたい。(初回3年、その後1年更新2回、通算5年契約) ……(事務的業務)
- ○年収が契約社員になってから大幅に変わったので、改善されるようにと思います。私の知る限り、現在 は正社員より契約社員が多く、一部の正社員より責任ある仕事をまかせられています。もっともっと国 は、契約社員の実態を知ってほしいです。 …… (事務的業務)
- ○大学の大半は5年契約など上限があると聞きます。5年後はどうすれば良いんですか?仕事が見つから ず困っている人が多いという話もよく聞きます。業務量は変わらないのに、社員を減らしてバイトを増

やそうという動きもあります。不安しかありません。企業の都合ばかりでなく、下で働く人々のことも
考えて政策をつくってほしいです。日本はダメになる一方ですよ。(専門的・技術的業務)
○正規で働きたい人を正規にするという今の政府の言っている事は嘘だと思っている。きちんと働きたい
人への支援をして欲しい。今年3月で契約が切れるが、今、求職中であり、不安ばかりである。本当に、
切実に正規(任期なし)の仕事で働きたい。助けて欲しい。(専門的・技術的業務)
○60 歳を越えており契約社員で問題ないが、65 歳が延長上限年齢であるため、再就職先を探すのが、面倒
である。若い人にとっては、正社員と契約社員の差が年齢とともに開く傾向にある。若い人への働き方
(賃金体系(退職金・年金を含め)) の指導を中学生段階から行っておく事が必要。都会で住居を持たな
い人の負担は大きいため、契約社員の住居対策も必要。(管理的業務)
○正社員と同じ業務量に対して、報酬が少ないこと。身分が不安定であり、再雇用(定年後)を、もっと
法律によって守ってもらいたい。(事務的業務)
○職場によって違いはあるかもしれませんが、自分の勤め先の感覚では正社員ではコストがかかるので契
約社員を雇用しており、仕事は正社員以上に働いている。契約社員でも責任ある仕事をしているのに賞
与は年間で 5万。正社員の 1/10 にも満たず割の合わない立場で、もっと契約社員の処遇の改善を国や都
で考えて欲しいと思います。契約社員やパートの声を届ける機会を与えて欲しいと思います。
(事務的業務)
○責任を持って働きたいですが、家庭との両立もさせたい、このように思いながら契約継続を希望する方
が多くいらっしゃると思います。現在の職場では法改正により、継続期間の上限が設けられてしまいま
したが、上限なく働けることを希望いたします。(事務的業務)
○有期労働契約が5年を超えると無期労働契約に転換可能となったことにより、現在の職場では5年で雇
止めとするルールができました。有期雇用者にとっては上記のルールにより、以前より不安定になった
と思います。企業側よりも労働者にとってよりよい方法に労働法の改正を考えていただきたいです。
(事務的業務)
○5年を超えると正社員(又は無期)にしなければならない法律がある為、5年以上は更新してもらえませ
ん。出来れば長く勤めたいと思っているので大変困っています。5 年で正社員へ転換してくれる会社は
実際にはほとんど無く、会社は 5 年で新しい人に入れ替えるだけです。会社は手間が掛かるし、働く方
は働きたくても長く居られないし、誰が得をする法律なのでしょうか。(事務的業務)
○制度として、5 年間で正社員か無期転換、と言っても、その前に必ず雇い止めとなるので無意味と思い
ます。(事務的業務)
○無期転換ルールにより、雇用期間が以前は5年だったものが、現在3年までとなってしまっている。
(事務的業務)
○ただでさえ、いつどうなるかわからない身分なのに、「無期転換ルール」という法改正によって、5年以
内で契約が切れるように変ってしまった職は多くあると思います。この法改正に何の意味があったのか、
私には理解できません。(専門的・技術的業務)
$\bigcirc 2$ 年前の法改正により、有期雇用期間が一企業につき通算 5 年を超える場合、本人の申出により無期雇
用にできることになったが、実際にはそれにより、逆に満 5 年で更新終了となることが前提になってい
る場合が多い。企業側にとっては好都合だろうが、契約社員はただ首を絞められているだけだと思う。
(事務的業務)
○無期転換するための通算勤続期間が5年というのは少し長いように感じます。 (事務的業務)
○現在の職場に入職する際、3年で常用にと人事から口頭で回答があったが、入職してみると全く違って
いた。注律で5年し完められたのけ自いし田らが、エチベーション維持などの声から目でも5年け長才

ぎる。きちんと職務に従事している者は3年くらいで常用にするのが効率的と思う。 …(事務的業務)

- ○新法律で契約社員が正社員になる流れが出来るという考えは安易と感じています。少なくとも私の環境では契約更新できる方々が雇い止めになるケースが多くあると考えています。 ……… (事務的業務)
- ○新法は契約雇用者の雇い止めを招くだけ(研究業界は状況悪化)。元来、日本は世界でも稀に見る低失業率の国であり、有期雇用制度自体に大きな問題はないはず。問題となるべくは世界でも稀に見る極悪の労働環境全般。英語で karoshi という単語が存在していることの重大さ。新卒一括採用主義、「就活」という儀式をやめ、中途採用・転職をもっとフレキシブルにできる社会システムにすべき。また、有給不消化の悪弊は一刻も早くただすべき。無理なら買い取りを法制化してほしい。(専門的・技術的業務)

19.4 その他の意見

- ○私の場合は他にやりたいことがあり、今の職場はそのための勉強にもなっているため現在の仕事場で契約社員という状態はやむをえないと思っている。しかし、契約社員ではこの先ずっとやっていけないと考えているため早く自分のやりたいことで正社員になれるよう努力しなければいけない。(事務的業務)
- ○「誰でもいい」仕事(業務)を与えられていると日々感じる。生産性がなく、やりがいは感じられない。 ただ、プライベートには時間を割きやすく、悪くはない。 …… (事務的業務)
- ○退勤は割と定時であがれるため、終業後の時間を自分の時間に当てられるので良い。ただ契約という立場にあって、正社員から少し見下されるように感じることが少なからずある。仕方のないことではあると思うが気分が良いものではないと感じることはある。 …………………………………………………………(事務的業務)
- ○賃金は低いが、正社員と同等の働きが出来る方が採用されていると思う。つまり経費削減。でも、働き手が考える働き方と合っていれば契約社員として雇用継続は良いと思う。 …………(サービス業務)
- ○現在の職場では契約社員でも正社員と大きな違いを感じることはなく待遇も自分にはありがたい内容であるため、否定的な響きに感じる「有期雇用」であるという実感はありません。ただ、正社員登用はほぼないという話を聞いているので無期転換ルールによって雇い止めされる可能性があるのかどうか、不

○不安定で不安。但し正職員よりは気楽。 ……………………………………(専門的・技術的業務) ○契約社員のみで構成されている部署なので、有給休暇のとりやすさ、就業時間の融通のききやすさはあ り、とても働きやすい職場です。世の中の正社員がこういう風に働けたら、ワークライフバランスも整 い、もっと仕事にやる気、やりがいを感じながら充実したプライベートも過ごせるのに、と思います。 残業して有給も使わず仕事だけの生活をしても、逆に仕事の質は落ち、体調も崩れ、考える力が衰えて 仕事ができなくなります。正社員も休みがとれやすくなれば、とても働き甲斐のある社会になると思い ます。ですが、どんなに優秀な人でも5年で必ず追い出されるという現在の契約状況については非常に 残念です。働きながら常に契約が終わる時のことを考え、年齢を重ねると共に求人の量も減っていくで あろう現実を思うと、焦りと不安ばかり募ります。これまで退職された先輩方も能力の高い人ばかりで したが、スムーズに転職できたのは半数、そのうち正社員になった人は私の知る限りいません。とても もったいないことと思います。新卒で入ってきた後輩も多く、5 年経てば何の保証もツテもなく追い出 されるから、転職のあてがあるうちに辞めたほうがいいと言わなくてはならないのも辛いです。 ------(事務的業務) ○20 年近く商社に勤めたのち、派遣社員を経て契約社員となりました。社員といってもプロパーではない ので決定権がなく、つねに本来新入社員がやるべき庶務をお手伝いしている感じです。もっとバリバリ とやりたい所ですが社風にあわせ、コツコツとみなさんの雑務、事務処理で、少し責任がなさすぎて、 つまらないかもしれません。お給料が少ない分、責任のない仕事とわり切って、スキルアップの機会と 思い、充実したアフター6をすごすように心がけています。 ……………………(事務的業務) ○契約社員という働き方を選ぶことには、それぞれのメリットや事情などがあり、一概に良い、悪いとい う言葉で表現できるものではないが、少なからぬ搾取は必ずあり、その上で企業の運営、存続が成り立 っていると感じる。 ………………………………………………………(事務的業務) ○契約社員側も、もちろん会社側も「いいとこどり」をしている部分があると思います。うまくマッチし ていれば自己都合に合わせ働けると思いますが、職場内での勤務形態によって不公平感が生じると難し いです。私自身、今の職場は(給与面以外では)気持ち良く働かせてもらっていますが、ここで一生(正 社員として)働くか?と言われると再考してしまうと思います。契約とは言え、派遣さんとちがって会 社側の人間であるので、会社側の考え方も理解できます。 ……………………(事務的業務) ○責任も軽いので気楽である。しかしながら、退職金が無いので遠い将来はとても不安である。 ------(事務的業務) ○正社員への転換が予定されている契約社員なので、期限の有無に関わらず契約社員という働き方は一時 的という考えです。また、正社員への転換を自己都合(出産)で先伸ばしにしてもらっているので健康 状態も未定な事もあり、契約社員である事に気持ちの軽さを感じている。 ………(事務的業務) ○現在の業務は専門性があり継続したい仕事ではあるが、正社員を希望しない理由としては、他に行って みたい仕事があり、その仕事に関してのスキルを磨く時間が欲しい為である。(専門的・技術的業務) ○契約社員とはいえ、正社員と仕事内容は変わらず大変ではありますが、もともと今の会社に正社員とし て働きたいと考えていた為、仕事内容には充実しています。時給での賃金形態の為、長期休暇は給料が 発生しないので生活面に不安は感じます。しかし、残業した分の賃金は契約社員は発生し、正社員は発 生しません。そういった面だけを見ると正社員になる不安も感じてしまいます。(専門的・技術的業務) ○現在共働きで、事前に契約内容を確認し納得したうえで仕事ができ、正社員のように急な異動や転勤が ないので働きやすい。ただ、更新時期になると不安な日々が続く。 …………(事務的業務) ○契約社員は、転勤が無いので、その部分に魅力を感じています。しかし、賞与等の条件は正社員とは大

安はあります。 …………………………………………………………… (販売業務)

さく異なる為、特米个女に感じる部分もあります。また、いつ実利を打ち切り和くしまりのかという人
安もあり、正社員へ転換できるのならそうしたいと思います。(事務的業務)
○独身時代は正社員としての勤務にこだわっていたと同時に、残業や過労も受け入れていた(契約には不
安があった為)。結婚後、生活の変化や家事・家族の時間が増え、企業で働く時間だけで生活を占めてし
まわぬよう、限られた契約期間でも、仕事と家庭のバランスを少しでも保てる環境を選べる心のゆとり
が生まれた。実際は契約社員とはいえ正社員と仕事量、ノルマ、責任は変わらず、社会は厳しいと実感。
契約更新毎に向き合い熟慮したい。
○私の場合、転職活動の際正社員を希望しましたが、学歴や年齢、主婦であることが理由となり正社員に
はなれませんでした。いざ会社で働くと、能力は認められるものの、仕事を任され責任は重くなっても、
賃金は上がらず正社員として働くことができない状況でした。もちろん人事や上司にうったえても変わ
ることはありませんでした。書面上学歴、主婦…等々。現実はきびしいです。自分としては、通信で力
学へ行ってこれからの社会でどれだけ実力を発揮できるかチャレンジするつもりです。
(専門的 • 技術的業務)
○一般的には正社員との格差を感じ、将来性のないように思えるが、現在の職場においては、正社員にな
るまでの前段階にすぎず、いずれは正社員として雇用される前提がある為、甘んじて受け入れている
(事務的業務)
○契約社員でも正社員と同じ仕事、同じ勤務時間を働いていますが、私は年令が高いのに、皆さん大切に
してくれます。勤務時間が(残業)ルーズな所があり少し不満もありますが、もう少し頑張りたいと思
っています。(専門的・技術的業務)
○社員の方が会社や仕事に対してより重い責任とより高い能力及び意欲を持っているという前提で、給与
に差がついているはずだが、実際、私より働いている人も能力が高い人もいない。ただその時間座って
いるだけでお給料をもらっている正社員ばかりだ。要は、7.5 時間捨てる時間がある人のみ正社員にた
れる。家族の介護で、短時間しか働けないものはずっとパートのままだ。社員という身分の人にとても
甘い会社。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
○私は 25 年程度正社員として働いて、ある程度社会人としてのスキル、経済的基盤等が整っているので
仕事と私生活のバランスを取るのに契約社員の制度はありがたいのですが、全体を見ると正社員になり
たいのになれない人がほとんどです。また、正社員は年齢、社会的経験に関係なく、契約社員を下に見
る傾向があるので、そこからひずみや意思疎通の困難さが生じているように思います。社会全体、思い
やって働くことが重要だと思います。(事務的業務)
○契約社員=パートというイメージがあるように感じます。自社ではそれほどではありませんが、世間-
般ではこのように思われている方が多いです。雇用形態の違いによっての働き方という認識ではないな
と思っています。(専門的・技術的業務)
○昇給、昇格の差があり、相当の努力がないと正社員になれません。私の努力が足りず正社員面接に3回
落ちています。以前チャレンジしましたが、上司に推薦を見送られ断念致しました。再チャレンジする
つもりです。
○今の職場で正社員になりたいと思うが、自分が担当する業務以外の業務がプラスされるととても負担に
なり時間外が増してくるのが嫌です。(専門的・技術的業務)
○契約社員だからといって決められた事を定時までやるという事ではないと実感。 (販売業務)
○母子家庭なので正社員として働けない。仕方のないことです(サービス業務)
○正社員で働き続けていたので、契約社員の多い職場に入り、数ヵ月や、数年、1 年以内にぐるぐる人材
が亦わってゆくのにびっくりした。隣担の由でも初幼門外の働きけしかいしいる老うが名く。 白△した

仕事に対する考え方が大きく違うと感じた。	·····(専門的·技術的業務)
仕事に対する考え方が大きく違うと感じた。 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(保安業務)
○年齢が65才であり、この職場に採用して頂いた事に感謝しています。	
意欲はあるつもりでいますが、病気の不安もあり、いつまで働けるが	か、年々、年を重ねるので…。年金
を受給しつつ働いているので、金銭面ではこれ以上の望みはなく、イ	仕事としてやりがいを求めていると
ころです。	(サービス業務)
○37年間正社員で勤務した会社を定年退職し、契約社員として現会社	こ勤務しました。65 才まで継続可能
ということですが、健康と家庭の事情(母親の介護)が許す限り働、	こうと思っています。待遇面での特
段の希望はありません。	(事務的業務)
○障害者であるため、契約社員として働いています。(前職で、正社員	として不適当と言われました。)障
害を治して、再び、正社員として働きたいと常に思っています。 …	·····(事務的業務)
○同じ仕事量、責任で正社員の人と同じ業務をこなすのは、やはり契約	約社員の方が賃金や待遇等比べても
使いやすいからではないかと最近思い始めている。新卒ではない今、	、やりたい仕事は派遣でしかやれな
い。学生のうちにもっとやりたいことについて向かい合い、経験を利	漬んで、キャリアアップしておけば
よかった。	·····(事務的業務)
○契約社員について自分自身知らない事が多いまま、現在に至っており	ります。今一度会社側と詳細確認を
行いたいと思います。	·····(專門的·技術的業務)
○私の場合は、契約社員が正社員と派遣との板挟みになっている。派遣	遣に対しての教育が全然できておら
ず、派遣は正社員の前では一切苦情を言わないが、契約社員に対し	攻撃してくる。人件費を節約するの
ではなく、企業は雇用する人間をきちんと面接するべきだと思う。	(事務的業務)
○定年で契約社員になったので、定年が早すぎる。	(保安業務)
○自分の生活リズムに合わせてもらっての就業のはずが、短い時間で	すが残業が多くなっている為、正社
員とあまりかわらないような気がします。	(事務的業務)
○前職の経験が生かせる職場であることから、契約社員との認識は特に	こ感じていない(保安業務)
○弊社は契約社員から正社員への雇用を行っています。年令が定年(6	0才) に限りなく近いので、その制
度は毎年見送りましたが、若かったらその制度を利用したいと思いる	ました。現に若い人 (20代~40代)
はどんどん正社員になっています。契約社員でも正社員と仕事の内容	容に変わりはあまりありません。子
育てに追われていた頃は、比較的休みを取り易いパートとしてしか側	動くことができませんでした。30年
前に正社員で働いていた頃、妊娠3ヶ月の時にぎっくり腰になって会	会社に 3 週間休養の必要があると診
断書を提出したところ、会社側から元気な赤ちゃんを産んでもらいて	たいから出社しなくていいと連絡が
来ました。今思えば不当解雇されたのだと思います。今でいうマタノ	ハラ。女性が働くというのは、なか
なか今でも大変だと思います。どんなに女性のために制度を作って	も生かされてないように感じていま
す。	(事務的業務)
○入社したばかりなので、契約や正社員という事よりも、仕事を一人前	前にこなす事を出来る様に頑張って
います。	(事務的業務)
○専門職を生かした業務だが、なかなか、職場の人間関係を構築するの	のが困難であった。ようやく、1 年
半すぎ、少しずつでありますが、良い意味で構築できつつあります。	採用を感謝しております。
	(専門的・技術的業務)
○本来は契約社員ではなく正社員で勤務したいのが本音です。自分も	長く正社員で働き、ある日突然の会
社の倒産により契約社員に8年間なってしまいました。懸命に働く	ことは一緒ですが、契約だと雇用期
問があるのでその占でビクビクして仕事をしているところがある。(何とか正社員に戻って定年とかり

今は契約(嘱託)社員になりました。末長く働ければ良いと思うし、雇用形態に関係なく業務のスキル
アップを考え前進していきたいです。(保安業務)
○定年退職後の再就職であり、実態は契約社員であってもあまり実感はない。 … (専門的・技術的業務)
○正社員とは変わらないです。ただ、若手も先輩も内容が変わらない仕事でスキル以上の事がもとめられ
ることもあり、若者を育てる環境ではない。精神の安定しているものだけが、大変な仕事を行うのがお
かしい。みんな大変である。(専門的・技術的業務)
○働ける状態が続くまで継続したい。(運輸・通信業務)
○高齢でもあり定年後に契約社員で雇用して頂けるだけでありがたい。(保安業務)
○部署によって、同じ時間働いていても、仕事量が違うのが気になります。(事務的業務)
○会社の雇用契約が人によって違い、同じ職場の中で様々な条件の違いがある。人間関係は良好であるが、
人によってやれる事が違う等、微妙に関係性に影響が出るようで心配である。(専門的・技術的業務)
○あまり正社員との差がないので契約社員としての感想はない。(専門的・技術的業務)
○契約社員の警備員は、社会の安全・地域の保全という職業に比し、賃金は「最低賃金」で雇用され、福
利厚生もほとんど無い。上層部は高賃金で優遇されており、格差があるのが実態です。早急に警備会社
の賃金実態について、労基署の立入り検査が必要だと思っています。警備会社としての社会的使命を実
施している会社と、警備会社とは名ばかりの労働者をくいものにしている会社の仕訳をしてほしいです。
東京オリンピックの成功 or 失敗もそこにあると思っています。(保安業務)
○働く人はまじめに働いているが、さぼっている人やおしゃべりばかりで、仕事に集中してくれないので
困る時がある。仕事が忙しいからか上司が話を聞いてくれない。安心して働ける職場の環境であってほ
しい。
○60 才以上の雇用に関して、賃金が低すぎると思います。65 才まで、年金の受取がない場合、退職金等な
い者にとって仕事内容に比べて待遇が低すぎるため、生活が苦しくなる。(事務的業務)
○この職場で継続して10年近く働いていますが、当初は派遣社員として、その後に契約社員になりました。
私がこの職場にいる間に国の制度が変わり、派遣社員ではなく契約社員がこの職場にくるようになり、
後から入った人の方が、先に正社員になったりして、なんとなく、制度の狭間に翻弄されたように思い
ます。昔のように皆が会社に入った時点で、正社員・契約社員で区別されない働き方ができたらと思い
ます。

第4章 正社員と比較した働き方 及び待遇について

第4章 正社員と比較した働き方及び待遇について

就業形態の多様化が進み、非正規労働者が増加する中で、非正規労働者の待遇について 正社員との違いが生じていることから、今回は、前回実施した契約社員と正社員との働き 方の比較に加え、労働条件の相違に関する意識についても調査を行った。

調査の結果、働き方に関しては、前回調査と同様、使用者側は、契約社員は正社員より軽易であると考えている一方で、契約社員側は、変わりはないと考えており、その意識に違いが生じている。また、契約社員の仕事の内容、仕事の量、仕事の責任がそれぞれ正社員と同じである場合においては、使用者側、契約社員側ともに労働条件の相違はないと回答した割合が全体平均より高くなったが、賃金、賞与、退職金については、不合理な相違があると考えている契約社員の割合も全体平均より高くなった。

- ★事業所調査は「契約社員」を雇用している事業所(有効回答事業所数370)の回答結果である。
- ★契約社員と正社員の労働条件の相違については、事業所調査:第2章58~63ページ、契約社員調査:第3章128~132ページ参照。本章では、契約社員調査において、正社員と契約社員の間で相違があるとの回答が多かった賃金、賞与、退職金、教育訓練について、詳しい集計結果を掲載している。

1 正社員との働き方の比較

1.1 仕事の内容

正社員との仕事の内容の比較 ■簡易 □同じ □困難 □無回答 ■契約社員調査:比較できる正社員がいない ⊞事業所調査:どちらともいえない ■契約社員調査:わからない 0% 20% 40% 60% 80% 100% 事業所調査 25.7 47.6 0.5 24.3 1.9 (N=370) 契約社員調査 16.3 49.7 6.4 20.5 6.4 0.7 (N=547)

○事業所調査において、正社員との仕事の内容の比較について聞いたところ、「正社員 と同じ」が47.6%と半数近くを占め、「正社員より簡易」が25.7%、「どちらともい えない」が24.3%、「正社員より困難」が0.5%となっている。

- ○事業所調査において、主要事業内容別に見ると、正社員との仕事の内容の比較では、ほとんどの業種において「正社員と同じ」が最も多く、特に「教育、学習支援業」 (59.0%)、「情報通信業」(56.8%)、「サービス業」(56.5%)で高くなっている。 一方で、「金融・保険業」では「正社員より簡易」が50.0%で最も多くなっている。
- ○事業所調査において、企業規模別に見ると、正社員との仕事の内容の比較では、「正社員と同じ」は「300人未満」規模事業所では5割を超えているが、「300人以上」規模では企業規模が大きくなるにつれて割合が減少し、「1000人以上」規模事業所では、「正社員より簡易」が最も多く40.4%を占めている。
- ○契約社員調査において、正社員との仕事の内容の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」は49.7%、「正社員より困難」は6.4%となり、「正社員と同じ」と「正社員より困難」をあわせた「同等以上」は56.1%となっている。逆に、「正社員より簡易」は16.3%となっている。
- ○契約社員調査において、業務内容別に見ると、正社員の仕事の内容と「同等以上」 が全体平均(56.1%)より高いのは「運輸・通信業務」(65.6%)、「専門的・技術的 業務」(65.4%)、「販売業務」(62.5%)となっている。
- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との仕事の内容の比較について、いずれも「正社員と同じ」が半数近くを占めるが、「正社員より簡易」は事業所調査が25.7%で、契約社員調査より9.4ポイント高く、逆に、「正社員と同じ」と「正社員より困難」をあわせた「同等以上」は契約社員調査が56.1%で、事業所調査より8.0ポイント高くなっている。

1.2 仕事の量

正社員との仕事の量の比較 ■少ない □同じ □多い □無回答 ■契約社員調査:比較できる正社員がいない ⊞事業所調査:どちらともいえない ■契約社員調査:わからない 20% 40% 60% 80% 100% 事業所調査 24.6 52.2 0.0 21.4 1.9 (N=370) 契約社員調査 17.2 47.2 15.0 14.8 5.3 0.5 (N=547)

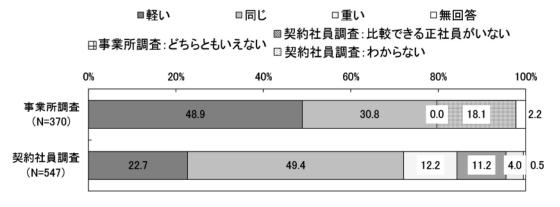
○事業所調査において、正社員との仕事の量の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」が52.2%と過半数を占め、「正社員より少ない」が24.6%、「どちらともいえ

ない」が21.4%となっている。「正社員より多い」との回答はなかった。

- ○事業所調査において主要事業内容別に見ると、正社員との仕事の量の比較では、ほとんどの業種において、「正社員と同じ」が最も多く、特に「建設業」(66.7%)、「情報通信業」(64.9%)で割合が高くなっている。
 - 一方、「正社員より少ない」は「金融・保険業」(44.4%)、「運輸業」(40.9%)で割合が高くなっている。
- ○契約社員調査において、正社員との仕事の量の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」は47.2%、「正社員より多い」は15.0%となり、「正社員と同じ」と「正社員より多い」をあわせた「同等以上」は62.2%となっている。逆に、「正社員より少ない」は17.2%となっている。
- ○契約社員調査において、業務内容別に見ると、正社員の仕事の量と「同等以上」が 全体平均(62.2%)より高いのは「販売業務」(83.3%)、「専門的・技術的業務」(72.5%)、 「運輸・通信業務」(68.8%)「サービス業務」(64.3%)となっている。
- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との仕事の量の比較について、いずれも「正社員と同じ」が5割前後を占めるが、「正社員より少ない」は事業所調査が24.6%で、契約社員調査より7.4ポイント高く、逆に「正社員と同じ」と「正社員より多い」をあわせた「同等以上」は契約社員調査が62.2%で、事業所調査より10.0ポイント高くなっている。

1.3 仕事の責任

正社員との仕事の責任の比較

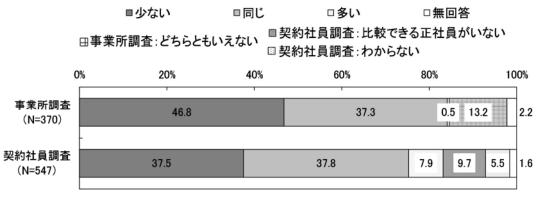


- ○事業所調査において、正社員との仕事の責任の比較について聞いたところ、「正社員より軽い」が48.9%と半数近くを占め、「正社員と同じ」が30.8%、「どちらともいえない」が18.1%となっている。「正社員より重い」との回答はなかった。
- ○事業所調査において主要事業内容別に見ると、正社員との仕事の責任の比較では、 ほとんどの業種において、「正社員より軽い」が最も多くなっている。

- 一方で、「情報通信業」(45.9%)、「教育、学習支援業」(41.0%) では「正社員と同じ」が最も多くなっている。
- ○事業所調査において、企業規模別に見ると、正社員との仕事の責任の比較では、「正 社員より軽い」は「300人未満」規模事業所では4割強であるが、「300人以上」規模 事業所では6割前後を占めている。
- ○契約社員調査において、正社員との仕事の責任の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」は49.4%、「正社員より重い」は12.2%となり、「正社員と同じ」と「正社員より重い」をあわせた「同等以上」は61.6%となっている。逆に、「正社員より軽い」は22.7%となっている。
- ○契約社員調査において、業務内容別に見ると、正社員の仕事の責任と「同等以上」 が全体平均(61.6%)より高いのは、「運輸・通信業務」(78.2%)、「販売業務」(75.0%)、 「専門的・技術的業務」(70.6%)、「保安業務」(62.6%)となっている。
- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との仕事の責任の比較について、事業所調査では「正社員より軽い」が48.9%と最も多いが、契約社員調査では「正社員と同じ」(49.4%)が半数近くを占めて最も多くなっている。「正社員より軽い」は事業所調査が契約社員調査より26.2ポイント高く、逆に、「正社員と同じ」と「正社員より重い」をあわせた「同等以上」は契約社員調査が61.6%で、事業所調査より30.8ポイント高くなっている。

1.4 残業時間(時間外労働)

正社員との残業時間の比較



- ○事業所調査において、正社員との残業時間の比較について聞いたところ、「正社員より少ない」が46.8%と半数近くを占め、「正社員と同じ」が37.3%、「どちらともいえない」が13.2%、「正社員より多い」が0.5%となっている。
- ○事業所調査において、主要事業内容別に見ると、正社員との残業時間の比較では、 多くの業種において、「正社員より少ない」が最も多く、特に「医療、福祉」(67.6%)、 「金融・保険業」(61.1%)で割合が高くなっている。

- 一方で、「サービス業」(50.7%)、「情報通信業」(45.9%)、「運輸業」(45.5%) では「正社員と同じ」の割合が高くなっている。
- ○契約社員調査において、正社員との残業時間について聞いたところ、「正社員と同じ」は 37.8%、「正社員より多い」は 7.9%となり、「正社員と同じ」と「正社員より多い」を合わせた「同等以上」は 45.7%となっている。逆に「正社員より少ない」は 37.5%となっている。
- ○契約社員調査において、業務内容別に見ると、正社員の残業時間と「同等以上」が 全体平均(45.7%)より高いのは「運輸・通信業務」(62.6%)、「専門的・技術的業 務」(53.0%)、「販売業務」(45.9%)となっている。
- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との残業時間の比較について、事業所調査では「正社員より少ない」が46.8%と最も多いが、契約社員調査では「正社員と同じ」が37.8%で最も多くなっている。「正社員より少ない」は事業所調査が契約社員調査より9.3ポイント高く、逆に、「正社員と同じ」と「正社員より多い」をあわせた「同等以上」は契約社員調査が45.7%で、事業所調査より7.9ポイント高くなっている。

1.5 賃金(時間単価)

正社員との賃金の比較 ■低い □同じ □高い □無回答 ■契約社員調査:比較できる正社員がいない ⊞事業所調査:どちらともいえない ■契約社員調査:わからない 100% 0% 20% 40% 60% 80% 事業所調査 45.4 5.1 24.3 23.2 1.9 (N=370) 契約社員調査 54.1 11.0 2.4 13.9 18.3 0.4 (N=547)

- ○事業所調査において、正社員との賃金の比較について聞いたところ、「正社員より低い」が45.4%と半数近くを占め、「正社員と同じ」が24.3%、「どちらともいえない」が23.2%、「正社員より高い」が5.1%となっている。
- ○事業所調査において、主要事業内容別に見ると、正社員との賃金の比較では、ほとんどの業種において、「正社員より低い」が最も多くなっており、特に「製造業」 (54.3%)、「医療、福祉」(52.9%)で割合が高くなっている。
 - 一方で、「建設業」では「どちらともいえない」が47.6%と最も多くなっている。
- ○事業所調査において企業規模別に見ると、正社員との賃金の比較では、「正社員より

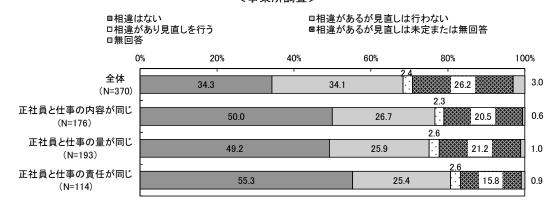
低い」は「300人未満」規模事業所では4割前後であるが、「300人以上」規模事業 所では6割弱となっている。

- ○契約社員調査において、正社員との賃金の比較について聞いたところ、「正社員と同じ」は 11.0%、「正社員より高い」は 2.4%となり、「正社員と同じ」と「正社員より高い」をあわせた「同等以上」は 13.4%となっている。逆に、「正社員より低い」は 54.1%となっている。
- ○契約社員調査において、業務内容別に見ると、正社員の賃金と「同等以上」が全体 平均(13.4%)より高いのは「管理的業務」(23.1%)、「運輸・通信業務」(18.8%)、 「専門的・技術的業務」(18.3%)、「サービス業務」(17.9%)となっている。
- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、正社員との賃金の比較について、「正社員より低い」は契約社員調査が54.1%で、事業所調査より8.7ポイント高くなっている。逆に、「正社員と同じ」と「正社員より高い」をあわせた「同等以上」は事業所調査が29.4%で、契約社員調査より16.0ポイント高くなっている。

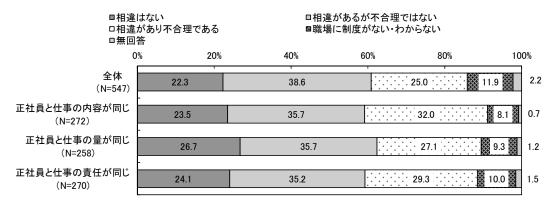
2 正社員との待遇の相違

2.1 賃金

正社員との賃金の相違 〈事業所調査〉



<契約社員調査>

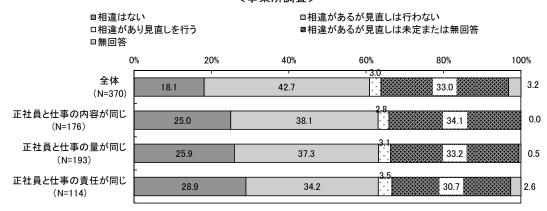


- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、契約社員と正社員との賃金の相違について、「相違はない」は契約社員調査が22.3%で、事業所調査(34.3%)より12.0ポイント低くなっている。
- ○正社員と「仕事の内容が同じ」、「仕事の量が同じ」、「仕事の責任が同じ」場合に限定すると、事業所調査においては、いずれの場合も賃金の「相違はない」と回答した事業所が5割前後を占め、事業所調査全体(34.3%)よりも高くなっている。特に、「仕事の責任が同じ」場合は「相違はない」が55.3%となり、事業所調査全体より21.0ポイント高くなっている。

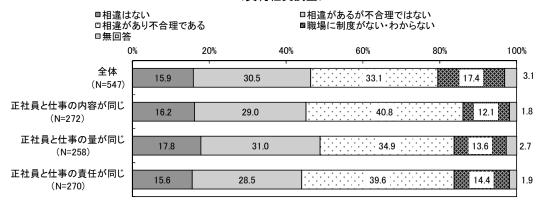
契約社員調査においては、いずれの場合も「相違はない」は2割強で契約社員調査 全体と大きな差はなかったが、「相違があり不合理である」の割合はいずれの場合も 契約社員調査全体(25.0%)より高く、「仕事の内容が同じ」場合には3割を超えている。

2.2 賞与

正社員との賞与の相違 〈事業所調査〉



<契約社員調査>

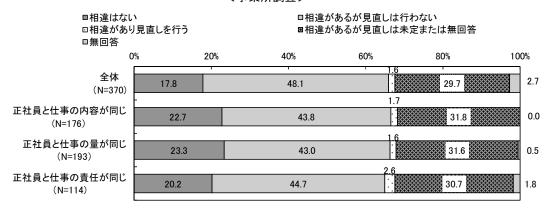


- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、契約社員と正社員との賞与の相違について、「相違はない」は契約社員調査が15.9%で、事業所調査(18.1%)より2.2 ポイント低くなっている。
- ○正社員と「仕事の内容が同じ」、「仕事の量が同じ」、「仕事の責任が同じ」場合に限定すると、事業所調査においては、いずれの場合も賞与の「相違はない」と回答した事業所が2割を超えており、「仕事の責任が同じ」場合は28.9%と、事業所調査全体(18.1%)より10.8ポイント高くなっている。

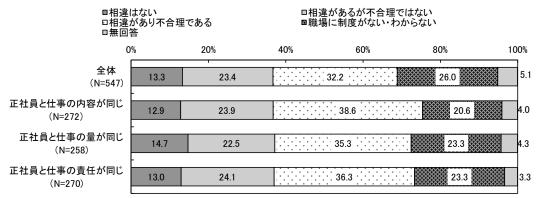
契約社員調査においては、いずれの場合も「相違はない」は2割弱で契約社員調査全体(15.9%)と大きな差はなかったが、「相違があり不合理である」の割合はいずれの場合も契約社員調査全体(33.1%)より高く、「仕事の内容が同じ」場合は40.8%、「仕事の責任が同じ」場合は39.6%と4割前後を占めている。

2.3 退職金

正社員との退職金の相違 〈事業所調査〉



<契約社員調査>

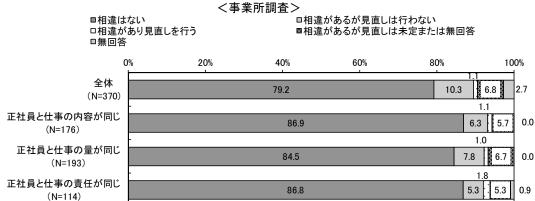


- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、契約社員と正社員との退職金の相違について、「相違はない」は契約社員調査が13.3%で、事業所調査(17.8%)より4.5 ポイント低くなっている。
- ○正社員と「仕事の内容が同じ」、「仕事の量が同じ」、「仕事の責任が同じ」場合に限定すると、事業所調査においては、いずれの場合も退職金の「相違はない」と回答した事業所が2割を超えている。

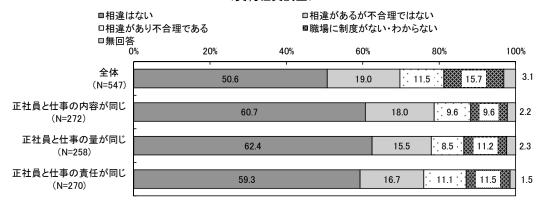
契約社員調査においては、「相違はない」の割合は、「仕事の内容が同じ」場合 (12.9%) と「仕事の責任が同じ」場合 (13.0%) は契約社員調査全体 (13.3%)よりも低くなっているが、「相違があるが不合理ではない」と合わせると、おおむね契約社員調査全体と同様の割合を占めている。また、「相違があり不合理である」の割合は、いずれの場合も契約社員調査全体 (32.2%)より高く、「仕事の内容が同じ」場合 (38.6%) は 6.4 ポイント高くなっている。

2.4 教育訓練

正社員との教育訓練の相違



<契約社員調査>



- ○事業所調査と契約社員調査の結果を比較すると、契約社員と正社員との教育訓練の相違について、「相違はない」は契約社員調査が50.6%で、事業所調査(79.2%)より28.6ポイント低くなっている。
- ○正社員と「仕事の内容が同じ」、「仕事の量が同じ」、「仕事の責任が同じ」場合に限定すると、事業所調査においては、いずれの場合も教育訓練の「相違はない」と回答した事業所が8割を超え、事業所調査全体(79.2%)より高くなっている。 契約社員調査においては、「相違はない」の割合はいずれの場合も6割前後となり、契約社員調査全体(50.6%)より高くなっている。

第5章 集計表

: 構成比	参回	26	3.3	0.0	7.7	3 10.3	5.6	8.3	0.0	0.0	5.2	6.3	8.2	11.4	0.0
下段:	単	36 8.1	.03	4.4	5.1	3.4	ο e.	4 60	- 2	893	0.0	0.0	9.2	ro 20	. 3
上段:件数入事業所>	1000人以 上		3 10.		1 6	9	4 6 11	33.) 12.	13.				1 9 14.	0 14
15	500∼999 人	13	3.3	0.0	2.6	6.6	5.6	∞i	0.0	4.5	1.7	0.0	1.4	2.5	0.0
〈契約社員	300∼499 人	24	3.3	8.9	10.3	0.0	4.2	0.0	25.0	4.5	6.9	0.0	5.5	2.9	0.0
全常用労働者<契約社員未導	100~299 3(人	70	6.7	9 20.0	6 15.4	11 37.9	11 15.5	8.3	0.0	3 13.6	9	43.8	7.	11.4	0.0
間1 全常	\prec	198	19	21	16 41.0	34.5	33	5 41.7	4 50.0	31.8	32 55. 2	97.5	31	31.4	3 42.9
	7下 30~99	78	3	9 20.0	7 17.9	6.9	8	0.0	12.5	31.8	9	12.5	18	9 25.7	3 42.9
_	29人以	445 100. 0	30	45 100. 0	39	29 100. 0	71 100. 0	12 100. 0	8 100. 0	22 100. 0	58 100.0	16 100.0	73	35	0.0
L	分	27 7.3 10	5 2	27	8.1 10	2 9.1 10	2 9	1 9	0.0	1 10	.8 10	2.1	7.2 10	e 9	0.0
	無回%		.6	.0.	1.3		69	.0.		11	11	.5.		13.	
<u> </u>	1000人以 上	52 14.1	3 14.3	17.1	8.1	22.7	12 21.4	33.3	0.0	22.2	2.9	15.4	7 10.1	1.5	0.0
導入事業品	500∼999 人	32	9.5	11.4	13.5	4.5	7.1	0.0	16.7	0.0	5.9	10.3	7.2	18.2	0.0
<契約社員導入事業所	300∼499 50 人	24	9.5	11.4	0.0	0.0	7.1	3 16.7	0.0	11.11	0.0	5.1	8.7	9.1	0.0
全常用労働者	~299	89 24.1	6 28.6	10 28.6	4 10.8	6 27.3	15 26.8	11.1	16.7	44.4	8 23.5	12 30.8	17	18.2	0.0
間1 全	7 20 7	31.6	5 23.8	7 20.0	15 40.5	6 27.3	16 28.6	22.2	4 66.7	11.11	17 50.0	10 25.6	24 34.8	6 27.3	2 100.0
	30~99	29	4.8	5.7	7	9.1	5.4	2 11.1	0.0	0.0	5.9	7.7	7.2	9.1	0.0
L	k 29人以	370 100. 0	21 100. 0	35 100.0	37 100. 0	22 100. 0	56 100.0	18 100. 0	6 100. 0	9 100.0	34 100.0	39	69	22 100.0	2 100. 0
L	坐林	വര	8 6	21.0	7.9 10	E 8	9	7.2	0.0	1 2	7.6 10	രവ	7.7	7 12.3	0.0
	無回%	9	8 5.	.23		.6	4.	.9	0	1.00	7	9			0
	1000人以 上	88 10.8	6 11.8	10.0	6.6	11.8	20	33.3	7.1	16.1	1.1	6 10.9	13	10.5	11.1
· 禁	Y 666∼009	45	5.9	5.0	7.9	5.9	8.3	3.3	7.1	3.2	e e	7.3	4.2	8.8	0.0
全常用労働者数	300∼499 5 人	48	5.9	10.0	5.3	0.0	5.5	10.0	14.3	6.5	4.3	3.6	10	5.3	0.0
間 全	100~299 30 人	159	8	19	13.2	33.3	26	3 10.0	7.1	7 22.6	18.5	34.5	24	8	0.0
		315	24 47. 1	28 35.0	31 40.8	16 31. 4	49 38. 6	30.0	8 57. 1	8 25.8	49 53.3	16 29. 1	55	17 29.8	55.6
	766~08	107	7.8	13.8	14 18. 4	7.8	111	6.7	7. 1	7 22. 6	11 12. 0	9.1	23	11 19.3	33, 3
	★ 29人以下	815 100.0	51	0.001	76 100. 0	51 100. 0	127 100.0	30	14 100. 0	31	92 100. 0	55 100. 0	142	57	9
-	外	10	10	10	10.	10	10	10	10	10	10.		100	10	10
		合計	設業	製造業	報通信業	輸業	毛・小売業	融·保険業	不動産業	食店、宿泊業	蔡、福祉	等、学習支援業	ービス業	その他	回答
			建設	製法	计	赚	卸売	④	事業	徴	医療、	教育、	+	40	無回

					間1 過去34	中国心味用し	/ た止在員数							間間	- 五3年間 心	繁田 しだし	正社員数 </th <th>契約社員導</th> <th>1人事業所</th> <th>^</th> <th></th>	契約社員導	1人事業所	^	
	金体	採用なし 1	10人未満	10人以上 30人未満	30人以上 50人未満	50人以上 100人未満	100人以上 300人未満	300人以上500人未満	500人以上	: 無回案	外	採用なし	し 10人未満	満 10人以上 30人未満		30人以上 50人 50人未満 100ノ	以 上 未 清	100人以上 300人未満	300人以上500人未遡	500人以上	無回器:
合計	815	52	224	232	7.6	53	8,0	14	36	6 60 4 7.4	4 100.0		23 6.2	93	95	36	28	39	2.2	18 18	s 30
建設業	51		14		9 11.8			0						e e	33.7	19.0	1 8 8	6 6 6	0 0		
製造業	80	8 0.01	19					i ei	5 -	o 00				2 2 2	34.3	000		20.0	2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2	0	
情報通信業	76	5.3	17 22.4		15.		5.		1.3	6.	9		2 4	8 21.6	12 32. 4			8.1	0.0		-
運輸業	51	2.0	15.7		15				6 11.8	17.	6 9		0 0	4 18.2	5 22. 7	4.5	4.5	13.6	0.0		
卸売・小売業	127 100.0		32 25.2							.53	7 56 5 100.0				15 26.8	3.6	7.1	9 16.1	1.8	8.	9.
金融・保険業	30 100.0	3,3	3.3		6.7		8 26.7	0.0		13.	4 18 3 100.0		0 0	1 2.6	4 22. 2	11.1	11.1		0.0	in.	1 6 22.
不動産業	14 100.0	0.0	42.9	14.3	14.3	14.3	7.1	0.0	7.1	0.	0 100.	9	0.0	4 66. 7	0.0	16.7	0.0	1 16.7	0.0	0 0 0	0.
飲食店、宿泊業	31	6.5	16.1	19.4	6 19.4		12.9	0.0	6	3 6.	2 5 100.	60	0.0	0.0	22. 2	22. 2	11.11	33.3	0.0	11.	0.0
医療、福祉	92	6.5	30.4	33.7	7. 7. 6	4.3	6.5	1.1	2.2	2 2 7.6	7 34 6 100.0		£ 80 80	9 26. 5	12 35, 3	5.9	5.0	2.9	2.9	.0.	9 2 5.
教育、学習支援業	55 100.0		32.7	15	7 12.7	5.0	7.3	1.8	ಣೆ	6 3.	2 9		eo t-	14 35.9	8 20.5	12.8	7.7	5.1		5.1	2
サービス継	142		57			4	4.2	6,000	က်	7	0 0		8	28	14.5	7.2	7.2	6.3			
その他	57		28.1				ಣೆ	1.8	0.0	10.	910			4	36.4	18.2	13.6	0.0	0.0	0	
無回答	9 100.0	11.1	33.3					0.0		11.			0 0	1 50.0	0.0		0.0	0.0	0.0		
29人以下	107	14 13.1	60	23 21.5	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0	9 29 4 100.0		2 6.9	17 58.6	8 27.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0 0 0	0
30~99人	315		120				0.	0.0		9	60		4.0	44	34.2	8 8	3.6	0.9	0.0		
100~299人	159		25		ī		17		0.6	1 6	7 89 4 100.0			20 22. 5	34	13.5	5.6	9 10.1	0.0	0 0 0	
300~499人	48	0.0	12.5	12 25.0	18	13 27.1	6.3	4.2	2.1	4.	2 24 2 100.0		0.0	5 20.8	4 16.7	5 20.8	25.0	4.2	8.3	4.	2 0.
200~999人	45 100.0	6.7	6.7		7 15.6	20.0	10	6.7	.9	7 4.	2 32 4 100.0		9.4	6.3	9.4	6 18.8	7 21.9	18.8	3.1	. 6	3.2
1000人以上	88 100.0	0.0	0.0	6.8	3.4	6.8	26 29. 5	7.8.0	33.0	21	11 5 .5 100.		0.0	0.0	3.8	. s. s.	9 11.5	16 30.8	7.7	14 14 7 26.9	4 9 13.
	53	2	10	10	7	co	7	2		6	10	2.6	O	LC	4	6	-	9			

L					m.	用, 温土9年	五字公田	か 加 処 社 昌	*					88	1、温土9年	上方次田一七	* 即然 * 四米	/加州4月	上班 一下班 :	上段:件数 下段 略序/	: 構成比
		金体	採用なし	10人未満	10人以上30人未贈	30人以上50人米謝	50人以上 100人米瀬	100人以上 300人未満	300人以上500人未謝	500人以上	無回%	金林	採用なし	10人未満	10人以上 30人米謝	30人以上50人未贈	50人以上100人米瀬	100人以上300人米浦	上指	500人以上 無	f回答
	수計	815	311	194	95	31	33	3.1	7 0.9	14	105	5 370 9 100.0	25	145 39. 2	77 20.8	7.3	30	21 5.7	1.4	2.7	30
要	建設業	100.00		23.5	5 6	3 2	2.0		0 0	2.0	7.	21 21	0 0		14	9.5		9 2	0 0	1 4	1 4.8
千	製造業	80		20 25.0	8.8		10.0	5.			8.	7 35 8 100.0					22.		0.0	0.0	8.6
丰	情報通信業	76		34.2	10.5	5.3			1.3	1.3	6	7 37 2 100.0	5.4	20 54.1	21.6			2.7	2.7	0.0	5.4
爋	運輸業	51	16 31.4	15.7	7.8	5.9	1 2.0	5.9	0.0	2.0	29.4	5 22 4 100.0	3 13.6	22.7	18.2	0.0	4.5	13.6	0.0	0.0	27.3
	卸売・小売業	127 100.0	51 40.2	30	17	4.7	1.6	1.6	0.0	3.9	11.0	4 56 0 100.0	7 7	35.7	11 19.6	10.7	1.8	3.6	0.0	8.9	7.1
王要・金	金融・保険業	30	23.3	30.0	20.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	20.	6 100.0	11.1	38.9	27.8	0.0	1 5.6	0.0	0.0	0.0	3 16.7
	不動産業	14	42.9	21.4	4 28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.	1 1 100.0		50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
徴	饮食店、宿泊業	31 100.0	38.7	29.0	9.7	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0	16.	5 1 100.0	0.0	55.6	22.22	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
	医療、福祉	92 100.0	45	19	11 12.0	2.2	4.3	0.0	0.0	0.0	1 12.	1 34 0 100.0	8.8	38.2	9 26.5	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	8.8
敷	教育、学習支援業	55 100.0	9 10.9	27.3	10	9.1	9.1	9.1	0.0	3.6	3 12.3	39 7 100.0	0.0	12 30.8	10 25.6	12.8	10.3	12.8	0.0	5.1	2.6
+	サービス業	142 100.0	52 36. 6	30	14 9.9	4.2	4.9	3.5	3.5	2.1	3 20	0 69 1 100.0	8.7	36.2	12	8.7	7 10.1	8 6.3	4.3	2.9	7.2
W	その他	57 100.0	27	11 19.3	8.8	1.8	5.3	5.3	0.0	1.8	10.	6 22 5 100.0	0.0	40.9	22.7	4.5	3 13.6	9.1	0.0	0.0	9.1
単	無回%	9 100.0	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.	2 2 100.0	0.0	1 50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25	29人以下	107	56	26.3	7.	0.0	1 0.9	0.0	0.0	0.0	1	7 29 9 100.0	6.9	17 58.6	17.2	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	13.8
_	30~99人	315	156	90	7.0	2.5	1.0	0.0	0.0	0.0	36	6 117 4 100.0	10	73	20	8.8	3.6	0.0	0.0	0.0	2.6
	Y667~00	159	52 32. 7	44 27.7	25	5.7	10	1.9	0.0	0.0	10.1		9.0	33	24 27.0	9.0	9.0	2.2	0.0	0.0	6.7
	300~499人	48 100.0		14	11 22.9	8.3	3,	4.2	2.1	2.1	9	3 24 3 100.0	1 4.2	20.8		16.7	3 12.5	8.3	4.2	4.2	0.0
多 50	200~866~	45 100.0	15.6	13.3	13	6.7	11.1	7 15.6	2.2	2.2	4.4	22 32 4 100.0	3.1	6 18.8	28.1	3.1	15.6	9 18.8	3.1	3.1	6.3
	.000人以上	88 100.0	11.4	8.0	13	5.7	6.8 6.8	12 13.6	4.5	11 12.5	202 20.7	0 52 7 100.0	3.8	7.7	8 15.4	9.6	9.6	10 19.2	3.8	13.5	9
無	無回答	53 100.0	21 39.6	13.2	7.5	3.8	9.4	1.9	1.9	1.9	20.	.1 27 8 100.0	3.7	7 25.9	4 14.8	3.7	18.5	3.7	3.7	3.7	22. 2

		上段	上段:件数 下段	下段:構成比												上段	上段:件数 下段	段:構成比			上段:	: 件数 下段	下段:構成比
		4	間1 過去3年間の採用 者数	○間の採用 を			4	間1 9	労働組合の有無	有無	4		間1 労働組合の有無 契約社昌選入事業所>	が 排所 1	11 4		問1 労働組合の有無 契約社員表導入事業所>	有無(業所)			+	契約社員の導入	の導入
		(H)	正社員	契約社員			(H) (本)	40 1	なし	無回答	供	99	なしなり	無回緣	供	64	なし	無回然			(H)	導入している	導入して いない
	#=	125,874	82, 992	42,882		华	815	208	591	16	370	129	232	2.4	445	79	359	7.	<u> </u>	† ±	815		445
	建設業	6,465	5, 288	1,177	194	建設業	51	19.6	40		21 100.0			1 4.8	30		25	0.0	<u> </u>	建設業	51	21	30
	製造業	5,863	4, 449	1, 414	Yess	製造業	80	33.8	53	0.0	35	17 48.6	18 51.4	0.0	45	10	35	0.0		製造業	80	35	45
	情報通信業	9,674		6,912		情報通信業	76	14	62 81.6	0.0	37		31 83.8	0.0	39		31	0.0		情報通信業	76	37	39
	運輸業	27,602		2, 208	, Art	運輸業	51	29	22 43.1	0.0	22 100.0	13	9 40.9	0.0	29	16	13	0.0		運輸業	51	22	29
	卸売・小売業	26, 104		13, 442	_ ~	卸売・小売業	127	40	83	3.1	56	28	25	5.4	71 100.0	12 16.9	58	1.4		卸売・小売業	127	56	71 55.9
主要	金融・保険業	7,631	7,359	272		金融・保険業	30	13	16 53.3	3.3	18 100.0	9 20.0	8 44.4	5.6	12 100.0	33.3	8 66.7	0.0	主要	金融・保険業	30	18	12 40.0
事業	不動産業	1,717	1,635	82 4.8	事 継	不動産業	14 100.0	0.0	13 92.9	7.1	6 100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	7 87.5	1 12.5	事 継	不動産業	14 100. 0	42.9	8 57.1
内容	飲食店、宿泊業	3,961	3, 454	507		飲食店、宿泊業	31	9 19.4	25	0.0	9 100.0	44.4	55.6	0.0	22 100.0	9.1	20	0.0	内容	飲食店、宿泊業	31	9 29.0	22 71.0
	医療、福祉	4,368	3, 766	602		医療、福祉	92	12 13.0	78	2.2	34 100.0	7 20.6	27 79.4	0.0	58	8.6	51 87.9	3.4		医療、福祉	92	34 37.0	58
	教育、学習支援業	8,025 100.0		4,536		教育、学習支援業	55 100.0	24 43.6	29 52.7	3.6	39	56.4	38.5	5.1	16 100.0	12.5	14 87.5	0.0		教育、学習支援業	55 100.0	39 70.9	16 29.1
	サービス業	21,024 100.0		10, 039	•	サービス業	142	17	122 85.9	3 2.1	69 100.0	10	58	1.4	73	7 9.6	64 87.7	2.7		サービス業	142	69 48.6	73 51.4
	その他	3, 227 100. 0		1,657	•	その他	57 100.0	14 24.6	41 71.9	3.5	22 100.0	31.8	14 63.6	4.5	35	7 20.0	27	2.9		その他	57 100.0	22 38.6	35 61.4
	無回答	213 100.0		34 16. 0	415	無回答	9	22.2	777.8	0.0	2 100.0	50.0	50.0	0.0	100.0	14.3	85.7	0.0		無回答	9 100.0	22.2	77.8
	29人以下	851 100.0		240	-4	29人以下	107	13	93 86.9	0.9	29	20.7	79.3	0.0	78	7 9.0	7.08	1 1.3		29人以下	107	29	78
4	30~99人	5, 487	7	1, 161 21. 2		30~99人	315 100.0	47	262	1.9	117 100.0	18.8	92 78.6	2.6	198 100.0	25	170	1.5	4	30~99人	315	37.1	198 62.9
徳田	100~299人	13, 256 100. 0		2, 159 16. 3	4年田	100~299人	159 100.0	42 26.4	115 72.3	1.3	89 100.0	33.7	57 64.0	2.2	70 100.0	12 17.1	58 82.9	0.0	土 徳 田	100~299人	159	89 56.0	70 44.0
化海	300~499人	10, 202 100. 0		6, 156 60. 3	北重	300~499人	48 100.0	16 33.3	31 64.6	2.1	24 100.0	37.5	15 62.5	0.0	24 100.0	7 29.2	16 66.7	4.2	北海	300~499人	48	24 50.0	24 50.0
香港	200~888人	8, 317		2,927		200~999人	45 100.0	16 35. 6	29	0.0	32 100.0	13	19 59.4	0.0	13	23.1	10 76.9	0.0		- 200~999人	45 100.0	32 71.1	13 28.9
{	1000人以上	74,837 100.0	4	26, 351 35. 2		1000人以上	88 100.0	57 64.8	31, 35, 2	0.0	52 100.0	36	30.8	0.0	36	58.3	15	0.0	<u> </u>	1000人以上	88	52 59.1	36 40.9
	無回答	12, 924 100. 0	9, 036	3,888	***	無回答	53 100.0	17 32. 1	30 56.6	6 11.3	27 100.0	13	37.0	14.8	26 100.0	15.4	20 76.9	7.7		無回答	53	27 50.9	26 49.1

						AM OHH	AK 117.485 D11.534	787 787 787					ľ	ŀ			が 4年 0日日	が 2001日 200 2mg	上段:合計人数 ***		下段:構成比
				ſ	П	T	莱杉馬列佐								ſ		同2 が来				
			(H)	正社員	契約社員	有期バード イマー	-トタ 無期パ-トタ 嘱託社員 イマー		派遣 労働者	から高				本 本		契約社員 右	有期//9 イ- イ- カ-	無期バート9 WF イマー	魔託社員 宗 第	派遣労働者	から角
		合計	163, 565	93, 403	12,040	41,468	4, 544	4,642	5,681	1, 787			中	1,400	856	29	23	421	37	34	0
			100.0		1.4	25. 4		2, 2, 3	3.0					100.0	1.10	Z. T	Q.T	30.1	2.0	2.4	0.0
	华	4 男性	100 0	70 7	5, 906 6.4	10,001		o, 140	2,020	1,041	不動産業	#	男性	100 0	710	7 0	7 0	16.6	20 6	3 0	0
		別	71,837		6, 133	28		1, 494	3, 520	716		1 12	4.54	589	239	2.2	2.5	286		: =	0
		女性	100.0		8.5		4.1	2.1	4.9	1.0			女性	100.0	40.6	4.6	3.6	48.6	0.8	1.9	0.0
		4	5,667		342		12		259				#4	8,086	3, 993	34	2,603	1, 139	194	15	108
			100.0		6.0				4.6				п	100.0	49.4	0.4	32.2	14.1	2. 4	0.2	1.3
報報報	維	画	4,777		291	8		291	84	224	李 中		軍件	4,626	2, 766	15	1, 162	497	174	3	6
金田	€	世と	100.0		6.1	0.2	0.0	6. 1	1.8			和	717	100.0	59.8	0.3	25.1	10.7	3.8	0.1	0.2
		別	992		51	142	12	9	51	28		<u>B</u>	444	3, 460	1,227	19	1, 441	642	20	12	66
		H K	100.0		6.7	18.5		0.8	6.7				H	100.0	35, 5	0.5	41.6	18.6	0.6	0.3	2.9
		4	21,720	ī	1,821	2,239		548	835				4	9,061	6,042	344	1, 789	646	101	110	29
		п	100.0		8.4	10.3		2.5	3.8					100.0	66.7	3.8	19.7	7.1	1.1	1.2	0.3
机体券	*	軍件	14,811	12, 340	837	581		472	326	184	医癖 短补		軍体	2,337	1,822	72	241	129	44	21	80
N.	K	世人	100.0		5.7			3, 2	2.2			型	1	100.0	78.0	3.1	10.3	5.5	1.9	0.9	0, 3
		別を体	6,890	3,469	984		190	92	492	23		Ē	44	6, 703	4, 199	272	1,548	517	57	88	21
		1	100.0		14.3			1.1	7.1				1	100.0	62.6	4.1	23.1	7.7	0.9	1.3	0.3
		4	10, 420		752			152	732		111 11		411	20,950	10, 384	2, 461	7, 049	137	314	337	268
		i	100.0		7.2			1.5	7.0		₩≒			100.0	49.6	11.7	33.6	0.7	1.5	1.6	1.3
·	情報通信業	男性	8, 133		505	356	16	141	454		事 教育、学習支援業		男性	9,874	5, 326	1, 122	3, 080	32	170	29	82
_		# 2	100.0		6.2			J	9.0	0.9		# 2		100.0	53.9	11.4	31.2	0.3	1.7	0.6	0.8
耿丨		別女性	2, 287	1,557	247			11	278	63	E.	R	女性	11,057	5,048	1, 339	3, 965	105	139	275	186
+ :			100.0		10.8			0.5	12.2	2.8	陸]		100.0	45.7	12.1	35.9	0.9	1.3	2.5	1.7
₩.		Ų.	5,775	3,936	446		130	373	148	175			华	25, 987	9,649	2, 267	11, 150	1,512	629	571	209
K.		Ī	100.0		7.7			6.5	2.6				ī	100.0	37.1	8.7	42.9	5.8	2. 4	2.2	0.8
松運標券	耕	::	4,813		382			356	82	156	キーバン様	- 3	男件	14,052	6,937	1, 207	4, 439	546	524	263	136
į	,	世 :	100.0		7.9			7.4	1.7			₩.	!	100.0	49.4	8.6	31.6	3.9	3.7	1.9	1.0
		別	962	612	64	160	24	17	99	19		Ē	存件	12,034	2, 712	1,059	6, 811	996	105	308	73
			100.0		6.7	16.6		1.8	6.9	2.0			!	100.0	22.5	8.8	56.6	8.0	0.9	2.6	0.6
		4	33, 531	16, 579	2, 135	12, 471	64	1,473	200	103			华	9, 479	4,880	1, 109	1,695	135	236	1,375	49
		I	100.0		6.4	37.2		4.4	2.1	0.3			Ī	100.0	51.5	11.7	17.9	1.4	2.5	14.5	0.5
単場	告述 · 小班琳	車体	15, 924	12, 265	769	. 4		463	229	30	49		無存	4,955	3, 352	582	472	29	216	236	30
The Y	1.75×	世	100.0		4.8			2.9	1.4	0.2	国 ()	軐	717	100.0	67.6	11.7	9.5	1.4	4.4	4.8	0.6
		別在株	17,606	4,314	1,366	=	43		477	73		涵	4-44	4,531	1,536	527	1, 223	67	20	1, 139	19
		1	100.0		7.8				2.7				1	100.0	33.9	11.6	27.0	1.5	0.4	25.1	0.4
		4	9,772		273	1,097	13		538	223			#	1,717	1,412	27	170	36	20	21	31
			100.0		2.8	11.2			5.5					100.0	82.2	1.6	9.9	2.1	1.2	1.2	1.8
春冬	今間 - 四份排	軍体	5, 430	4,576	115			242	235	132	4 回 参		用件	1, 107	1,035	7	26	6	18	2	10
THE HEAT	**************************************	世	100.0		2.1				4.3	2.4	in I	型	1	100.0	93.5	9.0	2.3	0.8	1.6	0.2	0.9
		別	4,342	.,	158	196	13	26	303	16		丽	<i>₩</i>	610	377	20	144	27	2	19	21
		1	100.0	64. 1	3.6				7.0	2.1			1	100.0	61.8	3.3	23.6	4.4	0.3	3.1	3.4

L			ľ			THO SEAMON	E 400 200 11 11 200 200	4-70 ml / 786-2	か 本 上 級 田 コ	/ 1214	ŀ			ŀ	ŀ		BHO ANAMA	4K-2K5101-3K-24F	79 世/ 李元	上段:合語	: 合計人数 下脚 : 事業率:	下段:構成比
						**		9級へ突が1	7	Γ	777					Γ	~	万點別化業	*K	Ţ	Γ	74 cm (cl.)
				存	止社員 契	契約社員 有 行	有期//9 (4- イマ- イマ-	無期^ ート/ 嘱託社員 イマー		宗順 かのお お 動地	もら高				(大) (上)	止往員 数		有期/ 小/ ま	無期//g イマー	魔託社員 2	宗嗣 光衡者	んらあ
		Ą	# 4	118,865	980, 29	12,040	32,615	1,361	3, 058	3, 729	926		4.	400	475	380	53	23	-	12	30	0
		1		100.0	54.8	10.1	27.4	1.1	2.6	3.1	0.8				100.0	80.0	6. 1	4.8	0.2	2.5	6.3	0.0
	41		男件	65, 946	45, 309	5, 906	10,343	463	1, 767	1, 581	577	大野帝黎		神体	298	261	2	2	1	11	21	0
	ī	世	1	100.0	68. 7	0.6	15.7	0.7	2.7	2. 4	0.9	X H/M: I	世	1	100.0	87.6	0.7	0.7	0.3	3.7	7.0	0.0
		Ē	女性	52, 867	19, 777	6, 133	22, 367	868	1, 286	2,007	399		Ē	女性	177	119	27	21	0	-	6	0
				100.0	37. 4	11.6	42.3	1.7	2.4	က်	0.8				100.0	67.2	15.3	11.9	0.0	0.6	5.1	0.0
		ÁΠ	丰	3, 573	2, 763	342	30	· ·	175	237	19		ζ.2	中中	1,265	989	34	139	340	9 1	07 0	200
			1	100.0	0.11	9.0	0.0	7.0	4.9	0.0	0.0			1	100.0	2.4.0	7.7	0.11	6.07	0.0	7.0	4.0
	建設業	\$	男性	3,054	2, 496	291	9 0	0 0	171	72	18	飲食店、宿泊業	4	男性	786	520	12	39	199	4 1	0 0	6 -
		H a		100.0	81. /	9.5	0.2	0.0	9.6	2. 4	0.6		H a		100.0	2.00	F. 9	p. 0	25.3	0.5	0.0	T.T
		NR.	女性	395	267	12.9	24	r- ∞	1.0	41	0.3		Ē	女性	479	34.7	19	20.9	141	0.4	0.4	49
		ĺ	ī	18, 715	13, 548	1.821		91	394	695	204			in	4.822	3, 354	344	964	2	388	- 6	29
		ćα	ta	100.0	72. 4	9.7	10.5	0.5	2.1	3.7	1.1		,-	i i	100.0	9.69	7.1	20.0	0.0	0.8	1.9	0.6
	制体装		田林	12, 799	10,617	837		20	344	276	182	医糖油		田体	1,315	1,085	72	112	1	17	20	8
	米甲米	世	Ħ	100.0	83. 0	6.5	4.1	0.2	2.7	2.2	1.4		型	Ħ	100.0	82.5	5.5	8.5	0.1	1.3	1.5	0.6
		읦	444	5, 899	2, 931	984	1,439	7.1	90	402	22		別	424	3,507	2, 269	272	852	1	21	7.1	21
			H X	100.0	49. 7	16.7	24.4	1.2	0.8	6.8	0.4			H X	100.0	64.7	7.8	24.3	0.0	0.6	2.0	0.6
		ΔI	4:	7, 181	5, 286	752	394	11	111	280			4,0	合計	19, 269	9,679	2, 461	6, 246	6	302	305	267
		•	i	100.0	73.6	10.5	5.5	0.2	1.5	8. 2	_				100.0	50.2	12.8	32.4	0.0	1.6	1.6	1.4
-	情報通信業	1	男性	5, 580	4, 226	202	340	-	102	372	34 幸	教育、学習支援業	15	男性	9, 199	4,982	1, 122	2, 796	2	163	52	82
Н		Ħ.		100.0	75. 7	9.1	6.1	0.0	1.8	6.7	0.6 米		Ħ.		100.0	54.2	12.2	30.4	0.0	1.8	0.6	0.9
医		18 28	女性	1,601	1,060	247	54	10	6	218	က		E P	女体	10,051	4,687	1, 339	3, 446	7	134	253	185
#				100.0	66. 2	15.4	3.4	9.0	0.6	13.6	0.2 容				100.0	46.6	13.3	34.3	0.1	1.3	2.5	1.8
# 1		ÁΠ	丰	2, 408	1,420	446	419	0 0	75	45	9 0		(a	中	20, 752	7, 108	2, 267	9, 743	894	284	312	144
Σ :			1	100.0	28.0	0.2	17.4	0.0	3.1	J. 7	0.2	•	-		100.0	34.3	10.9	46.9	4.3	I. 4	I. 5	0.7
(運輸業	载	男性	1,956	1, 177	382	308	0 0	71	12	9 0	ナービス業	草	男性	10,822	4,939	1, 207	4, 018	238	222	94	104
		1 25		450	2.00	0.01	111	9	0 5	30.0			1 =		10.00	9 160	1 050	200.1	2.2	6.1	0.0	40
		:	女性	100.0	1 65	14.2	24.6	0.0	6.0	9.9	0.0			女性	100.0	21.5	10.6	2000	, c	0.6	2.2	0.4
			100	28, 161	13, 253	2, 135	10,806	22	1, 322	639	-		Ĺ	100	5, 459	2,857	1, 109	1,052		93	302	45
				100.0	47. 1	7.6	38.4	0.0	4.7	2.3	0.0		_	in .	100.0	52.3	20.3	19.3	0.0	1.7	5,5	0.8
	den ale . A. ale 386		田林	12,876	9,872	769	1,672	1	354	207		4		44 1	3, 443	2,098	282	428	0	88	221	26
	声が・4%米	型	TLK.	100.0	76. 7	6.0	13.0	0.0	2.7	1.6	0.0	日の日	型	H	100.0	60.09	16.9	12.4	0.0	2.6	6.4	0.8
		阁	4444	15, 284	3,381	1,366	9, 133	4	896	432	0		滔	44-44	2,026	692	527	624	-	rc	81	19
			X H	100.0	22. 1	8.9	59.8	0.0	6.3	2.8	0.0			X H	100.0	38.0	26.0	30.8	0.0	0.2	4.0	0.0
		7	マ計	6,648	4,694	273	466	0	235	481	166		1	140	137	28	27	38	0	11	3	0
		4		100.0	70.6	4.1	12.0	0.0	3.5	7.2	2.5			10.1	100.0	42.3	19.7	27.7	0.0	8.0	2.2	0.0
	泰島・一番や		男件	3, 768	3,008	115	96	0	500	234	107	第回效		相件	90	28	7	4	0	11	0	0
	表	型	1	100.0	79.8	3.1	2.5	0.0	5.5	6.2	2.8		世	716	100.0	56.0	14.0	8.0	0.0	22.0	0.0	0.0
		層	中体	2,880	1,686	158	704	0	26	247	29		圖	中华	87	30	20	34	0	0	က	0
			1	100.0	58.5	5.5	24. 4	0.0	0.9	8.6	2.0			1	100.0	34.5	23.0	39.1	0.0	0.0	3.4	0.0

			ľ		開っ 計楽が能	- 朱沙山山県公	4.米/加米/	世代 崇 干 田 十	/ 指線				ľ			世級中の目	作器 表別 時 報 2	大小 加 处 社	上段:合計人数: 日土海 3 重要訴	- /	下段:構成比
			全体	正社員 製料		%-1-1-3 1-1-3 1-1-3 1-1-3 1-1-3 1-1-3 1-1-3 1-1-3 1-1-3 1-1-3 1-3	W	属託社員	宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗	その街				全体田	正社員 製	契約社員 有	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	K- ~	光量	派遣んり	その色
		\ 	44, 700	28, 317	0	00	3, 183	1,584	1,952	811			184	925	476	0	0	420	25	307⊞ 4	0
		in in	100.0	63.3	0.0	19.8	7.1	3.5	4.4	1.8			ta (a	100.0	51.5	0.0	0.0	45.4	2.7	0.4	0.0
本		用件	25, 704	19, 521	0	2,708	1, 166	1,376	439	494	14年4年		軍体	513	356	0	0	134	21	2	0
	型		100.0	75.9	0.0	10.5	4.5	5.4	1.7	1.9	一點用米	型	73 I.E.	100.0	69.4	0.0	0.0	26.1	4.1	0.4	0.0
	層	中中	18,970	8,773	0	6, 143	2,016	208	1, 513	317		層	# 4	412	120	0	0	286	4	2	0
		1	100.0	46.2	0.0	32. 4	10.6	1.1	8.0	1.7			1	100.0	29.1	0.0	0.0	69. 4	1.0	0.5	0.0
		华	2,094	1,592	0	120	5	122	22	233			幸	6,821	3,307	0	2, 464	199	188	13	20
			100.0	76.0	0.0	5.7	0.2	5.8	1.1	11.1				100.0	48.5	0.0	36.1	11.7	2.8	0.2	0.7
茶位妝	-	里体	1,723	1,383	0	2	0	120	12	206	条 年 記 法 報		期件	3,840	2,246	0	1, 123	298	170	co	0
*	型		100.0	80.3	0.0	0.1	0.0	7.0	0.7	12.0		和	7117	100.0	58.5	0.0	29. 2	7.8	4.4	0.1	0.0
	涵	中华	371	509	0	118	5	2	10	27		詔	###	2,981	1,061	0	1,341	501	18	10	20
		1	100.0	56. 3	0.0	31.8	1.3	0.5	2.7	7.3			1	100.0	35.6	0.0	45.0	16.8	0.6	0.3	1.7
		4	3,005	2,261	0	277	170	154	140	60			#4	4,239	2,688	0	825	644	63	19	0
			100.0	75. 2	0.0	9.2	5.7	5.1	4.7	0.1				100.0	63.4	0.0	19.5	15.2	1.5	0.4	0.0
報供		軍体	2,012	1,723	0	28	19	128	20	2	西海 恒沙		軍体	1,022	737	0	129	128	27	1	0
K	型		100.0	85.6	0.0	2.9	2.5	6.4	2.5	0.1		型	TIC	100.0	72.1	0.0	12.6	12.5	2.6	0.1	0.0
	涸	1-44	166	538	0	217	119	26	06	1		別	4r4#	3, 196	1,930	0	969	516	36	18	0
		H K	100.0	54.3	0.0	21.9	12.0	2.6	9.1	0.1			Ħ	100.0	60.4	0.0	21.8	16.1	1.1	9.0	0.0
		本	3, 239	2,862	0	7.1	27	41	142	96	枡		#4	1,681	202	0	803	128	12	32	1
			100.0	88. 4	0.0	2.2	0.8	1.3	4.4	3.0	涵		п	100.0	41.9	0.0	47.8	7.6	0.7	1.9	0.1
信報油信業		華	2, 553	2,365	0	16	15	39	82	36	事 教在 小別方語教		華	675	344	0	284	30		10	0
_	#		100.0	92. 6	0.0	0.6	0.6	1.5	3.2	1.4	í S	世 世		100.0	51.0	0.0	42.1	4.4	1.0	1.5	0.0
	- A	女体	989	497	0	55	12	2	09		-E:	R	女性	1,006	361	0	519	86	ın.	22	-
坤 :			100.0	72. 4	0.0	8.0	1.7	0.3	8.7		終			100.0	35.9	0.0	51.6		0.5	2.2	0.1
**		神	3, 367	2,516	0	148	130	298	106	169			₩	5, 235	2,541	0	1, 407		345	259	65
K.			100.0	74. 7	0.0	4.4	3.9	8.9	3.1	5.0				100.0	48.5	0.0	26.9		9.9	4.9	1.2
谷運輸業	Prof.	男性	2,857	2, 147	0	66	106	285	70	150	サービス業	107	男性	3, 230	1,998	0	421		302	169	32
	# 3		100.0		0.0	3.5	3. 7	10.0	2.5	5.3		# 2		100.0	61.9	0.0	13.0		9.3	5. 2	1.0
	26.	女性	510	369	0	49	24	13	36	19		79.1 24.1	女体	2,005	543	0	986		43	06	33
			100.0		0.0	9.6	4.7	2.5	7.1	3.7		1		100.0	27.1	0.0	49.2		2.1	4.5	1.6
		4	5, 370	3, 326	0	1,665	29	151	29	102			4	4,020	2,023	0	643	134	143	1,073	4
		i	100.0	61.9	0.0	31.0	1.1	2.8	1.2	1.9			i	100.0	50.3	0.0	16.0	3.3	3.6	26.7	0.1
毎年・一年報		田体	3,048	2, 393	0	475	20	109	22	29	464		超体	1,512	1,254	0	44	67	128	12	4
KUC UCH	型		100.0	78. 5	0.0	15.6	0.7	3.6	0.7		1	型	1	100.0	82.9	0.0	2.9	4.4	8.5	1.0	0.3
))	1444	2,322	933	0	1,190	39	42	45	73		阁	4444	2,505	767	0	669	99	15	1,058	0
		X	100.0	40.2	0.0	51.2	1.7	1.8	1.9	0.5			H H	100.0	30.6	0.0	23.9	2.6	0.6	42. 2	0.0
		本本	3, 124	2,666	0	298	13	33	25	57			本本	1,580	1,354	0	132	36	6	18	31
		ā	100.0	85.3	0.0	9.2	0.4	1.1	1.8	1.8				100.0	85.7	0.0	8.4	2.3	0.6	1.1	2.0
今間 · 阳砂排		田林	1,662	1,568	0	35	0	33	1	25	車		田林	1,057	1,007	0	22	6	7	2	10
月野 子叉米	 型		100.0	94. 3	0.0	2.1	0.0	2.0	0.1	1.5	to E	型	73 II	100.0	95.3	0.0	2.1	0.9	0.7	0.2	0.9
	洞	1 +AE	1,462	1,098	0	263	13	0	99	32		滔	44	523	347	0	110	27	23	16	21
		1	100.0	75. 1	0.0	18.0	0.0	0.0	3.8	2.2		\dashv	1	100.0	66.3	0.0	21.0	5.2	0.4	3.1	4.0

			全体	正社員	契約社員	有期パートタ	有期パート》無期パート》 47- 47- 47-		宗	その他	金体	正社員	契約社員	有期パーり	有期パート別無期パートリ	嘱託社員	宗嗣外争奉	その他
		合計	163, 565	93, 403	12,040	41,468	4,544	4,642	5,681	1,787	118,865	65,086	12,040	32,615	1,361	3,058	3,729	976
恒	197	男性	91,650	64,830		13	1,629		2,	1,071	65, 946	45,309	2	10,343			1,	577
	图	14.4	71,837					3, 4	3,			19,777	6,	22, 367				
		ΑΉ	100.0		8.5	39. 7		2.1			100, 0	37. 4	11.6	42.3			3.8	
		中	4,744	2,232	214	1,510	350	150	122	166	1, 430	162	214		18		79	
			100.0	1 644			7.4	3.2				55.3	15.0					ri °
29人以下	型	男性	2,584	1,644	144	456 17.6	150	4.3	26	2.0	100,0	629	144 14. 4	143	0.0	48	1.3	, 2
	溫	44件	2, 159	288				38		114		162	0.2			11		cro
		± K	100.0	27.2	3.2			1.8				37.5	16.2	20.8			1	
		华	18, 463	11, 297	1,175		-í	498	323	502		4, 105	1,175	1,932	87	203		298
			100.0					7.7				51.4	14.7	24. 2			.7	
30~86~	#	男性	10, 524	72.9		626	555	283	911	247	100 0	2,116	13.9	6T/	77.0		0.7	67 6
	祖高		7 918			6	-	110				1 339	580	1 919				14
		女性	100.0	45.0	7.3	26.5	13.9	1.4		3.2	100.0	38.4	16.7	34.8	1.9	0.8	3.3	4.
		4	25, 528				753	1, 105				8,894	1, 769	3,985				120
			100.0				2.9	4.3				55.3	11.0	24.8				0.
100~299人	13	男性	15, 190	10, 489	1,008	1,709	312	962	361	349	8,951	6, 101	1,008	1,210	31	354	195	
	西		10 397	1 .69			2.1	0.3				9 783	760	13.5 9 775				0.0
	:	女性	100.0	43.6	7.4	36.4	4.3	1.4			100.0	39.1	10.7	39.0	2.7			
		4	20, 565		896		664	368	1,951			7, 706	968	6,217				306
			100.0		4.4		3.2	1.8					5.5					
300~499人	4	男性	12, 596	7,259	515	3,431	357	323					515		180	204	392	179
	ž in		7 059		4.1			2.6					4.7					ď
	5	女体	100 0	32 6	281	38.5	307	45	1,402	101	3, 337	1,011	7 1	53.4	23	40	55.50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 5	, c
		11	22, 415		-					45		10, 990						
		ia Sa	100.0	57. 6	8.9	22.9	4.7	1.7	4.0	Û		56.4	10.3	23. 5	4.3	1.5	4.0	0.
500~999 A		用体	12, 811				250	343		44		8,075			231		428	
	世 :	1	100.0				2.0					71.4		13.1				0.
	M	女性	9,604	3, 562	1,174	3,604	813	43	407		8, 176	2,915	1, 174	3,092	009	36	358	
	1		100.0		12.2											0.4		
		中	61,059	36	4, 599	16, 262	14	Ľ,	٠,	228			4, 599	=		1, 708	1,	228
			100.0															
1000人以上	#	男性	31,829	76.4	1, 910 6.0	4, II3	0	9884	492	119	100 0	18, 703	1,916	2,834		9.5	1 8	119
	E E		29 226											10.146				
		女供	100.0	42.8	9.2		0.0	3.8	2.3	0.4	100.0		10.9	41.2	0.0		2.5	
		幸令	10, 791	5, 306	1,388	3,573	62	149	274			3,896	1, 388	2,691	1	130	231	38
		i	100.0				0.6					46.5	16.6	32.1	0.0			_
無回答	44	男性	6, 116	4,070	903	887	25	136	74	21	4,674	2, 996	903	587	0	120	47	
	五五		100.0			ľ	0.4					04. 1	19.3	12.0				0.2
					485		3.7	~	76	ox	3 678	000	485	2 204	_	9	9	

		4		334	形態別従業	者数<契約		Λ						3()契約社
		₩	田社員	契約社員	有期バート// 無期バート// 嘱託社員 イマー /イマー	無期バートタイプ		沿衛 水金	から街			₩ ₩	2011~ 2015年	2006~ 2010年	2001~ 2005年
	合計	44,700	28, 317	0	8,853	3, 183	1,584	1,952	811		合計	406	09	86	59
和	"" 男性	25,704	19, 521		2,708	1,166	1,376	439	494		建設業	21	2	0.11	ā.
	世品	100.0			10.5	4.5	5.4	1.7	1.9			100.0	9.5	23.8	19.0
	が女性	18,970		0.0	6, 143	2,016		1, 513	317		製造業	39	5.1	17.9	12.8
	4	3,314			1,277	332		09	113		情報通信業	41	12	6	
		100.0	43.5		38.5	10.0		1.8	3.4			100.0	29.3	22.0	14.
29人以下	性男性	1,586	1, 015	0.0	313	150		0.8	31 2.0		運輸業	100, 0	30.4	17.4	13.0
	別女件	1,727	426		964	181		47	82		卸売・ 小売業	64	7	18	
	1	100.0			55.8	10.5		2.7	4.7	,	HOL 170*	100.0	10.9	28.1	10.9
	合計	10, 483			1,098	1,551		143	204	田田	金融・保険業	100 001	986	0 0	19.0
30∼99 }	田林	6,023			210	514		52	90	一件	大學故樂	9	20.0	2.0	
V66-00	本	100.0	82.1		3, 5	8.5		0.9	1.5	**	T WAR AN	100.0	33, 3	33, 3	0.0
	別女性	4,435	2, 226	0 0	886	1,037	81	91	114	内容	飲食店、宿泊業	100 001	16.7	35.0	41
		0.001			1 486	533		301	3.47	I		40.00	10.1	7.03	11.1
	盐	100.0			15.7	5.6		3.2	3.7		医療、福祉	100.0	10.0	17.5	27.5
100~299人	A 男性	6,239			499	281		166	297		教育、学習支援業	42	41	. 2	t
	# IN	3 208			8.0	4.5		1.35	8.8			100.0	9.5	11.9	,
	7.7 女性	100.0			30.8	7.9		4.2	1.6		ナーバス継	100.0	14.1	26.8	6.6
611 32	44	4,343			275	461		1, 204	131		から在	24	2	7	
		100.0			6.3	10.6		27.7	3.0		!	100.0	8.3	29. 2	12.5
第 300~499人	性男性	1,728			3,6	177		80 4. 6	3.5		無回答	100.0	0.0	0.0	50.0
⊕ vlas	別女件	2,615			213	284		1, 124	71		29人以下	34	8	9	
	1	100.0			8.1	10.9		43.0	2.7			100.0	23.5	17.6	20
	中丰	2,922			19.1	232		100	16	•	30~99人	127	22	32	23
200~888 人	男性	1, 494			45	19		51	16	生	100~299人	86	13	18	
	世品	100.0			3.0	1.3		3.4	1.1	田		100.0	13.3	18.4	13.3
	75 女性	1,428	45.3		35.9	213		3.4	0.0	択	300~499人	100.0	11.51	15.4	15.4
	合料	11,776		0	3, 278	13		101	0	多神	200~888人	35	7	9	
		100.0			27.8	0.1		0.9	0.0	赘		100.0	20.0	17.1	8.
1000人以上	性男性	7, 192	5, 602	0.0	1, 279	0.0		oc 7	0.0		1000人以上	100.0	6.8	22.0	10.2
	別女性	4,584		0	1, 999	13		51	0		無回%	27	3	7	
		100.0		0.0	43.6	0.3		1.1	0.0			100.0	11.1	25.9	11.
	杣	2,415		0.0	36.5	2.5		1.8	0.0						
無回%	# 男性	1,442		0	300	25		27	0						
	# E	0.001	74.5	0.0	20.8	1.7		F. 1.9	0.0						
	7. 女性	100.0	34.5	0.0	20.00	3 7		91							

			H 2	間3(2) 有	有期パールル	ールパーを活用するよう	1	になった年次				間3(3)	目状状層	を活用する	ようになっ	た年次				間3(4)	派遣労働者を活用	を採用する	上 シになった	: 件数 ト段た年次	没:構成比
		4	2011~ 2006~ 2015年 2010年		2001~ 1 2005年 2	1996~ 2000年	1991~ 1995年	1990年以 前	無回%	分本	2011~ 2015年	2006~ 2010年	2001~ 2005年	1996~ 2000年	1991~ 1995年	1990年以 前	無回%	分本	$2011\sim$ 2015年	$2006\sim$ $2010年$	2001~2005 年	1996~ 2000年	1991~ 1995年 前	1990年以 前	無回%
	合計	433	42	99	13.4	32	30	181	24	413	72	19.9	48	21	21	131	38	332	62	19.6	18.4	47	13	63	21
	建設業	1200.00	16.7	2 16.7	→ es	0.0	8.3	50.0	0.0		6 21.4	3	14.3	3.6			_			8	8 8	12.5	1 9	25.0	9
	製造業	40	5.0	15.0		7.5	7.5	15	20.0				12.7			. 48	10			17.		7 17.1	2.4	10	12.
	情報通信業	20 100.0	30.0	3 15.0	3	5.0	0.0	7	0.0	32 100.0	15 46.9		4 12.5	6.3	0.0	15.6	3.1	27 100.0	7 25.9		7.4	3.7	7.4	7 25.9	7.
	運輸業	22 100.0	9.1	7 31.8	9.1	9.1	1.5	31.8				19.	19.4	6.5	6.5	32.	6.5	16 100.0			18.8	3 18.8	0.0	2 12.5	9
	卸売・小売業	74 100.0	7.	16 21. 6	8.1	3 4.1	5	34		69	8 11.6	12 17.4	11 15.9	8 4	5.8	24	7 10.1	61 100.0	9 14.8	16	13	8.2	3. 23	12	9.9
主要	金融・保険業	177	3 17.6	1 2 2	3 17.6	2 11.8	0.0	41.2			6 24.0	16.0	4 16.0	0.0			8.0	23 100.0	8.7	0	30.4	9 26.1	1 7	21.7	× ×
事 継	不動産業	3 100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2 66.7					0.0	0.0			1 16.7	7 100.0	4	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0
	飲食店、宿泊業	18 100.0	5.6	3 16.7	33.3	1 5.6	0.0	5 27.8	T	100.0	30.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	10.0	7 100.0	3 42.9		14.3	0.0	0.0	0.0	14.
	医療、福祉	69	£ £	11 15.9	17 24.6	9	14.5	18		34	23.5	17.6	8.8	8 8 3	11.8	23.5	5.9	28	11 39.3		14.3	7.1	3.6	3.6	7.
	教育、学習支援業	48	6.3	2.1	6 12.5	6.3	0.0	31	8.3	32	9 18.8	25.0	3.1	3.1	6.3	34.4	9.4	34 100.0	5.9	4 11.8	10	7 20.6	1 2.9	10	0.0
	サービス継	79	8 10.1	12	8	6.3	9	35		58	11 19.0		10.3	6.9	60	21	3.4	47	8 17.0	12 25.5	17.0	6	2 6.3	10	.2
	その街	26	3 11.5	4 15.4	7.7	3 11.5	3.8		65			32.1	7.1	7.1		9 32.1			6 27.3		18.2	6 27.3	9.1	9.1	0.0
	無回答	100.0	1 20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	2 40.0	1 20.0	5 100.0		20.0	0.0	20.0		20.0	2 40.0	3 100.0	0.0	33.3	0.0	0,0	0.0	0,0	.99
	29人以下	43	7.0	2.7	11 25.6	7	7.0	15 34.9		33	9 27.3	30.3	6 18.2	0.0	3.0	7 21.2	0.0	06 0.001	6 20.0	7 23.3	3 10.0	9 20.0	6.7	5	es
<	30~99人	137	17	27	21	7 5.1	13		5.1			27	13	5.1	8 2.0	26.	18	94			15	10.6	e e e	13,8	7.7
H #E B	100~299人	99	10.1	11.11	11.11	7.1	7 7 7.1	47.5		99	15 15.2		16.2	7.1				82 100.0			22 26.8	9 11.0	6.1	14	.2
宇忠王	300~499人	29	6.9	13.8	5	3 10.3	0.0	12	3 10.3		4 11.8	4 11.8	4 11.8	5.9	2.9	14	14.7	29 100.0			9 20.7	13.8	0.0	8 27.6	17.
医柳苇	200~888人	32	9.4	9 18.8	12.5	3.1	3.1	15	6.3	31 100.0	6.5	29.0	16.1	9.7	6.5	51	4 12.9	31	9.7	16.1	16.1	9 29.0	3, 2	6	9
×	1000人以上	64	4.7	11 17.2	7.8	3	4 6.3	36		56	7	17.9	7.1	1.8		28	6.6	49	10	7	16.3	8 16.3	2.0	13	4
	無回%	29	13.8	5	3.4	13.8	6.9		6.9			5 22.7	0 0 0	4.5	0.0		4.5		23. 5	3 17.6	11.8	5.9	5.9	23.5	11.

						E (1) FBB	初始相合	と、こと、田は	1、2 細中 (9) 中	(k								用4(0) 左世	#B1, _Lb1-2,	7日1771	(00) 中期 2	17		± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ±	(本)
		全	専門的・ 接続的な 業務に対 応するた す	景気に応 じて雇用 連を調等 するため	人件費節 損減のため 開発のため 関係のため 関係のため 関係のため 関係の はんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんきんき		事に名対を対象を対し	E 本名 本名 か か か か が が が が が が が が が が が が が が が	国員医	を開帯の多用用の	正社員と A しての適 しての適 性をみる ため	A (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	第 回 発	年 本	専門的・ 接続的な 業務に対 応するた か	がた を を 関手 と の が の が の が の が の が の が の が の が の が の	人件費節 展覧のため 再の み	10 	: 神の が が が が が が の が の が の が の が の が の が	国事後 内的になった な対と	田の羅	を開める	正社員と そ しての適 性をみる ため	の危	無
	和	402	192	42	88 21.9	31	68	45	71	49	159	25	3.0	429	119	67	149	71 16.6	174	112	56	46	27	33	14
	建設業	21 100.0	9 42.9	14.3	3 14.3	0.0	3 14.3	3 14.3	4 19.0	19.0	38.1	1.8	1.8	12 100.0	3 25.0	0.0	33.3	8.3	33.3	33.3	16.7	8.3	8.3	2 16.7	0.
	製造業	40	21 52. 5	10.0	11 27.5	5.0	7 17.5	12.5	4 10.0	8 20.0	30.0	2.5	5.0	42	11 26.2	12 28.6	12 28.6	4.8	22 52.4	33.3	4.8	11.9	2.4	4.8	0.
	情報通信業	40	25	15.0	10.0	0.0	10.0	10.0	5.0	4 10.0	37.5	7.5	0.0	21	9 42.9	4.8	3 14.3	0.0	6 28.6	38.1	0.0	9.5	9.5	4 19. 0	0.
	運輸業	22 100.0	31.8	9.1	18.2	18.2	40.9	18.2	5 22.7	3 13.6	40.9	9.1	4.5	22	18.2	9.1	5 22.7	9.1	12 54.5	36.4	3 13.6	9.1	0.0	0.0	4
3	卸売・小売業	63	30 47.6	11.1	19.0	7.9	8 12.7	7 11.1	15	9 14.3	25	1.6	3.2	70	14.3	13	27	26 37.1	36	13	13	2.6	2.9	4. ev ev	4
	金融・保険業	21 100.0	10 47.6	1 4.8	23.8	4.8	23.8	0.0	9.5	9.5	13	4.8	1.8	100.0	37.5	3 18.8	97.5	3 18.8	7 43.8	2 12.5	6.3	18.8	0.0	0.0	0.
事 継	不動産業	9 100.0	33.23	0.0	16.7	0.0	1 16.7	0.0	50.0	33.3	33.3	0.0	0.0	3 100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.
	飲食店、宿泊業	12 100.0	16.7	16.7	0.0	8.3	8.3	8.3	3 25.0	41.7	16.7	16.7	0.0	180.00	5.6	9	38.9	5 27.8	9	11.1	1 5.6	3 16.7	0.0	3 16.7	.5
	医療、福祉	39	17	5.1	12 30.8	8 20.5	15.4	7.7	10 25.6	7.7	17 43.6	7.7	1 2.6	69	29	8.7	33.3	13	13	15	20 29.0	8 11.6	8 11.6	9	1
	教育、学習支援業	41 100.0	25 61.0	12.2	10	2.4	9.8	7.3	9 14.6	2.4	19	7.3	4.9	47	23	4.3	23	8.5	16 34.0	16 34.0	8	2 .5	4.3	4.3	4
ı .	サービス業	71 100.0	33	9	16	9 12.7	14	9 12.7	9	7.0	39.4	8.5	2.8	78	16	16	29	10 12.8	33	19	2.6	13	9 11.5	6.4	7.
	その街	24 100.0	11 45.8	4.2	33.3	0.0	25.0	25.0	7 29.2	8.3 2	33.3	8.3 2.2	0.0	26 100.0	7 26.9	7.7	7 26.9	7.7	14 53.8	30.8	3	15.4	3.8	7.7	0.
	無回答	2 100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	1 50.0	1 50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	40.0	9 9 9	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	.0
	29人以下	33 100.0	16	4 12.1	18.2	3.0	15.2	6.1	5	6.1	33.3	6.1	0.0	42	9 21.4	19.0	14 33.3	10 23.8	13 31.0	13 31.0	4.8	14.3	7.1	4.8	7.
	30~99人	127	58	12	23	8.7	18	17	24	13	49	3.0	5.5	137	41 29.9	16	47	24	46 33.6	31 22.6	21	14	10	12 8.8	.23
	700~599人	98	54	8.2	19.4	6.1	17.3	8.2	7.1	15.3	41.8	5.1	3.1	96 100.0	25	17.71	28	10.4	46 47.9	24 25.0	13.5	9.4	7.3	11.5	4
1. 张重	300~499人	27 100.0	13	14.8	6 22.2	11.1	18.5	14.8	6 22.2	11.1	33, 3	3.7	7.4	29	13	20.7	37.9	8 27.6	37.9	6 20.7	3.4	6.9	0.0	6.9	eri
	200~888人	33 100.0	15 45. 5	9.1	7 21.2	3.0	15.2	18.2	7 21.2	6.1	15 45.5	6.1	0.0	32 100.0	31.3	15.6	31.3	0.0	15 46.9	11 34. 4	9.4	6.3	3.1	0.0	.3.
	1000人以上	57 100.0	26 45. 6	7	35.1		11 19.3	7	15	9	23	12.3	0.0	64	18.8	15	28	15	32	31.3	15.6	9	0.0	4.7	-
	無回答	27 100.0	10 37.0	4 14.8	7 25.9	4 14.8	7 25.9	3.7	7 25.9	5 18.5	11 40.7	3 11.1	0.0	29	9	0.0	37.9	4 13.8	11 37.9	7 24.1	9 20.7	13.8	6 20.7	3 10.3	0.

					間4(3)	嘱託社員を	活用してい	(3つま)	# (\$)									派遣労働者を活	用して	5種由 (30)	まで)			
	全体	専門的・ 技術的な 業務に対 応するた	現気に引 にく雇用 量を調等 するため	人件費節 減のため	版い 端継 本間 に 対 を する た	仕事の繁 器に対応 するため	—	正社員の確 7 保が困難な 7 ため	画	旧社員と したの臓 性やみか ため	(の色) (単) ((1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (新 一	全 存 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	専門的・ 技術的な 業務に対 応するた か	気に 大雁用 を が が が が が が が が が が が が が	件の 動た 部め	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	事にる数なた	一時的な 業務に対 応するた 年 め た	正社員の確 7 保が困難な 7 ため 7	画事者の 田 田 田 田 田 田 の に な な の 田 本 は な な な な な な な な な な な な な	正社員と したの適 性やなめ ため	ある無	阿
合計	416	208	7.1	31	9	19	3.4	43	326	3.4	12 2.9	23	324	138	63	51	8 2.5	117	145	68	9 .1	13	13	3.4
建設業	28		0.0		0.0	7.1	0.0	14.3	24	0.0	0.0	3	100.0	43.8	6.3	12.5	0.0	97.5	8	31.3	0.0	6.3	0.0	6.3
製造業	55			, e		1.8		7.3	47			3.6	41							17.1			2 4	0.0
情報通信業	32	16	3.1	6.3	3.1	3.1	0.0	9.4	27	3,1	0.0	0.0	27	14 51.9	7 25.9	7.4	0.0	15	12 44. 4	7 25.9	0.0	0.0	3.7	3.7
運輸業	31		0.0		0.0	6.5	0.0	16.1	26 83.9	3.2	3.2	9.7	100.0	37.5	31.3	18.8	6.3		18.8	12.5	0.0	6.3	0.0	6.3
卸売・小売業	100.0	33	4.4	7.4	5.9	1.5	4.4	7.4	54	9	6.4	4 6.9	100.0	24	12 20.3	10.2	4 8	24	29	7 11.9	0 0	2 4 2	3. 4. 22	. rc
主金融・保険業	25	17 68.0	0.0	4 16.0	1 4.0	1 4.0	0.0	8.0	20	0.0	1 4.0	1 4.0	22	9 40.9	9.1	6 27.3	1 4,5	6 27.3	8 36.4	5 22.7	9.1	9.1	0.0	1 4.5
事 不動産業	100.0	1 16.7	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	4 66.7	0.0	0.0	16.7	7 100.0	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	28.6	3 42.9	14.3	0.0	0.0	0.0
内 容 飲食店、宿泊業	12 100.0		0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	16.7	8 66.7	0.0	16.7	8.3	100.0	28.6	14.3	14.3	14.3	3 42.9	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3
医療、福祉	34	18	0.0	4 11.8	0.0		 	14.7	20	0.0	1 2.9	2.9	26	30.8	0.0	1 8:	0.0	19.2	30.8	16	3.8	7.7	3.8	7.7
教育、学習支援業	33	15	0.0	15.2	0.0	0.0	9.1	6.1	25	3.0	3.0	6.1	32	20	15.6	10	3.1	7 21.9	17 53.1	15.6	0.0	6.3	3.1	0.0
サービス業	59	26	3.4	7 11.9	0.0	6.8	3.4	13.6	44 74.6	1.7	1.7	5.1	44	22 50.0	31.8	11 25.0	0.0	15	17	2.3	4.5	0.0	9.1	0.0
その街	28	15	0.0	3.6	3.6	3 10.7	0.0	10.7	23	0.0	3.6	3.6	24	10	89 23 23	5 20.8	0.0	5 20.8	14 58.3	33.3	0.0	0.0	4.2	0.0
無回%	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4 80.0	0.0	0.0	20.0	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
29人以下	35	15	8.6	8.6	1 2.9	8.6	1.2.9	1 2.9	27	5.7	1 2.9	1 2.9	28	12 42.9	7 25.0	3 10.7	3.6	9 32.1	13	7 25.0	0.0	3.6	7.1	3.6
30~99人	138	65	2.2	11 8.0	2.9	4.3	5.1	13.0	105	2.9	1.4	10	94	30.31.9	181	15	2. 23	30	43.6	24	2.1	4.3	6.4	4.3
王 第 100~299人 田	100 100	53	1.0	4.0	1.0	3.0	3.0	12 12. 0	82 82.0	3.0	2.0	6.0	80 100.0	37	19 23.8	11 13.8	3,8	34	28	12 15.0	1.3	2.5	2.5	2.5
A 300~499人	35	23	0.0	8.6	1 2.9	8.6	0.0	11.4	25	5.7	1.2.9	5.7	28	14 50.0	14.3	7 25.0	3.6	39.3	14 50.0	3 10.7	0.0	3.6	3.6	7.1
圖 者 500~999人 数	31 100.0	11 35.5	0.0	6.5	3.2	0.0	3.2	9.7	27 87.1	0.0	3.2	3.2	32	15	15.6	5	0.0	9 28.1	14 43.8	9 28.1	0.0	6.3	3.1	3.1
1000人以上	55 100.0	26 47.3	0.0	6 10.9	0.0	0.0	3.6	7.3	47 85.5	3.6	7.3		46 100.0	20	9 19.6	13.0	0.0	39.1	28	9 19.6	6.5	6.53	2.2	2.2
無回答	22 100.0	15	0.0	9.1	4.5	18.2	0.0	1.5	13 59.1	4.5	4.5	0.0	16 100.0	10 62.5	6.3	4 25.0	0.0	37.5	43.8	4 25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

			+ +		間5 各年代の男女別		学が/作画 人数		_			1		EDD 中 H C E	中代のおな別条	學的作画人数	
			份本	20代以下	304		504	604EULL				长体	2046以下	٩.	40A	(H MAN
	L	\ A.B.	12,417	,	3, 105	2, 423					A 81.	29	_		2	, ,	
		Ti II	100.0								Tiil	100.0	13.8	58.6	6.9	3.4	17.
4		単体	5,967	884	1, 431	1,017	626	1,706	不虧廃業		1 1 1	2	0	2	0	0	
ī	₩.		100.0			17.0			¥ 4.00		世 i	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.
	R	女件	6,448		1,672	1,408	1, 179	489			別女性	27			2		
	+		100.0									100.0	14.8	55.6	7.4	3.7	18.
		₩	188	12	28	43	29				< 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11	34		60		60	
			100.0									100.0	11.8	8.8	26.5	8.8	44.
建設業	3	男件	139	2	111	32	18	73	飲食店、宿沙	宿泊拳	男件	15		1	3	0	
K C 1	#		100.0								Ψ.	100.0	20.0	6.7	20.0	0.0	53.
	E E	#44	49			11	11	3			別	19		2	9		
	4	1	100.0								1	100.0	5.3	10.5	31.6	15.8	36.
		4	1,805					343			4	346			78	62	99
		ī	100.0								1	100.0	18.8	23.4	22.5		17.3
制体器		田体	830						正韓 短礼		田体	72	21		10		
X P X	型	1	100.0						N N		世ペー	100.0			13.9	12.5	27.8
	層	42-84	975								別一年時	273			68	52	40
		ΥH	100.0								H X	100.0			24.9		14.
		4	792								本本	3,013			585		
			100.0									100.0			19.4		
告想语信業		軍体	527		. 163	109		45	事務市	新型中限物	無	1,351			229		210
Kalaka	世	1	100.0						***		世	100.0	19.4		17.0		
	Ē	#4	265		. 77	45	19	17	€.		11 2 4 4	1,661	589		356		
	4	1	100.0						終		1	100.0			21.4		
		4	426								4	2,282			413	326	
			100.0								п	100.0			18.1	14.3	
海岭泰		围体	361		62 1		61	111	キーアン		用件	1,219			212	180	
米平均	型	1	100.0						*	-	世と	100.0			17. 4	14.8	
	滔	4-V#	99			13		2			別在社	1,063	277		203	146	
		H K	100.0								H	100.0			19.1	13.7	
		4	2, 126	889	371			365			4	1, 104		313	240	211	102
		<u> </u>	100.0									100.0			21.7	19.1	
包括。小班特		田林	757						4		田体	577			85	113	187
即25・4・25米	型	ANT.	100.0			12.9		29.6	型へと	•	型 TL	100.0			14.7	19.6	32.
	图	4-54	1,369							,	別	527			155	86	
		ΥH	100.0		18.1		21.0	10.3			X T	100.0	16.1	33.2	29. 4	18.6	2.
		#4	245		20			68			本	27	11	9	4	4	
			100.0	3.3		24.5	27.8	36			<u> </u>	100.0	40.7	22. 2	14.8	14.8	7.
今醒, 在除港		軍件	110	2		6			自		国体	7	2	3	0	1	
本	型	717	100.0		2.7	8.2	13.6	73.6	i I	-	世	100.0	28.6	42.9	0.0	14.3	14.
	區	101	135	y	17	15	613	0	_			UG	0	5	V	2	
			41.78			5	3	0		_	4444	02	,	õ	#	2	

41					日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	各年代の男女別契約社員	彩在目人数	
4			王体		30Æ	40ft		60代以上
41		合計	12, 417	2, 584		2, 423	3	2, 195
41			100.0	2				17.7
	147	男性	5,967			1,017	929	1,706
	H 큠		100.0					9.82
	-	女体	0,448	1, 100	1,012	1,408	18.3	489
		1 40 4	214		523	75		2.7
		盐	100.0	1.5	24	35.0	111	12.6
上日106		田	144	15		51	19	24
- 8267	型	H K	100.0	10.4	24.3	35.4	13	16.7
	別	女性	69	19	18	24	11	
		;	1 181			24.0	17	2.4.
		d □	1,101	1		22.7		22.5
30~99 X		田本	909	19	129	127		195
	型 3	TIN	100.0			21.0	115	32. 2
	NAI)	女性	575			141		71
			1 758	21.4	78.2	24. 5	13.6	3.45
		包	100 0			21.7		9 61
1 000. 0001		世	982			195		289
V667- 001	型	ZUE	100.0	10.9	24. 1	19.9	15.7	29. 4
	2E	女性	775			188		99
4		!	100.0	2		. 4	1	7.2
年		中計	365	126	215	158	1111	255
		3 8	503					20.67
300~499~	型	为任	100.0	15	16	14	6	41.6
医枸	別	女件	362			86		46
数		1	100.0					12.7
		华	1,999					170
			100.0	23.3	30.0	20.9	17.4	o
200~999人	型	男性	0.001	_			_	17 7
)N	-104-77	1,174					24
		メ壮	100.0	2		,,	1	2.0
		中	5, 181		I			882
			100.0	2		16.6	-	17.1
1000人以上	世	男性	2, 164	365	266	12 6	311	30.6
	層	4.144	3,017			587		222
		女性	100.0	6.3				
		李	1,219	143				247
			100.0	Ξ	.,		2	20.3
無回%	The state	男性	743					180
	世高		100.0					24. 2
	791	女性	100 0	44	114 92 0	106	20 5	79

		H			1 1	各内容	15 -V	EIQ I	23	451	. 万用						l t	6 M%	上段: 合詞 5別人数と	111	23	451	7:万円
		全体 基本	専門的・ 管理的業 技術的業 務	5業 事務的業 務	约業 販売業務 		サービス 保3 業務	保安業務運輸信券	運輸・通 生産 信業務 程・	生産工 その他 程・労務				全体	専用的・ 技術的業	管理的業 務 務	事務的業 務	販売業務 サ 業	アンドン	保安業務 運輸信業	運輸・通 生産 信業務 程・	生産工名・労務を	から街
40	人数	11,918	3,854	114 2	2, 357 2	2,023	848	203	857	1,625	37	41	人数	11,918	3,854	114	2,357	2,023	848	203	857	1,625	37
ī	平均信令	362.9	448.0			333.0	285.6	306.7	332.9	286.9	276.5	Ī	平均信令	362.9	448.0	599.9	303.8	333.0	285, 6	306. 7	332.9	286.9	276.5
## de #z	人数	320	101					0 0	0 0	168	0 0	1 2	人数	211	68	es :	33	0 0	48	0 0	28	. D	0 0
准改米	平均偏令	403.0	31. 6	700.0	15.0	0.0	380.0	0.0	0.0	500.0	0.0	29.7.W.F	平均偏余	355.5	42.2	1. 4 290. 0	15. 6	315.0	331.8	0.0	260.0	350.0	0.0
等子	人数	1, 790			232	182	4	0	11	1,234	0	1 00	人数	1, 124	401	24	160	129	240	0	20	120	0
紫恒米	平均偏令	375,8		1.8		10.2	0.2	0.0	0.6	287. 7	0.0	30∼98 30	平均信令	367.6	35.7	2.1	311.5	374.6	21.4	0.0	373.3	10.7	0.0
(1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	人数	757			09	IC I	0 0	0	359	47	0		人数	1,767	524	43	522	138	118	130	258	34	0
情報通信業	平均偏令	100.0			7. 9	0.7	0.0	0.0	47.4	314.0	0.0	100~299人	平均信令	353, 5	431.9	2. 4	29.5	396.7	6.7	7. 4	14.6	1.9	0.0
非常用	人数	429	100	40		0 0	39	0 0	354	15	0 0	無 3005-400 1	人数	873	233	11.	293	25	61	4.0	54	160	32
米平地	平均信令	341.4			312.0	0.0	276.7	0.0	281.4	267.7			中拉倫令	343.3	498.4	543.0	288.4	255.0	288.3	279. 0	338.0	226.0	183.0
11年	人数	2,069	2 2 0	27 -		1,613	00 -	0	· · ·	380	SS -	- 000	人数	1,993	571	13	069	277	81	000	243	110	100
即元・小元米	平均賃金	341.8				313.8	330.0	0.0	376.0	349.3	183.0	数 pnn~999 人	平均賃金	438.7	600.6	670.3	347.3	283.2	300.5	390.0	0.0	5. 5 249. 0	370.0
· 世令 · 世令	人数	237	6 0	0 0	172	46	9 0	0 0	2 0	2 0	0 0	1 10 TO	人数	5,051	1,956	19	488	1,415	264	65	134	710	0 0
E H	平均賃金	352. 7	470.5			383.0	240.0	0.0	550.0			10001	平均管金	357.9	412.6	773.4	284.6	304.8	351.7	240.0	275.0	312.8	0.0
事 A 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	人数	29	1 0	1 0	26	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	自	人数	899	80		171	34	36	- 1	06	486	0 0
_	平均賃金	332. 5	ľ		312.0	0.0	320.0	0.0	0.0		0.0	φ II	平均賃金	309. 5	362.3	375.0	279.8	256.0	286.3	375.0	377.8	282.0	0.0
PA 你会店, 宿泊攀	人数	34	9 17 6	2 9	14	0 0	138 2	0 0	0 0	0 0	0 0												
	平均賃金	318.9			310.6	0.0	341.2	0.0	0.0	0.0	0.0												
医梅福祉	人数	343	156	8 6	75	0 0	87	0.3	0 0	16	0 0												
	平均賃金	305.6	390, 8		285.8	0.0	242.6	400.0	0.0	186. 7	0.0												
秦县 全路 學婦	人数	3,045	2,240	16	722	3	8 6	0 0	0 0	50	0 22												
	平均賃金	418.6				300.0	281.0	198.0	0.0	279.3	370.0												
非 - - - -	人数	1,802	244	14	467	144	617	198	9 65	53	0 0												
¥	平均賃金	353.8	ľ			275.8	301.2	300.3	342.0	270.0	0.0												
الم ج	人数	1,035	484	6 0	394	29	51	000	63	27 0	0 0												
1	平均賃金	383.6				762.0	4. 9	360.0	374.5		0.0												
妙里	人数	28	17.9	0 0		0 0	13	0 0	0 0	0 0	0 0												
II. Jaw	计片每个	2001	0.000	ľ	2110	000	0 200	000	> 0		, ,												

田7 汾鄉冬 小田	日子 光華冬 1日	田7 沙華水井9	お華外年の	=	上級	:: 件数 下段 1.0%	2:構成比) BHO	20年期余(1)	が、一般の一般の	#) OHE	1) 珍儀物約1	上段	: 件数 下段	: 構成比
全体 予働条件 雇用契約 就業規則 通知書 書 か明示者 かけがけ	雇用契約 書	ロイカ圏3 雇用契約 就業 書 の明5 かは2	製製の大製製品は	規制を決めた	4、(改数) 1頭によ 5	金/ 特に明示 していな い	無回称			会	会員 に に た か た い ろ め た	機種パピー・一番		第回答	3ヶ月未満	3~6ヶ月 未満	6~12ヶ月 未満	<u>₹</u>	如同 年超~3 F以下	3年を超え る	無回%
370 195 301 188 100.0 52.7 81.4 50.8	195 301	301	200	∞ ∞	69	0.3	9		中	370	223	5.9	102	23	9 1	30	48	247	1.9	8 6	12
10 17 47.6 81.0	10 17 47.6 81.0	17 81.0		1. 4	14, 3	0.0	1 4.8		建設業	21		0.0	11 52.4	1.8	0.0	1.8	9.5	15		1 4	4.8
22 34 62.9 97.1	22 34 62.9 97.1	34		@ m		0.0	2.9		製造業	35	18	8.6	34.3	5.7	2.9	5.7	14.3	25	1 2.9	0.0	2.9
22 27 59.5 73.0	22 27 59.5 73.0	27			10.8	0.0	0.0		情報通信業	37	20	2.7	16	0.0	2.7	16.2	16.2	21 56.8	5.4	2.7	0.0
14 17 63.6 77.3	14 17 63.6 77.3	17 77.3			18.2	0.0	0.0		運輸業	22	9 40.9	3	31.8	3 13.6	1 4.5	9.1	18.2	12 54.5	3 13.6	0.0	0.0
28 46 50.0 82.1	28 46 50.0 82.1	46 82. 1			15 26.8	0.0	3.6		卸売・小売業	56 100.0	44 78.6	0.0	7 12.5	8.9	1.8	3.6	14.3	42	0.0	0.0	5.4
14 77.8	9 14 50.0 77.8	14 77.8			4 22. 2	0.0	5.6	生要	金融・保険業	18	12 66.7	5.6	5 27.8	0.0	0.0	5.6	4 22.2	13	0.0	0.0	0.0
33.3	33.3	83.3		_	33.3	0.0	0.0	事 継	不動産業	100.0	83.3		1 16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
55.6 100.0	55.6 100.0	9 100.0			33.3	0.0	0.0	内容	飲食店、宿泊業	9 100.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	11.1	22.2	55.6	0.0	0.0	11.1
26 76. 5	18 26 52.9 76.5	26 76. 5			11.8	0.0	0.0		医療、福祉	34	25	8.8	4 11.8	5.9	0.0	8. 8.	8. 8.	23 67.6	8.8	2.9	2.9
19 30 48.7 76.9	19 30 48.7 76.9	30			9 23.1	0.0	2.6		教育、学習支援業	39	21 53.8	12.8	11 28.2		0.0	5.1	1 2.6	25 64.1	5 12.8	7.7	7.7
.,	34 56 49.3 81.2	56 81.2			8 11.6	1.4	0.0		サービス業	69 100.0	40 58.0		19 27.5	8.7	2.9	11.6	13.0	42 60.9	5.8	2.9	2 2.9
	11 19 50. 0 86. 4	19 86.4			31.8	0.0	0.0		その他	22 100.0	12 54. 5	9.1	6 27.3	9.1	0.0	9.1	18.2	16 72. 7	0.0	0.0	0.0
100.0 50.0 50.0 50.0	$\begin{bmatrix} 1 \\ 50.0 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 1 \\ 50.0 \end{bmatrix}$	1 50.0			0.0	0.0	0.0		無回答	2 100.0	2 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2 100.0	0.0	0.0	0.0
	9 26 31.0 89.7	26 89. 7		_ '	13.8	3.4	0.0		29人以下	29	14 48.3	0.0	11 37.9	4 13.8	0.0	20.7	17.2	14 48.3	3 10.3	3.4	0.0
	60 92 51.3 78.6	92 78. 6			18 15.4	0.0	3.4	4	30~99人	117 100.0	66 56. 4	5.1	33	12 10.3	1.7	6.8	13	80 68.4	4.3	1.7	6.0
89 48 72 36 100.0 53.9 80.9 40.4	48 72 53.9 80.9	72 80.9			13 14. 6	0.0	0.0	十年田	100~299人	89 100.0	62 69. 7	5.6	20 22.5	2.2	1.1	9.0	15 16.9	59 66.3	3.4	2.2	1.1
	13 19 54.2 79.2	19 79. 2			25.0	0.0	4.2	11年	300~499人	24 100.0	13 54.2	4.2	33, 3	8.3	0.0	3 12.5	3 12.5	17 70.8	0.0	0.0	4.2
31	17 31 53.1 96.9	31 96.9			21.9	0.0	0.0	医神	200~999人	32 100.0	17 53.1	15.6	31.3	0.0	3.1	3.1	6.3	24 75.0	9.4	3.1	0.0
52 34 39 31 100.0 65.4 75.0 59.6	34 39 65.4 75.0	39 75.0			12 23.1	0.0	1.9	\$	1000人以上	52 100.0	33 63. 5	5.8	14 26.9	3.8	1.9	1.9	13.5	36 69. 2	7.7	1.9	3.8
$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	14 22 51.9 81.5	22 81.5			33.3	0.0	0.0		無回夠	27 100.0	18	7.4	22.2	3.7	3.7	11.1	11.1	17 63.0	3.7	3.7	3.7

		图8(2) 通	更新回数や通((複数)	回数や通算勤続年数の上限設 (複数回答))上限設定					問8(2) 更	更新回数の上	上頭		
	全体	東に 単い 記述 日本	画権 を対し 関を設に上 している	設定していない	無回%	种	= 0	П	2 E	回 3	4 E	2 2	平 公 回 9	無回答
‡ □	370		14.9	284	15	40	5.0	0.	0 7 0	20.	8 0 42.	17 7.	5.	0 2 2.
建設業	21 100.0	1 4.8	1.8	20	0.0	1 100.0	0.0	0.	0 100.0	0	0 0.	0 0.	0 0	.0
製造業	35	ı	8	28	8.6	4 100.0	0.0	0.	0 1 0	25.	1 25.	1 25.	1 0	
情報通信業	37	5.4	10.8	31 83.8	0.0	2 100.0	1 50.0	0.	0 0 0	20.	0 0.	0.0	0.0	0.0
運輸業	22 100.0	9.1	1.5	18	1.5	2 100.0	0.0	0.	0.0	0.	0 100.	0.	0 0.	0.0
卸売・小売業	56	3.6	8 14.3	45	5.4	2 100.0	1 50.0	.0	0 0	Ö	0 50.	0.	0 0.	0 0
金融・保険業	18	0.0	5.6	17	0.0	0.0	0.0	.0	0.0	0.		0 0.	0 0.	0.0
不動産業	100.0	1 16.7	16.	4 66.7	0.0	100.0	0.0	.0	0.0	0	0 100.	0.0	0 0	0 0
内 飲食店、宿泊業 容	9 100.0		11.1	88.9	0.0	100.0	0.0	0	0 0		0 0	0	0 0	
医療、福祉	34	11.8	23.5	24	0.0	4 100.0	0.0	.0	0.0	2	1 0 50.	2 0 25.	0 0	0.0
教育、学習支援業	39	14 35.9	17	18	1 2.6	14 100.0	0.0	0.	0 4	21.	35.	7 0.	0 7.1	7.
サービス業	69	7.2	7.	56	7	5	0.0	0	0 0	40.	0 40.	20.	0 0	0 0
その他	22	18.2	5 22.7	13	0.0	4 100.0	0.0	.0	0 1 0	ő		0.0	0 0.	0 0
第回条	100.0	0.0	0.	2 100.0	0.0	0.0	0.0	0.	0 0 0	0.		0.0	0 0.	0.0
29人以下	29	0.0	3.4	27	3.4	0.0	0.0	0	0 0	Ö	0	0	0 0	0
30~99人	117	8 1	10.	90	10		_	ď	20.		0 70.	7 0 0.	0 0	0 0
100~299人	89	6		76	1.1		0	.0	25.	2	37.	12.	5 0.	0 0
300~499人	24	16.7	25.	18	0.0	4 100.0	0.0	0	0 25.0	0	0	1 25.	1 1	0
w 200~999人 **********************************	32		25.0	22 68.8	0.0	9 100.0	0.0	0.	0 0 0	16.		0.	0 0	.16.
1000人以上	52 100.0	15.	28	34	1.9	8 100.0	0.0	0.	0 12.5			5 0.	0 0.	
無回%	27 100.0	14.8	22.	17 63.0	7.4	4 100.0	1 25.0	0.	0 1 0 25.0	25.	0 0.	0 25.		0.
3か月未満	6 100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.	0 0 0	0.	0 0.	0 0.	0 0.	0.
3~6办月未満	30	0.0	10.0	26 86. 7	3.3	0.0	0.0	0.	0 0 0	.0	0 0.	0.0	0 0.	0.0
6~12か月未満	48	2.1	12.	41 85.4	4.2	1 100.0	0.0	0.	0 0 0	0.	0 0.	0 0.	0 100.0	0.
製 1年 約 1年	247 100.0	33	14.	188	2.4	33	2 6.1	0	0 5	18.	6 1 2 48.	16 .5 9.	3 1 1 3.0	.0
1年超~3年以下	19	2 10.5	26.3	13	2 10.5	2 100.0	0.0	0.	0 50.0	0.	0 0.	0 0.	0 0.	0 50.
3年を超える	8 100.0	4 50.0	50.0	50.	0.0	4 100.0	0.0	0.	0 1 0	50.	2 25.	1 0 0.	0 0.	0 0.
第回%	112		-	9	4	0	0		0		0	0	0	

L				EB8	(4) 要 (6)	は年券の ト	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田				EB8 (2	(3) 上限の定	上版を上げる方式	: 作数	卜段:稱成比
		种	1 年	2 年	#	4 年	5 年	無回答	全体	光働条件 油名書かれる かんしい	雇用契約 書で定め ている	熱でい		その街	無 回 終
	和	55	3.5.5	0.0	11	3.5.5	35	3	77		41	40		5.5	9
	建設業	100.0		0.0	100.0	0 0		0			100	-	0		
	製造業	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	2 66.7	0.0	5 100.0	1 20.0	9 60.0		0.	0.0	0.
	情報通信業	4 100.0	0.0	0.0	0.0	0 0 0	3 75.0	1 25.0	6 100.0	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	16.
	運輸業	100.0	0.0	0,0	0.0	0.0	1 100.0	0.0	3 100.0	0.0	33.3	2 66.7	0,0	0.0	0.
	卸売・小売業	8 100.0	1 12.5	0.0	0.0	0 0 0	7 87.5	0.0	9 100.0	11.1	7 77.8	55.6	0 0.0	0 0.0	0.
主要	金融・保険業	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0	1 100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.
事 継	不動産業	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0.0	0.0	50.
内容	y 飲食店、宿泊業	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0	1 100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.
	医療、福祉	8 100.0	1 12.5	0.0	2 25.0	0.0	5 62.5	0 0 0	11 100.0	9.1	18.2	5 45.5	1 9.1	2 18.2	0.
	教育、学習支援業	17 100.0	1 5.9	0.0	3 17.6	2 11.8	10	1 5.9	23	10	15 65.2	12 52.2	1 4.3	8.7	0.
	サービス業	100.0	0.0	0.0	9 60.0	0 0	40.0	0.0	6 100.0	33.3	4 66.7	1 16.7	0.0	0.0	16.
	その街	100.0	0 0	0.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	9 100.0		44.44		0 0	1 ::	22.
	無回%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	.0
	29人以下	100.0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0	0.
4	766∼08	12 100.0	0.0	0.0	2 16.7	1 8.3	9 75.0	0.0	18	11.1	9 50.0	9 20.0	0.0	0.0	11.
H Æ E	100~299人	7 100.0	1 14.3	0.0	1 14.3	1 14.3	4 57.1	0.0	12 100.0	3 25.0	58.3	2 16.7	0.0	8.3	86
11 张重	300~499人	100.0	0.0	0.0	1 16.7	0.0	4 66.7	1 16.7	7 100.0	28.6	28.6	71.4	0.0	14.3	0.
医抽笔	500~999人	8 100.0	0.0	0.0	1 12.5	0.0	9 75.0	1 12.5	12 100.0	5 41.7	10 83.3	9 75.0	0,0	8.3	0.
Ř	1000人以上	15	0.0	0.0	33.3	1 6.7	8 53.3	1 6.7	100.0	7 36.8	8 42.1	12 63.2	1 5.3	5.3	10.
	無回答	100.0	1 16.7	0.0	1 16.7	0.0	4 66. 7	0.0	8 100.0	25.0	5 62.5	37.5	0 0	1 12.5	0
J		2001		5	- 601										

L			(1)(1)	田林の右伸	1011	第 (6) 0月日	加公田松の世	イニ)と乗り	L				12 N 18 10 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	グーサ単の	カトンア行く	71.72	144 - 117/4/20
		会 本	関 明 い る い る	関係していない。	144	7	2 图 2	無けな			会	労ちら申なら自使らなり あらながら自じない、 あなた となるなどは は のなるな に は のなが に に は のな に に に に に に に に に に に に に に に に に に	一番に割 一番に割 の基プナ	(本)	で 乗 変 ない ない	からを	無 回 終
1	和	370 100.0	333	3 31	1 1.	6 282	7.	0 18 9 4.9		中	370 100.0	95	88 23.8	171	0.5	1.	7 9
l	建設業	21 100.0		19.	4 0.	0 0	33.	7 2 3		建設業	21 100.0				1.8	0.	0.
	製造業	35	88.	∞	3 2.	1 71	22.	8 2 9 5.7	Year	製造業	35 100.0		7 20.0		0.0	2.	1 2.
	情報通信業	37	31 83.8	10.	4 8 5.	2 2 4 59.	22 13	5.4	~	情報通信業	37 100.0	7 0 21.6	7 18.9	19	0.0	2.	1 7 5.
	業譽惠	22 100.0	20 90.9	6	1 0.	0.06	4	1 5 4.5	7/5	運輸業	22 100.0	3 3 13.6	31.8	12 54.5	0.0	0.	0.0
	卸売・小売業	56	51 91.1	5.	3 3.	2 44 6 78.6	16.	9 3 1 5.4		卸売・小売業	56 100.0	6 14 0 25.0	16 28.6	23 41.1	0.0	1.	1 8 3.
主要	金融・保険業	18	17 94.4	5.	1 6 0.	0 77	14 .8 16.7	3 1 7 5.6	主要	金融・保険業	18 100.0	8 2 0 11.1	4 22.2	61.1	1 5.6	.0	0 0.
串業	不動産業	100.0	83.	5 16.7	1 7 0.	0 50.	33.3	2 1 3 16.7	- 1 (不動産業	100.0	6 3 0 50.0	1 16.7	33.3	0.0	0	0 0.
内容	飲食店、宿泊業	9 100.0	100.	0.0	0 0	0 88.	9 11.1	0.0	内容	飲食店、宿泊業		9 44.4	0.0		0.0	11.	1 0.
	医療、福祉	34	32		9 0.	0 76.	26 23.8	8 0.0	,	医療、福祉	34	14 14	11 32.4			.23	1 9
	教育、学習支援業	※ 39	3 87.	10.	3 4	1 29	15.	6 4 4 10.3	1000	教育、学習支援業	39	9 7	15.4	24	0.0	.23	1 2.
	サービス業	100.0	94.	.53	8 0.	0 60	0 10.1	7 2		サービス業	69	9 24	17 24.6	28	0.0	0.	0.
	みの街	22 100.0	90.	6	1 0.	0 81	18 18.2	4 0 2 0.0		その他	22 100.0	3 13.6	31.8	10	0.0	4.	1 5 4.
	無回答	2 100.0	1 50.0	1 0 50.0	1 0 0.	0 50.	1 1	1 0 0 0.0	1/25	無回答	100.0	0 0.0	50.0	1 50.0	0.0	0.	0 0.
	29人以下	29		17.	5 3.	1 20 4 69.0	20 20 .0	5 4 2 13.8	- 74	29人以下	29	9 11 0 37.9	13.8	13	0.0	0.	0 3.
<	Y66∼08	117	101 86.3	11 11	1 4.	5 77 3 65.8	77 32 .8 27.4	8 8		766~08	117	7 40	23	46 39.3	0.9	1.	7
出海田	100~299人	89		7.	7 0.	0 80	72 12	5 5.6	H NEE	7662~001	89	9 24	16.0	45	0.0	4.	5 0.
E犯值	300~499人	24 100.0	21 87.5	12.	3 0.	0 70.	17 7. 8. 29.2	7 0 2 0.0	E犯達	300~499人	24 100.0	5 5	5 20.8	14 58.3	0.0	0.	0 0.
医抽菊	Ƴ666∼009	32 100.0	30	.9	2 3 0.	0 78	21.	7 0 9 0.0		500~999人	32 100.0	9.4	31.3	18 56.3	0,0	0.	0 3.
8	1000人以上	52 100.0	51	1 1.9	9 0.	0 92.	48 7.7	4 0 7 0.0	<u> </u>	1000人以上	52 100.0	2 6 0 11.5	23 44.2	. 44	0.0	.0	0.0
	第回%	27	25	7.	2 0 4 0.0	98	23 3	3 1 1 3.7	101	無回答	27 100.0	7 6	52		3.7	က်	1 7 0.
l									J			I					

上段:	無期	強々	336	16	31	£ 23	20	.3	810	9 0	o 0	32	37	61	22	27 0	24	9.	84	22 . 7	31	51	25	
-14	開12(1) 度	され こと こと	8 6	76.	8	68	90.	89.	100.	100.	88	32	37	88.	22	100.	.82.	84.	84	, 16	96	98.	25 92.6	
		金体	370	21	35		22 100.0	56	180.00	100.0	9	34	39	69	22 100.0	2 100.0	29	117	89	24	32	52 100.0	27 100.0	
			岩包	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融·保険業	不動産業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	サービス業	みの街	無回答	29人以下	30~99人	100~299人	300~499人	~666~999	1000人以上	無回答	
									全軍	+	内容							<	出新田	田米田	医拖乳	×		
2:構成比		無 回 終	1.4	5.0	2.9	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
: 件数 下段		そ の色	7 2	0.0	5.7	2.7	4.5	0.0	0.0		0.0	0.0	5.1	1.4	0.0	0.0	3.4	0.9	3,4	0 0	0.0	3.8	0.0	2
上段:		直新の上 限年数に 整したか ピッかで	22	0.0	5.7	5.4	4.5	7.1	0.0	16.7	0.0	11.8	12.8	2.9	4.5	0.0	0.0	3,4	2 2	2 62	15.6	13.5	7.7	22
	まで)	更新の上限 回数に達し 版 たかどうか 道 で判断する は	15	0.0	5.7	2.7	9.1	1.8	0 0		0.0	2.9	15.4	0.0	9.1	0.0	0.0	2.6	2.2	4.2	12.5	7.7	3.8	15
	断要素 (3つま	上版 に に に に に に に に に に に に に	14.9	5.0			18.2	17.9	7	0.0	11.11	5.9	7.7	8.7	6 27.3	1 50.0	3.4	8 6.9	14	25.0		14 26.9	23.1	6
	契約更新の判断要素	労働者の制務成権・勤務は関係を対していません。	268	14	25	26	19	43	15	83, 3	9 66.7	22 64.7	28	44 63.8	19	2 100.0	19	71 61.2	66	21 87.5		47	18	99
	開11 契	プク従いの況ロトナ事る連によるなとなりなり業様による。	49	5 5 0			9.1	6.4	0.0	16.7	11.1	1 2.9	12.8	11 15.9	9.1	0.0	17.2	19	10	12.3		. s	15.4	6
		期間満了 時の業務 量による	96	35.0	17.1	11 29.7	3	35.7	23.5		22.2	14.7	15.4	23	31.8	0.0	13.8	37	19	5 20.8		13	7 26.9	20
		会社の経 営状況に よる	148				36	21	23.5		55.6	16 47.1		30	36.4	2 100.0	13	48	41		18	22 42.3	7 26.9	26
		本人の意思による	273	15	25	29	16	34	14 82.4	9 100.0	7 77.8	28	30 76.9	56 81.2	12 54.5	1 50.0	26 89. 7	83	71 79.8	70.8		31 59.6	22 84.6	49
		全	368	20	35	37	22 100.0	56 100.0	17	100.0	9	34	39	100.0	22 100.0	100.0	29	116	89	24	32	52 100.0	26 100.0	77
			岩包	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	サービス業	その他	無回答	29人以下	30~99人	100~299人	300~499人	200~999人	1000人以上	無回答	契約の更新回数または通算動
									主要	事 継	内容							<	生活	田米田	医拖掉	×		契約(

				開12((2)無期転機	パールの対	で予定につい	上段: ハマ (複数回	年数 ^(密)	下段:構成比	L			==	12(3)無期転	換する場合	上段の雇用形態	:件数 下段(複数回答)	2:構成比
		条	今期約い行全労に用後労で入わて働い十十は働のれず無致らる下事をうる存取を見るる事は、、期約雇	今期約し年る員しあ期後後労で、各契小ごか期間通過をか込む契押組置過過額約らなば紀契額再課金別がは計判計を計算に計せば終と仕申が無にする	今期約し年る期紀後労で、全事約日年の期間通程に教験を再通程に対する事務に有数を開発を置ける。	更や数をし動がとう 新動に設、続いとう 同端上置通はなになる中のなった。 対けなった。 ないなった。	クグ 置算 リナー	中 在檢討 ,	その他	斯 如 称			州	現在ない。 をは で の を を を を を を を が が が が が が が が が が が が	職務定とな働後担子、無無勢力力・無無勢になるをを無期終になるなるを新期約監督をななた対対と駆撃をなる複数	本 を を を を を を を を を を を を を	中中 在檢討	か ら 音	黎 四 黎
1	华	370 100.0	9 2.4	148	30	36	7.1.9	156	23	7.1.9		中	179	55	13	92 51.4	45	1.7	0.6
	建設業	21	0.0		1.8		0.0	10	0.0	1 4.8		建設業	8 100.0	50.0	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0
	製造業	35	1 2.9		8.	8.6	0.0	9 25.7	1 2.9	1 2.9		製造業	22 100.0	18.2	0.0	13	5 22.7	0.0	0.0
	情報通信業	37	2.7	15	8.1	8.1	5.4	17	8.1	0.0		情報通信業	17 100.0	41.2	2 11.8	8 47.1	23.5	0.0	5.9
	運輸業	22 100.0	4.5	31.8	1.5	3 13.6	0.0	11 50.0	4.5	0.0		運輸業	9 100.0	33.3	0.0	55.6	22.2	0.0	0.0
	卸売・小売業	56 100.0	3.6	23	7 12.5	1.8	0.0	24	8.9	3.6		卸売・小売業	30	30.0	10.0	14 46. 7	33.3	0.0	0.0
主要	金融・保険業	18 100.0	0.0	5 27.8	11.1	1 5.6	0.0	10 55.6	1 5.6	1 5.6	主要	金融・保険業	7 100.0	42.9	1 14.3	2 28.6	1 14.3	0.0	0.0
事業	不動産業	100.0	0.0	33.3	1 16.7	1 16. 7	1 16.7	33.3	0 0	0.0	事 継	不動産業	3 100.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
内容	飲食店、宿泊業	9 100.0	0.0	44.4	0.0	1 11.1	0.0	33, 3	11.1	0.0		飲食店、宿泊業	4 100.0	1 25.0	1 25.0	50.0	1 25.0	0.0	0.0
	医療、福祉	34	1 2.9	13	5.9	5.9	0.0	15	1 2.9	0.0		医療、福祉	100.0	31.	6.3	12 75.0	18.8	0.0	0.0
	教育、学習支援業	39	0.0	14 35.9	7.7	11 28.2	4 10.3	13	7.7	2.6		教育、学習支援業	17 100.0	29.4	5.9	9 52.9	5 29.4	0.0	0.0
	サービス業	100.0	4.3	34 49.3	5.8	7.2	0.0	28	5.8	1.4		サービス業	39	10 25.6	5.1	18	11 28.2	7.7	0.0
	その色	22 100.0	0.0	5 22.7	.6	3 13.6	0.0	13	3 13.6	0.0		その他	6 100.0	33.3	1 16.7	83.3	1 16.7	0.0	0.0
	無回答	100.0	0.0	0	1 50.0	0.	0.0	1 50.0		0.0		無回答	1 100.0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29人以下	29	0.0	12	3 10.3	0.0	3.4	15	3.4	0.0		29人以下	15	53.3	1 6.7	3 20.0	40.0	0.0	0.0
<	30~99人	117	2.6	41 35.0		7 6.0	2.7	54	7.7	5.1		30~99人	49	20 40.8	4.1	29	8 16.3	2.0	2.0
土常田	100~299人	89	4.5	42	4.5	5.6	1.1	35	3.4	0.0	土羊田	100~299人	100.0	12 24.0	4.0	25	15 30.0	2.0	0.0
E氷車	300~499人	24 100.0	0.0	33.3	12.5	8.3	0.0	14 58.3	1.2	0.0		300~499人	100.0	2 20.0	1 10.0	5 50.0	4 40.0	0.0	0.0
医抽类	~666~009	32 100.0	3.1	14	12.5	8 25.0	3.1	8 25.0	6.3	0.0	医和羊	Y666∼009	17 100.0	29.4	2 11.8	5 29.4	5 29.4	5.9	0.0
×	1000人以上	52 100.0	1.9	38.5	5.83	12 23. 1	3.8	17 32. 7	9.6	0.0		1000人以上	24	4 16.7	20.8	16	8.03	0.0	0.0
	無回答	27 100.0	0.0	111	11.1	7.4	0.0	13 48.1	7.4	3.7		無回答	14 100.0	4 28.6	0.0	9 64.3	35.7	0.0	0.0
具をがあ	具体的な対応内容に回答があった事業所限定(※)	206	9	148	30	36	3.4	17	22	1 1									
≛	(※「現在検討中」のみまたは「その他」のみ及び無回答を	ま「その他」の。	み及び無回答	· 金			í	5											

			TH	3(1) 就業規	III.				周13 (2	2) 週所定券	働時間			間13	問13(3) 残業の有無	有無
	金体	契約社員 用の就業 規則を適 用する	正社員の就業規則を準用している	就業規則はないはない	その他	無回卷	30時間未 満	30時間以 上35時間 未満	35時間以 上40時間 未満	40時間	40時間超	無回答	平均 (時間)	ない	& &	無回答
中	370	232	124	1.4	0.3	8 2.2	2 0.5	1.6	156	191	1.1	11 3.0	38.6	94	264	3.2
建設業	21			4.8	0.0	0.0	0.	4			4.8	0.0	39.6	19.0	16 76.2	4.
製造業	35	17 48.6	15 42.9	2.9	0.0	5.7	0.0	.23		45	0.0	1 2.9	38.8	9 25.7	25	.23
情報通信業	37	20	16 43.2	0.0	0.0	1 2.7	0.0	0.0			0.0	5.4	38.8	13.5	30	5.
運輸業	22	15	31.8	Ö			0	0	40.	59	Ö	Ö	38.8	9.1		4
卸売・小売業	56	36	33.9		0.0	1.8	0.0	1.			0.0	1.8	38.6	32.1		1.
金融・保険業	18	12 66.7	5 27.8	1 5.6	0.0	0 0	0.0	.c.		27.	1 5.6	0.0	37.7	5 27.8		0.
不動産業	100.0	33.3	50.0	0.0	0.0	1 16.7	0.0	0.0	33.3	50.	0.0	1 16.7	38.5	1 16.7	4 66.7	16.
食店、宿泊業	9 100.0	7 77.8	22.2	0.0	0.0	0 0	0.0	0.		7 77.8	0.0		39.8	11.1	66.7	22.
医療、福祉	34	25	9 26.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	11 32.4	19	1 2.9	5,9	38.9	14	19	2.
教育、学習支援業	39	26	12 30.8	0.0	0.0	1 2.6	1 2.6	0.0	20 51.3	16	1 2.6	1 2.6	38.0	17 43.6	20 51.3	5.
ービス業	69	42 60.9	23	2.9	1.4	1.4	1.4	1.4	23	42 60.9	0.0	2.9	38.5	14 20.3	79.7	0.
その他	22	16	5 22.7	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0		40	0.0	0.	38.3	18.2		0
無回答	100.0	1 50.0	1 50.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0	0.0	2 100.0	0.0	0.0	40.0	0.0	2 100.0	0
29人以下	29	34.5	17 58.6	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	34, 5	16	0.0	3 10.3	39.0	8 27.6	19	.9
30~99人	117	59	52	1.7	0.0	3.4	0.0	1.7	45	54	0.9	5.4	38.7	34	76 65.0	.9
~299人	89	54	32	1.1	0.0		1.1	2.	36.	32	0.	2.	38.5	30.3		
300~499人	24 100.0	16 66. 7	33.3	0.0	0.0	0 0 0	0.0	4.	10	12 50.0	4.2	0.0	38.7	4 16.7	20 83.3	0.
500~999人	32 100.0	28	9.4	0.0	3.1	0.0	0.0	0.	22 68.8	31	0.0	0.0	38.4	18.8	26 81.3	0.
-000人以上	52 100.0	43	8 15.4	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	28		1.9	0.0	38.8	7.13.5	45 86.5	0
無回答	27 100.0	22 81.5	4 14.8	0.0	0.0	3.7	3.7	3.7	33.3	14 51.9	3.7	3.7	37.8	8 29.6	18	°E
64	129	96	30	1 0.8	0.0	1.6	2 1.6	0.0	72 55.8	52	1.6	1 0.8	38.2	30	97	1.
_)	232	128	93	1.7	1 0.4	6.2.6	0 0	2.2	81	134	0.9	10	38.9	63	160	eri
無回答	6	000			0	i		-	6				38.2			=

		_				(3) (3)	路路時間						E13(A) 2	当 上 の 右 無	
		全体	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上10時間末	10時間以 上20時間 米謝	20時間以 上30時間 未満	30時間以 上	無回%	平均 (時間)	金	全員に支 給	お部に大	5裕な[無回%
	十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	264	1 0.4	34	43	84	18.9	26	26	13.7	0.001	151	17.3	148	_
	建設業	100 0		1 8 9	0 0	19 5		21.5		24.5	21			10	
	製造業	25		0.0			.10	01.	· 67	12.9	35	2 2 2	107	5 27	f c
	情報通信業	30				7	.00	, <u>-</u>	9 4	16.5			0		j c
	運輸業	100.0	i c	, re			15.	1 12		16.5	22	40.		10	i 0
	卸売・小売業	37		16.2	8 21.6	12	13.	od		12.0	56	42.	23.	32.1	
主要	金融・保険業	13	7.	30.8	7.7	38.5				8.5	18			22.2	0.
事 継	不動産業	100.0	0.0	1 25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	9.3	9 100.0	4 66.7	0.0	1 16.7	16.
内容	飲食店、宿泊業	100.0	0.0	33, 3	0.0	3 50.0	16.7	0.0	0,0	10.0	9 100.0	4 4.	2 22.2	33, 3	ő
	医療、福祉	100.0	0	36.8	21.1	5 26.3		1.6	0.0	9.3	34		4 11.8	38.2	0
	教育、学習支援業	20	0 0	3	1 0	5 25.0	4 20.0	1 2 2	30.0	13.0	39	21	9	8 8	. 6
	サービス継	100.0	Ö	5 - 6	16.4	34.5		12		15.0	100.0	7 98		36	0
	みら街	100.0	0	5.6	5 27.8	8 44.4			5.6	11.5	22	67	13.6	11 50.0	4
	無回%	100.0	0.0	0.0	50.0	0 0	1 50.0	0.0		12.5	100.0			100.0	0
	29人以下	100 0	0	91 1	. c	91 1	5 3	- 60	91 1	10.8	100 0	90 7	3	18	9
	30~99人	100 0		13 2	6 11	22		1 5		15.3	117			54	
生产	100~299人	100.0		15.0	10	20		=	.9	13.7	89		2	39.3	
三米車	300~499人	20	0.0	3 15.0	10.0	10		0.0	0.0	12.8	24 100.0	10	25.0	33.3	0.
医神教	200~999人	26 100.0	0.0	3 11.5	23.1	8 30.8	23.1	7.7	3.8		32 100.0	13 40.6	7 21.9	12 37.5	0.
\$	1000人以上	45 100.0	1 2.2	4.4	10 22.2	14 31.1	13.3	6.7	9 20.0	12.3	52 100.0	25 48.1	17 32. 7	10	0.
	無回%	18	0.0	3 16.7	3 16.7	33.3	4 22.2	5.6	1 5.6	13.4	27 100.0	15 55.6	3.7	11 40.7	0.
米	あり	97	1.	14 14. 4	18.6	32.0	12 12.4	4.1	17.5	11.1	129	61 47.3	27 20.9	31.0	0.
働組	なし	160	0.0	11.9		31.3	36	22 13.8	9 29	15.2	232	83	36	107	.23
<□	無回絡	7	0	- :	1	3		0	0	11.6	6	7	-	1	

L			L				HH10/1/OHH	// HIII - W	1,000					(L) OF HH) HEW AND	中十十年	HH	田田 (3)01	+ ~ 1 14401	
		全体	10万円未 満	10万円以 上20万円 未舗	4 20万円以 3 上40万円 未議	40万円以 3 上60万円 未満	60万円 上80万 新	80万円以 100万円以 上100万円 米蘚	100万円以 上	無回案	単純平均 (万円)*1	加重平均 (万円)*2	全体	あり	\$\f\z		全員加入		加入させていない	
<u> </u>	中十	215	-1	7 6	4	2 2		5 11 5 1	24	40	55.4	51.5	370	13.2	311	10	333	24	1.4	8 6
	建設業	100.00	. 02	0 1 0	0	1 30	3	1 0			64.1	106.1	21					14	1 4.8	0 0
	製造業	29		200	0 00 00	8 8 9	13 0	5 6			55.8	63.8	35				30		0	2 2
	情報通信業	0.001			000	4 4	66	e e	<i>i</i> =	_	37.8	27.0	37		35		34	5 6	2.7	
	運輸業	100.0		7 2 2		- s					60.09	29.5	22		20 20 90.9		19		0.0	4.5
	卸売・小売業	37	.8	1 5.	.4 16.	65 29	1 7 13.	5 2.7	5.4	7 18.9	48.5	43.8	56 100.0	7 12.5	47 83.9	3.6	54 96. 4	1.8	0.0	1.8
田里	金融・保険業	14	.0	0 0	.1 21.	3 28.	4 1	0.0	7.1	4 28.6	55.0	48.3	18				17 94. 4	1 5.6	0.0	0.0
事業	不動産業	100.0	0.0	0.0	0 0	0.0 50.0	25.	1 1 0 25.0	0.0	0.0	61.8	59, 5	6 100.0	0.0	83.3	1 16.7	83.3	0.0	0.0	1 16.7
下海	y 飲食店、宿泊業	100.0	.0	0.0	0 0	1 33.	3 16.7	1 0 7 0.0	0.0	33.3	44.0	48.1	9 100.0	0.0	100.0	0.0	88.9	11.1	0.0	0.0
	医療、福祉	21	6	5 19.	4 0.	4 0	5 9.5	2 0	0.0	33.3	28.8	16.7	34	9 26.5	73.5	0.0	31	2 6	1 2.9	0 0
	教育、学習支援業	30		0 0	0 0	3 16.	i ei	113.3			100.7	88.5	39		64.		36		2.6	2.6
	ナービス継	33		2 22	· e -	6	15	Ö			39.7	26.5		00			59	=		
	その街	100.0	10.	1 0	0 0	0 0 2	10.	0.0			45.4	23.7	22				21 95, 5		0.0	0.0
	無回%	0.0	0.0	0.0	0		0.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2 100.0	0.0	100.0	0.0	2 100.0	0.0	0.0	0.0
	29人以下	9	11.	1 11.	п п	1 11.1 33.	3 0.0	0 0 0	11.1	2 22. 2	53.1	43.0	29	3.4	26	2 6.9	24 82.8	3.4	2 6.9	2 6.9
	30∼99人	60 100.0	10.	0 5.	80	15 25.0 11.	7 7	7 5.0	10.0	13	56.4	58.0	117	21 17.9	92	3.4	105	8 9	0.9	2.6
生育	100~299人	52 100.0	.6	5 1	5 6	23	1 3.	5.8		10	44.2	31.3	89				79 88.8	6.7	2.2	2.2
八尖角	300~499人	16 100.0	9	1 3 6.	.3 18.	3 8 37.	6 1 5 6.3	1 1 3 6.3	1 6.3	2 12.5	47.8	48.0	24 100.0	6 25.0	18 75.0	0.0	20 83.3	4 16.7	0.0	0.0
其一种	500~999人	20	0.0	0 0	.0 20.	4 0 15.	3 10.	2 1	35.0	10.0	72.2	46.8	32 100.0	15.6	27	0.0	30 93.8	6.3	0.0	0.0
K	1000人以上	42	7.	1 3	.4	5 19.	8 10 0 23.8	3 3 7.1	7.1	23.8	67.1	63.9	52 100.0	5.83	48	1.9	50 96. 2	1.9	0.0	1.9
	無回%	16 100.0	.9	3 6.	.3	.3 12.	2 5 25.0	0.0	12.5	6.3	46.2	34.3	27	18.5	21	3.7	25 92.6	7.4	0.0	0.0
报	\$ P	100.0	9	8	5	19 17.	15 10	0 8	13.6	14	6.09	58.8	129	18	109	1.6	118	6 4. 7	2	2.3
働組	b なし E	119	8	10	6 9	20	4 1 2 12.	5 3 3			5 51.2	37.8	232	27	198	3.0	206	18 7.8	1.3	2.2
ÁΠ		8 100.0	_	1 5 12.	.5 25.	2 0 25.	2 0 12.	1 0	12.5	0.0	52.3	34.8	9 100.0	44.4	44.4	11.1	100.0	0.0	0.0	0.0
* *	※1単純集計:全員、一部にかかわらず契約社員に賞 ※2加重平均:契約社員全員に賞与を支給している事:	Jにかかわら S員に賞与る	らず契約社 と支給して	員に賞与を いる事業所	支給してい のみを対象	与を支給している事業所の回答 業所のみを対象とし (一部に支)	終所の回答賞 与棚(各事業所における平均賞与棚)の合計を回答事業所数で除した単純平均。 (一部に支給している事業所は人数が不明のため除いた)、各事業所の契約社員数を加味して算出した加重平均	各事業所に る事業所は、	おける平均® 人数が不明の	賞与額)の名 うため除いた	計を回答事こ)、各事業	f 業所数で除 所の契約社	した単純平 員数を加味	る。 しか解田し	た加重平均。					

台	分本		111	H	年 回 校	수 몸 부 가	the same of the same			く旧分字		The state of the s	無回效	今日社会	中华四二	44年か	無回然
十二		全員加入	一部加入	加入44年 インない		ナガボン	一部加入	加入や中へいない	無回緣	至貝芙雕	- 部末圏	米階していない		11年12月21年	四 [X (回	×.*	
ī	370	320	35		7	318	37		2	338	17	7		300		9 18	3
	100.0	86.5	9.5	2.	1.9	85.9	10.0	2.	Ť			T	2.		10		3
建設業	21	15	4 0	01 10	0 0	15	4	21 12	0 0	20 20	0 0		0 0	133		-	4.0
	100.0	11.4	19.0			71.4	19.0	9.		99.2			0.		14.	19.	4
製油業	100.0	71.4	20.0	2.9	5.7	71.4	20.0	2.9	5.7	91	2.9	0.0	5.7	7.7	14.3	2.	9 5.
情報通信業	37	32	8			32	3			32	(4		26	,	1	
	100.0	86.5	8.1	2.	2.7	86.5	8.1	.2	2.7	86. 5	∞i	2.	2.7	70.3	18.	2.	4 5.
運輸業	22 100.0	81.8	9.1	4.5	4.5	17 77.3	13.6	4.5	4.5	. 21	0.0	0.0	4.5	18 81.8	9.1	4	5 4
御売・ 小売業	56	52	e	0	1	52	3			53							0
	100.0	92.9	5.4	0.0	1.8	92.9	5.4	0	1.8	94.6	33	0	1.8	94	69	0	0
王金融・保険業要	18	17 94. 4	5.6	0.0	0.0	17 94. 4	5.6	0.0	0.0	94.4	5.6	0.0	0.0	77.8	22.2	0.	0.0
不動産業	9	ıs.	0	0		23	0										0
_	100.0	83.3	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0		16.7		0.		16.7	66.7	16.7	0.	. 16.
飲食店、宿泊業	100.0	88.9	11.1	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0	0.0	88.9	11.11	0.0	0.0	77.8	11.11	11.11	0.
医療、福祉	34	31	2 5 9	1 6	0 0	31	2 5 9	1 9 9	0	32	0	9 9	1 6	28	5 2	11	4 0
教育、学習支援業	39	35				35	5										
	100.0	89. 7	5.1	2.6	2.6	89. 7		2.6	2.6		5.	2.	2.6	82.1	10.3	.2	9 6
サービス継	100.0	85.5	13.0	1.4	0.0	84.1	14.5	1.4	0.0	89.9	.0.	. 6.3	0.0	85.5	.5.8	4	3.0
その色	22	21	1	0	0	21	1	0		19		0		17			
!	100.0	95. 5	4.5		0.0	95. 5	4.		0.0	86.4			0.0	77.3	18.	4.	.0
無回%	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.	0.0
29人以下	29	21	4	2 2	2	20			27 0	22				21			
	100.0	72. 4	13.8		6.9	69.0	17.2	9.	6.9	75.9		10.	6.9	72.4	.,	13.	8 10.
30~99人	100.0	83.8	12.0	1.7	2.6	97 82.9	12.8	1.7	2.6	5 91.5	4.3	0.9	3.4	82.9	8.5	5.	1 3.
100~299人	88	78	9	4	1	78	9	4		. 80			1	70			2
	100.0	87.6	6.7		1.1	87.6	6.7		1.1	89.9	5.	eć.	1.1	78.7	12.	5.	3.
300~499人	100 0	02 20	16.7	0 0		83 3	16.7	0 0		95.8	4 2	0 0		87.5	2 61	0	0
500~999 J	32	30		0	0	30				30	4			27		5	
	100.0	93.8	6.3		0.0	93.8	6.3		0.0	93.8	.9		0.0	84.4	15.	0.	0.
1000人以上	100.0	92.3	n oc	0.0	- 6	92.3	n oc	0.0	- 6	96.2	- 6	0 0	- 6	82.7	0 0	eri	0.10
無回然	27	25	2		0	25	2			26				21			
1 [4	100.0	92. 6	7.4		0.0	92. 6	7.4		0.0	96.3	eri	0.	0.0	77.8		eri eri	7 3.
20	129	116 89.9	5.4	. ci		115 89.1	6.2	. cj	. ci	121	2, 3, 3, 3, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5,	1.6	2, 8, 8, 8,	107	9.3	4	7 3.
なし	232	195	28	EG (4	194	29		4		14						
年日か	100.0	84.1	12.1		1.7	83.6	12.5		1.7			2.	2.		11.		2 0
・ 単 回 零 回 単 回 零 回 単 回 零 回 単 回 零 回 単 回 零 回 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	9 001	9 00	0 0	0 0	0 0	200	0 0	0 0		500	0 0	0 0		0001	0 0	0 0	0

		間14	14(1) 正社員以	に対しての伯	ての仕事の内容の比較	つ比較	T(a)	14(2) 止社員	1	ての仕事の量の比較	比較	Fi)14	3) 止在貝	に対しての仕	事の頁	士の比較
	金体	農	2 E	困難	どちらと もいえな い	無回答	少ない	าย	多い	どちらと もいえな い	無回答	極い	2 E	重い	どちらと もいえな い	無回答
华	370	95	176	0.5	90	7	91	193	0 0	79	7	181	114	0 0	18.1	-6
建設業	21					0	14.3	14	0		0	11 52 4		0 0		ic
製造業	35	111		5 0			34		5 0			19	66		06	
情報通信業	37	8 9 12		5 6		i c			i c	į <u>«</u>		32.4	45			
運輸業	22	7 7 8				c	40		0	<u>e</u>			-	· c	o	
卸売・小売業	56	16	33 7	i e		i e			i c	2 2		26	28			
金融・保険業	100.0	50.0				் ம்			Ö	i io		10 10 55.6	38.	5 0		i
不動産業	100.0	0.0	83,3	0.0	1 16.7	0.0	0.0	83.3	0.0	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0	1 16.7	0
内 称食店、宿泊業	9 100.0	11.1	44.4	0.0	33.3	11.1	0.0	5 55.6	0 0 0	33.3	11.11	33.3	22.22	0.0	33.3	11.
医療、福祉	34	23.5	17	0.0	9 26.5	0 0	9 26.5	19	0.0	9 17.6	0.0	18	7 20.6	0.0	9 26.5	0.
教育、学習支援業	39	8 20.5		0.0		1 2.6	30.8		0.0	15.4	1 2.6	14		0 0		2.
サービス継	100.0				8	i o			Ö			35	33.			
その街	22	31.8		0.0		0.0	6 27.3		0		0.0	17 77.3		0.0		4
無回%	100.0	0.0		0.0		0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0.0	0.0	1 50.0	1 50.0	0.0	0.0	0.
29人以下	100.0	9 20.7	51.7	0 0	7 24.1	3.4	6 20.7	15	0 0	7 24. 1	3.4	12	12	0.0	13.8	ec
766∼08	117	25				3.4	26		0			52 44.4				ಣೆ
100~299人	89	17		0.0		1.1	15	56	0.	17	1.1	38		0.0		-1
300~499人	24 100.0	37.5	10	0.0	5 20.8	0.0	37.5	37.5	0 0	25.0	0.0	15	7 29.2	0.0	8.3	0.
200~999人	32 100.0	9 28.1	31.3	3.1	12 37.5	0 0.0	31.3	13	0 0.0	9 28.1	0 0.0	19 59.4	15.6	0.0	8 25.0	0.
1000人以上	52 100.0	21 40.4	14 26.9	0.0	16 30.8	1 1.9	18 34.6	38.5	0 0	13 25.0	1.9	30 57.7	11.5	0.0	15 28.8	1.
無回答	27 100.0	8 29.6	10 37.0	0.0	33.3	0.0	7 25.9	33.3	0.0	11 40.7	0.0	15 55.6	7 25.9	0.0	14.8	е́г
44	129	43	46 35.7	0.0	39	1 0.8	40 31.0	56	0.0	32 24.8	1 0.8	72 55.8	28	0.0	28	0.
なし	232	21.1	125	2 0.9	21.6	6.2.6	49	132	0.0	45	6.2.6	103	35.83	0 0	39	eri
中 無回答	6															

L	I			100		14.1	A HH + HH C				2	· IT%	
			金体	少ない	同じ 同じ	が シ フ フ フ	2XX米平国の万 だちのと かいべな ここべな	元数 無回答	低小	同じ 正在	通いと	の <u>画</u> 無の兄 どちのと もいえな ご	無 回 黎
i		4	370	173	138			00 0	168	90	19		7
	2	茶元を作	100.0			Ö	CT CT	7,		7	Ċ.		1.9
	K	建改業	100.0	47	28.	0.	23.8	0.	33.3	9.5	9.5	47	0.0
	कार	製造業	35	19	31.4	0.0	11.4	2.9	19	14.3	0.0	10 28.6	2.9
	4	情報通信業	37			0 0	50 10		12	12	9 16.2		2.7
	7 = 4	運輸業	22				σ		11 50 0	150	c	8	0
	454	卸売・小売業	100 0		8 1	i c	. 91	i en		- F	i e	2, 2,	2 6
111 1091		金融・保険業	100.0			0.		.0.	50.		0		1 5.6
-11 AN	事 継	不動産業	6 100.0	1 16.7	83.	0.0	0.	0.		.09		1 16.7	0 0
7 %		飲食店、宿泊業	9 100.0		55.6	0.0	22.2	11.11	33.3	44.4	0.0	11.11	11.11
	12.2	医療、福祉	34 100.0	23 67.6	7 20.6	0.0	4 11.8	0.0	18 52.9	5 14.7	0.0	11 32.4	0.0
	4837	教育、学習支援業	39			0.0	12.8			38.5			1 2.6
	т.	サービス継	69				13.	1.		20	14.		
	- 1	その他	22 100.0		3 13.6	1.5		0.0			0	4 18.2	0 0
	411	無回%	2 100.0		1 50.0	0.0	0.0	0.0	1 50.0	0.0	0.0		0.0
	2	29人以下	29	13	11 37.9	0.0	13.8	3.4	34.5	8 27.6	3 10.3	7 24.1	3.4
		30~99人	117			0	T 6		43	27.	9		4 4
7-1 der 11		100~299人	89						38		2.		1 1
~ 11/4	E 氷道	300~499人	24		33.3	0.0	3 12.5	0.0		20.8	4.2	4 16.7	0.0
- 11T X		丫666∼009	32 100.0	14 43.8	14	0.0	4 12.5	0.0	19 59.4	4 12.5	9.4	6 18.8	0.0
P1		1000人以上	52 100.0	31 59.6	11 21.2	0.0	9 17.3	1.9	29	10 10 19.2	1.9	11 21.2	1.9
	411	無回答	27 100.0	13	8 29.6	3.7	18.5	0.0	15 55.6	14.8	3.7	7 25.9	0.0
4/1		64	129	67 51.9	42	0.0	19	1 0.8	68	28	0.0	32 24.8	1 0.8
← *	働組	なし	232	101	93	0.9	29	3.0	95 40.9	59	19	53	2.6
\ <u>u</u>		無回答	9		33.3	0.0	11						

全体 100.0 100.0 100.0 37 22 22 22 22 22 22 22 22 23 100.0 34 100.0 100.0 100.0 23 100.0 22 100.0 100.0 100.0 100.0 0 100.0 0 100.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	相違かり 27 232 33 62.7 10 62.6 10 68.6 10 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70	無回辞 3.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	か 100.0 100.		見直しは オ 行わない 126 54.3 4 40.0	96 6	無 回 禁 0.4	金体 370 100.0		相違あり 291	無 回 黎	全体	児直しを 行う 11	見直しは 行わない	未流	国 黎
中計		111	232 100, 0 100, 0 24 100, 0 100, 0		126 54.3 40.0	96 41.4	0.4	370	E C	291		106	11			
建設業 100.0 関造業 100.0 構験通信業 100.0 運輸業 100.0 金融・保険業 100.0 不動産業 100.0 板食店、宿泊業 100.0 数育・学習支援業 100.0 サービス業 100.0 サービス業 100.0 第回答 100.0 第回答 100.0 100.0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	100.00 24 24 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00		40.0		0		18.1	78.6	3.2	100.0	3.8	158	120	0.7
製造業 100.0 精験通信業 100.0 運輸業 100.0 回標・保険業 100.0 を	33 66 62 63 88	2. 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	24 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0			0.09	> 5	21	23.8	16 76. 2		16	0.0		8 50.0	0.0
#報通信業 100.0 運輸業 100.0 運輸業 100.0 金藤・保険業 100.0 不動産業 100.0 数令、全習支援業 100.0 サービス業 100.0 サービス業 100.0 第回答 100.0 新回答 100.0	63 66 65 65 65 65 65 65 65 65 65 65 65 65	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0	4.2	70 8	25 0	0 0	35	8 66	26		100 0	3 2	20	19.5	0 0
運輸業 100.0 卸売・小売業 100.0 金融・保険業 100.0 水砂産 100.0 飲食店 宿泊 100.0 要青、学習支援業 100.0 サービス業 100.0 オービス業 100.0 ボービス業 100.0 ボービス業 100.0 ボービス業 100.0 ボービス業 100.0 ボービス業 100.0 ボービス業 100.0 ボービス業 100.0 ボービス業 100.0 ボービス業 100.0 ボービス ボーボー 100.0 ボービス ボーズス ボーズス ボーズス ボーズス ボーズス ボーズス ボーズス ボーズ	68.2 68.2 8.3 8.4 7.9 66.4 66.6 4.3	5.4 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	2 -	11 11	27.8	0 0	37	21.6	28		28		13	14	0 0
加売・小売業 100.0 全職・保険業 100.0 不動産業 100.0 依債 宿泊業 100.0 数有・学習支援業 100.0 サービス業 100.0 オービス業 100.0 ボロる 100.0	62 33 33 55 55 79 43	5, 4 11, 1 11, 1 11, 1 11, 1 11, 1 1, 1 1	35 100.00 100.0 2 2 100.0 5	0 0	10	28.6	0.0	22	18.2	18		100.0		12	33.36	0.0
金藤・保険業 100.0 不動産業 100.0 飲食店、宿治業 100.0 医療、福祉 100.0 製育、学習支援業 100.0 サービス業 100.0 ボロビス業 100.0 ボロビス業 100.0 ボロビス 100.0 ボロビス 100.0 ボロビス 100.0 ボロビス 100.0	33 33 66 66 66 66 66 66	11.11 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	100.0 100.0 100.0	2.9	18	16	0 0	56	10.0	44 44 78.6		44	6.8	23	18 18	0 0
不動産業 100.6 飲食店 宿泊業 100.0 医療、福社 100.0 響音、学習支援業 100.0 サービス業 100.0 その他 100.0 無回答 100.0	33. 179. 2. 2. 2. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3.	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	100.0		28.	5 41.7	0 0	100.0	5.6	15		150.00		60.09	40.0	0 0
飲食店、宿泊業 100.0 医療、福祉 100.0 教育、学習支援業 100.0 サービス業 100.0 その他 100.0 無回答 100.0	55. 79. 1 43.	11.11 0 0.00 2.2 6.2 6.00 0.00 0.00 0.00 0.00	LC	0.0	0 0	100.0	0.0	100.0		4 66.7		100.0		25.0	50.0	0.0
報報報 100.0 ※ 100.0 ※ 100.0 100.0 100.0 100.0	79. 1 43. 66.	0.00	100.0	0.0	90.09	40.0	0.0	9 100.0	22.2	6 66. 7	11.1	100.0	0.0	4 66.7	33.3	0.0
関支援業 39 100.0	43.	2.6	27	3	10 37.0	14 51.9	0.0	34	5.9	32	0.0	32	6.3	34.4	18	3.1
** 100.0 10	.99	2 0	17	1 6.5	13	3	0 0	39	13	25	2.6	25	1.0	19	20.0	0.0
100.00		- X	46	1 6	21	24	0 0	69	6 13 0	57		57	62.10	28	27	0 0
100.0	06	0.0	20	0.0	11 55.0	8 40.0	1 2.0	22	3	18	1.5	18	0.0	9 20.0	8 4.4	5.6
06	0.00 100.0	0.0	2 100.0	0.0	1 50.0	50.0	0.0	2 100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	1 50.0	1 50.0	0.0
29人以下 100.0 34.	10 18 34.5 62.1	3.4	18	1 5.6	9 20.0	8 44.4	0.0	29	17.2	23 79.3	3.4	23	0.0	13	39.1	4.3
$30\sim99$ 人 117 48	48 64	5 4.	64	4 6.3	31	29	0 0	117	25	85	7 6.0	100.0	7.1	41	38	0.0
100~299人 89		2.2	48	2.1	31	31.3	2.1	89	18	7.8.7		100.0	2.9	37	30	1.1
300~499人 24 100.0	3 21	0 0	21	1.8	9 42.9	11 52.4	0 0	24	8.3	21 87.5	1.2	21	1 8.8	38.1	12 57.1	0.0
	10 22	0.0	22	0.0	13	40.9	0.0	32	8 25.0	24	0.0	24	0.0	16	33.3	0.0
1000人以上 52	11 39	67 80	39	0 0	24	38.5	0 0	100.0	9 11.5	45	1.9	45	0.0	32	13	0.0
		3.7	20		45.0	45.0	0 0	27	3	23	3.7	23		11 47.8	10	0.0
あり 129 36	34 92	6 6	92	4 6	54	33	- 1	100 0	22	105		100	rc 4	63.8	30.5	1 -
			136	3.7	69	62 45.6	0.0	232	41	182	3.9	182	3. 6	88 48.4	87 47.8	0.5
無回答 100.00 44.	4 44.4	11.11	4 100.0	0.0	75.0	1 25.0	0.0	9	44.4	44.4	11.1	4 100.0	0.0	75.0	1 25.0	0.0
正社員と仕事の内容が 176 88 同じ(※) 100.0 50.0	88 87	0.6	87	4.6	47	35	1.1	176	44	132	0.0	132	3, 33	67	58	1, 5
193		1.0	96	5.2	50	40 41.7	1.0	193	50	142		142	4.2		62	1.4
		100	100 0		58.0	36.0	0 0	100 0	33	78		78	5 1		34	1

全体 相逢かし 相逢かり 無回答 (中報通信業 100.0 17.8 79.5 2.7 (株報通信業 100.0 17.8 79.5 2.7 (株報通信業 100.0 18.0 8.6 8.6 2.9 (株報通信業 100.0 18.0 8.7 2.9 2.7 (株報通信業 100.0 2.4 3.7 2.9 2.7 (株報通信業 100.0 2.4 3.7 0.0 2.7 (株報通信業 100.0 13.6 86.4 0.0 0.0 (株報通信業 100.0 1.3 86.4 0.0 0.0 (株報通信業 100.0 0.0 8.6 1.1 1.2 0.0 (株株 石工工工 100.0 0.0 10.1 0.0 0.0 0.0 0.0 (株株 石工工工 100.0 0.0 10.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 <t< th=""><th>284 100.0 1</th><th></th><th>长</th><th>無回替 37.1 37.1 37.1 37.1 10.9 44.4 10.0 44.4 10.0 34.9 10.0 44.4 10.0 44.4 10.0 44.4 10.0</th><th>か体 370 100.0</th><th>*</th><th>田達なし 相違あり 無回答 325 36 36 20 1 2. 20 4.8 0.7 2. 95.2 4.8 0. 30 4</th><th>無回答 9 2.4</th><th>全体 月 行 う 100.0</th><th>児童しを 行う 行う 5.6</th><th>見直しは 未定 行わない 14 38.9 50.0</th><th>9</th><th>() () () () () () () () () ()</th></t<>	284 100.0 1		长	無回替 37.1 37.1 37.1 37.1 10.9 44.4 10.0 44.4 10.0 34.9 10.0 44.4 10.0 44.4 10.0 44.4 10.0	か体 370 100.0	*	田達なし 相違あり 無回答 325 36 36 20 1 2. 20 4.8 0.7 2. 95.2 4.8 0. 30 4	無回答 9 2.4	全体 月 行 う 100.0	児童しを 行う 行う 5.6	見直しは 未定 行わない 14 38.9 50.0	9	() () () () () () () () () ()
(中央) (中央) (中央) (中央) (中央) (中央) (中央) (中央)		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			370 100,0 100,0 35 100,0		36 9.7 1 4.8 4.8		36		38.9	0	6
職役業 100.0 8.6 81.0 0.0 19.0 19.0 19.0 19.0 19.0 19.0 19		2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0			100, 0 100, 0			O		0	U	18 50.0	5.6
(株別 本) 100.0 8.6 8.8 8.6 2.2 100.0 13.6 88.6 2.2 100.0 13.6 88.4 0.2 100.0 13.6 88.4 0.2 100.0 13.6 88.4 0.2 100.0 13.6 88.9 11.2 100.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10.		2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			100,00 100,00	85. 81. 81. 2 2 90. 89.	4	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
藤藤葉 100.0 24.3 72.7 2.7 2.7 2.8 2.8 2.2 3.8 19 2.3 19 2.3 19 2.3 19 2.3 19 2.3 19 2.4 100.0 19.6 76.8 3.3 2.4 100.0 19.6 76.8 3.3 2.4 100.0 19.6 76.8 3.3 2.4 100.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0 1		1 1 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	81. 2 2 90. 89.	11.4	1 2.9	4 100.0	1 25.0	50.0	25.0	0.0
藤藤		0 0 1 1 8 0 0 0 0 0 1 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	90. 89.	16.2	2.7	6 100.0	0.0	4 66.7	33.3	0.0
(株) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本		1 2 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	273 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		56 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0	89	9.1	0.0	2 100.0	0.0	0.0	2 100.0	0.0
(株) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大		0 0 0 0 0 1 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6 8 8 9 9 1 2 1 0 2 9 9		100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 69 60 100.0		7.1	3.6	4 100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
新校氏 福油業 100.6 16.7 83.3 0.7 100.0 11.1 77.8		0.0000000000000000000000000000000000000	8 0 4 1 2 0 0 6		100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 69 69	88	0.0	11.1	0.0	0.0	0 0	0 0	0.0
版校店、宿泊業 100.0 1.1 77.8 11. 医療 福社 100.0 2.6.5 73.5 0. 教育、学習支援業 100.0 30.8 66.7 2. サービス業 100.0 30.8 66.7 2. その他 100.0 0.0 100.0 0.0 22 無回答 100.0 2.4 1 72.4 3. 30~99人 100.0 18.8 82.0 1. 500~999人 100.0 18.8 82.0 1. 500~99人 100.0 18.8 82.0 1. 500~999人 100.0 18.5 87.5 0. 500~99人 100.0 18.8 82.0 1. 500~99人 100.0 18.9 82.0 1.		0.00 0.	4 T Z O O 6		100.0 100.0 100.0 100.0 69 69			0 0	0.0	0.0	0 0		0.0
(84) 福祉 100.0 26.5 73.5 0.0 26.7 26.7 3.6 0.0 26.7 26.7 3.6 0.0 27.2 26.7 27.3 26.7 27.3 26.7 27.3 27.3 27.3 27.3 27.3 27.3 27.3 27		4. 0 0. 0 2	2000		34 100.0 100.0 69 100.0		11.11	11.1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
w育、学習支援業 100.0 30.8 66.7 2.9 40.7 2.4 66.7 2.4 69.0 100.0 18.8 78.3 2.2 5.0 100.0 18.8 78.3 2.2 5.0 100.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0		0 0 2	0.6		39 100.0 69 100.0		n 00	0 0	3 100.0	0.0	33.3	33, 3	33, 3
サービス業 100.0 18.8 78.3 2.2 その他 100.0 0.0 100.0 0.0 100.0 0.0 29人以下 100.0 24.1 72.4 3.3 30~99人 100.0 10.9 1.5 82.1 100~299人 100.0 16.8 82.0 100.0 100.0 12.5 82.1 100.0 16.9 82.0 1.0 100.0 12.5 82.1 100.0 12.5 82.1 100.0 12.5 82.1 100.0 12.5 82.1 100.0 18.8 82.1 100.0			0 0	4.4	100.0	35	7.7	1 2.6	3 100.0	0.0	2 66. 7	33.3	0.0
をの他 10.22 0.0 100.2 無回答 100.0 0.0 100.0 29人以下 20 24.1 72.4 30~99人 100.0 24.1 72.4 100~299人 100.0 16.9 82.0 300~499人 100.0 16.9 82.0 500~999人 100.0 18.8 87.5 500~999人 100.0 18.8 87.5 500~999人 100.0 18.8 87.5 500~999人 100.0 18.8 81.3 1000人以上 10.0 18.8 81.3 ####################################	22	3, 7	51.9			85, 5	13.0	1.4	9	11.11	33.33	55.6	0.0
無国等 100.0 0.0 100.0 100.0 2 100.0		0.0	4 9	31.8 4.5	22		3 13.6	0.0	3 100.0	0.0	33.3	33.3	33.3
29人以下 29 27 21 30~99人 117 24 87 100~299人 100.0 16.9 82.0 300~499人 100.0 16.9 82.0 500~999人 100.0 16.5 87.5 1000人以上 100.0 18.8 81.3 1000人以上 100.0 13.7 44 ##同次 27 4 22	100.0	0.0	1 50.0	1 0 50.0 0.0	100.0	2 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30~99人 117 24 87 100~299人 100.0 20.5 74.4 100~299人 100.0 16.9 82.0 500~999人 100.0 12.5 87.5 1000人以上 100.0 18.8 81.3 1000人以上 10.0 13.5 84 無同※ 27 4 22	21 100.0	0.0	14 66.7	7 0 33.3 0.0	29	75.9	6 20.7	3.4	9 100.0	0.0	33.3	3 50.0	1 16.7
100~299人	87	4.6	51 58.6	32 0 36.8 0.0	117	102	10	5.4.3	100.0	20.0	40.0	40.0	0.0
300~499人 100.0 12.5 87.5 500~999人 100.0 18.8 81.3 1000人以上 100.0 13.7 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44	73	1.1	27 12	29 39.7 1.4	89		6.7	1 1	6	0.0	3	33. 22	16.7
500~999人 32 6 26 26 100.0 18.8 81.3 1000人以上 55.2 44 44 22 44 22 44 22	21	0.0	38.1	13 0 61.9 0.0	24	22	8, 21 E,	0 0	2 100.0	0.0	0.0	2 100.0	0.0
1000人以上 52 7 44 44 1000人以上 1000、0 13.5 84.6 年100、27 4 22	26	0.0	19 73.1 2	7 0	32	31	3.1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
27 4 22	44	0.0	31 70.5	13 0 29.5 0.0	100.0	44 84.6	7 13.5	1.9	7	0.0	3 42.9	4 57.1	0.0
100.0 14.8	22 100.0	1 4.5	1 3	8 4	27		14.8	3.7	4 100.0	0.0	2 50.0	2 50.0	0.0
おり 129 15 112 2 第 100.0 11.6 86.8 1.6	112	1 0.9	78 78	32 1	100.0	1111	16	1.6	100.0	0.0	37.5	9	6.3
48	177	2.8	95	77 0 43.5 0.0	232		20 8.6	2.6	20	10.0	8 40.0	9 45.0	5.0
合無回答 9 3 5 1 100.0 33.3 55.6 11.1	100.0	0.0	5 100.0	0.0	100.0	88.9	0.0	11.11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
正社員と仕事の内容が 176 40 136 0 同じ(※) 100 0 22 7 77 3 0 0	136	3	77 56 6 4	55 1	100 0	158	18	0 0	100 001	1 9	33 3	9	2
193 45 147	100		2 22 10				20 20		20	0 H C		10	10 01
23 89			15 6				6 2	10	6 001	=		. r.	1

1			圖15 正	問15 正社員との労働条件の相違 ⑤有給休暇	条件の相違			間15 見直しの予定 ⑤有給休暇	このナルで不			同15 F在 (多物)	買との光観:引休暇 (慶引	問15 正社員との労働条件の相違 ⑥特別休暇(慶弔等)			同19 児目しのナル ⑥特別休暇 (慶弔等)	(慶弔等)	
100 100		争	相違なし	相違あり	無回%	金体	₩ ₩		光	無回終	全体	相違なし	相障あり	無回來	金	見直しを 行う			無 回 禁
100 100	和	37.		19	23	72 100.0	1.4	42 58.3	28	1.4	370 100.0		26	23	100	5.	47	47	0.0
100 20 12 12 12 12 12 12	建設業	2 100. (.6	0.		0.	1 50.0	1 50.0		21 21 100.0	92	23.		100.0	0.	40.	9 60.0	0.0
100.00 1	製造業	3		22.	2		12.	4 50.0		0.0	35	25	25.					88.88	0
100.00 1	情報通信業	3 100. (27		100	0.			0.0	37 100.0		24.		100.0	0.		55.6	0.0
100.00 1	運輸業	2 100. (40.				7 77.8	22.2	0.0	22 100.0		45.			0.	50.	50.0	0.
190, 0 10, 1 1, 1	卸売・小売業	100.0		oci	ಣೆ		0.	4 80.0			56 100.0	92			1100.00	0	54.	5 45.5	0
100.0 88.8 16.7 0.0	金	100.0			11.1		0.	75.0	25.0	0.0	18	11 61.1	5 27.8		100.0	0.	40.	3 80.0	0
100.00 88.9 10.00 10.0	- 1 1	100.0	83.	16.	0.		0.	0.0		0.0	6 100.0		16.		100.0	0.	100.	0.0	0.0
100.00 82.4 17.6 0.0	飲食店、宿泊		.88	0.	ī		0.	0.0				44.4			100.0	0.	25.		0
100.06 82.2 15.4 2.6 100.0 0.0	医療、福祉	3.		17.	0.		0.	33.3		0.0	34 100.0	19	44		1E 100.0	.9	40.	53.3	0.0
100.00 1.85 1.8	教育、学習支援			15.	.23		0.				39 100.0	34			100.0	.0	.09		0.0
100.0 63.6 31.8 4.6 100.0 0.0	サービス業	6, 100, (20.02		14	0	7 50.0		0.0	69 100, 0		30.4	1.4	21	14	42.	9	Ö
100.0 100.	その街	2.		31.	4	7 100.0					22 100.0	72	22.		100.0	o.	80.	20.0	0.0
100 10 10 10 10 10 10 1	無回答	100.0		0.	0.	0.	0.				2 100.0	100.			0.0	0.	0.	0.0	0.0
117 118	29人以下	2 2 100. (34.		100.0	0.			0.0	29				6 100.0	0.	50.	50.0	0.0
100 100		1100.0	8	13	4	16 100.0	0.			0.0	117				26 100.0		12 41.4	16	. 0
10 10 10 10 10 10 10 10		8.		=======================================	1.1	100.0	10.		20.00	10.0	89 100.0	73	25.	1.1	23	13.	39.	11 47.8	0.0
32 31 0 10 0 0 10 0 <td></td> <td>2, 100.0</td> <td></td> <td>20.</td> <td>0.</td> <td></td> <td>0.</td> <td>40.0</td> <td></td> <td></td> <td>24 100.0</td> <td>18 75.0</td> <td>25.</td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>16.</td> <td>83.3</td> <td>0.0</td>		2, 100.0		20.	0.		0.	40.0			24 100.0	18 75.0	25.			0.	16.	83.3	0.0
100 100		3.		34	0.		0.	7 63.6	36.4		32 100.0				11	0.	54.	5 45.5	0.0
27 1 4 2 1 4 4 2 2 4 5 6 2 6 2 0 2 100 0 0 2 1 1 0 0 0 0 0 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		100.0		90		100	0	10		0.0	52 100.0			1.9	100.00	ŗ.	99		. 0
129 88 88 88 88 89 88 89 88 89	無回答	2 100. (14.	7.	4 100.0		2 50.0			27 100.0	19 70.4	22.			0.	.99		0.0
100.0 88.9 14.4 31 1.6 1.0 1		12:		58	2.	38	2.	24			129	89			38	2.	29	39.5	0.0
100.0 88.9 0 11.1 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0		23.		14	23	34 100.0	0	18	16 47.1		232 100.0	L		2.		6.	2 41.	32 52.5	0.0
176 144 31 1 31 1 16 13 1 16 13 1 176 132 43 1 43 44 18 18 17 18 18 18 18 18		100.1		0.			0.	0.0	0.0	0.0	9 100.0	.88			0.0	0.	0.	0.0	0.0
193 160 32 1 32 1 16 14 1 193 143 49 1 49 4 23 1100.0 82.9 16.6 0.5 100.0 3.1 50.0 43.8 3.1 100.0 74.1 25.4 0.5 100.0 8.2 46.9 10.0 82.9 10.6 0.5 100.0 0 3.1 50.0 43.8 3.1 100.0 74.1 25.4 0.5 100.0 8.2 46.9 10.0 10.0 114 98 105 10 100 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	正社員と仕事の内容 司じ(※)	_		17	0	31	က်	16	13		176	132	24		43 100.0	6	41	21 48.8	0.0
10.14 6.98 1.15 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	正社員と仕事の量が じ(※)	7		16	0.	32 100.0		16	14 43.8	3.1	193 100.0	143		0.		∞.	46.	22 44.9	0.0
	正社員と仕事の責任 回じ(※)			1.5	1 0	100 001	0 0	6 09	9 40 0	0 0	114	70		0 0	001	σ		10	c

44		形、大学用、	① (① (①) (①) (①) (②) (②) (②) (②)		9	○ 女世、 アウル、 P1・10 H×				(の)抽(い)中	会価利用(の・ごが深く)					しょう (の) サナニ	
被加	本相違なし	し 相違あり	無回然	全体	見直しを 行う	見直しは 行わない	未定	無回終	令	相違なし	相違あり	無回案	会	見直しを 行う	見直しは 行わない	未定	無回答
※	370	355	3 12 0.8 3.2	12 3 . 2 100. 0	0.0	0.0	3 100.0	0.0	370	294	64	3.2	64	3.1.2	35	24	4
**			0	0		0 0	0	0 0	100 0	15	23.00		100.0	0 0			0
## fu			0 0	1 6			0 0		35	25		2.9	100.0		6 66.7		=
	37			1 0	0 0	0 0	0.0		37	78.4	6 16.2	5.4	9 100.0	1 16. 7		0.0	16
	I		0.0			0.0	0.0	0.0	22	19	13.6		100.0				0
卸売・小売業 10			0 0			0 0	0 0	0 0	56	49	8.0						o
金融・保険業			0 0	1 0.		0 0	0 0	0 0	100.0	11 61.1	5 27.8	_	100.0	0 0			ď
株 不動産業 10			0.0	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	83,3	1 16, 7	0.0	100,0	0.0		100.0	0
飲食店、宿泊業	6		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	9 100.0	55.6	33.3	11.11	3 100.0	0.	0 66.7	33.3	0.0
医療、福祉 10	34 100. 0	27 -	2.9	1 9 100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	34	27 79.4	7 20.6	0.0	7 100.0	0.0	28.6	71.4	0.
教育、学習支援業 10	39	38 97. 4	0.0	1 0	0.0	0.0	0.0	0.0	39	34	4 10.3	2.6	4 100.0	0.0		25.0	0.
ナービス株	69	65		3 100.0	0 0	0 0	100.0	0 0	69	57	10	2.6	100:0	0 0		50.0	C
から街 10		21 95, 5		0 0	0.0	0.0	100.0	0.0	22				100.0			50.	16.
無回答 10	2 100.00		0.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	2 100.0	2 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.
29人以下 10	29 100.0		1 2 3.4 6.9	2 9 100.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0	29	24 82.8	13.8	3.4	4 100.0	0.0	50.0	50.0	0.
30~99人	117		1 0.9 5.1	6 1 1 100.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0	117	96 84.6	12 10.3	5.1	12 100.0	0.0	6 50.0	9 20.0	0
100~299人	89	87 97.8	0.0	2 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89	68	19 21.3	2.2	190.00	5.3	9 47.4	8 42.1	
300~499人	24 100.00	24 100.0	0.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	24	20	4 16.7	0.0	4 100.0	0.0	50.0	50.0	0.
200~999人 10			0.0	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	32		7 21.9	0.0	7 100.0	0.0			14.
1000人以上	52 100.0		0.0	1 9 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52 100.0	36	14 26.9	3.8	14	0.0		7.1	7.
無回絡 10	27	25 92.6	3.7 3.7	1 1 7 100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	27 100.0	22 81.5	14.8	3.7	4 100.0	25.0	2 2	25.0	0.
あり	129		1 2 0.8 1.6	2 1 6 100.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0	129	96 74.4	30	2.3	30	3.3	81 18	8 26.7	10.
憲 なし 10	232		0.9	9 2	0 0	0.0	100.0	0.0	232	190	34	3.4	34	2.9	17 17	16	Ö
無回答			0 0				0.0	0.0	9 100.0		0.0	1	0.0				0.
	176	173 98.3	1 0.6	2 1 100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	176	148	28	0.0	28	3.6	14 50.0	11 39.3	7.
_			5	2 0 100.0	0 0		100.0	0.0	193	159				3, 1			9
正社員と仕事の責任が 同じ(※)			1 1	1 100 0	0 0	0 0	100 0	0 0	114	101		0 9	100 0	- 00	50.05		- c

100 100			間15 正名	問12 正社員との労働条件の相違 ⑨教育訓練	条件の相違 i			間15 見画 ⑨教育	問15 見直しの予定 ⑨教育訓練			間15 正社	問15 正社員との労働条件の相違 ⑩安全管理	条件の相違			間15 見 ©安	問15 見直しの寸足 ⑩安全管理	
100 100		全体	相違なし	相違あり	無回%						会 种	相違なし	相違あり		种	見直しを 行う	見直しは 行わない	未定	海 回 奏
100.00 1	和	370		18		67	.9	99	37	0.0	10		1	.,	100.	0.	0 33.3	3 50.0	3 16.
100.00 1	建設業	21				100.0	0.0	90.	50.	0.0	21	21	0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
100.00 78.3 18.9 2.7 100.01 14.3 71.4 14.3 0.0 100.02 0.75 0.0 0.75 0.0	製造業	35		22.	. 2		0	75.	25.		35		0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
100.00 96.5 4.5 0.0	情報通信業	37		18.		7 100.0	14.3	71.	14.	0.0				2.			0.0	0.0	0.0
100.00 1	運輸業	22			0.0	100.0	0.0		100.0	0.0					0.0		0.0	0.0	
100.0 55.6 33.3 11.1 100.0 0.0	卸売・小売業	56 100.0			3.6	7	0.0	42.		0.0	100			ಣೆ	1			0.0	1
100.0 100.	御	100.00		33.		100.0		83.	16.	0.0	18				0.0	0.	0.0	0.0	
100.00 66.5 22.2 11.1 100.0 0.0 100.0 0.0	- 11	100.0					0.	0.	0.	0.0	100.		0.		0.0		0.0	0 0 0	0.0
100.0 94.1 5.9 0.0 100.0 0.0 100.0 0.0 100.0 94.1 2.9 2.9 100.0 10	飲食店、	100.0			11.11	100.0	0.0			0.0		88.9			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
100.0 74.4 23.1 2.6 100.0 0.0 77.7 22.2 0.0 100.0 344.9 2.6 1.0	医療、福祉	34	76	5.		100.	0.	.0	100.		34	6	2.	2.		0.	0.0	0 100.0	.0
100.0 775.4 2.15 2.2 100.0 20.0 3.3 4.7 0.0 0.	学習支援	36		23.		100.	0	77.	22.		39		.2	63			0 100.0	0.0	0.0
100.0 1.0.2 1.0.4 1.0.	サービス継	99 100.0		21	.23	15	20.	33.	46.	0.0			2.	23	100.	0	0 20.0	1 10	.0
100.0 100.0 0.0	その色	22 100.00		27.			0.	50.	50.		22 100.0		4		100.0		0.0	0 100.0	.0
29 25 10.3 3.4 10.0 66.7 33.3 0 0 0.2 3.4 10.0 10.0 0 29 3.4 10.0 10.0 0 20.0 10.0 0 20.0 10.0 0 20.0 10.0 0 20.0 10.0 0 3.4 10.0 0<	無回答	100.0			0.0	0.0	0.0			0.0		100.0			0.0		0.0	0 0 0	0.
100 10 10 11 11 11 10 1 1	29人以下	26 100.0		10.		3 100.0				0.0	29			3.4	100.0		0.0	0 100.0	0 (
89 75 12 2 10 83 41 50 0 100 96 6 1 2 10 0 24 18 6 0 0 100 0 100 0 100 0 100 0 100 0 100 0 100 0 100 0 100 0 100 0 100 0 100 0 100 0 100 0 100 0 <td></td> <td>117</td> <td></td> <td>6</td> <td>4.</td> <td>1100.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>1</td> <td></td> <td>0.</td> <td>5.</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0 100.0</td> <td>.0</td>		117		6	4.	1100.0				0.0	1		0.	5.		0.0	0.0	0 100.0	.0
24 18 6 0 10 10 24 85.8 4.1 0 10 0 10 0 46.8 4.1 0 10.0 0 10.0 0 46.8 4.1 0 10.0 0 0 0 46.8 4.1 0 10.0 0		100.0		13.	.23	12 100.0	86	41.	50.	0.0	100		1.1				0.0	0 0 0	100.
100, 0 62, 5 37, 5 10, 0 10,		24				100.0			33.	0.0	24		4		100.0		0 100.0	0.0	0.5
100.0 65.4 32.7 1.9 10.0 1.3 2.8 2.8 0 100.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0		32		37	0.	12 100.0	0.	58.	41.	0.0	32		0.		0.0	0.	0.0	0.0	0.0
27 20 6 1 0.0 1 2 2 3 2 3 2 3 4 1 <td></td> <td>52 100.0</td> <td></td> <td>32</td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>92</td> <td>23.</td> <td>0.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.</td> <td></td> <td></td> <td>0 100.0</td> <td>0 0 0</td> <td>0.0</td>		52 100.0		32			0.	92	23.	0.0				1.			0 100.0	0 0 0	0.0
129 96 32 32 32 31 48 31 48 32 39 0 129 124 31 31 31 31 31 31 31 3	無回%	27	74	22.			16.	33.	.09	0.0	100	25	ಣೆ	ಣೆ			0.0	0 100.0	.0
232 191 34 7 34 7 34 7 34 3 16 15 0 232 221 3 8 3 3 100.0 82.3 14.7 3 100.0 8.8 47.1 44.1 0.0 100.0 95.3 1.3 3.4 100.0 100.0 77.8 11.1 11.1 100.0 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0 1 0		126 100.0		24	1.	32 100.0		22 68.8		0.0		6		1.			0 66.7	2 1 7 33.3	.0
100.0 77.8 11.1 11.1 100.0 0.0 100.0 0.0 100.0 88.9 0.0 11.1 0.0 0.0 11.1 0.0 0.0 11.1 0.0 0.0 11.1 0.0 0.0 11.1 0.0 0.0 11.1 0.0 0.0 11.1 0.0 0.0 11.1 0.0 0.		232		14	e,	34 100.0	8	47	44		232		Τ.	e;			0.0	0 2 0	2 33.
176 153 123 23 0 23 2 11 10 0 176 174 1		100.0			1 11.1	1 100.0	0.0		100.	0.0					0.0	0 0.0	0.	0 0 0	
133 163 30 0 30 2 15 13 0 190 190 2 1 10 2 10 10 10 10	E社員と仕事の内容が 間じ(※)	176		1.3	0	100 0	α		43	0	100 0		0	0			0	0 100 0	0
114 99 14 1 14 2 6 6 0 114 112 1 1 1 1	E社員と仕事の量が同 (※)	193				30	ی ا		2 2					i c			i c	92	Ľ.
0 000 100 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	正社員と仕事の責任が 同じ(※)	100 0		1 61					49	0 0	-								

			業務内容が同じた			Η.	(複数回合 職務内容 無ご	その他	無回%
		全体	が同じた から	っ <u>責</u> 任の 程度が同 じだから	そ勤務日 数が同じ だから	更 次回 から から	は に に が が が が が が が な な な な な な な な な の は な は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の の の の の の の の の の の の の		
	合計	100.0	60.09	0.0	30.0	10.0	20.0	20.00	
	建設業	0 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	製造業	3 100.0	33.3	0.0	2 66.7	0.0	33.3	33.3	
	情報通信業	1 100. 0	0.0	0 0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	卸売・小売業	0 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
全要	金融・保険業	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
54 397	不動産業	0,0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
FF 54	飲食店、宿泊業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	医療、福祉	1 100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	
	教育、学習支援業	0 0	0.	0.0	0.	0.0	0.	0.	
	サービス業	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無回%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1767年	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	Y66∼08	100.0	50.	0.	50.	0.	0.	0.	
H NE E	7662∼001	100.0	3 60.0	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0	
	300~499人	1 100.0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
- · ·	Y666∼009	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1000人以上	1 100.0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0.	0.0	
	無回緣	1 100.0	0.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0	0.0	
	64	3 100.0	1 33.3	0.0	2 66.7	33.3	2 66.7	0.0	
働組	なし	7 100.0	71.4	0.0	1 14.3	0.0	0.0	28.6	
,	無回答	0	0	0	0	0	0	0	

			間16(1) 育	育児休業を取得した契	3得した 契※	7在員の有票			問16(2) 育児休業(交い瓶	条状况		(I) (I)	小酸体業を	を取得した契	終が仕員の有談	ľ		間16(2)	介護休業後	その就業状	24
		全体	211	いない	わからない	無回緣	金本	復職し在職中	復帰後退	復帰せず	休業中	金体	211	いない	わからない	ま 無回器	金	復職し在職中	海軍	後退 復帰 ⁴ 過聯	* +	休業中
4.	41	370		279				0			8	94	0	8	331	9	25	2	2	1		
		100.0	20.8		.0	3.0	100.	0	11.	2 8.	2 27.	9 100	.0	2	1.5		5.8 100.	0	40.0	20.0	20.0	20.
建設業	绿	21	4 8	20	0 0	0 0	100	0 0	0 0	0 0	20 0	0 0 100 0	21	0 0	21	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0
制法器	ŝ	35				2		6		4	0			1		2	2	0	0	0	0	
※回※	*	100.0	28		0.0	5.7	7 100.0	69	13.	3.	4 13.	8 100	.0	9 85	5.7 5.	7	5.7 100.	0	0.0	0.0	0.0	0.
情報诵信擎	有信擎	28		59			2				1	8	7	0	33	0	4	0				
2	<u> </u>	100.0	16.		.0	5.4	4 100.0	36.	8 15.8	.5		100.	.0	0 89	9.2 0.	0.0	0.8 100.	0	0.0	0.0	0.0	0.
運輸業	颒	100 0	13 3	19 86 4	0 0	0 0	9	2 0 2	50	0 0	0	0 0	22	0 0	19 86 4	0 0		0 0	0 0	0 0	0 0	C
Arm rates	all other older	50.0			ó		.001	0 6	000		ò	o		0 00		2 2	2 2	2 2	0.0		0.0	5
卸売・	・小売業	100.0	2	9	3.	1.8	100	46	20.	5 5.1	28	2 100	.0	4			3.6 100.	1 0	0.0	50.0	0.0	50.
金融・	保険業	100 1	27.8	13	0 0	00	100	100	C	0 0	0 0	0 0	18	1 88	16	0 0	1 100	100	- 0	0 0	0 0	C
不断游	***	9								0	0	0	9	0	9	0	0	0	0	0	0	
小脚位	**	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0 100.0	0 0.0	0.	0 0.0		0.0 100.	.0 0.	. 0 100.0	0.0	0	0.0 100.	0	0.0	0.0	0.0	0.
飲食店、	5、宿泊業	6 001	0 0	9 001	0 0	c	9	0 0	0	0 0	0 0	0 0	6	0 0	60	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0
医療、	福祉	34					3 0	21.0	6			9 9	4 0		20 =	-	1 0.1	000		000		
教育、	学習支援業	39	000		i c	j u	100 0		- α			001		2 - 2 -	22 -	10	4 0	0 0 0	1 0	000	0.00	
サービス	ビス業	69							į	33						0 0	27.0	0 0	0 0	0 0	0 0	
4		100.0			0.0	0.0			1,6		1 29.	1	22	0 4	20	0 0		0 0	0.0		0.0	5
2	9	100.0	18.2	77.3	0.0	4.5	5 100.0	88.	9 0.0	0 5.	6 5.	.6 100.0	.0 0.	0	90.9	0	9.1 100.	0	0.0	0.0	0.0	0.
無回答	t√n	2 100. 0	100.0	0 0.0	0.0	0.0	100.	3 0 33.	3 0.0	0 0	0 66.	.7 100.	.0	. 0 100.	0.0	0	0.0 100.	0	0.0	0.0	0.0	0.
29人以下	3.下	62	1 2 4	24	1 3 4	8 6	3	2001	2	0 0	0	0	29	1	24	1 10	3	1 0	0	0 0	1000	0
766~08	Y6	117				4	22	27.0	5 9			t- 0		7 7 1			000	610			0 0	į į
Y 666∼001	299 A	100.0			0.0	0	1 100.		10	4	2 2	0 0	68	1.0		n	o n	0 0				OC.
		100.0			0.0	1.1	100.0	57.	15.	4.	4 22.	2 100	.0	0			3.4 100.	0	0.0	0.0	0.0	0.
300∼499人	499人	24 100.0	7 29. 2	16 66. 7	0.0	4.2	100	20 10 1.0 50.0	10.	2 10.	2 0 30.	6 0 100	24 . 0 0.	0 100	24). 0 0.	0	0.0 100.	0	0.0	0.0	0.0	0.
Y666∼009	子666	32	13	17	1 3 1	3 1	100	39 25	LE	2 3	3	001	32	2.5	26	3 1	3 100	0	0 0	0 0	0 0	C
1000	000 A EV F	52				5					ă	0		n m		2	9	2 2	1		0.0	5
10001	1	100.0	32.7		1.5	1.9	100	0 49.	10.	10.	1 30.	2 100	.0	8 78	3.8		1.5 100.	0	50.0	50.0	0.0	0
無回%	₹.4m	27 100.0	14.8	23 85.2	0.0	0.0	100	61.	5 23.	3	0	4 100	27	0 0	25	0 0	7.4 100.	0 0	0.0	0.0	0.0	.0
49		129	37	86.7	1.6	3.1	100.0	51 136 0 54.2	25 25	5 23	36	7 10	129	4	108	3.1	13	3	2 66. 7	33.3	0.0	0
なし		232				7						2	232	4	215	27 0	- 1	27 0	0 0	0	- 0	L
加加斯	ş.A.	100.0	10.		0.4	3,0			14.			0.00	0.6			50	4.7 IOU.	0 0	0.0	0.0	0.00	.0c
		100.0	22. 2	77.8	0.0	0.0	0 100.0	0 100.0	0.	0 0.0		0.00 100.0			0 88.9	0.0	1.1 100.	0	0.0	0.0	0.0	0.0

	4	正 (1) 江畠	正社員への転換制度の 有無	換制度の	周17(2) 過	過女3年回に転載した 実績の有無	転数 した	4		間17	(3) ①過去3	年間に正社	間17(3)①過去3年間に正社員に転換した人数	. 人数	
		転換制度 がある	転換制度 無はない	無回答	2 P	ない 身	無回答	₹	10人未満	10人以上30人未満	30人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上300人未識	無回答	合計人数 (人)
中	370	226	136	8 0	202	150	18	202	154	28	0.00	9		9	1, 910
	212 21	13				13	0	0 00			i	i c		000	25
	35	18	200	1.0		17		100.0		2 2	o c	5 2	ó		208
情報通信業	37	20	15	2.2		16	5 2 2	100.00		2 2	5 10	5 10	5 10		295
	22 100.0	13	40.9	0.0		10	0.0	12 100.0			0.		0.	0.0	09
·小売業	56	34	35.7	3.6	31	21 37.5	7.1	31	25		9.7	0.0	3.2	3.2	330
•保険業	18	11 61.1	38.9	0.0	10	38.9	1 5.6	100.00	80.08	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44
	9 100.0	83.3	16.7	0.0	4 66.7	33.3	0.0	4 100.0	4 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
宿泊業	9	33.3	55.6	11.1	4 4	4 4	11.1	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41
福祉	34	28	17.6	0.0	21 61.8	11 32.4	5.9	21	16	3 14.3	0.0	0.0	0.0	9.5	87
学習支援業	39	20		2.6		11 28.2	7.7	25		24.0	4.0	0 0	0.0	4.0	202
ービス業	69	47	31.9	0.0	39	29	1.4	39	27	7 17.9	0.0	7.7	2.6	1 2.6	567
	22	12 54.5		0.0		9 40.9	1 4	12	12 100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	40
	2 100.0	100.0		0.0	1	0.0	0.0	2 100.0	2 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	29	15	7	3.4	37.9	16	6.9	11	10		0.0	0.0	0.0	0.0	35
	117	63	49 41.9	5.4.3	57	54	5.1	57	51 89.5	4 7.0	1.8	0.0	0.0	1.8	224
00~299人	89	68.5	27	1.1	52	36	1.1	52	38	12 23.1	0.0	1.9	1.9	0.0	507
300~499人	24	14 58.3	10	0.0	14 58.3	10	0.0	14		21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	153
→ 1666~00 2	32	18	14 43.8	0.0		28.1	6.3	21	14	3 14.3	0.0	9,5	4.8	1 4.8	362
.000人以上	52	36	15	1.9	29	17	6 11.5	29	17 58.6	3 10.3	13.8	0.0	3.4	13.8	434
	27	19	8 96	0 0		00 U	1 0	18		2		2	0	0	195

全計 2 電股業 100 製造業 100 情報通信業 100	-			日付買い特徴ックストン教画	Called Co. J	ĺ			(*)					無回落
44		年末満	1年以上3 (年末満	3年以上5 年末満		無回%	1	勤務評価	キャリア・資格	勤続年数	年齢	選考試験	その他	I I
** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	202	32	12,	38	21	9	370	271	16			Ì	18	55
新	00.00	15.8	52.0	18.8	10.4	ń				×.	οT	81	4.9	14.9
秦 画信業	100.0	12.5	87.5	0.0	0.0	0.	100	7.1	47	0.	23.8	0.0	0.0	19.
通信業	15	2		9	3		6	26		4	9		0	
	100.0	13.3	26. 7	40.0	20.0	0.	100	74.3		Π.	14.3	20.	0.0	17.
	100.0	2 3	8 42.1	31.6	0 0	10.5	37	31	11 29 7	e - 00	10.8	9 16.2	2 4	00
非验明	12	0	9									5	2.2	5
*	100.0	0.0	50.0	33.3	8.3	8.3	100	77	9.1	6	9.1	22.	9.1	6
御売・小売業	31	3	18	5			ß	41	13				3	1
	0.00	9. 7	58.1	16.1	16.1	0.0	100	73.2		5.4	12.5	17.	5.4	17.
金融・保険業	0 00	20 02	40 4	10 01	30 3	0	100 001	12	99 9	99 9	0 0	27.8	5 1	66
44: 50	4		3	0	0				0	i				1
个罗陌米 10	100.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	100.	66.7	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	16.
飲食店, 宿泊拳	4	1	co	0	0				0		2		1	
	100.0	25.0	75.0	0.0		0.0	100	33.		0.0	22. 2	33.	11.1	33.
医療、福祉	21					_		1	12		- 2			
	0.00	28. 6	57.1	4.8	4.8	4.8	100	73		Ξ.	5.9	Π.	11.8	×.
教育、学習支援業	25		12	9 .	50 00	-	39	25		co 1			co t	ţ
	0.00	4.0	48.0	24.0	20.0	4.0	100.0	64. 1	7.1	,	10.3	70.		17.
サービス継	39	00 1	21	C- 0	- 2	•								0
01	100.0	Z0. p	53.8	17.9	b. I	2.6	100	8	23.	4.	10.1	24.6	2.9	×.
みの街	12	က	9	2 2	- 0		22				- 1		0	i c
	00.00	79.0	20.00	10.7	o, c	0.		99.	.77	- S	4.0	13.	0.0	77.
無回答 10	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
上口 7 06	11	3	5	2	0	1	58	22		1	9	1	5	
	100.0	27.3	45.5	18.2	0.0	9.1	100.0	75.9	27.6	3.4	17.2	3.4	17.2	13.
766~08	57	13	29	00 (,			31		7		4	20 ;
)T	00.0	8.77	50.9	14.0	10.	1	100 1	0.2		11.1	0.9	77	3.4	Τ.
100~299人	25	0T	27	0I 01	0 0	0	68	7 07	81 06	4 4	10.1	15.7	n u	7 =
	14.0	7	0.10	2.5.2	ò	5				ř	1.61	OT.		1
300~499人 10	100.0	7.1	57.1	14.3	14.3	7.1	100.0	99	20.8	4.2	4.2	29. 2	4.2	25.0
500~999 J	21	1	12	4	3	1	32	24	12	9	0	7	0	
	100.0	4.8	57.1	19.0	14.3	4.8	100.0	75.0	37	18.8	0.0	21.9	0.0	15.
1000人以上	59			7	en		52	35			9			
	0.001	10.3	51.7	24.1	10.3	3. 4	100.0	67.3	13	5.	11.5	34.	5.8	15.
東回黎	18	-	6	CO.	2	1	27	21	10	2	6	80	0	

			V 17 G 1 HH	ZII. 0.20 202 CT. 2	7-50-0-1-1-1	AL MA- 1-1707 1																
		全体	探用時に 実施	用時に 契約途中 対象 を	実施して いない	単	—————————————————————————————————————	社内の0ff - JT	off 社内の0	Tio	4	かり舎 14	無回答	全体	祖 に関する 寿 門的故 を 独 数数	パンツ マ・07 番輪			マントン マイン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン	I .	単	松
	幸	370 100.0	185	197	9 16.		4 30	10 0	132	270	86	2.0	0.0	305	267	7 100	4	135 73	000	200	111	0.3
	建設業	21 21 100.0			23.	8 0.	0.00 100.	9		13	97.5	6.3	0.0	16 100.0			6 .5	5 6.	3 0.	0 0 12.	2 12	0.0
	製造業	35 100.0			11.	4 4 2.	1 9 100	0 0	13	28	3 10.0	0.0	0.0	30 100.0	83.	33	10 1 .3 46.	.7 20.0	0.0	0	2 . 7	0.0
	情報通信業	37 100.0			27	0.0	1 7 100	9	11 42.3	23	9 34. 6	0.0	0.0	26 100.0	21 80.8		8 46	2 26.	7 9	7 7.	2 . 7	0.0
	運輸業	22 100.0			13.	9	0 100	6 0	10 52.6	14	36.8	0.0	0.0	190.001	.68	.7	.8 42.	8 .1	3 10.	5 0.	0 0	0.0
	卸売・小売業	56 100.0		32	21		1.8	43	14 32.6	40	12 27.9	0.0	0.0	43	39	37	16	1 25.	6 4.	7 2 2 2.	- e.	9
主要	金融・保険業	18 100.0			.5.	1 6		17	8 47.1 1	17	5 29. 4	0.0	0.0	17 100.0	16 94.1	1 52.	9 35.	35.	3 5.	9 0.	0 0.	0.0
事業	不動産業	9 100.0	4 66.7		16.	7 0.	0.00 100.	0 2	3 60.0	4 80.0	1 20.0	0.0	0.0	100.0	100.	9 60.	3 40.	2 20.0	1 20.	0.	0 0.	9.0
	飲食店、宿泊業	9 100.0			22.	2 2 2 0.	0.00 100.	7 0	4 57.1	5 71.4	28.6	0.0	0.0	7 100.0	71.	4 0.	0 42.	. 9 42.	9 14.	3 0.	0 0.	9.0
	医療、福祉	34 100.0		79. 4	.2	0.0	0.00 100.	e 0	11 33.3	31	30.3	0.0	0.0	33	32 97.0	33	.3	5 30.	3 0 6	1 3	0 0.	9
	教育、学習支援業	39			15.	4 2.	2.6 100	32	13	27	34. 4	3.1	0.0	32 100.0	26	31	10	16	1 6.	3 2	0 0.	0.0
	サービス継	69 100.0			17				29	52 91.2	14 24.6	7.0	0.0	57 100.0	52 91.2	26	3 22	31.	8 0 19.	3.	2 12	0.0
	その他	22 100.0						8 0	9 20.0	14 77.8	5 27.8	0.0	0.0	18 100.0	7.5		8.2	5.	1 6 5.	1 6 11.	1	5.6
	無回答	2 100.0	1 50.0	50.0	0.	0 0.	.00 100.	2 0	2 00.00	2 00.00	1 50.0	0.0	0.0	2 100.0	100.	0.0	.0 50.	.0 0.	0 0.	0 0.	0	0.0
	29人以下	29 100.0	17 58.6	7 24.1	7 7		3.4 100	21 100.0	6 28. 6	20 95. 2	6 28.6	0.0	0.0	12 100.0	18 85.7	7 38.	.1 52.	1 4 28.	6 9.	2 5 9.	.5	0.0
	30~99人	117 100.0	51 43.6	58 49.6	22.	.2	e 0	88	45.5	80 90.9	36	e e	0.0	88 100.0	81 92.0	34	46	41 33	==	.4	8 4	0.0
土羊田	700~599人	0.001 100.0	46	53 53	1 12.	11 1.4 0.	0.0	78	32 41.0	67 85.9	18	1.3	0.0	0.001 0.001	67 85.9	97	21 9 38	30 13	3 7.	6 7	- 6.	0.0
1. 化重	300~499人	24 100.0	10		25.	6 0 0.	0 100	18 100.0	8 44. 4	15 83.3	4 22. 2	0.0	0.0	18 100.0	15 83.3	99	10 .6 50.	9 2	2 1 5.	1 6 5.	1 .6	0.0
医有物	200~999人	32 100.0	18	18 56.3	15.	5 0.	0.0	27	13	26 96.3	8 29.6	0.0	0.0	27 100.0	24 88.9	48	65	14.	8 4	7 3.	. 7	3.7
ś	1000人以上	55 100.0	27 51.9		7.	4 7 0.	0.0	48	27 56.3	43 89. 6	6 12.5	4.2	0.0	48	41 85.4		50	24 1. 0.0 35.	7 12.	6 5 0.	0 0.	0.0
	無回然	72	16		3 2		0 25		9	19	8 6	0	0	25	21	1	3 10	10 3		0	n	0

												上級:	: 件数	下段:構成比											
			图19(1) 遊	過去3年間に の有	問19(1) 過去3年間に雇止めを行った の有無	ったこと		間19(2)-1 新しない人 新しない人	問19(2)-1 1年を超えて継続席新しない人又は3回以上契約更新しない人へは3回以上契約更新しない人への30日前の予告	用紙	- 契約を更 - 契約を更	周19(2)-5	-2 更新しない理由の 説明の有無	理由の				周19(3)		雇止めを行った理由	(複数回				
		全体	20	ない。	かからない	無回答	全体	かもしている。	予告していない	1年を超え た	無回容	説明して言いるい。	説明して一無いない	終	歳少 (の)	5悪化 クラ悪化 ファ	ロマ ツの H 绣	労働者の 労 能力不足 勤 不 不	働者の 院康度 良	発傷の場合の政権を対し、大学を対し、大学を対し、大学をなった。		通	開閉係	その色	無回答
	무무	370	72	282	11 3.0	1.4	72	69	0.0	2.8	1.4	57	0.0	15	18	7.6	13.9	40	34	18	17	13	9	5.6	0 0
	建設業	21		18		0 0	3	3	0		0 0	2 2 2	0	33 3	0 0	0	0 0	0 0	33 3	33 3	1 33 3	33 T	0 0		0 0
	製造業	35	8 6	24		1 2.9	100.0	100.0		i d	0 0			25.0					50.0				25.0		0.0
	情報通信業	37	18.9	29	0.0	2.7	7 100.0	985.7	0.0	14.3	0.0	7 100.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0		3 42.9	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0
	運輸業	22 100.0	18.2	17	1.5	0.0	4 100.0	4 100.0	0.0		0.0	2 50.0	0.0	2 50.0	1 25.0	0.0	0.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0		0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業	56 100.0	16	38	1.8	1.8	16 100.0		0.0	0.0	0.0	11 68.8	0.0	31.3	9 37.5	6.3	18.8	10 62.5	31.3	4 25.0	2 12.5	6.3	0.0	6.3	0.0
	金融・保険業	18	22.2	13	1 5.6	0.0	4 100.0	4 100.0	0.0	0.	0.0	4 100.0	0.0	0.0	1 25.0	0.0	0.0	2 50.0	3 75.0	0.0	1 25.0	0.0	1 25.0	1 25.0	0.0
事業	不動産業	100.0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
内容	飲食店、宿泊業	9 100.0	11.11	88.9	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療、福祉	34	8.8	28	5.9	1 2.9	3 100.0	3 100.0	0.0	0.0	0.0	3 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3 100.0	33.3	2 66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	教育、学習支援業	39	10 25.6	28	0.0	1 2.6	100.0	90.06	0.0	10.0	0.0	80.0	0.0	2 20.0	10.0	10.0	30.0	40.0	40.0	0.0	40.0	40.0	10.0	0.0	0.0
	サービス業	69	11 15.9	56	2.9	0.0	11 100.0	10 90.9	0.0	0.0	9.1	10	0.0	9.1	36.4	18.2	3 27.3	7 63.6	72.7	36.4	3 27.3	9.1	36.4	9.1	0.0
	その他	22 100.0	18.2	17 77.3	4.5	0.0	4 100.0	4 100.0	0.0	0.0	0.0	2 50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	50.0	0.0	1 25.0	0.0
	無回答	2 100.0	50.0	1 50.0	0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29人以下	29	13.8	24	0.0	3.4	4 100.0	75.0	0.0	1 25.0	0.0	2 2	0.0	2 50.0	1 25.0	0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0.0	0.0	0.0	1 25.0	0.0	0.0
	30~99人	117	13	101		3,2.6	13	12	0.0		0.0	12	0.0	7.7	15.4	7.7	15.4	8 61.5	38.51	30.8	7.7	7.7	7.7	15.4	0.0
H NE E	100~299人	89	21.3	65	5.5	0 0	100.0	18	0 0	0 0	- 10	100.0	0 0	0 0	21.1	10.5	- m	10	8 8	21.12	26.3	10.5	- K	10.5	0.0
	300~499人	24	37.5	15	0.0	0.0	9 100.0	9	0.0	0 0	0.0	66. 7	0.0	33.3	33.3	22.2	22.2	9 99	7 77.8	22.2	e e	33.3	80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 8	0.0	0.0
医拖羊	200~866~	32	34.4	20	3.1	0.0	11 100.0	11 100.0	0.0	0.	0.0	81.8	0.0	18.2	3 27.3	1 6	1 6	45.5	3 27.3		45.5	36.4	1 6	0.0	0.0
Ŕ	1000人以上	52 100.0	21.2	37		1.9	11 100.0	11 100.0	0.0	0.0	0.0	54.5	0.0	45.5	3 27.3	9.1	3 27.3	6 54.5	6 54.5	36.4	3 27.3	18.2	9.1	0.0	0.0
	無回答	27 100.0	18.5	20 74. 1	7.4	0.0	5 100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	60.09	0.0	40.0	40.0	0.0	0,0	4 80.0	9 9 9	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
											ĺ														

		間19(4)	雇用めた	年シトシブル	アの を				(c) 61(H)	雇止めに伴	・フトソンル	シボム (後	数回答)		
	全体	あった	なかった	わからない	無 を を を を を を を を を を を を を	全	運理にしえた1日を20分になったない。 のいかいかく ないかい かいかい かいかい うちがら うりょう いい はい いい はい しょう	腫瘍を おい となった となった とななな となる のななな	数 の か か が が が が が が が が が が が が が	複雑を生せる 単名 ない はい はい ない はい ない はい	東準 を を を を を を を の の の の の の の の の の の の の	更労に折がか 新働ののかのの多条よりのかた。 の件ていなかた	雇 中 かなか かなか い、、かる い、は、ある が 遅から が を なっ が なかな し、、 か か か か り た り り り り り り り り り り り り り り	その各	斯 東
中	72	9 12.5	58	4.2	2.8	9 100.0	88.9	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0
建設業	3 100.0		ī	0.0	0.0	0 0		0.0	0.0	0.0	0.	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	100.0	12.	87.	o o		100.0	100	100		. o	, o		, o		
情報通信業	7 100.0	0.	85.	14.3		0 0		0	0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	100.0	0			0.0	0.0	0.0	0	0	0.0		0	0.0	0.0	0.0
卸売・小売業	100.0	1 6.3		0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
主金融・保険業	100.0	0.0	2 50.0	1 25.0	1 25. 0	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不動産業	0.0	0	0.0	0.0		0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0 0	0 0	0.0
飲食店、宿泊業	100.0	0.	100.0			0.0	0.0	0.	0.					0.0	0.0
医療、福祉	3 100.0	0.0	3 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教育、学習支援業	100.0	20.0	60.09	10.0	10.0	2 100.0	2 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス継	11	36.4	7 63.6			100.0	4 100.0	0.0	0.0	1 25.0	0.0	25.0	0 0	0 0	0.0
みの街	100.0		100.	0		0 0		0	0		0	0	0	0.0	0.0
無回%	100.0	100.0		0.0	0.0	100.0	0.0	0.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0
29人以下	4 100.0	0.0	4 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0 0 0	0 0 0	0.0
30~99人	13	2 15.4	11 84.6	0.0	0.0	2 100.0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 50.0	0.0
100~299人	19			0.0	5.3	3 100.0	ī	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
300~499人	9 100.0	11.1	7 77.8	1 11.1	0.0	1 100.0	1 100.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0	100.0	0 0 0	0 0	0.0
Ƴ666∼009	1100.0	9.1	9 81.8	9.1	0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0 0 0	0 0	0.0
1000人以上	11 100.0	9.1	8 72.7	9.1	9. 1	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0.0	0 0.0	0.0	0.0	0 0.0	0 0.0	0.0
無回%	100 0	20.0	80.0	0 0	0 0	1000	1001	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0 0

L																			上校	. T-W	「校:冊以上	
			開20(1) 並	過去3年間に	- 中途解約2 右無	間20(1) 過去3年間に中途解約を行ったこと の有無	3.1			開20	間20(2) 中途解	中途解約を行った理由	理由(複数回答)	[秦]			臣	開20(3) 中途	中途解約を行った場合の対応	:場合の対応	(複数回答)	
		金体	\$2 2	ない	わからない	無回秦	金本	業務量の 減少	経営状況の悪化	プログロクト ジロイト 米線	労働者の 能力不足	労働者の 勤務態度 不良	労働者の 傷病など の健康不 良	周囲との人間関係	その他	無回答	拳に何も しなかっ た	解雇予告 手当の支 払い	残期間の 賃金の全 額補償	機期間の休 ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その他 #	無回終
	誓	370	34	321	10 10	-	5 34	ox	3 2 2	Ξ	4 11	17 17	38.2	23.5	11 39 4	0 0	16	7 20 6	14.7	14.7	cο α	2 2
	建設業	21						5 0	i			0		0 0	0	0	0		0	0 0		5
	製油業	35			i i	0 0	100	o o	o .	o (o e	100.	100.					ò				5
	情報通信業	37	oó ç		2	1 2.	6 - 1	0 0	0.0	ei e				33.3	en en e	0.0	33.3		0.0	0.0	33.0	0
	運輸業	22	0.		7i 4i	, o	0	<i>i</i> o	. o	, Z.D.	0	0.00	j 0	0 0	0.0	0 0	0.00	, o	0 0 0	0.0	0 0	9 0
•	卸売・小売業	56			-	1 1 8	1 8 100.0	0.	0.0	0.	0 40.0	2 2 0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	- 24	40.0	0.0	20.0	20.0
主要	金融・保険業	18	11		.5.	1 0 6 0.0		0.	0 0 0	0.	0.0	0.0	50.0	0.0	1 50.0	0.0	2 100.0		0.0	0.0	0.0	0.0
+ ※	不動産業	100.0			16.	7 0.	0.0	0.	0.0	0.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	飲食店、宿泊業	9 100.0	0.0		0.0	0.	0.0	0	0 0 0	0.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療、福祉	34			.23	1 6	0 300.0	.0	0 0 0	0.	0 33.3	1 2 2	2 66.7	33.3	0.0	0.0	2 66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	教育、学習支援業	39			4 1 2 2.6	1 1	1 3	0	0 0 0	0.	0 33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サービス業	69			-1	1 1.4	1 9	33.	3 11.1	22.	2 66.7	7 77.8	44.4	9 66.7	0.0	0.0	11.1	44.4	33.3	44.4	0.0	0.0
	その街	22 100.0			7 1 3	1 0		0.	0 0 0	0.	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	4 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回%	2 100.0			0.0	0.	0 0 0	o'	0 0 0	0.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29人以下	29			5 0 0	ć	1 4 100	0.	0 0 0	50.	1 50.	1 1 0	50.0	50.0	0.0	0.0	1 50.0	0.	50.0	0.0	0.0	0.0
	30~99人	117			0	2.	100.	0	6	o'	27.	36.	36.	9.1	36.4	0 0	54.5	18.	9.1	0.0	18.2	0 0 -
	100~299人	100.0			4	0.0	100.	0	0.0	0.	37.5	62.	37.	25.0	37.5	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5
	300~499人	24 100.0	20.		0.	0 0.	0 0 100.0	20.	0 0.0	20.	0 40.0	2 0 60.0	60.09	60.09	1 20.0	0.0	60.09	1 20.0	1 20.0	40.0	0.0	0.0
2 ~ 数	200~999人	32 100.0		29 90. 6	0.	0 0.	0 100.0	33.	3 0.0	0.	0.0	0 33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
(1000人以上	52 100.0	in w	46	5.	.0	0 3000	0.	0.0		3 0.0	0 33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	無回答	27 100.0	7.4	22 81.5	7.	e,	1 2 7 100.0	50.0	0 0.0	50.0	1 2 0 100.0	2 2	0.0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	1 50.0	0.0	100.0	0.0	0.0

L	-					Ī					上段	上段:件数 下段	段:構成比	
			開21(1) 並	過去3年間に し出を受け	過去3年間に契約途中での退職の申 し出を受けたことの有無	の退職の申 乗			開21(2)	#	出を受けた際の対応	対応 (複数回答)	(参	
		全体	re R	ない	わからな い	軍回秦	金林	申し出ど おりに豁 めた	退職 協議 した たで、 認め た	認めな が、かん 者が、光 を が、 と を が し が が が が が が が が が が が が が が が が が	認めず、 地間諸丁 はで働い たものり	損害賠償 を請求し た	その色	無回答
	<u>‡</u>	370	231	127	1.6	1.6	231	173	113	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設業	21		12	0.0	0 0	9	55.6		0 0	0.0	0.0	0.0	0 0
	製造業	35	1 %			6	24	17	. 45		6	0	0 0	
	情報通信業	37		40.	0.		21 21 100.0			0.	0.	0.	0.0	0.0
	運輸業	22 100.0	14 63.6	5 22.7	13.6	0.0	14	13	21.4	0 0	0.0	0.0	0 0	0.0
	卸売・小売業	56 100.0			1.8	3.6	32	22 68.8	17 53.1	0 0	0.	0.0	0.0	0.0
全軍	金融・保険業	18	13	27.8	0.0	0.0	13	8 61.5	53.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業	不動産業	9 100.0	33.3	50.0	1 16.7	0.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0
内容	飲食店、宿泊業	9 100.0	55.	44.4	0.0	0.0	5	100.0	40.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療、福祉	34 100.0	22 64. 7	11 32.4	2.9	0.0	22	16 72. 7	12 54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	教育、学習支援業	39				1 2.6	24	20 83.3		0 0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サービス継	69	47	30.4	0.0	1.4	47	36 76.6	25	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0
	みの街	22 100.0			0.0	0.0	16 100.0		31.3	0 0 0	0.	0.0	0.0	0.0
	無回答	2 100.0	2 100.0	0.0	0.0	0.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	29人以下	29 100.0		12 41.4	0.0	3.4	16 100.0	8 50.0	99	0 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	30~99人	117 100. 0		41	0.9	3.6	64 100.0	44 68.8	50	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0.0
1年田	100~299人	89 100. 0	09	34.8	3.4	1.1	54 100.0	42 77.8	27 50.0	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0.0
犯重	300~499人	24 100.0	18 75.0	25.0	0.0	0.0	18 100.0	18	8 44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医抽類	200~999人	32 100.0	24 75.0	7 21.9	3.1	0.0	24 100.0	17 70.8	12 50.0	0 0.0	0 0.0	0.0	0 0.0	0 0.0
Š.	1000人以上	52 100.0	36 69.2	30.8	0.0	0.0	36	30	13 36.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	27 100.0	19 70.4	22.2	3.7	3.7	100.0	14 73.7	12 63.2	0 0 0	0,0	0.0	0 0 0	0.0
1														

L						BBoo to what.	H 77.74	7 7 11 77 7	1 + (0)							K-1/0 tal out BB	十田以べ四十	7 7 11 1	1 (0)	ET44941	上班	: 件数	災:構成
		金	自社従業 員数の抑 制	仕事量の 変化への 問系	一時的欠 員の補充	Kでき働保養な者	生内の活生化	後 関 で が が が が が が が が が が が が が	高年齢者雇 用継続制度 への対応	その色	わからない	無回答	金本	自社従業 員数の抑 制	仕事量の 変化への 問応	 本記	社で労権に受験を	\ <u>₹</u> 3	賃金・福利厚仕費 の減少	A 発売者 継続制度 ら対応	みの街	わからな い	無回%
	合計	815	102	257	158	143	53	115	80	31	81	166	370	0 62	2 149	89 68	87	23	3 74	1 20	24	14	17
	建設業	100.0					0, F	14:1	, I	0 0		10 6	21 21	Ď,	40.		0.07	0.				0.0	i a
	製造業	80	01						113			25 0		4 4		6	8 7	6	=	28 1	i «	0 0	i ic
	情報通信業	76	6					13.2			6 8 1	11 14.5	37	101	8 51.4	91			16.2	01	01	0.0	6
	運輸業	51	13.					10.		2.0	13.7	21.6	22	13.		22.	5 1	_	22.			9.1	i 4
	卸売・小売業	127				20.		17	14	ന ന	17	21	56			12.	7 15				7.1	3,6	7.
主要	E 金融・保険業	30		33.3		11 36.7	3.3	7 23.3	3.3	3.3	3.3	5 16.7	18 100.0	16.	7 50.0	0 5.6	1 8	3 1 5.6	5 27.8	5.6	1 5.6	0.0	0.
事 継	不動産業	14	14.3	4 28.6	4 28.6	7.1	7.1	35.7	14.3	0.0	14.3	7.1	100.0	0 16.7	0.0	0.0	0.0	1 16.7	4 4	1 16.7	0.0	1 16.7	16.
内.容	対食店、宿泊業	31	6 19.4			3.2	0.0	9.7	19.4	0.0	12.9	6 19.4	100.0	9 22.2	23.3	33.	3 11.1	0.0	0.0	55.6	0.0	0.0	0.
	医療、福祉	92		22.		ιć	5.4	16.3	8.7	6.5	11 12.0	25	34		7 35.3		5 2.9	5.9	32.4	14.7	4 11.8	5.9	.c.
	教育、学習支援業	55	2				9.1	14 25.5	3.6	5.0	7.3	8 14.5	39		28.	2 23.1	9 9				5.1	7.7	0.
	サービス業	142	11.3	51	21	28	7.7	17	13	3.	13	30	69 100.0	9 10	32 32	13.0	24.6	7 10	14.5	10.1	7.2	5.8	4
	その色	57 100.0	11 19.3	22 38.6	11 19.3	8 14.0	1.8	8 14.0	5.3	1.8	8.8	13	22 100.0	7 7 0	45.	5 27.3	3 9.1		5 22.7	4.5	4.5	0.0	4
	無回%	100.0	11.1	11.11	11.11	11.11	22.2	0.0	11.11	0.0	0.0	55.6	100.0	2 1	0	0 0 0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0
	29人以下	107	12 11.2	33	15	19 17.8		10	7.9	2.8	10 9.3	32 29.9	29 100.0	13.	4 10 8 34.5	10.	3 31.0	9 4	4 5 3 17.2	20.7	3 10.3	3.4	0.
<	30~99人	315	37	94 29.8	65 20.6	53 16.8	23	37	27	15	39	66 21.0	117 100.0	7 19	36.	13 22 8 18.8	28 23.9	3 14 9 12.0	19 19	15.8	12 10.3	3.4	.9
H VEE E	100~299人	159	11.9	51	33 20.8	26 16. 4	3.8	25	16 10.1	2.5	17	34 21.4	98 0 '00 I	9 13 0 14.6	37 37	7 17 5	7 21	5.6	5 18	14 14	2.2	6.7	.6
E氷車	300~499人	48	12.5	16 33.3	7 14.6	14 29.2	8.3	9 18.8	12.5	2.1	10.4	8.3	24 100.0	4 4	12 12 7 50.0	8.	2 7 3 29.2	2 8.3	25.0	3 12.5	0.0	1.2	0.
医栖地	500~999人	45	6.7	17 37.8	12 26.7	8 17.8	8.9	8 17.8	8.9	4.4	6.7	13.3	32 100.0	0 9.4	15 15	9 34.4	18.8	3 3 9.4	3 7 4	3.1	6.3	3.1	ಣೆ
K	1000人以上	88 100.0	17 17	31.8	19 21.6	16	8.0	19	11 12.5	4.5	5.7	13	52 100.0	1 26.	4 21 9 40.4	10 10	25.0	3 3	3 13	9 17.3	7.7	1.9	1.
	無回答	53	15.1	18 34.0	13.2	13.2	3.8	13.2	9	3.8	3.8	11 20.8	27 100.0	18.	5 11 5 40.7	7 11.1	3 3	7.4	22.2	29.6	3.7	0.0	0.

L						開99 有期パー	- トタ 浜田小	-スメリット	(2400)						m	開99 有期ペー	一トか许田子	ナスメリット	(20 + 4)	/ 超約計昌	上版	- (世)	卜段:構成
		金	自社従業 員数の抑 制	仕事量の 変化への 即応	一時的欠 員の補充		地	き・福 女少	運度	その他 1.	わからな 無い	阿多	金谷	自社従業 員数の抑 制	仕事量の 変化への 即応	一時的欠 員の補充	でき動品	内のi 作	賃金・福 利厚生費 の減少	高年齢者雇 用継続制度 への対応	その他	わからな い	無回答
	合計	815	68	333	269	36	25	159	29	26	89	144	370	48	158	132	14	10	74	29	6	16	69
<u> </u>	建設業	51					, 0	11.0				11.7	21	10.0			o 4	i c			7 0	0 0	10,
	製造業	80	i w			5 10	000	8 0				10 10	35	f	12.	. 8	f c		f =	f c) o	d ox
	情報通信業	76	5 1			i et	4 6			2 2 6	13	25.0	37		13	27.2			13 23	i u	0 0		5 6
	運輸業	51				i ed	67 69	15. 7	c.	i 6	4 8.7	15	22		10 10	27.					0 0	0 0	27.
	卸売・小売業	127	13,				7.1	30	7.1	0.0	8 6	11.8	56		27		1.8	3.6		5.8	0.0	0.0	14.
田里	三金融・保険業	30				13.3	0.0	7 23.3	10.0	0.0	6.7	16.7	180.00	1 5.6			11.1	0.0	3 16.7	1 5.6	0.0	11.1	11.
事 業	不動産業	14	0.0	35.7	6 42.9	7.1	0.0	4 28.6	0.0	0.0	3 21.4	14.3	100.0	0.0	33.3	1 16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	1 16.7	33.
下茶	7 飲食店、宿泊業	31	1	12 38.7		6.5	3.2	16.1	16.1	0.0	9.7	9.7	9	22.2	44.4	4 4	0.0	1 11	0.0	44.4	0.0	0.0	11.
	医療、福祉	92		34			en en	22 23.9	14	10.9	6,5	10.9	34		15		0.0	2.9	29.4		5.9	1 2.9	11.
	教育、学習支援業	55					1.8	18		1.8		9.1	39	2			10.3				2.6	5.1	7.
	サービス業	142	13	59 41.5	47	2.8	2.1	27 19. 0	17	4.2	6.3	28	100.0	8 11.6	28	33.3	1.4	2.9	11 15.9	7 10.1	5.8	2.9	16 23. 2
	みの街	57	8.8	27 47.4	14 24.6	1.8	3, 5	10 17.5	7.0	3, 23	5.3	14 24.6	22	3 13.6	10	27.3	4.5	9.1	9.1	1.5	1.5	0.0	22.
	無回答	100.0	22.2	33.3	44.4	11.11	0.0	22.2	11.11	0.0	0.0	22. 2	100.0	1 50.0	1 50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	.0
	29人以下	107	10	40	32 29.9	1.9	2.8	14	5.6	3.7	10	32 29.9	29 100.0	3.4	34.5	31.0	0.0	3.4	3.4	0.0	0.0	3 10.3	12
<	766∼08	315	28	37.1	105	14.4	3.2	66 21.0	7.9	9 2.9	40	51	117	15	49 41.9	38.5	5.1	1.7	23	11 9.4	3.4	6 5.1	19
n with	100~299人	159	13	72 45.3	54 34.0	5.0	1 0.6	28	13	3.8	5.0	33 20.8	89 100.0	9.0	39	31.8	3.4	1.1	21.3	5.6	2.2	2.2	21 23.6
E氷車	300~499人 #	48	7 14.6	17 35.4	13 27.1	12.5	4.2	9 18.8	5	4.2	10.4	5	24 100.0	3 12.5	10	33.3	3 12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	1 4.2	16.
5 144 美	500~999人	45 100.0	11.1	18	19	2.2	6.7	9 20.0	4.4	0.0	6.7	11.1	32 100.0	5 15.6	31.3	14 43.8	3.1	6.3	7 21.9	6.3	0.0	9.4	9.
×	1000人以上	88	17.	49	31	4.5	5.7	22 25.0	9.1	2.3.23	1.1	9.1	52 100.0	13	29	32.7	1.9	. 20	23.1	11.5	3.8	1.9	.6
	無回答	53 100.0	9	20 37.7	15 28.3	1.9	1.9	11 20.8	15.1	5.7	1.9	10 18.9	27 100.0	3	11 40.7	29.6	0.0	3.7	22.2	18.5	3.7	0.0	18.

L						間22 嘱託社	L員を活用す	7×1×1	(2つまで)							開22 嘱託社	上員を活用す	トるメリット	(20まで)) <契約社員	上段	: 件数	下段:構成
		全体	自社従業 員数の哲 割	仕事量の 変化への 昂尽	一時的欠 員の補充	国内 以 い 労 労 の 発 の 発 の が な が な が の 発 の 発 の の 発 の の を の を の を の を の を の を	社内の活 性化	賃金・福 利厚生費 の減少	高年齢者雇 用継続制度 への対応	みの色	わからな い	無 を を	种	由社 員数の哲 割数の哲	仕事 一型 を を を を を の の の の の の の の の の の の の	一時的欠 員の補充	回対 でなる の発動なな 発色をなる を発	社内の活 性化	賃金・福 利厚生費 の減少	高年齢者雇 用継続制度 への対応	mm だか 多 を を の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に に に に に に に	わからな い	無 回 禁
	合計	815		28	44.	06		74	444	23	19	208	370	0.0		17		2.0	8 31	1 211	2 .		3 102
	発売機	100.0	2.8	8.8	ń		2.5	9.1	54.	7					(1)		xi.	7.	xi	2 14	Ţ	4	
	建 成 来	100.0	e,	15.7	9.8	13.7	3.9	7.8	99	0.0	11.8	13.7	100	4.	8 14.3	3.6	14.	4.	8 9.6	99	0.	0.0	. 19.
	製造業	100.0	0.0	2 12	6.3	r- ∞	5.0	7.5	66.3	5.0	en oc	16.3	100	35		1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	7	30	0 0	3 25	5 2 2	1 6	=
	情報通信業	76	;						7					37 (3 20			
		100.0	1.	2.6	i.	18.	e e	9.2	52.6	2.	13.2	22	100	0.	23	5.4	13.6		. 80	25	2.		27.
	運輸業	100.001	5,9	0.0	5.9	9.8	0.0	13.7	28	ņ.	3.9	25.5	100	22	1 0.0	0 4.5	13.	9	9.1	1 59.1	0.0	4.5	27.
	卸売・小売業	127	3.1	10		12.6		7 2.5	86	0.0	7.5.5	27.27	100	56	6 8 8	0 0	7.7.	2.6	3.6	2 36	0 0	2.6	26.
全 第	金融・保険業	30		13.3		10.		5			3 10.0	6.7	100		16.7	7	0.0	0 0	0 16.7	3 72.	0.0	11.11	ı.c
事業	不動産業	14						7.1		0.0	7.1	21.4		9	0	0 0	O	0	0 16.7	1 2	0 0	0 0	20
内容	N 飲食店、宿泊業	31		0		9		6.23			12.9			6 6						0 33 3	i c		15
	医療、福祉	92		7.	.6	. c							100	0 4 5.	9 11.8	8.8	61	9.2	, o		0		
	教育、学習支援業	55		7.3		9.1	0.0	9		5.0	5.5		100	0 2.	1 1 9	1 3	2.	1 (0 71 0	7 22 9 56.4	7.7	5.1	25.6
	サービス業	142	1.4	13	3.5	13	2.8	13	68 47.9	2.1	4.9	52	100	69	9.8	7 2.9	œ	7 2.9	9.5	4 34 8 49.3	1.4	2.9	28 28
	みの街	57 100.0	5.3	6 10.5	8.8	15		3.5	30	3.5	5.3	15 26.3	100	0.	0 18.2	2 9.1	1 18.2	2 0.0	0 4.6	1 10 5 45.5	0.0	0.0	31.
	無回答	9 100.0	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0	44.4	100.	2 0	0.0	0 0 0	0	0.0	0.0	0 10000	0.0	0.0	50.
	29人以下	107	0.0	7 6.5	8 7.5	7 6.5		12 11.2	39	1 0.9	12 11.2	41 38.3	100	29 0.0	3 10.3	3 3.4	3.4	1 (0 6.9	2 12 9 41.4	0 0.0	3.4	1 44.
<	766∼08	315 100.0	2.5	25		38	7.2	30	169	13	31	75	1100.	7 3.4	11 9.4	1 4.3	3 9.4	1 2.6	3 10	0 64 5 54.7	4.3	6.0	22.4
出海田	100~299人	159	3.1	5.7	4.4	15		15	97	3.1	8 5.0	38	89 89	9	5 4.5	5 3.4	9.6	0 1.	1 8 9.0	8 51 0 57.3	1.1	5.6	25 25
E氷車	300~499人	48	2.1	6.3	2.2	5	6.3	6.3	31	0.0	8.3	7 14.6	2 100.	24 0.0	0 3	3 1 5 4.2	8.	3 0.0	0 8.3	2 15 3 62.5	0 0 0	8.3	3 16.
医柳苇	500~999人	45 100.0	0.0	2.4	2.4	2.4	4.4	8.9	35	0.0	2.4	13.3	100	32 0.0	0 6.3	2 2 3 6.3	3.	1 6.3	3 9.4	3 27 4 84.4	7 0 0	0.0	.6
Ŕ	1000人以上	88	5.7	3,4	6.8	14	1, 1	9.1	56	3.4	2.3	20	100	52 3	3 1.5	1 3	9.	5 1.5	1 9 11. E	5 61.5	1 1.9	3.8	28.8
	無回答	53 100.0	7.5	9 17.0	5.7	9 17.0	1.9	3.8	17 32.1	1.9	3.8	21 39.6	100	0.	0 4	7.	2 4 14.8	ಣೆ	7 0.0	0 10	0.0	3.7	37.0

							3.	-るメリット	10						H		勤者を活用す	- 4メリット	(2つまで)	24	漸	_	
		金	自社従業 員数の拘 制	仕事量の 変化への 即応	一時的欠 員の補充	自社で養 い労働者 の確保		賃金・福利厚生費 り減少	高年齢者雇 用継続制度 への対応	その他	わからない	無回答	金本	自社従業 員数の抑 制	仕事量の 変化への 即応	一時的欠 員の補充	自社で表 でがずかない労働者	社内の活 性化	賃金・福 利厚生費 の減少	高年齢者雇 用継続制度 への対応	その他	わからな い	無回答
	#4	815		263	334	132	7	45	12	11	62	228	370	30	137			2	18	5	4	17	102
		100.0	8.8	32. 3	41.0	16.2	0.9	5.5	1.5	1.3	7.6	28.0	100.	8.1	37.0	46.5	15.7	1.4	4.9	1.4	1.1	4.6	27.
.~4	建設業	1001	3 6	15	24	13.7	0 0	61 0	0.0	0 0	т С 0	23.5	100 0	1 8 4	28.6	13	E 62	0 0	0 0	9 5	0 0	0 0	23
, *	制化光	80		41		10	0			-	0	13	35	2	21		2		0 00				
	※回※	100.0	10.	51.3	55	12.5	0.0	6.3	1.3	1.3	3.8	16.3	100.0	14.3	60.0	68.6	5.7	0.0	8.6	2.9	0.0	2.9	2.
	情報通信業	92		25		10	1	9	1	1	7		37			16			2	1	0	3	
	1	100.0	7.	32.9	42	13.2	1.3	7.9	1.3	1.3	9.2	27.6	100.	2.7	27.0	43.2	18.9	2.7	5.4	2.7	0.0	8.1	35.
	運輸業	100.0	.c oc	15 29.4	29.4	27 82	0 0	N 07	2.0	87 65	n on	37.3	100.0	4.51	36.4	977.3	23	0 0	0 0	0 0	0 0	2 - 5	10
1,00	旬売・小売業	127		44			-				12	25	999								0	2	
_		100.0	10.2	34.6	51.2	14.2	0.8	1.6	0.8	0.0	9.4	19. 7	100.	8.9	37.5	55.4	16.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	25.
主要	金融・保険業	30	6.7	15	15 50.0	33.3	0.0	7 23.3	0.0	0.0	3.3	e. 	18	3 1	10	9 50.0	5 27.8	0.0	4 22.2	0.0	0.0	1 5.6	0.
- 1 (不動産業	100 0	7 1	50 0	9	91.4	0 0	0 0	7	0 0	0 0	7 1	100	0 0	33 2	83 57	16.7	0	0 0	0	0 0	0 0	16
_	条金压 信泊機	31		2		4	0	0			2	15		2		1				0		1	
		100.0	12.9	6, 5	19.4	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0	16.1	48.4	100.	22.2	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	55.
	医療、福祉	92	9 12	22	36	6 6	0 0	4 6	0 0	es es	6 8	32 8	34	2 9	10	15	1 2	0 0	1 2	1 6	0 0	4 8	38.2
ns)	教告 学图专摇拳	55		16			-					12	39	i	14	18			9	0	-		
	. I	100.0	16.4	29.1	38.2		1.8	14.5	0.0	1.8	5.5	21.8	100.	17.9	35.9	46.2	25.6	2.6	15.4	0.0	2.6	2.6	12. 8
	サービス業	142 100.0	6.3	42 29.6	41 28.9	23	2.1	4.2	1.4	2.1	6.3	58 40.8	100.0	7.2	31.9	24.8	11 15.9	2.9	1.4	0.0	4. e e	1.4	29
, ,	みら街	57	,	18		13		0				14	22							0	0		1
_		100.0	12.	31.6	40.	22.8		e S	1.8	0.0	ο. ο.	24. 6	100.	4.5	54.5	40.9	18.2	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	22.
	無回答	9 100.0	0.0	11.1	33.3	33, 3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	100.0	2 0 0 0.0	1 50.0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.
,7	29人以下	107	2 9 L	25	33	17	1 0 9	. o	1 9	1 9	9 8 4	45	100 0	9 6 9	9 20 7	7	13.8	0	0	3.4	0	2	55
	30~99 Y	315		96			2		2	9	34	06	117		40		14	1	4	2	3	6	37
_		100.0		30.5		12	0.6	7.0	1.6	1.9	10.8	28.6	100.	6.8	34.2	41.9	12.0	0.9	3.4	1.7	2.6	7.7	31.
無	100~299人	100 0	12	38.4	75	27	- 2	9 00	m o	- 0	7 7	96.4	89	7 7	36	44	13	0 2	n n	0 0		4 12	21
		48		17	202		9				i LC	1 9	24	-	101	19.4		i			-		Ġ.
	300~499人	100.0	6.3	35.4	41.7	29.2	0.0	6.3	2.1	0.0	10.4	12.5	100.	0.0	41.7	50.0	33, 3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	16.
	7666~009	45		16			2	eo 1			2	9	32			22			2	0	0	0	
教		100.0	.9	35, 6	57	13	4.4	6.7	0.0	0.0	4.4	13.	100.0	9.4	37.5	68.8	18	6,3	6.3	0.0	0.0	0.0	ri i
	1000人以上	100.0	13.6	31	49 55. 7	21.6	0.0	5,7	1.1	1.1	1.1	20	100.0	17.3	22 42.3	51.9	17.3	0.0	r. r. oo	0.0	0.0	0.0	26.
. 4	用回終	53		17			0	co	0		4	19	27		11					0	0	2	
Ì	пПп	100.0	7.	32.1			0.0	5.7	0.0	1.9	7.5	35.8	100.0	3.7	40.7	40.7	14.8	0.0	3.7	0.0	0.0	7.4	33.

					間23 類	製約 朴昌 本 沃	用するデメ	U ~ 1 (20	まで)							開23 報	別外目を圧	ヨホスデメ	U ~ 1 (20	本へ(シェ	約朴昌漢人	上数 上数	: 件数	卜靫:爾灰片
	金林	人事管理 労繁雑さ 質	労働者の 質のバラ 本 ツキ DB	継続的人 作 材確保の 12 困難 9	情報漏え いリスク 等の増加	X 7 8 6	展場の足を	労使間のト ラブルの増 加	技術伝 承・ノウ ハウ蓄積 の困難さ	その他 1	わからな い	無回答	金林	人事管理の繁雑さ	労働者の 質のバラ ツキ		情報漏え いリスク 等の増加	当ストの	労働者の 責任感の 不足	使問のト ブルの増	技術の 来・/ウ ハウ 蓄積 の 困難 お		わからな い	無 回 禁
告	815	5 160	150	156	46	48	115	3.2	125	11 1.3	102	186	370	90	85	94 25.4	15	19	58	3.2	64	2.4	45	37
建設業	100 001		14	9 17 6	3 2	. o	9 11 8		19.6	0.0	4 2	10 6		01	98.6	2 12	0	0 2	5 14 3	0	33.3	1 4 8	2 2	0
製造業	80		13	01 01	4.0		= 0		16		11 0	212	35						17 20	1 0	8	f c		
情報通信業	76	3 8	8 12	11 11 2	11 2		13.9	i w	11 11 20.0	4 6	00 00	0.00	37			7 7	2 0.0				.52	i o		
運輸業	51	15.	23.5	11 21.6	2 6		9 11.8		19.6				22	22.7	31.8		2 6			0.0	22.			_
卸売・小売業	127		27 21.3	22			24		22	0.0	21	23	56	13			3,6	3,6	11 19.6	7.1	17.9	0.0	6 10.7	
主金融・保険業	30		33.3	13.3	3.3	3.3	13.3		20.0	6.7	0.0	5 16.7	18	8 44.4	33.3	2 11.1	0.0	1 5.6	3 16.7	0.0		2 11.1		0.0
事 不動産業	14		8 57.1	3 21.4	0.0	7.1	3 21.4	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	100.0	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	1 16.7	0.0		0.0	16.7	0.
内 容 飲食店、宿泊業	31	12.9	9.7	9 29.0	6.5	3.2	16.1	0.0	6.5	0.0	7 22.6	9 19.4	9 100.0	22.2	0.0	55.6	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	.0
医療、福祉	92		16.3	18 19.6	1.1	2.2	15	2.2	6 6	1.1	14	33, 7	34	14.7	9 26.5	11 32.4	0.0	2.9	9 17.6	0.0	11.8	1 2.9	9 17.6	14.
教育、学習支援業	55	5 18	9.1	16 29.1	3.6	5.5	9.1	1.8	18.2	0.0	7 12.7	12 21.8	39	14	12.8	12 30.8	5.1	5.1	10.3	1 2.6	8 20.5	0.0	15.4	10.
サービス雑	142	2 27	21	33	4.2	6.3	18	7.4.9	18	0.0	11.3	38	100.0	12	12	33.3	2.9	5.8	11 15.9	5.8	7 10.1	0.0	13.0	14.
その他	57	7 11 0	11 19.3	14.0	8.8	8.8	7 12.3	3.5	15.8	0.0	10.5	14 24. 6	22 100.0	18.2	6 27.3	6 27.3	9.1	0.0	3 13.6	0.0	18.2	0.0	9.1	6
無回%	100.0	1 11 0	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	1:11	0.0	0.0	44. 4	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	1 50.0	0.0	1 50.0	0.0	0.0	0
29人以下	107	7 16 0 15.0	17.8	22 20.6	3.7	11 10.3	12 11.2	1.9	6.5	1.9	14	33	29 100.0	13.8	17.2	9 31.0	3.4	13.8	4 13.8	3.4	3 10.3	2 6.9	17.2	3.
30~99人	315 100.0	5 56	55 17.5	45	20	21 6.7	57	3.8	51	1.0	46 14. 6	69 21.9	117	27 23.1	25	21 21 17.9	4.3	5.1	22 18.8	3.4	19	3 2.6	19	1 10.
第 100~299人	159	9 33	20	31	10	5.7	11.9	4.4	21	0.6	20	40	100.0	21 23.6	16	23	3.4	4.5	12 13.5	3.4	12 13.5	1.1	11 12.4	14
300~499人	48	9 18.8	8 16.7	8 16.7	8.3	6.3	10.4	2.1	13	2.1	7 14.6	7 14.6	24 100.0	25.0	5 20.8	4 16.7	4.2	8.3	3 12.5	0.0	25.0	0.0	4 16.7	12.
· 200~999人 * 200~999人	45	5 11 0	13.3	13	8.9	2.2	8.9	2.2	11 24.4	4.4	8.9	7 15.6	32	9 28.1	5	12 37.5	12.5	3.1	6.3	3,1	9 28.1	6.3	6.3	eri
1000人以上	88 100.0	s 22 0 25.0	24 27.3	27 30. 7	2.3	2.3	11 12.5	1.1	14 15.9	1.1	9.1	16	52 100.0	32.7	16 30.8	17	1.9	1.9	9	1.9	100	1 1.9	5.	.6
業回衆	53 100.0	3 13	18 34.0	18.9	3.8	1.9	13.2	3.8	15.1	1.9	5.7	14 26. 4	27 100.0	22.2	13	8 29.6	0.0	3.7	22. 2	7.4	18.5	0.0	3.7	3,

L						用93 左前	相パートかが	年田十スゲィ	1 l.	(F			ŀ				開93 右棚	パートや中田	ナスディ	11 w 1 (90)	は~(かず	公外目消入	上数 上数	: 件数	下段:構成比
		44	人事管理 の繁雑さ 質の ツキ	労働者の 領のバラ 材 ツキ 困	継続的人 作 材確保の 1v 困難	情報漏え :: (特別 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(ストの 大	5億者の で任感の で足感の	東間のト イルの増	(新存 (・) インウ (・) 本権積 (国権 c)	その他 1	わからな い	無回答	4	人事管理 9 の繁雑さ 9	労働者の ※ 質のバラ ^本 ツキ	おの子の	情報漏え コード (1) スク 増か (4) 増か (4) 増か (4) 増加 (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	7 X X	労働者の 責任感の 不足	が が ガルの増 1	技承への第一条・ウス	から色	わからな い	※回
	中华	815	155	221	175	62	17	152	15	96	11	16	166	370	92	105		21	2		6	27	2	36	
		100.0	19.0	27.1	21.5	7.6	2.1	18.7	1.8	11.8	1.3	11.2	20. 4	100.0	20.5	28.4	23.2	5.7	1.4	16.2	2.4	7.3	1.4	9. 7	23.
	建設業	51	13.7	21.6	11.8	15.7	6 6 7 8	9 11.8	2,0	11.8	2,0	11.8	15	21	19.0	19.0	1 8 4	. 5 6 8 8 8	1 8	19.0	0.0	0.0	1 4.8	9, 23, 12, 12	8
	製冶業	80	14	19	15	9	1	17	0	12	0	13		35	∞		8	2		9	0	2			
	X D X	100.0	17.5	23.8	18.8	7.5	1.3	21.3	0.0	15.0	0.0	16.3	15.0	100.0	22.9	22.9	22.9	5.7	0.0	17.1	0.0	5.7	0.0	14.3	3 17.
	情報通信業	76	18.4	10.5	11	13.2	0.0	15.8	0 0	7.9	2.6	17.1	30.3	37	21.6	16.2	16.2	5.4	0 0		0.0	2.7	2.7	10.8	8 37.8
	運輸業	51	4 0	10 6	11	4 0	2 2	8 1	- 0	9 21	1 0	0 2	15	22	1 1	7 2	9 2 2 3	60 9	- 4	60 00	0	2 0	0	0	0
	卸売・小売業	127	21	45				28	0 00 0	11.0			17	200.00								3.2		5 0	
鱼王	金融・保険業	30	30.0	12 40.0	10.0	6	0 0	10.0	4	90.02		10.01	20.0	100.0	27.8	38.7	5. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.		0 0		0.0				
事業	不動産業	14	28.6	8 57.1	28.6	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	0 0	7.1	14.3	9		50.0	0 0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0			
内容	飲食店、宿泊業	31	16.1	7 22.6		6.57	0 0	29.0	0 0	12.9	0 0	6.57	9.7	9		0 0	77.8	0 0	0.0	1 ::	0.0		0.0	1 ::	
	医療、福祉	92	22 23.9	34.8	17	e e	en en	21 22.8	1.1	12 13.0	4.5	7.6	13	34	7 20.6	16	6 17.6	2.9	2.9	7 20.6	0.0	5.9	2.9	11.8	
	教育、学習支援業	55 100.0	30.9	16 29.1	22 40.0	7.3	0.0	14.5	1.8	7 12.7	0.0	9 10.9	7 12. 7	39	13	11 28.2	13	7.7	0.0	10.3	1 2.6	15.4	0.0	12.8	5 12.
	サービス業	142	24 16.9	36	27	6.3	2.8	25	4 8.2	17	0.0	14	37	69	12 17.4	18	14 20.3	6. 6. 6. 6.	1.4	11 15.9	4. e. e.	5.8	0.0	7.2	5 21
	その街	57 100.0	11 19.3	15	10 17.5			13	1.8	7.0	3,5	7 12.3	14 24. 6	22 100.0	18.2	31.8	6 27.3	0.0	0.0	13.6	0.0	9.1	4.5	9.	
	無回%	9 100.0	33.3	22.22	33.3	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	22. 2	2 100.0	50.0	50.0	0.0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	1 50.0	0.0	0.0	0.
	29人以下	107	12 11.2	32 29.9	16 15.0	7 6.5	3.7	17.8	0.0	9 8.4	1 0.9	11 10.3	36	29 100.0	6.9	5	6.9	0.0	3.4	6.9	0.0	6.9	0.0	13.8	4 1: 8 51.7
<	30~99人	315	46 14. 6	83 26.3	53	30	2.5	67	1.3	41	1.0	44	60	117	16.2	33.3	24	9.7.7	1.7	21	0.9	8	1.7	16	23
生常田	100~299人	159	37	32 20.1	44	10	1.93	26	1.3 2	17	1.3	15	32 20.1	89	22 24.7	21.3	25	e 4.	1.1	12 13.5	1.1	9.0	0.0	6.7	6 23 7 25.8
王 氷 連	300~499人	48	9 18.8	17 35.4	11 22.9	6.33	2.1	4 8.3	2.1	10.4	2.1	8 16.7	7 14. 6	24	29.2	11 45.8	3 12.5	0.0	0.0	3 12.5	4.2	0.0	0.0	86	2 6 3 25.0
医拖养	- 200~999人	45 100.0	10 22. 2	11 24.4	10	6.7	0.0	9 20.0	8.9	11.1	2.2	7	11.1	32	21.9	25.0	7 21.9	9.4	0.0	5 15.6	9.4	6.3	3.1	18.8	8 9.
ś	1000人以上	88	29	29	34.1	7.8.0	1.1.	18	1.1	11 12.5	1.1	e 4.	12	52 100.0	15 28.8	13	17	9 11.5	1.9	13	1.9	11.5	1.9	1.9	17.
	無回答	53 100.0	12 22. 6	17 32.1	11 20.8	3.8	0.0	9 17.0	5.7	8	3.8.2	5.7	14	27 100.0	14.8	10 37.0	8 29.6	0.0	0.0	14.8	7.4	3.7	3.7	3.7	7 25.9

Ĺ	-												ľ	Ĭ				ŀ		ı,			上校	: 件数 下	下段:構成比
		[- 1	图	員を指	ĭ	7.	(P)		ı		1	ı		· ·	員を活	ナるデメリ	/ト (2つ	で) <製料	員導入事	業所>		
		全体	人事管理 労働の繁雑さ 質の	お を 本の	継続的人 材確保の 困難	情報漏え いリスク ヸ 等の増加	本人大人の人人	労働者の 労働者の 労住 大足 カフ カフ カア	労使間のト サブルの編 科 ク ク ク ク の の の の の の の の の の の の の	後後後の マランダル かんりょう とり を を を を を を を を を を を を を を を を を を	か 音 キュ	わからな い	無	金体	人事衛祖 の繁雑な び	光 動 が か か か か た の が か が も だ の が り が り が り が り が り が り が り が り で り で り	継続的人 材確保の 12 困難	情報漏え いリスク 等の増加	K K E	労働者の 演性感の ルルアル アルボール はんしょう はんしゅう はんしゅう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう かんしょう かんしょう おいまい おいまい かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう おいまん かんしょう はんしょう かんしょう はんしょう かんしょう はんしょう はんしょく はんしゃ はんしょく はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ	労使間のト サブルの塩	を かん かん 単端 離離 は ない ままま は まま は まま かん	かる	わからない	斯 回 称
	丰包	815	112	68	98	16	49	94	8 0	76	25	148	272	370	55	39	41	5 1	21	34	1 0	26	13	55	144
	建設業	100 01	13 7.7	9 11 8	11	0 0		000	. r	9 - 1	3 6	8 2 2	12		14 3	2 - 8	986	0 0	. c		000	. 4 <u>1</u>	5 4 5 11 00	2 2	
	製造業	80	19 5			- m						116	2 23	35							0 0	4 4			2 6
	情報通信業	76	11 2		9 6	- u						18		37	13 23	0 1 6	0 1					1 1 0		7 7	
	運輸業	51	2 2 2	2 2 2			4 ×		0 0			13	25.2	22		,	5 20						00 7		40.
	卸売・小売業	100 0						21 21				24 24	37	100 0			4 - 7			- LC 6		, ro			3 25
主要	金融·保険業	30	10	11 36.7	10.0	0 0		10.01	0 0	16.7			10.0	100.0	38.9	33.3	0 0			5. 1.	0.0	16.7	11.11		
事業	不動産業	100.0	21.4	28.6	3 21.4	0.0	7.1	0 0	7.1	0 0	0.0	21.4	28.6	100.0	16.7		16.7	0 0	0.0		0.0	0 0	0 0	16.7	50.0
内容	飲食店、宿泊業	31		4 4 12.9	3	0.0	6.5	3	0.0	6.5	0.0	12.9	16	9 100.0	0.0	0.0		0 0	1.11	0.0	0.0	11:11	0.0	2 22.2	
	医療、福祉	92	13.0	11 12.0	8.7	1.1	6,5	13.0	1.1	8.7	6.5	17	34.8	34	e &	14.7	2.6	0.0	4 11.8		0.0	e &	5.9	6 17.6	
	教育、学習支援業	55	13 23.6	4 2.7	7.3	3.6	9.1	9.1	1.8	9.1	0.0	7 12.7	21	39	10	7.7	1 2.6	5.1	7.7	10.3	1 2.6	5.1	0.0	6	
	サービス業	142	18	14 9.9	17	1.4	4.9	13	0.7	6.3	2.1	23	61 43.0	100.0	9	5.8	14.5	1.4	6.3	4 8.5	0.0	6.3	2.9	7 10.1	36
	その他	57 100.0	10.5	3.5	11 19.3	1.8	8.8	10 17.5	0.0	9 10.5	1.8	11 19.3	15	22 100.0	9.1	4,5	18.2	0.0	0.0	18.2	0.0	4, 5	0.0	5 22.7	6 27.3
	無回%	9 100.0	0.0	22. 2	11.11	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.11	66. 7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	29人以下	107	10 9.3	12 11. 2	13	2.8	9	12 11. 2	0.0	8 7.5	2.8	18	44	29 100.0	3.4	3 10.3	13.8	0.0	3.4	3 10.3	0.0	4 13.8	6.9	6.9	148.3
<	30~99人	315	39	31	36	9 2.9	17	46 14. 6	2.2	26	9 2.9	68	95 30. 2	117	14	6.0	10.3	2.6	4.3	13	0.9	5.1	3.4	24 20.5	47
H	100~299人	159	20	14 8.8	11.3	0.6	13	22 13.8	0.0	13	1.9	27	57	100.0	11 12.4	10 11.2	9 10.1	0.0	9.0	9 10.1	0.0	4.5	1.1	13	37
E氷車	300~499人	48	3 6.3	5	10 20.8	4.2	4.2	5 10.4	0.0	8.3	4.2	11 22.9	12 25. 0	24 100.0	3 12.5	5 20.8	4 16.7	4.2	4.2	3 12.5	0.0	0.0	4.2	4 16. 7	29.2
医抽卷	- 200~999人	45	11 24. 4	6.7	4.4	0.0	4.4	0.0	0.0	8.9	8.9	24.4	12 26. 7	32	28.1	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	9.4	9.4	7 21.9	7 21.9
Ŕ	1000人以上	88 100.0	20 22. 7	10 11.4	11 12.5	1.1	4.5	4.5	1.1	14.8	3.4	11 12.5	33.0	52 100.0	13	7.7	9.6	1.9	5.8	5.8	0.0	7 13.5	3.8	9.6	38.5
	無回答	53 100.0	9	14 26. 4	15.1	0.0	3.8	9.4	0.0	15.1	1.9	3.8	23	27 100.0	4 14.8	8 29.6	18.5	0.0	3.7	11.1	0.0	7.4	0.0	0.0	12

L						一世36 26届	治価者が汗	田十スディ	11 1. (9.2.)	17			ľ				最次 66国	お筆歩が注日	田十スディ	11 11 100	はん、一本の	20.24日海7	/ 治縣		
		全 本	人事管理 労働者の の繁雑さ 質のバラ ツキ		継続的人 情 材確保の い 困難 等	情報漏え ニ いリスク 増 等の増加	ストの 大	5億者の で任感の で足感の	東間のト イルの増	(新存 (・) インウ (・) 本権積 (国権 c)	その色 1,	わからな い	無回答	谷谷	人事管理 の繁雑さ §	労働者の 質のバラ ^オ ツキ	おり	製脂ル リスク 0増加	X X X	労働者の 責任感の 不足	が が ガルの増 1	技承への第一条・ウス	その色	わからな い	無 回 終 回
	中	815	2.2	225	102	85	112	112	10	114	8	62	246	370	34	111	49	36	48	45	9	22	4	18	112
		100.0	9.4	27.6	12.5	10.4	13.7	13.7	1.2	14.0	1.0	7.6	30.2	100.0	9.2	30.0	13.2	9.7	13.0	12.2	1.6	14.9	1.1	4.6	
	建設業	51	4 7.8	33, 3	ი ი.	9 17.6		. o	2.0	13.7	2.0	7.8	15 29.4	21	1 8.	33, 3	9.00	23.8	9.2	9. 2	0.0	14.3	0.0	1 4.8	28.
	勒法業	80	10	35	10	15		17	1	14	0	1		35	4			9	5		0				
	¥ 1144	100.0	12.5	43.8	12.5	18.8	10.0	21.3	1.3	17.5	0.0	1.3	17. 5	100.0	11.4	48.6	20.0	17.1	14.3	25.7	0.0	20.0	0.0	0.0	.5.
	情報通信業	100.0	9.5	26.3	10.5	18.4	13.2	10.5	2 2	13.2	- c	g %	27.6	37	10.8	7 - 6.81	10.8	13. 51	es	e ∞	5.4	10.8	2.7	e ∞	40.1
	運輸業	51	n 0	6 -1		000	9	4 0	0 0	10	- 0	9 -	20	22	0 0	0 4	0.00	2 -	2 -	-	0 0	2 2	0	6.00	
	御売・小売業	127		41				19	000	19.0				56				3.1			0.0				
#		100.0	6.3	32.3	10.2	7.9	22.8	15.0	0.0	15.0	1.6	11.8	20.5	100.0	5.4	39.3	12.5	3.6	17.9	12.5	0.0	17.9	0.0	5.4	25.0
用服	金融·保険業	100.0	26.7	14 46. 7	16.7	3.3	7 .91	10.0	0.0	7.91	3.3	0.0	6.7	100.0	27.8	50.0	16.7	0.0	11.1	11.1	0.0	16.7	5.6	0.0	5.
事 継	不動産業	14	2 14.3	8 57.1	3 21.4	0.0	3 21.4	2 14.3	7.1	14.3	0.0	0.0	14.3	100.0	1 16.7	50.0	16.7	0.0	1 16.7	0 0	0.0	1 16.7	0 0	0.0	33.
内容	飲食店、宿泊業	31	3.0	2 12	16.1	5 2 5	1 6	16.1	0 0	6 6	0 0	3 2	18	9	0 0	0 0		0 0	0 0	0 0	0 0	11 11	0 0	=	
	医療、福祉	92		19	13		16	15 9	-	0 0 0	000		33	34	0 0		2 7 7	o eo oc	9 21		1 0	4 0	0 0	(C) 00	
	教育、学習支援業	100 0	18 2	8 E	8 12	8 12	2 t	2 4 1 00 FC	- 00	10 81	0 0		14	39	8 12		2 2 3				2 1 6		0 0		
	サービス業	100 0	12 8 5	37		112		9 d	6 - 6	12 0	0 7	8 9	59	69		20 00	8 9		7 10 1	9 2	2 6	9 13 0	1 4	2 2	
	その色	100 0) LC 00	13	8 6	4 0	8 0	13	0 0	2 2 2	- a		16	22	ο σ	97.3	2 2 2		2 -	4 0			1 1 2		
	無回答	0.001		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 -	0 0	0 0	0 0	0 0		0 0		66.7	100.0	20.0		0 0		0 0			0 0		0 0	
	29人以下	100.0	3.7	24	11.2	7.5	16.8	13	0.9	7.5	0.0	6.57 ~7	44.9	29	3.4	6 20.7	2 6	0.0	10.3	6.9	0.0	3	0.0	6.9	
•	30~99人	315	26	30.2	31	32	42	51	9 6	36	1.6	30	92	117	9 7.7	30.8	13	11 9.4	14	16	3.6	13	3.6	10	
生产	100~299人	159	10.1	39	24	11.3	25	11.9	2 2 2	28	0.0		47	89	4.5	24 27.0	15.9	10.1	13	10.2		18	0.0	4.5	
王 氷 道	300~499人	48	10.4	14 29. 2	11 22.9	7	2 2 2	10.4	0.0	6 12.5	0 0	6 12.5	18.8	24	16.7	9 37.5	16.7	3 12.5	1 4.2	16.7	0.0	8, 22	0.0	0.0	6 25.0
医拖养	- 500~999人	45	7	14	8 17.8	13.3	7 15.6	4.4	0.0	8 17.8	0.0	8.9	13.3	32	15.6	12 37.5	7 21.9	18.8	18.8	3.1	0.0	6 18.8	0.0	3.1	ಣೆ
Ŕ	1000人以上	88	12 13.6	24	12	8	14	14	0.0	20	2.3	3, 4	24	52	13.5	15	9.6	7.7	7	9 17.3	0.0	10 10	1,9	1.9	17 32, 7
	無回答	53	13.2	15	7.5	9 11.3	7.5	8 15.1	1.9	15.1	1.9	5.7	37.7	27 100.0	14.8	33.3	11.1	3	14.8	11.1	3.7	3 11.1	0.0	0.0	933.3

	-	-					ŀ	l			ľ						:			ļ	ŀ		: 件数	下段:構成比		Γ
				正社員	の雇用計画				24 正	正社員の雇用計	計画<契約社	員導入事	業所>	:		間24 寿	契約社員の雇り	雇用計画		:		1 契約社員	雇用計画<	契約社員導	(事業所>	
	—————————————————————————————————————		増やす 現状維持	減の中	わからな い	単	極	外	温や上	現状維持	減 で い し	わからな無い	東回 %	併	温や小	現状維持	減の中	わからな い	無 回 終	(H)	事や中	現状維持	類 0 中	わからな い	無回%	
4		815	382 32		19	54	35	370	170	152	10	32	9	815	72	297	47	7 283	3 116		370	64	90	39	92	Ξ
		0.00	46.9 39.9		2.3	6.6	4.3	100.0	45.9	41.1	2.7	8.6	1.6	100.0	8	36.4	E.					17.3	48.6 10.	5 20	5	3.0
建設業		51	38			27 0		21	16	7			0	51	5	17		3 20		9	21	4	e0 (27 1		
	100.	0.00			2.0	e. e.	2.0	100.0	7.6.2	19.0	8.9	0.0	0.0	100.0	9.8	33.3	ò.	39.2	11.	8 100	0.0		61.9		1 00	φ. χ
製造業	100	0.001	47. 5 41. 3	n en	- e-	5.0	4 0	100.0	15 42.9	15 42.9	0 0	11.4	2.9	100.0	3 2	38.88	1 65	37.5	1 91	n n	35	o 8	57.1	1 20 2	- 0	71 12
発力が発剤		2.0		2	0	4	2	37	22	12	0	0	0	92		33				9		9		4	000	-
17 報週信業		100.0	63. 2 28. 9		0.0	5.3	2.6	100.0	59. 5	32. 4	0.0	8.1	0.0	100.0	9.2	43.4	5.	3 34.2	7.	9		16.2	48.6 10.	8 21		2. 7
運輸業		19			0	2	2	22	10	10	0	2	0	51	3	91		2 20		0.	22	3	.1	2	2	Т
K	100	100.0			0.0	9.8	3.9	100.0	45.5	45.5	0.0	9.1	0.0	100.0	5.9	31.4	3.	9 39.2	19.	9	0.00	13.6	50.0	1 22.	7	4.5
卸売・小売業		127	52 64 40 9 50 4		ر م م	4 -	2 9	100 0	39 3	30	27 92	27 99	0 0	127	5 - 72	53	11 0	42	2 -		26	7 2	29 1	10	6 -	- «
主金融・保険業		30			0 0	- 60 0		18	100	6 0	0 0	001		30		13				4 0	000	o es t	6.6			
	100	100.0				10.0	esi esi	100.0	27.8	90.0	0.0	16.7	9.6	100.0	10.0	43.3	e,	30.0	J. 13.	3 I00.	0		50.0		7 -	5.6
業不動産業	100	14 100.0	8 4 57.1 28.6		0.0	14.3	0.0	100.0	4 66. 7	33.3	0.0	0.0	0.0	14 100.0	7.1	64.3	0.0	0 28.6	0.	0 100.	9	16.7	4 66. 7 0.	0.0	1 7	0.0
飲食店、	電泊業 1000	31	15 14		0 0	0	- 0	6 001	9 2	62 62	0 0		0 0	31	0	00 0		0 18	8 -	20	6 0	0 0	9 22	0	00 0	0 0
10	M	95			0.0	2 65	2.0	34	18	14	0.0	11.1	0.0	92	10	23.0	5		OT.	7	34	0 00	- 63	0 4		
医療、福祉	100	100.0	47.8 41.3	· eo	1.1	6.0	6.5	100.0	52.9	41.2	0.0	5.9	0.0	100.0	10.9	22	4.	45	18	. LC			38.2 11.	8 26.	ı LC	0.0
教育、学習	学習支援業 100	55	14 25		7 61	9 01	о п	39	93 1	51 3	15.4	10.3	0	100 0	9 1	24	. 81	010 11	1	22	39	2 61	19 20	88	- 0	0 0
サーブ		142			0	12	11	69	34	26		2 10	4	142	119	54				92		81	. 0.	2	2 2	4
ì		100.0				8.5	7.7	100.0	49.3	37.7	0.0	7.2	5.8	100.0	13.4	38.0	65		18.	60			43.5 7.	2 17.	4	5.8
みの街	100	57	23 21		n n	8 0 14.0	3, 23	22 100.0	36.4	31.8	1 4.	27.3	0.0	57	. x	31.6	ಣೆ	5 23	15.	o 0	22	13.6	36.4	1 5 45.	0 10	0.0
第回%	5	6 0				0 0	0 0	2 00	- 0	1 0	0 0	0 0	0 0	6 001	2	0	1 :		2	4 4		- 0	0 0		0	0 0
1		107			2.2	9.0	13	29	17	10	0.0	0	9	107		29			E.F.	+ E		9.00	6	4 0	6	9 -
29.7 KL	100	100.0		2	1.9	5.6	12.1	100.0	58.6	34.5	0.0	3.4	3.4	100.0	8.4	27.1	3.	36	21				31.0 13.	8 31	0	3. 4
¥66~08	- 100	315	163 123 51.7 39.0	e c	2 9	3.8	3.8	117	50.4	47	1 0	7 9	3.6	315	21	36.5	14.4	4 121	14	4.0	117	17	64 1 54. 7 10.	2, 65	22	2 5
第 100~299人		159		· en ·	n	14	2	68	45	32	1	11		159					2	31			.2		7.7	3
		100.0		n d	1.9	x .	1.3	100.0	50.6	36.0	1.1	12. 4	0.0	100.0	5.7	39. 6	×.	32.7	13.	71 0	0.00	10.1	47. 2 12.	4 27.	0 6	3.4
第 300~499人		100.0	47.9 39.6	9	4.2	6.3	2.1	100.0	45.8	41.7	8.00	4.2	0.0	100.0	12.5	33.3	8.	39.6	.9	. ·			37.5 16.	7 16.		4.2
者 500~999人		45			60	4	-	32	12	15		2		45		24		9		4	32	9	7	22	eo .	-
_		100.0			6. 7	6.0	2. 2	100.0	37.5	46.9	9.4	6.3	0.0	100.0	13.3	53.3	11.	==	20	6	100.0		53.1 15.		4	
1000人以上	100.	0.00	30.7 55.7		3.4	9.1	1.1	100.0	28.8	53.8	6. 21 00	11.5	1.9	100.0	15.9	39.8	5.	7 27.3	11		0.001	25.0	51.9 3.	8 15.	o 4	3.00
無回%		53	27		1	7	2	27	11	10	1	4	1	53	7	15						7			9	-
	100	100.0				13. 2	9.4	100.0	40.7	37.0	3.7	14.8	3.7	100.0	13.2	28.3	1.9	9 35.8	3 20.8		100.0	25.9	44. 4 3.	7 22.		3. 7

	=	ŀ	- 1				ľ	ľ	ŀ									ı l'		ļ			※: 件	卜段:稱成比	بې
	*		開24	lm-	9				間24 有期	リパートの雇	用計画<	契約社員導力	人事業所 >			間24 無	無期パート	の雇用計画		-		無期	選	契約社員導	人事
	—————————————————————————————————————		増やす 現状維持	# 漢の中	ナわからない	#	極	(H)	着やす	現状維持	減の中	わからな い	斯 四 黎	\H ₹	着やす	現状維持	減の中	わからな い	無回%	(H)	4 売 か 中 か 中 か	ト 現状維持	帯域の中	わからな い	
4		815		23	30	245	115	370	99		20		4 52	2 815	55 55			18 324		210	370	15	73		157 114
ш		0.00	12.5 39.6	9	3.7	30.1	14.1	100.0	15.1	40.0		25	4 14			7 25.5	2				100.0		6.3	0	6.3
建設業	,	51	1 13	13	1	26	10	21				0.0			4	0 13	00 1	1 28		6	21	0	8	0	8
	101	100.0		0 5	2.0	51.0	19.6	100.0	4.8		0.	33.	.73.	100.0	o.	725.	5.	0 54.	. I.	9 0	00.0		38.1	38.	. 1 . 23.
製造業	100	0.001	6.3 38.8	3.8	0 6	35.0	13.8	100.0	8.0	34.3	20.00	34.3	14.	3 100.0	7.	5 23.8	0	0 46.3	54	o ro	0.00	5. 7	17.1	0 0	54.3 22.
茶台/里:0年率		92	2	28.		32	6	37			5			92 29						0.	37		2	0	
기를 위에 그리고 그		100.0	2.6 36.8	8	6.6	42.1	11.8	100.0	5.4	32	10.8	35.1	16.	2 100.0	2.	6 38.2	0.	0 46.1	1 13.	2	0.00	2.7	32.4 0.	. 0 45.	.9 18.
運輸業		51	5	91	0	1.7	13	22	2				2	5 51		3 11				∞.	22	0	3	0	7
	100	100.0		4	0.0	33, 3	25. 5	100.0	9.1	45	0.	22.	7 22.7	7 100.0	5.	21	0.	0 37.3	3 35.	3	0.00	0.0	13.6 0.	.0 31.	. 8
卸売・小売業		127	18 58	1 00	ro 0	33	13	56	00 0	27	υ 	5	12	5 127	U	7 34	4.0	3 54	ē	6,0	56	27 9	00 0	1 9	26
		30.0		1	o 0	0.07	7.01	100.00	14. 3		o.	7.17	TO. 1	20 30	o.			1 42.		0 9	0.00	0 -			# O
を磨・矢液業		100.0	10.0 46.7	- 1	0.0	30.0	13.3	100.0	11.1	44.	0.0	27.	8 16.7	7 100.0	က်	3 30.4	.3.	3 43.3	3 20.		0.001	5.6	27.8 0.		
事 不動産業	,	14	Ž 0	7	0	9	1	9	0	2		-		14	•		9			2	9		1	0	.33
_	100	100.0		0.	0.0	42.9	7.1	100.0	0.0		0.	20.	0 16.7	7 100.0	0	42.		45	9 14.	en e	100.0		16. 7 0.	.0	
7. 飲食店、宿 容	宿泊業 100	31	6 10 19.4 32.3	3 0	0.0	13 41. 9	6.5	100.0	33.3	33.3	0.0	33,	0.0	0 100.0	19.	4 19.	4 0.	0 10	10	n 0	9	22. 2	11.1	.0 33.	33.
医療、福祉		92		38	2	22	22	34	10								2			7.7	34	60	22	0	
. 1		100.0		8	2.2	23.9	5.4	100.0	29. 4	44	0.	26.	5 0.0	100	15.	18.	9.	0 37.0	0 29.	3	100.0		14.7 0.	. 0 47.	. 1 29.
教育、学習	学習支援業 100	55	1.8 58.2	25 22	9 10.9	21.8	7.3	39	2.6	22 56.4	15.4	23.	1 2.6	1 55	ľ	3 14	12.	7 21	21 18.	0, 2	39	5. 1. 2	9 23.1 15.	6 1	17 12.
キーアス様	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	142		53	22	28	29	69	21				7							7	69	2	60	4	0
		100.0		2	3.5	19. 7	20.4	100.0	30.4	31.	5.	10.	1 21.7	100		36	33	5 28.2	33		100.0		18.8		.0 43.
その街	100	57	14.0 33.3	0 c	œ	17	21.1	100.0	13.0	5 22.7	0 0	40	9 22.7	57	0.0	21.12	1 0 0	0 24		21 36.8	22	0 0	9.1	0 0	.5 36.
第回参		6		4	0	2	2	2	0	2		4	0							4	2	0	0	0	
	100	100.0		4	0.0	27.72	27. 2	100.0	0.0		Ö.	Ö,	0.0	ĭ	II		0 11.1		44	4	100.0	0.0	0.0		.0
29人以下	100	100.0	12.1 33.6	9 9	0.0	30.8	22. 4	100.0	6.9	17.2	0.0	44.8	31.0	100.0	9.3	3 22.4	4 4 1.	9 32.7	33	g 90	0.001	6.9	13.8	.0 48.	.3
30~99人	. 60	315	30 125	25	80 LE	114	38	117	19.0	56	6 6	34	- °	315	22	00	63	5 129	66	0,	117	60 0	22	2 2	54 3
		159		. 90	, L	41	22	88	17		i		5				9 00		1	1 =	88	0 10		- 10	1 75
V667~001 ₩ ⊞	. 10	100.0	14.5 41.5	5	4.4	25.8	13.8	100.0	19.11	33	6.7	25	8 14.6	10	9	9 27.0	0 3.	8 36.5		25.8 10	100.0	5.6	19.1 5.		.2 31.5
第 300~499人		48	8 16	16	4	13		24	9									2 22		-	24	en 1	e2 1	2	00
_		100.0		20 2	× ·	27.1	14.6	100.0	25.0	25	12.	12.	5 25.0	100	×.	18.	4.		8 22.	6	0.00		12.5		
者 500~999人		45	8.9 44.4	02 4	4 6.	26.7	11.1	100.0	9.4	13 40, 6	12.5	28.	. 6	45	0	0 24.4	4 2.	2 53.3	1.3		00.00	0.0	21.9	1 59	.4
1 1000 L EV F		88	4	#	22	19	9	52	9					88			19	2 3		7.5	52	2	12	-	8.
- X 0001	100.	0.00	15.9 50.0	0	5.7	21.6	6.8	100.0	11.5	55.8	5.8	17.	3 9.6	6 100.0	.9	8 21.6	6 2.	38		30.7 10	100.0		23.1	. 9	34.6 36.
無回猝		53	10 16	16	c	13	13	27	00 0	6				53	•	2 13	13 0	,		16	27	0 0	00 0	0 0	10
	101	100.0		7.	F. 9	24. 5	24.5	100.0	29. 6				7.77. 7	100.0	3,						00.00				.0 33.

					- 0				ľ					ŀ						ľ		上段	: 件数 下.	: 構成比	
			ĺ		嘱託職員の届	の雇用計画			# F	n±i	用計画<契約	社員導入事	3#K			E.	労働者の原	用計画			間24 派遣	労働者の雇	用計画<契	≺	事業所>
		年	描や中	現状維持	減の中	わからない	無回%	生体	温や小	現状維持	減 で し し	わからな い	第回答	(H)	重や中 単	現状維持	減の中	わからな無い	無回%	(H)	温や上	現状維持	減の中に	わからな い	無回%
	4	815	7.1	311	20	252	191	370		149	10	94	82	815	53	230	80	290	186	370	17	103	52	109	88
		100.0		38.2					9.5	40.3	2.7	25. 4	22. 2	100.0		28.2	9.8	35.6	22.8	100.0		27.8	14.1	29. 5	24. 1
	建設業	51	က (24	1	18		21	2 2	15	0 0	27 1	27 12	51	27 0	13	4 0	23	6 1	21		6 9	en e	4 0	4. 6
		100.0	o. o	47.1			8.00	100.0	9.5	41.4	0.0			100.0	υ. υ.	25. 5	8.7	45.1	17.6	100.0	4.8	42.9	14.3	19.0	19. C
	製造業	100.0	11.3	51.3	. 65	26.3	7.5	0.001	5.7	62.9	2.9	28.6	0.0	100.0	2,2	26.3	16.3	37.5	17.5	0.001	2.9	31.4	25.7	28.6	11.4
	報句思聞報	92	9	27					0	12	0	15	7	92	က	28	9	29	10	37	1	10	4	15	
	用靴埋旧来	100.0	7.9	35. 5	0.0	43, 4	13.2		8.1	32. 4	0.0	40.5	18.9	100.0	3.9	36.8	7.9	38.2	13.2	100.0	2.7	27.0	10.8	40.5	18.9
	運輸業	51	12	14				22		8	0	3	9	19	0	12	3	18	18	22	0		3	5	ĵ
	K	100.0	23, 5	27.5	0.				22	36.4	0.0	13.6	27.3	100.0	0.0	23.5	5.9	35.3	35, 3	100.0	0.0	22. 7	13.6	22. 7	40.8
	卸売・小売業	127	16	56		31	21			17	-	14	14	127	4	34	19	48	22	99	-	12	11	18	1.5
	XX17.	100.0	12.6	44.1				10	17	30.4	1.8	25.0	25.0	100.0	3.1	26.8	15.0	37.8	17.3	100.0	1.8	21.4	19.6	32.1	25.0
田田	金融・保険業	30	4 0	18	0	9 00	2 2	180	3 3	10	0 0	6 7	11 2	30	2 2	17	4 0	16.7	4 5	180	- 9	12	- 4	3	1 1
K H	100	14	0.01	90.00						0.00	0.0	10.	7 7 7	14.0		6	0.0			9	0.0	- 65		7.01	
継	小 動産業	100.0	7.1	42.9	7.1	28.6	14.3	100.0	0.0	50.0	0.0	16.7	33. 3	100.0	0.0	64.3	0.0	28.6	7.1	100.0	0.0	50.0	0.0	33, 3	16.7
€.	飲食店 宿泊業	31	0	8	0				0	2	0	3	4	31	0	C	0	16	10	6	0	1	0	4	4.
(¢	WHILL VILVANA	100.0	0.0	25.8				10	0.	22. 2	0.0	33.3	44. 4	100.0	0.0	16.1	0.0	51.6	32. 3	100.0	0.0	11.1	0.0	44.4	44. 4
	医療、福祉	92	00 E	25		98	19		4.	12	0 0	11 50	2 00	95	en e	16	Б	37	27	34	C1 C		en 0	12	
		100.0	8.7	27.2				100	I	35.3	0.0	32. 4	20. 6	100.0	ni ni	17.4	8.0	40.2	29.3	100.0	b. c	17.6	xi	35.3	32. 4
	教育、学習支援業	100.0	7.3	34.5	4.5	34.5	16.4	100.0	7.7	33.3	4 6.		15.4	100.0	7.3	38.2	7.3	30.9	16.4	100.0	10.3	35.9	10.3	33.3	10.3
	様として	142	9	52						29		10	25	142	4	39	13	38	48	69	60	18	11	12	25
	7	100.0	4.2	36.6	2.1				4.	42.0	2.9	14.5	36. 2	100.0	2.8	27.5	9.2	26.8	33.8	100.0	4.3	26.1	15.9	17.4	36. 2
	みの街	57		20	67 C	17	16	100.0	0	ro r	21 -	00 -	7 0	57	ro o	13	4 0	23	12	22	en e	- 12	es 6	10	4 0
		100.0	0 -	35.1					0	7.77		36.4		100.0		8.77	0.7	40.4	21.12	100.0	13.6			45.5	10.
	無回%	100.0	11.11	11.1	0.0	33.3	44.4	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	22. 2	11.11	22. 2	44.4	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	29人以下	107	7	32	2	33	33	53		9	0	10	10	107	2	59	9		36	58	1			11	10
		100.0	6.5	29. 9	1.				10.	20.7	0.0	34. 5	34. 5	100.0	1.9	27.1	4.7	32.7	33. 6	100.0	3.4	17.2	6.9	37.9	34.5
-	30~99人	315	6.3	39.7	2.2	34.9	53	100.0	6.0	48	0.9	50 cc	18.22	315	2.3	27.0	7.0	126	23.8	100.00	2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2	29	10.3	32.38	29.9
计争	100∞999 1	159	22	63						37	4	19	20	159	3	49	30	48	29	68	2	27	20	22	
ЕШ	V607 001	100.0	13.8	39. 6	3.1				10.	41.6	4.5	21.3	22. 5	100.0	1.9	30.8	18.9	30.2	18.2	100.0	2.2	30.3	22.5	24.7	20.2
*	300~499人	48	œ	17		18		24		Ξ	-	4		48	2	10	00	23	D.	24			7	7	7
垂		100.0	16.7	35.4	2.		80	10	25.	45.8	4.2	16.7	တ်	100.0	4.2	20.8	16.7	47.9	10.4	100.0	တ်	16.7	29. 2	29. 2	16.7
神	200~999人	45	2 - 1-1	19	-1 CO	12	9 0	32	. d	13 6	m <	6 - 6	0	45	4 0	15 23 3	2 00	21 -	4 0	32	4 12	10 31 3	7 - 6	27.4	
数		88	11.1	42. 4	5					25.0	7.4	7.07	 	88			9	24.1		TOO. 0		25. 2		11	1.5
	1000人以上	100.0	6.8	46.6	2.3	23.9	20	100	7.7	48.1	1.9	13.5	28.8	100.0	10.2	35. 2	6.8	27.3	20.5	100.0	5.8	42.3	5.8	21.2	25.0
	第回終	53	ec	14					က	8	0	9	10	53	2	11	1	20	19	27	2		1	6	3
		100.0	5.7	26.4	0.0		35.8		11.1	29.6	0.0	22. 2	37.0	100.0	3.8	20.8	1.9	37.7	35.8	100.0	7.4	22. 2	3.7	33. 3	33.3

				間24 その	その他の従業員	員の雇用計画			間24 その他の	の従業員	の雇用計画<	(契約社員導	人事案所、
		外	增令手	現状維持	減らす	わからな い	無回%	全体	増やす	現狀維持	減らす	わからない	器回器
Ì	本學	815					653	370					
		100.0	0.4	4.9	0.2	14.4		100.0	0.3	3.8	0.3	9.2	86. 5
	茶砣鞍	19	1		0			21	1	2	0	2	
	***	100.0	2.0	5.	0.	21.6	70.6	100.0	4.8	.6	0.	9.	76.2
	報光線	80	0	2	1			35			0	4	30
	(D)	100.0	0.0	2.	Τ.	15.0	81.3	100.0	0.0	2.9	0.	11.4	85.
	悟報当信業	92	0	S	0			37			0	D.	
	月秋四口木	100.0	0.0	.9	0.	15	77.6	100.0	0.0	5.	.0	13.	81.1
	非	51	0		0	9		22			0		20
	A Part	100.0	0.0	.5	0.	11.	84.3	100.0	0.0	4.5	0.	4.5	90.9
	知声・ 小声楽	127	0	D.				99	0	2	1	2	
	_	100.0	0.0	3.	0.8	15.0	80	100.0		.3	1	8.	85.
刑	今曜・白俗様	30	0	n		4	23	18		0	0		_
瞅	ž H	100.0	0.0		0.0	13.3	76.7	100.0	0.0		0.	5.6	94.
#	不動産業	14	0	2	0			9	0		0		
₩.	_	100.0	0.0			7.1	78	100.0		0.0		16.7	83.
K (飲食店、宿泊業	31						6	0		0		
4		100.0	eri	0.		12	8	100.0		0.0		Ξ.	88
	医療、福祉	92	0		0	- ;		34	0				
		100.0	0.0	eri		19.	1.1	100.0		2.		14.	82
	教育、学習支援業	55	0	10 L	0 0			39	0	1 00	0 0		31
		100.0	0.0	.0.	ò	.4.	30.0	100.0		·,		12.	
	ナーバス継	100 0	1 0	0T		0.1		100 0	0	7 0		7 0	00
	4	57	0					22					
	んろ有	100.0	0.0	3,5	0.0	12. 3	8	100.0	0.0	0.0	0.0	9.1	06
	申回於	6	0	0	0	0		2	0	0	0		
	m II ii	100.0	0.0		0.	0.	100	100.0			0.	0.	100.0
	29人以下	107	2		0			29		2	0		24
		100.0	1.9	က်		13.1		100.0	0.	.9	0.	10.3	82.8
	30∼99 人	315	1	19	П		244	117					
4	_	100.0	0.3			15		100.0	0.	3.4	0.	.6	98
神	100~299人	159	0	10				88					
Щ	_	100.0	0.0	9.	0.6	13	75	100.0	0.0	4.5	1.1	10.1	84
*	300~499人	48	0					24	0				
a	_	100.0	0.0	4.		20.	75	100.0		0.0	0.	8.	91
140	200~888人	45	0		0			32			0		
数	_	100.0	0.0	2.		13.	84	100.0	0.	3.1	0.0	9.4	87.5
	1000人以上	88	0	-	0			52					47
		100.0	0.0			œ.	06	100.0	0.	_;			36
	東回外	53	0	3	0			27			0	2	
	I	100.0	0.0			15.1	79. 2	100.0	0.0	7. 4			0 22

			1(1) 体型				ĺ			ľ	引(9) 年齡		×	- 1200 C	L					H	1(3) 家計	· 条/归	<u> </u>	
全体	男性	女性	#	第回称			金体 10	10歳代	20歳代 3	30歳代	40歳代	50歲代	60歳以上	無回答			(本)	あなた自 身	配偶者	子供	蒙	兄弟姉妹	あなた自 身と家族 の双方	
747	35,		342	10		幸	547	0.0		103	111 20.3			0.7	<u> </u>	幸	547	279				8 2 3 0.4		8 4
118 100.0	28	33 7	84	0.8		男性	195	0.0	27	29	22	25	92 47. 2	0.0		男性	195	153	1.5	0 0	0 19			6
395	39		235	1.3	世別	女性	342	0.0		74	89			0.0	世別	女柱	342	122				9 1		0.00
34	20.		23	11.8		無回答	100.0	0.0		0.0	0.0			40.0		無回答	100.0	4 40.0		0.0				0 40.
153	41.		88	1.3	彩	加入している	118	0.0		37	21				米	加入している	118	52	23		1 23 8 19.5			9
13	92.	12 92, 3	7.7	0.0	龟盆	加入していない	395	0.0		62	84 21.3			0.0	働組	加入していない	395	214	83	0 0		0.	2 46 5 11.6	9 9
234	13.		201	0.9	√□	無回答	34	0.0	12 35.3	11.8	9 17.6	14.7		4 11.8	√¤	無回%	34	13	17.6	.0		0.	8.	
24	62.		9 37.5	0.0		専門的・技術的業務	153	0.0		33	32 20.9		2 2 18.	0.0		専門的・技術的業務	153	89	25	Ö	14		ī	9 10
56	37.		33	3.6		管理的業務	100.00	0.0		0.0	7.7			0.0		管理的業務	100.0	12	7.7	0				00
16	93		1 6.3	0.0		事務的業務	234	0.0	31.		51	40		0.0		事務的業務	234	38.9	- 6				12.	9
32			3. 1	0.0	東	販売業務	24	0.0	4	16.7	7 29.2			0.0	東	販売業務	24	13						10.00
100 0			5 41 7	0 0	#6	サービス業務	100 0	0 0		14	17.9	200	15	0 0	#6	ナーバン袱粉	100 0	26		-	1 9			0000
3	0		3	0.0	* \$\$	保安業務	100.00	0.0		0.0	12.5			0.0	* # ## -	保安業務	160.00	14 87.5						0.10
4 100.0			0.0	4 100.0	4 2	運輸・通信業務	32	0.0	6.	15.6	18.8	28.1	31.3	0.0	タン	運輸・通信業務	32	24	0.0	0.0	0 6.3	2 0	18.	9 8
22			5 22.7	0.0		生産工程・労務	12	0.0			16.7	3 25.0		0.0		生産工程・労務	12	8	16.					- 6
28 100.0		19 67.9	8 8 8 6	3.6		その街	3 100.0	0.0	.99	33.3	0.0			0.0		その他	3 100.0	2 66.7		0.		0 0	65	3 1
39), 0			23	0.0		無回答	4 100.0	0.0		0.0	0.0	0.		100.0		無回答	4 100.0	0.0					0.	0 100.
38			7	0.0		建設業	22 100.0	0.0	0.0	3 13.6	9.1	22.7		0.0		建設業	22 100.0	77.3	3 13.6		4.	1 0 5 0.0	4.	1 5 0.
24 100. 0			14 58.3	8.3		製造業	28	0.0	0.0	10.7	17.9	28.		0.0		製造業	28 100.0	19 67.9	7.	0.	0 3 0 10.7	3 0.0 7 0.0	14.	3 0.
36			21	2.8		情報通信業	39	0.0	10.3	10 25.6	30.8	17.9		0.0		情報通信業	39	16 41.0	33.3	0.	0 10.	3 2.6	10.	4.6
13 100. 0			9 69.2	0.0		運輸業	38	0.0		9 23.7	7 18.4	11 28.9		0.0		運輸業	38	24		0.0	5.	2 0 3 0.0		7
9			3 50.0	0.0	肅簽	卸売・小売業	24 100.0	0.0	4.2	8.3	11 45.8	8.3		0.0	幽察	卸売・小売業	24 100.0	11 45.8			0 2 0		12.	5 0.
120 100. 0			105 87.5	0.0	光の	金融・保険業	36	0.0	5.6	25.0	22.2	11.1	36.1	0.0	光の	金融・保険業	36 100.0	20 55.6	30.6	0.0	2.	1 0 8 0.0	11.	1
95			72	0.0	主要	不動産業	13 100.0	0.0	15.4	7.7	23.1	15.4		0.0	主要	不動産業	13 100.0	30.8	23. 1	0.	0 7.7	1 0 7 0.0	38.	5 0.
78 100. 0			37	2.6	事 継・	飲食店、宿泊業	100.0	0.0		16.7	33.3			0.0	**	飲食店、宿泊業	6 100.0	50.0		0.0				7 0.
40 100. 0	15.	9	34	0.0	内容	医療、福祉	120	0.0		15.8	24 20.0			0.0	内容	医療、福祉	120	56 46.7	30 25.0			7 0.8	13	es 00
8 100.0		0	4 50.0	50.0		教育、学習支援業	95	0.0	36.8	24, 25, 3	15.8		12 12. 6	0.0		教育、学習支援業	95	41			0 24			8 4
						サービン業	78 100.0	0.0		13	10 12.8	10		0.0		サービス業	78 100.0	46 59.0	9.0	1.3		5 0.0	11.	9 0.
						その他	40 100.0	0.0	12.	17.5	30.0		15.0	0.0		その他	40 100.0	20 50.0	22. 5	0.	0 7.	3 0.0 5 0.0	20.	8
						無回%	8 100.0	0.0			0.0			50.0		無回答	100.0	25.0	0.0	0.	0.0		12.	1 5 62.
																10歳代	0.0			.0	0 0 0	0 0 0	0.0	0 0.
																20歳代	119		8 6.7	0	1 51 8 42.9	1 1 9 0.8	.6	7 0.
																30歳代	103						17	18
															サ 御	40歳代	111	51 45.9	33.3		0 3.6			19
																50歳代	100.0	53.8						
																60歳以上	119	79.8	12 10.1	0.0	0.0	0 0		2

L							最終字階										(4) (1)	最小品			
		(H)	計	高校	車門学校	高車・短 大	大学	大学院 名	その他無	無回答			本	表中	高校	専門学校	高專·短 大	大学	大学院 そ	の他	無回答
	合計	547 100. 0	10	121	21.4	64	198	30	0.2	9 1.1	₩	*	547	10	121	21.4	64	198	30	0.2	1.1
	男性	195	2.1	56	23	5.6	95	11 5.6	1 0.5	0 0	櫢	建設業	22	0.0	10	9.1	9, 1	36.4	0.0	0.0	0.0
柱別	女性	342	1.2	63		58	102	19	0.0	0.6	斷	製造業	28	3.6		2	7.1	9 32.1	0.0	3.6	0.0
	無回%	100.0	20.00	20.0		10.0	10.0	0.0	0.0	40.0	幸	幹報通信業	39	0.0			4 10. 3	21 53.8	5.1	0.0	0.0
彩	加入している	118	1.7	26	39	13, 6	28	7.	0.0	0.0	型	重輸業	38	5.3	21 55.3	13.2	5.3	8 21.1	0.0	0.0	0.0
龟箔	加入していない	395	1.8	87		45	161	21	0.0	0.3		卸売・小売業	24	8.3	33.3		16.7	20.8	0.0	0.0	0.0
ŲΠ	無回称	34	2.9	23.5		. so	9 26.5	5.9	2.9	14.7	先の金	金融・保険業	36	0.0	9 25.0	11.1	5.6	21 58.3	0.0	0.0	0.0
	専門的·技術的業務	153	0.7	25	44 28.8	18	49	16	0.0	0.0	11	下動座業	13	0.0			0 0		0.0	0.0	0.0
	管理的業務	100.0	0.0	7.7	7.7	7.7	10	0.0	0.0	0.0		飲食店、宿泊業	9 100.0	0.0	33.3	43	0 0	16.7	0.0	0.0	0.0
	事務的業務	234	0.4	38		30	97	12 5.1	0.4	0.9	内容	5寮、福祉	120	1.7					1.7	0.0	0.0
東	販売業務	24	1 4.2	9 37.5		2 8 3 2	9 37. 5	0.0	0.0	0.0	粉	教育、学習支援業	95	0.0					22.1	0.0	0.0
± 6 \$	・サービス業務	56 100.0	7.1	35.7	14.3	17.9	12 21.4	3.6	0.0	0.0	予	「「アメ綝	78		21 26.9	17.9	10	35.9	1.3	0.0	1.3
* 落 +	保安業務	100.0	0 0	31.3	12.5	0 0	6 29	0.0	0 0	0.0	W	:の他	40	0.0	12.5			17	10.0	0.0	0.0
7 徐	: 運輸・通信業務	32	6.3		9.4	0.0	8 25.0	0.0	0.0	0.0	巣	阿黎	8 100.0	0.0					0.0	0.0	5 62.5
	生産工程・労務	12 100.0	1 8.3		16.7	16.7	3 25.0	0.0	0.0	0.0		0歳代	0.0	0.0	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	3 100. 0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	.71	: 0 歳代	119	0.0	4.2	4(3.4	56	5.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	m	10歳代	103	1.9	11 10.7	26	15 14. 6	36	11.7	0.0	1.0
											中 春	10歳代	111	0.9	34	17.1	26	25	4.5	0.0	0.9
											I ro	0 歳代	91	1.1	32	15	13	25	5.5	0.0	0.0
											9	: 0 歳以上	119	5.0	39.8	9.7	5.0	56	1.7	0.8	0.0
											無	無回答	4 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

: 構成比	無回%	34	3.6	23	40.0	7.	0.0	17	0.0	7. 1	0.0	3.1	0.0	33, 3	4 100.0	9.1	7.1	1 2.6	1 2.6	0.0	 	7.7	1 16.7	10	3, 2	r 00	5.0	5 62.5
Z 5	ンしていい	395	155	235	50.0	117	13	157	22 91.7	40	100.0	16	12 100.0	2 66.7	0.0	19	24	33	20	19	26	12 92.3	4 66.7	68	73	63	34	0 0
上段:件数用160 形		118	33	84	10.0	29	0.0	60	8.3	12 21.4	0.0	15	0.0	0.0	0.0	1.5	7.1	12.8	17 44.7	5 20.8	7 19.4	0.0	16.7	42	19	12 15.4	4 10.0	37.5
ŀ	金体 加7	547	195	342	100.0	153	13	234	24 100.0	56 100.0	100.0	32	12	3 100.0	4 100.0	22 100.0	28	39	38	24	36	13	9 100.0	120	95	78 100.0	40 100.0	100.0
-	Δü)業務						Vin	Vis										242		継			
		中	l		極	的・技術的業務	管理的業務	事務的業務	販売業務	ピス業務	業務	• 通信業務	生産工程・労務	の他	極	**	**	報通信業	継	・小売業	・保険業	雅	飲食店、宿泊業	、福祉	育、学習支援	ーでス米	他	铷
			男性	20世本	無回物	專門的	泰	井祭		# 0 章 -	光 路 名	松 2	世	40	無回然	建設業	製造業	情報	運輸業	粉響	光の機	主要		松网蕨	教	† +	その他	無回%
: 構成比	参回	8 1.5	0.0	4.5	40.0	6 K	0.0	5 14.7	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4										
上級	単	40	3 - 6	34	0.0	4 4	34	5.9	3.9	0.0	29	1 7	1.8	0.0	0.0	0.0	3 100.0	0.0										
上段: 件数	アメ その街	78	39	37	20.0	12	63	r 00	12	7.7	19	5 20.8	24	14	3, 1	2 16.7	0.0	0.0										
	排 排 上 L	95	. 23	72	0.0	19	73		34	3 3 3	57	0.0		0.0	0.0	0 0.0	0.0	0.0										
	数型。	Š		200	0 0							0.0		0 0		2 1-	0 0											
	医療、福祉								83		48		23	0	3.1	16.	0	0.										
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	か 飲食店、 宿泊拳	6	6 -	8 6	0.0	1 0.8	1.0	2.9	0.7	0.0	0.4	0.0	6 4	0 0	0.0	8.3	0.0	0.0										
1年十年	不動産業	13	2.1	6 6	0.0	0.0	3.0	1 2.9	0.7	7.7	10	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
SEH20	· ·	36	14	212	10.0	2.0	26		1.3	15.4	9.0	6 25.0	3.6	2 21	0.0	1 8.3	0.0	0.0										
8	金金	24	8 1 1	14	20.02	5 2	19	0.0	5.2	0.0	9 7 9	9 37. 5	1.8	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0										
	無無	38	31	2.0	0.0	17	20	2.9	1 0.7	0.0	8 4 8	0.0	0 0	0.0	27	2 16.7	0.0	0.0										
	運輸業	39		23			8.4				9.8		0.0				0.0											
	情報通信 拳	6															0 0											
	製造業	28	16	80 60	10.0	1.7	24	5.9	17	15.4	1.7	1.2	0.0	0.0	3.1	25.0	0.0	0.0										
	建設業	22	17 8 7	5 -1	0.0	0.8	19	5.9	13	3 23.1	1.7	0.0	1.8	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0										
	金体	547	195	342	100.0	100.0	395	34	153	13	234	24	56	100.0	32	12 100.0	3 100.0	100.0										
F							1.		的業務						搬	報												
		中	男性	女性	無回%	加入している	加入していない	無回%	専門的・技術的業務	管理的業務	事務的業務	販売業務	トービス業務	保安業務	運輸・通信業務	生産工程・労務	その他	無回物										
Ĺ			光	性別女	無	_	働組	•	童	炯	冊		# S #	* kk +	_	#1	N	単										

		間2 契約社員 働いた参	:員以外の引 :経験	員以外の勤務形態で 経験						開3(問3(1) 通算勤務年数	\$年数				間3(2)	2) 直前の勤務形態	務形態	
	金本	\$5	ない	瀬 四 黎			4	年末満	1年以上3 年末満	3年以上5 年未満	5年以上10 年未満	10年以上 20年未満	20年以上	瀬 極	正社員	パート・ アルバイ	派遣社員	その他	無回%
中	547	444	96	9 4		幸	444	17	72	13 7	76	18 9	132	2 2	5 252	2 105	5 58	, y	9 0
-	195				L	-	163	9			06			3	192				
男性	100.0	w	16	0.0		34位	100.0	3.7	11	9	12	12	25	8 0.6	76.1	13	2.5	8	0.0
中本 か本	342				型	中体	275	11	53	90	54	59		4	1 12t		53		16
_	100.0	\$.19.	6 0.0		_	100.0	4.0	19, 3	18.2	19,6	21.5	16.0	0 1.5	5 45.8	3 29.1	19.3	5.8	3 0.0
第回%	100.0	60.0	0.	0 40.0		※回 ※	9 100.0	0.0	1 16.7	0.0	33.3	1 16.7	33.	3 0.0	33.3	3 50.0	1 16.7	0.	0 0
加入している	100 0	85	33	3 0	*	加入している	100 0	9 2 1	18	71	15	20	6	8 1	1 49	32 22	8 8	9 8	9
意 加入していない	395					加入していない	334	8											
_	100.0	84.6	15.	4 0.0		_	100.0	2.4	15.0	11.4	17.1	17.4	35.9	9 0.9	26	32.5	14.1	6.6	3 0.0
	100.0	7.	14.	7 11.8		無回ぬ	100.0	12.0	16.0	24.0	16.	12.0	16.0	0 4.0	0 52.0	32.	12.0	4.0	0.0
専門的・特術的業務	153				_	車門的・特術的業務	125	33											
		81.7	18.3	3 0.0	_		100.0	2.4	14. 4	14.4	16.0	21.6	30.4	4 0.8	8 64.0) 18.4	10.4	7.	2 0.0
管理的業務	13	11 84.6	15.	2 0		管理的業務	11 100.0	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	72.	7 0.0	01 00	9.1	0.	0.0	0.0
事務的業務	234	181	66	53 0		事務的業務	181	8	33	72	37	33	41	1 2	2 90	94 44	37	1 2	0 4
1 販売業務	24		00		型.	販売業務	22	1 1 2						8 0 0					22 0
在 の サーバン 業務	56		14.	3 0.0		サービス業務	48	4.8		14.6				2.1	18 18		12.		2 0
保安業務	16	16	0.	0 0		保安業務	100.0	0.0		0.0	12.5	12. 5		0 0	0 100.0	3 0.0	0.0	0.	0 0
運輸・通信業務	32	28	12.	5 0.0		運輸・通信業務	28	3.6	14.3	3 10.7	3.6	8 28.6	35.7	0 1	18 18	8 3 14.3	3.6	17.	9 0.0
生産工程・労務	12 100.0	11 91.7	8.	1 0		生産工程・労務	11 100.0	0.0	9.1	0.0	9.1	18.2	63.	7 0	72.	8 2 7 18.2	0.	0 9.	0 0 0
その他	3 100.0	2 66.7	33.	3 0.0		その他	2 100.0	0 0	0.0	1 50.0	50.0	0.0	0.	0 0 0	0	0 2 0	0.0	.0	0 0
無回答	4	0	0	0 100.0		無回答	0 0	0 0	0 0	0	0 0	0	0	0 0	U	0 0	0 0	v	0 0

							間3(3)		直前の勤務先をやめた理由	2理由 (20まで)	まで)				
		金	自分の拠 気・健康	参 権 機 ・ 介・ か	部階 を を を を 事・ に に の 事 の が に が の が に が の が に が の が の が の が の が	職場での 結婚・出 産退職債	定年制の ため	人員整 組・解 雇・雇用 類間満了	賃金への不満	光 画・珠 本・朱 子 巻 子 子 紙・ 子 張	仕事の本 米柱への み安か	職場の人 問関係	専門性を 生かすた め	みの色	無回。
	幸令	444	2	14					34		8	4	4		
		100, 0	5.6	3	7.4	0.9	12.8	20		10. 1	18.5	10.4	9.0	23.9	0.
	男件	163				0	51		71		,	1		35	
		100.0	6.7	3.	0.6	0.0	31.3	16.6	10.4	5, 5	17.8	8.6	5.5	21.5	0.0
型	料 华	275	14	8	32	4	4	62	91	35	23	32	31	7.0	
忌	H K	100.0	5. 1	2.9	11.6	1.5	1.5	22.5	5.8	12. 7	19.3	11.6	11.3	25. 5	0.0
	第三条	9	0	0		0	2	2			0		0	1	
	E Plan	100.0	0,0	0.	0.0	0.0	33, 3	33.	16.7	16. 7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	加みしている	85	8		14	1	2	6	8	13	20	10	6	16	
织	W/V C V V	100.0	9.4	4.7	16.5	1.2	2. 4	10.6	9.4	15, 3	23.5	11.8	10.6	18.8	0.0
垂	加入していかい	334	16	7			55	7		30	28	e	31	84	
땠	M-7 - 1 - 2 - 1	100.0	4.8	2.1	5.1	0.9	16.5	22.5	9	9.0	17.4	10.5	9.3	25. 1	0.0
√ □	無回效	25	1	3		0	0	L	8	2	4	1	0	9	
	willia	100.0	4.0	12.0	8.	0.0	0.0	28.	12.0	8, 0	16.0	4.0	0.0	24. 0	0.0
П	車間份, 技術的樂效	125	4	2	11	0	17	22	10	12	20	11	31	27)
	THE TANGET	100.0	3.2	1.	8.8	0.0	13.6	17	8.0	9.6	16.0	8.8	24.8	21.6	0.0
	新田化 紫葵	11	0	0	0	0	2	4	0	0	1	1	1	1)
	B ATTHE SHOW	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	36.4	0.0	0.0	9.1	9.1	9. 1	9.1	0.0
	東黎的雅黎	181	13		17	2	11	43	12	23	39	16	5	20	
	4-100 H 2 MEDIA	100.0	7.2	2.8	9.4	1.1	6. 1	23.8	6.6	12. 7	21.5	8.8	2.8	27.6	0.0
	24 新社出	22	3	1	1	23	7	60	33	2		9	1	3	
< 14	K	100.0	13.6	4.	4.5	9. 1	31.8	13.6	13.6	9. 1	4.5	13.6	4.5	13.6	0.
16	キーアン排茶	48					5	1	3				2		
- 44		100.0	6, 3	8.3	8,3	0.0	10.4	20.8	6.3	6.3	12.5	12.5	4.	18.8	0.
¥ 19	60分类数	16	0			0	8	1	2	0			0	4	
3 - 17	Κ.	100, 0	0.0	0.0	0.0	0.0	50, 0	.9	12.5	0,0	12.5	6.3	0.0	25. 0	0.0
· ※	経験が悪・弾脈	28	2		0	0	2	9	3	4	6		0	7	
	1	100.0	7.1	3.6	0.0	0.0	7.1	21.4	10.7	14.3	32.1	25.0	0.0	25. 0	0.0
	午毎一部・北端	11	0			0	2						0		
	1	100.0	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2	9.1	9. 1	27.3	9.1	0.0	27.3	0.0
	その街	2	0			0	0	0	0	0	1	0	0		_
	1	100, 0	0.0	0.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0, 0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.
	軍回郊	0												0	
		0.0	0, 0	0.0	0.0	0.0	0, 0	0.0	0.0	0, 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(年)	1.3	1.2	1.3	1.1	1.5	1.2	1.3	1.4	6.0	1.3	1.4	1.2	1.0	9.0	1.0	1.0	3.0							
w (F)	29	9	17	30.0	3.5	21	5	7.4.6	0.0	1.7	6 25.0	5.4	2 12.5	3.1	2 16.7	33.3	3 75.0							
軍	3.3	3	15	0.0	7 5.9	10	2.9	3.9	0.0	9.8	1.2	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
年 3年超	64 11. 7	16 8. 2	47	10.0	26 22. 0	33	5	17	0.0	36 15. 4	4 16. 7	7.1	6.3	0.0	1 8.3	0.0	1 25. 0							
1年超3	342											40	12 5.0	8 0.0	9 .0	3. 7	0							
17	9	3 6	2 9	0 0			1 6	8 0							0 0	0	0							
6ヶ月超 12ヶ月末 満		9																						
6ヶ月	14	20.	10	30	20.	13	ıc		15.	11	4	8.	.0	68.	8	.0	0.							
3ヶ月以上 6ヶ月未満	1.	2.1	1.	0.	0.	1	0.	0	0.	5 °0	1 4. 2	3.6	.6		16.	.0	0.							
3ヶ月未満	3 0.5	1 0.5			1 0.8			2 1.3	0.0	0.4	0.0	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0 0 0	0.0							
新	547 100.0	195	342	100.00	118	395	34	153	13	234	24	56	160.0	32	12 100.0	3 100.0	100.0							
	合計	型	型	紫回	入している	入していない	数回	門的·技術的業務	理的業務	務的業務	売業務	ービス業務	安業務	輸・通信業務	産工程・労務	の色	回答							
		用	有別	巣		草		車	iju.	*	腦	中の#	氓	删	#1	N	巣							
無回答	13	3.6	0.6	40.0	0.0	2.0	14.7	3	7.7	0.9	4.2	1.8	6.3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	3,2.5	0.0	0.0	0.0	5.0	4
その他	82 15.0	31	49	20.00	22	58			15.4	37	5 20.8	9 10.7	3	9.4	8.3	0.0	0.0	0.0	9.2	9.7	21	13	27.	0
	73	26	47	0.0	19	43	11 32. 4	23	0.0	27	8.3	12	0 0	6 18.8	8.3	2 66. 7	0.0	0.0	36	23	11 9.9	en en	0.0	0
	153	55	97	10.0	24	123	17.6	27	15.4	35.0	3 12.5	9	8	16	41.7	33.3	0.0	0.0	25	28.2	32	39	24.4	0
	48	24	7.0	0.0	11 9.3	36	2.9	10	3 23.1	25	3 12.5	7.1	12.5	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	10	12	6.3	5,5	14	0
	15	3.1	9 2.6	0.0	1.7	10	r &	ro es	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	3, 9	2.7	2.2	3. 4	0
	35	12	23	0.0	3.4	29	5.9	5.2	0.0	13	5 20.8	7.1	3 18.8	3.1	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2	9.7	11 9.9	4 4	5.0	0
	101	23	77 22. 5	10.0	22	73	9 17.6	12.4	15.4	47	5 20.8	13			33.3	0.0	0.0	0.0	9.2	23	33.3	11 12.1	16.0	0
	138	43	94	10.0	35	96	7 20.6	30.1	7.7	53	5 20.8	22	0.0	7 21.9	3 25.0	33.3	0.0	0.0	51	27	18	22 24.2	20	0
専門的な 技術や資 仕号 格が生か たた せるから	127	57	68	20.0	27.	96	11.8	70	8 61.5	32	3 12.5	12 21. 4	6.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	17 14. 3	19	22	28	34. 5	
単技格也	17	195	342	10	118	395	34	153	13	234	24 100. 0	56 100. 0	16	32	12 100.0	3 100.0	4 100.0	0.0	119	103	111	91	119	4
金	547 100. 0	16	2	_																			1	
	5-	10	10	1	8	パない		·技術的業務	管理的業務	事務的業務		業務		通信業務	光務								0歳以上	
	やりたい 自分の語 賃金水種 おずらわ 超入・枚 正社員と 今の会社 そのた (事務 が強いか) しい人間 人に動け でに社員 ためも 無回答 (事務 が強いか) しい人間 人に動け でに社員 ためら (事務 が強いか) しい人間 人に動け でになりた 日・時間 ら 間係が嫌 られたか る確認な になりた 等)にあ 等)にあ たから たいたから ちかったか ちゅう たから かいたから ちゃくかい かったか ちゅう たから たいから ちゃくかい ちゃくかい ちゃくかい しゃくかい ロー・ファイ (事務・1) しゃくかい しゃくかい ロー・ファイ (事務・1) しゃくかい ロー・ファイ (事務・1) しゃくかい ロー・ファイ (事務・1) しゃくがい ロー・ファイ (事務・1)	中やりたい 自分の都 資金水準 わずらか 知人・夜 正社員と 今の会社 その他 無回答 無回答 (金水準) かん 別 人・ 一般の では かん 一般の 無回答 無回答 (本) 日本	やりたい 自分の額 資金水準 わずらか 知人、変 正社員と 今の会社 その位 無回答 無回答 方面 25.2 18.6 6ヶ月	(4年だつ 6 988	(中華だつ 自) (中華	(4) (2015年 日 1987年 日	(4) (17% 日 10 2)	(4) (1777) (17	(中華だつ 1997	(中華で) 日本の	(中央で) に対して (中央の)	(4年でも) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年	(4) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (17	(中学で) (2.90 (2.9	(中学で) (中学の	19 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(中学で) (1970年	19 19 19 19 19 19 19 19	(2.17) (1.17)	Character Char	Column C	Column C	Column C	Column C

										上段:	上段:件数 下身	下段:構成比					上段	上段:件数 下息	下段:構成比
							問5(1) 維統勤務期間	売勤務期間								間5(2) 更業	更新回数や通算勤続年数の上限設定 (複数回答)	(動能年数の 回答)	上限設定
		全体	3ヶ月未満	3ヶ月以上 6ヶ月未満	6ヶ月以上 12ヶ月末 満	1年以上3年未満	3年以上5 年末清年	5年以上10 1 年未満 2	10年以上 2 20年未満	20年以上 第	無回答	平均 (年)			金体	更新回数 に上限が 設定され ている	画算勤続 年数に上 限が設定 されてい る	設定され ! ていない	無回答
	一十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	547 100. 0	14	14 14	61 61	165 30. 2	104	107	54 9.9	0.9	23	4.4		中	547	31.1	31. 4	284	35
	男性	195								1.0	11 5.6	4.3		男性	195			124	10
世別	女性	342		2.		325		62	35	0.0	2.3	4.4	世別	女性	342	123	129	155	21
	無回%	100 0	0.0	0.0	10.0		10.0	20.0	20.0	0.0	40.0	7.5		無回%	100.0	10.0	10.0	50.0	4 40.0
米	加入している	118	4.2	1.7	13.6		22	18 15.3	11.9	0.0	3 2.5	3, 9	米	加入している	118	33.1	42	60	11 9.3
亀絽	加入していない	395	9 2.3	3 3.0				84 21.3	38	1.3	3.8	4.6	働組	加入していない	395	124	124	207	17 4.3
√ □	無回物	34	0.0	0.0	0 17.6		2.9	14.7	5.9	0.0	14.7	3. 2	⟨□	無回%	34	7 20.6	17.6		7 20.6
	専門的・技術的業務	153	4 2.6	3.9	21 21	52	24	22	14	3, 3	3.3	4.6		専門的・技術的業務	153	38	30	92	12 7.8
	管理的業務	13	0.0	0.0				23.1	15.4	0.0	7.7	5. 1		管理的業務	13	30.8	0.0	8 61.5	7.7
	事務的業務	234	3.4	3 3			51	41	24	0.0	2.1	4.2		事務的業務	234	100	115	36.3	10
現六	販売業務	24	0.0	4.2	1 4.2	8.3	16.7	11 45.8	3 12.5	0.0	8.3 2.2	6.0	現六	販売業務	24	3 12.5	16.7	16	3 12.5
# O #	サービス業務	56 100.0	3.6	1.8	11 11 8	13	9 16.1	14 25.0	8.9	0.0	1.8	4.1	# O #	サービス業務	56	15 26.8	15	37	1.8
茶茶氏	保安業務	16 100.0	0.0	6.3	0.0	31.3	7 43.8	6.3	0.0	0.0	12.5	2.6	茶茶内	保安業務	100.0	25.0	25.0	10 62.5	0 0.0
(松)	運輸・通信業務	32 100.0	0,0	3.1	0.0	21.9	9,4	13	15.6	0.0	9.4	5.7	〉	運輸・通信業務	32	6.3	3, 1	27	9.4
	生産工程・労務	12 100.0	0.0	8.3	2 16.7	33.3	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	3.3		生産工程・労務	12 100.0	3 25.0	16.7	8 86.7	8.3
	その他	3 100.0	0 0	0.0	33.3	33, 3	33, 3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3		その他	3 100.0	33.3	33, 3	33.3	0.0
	無回答	4 100. 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		無回答	4 100.0	0.0	0.0	0.0	4 100.0
														3 ヶ月未満	3 100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
														3 ヶ月以上6 ヶ月未 満	100.0	25.0	0.0	75.0	0.0
														日49	78	5.1	9 11. 5	62 79.5	7.7
													契約	6 ヶ月超12ヶ月未満	100.0	40.0	20.0	3 60.0	0.0
													野田	1 年	342	120 35.1	34.2	168	13
														1 年超3 年以下	100.0	30 46.9	29 45.3	34.4	7 10.9
														3 年超	18	8 44.4	13	27.8	0.0
														無回答	29	13.8	10.3	15	31.0

					(7) c[H]	問5(2) 連算 観纜 年数の 上吸	数の上限			
	全体	1 年	2 年	3 年	4 年	2 年	5 年超10 年以下	10年超	無回答	平均 (年)
中	172			3				7		4.5
	100.0	4.1	1.7	20.9	7.0	55, 8	7.0	Τ.	2.3	
単	42	3	0	12	6	20	3	1	0	4.5
_	100.0	7.1	0.0	28.6	7.1	47.6	7.1	2. 4	0.0	
4 4 4	129	4	33	24	6	75	6	1	4	4.5
	100.0	3.1	2.3	18.6	7.0	58.1	7.0	0.8	3.1	
# 回 %	1	0	0	0	0	1	0	0	0	5.0
to III	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
71.7	42	2	0	L .	I	97	9	I	0	4.8
_	100.0	4.8	0.0	16.7	2.4	61.9	11.9	2.4	0.0	
多 セメートンない	124	ιΩ	es	28	11	99	7		4	4.4
`	100.0	4.0	2.4	22. 6	8.9	52.4	5.6	0.8	3.2	
無回然	9	0	0	1	0	9	0	0	0	4.7
E Film	100.0	0.0	0.0	16.7	0.0	83, 3	0.0	0.0	0.0	
専門的・技術的	30	3	I	L	3	12	4	0	0	4.1
業務	100.0	10.0	3.3	23.3	10.0	40.0	13.3	0.0	0.0	
作曲や物体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
THE WAY	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
東路化雅路	115	1	_	23		73	9	_	n	4.6
-F-173 H-1 745373	100.0	0.9	0.9	20.0	6.1	63.5	5.2	0.9	2.6	
操	4	0	0	0	0	4	0	0	0	5.0
_	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
キーアン特別	15	60	0	4	2	4	1	0	1	3,5
	100.0	20.0	0.0	26.7	13.3	26.7	6.7	0.0	6.7	
来 佐 中 非 辞 と 日 中 非 辞	4	0	0	0	0	3	1	0	0	6.3
_	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	
次 油酸。油印券效	1	0	0	0	0	0	0	I	0	15.0
_	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
子掛十 铝 多 珍	2	0	_	1	0	0	0	0	0	2.5
工座上位。刀物	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
4の套	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3.0
]	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
第四条	0	0		0	0	0	0	0	0	0.0
	0	0								

						間5(2)) 更新回数の上限	の上限			
		金体	回 0	1 回	2 回	回 8	47	5 E	平/四 9	無回答	平均 (回)
	恒	170		1 25			38	27			
1	田本	100.0	ó			19.4	7	10.9	7	.7	3.8
1	1	100.0	0.	9	21	23	15.2	21.7	6.	4.	
温量	女性	123	Ö	1 22 8 17.9	22.8	17.9	31 25.2	13.0	0.8	1.6	3, 0
	無回答	100 0				0	0	1000		0	5.0
1	甘木一トごス	39	5			S			5	5	3. 1
宋 :	の、ハコン脈	100.0	0.	17	30		15	12.8	2.	0.	
侧架	加入していない	124 100. 0	0	1 18 8 14.5	24	23	30	21 16.9	2.4	3.2	3, 3
√□	無回答	7 100.0	0.	0 0	28.6	28.6	28.6	1 14.3	0.0	0 0.0	3, 3
	専門的・技術的業務	38	0.	0 6	23.7		10	5.3	1 2.6	2.3	3.0
	管理的業務	100.0	0.	0 0	0 0 0	50.0	0.0	0.0	1 25.0	1 25.0	4.3
	事務的業務	100	-	1 11			26			1 1.0	3. 2
東	販売業務	3 100.0	o'					-	· o	0	5.0
# O #	サービス業務	15	0.	0 60.0					0.0		2.3
* 篠虫	保安業務	4 100.0	0.		0 0 0	0.0	0 0	75.0	1 25.0		6.3
- ※	運輸・通信業務	2 100.0	0.	0 0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	1 50.0	0.0	8.5
	生産工程・労務	3 100.0	0				0 0	0.0			1.7
	その他	1 100.0	0	0 0	1 100.0	0.0	0 0	0.0	0.0	0.0	2.0
	無回%	0 0	0			0	0.0	0.0	0	0	0.0
	3 ヶ月未満	0 0	0.			0.	0.0	0.0	0.0		0.0
	3 ヶ月以上6 ヶ月未満	100.0	0	0 50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	3.0
	6 ヶ月	4 100. 0	0.	0 0	25.0	0 0	75.0	0.0	0.0	0 0	3, 5
契約	6 ヶ月超12ヶ月未満	2 100.0	0	0 0 0	90	90	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
期間	1 年	120 100. 0	0.	0 11	15 12.5	29	34 28.3	19.	3.3	3.3	3.6
	1 年超3 年以下	30 100. 0	0.	0 11	17 56. 7	0.0	0.0	6.7	0.0	0 0	1.8
	3 年超	8 100.0	12.	1 1	25.0	25.0	1 12. 5	12.5	0.0	0.0	2.5
	無回%	100 0	U	0 1	2	1 05 0	0	0	0	0	2.0

L							間6 現在の	在の業務内容		山	- 体数	卜段:精成比
		金体	專門的 • 技術的業 務	管理的業 務	事務的業 務	販売業務	サービス業務	保安業務	運輸・通 信業務	生産工 程・労務	その街	無回答
<u> </u>	相包	547	153	13	234	24	56	16	32	12	3	4 0.7
	男性	195	9 8	1	31		21		31	c		0
¥	_	342	32. 3	6.2	15.9		33	,	15.9	3,0	0.0	0.0
區	一女件	100.0	25	0.3	58.8	23	9.6	0.3	0.3	1.5	0.0	0.0
	無回%	100 0		0 0	20.0	0 0	2 2	0 0	0 0	0 0	0 0	40 07
*	加入している	118	2.4	0		-	12	0	- 61		0	0
毫 8	加入していない	395					40					
桜〈	_	100.0	29. 6	3,	36	5.	10.1		4.	3.0	0.	0.0
ŲΠ	第回答	34	20.6	0.0	17 50.0	0.0	11.8	0.0	2.9	0.0	2.9	11.8
L	泰禄報	22	1				1	0		1		
		100.0		13.	18.2	0	4.5	0.0		4.	0.0	0.0
	製造業	100 0	17	- 2	14.3	1 2 6	0	0 0	3 6	3	0 0	0
	Color days vive Coloradio.	39				5	0.0	0.0			0	
	信報通信業	100.0	33	0.	29	23	0.0	0.0	ī,	0.0	0.	0.0
	運輸業	38		0	8	0	0	0		2	0	0
		100, 0	2.	0.	21.	0.	0.0	0.0		5.		0.0
織角	カ 卸売・小売業	24		0	9		1	0	0	0	0	
₿ #		100.0	99.		.c2	.16	4. 2	0.0				0.0
4 6	金融・保険業	100.0	2 6	5.6	85	16.7	5.6	5.6	0 0	2.8	0.0	0.0
111	報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報	13					0		0		0	
100円	_	100.0	7.	7.7	76.9	7.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業務	g 飲食店、宿泊業	9 001	1 16 7	0 0	1 16 7	0 0	50 0	0 0	0 0	16.7	0 0	0 0
K. 1	医蜂 海沖	120					23			2	0	
₩	, W.	100.0	37.5	0.8	40.0	0.	19.2	0.0	0.	1.7	0.0	0.0
	教育、学習支援業	95	34	3.2	57 60.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ナーアン業	78	12	1 1 3	19	5 2	24	14	1 2	2 9	0	0
	12	40					1		-			
	その他	100.0	15.	0.	72	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	7.5	0.0
	無回%	8			L		0			0	0	i.
J		100.0	0.0	0.0	50.0	0	0.0	0.0	0.	0.0		90.0

L					(1) 4開	通所	定労働時間				間7位	間7(2) 交通費の支給	大松					問7(3) 賃金形態	/態		
		弁	30時間未満	30時間以 上35時間 未満	35時間以 上40時間 未満	40時間	40時間超	無回%	平均 (時間)	全額支給	朝支給	支給され ない	その他	無回答	報	架田	月給	年俸	歩合制	その他	無回%
	中	547	26	22	219	189	61	30	38.4	425	43	61	7	11	118	35	326	50	5 0	0	13
Ħ	71	195				85	117	11	6 68	146			1: 0	2,0					ò	5	
.,	34年	100.0	ć	3.6	30	43.6	13.8	5.6		74.9	10.8	12	0.5	1.5	25	7.2	Ľ	10	2.	0.0	.6
켚	1-4-H	342	18	14		102	32	18	38.0		22		9	7	9		222	30	0	0	
	Ħ	100.0	5.3	4.1	46.2	29.8	9.4	5.3		79. 2	6.4	10	1.8	2.0	19.0	5.8		00	0.0	0.0	ï
<u>₹</u>	無回然	10		1	2	2		1	36.3		0									0	
		100.0	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0	10.0		80.0	0.0	10.0	0.0	10.0	40.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	10.
_	加入している	118	1	8	45	39	16	6	38.8	85	13	17	0	3		3		9	9		
_	0 . 0 . / 10	100.0	0.8	6.8	38.1	33. 1	13.6	7.6		72.0	11.0	14	0.0	2.5	21.2			5. 1	4.2	0.0	4.
毫:	加入していない	395			164		38	19	38.2	314		4	9	9		23	232		0		
_		100.0	5, 8	3.5	41.5	34.7	9.6	4.8		79. 5	6.6	10.9	1.5	1.5	21.8			10.4	0.0	0.0	1.8
_		34		0	10			2	39.3	26			1	2						0	
		100.0	5.9	0.0	29.4	38. 2	20.6	5.9		76. 5	11.8	2.9	2.9	5.9	20.6	8.8	58.8	8.8	0.0	0.0	2.9
2	東田於, 抹絲的業務	153	9	9	48	65	20	10	39. 2	117		19	1	4	91	17	92	23	0	0	ľ
	T1 140 1X 11140 3K320	100.0	3, 3	3.3	31.4	42.5	13. 1	6.5		76. 5	7	12. 4	0.7	2.6	10.5	11.1	60.1	15.0	0.0	0.0	3, 3
4,8	等相化物效	13	П	1	3	7	1	0	38.0	13	0	0	0	0		0	6	4	0	0	
	B CEH J WOLD	100.0	7.7	7.7	23.1	53.8	7.7	0.0		100.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	69. 2	30.8	0.0	0.0	0.0
~	用数价缴额	234		10			21	6	37.3	195	13	19	23	5	42	9	161			0	•
	TO THE TAKEN	100.0	8. 1	4.3	55.6	19.2	9.0	3.8		83, 3	5.6		0	2. 1				9, 0	0.0	0.	1.
_	田 中 神 禁 終	24			7	11		1	39.9	17		n	23	-				0	0	0	_
_	WAS ELVESTON	100.0	0.0	0.0	29.2	45.8	20.8	4.2		70.8	4.2	12.	8.3	4.2	41.7	4.2	54.2	0.0	0.0	0	0.0
	キーアン特殊	56	0	63	18	30	4	2	39.2	38		∞	63		16	10			0	0	
_		100.0	0.0	3.6	32.1	53.6	7. 1	3.6		67.9	12.5	14.3	3.6	1.8	28.6	8.9	58.9	1.8	0.0	0.0	1.8
茶茶	佐 少	16		2	0				41.9	15		0	0	0						0	
_	No.	100.0	0.0	12.5	0.0	25.0	31.3	31.3		93.8	6.3	0.0	0,0	0.0	25.0	6.3	56, 3	6, 3	0.0	0.0	6, 3
_	運動・運動業務	32	0	23	1	23	33	3	39.9	14	7	11	0	0	2	2	1	_	E	0	
_	WEATHER WELL	100.0	0.0	6.3	3.1	71.9	9.4	9.4		43.8	21.9	34.4	0.0	0, 0	68.8	.9	3, 1	0.0	15.6	0.0	. 9
~	午藤工舞・光瀬	12						0	37.6	П			0								_
- 1	W 60 mm	100.0	0.0	0.0	66.7	33, 3	0.0	0.0		83, 3	8.3	8.3	0.0	0.0	58.3	0.0	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0
- 1	その街	3		0		0		0	39.6			0	0				1	0	0	0	_
	1	100.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33, 3	0.0		66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33, 3	0.0	0.0	0.	0.0
en-	無回%	4				0	1		35.1	4	0	0	0							0	
		100.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0		100.0	0.0		0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0		0.0

			問7(4) 10	10月に支払む	>れた賃金!	額 (税込)		l	間7(5)	賞与・一時金	静金					間7(5) 今	今夏の賞与・	与・一時金支給額	額 (税込)			
金	10万円未 満	未 10万円以 上15万円 未満	15万米	7円以 20万円以 30万円以 30万円以 上30万円 上	用以 30.7 5円 上	巣		平均 秒 (万円)	\$5 \$	ない	無回物	金体	1万円未満	1万円以上 10万円未 満	10万円以 上20万円 未満	20万円以 上40万円 未譲	40万円以 上60万円 米満	60万円以 上80万円 未満	80万円以 上100万円 未満	100万円以 上	無回答	平均 (万円)
	547	6		144	218	91	39	23.2	280	252	15	280	4	22		96	33	15	2	9	20	26.6
	100.0				39.9	16.6	7.1		51.2	46.1	2.7	100.0	1.4	20.4	17.1			5.4	0.7	1.8	7.1	
	195	0	15	28	16	22	9	56.9	92	96	7	76	3	21	3		8	9	1	8	3	25.7
	0.001	0.0	7.7	14.4	46. 7	28. 2	3.1		47.2	49.2	3.6	100.0	3, 3	22.8	23	28.3	8.7	5.4	1.1	3, 3	3.3	
	342	7	30	115	125	35	30	21.1	183	153	9	183	1	34	25	69	3 25	6 9	1	2	17	27.2
	100.0	2.0		33.6	36, 5	10.2	8.8		53, 5	44.7	1.8	100.0	0.5	18.6	13.7	37.7	7 13.7	4.9	0.5	1.1	9.3	
	10	2	1	1	2	1	33	17.6		3	2	5	0	2					0	0	0	23.0
	100.0	20.0	10.0	10.0	20.0	10.0	30.0		50.0	30.0	20.0	100.0	0.0	40.	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
	118	0	6	39	20	6	11	50.9	7.4	39	5	74	1	18	11	25	5	4	0	1	6	23.6
	100.0	0.0	7.6	33.1	42. 4	7.6	9.3		62. 7	33.1	4.2	100.0	1.4	24.3	14.9	33.8	8 .9	5.4	0.0	1.4	12.2	
	395	8	35	36	154	80	26	24.2	185	202	8	185	3	35	32	19	7 24	6 1	2	4	6	27.8
	100.0	2.0		23.3	39. 0	20.3	6.6		46.8	51.1	2.0	100.0	1.6	18.9	17.3	36.2	13	4.9	1.1	2.2	4.9	
	34	1	2	13	14	2	2	20.1	21	11	2	21	0	4	9	4	1 4	2	0	0	2	26.4
	100.0	2.9	5.9	38.2	41.2	5.9	5.9		61.8	32.4	5.9	100.0	0.0	19.0	23.8	19.0	19.0	9.5	0.0	0.0	9.5	
	153	1	4	28	46	28	16	29.4	53	96	4	23	1	9	8	17	7	L .	1	8	3	37.4
	100.0	0.7	2.6	18.3	30.1	37.9	10.5		34. 6	62.7	2.6	100.0	1.9	11.3	15.1	32. 1	13.2	13.2	1.9	5.7	5.7	
	13	0	0	2	D	9	0	35.9	9	7	0	9	0				0	1	0	2	0	62.0
	100.0	0.0	0.0	15.4	38. 5	46.2	0.0		46.2	53.8	0.0	100.0	0.0	0.0	16.7	33, 3	3 0.0	16.7	0.0	33, 3	0.0	
	234	7		72	100	14	17	20.3	145	81	∞	145	eo.	26	13		. 7			0	14	27.4
	100.0	3.0 10	10.3	30.8	42.7	6.0	7.3		62.0	34.6	3.4	100.0	2. 1	17.9	9	40.0	15.9	4.8	0.7	0.0	9.7	
	24	0	0	8	11	4	1	22.2	16	∞	0	16	0	2	5		0 0	0	0	0	0	19.8
	100.0	0.0	0.0	33, 3	45.8	16. 7	4.2		66. 7	33, 3	0.0	100.0	0.0	12.	31.	56, 3	3 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	56	0	22	25	20	65	က	19.5	25	28	60	25	0		00	7	7	0	0	0	3	18.7
	100.0	0.0	8.9	44.6	35. 7	5.4	5.4		44. 6	50.0	5.4	100.0	0.0	20.0	32.0	28.0	8.0	0.0	0.0	0.0	12.0	
	16	0	2		10	2	1	22.5	es	13	0	3	0	2	0	-	0	0	0	0	0	13, 3
-	100, 0	0.0	12.5	6.3	62.5	12. 5	6.3		18.8	81.3	0.0	100.0	0.0	.99	0.0	33, 3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	32	0	4	23	21	4	1	22.7	20	12	0	20	0	6	11	9	9	0	0	0	0	9.6
	100, 0	0.0	12.5	6,3	65.6	12. 5	3.1		62, 5	37.5	0.0	100, 0	0.0	45.0	55.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	12	0	9	ιΩ		0	0	15.4	8	4	0	8	0		1	1	0	0	0	0	0	6.5
	100.0	0.0	50.0	41.7	8.3	0.0	0.0		66. 7	33.3	0.0	100.0	0.0	75.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	60	0	0		2	0	0	21.7	1	2	0		0	0			-	0	0	0	0	50.0
	100.0	0.0	0.0	33.3	66. 7	0.0	0.0		33, 3	66.7	0.0	100.0	0.0	0.	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			1	0	63	0	0	16.5	8	1	0			1								15.0
-	100.0	25. 0 25	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0		75.0	25.0	0.0	100.0	0.0		33, 3	33, 3	3 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

							(9) 4目	年収	見込額 (税込)	((1)	7) 退職金制	湘度			間7(8) 定	定期健康診断	
		金	200万円未 満	₹ 200万円以 上300万円 未満	以 300万円以 円 上400万円 未満	9以 400万 5円 上500 未満	400万円以 500 上500万円 上6 未満 未消	500万円以 6 上600万円 1 未満	600万円以 上700万円 未満	700万円以 上800万円 未満	800万円以 上	第回%	平均 (万円)	88	ない	かか い	わからな 無 い	無回物	\$2	ない	わからな い	無回%
	一十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	547	65		205	134	57	22	10	9 1.1	1	6 42	2 307.1		79	418	32	18	506	26	4	11 2.0
	男性	195				47	28	14	9	9		10.0	8 353.			156	10	9	173	14		i
世記	女性	342		91		87	29	7 0 0	9.1	0 0	9 0	i o	13 282.	7		254	21	110	326	10		
	無回%	100.0	50.	0 2 4	0 8 0		0.0		0.0	0	0	10.	1 189.	1 0	. 0 0	80.0	10.0	10.0	7 7	20.02		10.0
	加入している	118	12	5 7 41	9	27	14	1.7	1.7	0.0	0.	0 7.0	9 283.	1 15	23	78 66. 1	10	7 5.9	113	1 0.8	0.0	
働組	加入していない	395	47		6, 2	100	42 10. 6	18	8 2.0	9 1.5	9 1.5	5 29	316.	ıc	46	321	19	9 2.3	362	23	1.0	
4	無回答	34	∞i	3 50	7.	7 20.6	2.9	5.9	0.0	0.0	0.0	11.	4 279. (6 29.	0 4	19	8. 8.	5.9	31	5.9	0.0	61
	専門的・技術的業務	153	4	7 6 29	15	31 20.3	21	15	10	2.6	23	4 10.1	16 375.8		24	117	6 2	3	138	10	1.3	23
	管理的業務	13	o	0 0	23	3 3 1	2 15.4	7.7	0.0		15.	2 4	1 485.7	3 23.	3	10	0.0	0.0	12 92, 3	7.7	0.0	
	事務的業務	234	14.	5 36	10 60	70	20	1.7	0.0	1 0.4	0	0 20	278.	6	32	183	8 4 8	11 4.7	221	3.0	0.0	61
現十	販売業務	24	4	1 2 41.	0.7	10	3 12.5	0.0	0.0	0.0	0.	0.	0 300.	7	11 45.8	10	3 12.5	0.0	23	4.2	0.0	0
,	サービス業務	56	16.	9 1 53	9	10	5.4	3.6	0.0	0.0	0		2 261.7 6	7	t- 10	41	6 10.7	3,6	53	3,6	0.0	
未禁巾	保安業務	16	6.	1 62	0 10	3 3 3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.	0 0	1 283. (0	0.0	13	6.3	12.5	14 87.5	0.0	1 6.3	1 6.3
	運輸・通信業務	32	12.	4 1 5 46.	2 6	6	6 18.8	0.0	0.0	0.0	0.	9.	1 282. 1	∞	3.1	30	3.1	0.0	31	3, 1	0.0	0
	生産工程・労務	12	58.	7 25.	3.0	1 8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	1 195.3	2	8.3	9 75. 0	2 16.7	0.0	8 66. 7	3 25.0	1 8.3	
<u> </u>	その街	3 100.0	.0	99 0	2.7	0.0	33, 3	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0 285.	m	0.0	2 66.7	33.3	0.0	3 100.0	0.0	0.0	.0
	無回答	100 0	50.	2 0 50.	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.	0.	0 177.5		0.0	3 75.0	1 25.0	0.0	75.0	1 25.0	0.0	0.0

				四(9) 備利	引厚生制度		_	回(10) 無用		<		4	Man (11) Man No.	THE VALUE		
		舟	& %	**************************************	わからな い	斯 如	加入している	加入して いない	わからな い	無回答	会社の健 機保険に 加入して いる	配の の を を を を を を を を を を を を を	自分で国 民健康保 険に加入 している	加入して いない	わからな い	無 を を
1	444	547	380	95	46		466		20	20	478			8	2	11
	1 B 1	100.0	69. 5	17.4	8.4	4.8	8	7.5	3	3. 7	87.4	2.6	6.2	1.5	0.4	2
ľ	無本	195	124	42	21	8			7	8	163		2	4	1	
	20 III	100.0	63. 6	21.5	10.8	4.1	81.0	11.3	3.6	4. 1	83.6	0.5	11	2. 1	0.5	2.
世	44	342	253	49	23		30	16	13	11	308	12	11	4	1	
_	1	100, 0	74.0	14.3	6.7	ES	88. 3	4	3.8	3, 2	90.1	3,5	3	1.2	0.3	1.
#1	第回物	10	8	4					0					0	0	
+		100.0	30.0	40.0	20.0	10.0	60.0	30.0	0.0	10.0	70.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0
_	加入している	118	96	6	7		103		2	9	104			1		
宋:	0.1.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0	100.0	81.4	7.6	5.9	5. 1	80	3.4	4.2	5, 1	88.1	2.5	5. 1	0.8	0.0	3,
_	加入していない	395		83	34				14		345	10		7		
_	OH	100.0	66.3	21.0	8.6	4.1	84.3	9.1	3, 5	3.0	87.3	2	6.6	1.8	0.5	1.
	第回終	34	22	3	5		0.5		1		29			0	0	
,		100.0	64. 7	8.8	14.	11.8	88. 2	2.	2.9	5.9	85.3	2.9	5.	0.0	0.0	5, 9
100	市田份, 共添的攀黎	153	107	32		9		16	8	4	130		13	4	0	
•	2	100.0	69. 9	20.9	5.2	3.9	81.7		5.2	2.6	85.0	1.3	8	2.6	0.0	2.6
2(0	华祖尔梯袋	13	11	2	0				0		12			0	0	
-	H CHILL MANA	100.0	84. 6	15.4	0.0	0.0	.69	23.	0.0	7.7	92.3	0.0	7.	0.0	0.0	0.0
M	非務的業務	234	175	30	17		20	10	2	10	202		80	4	1	
	222	100.0	74.8	12.8	7.3	5. 1	89, 3		2.1	4.3	87.6	4.3	3.4	1.7	0.4	2.6
_	操網作品	24	19	3	1		64	1		0	23			0	0	
3 #	WAS LINE DO	100.0	79. 2	12.5	4.2	4.2	95.8		0.0	0.0	95.8	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	特殊ペート	56	38	8	8	2	4	4	2	2	53		2	0	0	
_	*	100.0	67.9	14.3	14.3	3.	85. 7	7.1	3.6	3.6	94.6	0.0	3.	0.0	0.0	1.8
大統	然縣 40 m	16	9	9	2	2	15	0	0		16	0	0	0	0	
_	(100.0	37.5	37.5	12.5	12.5	93. 8	0.0	0.0	6.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		32	13	10	8	1	23	4	8	2	25	0	7	0	0	
_	W 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100.0	40.6	31.3	25.0	3. 1	71.9	12.5	9.4	6.3	78.1	0.0	21.9	0.0	0.0	0.0
47	中部一部· 沿線	12	9	3		2			1	0	80			0	1	
1	7 11 11	100, 0	50, 0	25.0	8, 3	16.7	75.0	16.7	8.3	0.0	66.7	0.0	25.0	0.0	8,3	0.0
17	その街	3		0	0	0	2		1	0	3			0	0	
	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	.99	0.0	33, 3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
#	第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4		1	1					0				0		
_	ı I	100.0	50.0	25.0	25.0	0.0	75.	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

L				問7(12)	間7(12) 公的年金への加入	-の加入			1812	上段: 問7(13) 就業規則	茶	下段:構成比
		供 条	厚生年金 に加入し ている	国民年金に加入している	加入して いない	わからな い	第回参	契約社員 用の就業 規則が適 用される	正社員の 就業規則 が準用さ れる	就業規則 はない	わからな い	無回答
_	44	547	44		25	21	16	375		6	45	6
	пп	100.0	81.5	7.1	4.6	3.8	2.9	9	19.9	1.6	8	1.6
_	無体	961			16	9	5		45	4	13	3
	_	100.0	80.0	6.7	8.2	2.6	2.6	9	23.1	2. 1	6.7	1.5
켚	#4 P	342	284	22	7	16	10	238	63	5	31	5
嵌	_	100, 0	83.0	7.3	2.0	4.7	2.9	69.6	18.4	1.5	9.1	1.5
	第回%	01				0	1			0	1	
		100.0	60.0	10.0	20.0	0.0	10.0	70.0	10.0	0.0	10.0	10.0
	4131717	118	88	6	4	12	5	74	25	2	14	3
₩,	_	100, 0	74. 6	7.6	3.4	10.2	4. 2	62.7	21.2	1.	11.9	2.5
毫	り加えしていかい	395	332	25	20	6	6	284	74	7	25	5
凝	_	100.0	84. 1	6.3	5.1	2.3	2.3	71.9	18.7	1.8	6.3	1.3
ŲΠ	4回%	34		9	1	0	2		10	0	9	1
	WHEN THE	100, 0		14.	2.9	0.0	5, 9	50.0	29.4	0, 0	17.6	2.9
	東門於, 抹術的業務	153	118		11	4	5		.,	4	18	4
	THE THE STREET	100.0		9.8		2.6	3, 3	59.5	23.5	2.6	11.8	2.6
	が曲や機器	13			0	0	0	6	4	0	0	0
	II ATELIA MANA	100.0	92, 3	7.7	0.0	0.0	0,0	69.2	30.8	0.0	0.0	0.0
	事務的業務	234					10					4
	T WATER MANA	100.0	82. 1	6.4	2.1	5. 1	4.3	71.8	19.2	0.9	6.4	1.7
퍫	操業	24			1		0		8	1	0	
1		100.0	83. 3	4.2	4.2	8.3	0.0	62.5	33, 3	4.2	0.0	0.0
16	・キーアン継続	99	4			1	1			1	9	1
排		100.0	85.7	5.4	5.4	1.8	1.8	75.0	10.7	1.8	10.7	1.8
禅	2 化安排路	16			0		0		4	0	2	0
* K	_	100, 0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	25.0	0,0	12.5	0.0
. 14	探禁与声・響声 3	32		3	2	1	0			0	0	
		100.0	81.3	9.4	6.3	3.1	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	中華工程・光路	12			60	1	0					0
	- 1	100.0	66.7	0.0	25.0	8.3	0.0	75.0	8	8.3	8.3	0.0
	その街	3			0		0				2	0
	!	100, 0	100.	0.0	0.0	0.0	0.0	33, 3	0.0	0.0	66.7	0.0
	第三条	4					0					
		100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0

	F			[]8[]	a	契約期間<通知の状況	小沼>			間8(1) 契約	契約期間<実態。	く放送の子		H	間8(2) 就業場	時所及び従事す	る業務	<通知の状況)	_	間8(2)	就業場所及(上 が従事する	: IT-XX 係<実態	「校:梅以び :との差異>
		金体	契約締結時に 通知された	計略に れた	契約締結後に 通知された	結後に された	現在も明確でない	無回%	同じだっ た	少し崩りたいた	まったへ 隣ってい	わからな い	無回答	契約締結時に 通知された	結時に 5れた	契約締結後に 通知された	١.	在も明 でない	無回答	同じだっ た	達た	味った。	26	無回%
			文書にて「	ロ頭にて	文書にて	口頭にて					4			文書にて	ロ頭にて	文書にて	口頭にて							
	中	547	463		38	7	•	4 16	3 444	28	60 1	71	55	415	79	38	14	0	18	413	61	11	•	3 59
		100.0		4.4		Ö	'n	7			Ö			140			7	ó				7	o.	
男性	411	100.0	80	6.7	5.6	0.5	1	0 4.1	∞	2,6	1.0	2.6	11.8	76. 4	11.8	5.6	1.5	0.0	4.6	∞	7.2	1.5	0.	5 10.8
女性	#1	342											30	260					8	248				
1	1	100. 0		2.9		0.3	0	0 2.0	7 81.0	6.4	0.3		×. ×.	76.0	10.5	7.9	3.2	0.0	2.3	72.5	13.7	2.3	0.6	10.8
II K	中山	100.0	80.0	10.0	0.0	0.0	0.	0 10.0	70.0	10.0	0.0	0.0	20.0	60.0	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0	0,0	0.0	0.0	10.0
√111/	加入している	100.0	100	00 14	10	0	U	1 4	93	9	2	1	10 6	85	13	10.9	60 13	0	5	80	17	, ,	0	0
Y. 114	10.4	395			27	ò	ó				1.7			303		24	. 7	ó	11	310	14.			
/III/	へしていない	100, 0	8	5.1	6.8	0.3	0.	8 2.5	5 82.5	2	0.3	3.8	8	76. 7	11	6	2	0.0	2.8	78.5	10.4	1.8	0.	5 8.
単	無回答	34	29	2.9	2.9	2.9	0.0	5.9	25 25	2.9	0.0	2.9	7 20.6	79. 4	8 8	5.9	0.0	0.0	5.9	23	es oc	0.0	2.	1 7 9
田井	展開於, 抹徐於業務	153		6	13	0		و	3 125			9		109	23	10		0	9	116				
F	14.0 1X 113 H 0 3K 133	100.0	81.0	5.9	8	0.0	0.	7 3.9	81.7	3, 9	0.0		10.5	71.2	15.0	6.5	3, 3	0.0	3.9	75.8	12. 4	1.3	0.7	9.8
御	管理的業務	13		-	-								0	=======================================					0	13				
		100.0	~	7.7	7.7	0.0	0.	0.0	10	0	0.0	0	0.0	84. 6		15	0.0	0.0	0.0	100.0		0.	0.0	_
発	事務的業務	234 100.0	86.8	2.6	7.3	0.4	0.	4 2.6	5 82.1	6.8	0.4	2.1	8.5	77. 4	9.8	7.7	2.1	0.0	3.0	73.5	12.0	3.4	0.	0 11.1
販売	(売業務	24	17	2 0	1		1	8 1	3 17	1	2	I	3	17		0		0	2	16		1 0	٥	0
4	Although and the	100.0		5. 4	4.2	0.	4.	12.		4	ó	4.2	12.5	45	12.	0.0	xi.	Ö		90.	TQT	4	0.	2 12.
	- トノ米松	100.0	8	7.1	3.6	1.8	1.	8 1.8	7.8	ć	0.0	8.9	12. 5	80.4	10.7	5.4	1.8	0.0	1.8	7.8	7.1	0.0	3.	6 14.
保	安業務	100 0	15	1 9	0	0	-	0 0	0 15	0	0 0	0	1 8	11	10 5	1 8 3	1 9	0 0	1 6 3	11	£ 8	0 0	0 0	10
羅測	衛・通信業務	32	28		4.	5 6	5 6			5 .		0		25	00 4	000		0 0	1		٠			
1	200 000	100.0	37.5		12.5	0.	0.	Ö	91.		0.0	0.0	a, co	11	9.4	4.0	0.0		3.1	6.78		Ö	0.	ni D
生産	上厘上程 • 为務	100.0	100	0.0	0.0	0.	0.	0.0	.66	8, 3	0.	0.0	25.0	91. 7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	16.	0.0	0.	0 8.
40	から 街	100.0	3	0 0	0.0	0.0	0 0	0 0	2 2	0 0	0.0	0.0	33.3	2 66.7	0.0	33.3	0 0	0 0	0.0	66.7	0 0	0 0	0 0	33
単回	無回%	100 0		25.0											25.0	0 0		0	0 0					
単	司念		75.		0	0	0	0 0		50.0	0 2 -	25.0 0.	25.0 0.0 0.0	25.0 0.0 0.0	25.0 0.0 0.0 25.0 75.	25.0 0.0 0.0 25.0 75.0 25.	25.0 0.0 0.0 25.0 75.0 25.0	25.0 0.0 0.0 25.0 75.0 25.0 0.0 0.0	25.0 0.0 0.0 25.0 75.0 25.0 0.0 0.0 0.0	25.0 0.0 0.0 25.0 75.0 25.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	25.0 0.0 0.0 25.0 75.0 25.0 0.0 0.0 0.0 0.0	25.0 0.0 0.0 25.0 75.0 25.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	25.0 0.0 0.0 25.0 75.0 25.0 0.0 0.0 0.0 0.0 100.0 0.0	25.0 0.0 0.0 25.0 75.0 25.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0

L				間8(3) 就第	就業時間、休憩時間	時間<通知	の状況		開8(3)	間8(3) 就業時間、	休憩時間~	く実態との差異	< 蓄き		間8(4) 休日	日労働、時間外労働		<通知の状況>		間8 (4)	(4) 休日労働、	時間外労働	<実施と	の差異>
		金	契約締結時に 通知された	吉時に れた	契約締結後に 通知された		現在も明 無確でない	無回答	同じだっ た	少し崩り ていた	まったく 踊ってい	わからな い	無回答	製約縮通知さ	契約締結時に 通知された	契約額通知。	契約締結後に 通知された	現在も明確でない	無回答	同じだっ た	少し よいた	まったく 違ったい	わからな い	無回答
			文書にて	V	文書にて口	7					た			文書にて	ロ頭にて	文書にて	ロ頭にて					7		
	4-	547		41	37	8			409	99	18	2	9	419				I			99	91	1	63
		100.0	ω.	7.5	6.8	1.5	0, 5	3.7	74.8	10.2	3.3	0.9	10.8	76. 6	6.0	7.1	2.9	2.9	4.4	72.4	10.2	2.9	2.9	11.5
	男性	195		22	14	4		6	147	19	4	60	22	138	_	1			11		11	4	10	25
1	_	100.0	, -	11.3	7.2	2. 1	0.0	4.6	7	9. 7	2.1	1.5	11.3	70.8	∞		i.c	4.6	5.6		5.6			
번 균	女性	342	284	18	23	4 0	6 0	10	253	37	14	01 99	36	275	14	28	9 6	2 0	12	244.0	43. 0	12.0	6.0	37.0
	阿林	10		1	0	0		1		0	0	5	101	9	ř		4	i	5	7				
		100.0	80.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0	0.0	0.0		10.0	60.0	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	70.0	20.0	0.0	0.0	10.0
3	加入している	118		13	6			9	74	18	∞	0	18	88			2	1						
RI	_	100.0	`	11.0	7.6	2.5	0.0	5.1		15.3	6.8	0.0	15.3	75. 4		Ξ	Ī	0.8	4	9	11	7.6	_	17
€ 5	加入していない			27	58	ıc ,		11	312	35	10	4	34	305	24				16			,		
売 4	_	100.0	00	8.9	9.9	I. 3	0.8	2.8		50 o	2.5	1.0	8.6	77.2		6.	3.0	3, 5	4	75.9	oi.	1.8	2.	9.9
	無回答	100 0	82 8	9 6	7 0	0	0 0	n 00	67.6	n 00	0 0	9 6	9 06	73.5	1 6	2 0 12	7 0	1 6	2 0	20 20	11.8	0 0	ο α α	9 0%
	24E BH 45. ++ 54E 45. 39. 39.	153		13	11	0	0 00		114	15	000	i	14	112		5						2		
	华门的"牧附的来统	100.0	7	8.5	7.2	0.0	2.0	3.9	74.5	9.8	5.2	1.3	9.2	73. 2	5.9	5.2	2.6	6.5	6.5	68.0	12. 4	3, 3	5.2	11.1
	争曲的機器	13		0	63	0	0	0	13	0	0	0	0	10	0	2	0	0	_	12	0	0	0	_
	B ATH JAKIN	100.0	84.6	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0	0.0	76.9	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	92.3	0.0	0.0	0.0	7.7
	非然的禁禁	234		12		G		6	179	23		0	25	186					8					25
	200000000000000000000000000000000000000	100.0	82. 5	5.1	6.4	2.1	0.0	3.8	76.5	9.8	3.0	0.0	10.7	79. 5	4.7	9.4	2.1	0.9	3.4	74.4	10.3	3.8	0.9	10.7
副	販売業務	24			-	П			18	2	1	0		16					_4	18				
#		100.0	2	12.5	4.2	4.2	0.0	8.3	75.0	8,3	4.2	0.0	12.5	66. 7	œ	0	12.5	4.2	8.3	75.0	4.2	4.2	4.2	12.5
9	サービス業務	200	45	9 1	4 -	0 0	0 0		38	9 1		co =	00 0	45	20 0				1	37	9	1 0	4.	00 -
※					1.1	0.0		1.0	10		0.1	9.0			ó	°C	7	7	.,			0.1		14.0
終上	保安業務	100.0	62	12.5	6.3	12.5	0.0	6.3	62.5	18.8	0.0	0.0	18.8	62.5	6.3	6.3	12.5	6.3	6.3	89	18.	0.0	0.	12.5
: k	運輸・通信業務	32	24	4	60	0	0	1	22	9	1	0	33	25	33	3	0	0		26		0	0	4
	Ą	100.0	75.0	12.5	9.4	0.0	0.0	3.1	68.8	18.8	3.1	0.0	9. 4	78.1	9.4	9.4	0.0	0.0	3.1	81.3	6, 3	0.0	0.0	12.5
	午華工程・光路	12			0	0		0	6		0	0							_	6	0			
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	8,3	0.0	0.0	16.7	75.0	8.3	0.0	8.3	8,3	0.0	75.	0.0	0.0	8.3	16.7
	その街				0	0		0	2	0	0	0							_		0	0		_
	!	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33, 3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33, 3
		4		1	0	0	0	0		0	0	0												
		100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0

契約締結時に 連知された 通知された		•		(C) 8回				of		7 X + 0 C K J				回8(b) 近城(c)	STATE OF THE		A THINK
	約に 現在も明た 確でない	無回答	同じだっ Jy た	少し違っ まん ていた 違く	まったく わからな 違ってい い	らな無回答		契約締結時に 通知された			現在も明確でない	1 無回答	同じだっ	少で	まったく 癖ったこ	わからな い	無回答
ロ頭にて 文書にて ロ頭	員にて			41			文書に	て口頭	にて 文書にて	ロ頭に	7				47		
	2			22	2	5		366	18	4	4	0:	35	88		3 121	
4.9 6.8	0.9 0.4	e	83.4	4.0	0.9	0.9	10.8	6.9	3, 3	8.0	0.7 14.	9	6.4 61.	.8	7 0.		14
	10		160	6	8		22	124	12		4	28	61	123	23		34
4.1 5.1	2.6 0.0	4.6	82.1	4.6	1.5	0.5	11.3	63. 6	6.2	4.1	2.1	14. 4	9.7 63	63.1 1.	1.	0 17.4	17.4
	0	10	287	13		4			9	9	0		15				45
5.3 7.9	0.0 0.6		83.9	3.8	9.0	1.2	10.5	69.3	1.8	10.5	0.0	0	4.4 6]	61.7 0.	9 0.3	3 24.3	13.2
10.0	0 0	10.0	90.06	0 0	0.0	0 0	10.0	50.0	0.0	0 0	0.0	4 0	10.0	40.0	0 0	0 40.0	20.0
9	1	9	65	7	1	П	1.7	7.5	2		1	.4	6		0	24	20
5.1 8.5	0.8	5.1	78.0	5.9	0.8	0.8	14. 4	63. 6	4.2	11.9	0.8 11.	6	7.6 61.	.9 0.	0 0.3	8 20.3	16.9
			337	15	4	m	36	267	12	6	60	23	22	248		8	52
5.1 6.3	.0	0	85.3	3, 8	1.0	0.8	9. 1	67. 6	3.0	7.3	0.8 15.	7	5.6	.8	0.	5 22.5	13.2
9 9	0 0	7 0 2	79 4	0 0	0 0	- 6	9 17 6	24	0 0	1 6	0 0	8 4	8 2 2	17	0 0	0 0	96.5
7	-		129	9	2	-	15	101	7			7.3	10	0	2		22
4.6 8.5	0.7 0.0	3.9	84.3	3.9	1.3	0.7	8.6	0.99	4.6	4.6	0.7	17.6	6.5 58	58.8 1.	3 1.:	.3 23.5	15.0
0 1	1 0	0	13	0	0	0	0	10	0	0		0	2	11	0	0 0	
0.0	7.7 0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.9	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4 84	84.6 0.	0.0	0.0	15.
9 16	0		199	6	0	-1	25	158	8	0	0		12	00		2	3(
3.8 6.8	0.0	3.8	85.0	3.8	0.0	0.4	10.7	67.5	1.3	12.8	0.0	2	5.1 63.	. 2 0.	4 0.0	0 23.5	12.8
			18	-	2	0			60		2	60	60	eo			
	4.2 0.0	80	75.0	4.2	8.3	0.0	12. 5		12.5		8.3	2	12.5 54.	. 2	0 4.	25.0	16.7
9 1	,		45	01 1				42	27 5	eo .	0 0	7	2 .		0	1	,
10.7 3.6	1.8	1.8	75.0	9.6	1.8	5.4	14.3	75.0	3.6	5.4	0.0	ç,	3.6 66.	.1 0.	0,	0 19.6	14.
63	63	1 9	75.0	19 27 22	0 0	0 0	10 12	10	0 0	1 89	0 0	4 C	63 69	9	1 6	0 18 8	19.5
0	0		27	2	0	0	3	21	8	200	0	2	60	27	0	2	
0.0	0.0 0.0	3.1	84.4	6.3	0.0	0.0	9. 4	65. 6	9.4	9.4	0.0	6, 3	9.4 68.	.8 0.	0.0	0 15.6	15.6
0			10	0		0			0	0	0	4	1	22			7
0.	0.0 0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7	58.3	0.0	0.0	0.0	3	8.3 41	.7 0.	0.0	0 25.0	33, 3
	0 0	(0 0		0 0			0 0		0			0 0	•	ć	99
D =	5	j		5			000		0.0			0 -	2 0	0 0	j	.00	000
25.0 0.0		0.0	100.0	0 0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0			1 0	0 0				25.0
52	1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.0000000000000000000000000000000000000	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 66.7 7 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 6.67 7 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 66.7 0 0 0 0 0 33.3 33.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 66.7 0 0 0 0 0 0 33.3 33.3 0.0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 66.7 0 0 0 0 0 33.3 33.3 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 66.7 0 0 0 0 33.3 33.3 0.0 0.0 0.0 33.3 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 667 0 0 0 0 0 0 33.3 33.3 0.0 0 0 0 3 3.3 33.3 33.0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 66.7 0 0 0 0 0 33.3 33.3 0 0 0 0 0 0 33.3 33.3 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 66.7 0 0 0 0 33.3 33.3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 66.7 0 0 0 0 33.3 33.4 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

L				翻(7)中途	中途解約の場合の措	の措置<通知	知の状況>		(4)8国	中途解約	の場合の措置・	く実態との差異	三異>		(8)8間	契約更新の有無	有無く通知の状況	の状況>		(8)8国	契約	更新の有無く実	織との	差異>
		金体	契約締結時に 通知された	音棒に れた	契約締結後に 通知された		現在も明 薄確でない	無回答	同じだった	少し端っていた。	まったく 消極ってい 1	わからな 身	無回%	契約締結時に 通知された	結時に いれた	契約締 通知さ	契約締結後に 通知された	現在も明 薄確でない	無回答	同じだっ た	少し よいた	まったく 嫌ってい	わからな い	無回答
			文書にて	V	文書にて「ロ	7					た			文書にて	ロ頭にて	文書にて	7					た		
	合計	547	320	19	36	3		44	282				65		32		7	34	25	38		7		72
		100.0		3, 5	6.6	0.5	22. 9	8.0	51.6	0.7	0.2	30.7	16.8	74. 4	6.4	7.1	1.3	6.2	4.6	72.6	2. 4	1.3	10.6	13.2
	男性	195		13	L- 0		42	21	102			52	38	144				15	12		4			88 ;
#	_	100.0		7.9	3.6	1.0	21. 5	10.8	52.3	I. 0	0.0	7.92	19.5	73.8	9	3.6	2.1	1.7	6.2		2.1	2.6	9.2	14.4
祖民	女件	342	59.9	1.8	8.53	0.3	23. 1	6.4	51.5	0.6	0.0	32.7	52. 0 15. 2	74.6	6.1	9.4	9.0	5.6	3.5	72.5	2.6	0.6	40 11.7	43 12.6
	無回物	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	40.0	10.0	40.0	0.0	0.0	40.0	20.02	80.08	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	90.06	0.0	0.0	0.0	10.0
L	加入している	118		5	12	0	25	6		0	1	32	21	85			1	6	9	62	4	2	11	
沢:	\	100.0		4.2		0.0	21.2	7.6	54.2	0.0	0.8	27.1	17.8	72.0	4.2	10.2	0.8	7.6	5.1	6.99	3.4	4.2	9.3	16.1
€ #	加入していない	395	235	12	23	000	91	31	206	4,	0 0	123	62	294	29	26	9 ,	24	16	296	6	2 1	44	44
有何	_	34		3.0		0.0	6.52	4.8		0 · 0		13	19.7	14.4		ö	-	0.1	4.1	22			3	11.1
	中国業	100.0	22	5.9	2.9	0.0	26.5	11.8	35.3	0.0	0.0	38.2	26.5	82. 4	2.9	2.9	0.0	2.9	8.8	9	0.0	0.0	8.8	26.5
L	重目的, 技術的業務	153	16	9	9	0	38	12	9.2	3	0	49	25	114	8	7	3	12	6	101	9	1	18	21
	THE THE TANGET	100.0	59, 5	3.9	3.9	0.0	24.8	7.8	49.7	2.0	0.0	32.0	16.3	74. 5	5.2	4.6	2.0	7.8	5.9	69.69	3, 9	0.7	11.8	13.7
	管理的業務	13		-	0			2	11	0	0	0	67	11				0		_		0	0	
		100.0	ď	7.7	0.0	7.7	0.0	15.4	84.6	0.0	0.0	0.0	15.4	84. 6	0	7	0.0	0.0	7.7	6	0.0	0.0	0.0	
	事務的業務	234	131	0.9	25	0.4	24.8	7.3	120	0.0	0.0	33.8	35	171	15	26	0.4	12	3,8	173	1.7	1.7	26	27
Ħ	B 市 市 業 務	24			0	1		4	11	0	1	7			2		1		2	14	1	1		3
1#		100.0	25	12.5	0.0	4.2	16. 7	16.7	45.8	0.0	4.2	29. 2	20.8	66. 7	8.3	0.0	4.2	12. 5	8,3	58.3	4.2	4.2	20.8	12.5
8	サービン業務	56 100.0	39	6 4.0	3,6	0 0	10	3,6	32	0 0	0.0	28.6	14.3	44 78. 6	7.1	3,6	1.8	. r.	3,6	71.4	0.0	1.8	9 6 10.7	9 16.1
来落	保安業務	160 001	00 0	0	0 0	0 0	9 22	2 2	7	0	0	10 0	4	12	1 0	1 0 0	1 0	0	1 0 0	14	0 0	0	0	2 2
K &	\$# ms	32			9 60	0		2.0	18	5			9	25	ó		ö	0 00		. 2			2.2	16.0
Ţ	. 理輔・連合系统	100.0	56	12.5	9.4	0.0	9. 4	9.4	56.3	3. 1	0.0	21.9	18.8	78. 1	6.3	.9	0, 0	9. 4	0.0	78	3, 1	0.0	6.3	12.5
	生産工程・労務	12	i		0	0			10.1	0		0			7	•	•			i		0	1	
		100.0	58.3	0.0	0.0	0.0	33.3	20	41.7	0.0	0.0	25.0	33, 3	66. 7	16.7	0.	0.0	8, 3	8.3	58.3	ro xó	0.0	8.3	25.0
	その街	100 0	33 7	0 0	0 0	0 0	33 3	33 1	0 0	0 0	0 0	33 1	66.7	100 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	33.3	0 0	0 0	0 0	66.7
	Apr. [2] Abb.	4	e e	0	0	0	1	0	2	0	0		1				0	0	0		0	0	0.0	0
	中回半	100.0	75. 0	0.0	0.0	0.0	25. 0	0.0	50.	0.0	0.0	25.0	25.0	75. 0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

L				全 (6)8国	契約更新の基準<通知の	海<通知の	0状況>		(6)8間		契約更新の基準<多	く実態との差異	<u> </u>		間8(10) 正義	正社員への転換の有	巣	<通知の状況>		間8(10)	正社員		<実態?	(の差異)
		争	契約締結時に 通知された	哲時に れた	契約締結後に 通知された		現在も明 確でない [4	無回答又は契約更い	同じだっ /	少し崩り ていた	まったく 踊ってい	わからない	無回答又 は契約更	製約縮通知さ	契約締結時に 通知された	契約線 通知:	契約締結後に 通知された	現在も明確でない	無回答	同じだっ た	少し違っ ていた	まったく 違ってい	わからな い	無回%
			文書にて	V	文書にて口	7					た		新なし	文書にて	ロ頭にて	文書にて	ロ頭にて					た		
	中	547	294	32	28	5	112	92	304	8 1	5							177	08	220	15	8		121
		100.0		5.9	5. 1	0.9	20. 5	13.9	55, 6	1.5	0.9	21.0	2	36. 0	10	4.6	2. 4	32. 4	14.6	40.2	2.7	1.5	33.	22. 1
	男性	195	55.4	9.4	2.6	0. 51	45 23. 1	13.8	109	0.5	2.1	38	43 22. 1	34.9	13.3	3.1	0.5	26.7	21.5	83	3.1	2.6	25.1	52 26.7
#13	女性	342	18	22	23	4		48	188				7	125		1	12	120				3	12	89
Ř		100.0	52. 6	6.4	6.7	1.2	19. 0	14.0	55.0	2.0	0.3	21	20.8	36. 5	∞	5.6	3.0	35. 1	10.8	38.9	2.6	0.0	37.7	19.9
	無回答	100.0	60.09	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0	70.0	0.0	0.0	20.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	50.0	10.0	40.0	0.0	0.0	50.0	10.0
	加入している	118		5	8	2	20	11	71	3				52				30	11	54	8	4	31	
::	\	100.0	61.0	4.2	6.8	1.7	16.9	9.3	60.2	2.5	2.5	15	19.5	44. 1	11.0	7.6	2.5	25. 4	9.3	45.8	6.8	3.4	26.3	17.8
毫 3	加入していない			56	19	65		22	216	10		3	81	130			1	140	63	151	7	4		
架《	_	100.0	51.6	9.9	4.8	0.8	22. 3	13.9	54.7	1.3	0.5	23.	20.5	32.9	5	.3	2.5	35. 4	15.9	38.2	1.8	1.0	36.5	22.5
ŲΠ	無回%	34		- 0	- 0	0		10	17	0	0	9		15			0	6		15		0 0	8	11
1		100.0	52.9	2.9	6.2	0.0	11.8	29.4	90.0	0.0	0.0	17.6	32. 4	44. 1	8.8	xi xi	0.0	20. 6	17.6	44.1	0.0	0.0	23. b	32.4
	専門的・技術的業務	10	ıč	, rc	o es	0.0	23. 5	12.4	53.6	2.0	0.7	22.9	30	31.4	13	1	6.5	35. 3	14.4	42.5	2.6	0.7	25	19.6
	(本 M 4/2 株 2/4)	13	10	0	2	0	0	1	12	0	0			5		-	0	0	2	8	0	0	0	2
	百年四米粉	100.0	76	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	92.3	0.0	0.0	0.0	7.7	38. 5	15.4	7.7	0.0	0.0	38.5	61.5	0.0	0.0	0.0	38.5
	紫紫石紫崖	234	114	14	17	co	49	37	127	3	1	23	20	79		15	9	83	31	84	5	4	88	23
	T 201 11 2 74200	100.0	48.7	6.0	7.3	1.3	20.9	15.8	54.3	1.3	0.4	22.6	21. 4	33, 8	8.5	6.4	2.6	35, 5	13.2	35, 9	2. 1	1.7	37.6	22.6
票	. 販売業務	24		4	0	0		4	11	1		9		00						10		7	9	9
世		100. U	4:	19. /	0.0	0.0	20.8	19.7	45.8	4. 2	4.2	0.62	0.7	33, 3	Ib.	0.	0.0	7.67	20.8	41.7	0.0	8.0	7. CZ	0.62
6 \$	・キーアン業務	100.0	62, 5	5,4	3,6	3,6	10.7	14.3	60.7	0.0	1.8	14.3	23.2	51.8	5.4	7.1	1.8	21. 4	12.5	41.1	5,4	0.0	30.4	23.2
米谷	但少维效	16	10	0	0	0	4	2	6	1	0	3	60	7	0	0	0	9	3	9	0	1	9	3
š Æ	χ έ	100.0	62. 5	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	56.3	6.3	0.0	18.	18.8	43.8	0.0	0.0	0.0	37.5	18.8	37.5	0.0	6.3	37.5	18.8
· ※	運動・運信業務	32	.,		23	0		3	21	0		4		13			0			1		0		9
	į	100.0	62.	6.3	6.3	0.0	15.6	9.4	65.6	0.0	3,1	12.	18.8	40.6	15.	6,3	0.0	25.0	12.5	50,0	9.4	0.0	21.	18.8
	生産工程・労務	12	L	0 0	0 0	0	10 1	- 0	10 1	0	0 0			4.0				9 0	2 1	4	0	0		3
		100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	41. /	x, x	41.7	0.0	0.0	33.	.c2	33, 3	0.	0.	0.0	90.0	, qI	55.3	0.0	0.0	4I.	25.0
	その街	100.0	33.3	0.0	0 0	0 0	33.3	33.3	0 0	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0 0	33.3	33.3	0.0	0 0	0.0	2 86.7
	der 🖂 dör	4	co	0	0	0		0	co	0	0			co	0	0	0		0	3	0	0		0
	や回巣	100.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.	0.0	0.0	25.0	0.0

L			<u> </u>	開8(11) 正社	正社員への転換の基準	の重/東军(通知	3の状況>		間8(11)	正社員への	転換の基準	員への転換の基準<実態との差異	を異>		間8(12)	2) 安全衛生	:<通知の状況	/ 完			間8(12) 安全	全衛生<実態	との差	# \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
		争	契約締結時に 通知された	書時に れた	契約締結後に 通知された	後に 現 れ	在も明 でない	無回答又 同は転換な た	同じだっ 少た	少 し は いた 通	まったく 3 踊ってい 1	わからな い	無回答又は転換な	契約締結時に 通知された	書時に れた	契約締結後に 通知された		現在も明 薄確でない	無回答	同じだっ た	少し湯 たいた	まったく 違ったい	わからな い	無回答
			文書にて	V	文書にて「ロ	7					, 1			文書にて	7	文書にて	7					7		
	4=	547		28	17	9	181	187		6		170	223	255	41	38	17		49	297	15		13	
I		100.0	25	5.1	3.1	0.9	33. 1	34.2	25.6	1.6	0.0	31.1	40.8	46. 6	7.5	6.9	3.1	26.9	9.0	54.3	2.7	0.5	24	17.7
	男性	195	39	7 9	- co rc		20 22	80	24 6	0 01	4 - 6	95 1	89	93	1 22	9 4	2 9	93 1	12.3	109 55 a	7 2 6	1 2	38 21	39
型	#4	342		14	14	4	120	103		4		118	130	158	18	33		66	24	184		1.	6	
酥	_	100.0	25. 4	4.1	4.1	1.2	35. 1	30.1	26.0	1.2	0.3	34.5	38.0	46.2	5.3	9.6	2.9	28.9	7.0	53.8	2.0	0.3	27.2	16.7
	無回%	10	30.0	0.0	0.0	0.0	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0	30.0	40.0	40.0	10.0	10.0	0.0	30.0	10.0	4 40.0	10.0	0.0	40.0	10.0
	加入している	118		8	7	3	33	30	42	4	3	30	39	62	7	13	4	22	10	02	4	2	19	23
択		100.0	31. 4	6.8	5.9	2.5	28.0	25.4	35.6	3. 4	2.5	25.4	33. 1	52. 5	5.9	11.0	3.4	18.6	8.5	59.3	3.4	1.7	16.1	19.5
毫 5	加入していない			19	8	1		147	88	2		130	170	179		22	13	112	35	212		1		
举	_	100.0	20.8	4.8	2.0	0.3	34.9	37.2	22.3	1.3	0.5	32.9	43.0	45.3	00	5.6	3, 3	28. 4	8.9	53.7	2.8	0.3	26.6	16.7
ŲΠ	無回答	34	10	0 0	63 6	- 0	0 10	10	10	0 0	0 0	010	14	14	0 0	000	0 0	13	4 0	15	0 0	0 0	11	00 14
<u> </u>	新田公 + 第4年数	15		6.7	0.0	0.0		48		3 6	0.0		41.2	71. 2	0.0	0.0	0.0			81		0.0		23
	4000.000米%	10	22	5.9	0.0	0.0	39. 9	31.4	24.8	2.0	0.7	35.9	36.6	47. 1	9.2	2.0	3, 3	29. 4	9.2	52.9	3, 3	0.7	28	15.0
	等組化業務	13	3	1	0	0		8	2	0	0	0	8	10	1	1	0	0	1	11	0	0	0	2
	III ATT MANY	100.0	23. 1	7.7	0.0	0.0	7.7	61.5	38.5	0.0	0.0	0.0	61.5	76.9	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	84.6	0.0	0.0	0.0	15.4
	事務的業務	234	7		12	4			49	П		7.7	105	86	12	27	∞	89	21	128		0	9	
		100.0	19. 2	3.4	5.1	1.7	34. 2	36.3	20.9	0. 4	0.9	32.9	44.9	41.9	5.1	11.5	3.4	29. 1	9.0	54.7	0.9	0.0	25.6	18.8
#	1 販売業務	24	7 00		0 0	0 0	L 0	t- c	9 10	0 0	0 0	E 0	00 0	13	4 1	1 0	0 0	01 0	0 0	15	2 0	1 0	3	00 0
Ħ.		100.0	.03		0 00	0.0		06		0 60		11	9.7	35. 2	30.	4. 4	0.0		0.0			7.0	16.	
8	クトーアス米巻	100.0	36	1.8	5.4	0.0	17.9	35.7	32.1	5. 4	0.0	19.6	42.9	62. 5	5.4	7.1	1.8	16.1	7.1	55.4	7. 1	0.0	17	19.6
大漢	6 保安業務	16			0	0			3	0		8			1	0	0					1		
* K	<u> </u>	100.0	18.8	0.0	0.0	0.0	20.0	31.3	18.8	0.0	0.0	20.0	31.3	43.8	6.3	0.0	0.0	37.5	12.5	37.5	6, 3	6.3	31.3	18.8
· ※	温齢・海信業務	32			1			6	13	2		7			9	1	1	6	33	18	1			
		100.0	25.	18.8	3.1	3. 1	21.9	28.1	40.6	6.3	0.0	21.9	31.3	37.5	18.8	3.1	3.1	28. 1	9.4	56.3	3. 1	0.0	21.	18.8
	生産工程・労務	12			0	0			67	0		LO.	LO I		0	0					0	0		
		100.0	22.	0.0	0.0	0.0	41.7	33.3	16.7	0.0	0.0	41.7	41.7	41. 7	0.0	0.0	0.0	50.0	8,3	33.3	0.0	0.0	41.7	25.0
	その街	200	0 0	0 0	- 0	0 0	1 00	- 00	0 0	0 0	0 0	- 60	00 1	1 00	0 0	0	0	- 00	1	0	0	0 0	1	00 00
		100.0	ó	0.0	000	0.0		00.00	0.0	0.0	0.0		00.		0.0	0.0	0.0		00.0			0.0	99.	
	無回%	100.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0

L				開8(13)	福利厚生	間8(13) 福利厚生制度<通知の状況	5状況>		副	- 		L校: 叶数 「 校 <実態との差異>	※: 伸及几
		争	契約締結時に 通知された	帯時に :れた	契約締 通知 3	契約締結後に 通知された	現在も明 確でない	無回答	同じだっ た	少し でいた	まったく 躍ってい	わからな い	無回答
			文書にて	ロ頭にて	文書にて	ロ頭にて					41		
	4	547	305	27	51	12		51	341		2		92
	E BI	100.0	55.8	4.9	9.3	2.2	18, 5	9.3	62.3	1.8	0.	18.6	16.8
	西州	195	16	17	6	3	44	25	114	3	2	40	36
	_	100.0	49. 7	8.7	4.6	1.5	22. 6	12.8	58.5	1.	1.	20.5	18.5
型	744	342	205	10	41	6	52	25	223	L.	0	57	55
副	_	100.0	59.9	2.9	12.0	2.6	15.2	7.3	65.2	2.0	0.0	16.7	16.1
	第回終	10	3	0				1					1
	www.	100.0	30.0	0.0	10.0	0, 0	50.0	10.0	40.0	0.0	0.0	50.0	10.0
1	加入している	118		5	13	3	1	6	8	2			21
米	_	100.0	64. 4	4.2	11.0	2.5	10.2	7.6	69. 5	1.	0.8	10.2	17.8
毫.	加入していたい	395	209	22	35	9	00	39				83	63
粟.	_	100.0	52.9	5.6	8.9	2, 3	20.5	9.9	60.8	2.0	0.3	21.0	15.9
¢Π	第回祭	34	20	0	3	0		3					8
	II II II	100.0	58.8	0.0	8.8	0, 0	23. 5	8.8	55.9	0.0	0.0	20.6	23.5
	専門的・技術的業務	153	87	10	11	1	28	16					22
	TI 143 1X 1114 3 X 33	100.0	56.9	6.5	7.2	0.7	18, 3	10.5	62.7	2.0	0.0	20.9	14. 4
	争曲化物器	13	6	1	1	0	0	2	11	0	0	0	23
	III CELL CANDO	100.0	69. 2	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4	84.6	0.0	0.0	0.0	15.4
	東黎的鐵黎	234	132	7	30	6	38					36	38
	4-20 H 2 Media	100.0	56. 4	3.0	12.8	3,8	16.2	7.7	66.2	2. 1	0.0	15.4	16.2
=======================================		24	14	8	1	1		3					4
3 #	_	100.0	58, 3	12.5	4.2	4.2	8,3	12.5	66.7	0.0	4.2	12.5	16.7
1 6	キーアン独物	56	35	1	4	0	11	5	30		0	13	12
· #	\	100.0	62.5	1.8	7.1	0.0	19.6	8.9	53.6	1.8	0.0	23.2	21. 4
操	保安業務	16	9	1	0	0		2					3
K	_	100.0	37.5	6.3	0.0	0,0	43.8	12.5	31.3	6, 3	6.3	37.5	18.8
: kk	運輸・通信業務	32	12	4	3	1	6	3	19			7	9
ı	H	100.0	37.5	12.5	9.4	3, 1	28. 1	9.4	59.4	0.0	0.0	21.9	18.8
	午華工程・光路	12			0	0							3
		100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	41.7	8.3	41.7	0.0	0.0	33, 3	25.0
	から街			0	0								2
	!	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33, 3	0	0.	0.0	66. 7
	無回%	4	27 0	0	i.		L	0				L	0
J		100.0	90.0	0.0	25.0	0.0	72.0	0.0	79.0	0.0	0.0	25.0	0.0

L			間9(1)	間9(1) 9月の残業の有無)有無					間9(2) 1	ヶ月間の残	の残業時間							謳	問9(3) 残業4	その支払形計			
		∰ ₩	あった	なかった無	斯 参	会 存	1時間未満 1	1時間以上 55時間未満 1	5時間以上 1 10時間未 当	10時間以 28 上20時間 上 未満 オ	20時間以 3 上30時間 上 未満 オ	30時間以 6 上60時間 」 未満	60時間以 (無上	瀬 参	平均 (時間)	年	残業時間 分の支払 いがある	残業時間 のうちー 定額の女 おいがあ	画 の 日 が 日 子 に が と 子 に が は だ が い が い が ま に が は が が い が が が が が が が が が が が が が が が	残業代は 一切支払 われない	わからな い	か (音)	殊業は一 切ない	無 を の を の の の の の の の の の の の の の
	===	547	329	201	3.1	329	0.0	90	18.2	56	46	58	9	3.0	15.9	547	314	26	42	56	9 0. 7	3.1	41	47
	男性	195			00	118		14	15	24		35		2	21.8	195	114	1	18	11		1	22	17
켚		342		35.4	4.1	100. 0	0.0	74	12.7	31	21.2	7.83	c 73		19.7	342	195	0.0	9.2	5. b	0.0	0.5	11.3	8.7
區	女性	100.0	60.5	37.1	2.3	100.0	0.0	35.7	21.3	15.0	10.1	11.1	2.9	3.9		100.0	57.0	4.4	6.4	12.9	0.9	4.7	5.6	8.2
	無回答	100 0	40.0	5 5	1 0 01	4 001	0 0	62 63	1 0 1	1 00	0 0	0	0 0	0	5.3	100.0	5 2	0 0	2 0	1 0	0 0	0	0	2 00
L	1	118		34	10.0	79		18	14	11	0.0	20	9		17.5	118	99. 0	0.0	0.02	10.0	0.0	0.0		8
米	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	100.0	39	28.8	4.2	100.0	0.0	22.8	17.7	13.9	13.9	25.3	1.3	5. 1		100.0	55.9	7.6	7.6	13.6	1.7	1.7	5.1	6.8
垂	加入していたい	395	229	156	10	229	0	99	40	40	33	37	7	9	15.7	395	227	15	31	39	1	14	34	34
찙.	_	100.0		39. 5	2.5	100.0	0.0	28.8	17.5	17. 5	14.4	16.2	3. 1	2.6		100.0	57.5	3, 8	7.8	9.6	0.3	3,5	8.6	8.6
ďΠ	第回%	34	21	11	2	21	0	9	9	ιΩ	2	1	1		11.8	34	21		2	1	1	1		10
	E.Hw	100.0		32.4	5.9	100.0	0.0	28.6	28.6	23.8	9.5	4.8	4.8	0.0		100.0	61.8	5.9	5.9	2.9	2.9	2.9	2.9	14.7
	専門的・技術的業務	153		90	9	26	0	21	14	11	18	23	7	3	21.8	153	99	14	18	24	1	6	6	12
	MANAGE SALIN	100.0	63. 4	32.7	3.9	100.0	0.0	21.6	14.4	11. 3	18.6	23.7	7.2	3.1		100.0	43.1	9. 2	11.8	15.7	0.7	5.9	5.9	7.8
	等 国 生 株 株 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生	13		9	0	7	0	0	1	ιΩ		0	0	0	11.1	13	60		4	2	0	0	60	-
	III ATTACAM	100.0			0.0	100.0	0.0	0.0	14.3	71. 4	14.3	0.0	0.0	0.0		100.0	23. 1	0.0	30.8	15.4	0.0	0.0	23.1	7.7
	持然 化 接	234	136		∞	136	0		32	25	16	13	1	9	11.3	234	139		12	27	2	7	18	23
	CONT. CO. L.C.	100.0		38.5	3.4	100.0	0.0	31.6	23.5	18. 4	11.8	9.6	0.7	4.4		100.0	59. 4	2.6	5.1	11.5	0.9	3.0	7.7	9.8
賦	販売業務	24		10	0	14	0	LC I		4 0	- 1		0	0	10.1	24	15	0	0			0 0	50 00	67 6
世		100.0	30	1.14	0.0	30	0 0	1.00	4.17	0.07	1.1	- 1	0.0	0.0	14.6	100.0	36	0.0	0 14	7.7	7.7	0.0	0.02	0 10
8	サーアス業務	100.0	ιo	42.9	3.6	100.0	0.0	40.0	13.3	13. 3	13.3	16.7	600	0.0		100.0	64.3	7. 1	8.9	1.8	0.0	1.8	7.1	8.9
* #	各种种	16	11	4	1	11	0	1	0	2	1	2	0	0	32. 4	16	13	1	0	0	0	0	1	1
8 -E	_	100.0	68.8	25.0	6.3	100.0	0.0	9.1	0.0	18.2	9.1	63.6	0.0	0.0		100.0	81.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3
: kk	運動・油信業務	32		7	0	25	0	4	3	4	2	8	0	1	19.2	32	27	1	2	1	0	0	0	1
I	_	100.0	78. 1	21.9	0.0	100.0	0.0	16.0	12.0	16.0	20.0	32.0	0.0	4.0		100.0	84. 4	3. 1	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	3, 1
	午曜一部・余禄	12	5		0	5	0	60	1	1	0	0	0	0	4.6	12	6	0		0	0	0	П	
		100.0	41.7	58.3	0.0	100.0	0.0	0.09	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0		100.0	75.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
	その街	3		1	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	17.5		3	0	0	0	0	0		0
	1	100.0	66.7	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	第三	4	23	2	0	2		1	1	0	0	0	0	0	4.5		3	0	0	0	0	0	0	1
		100.0			0.0	100.0	0.0	20.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		100.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

l			L	間10(1)	正社員と	と比較した働	き方く	仕事の内容、	^		間10(2)	正社員と比較	数した働きご	カ<仕事の量		_		間10(3) 正社	買った戦し	た働き方く	仕事の 責年	^
		金体	管蝴	1	图	難立るか	比較でき る正社員 がいない	わからな い	無回答	少ない	16	後	比較でき る正社員 がいない	き わからな もい	画	整 軽	<	1 <u>=</u>	重い	比較でき る正社員 がいない	わからな い	無回答
	中	547	91	68	272	35	112	35	4 0 7	94		258 8	32	81	29	3	124	270	79	61	22	0
男性	型	195		10.0	104		41	15		· ·				8 .	= ;	2 .		101	28	19		
4 女	世	342	IS	62	163	4. b 26		18	o l			2.2	53	52	17		19. p	163	14.4		4.	Ö
	無回答	100. 0 10 100. 0	18.	2 0 0	5 50.0	0.0	20.5	5.3	0.0	18.1		6 9 15.	1 15.	0 1 0	5. 0	0 0 0	10.01	47.7 6 60.0	11.4	12. 0	3.5	9.0
	加入している	118	12	15	71	10	11.9	7.5.9	0.8			8 18	22	6 9	. 6 2.6	0.8	23	72	11.9	4.2		
憲 強 元 元	加入していない	395	18	7.1	180	25	94	22 5. 6	3	70		178 E	7 17	20 00	19	0.5	98	177	51	54	13	0
巣	多	34	φ.	m 00	21	0.0	11.8	6 17. 6	0.0	14.7		20 58.8 5.	.9	4 8	8 8	0.0	8.8	21 61.8	5.9	5.9	9 17.6	
审	専門的・技術的業務	153	6	15	85	15	29	5,9	0.0	22	25	1 19	30	8 22	ro co	0.0	26	84	24	13	3,3	0
麵	管理的業務	13	15.	2 4	38.5	7.7	38, 5	0.0	0.0			2 4	3 23.	8 1	0.0	0.0	30.8	23.1	3 23.1	3 23. 1	0.0	0
華	事務的業務	234	23	55	106	12	46	13	0.9	50	10	3 10	7 17	21 6	13	0.4	69	105	20	30	9.8	0
販	販売業務	24	12.	co 10	11 45,8	16.7	5 20.8	0,0	4.2	1 4.2		12 50, 0	3 8 12	50 LO	0.0	0.0	3	12 50.0	25.0		0.0	Ö
+	ービス継続	56	12.	7	28	1.8	12 21.4	8 14.3	0.0	9 16.1	26	28	.3 10.	9 2	8.9	0.0	13	27	6 10.7	6 10.7	7.1	.0
张	保安業務	16	.9	1 8	8	0.0	31.3	2 12. 5	0.0	3	37.	6 0.	0 .0	4 0	3 3 18.8	0.0	12.5	43.8	18.8	12.5	2 12.5	0
主	運輸・通信業務	32	.9	2 8	20	3,1	7 21.9	3, 1	3.1	9.4	20	16	.8	4 5	3.1	6.3	4 12.5	22 68.8	9,4	6.3	0.0	eó
生産	生産工程・労務	12 100.0	.16.	2 5.	6 50.0	0.0	3 25.0	1.8.3	0.0	0.0	.09	.0 8.	.3 25.	0.3	2 16.7	0.0	3 25.0	41.7	8.3	16.7	8.3	.0
*	その街	3 100.0	0	0 0 7	2 66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	.99	.7 33.	.3	0 0	0.0	0.0	0.0	2 66.7	33.3	0.0	0.0	0.
単	無回答	4	05	2 0	1 25.0	0.0	0.0	1 25.0	0.0	1 25.0	50.	2000	0 25.	1 0	0.0	0.0	0.0	75.0	0 0	0	1 95 0	0

L				問10(4) 正	正社員と比較	した働き方	<残業時間>		間10(2)		正社員と比較した働	き方く	賃金 (時間単価)	(個) >
		全体	少ない	1 u	多い	比較でき る正社員 がいない	わからな い	無回答	低い	ile 1	い値	比較でき る正社員 がいない	わからな い	無回答
	合計	547	205	207	43	53	30	9 1	296	09	1 9	3 76	3 100	2 0 4
	H/H	195							96	57			3	
	_	100.0	30.3	41.5	10.3	6	5. 1	3.1	48.7	12. 3	5. 1	13.8	3 19.5	0.5
#1	44年	342	14		23		19	3	861	34			19 6	1
忌	_	100.0	4	35.4		6	5.6	0.9	57.9	,	.0	9 14.3	3 16.7	0.3
	集回祭	10	4	2		0	1	0	3	2		0	0 2	0
	m III m	100.0	40.0	50.	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0	20.	0.0	0.0	50.0	0.0
	加入している	118	35	99		7	6	2	02			2 8	8 17	I
氷	_	100.0	29. 7	42.4	12.7	5.9	7.6	1.7	59.3	16.9	1.	.9	8 14.4	0.8
室.	加入していたい	395	15	136		45	.7	7	206	37	1		7	1
찙.	2	100, 0	40.3	34.4	6.8	11.4	5, 3	1.8	52.2	9.4	2.	5 17.0	18.7	0, 3
⟨□	が回り	34		21	1	1	0	0	20					0
		100.0	32. 4	61.8		2.9	0.0	0.0	58.8	8.8	2.	9 2.9	3 26.5	0.0
	雇用的, 抹絲的業務	153	54	19	14		9	1	23			7 21	1 31	0
	THE THE TANKEN	100.0	35, 3	43.8	9.2	7.2	3, 9	0.7	47.7	13.7	4.6	3 13.7	7 20.3	0.0
	争曲化排物	13	7	2		4	0	0	9	2		7	4 0	0
	III ATTHOUGH	100.0	53.8	15.4	0.0	30.8	0.0	0.0	46.2	15. 4	7.	7 30.8	3 0.0	0.0
	用数的数数	234	97	∞				3	137			33	3 40	_
	-91-323 H J 34-323	100.0	41.5	35.5	6.0	10.3	5, 6	1.3	58, 5	8, 5	1.	3 14.1	17.1	0.4
=	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	24	8	1				2	14			0		0
3 #	`	100, 0	33, 3	41.7	4.2	8,3	4.2	8.3	58.3	4.2	0.	0 16.7	7 20.8	0.0
16	・キーアン排除	56	2	18				1	27				9 10	0
#		100.0	42.9	32.1	7.1	10.7	5.4	1.8	48.2	14.3	3.6	3 16.1	17.9	0, 0
操	6 中小横数	16	4	4		2	2	1	6			0	2	0
3 -€	-	100.0	25. 0	25.0	18.8	12.5	12.	6.3	56.3	6, 3	0.0	12.	5 25.0	0.0
K	連続・海信券数	32	9	14		2	3	1	20	9			3	_
I	VIII HA	100.0	18.8	43.8	18.8	6.3	9.4	3.1	62.5	18, 8	0.	0 6.3	3 9.4	3.1
	在 中 中 中 中	12	4	4	0	23	2	0	2		_	0	2	0
	1	100.0	33, 3	33.3	0.0	16.7	16.	0.0	41.7	8, 3	0.	0 8.3	3 41.7	0.0
	その他	3	0					0						
	1	100.0	0.0	.99	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.	0.0	0 0 0	0.0
		4												
		100.0	25.0	75.	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

L			間11(1) 等	今働契約法改	正 (類間の	Ļ					200	4000					40 00				Lex	Lex : IT 30. 14	下校: 师队乃	_
			所めがあ? 電条件の	ためがあることによる不合理な労働条件の相違の禁止)の認知度	不合理な労の認知度			:		間11(2) 正社	正社員との労働条件の相違 ①賃金	条件の相違		_	開11(2) 正巻	正社員との労働条件の相違 ②賞与	1条件の相違		<u> </u>	間11(2) 正社	:員との労働 ③退職金	正社員との労働条件の相違 ③退職金		
		供	知っていた	知っていた 知らなかった	無回%	,		弁	相違はない	相違があ るが不合 理ではな い	相違があ り不合理 である い	職場に制 無がな い・わか らない	無回絡	相逢はな い	相違があ るが不合 理ではな い	相違があ り不合理 である	職場に制 度がな い・わか らない	無回絡	相違はな い	相違があ るが不合 理ではな い	相違があ り不合理 である	職場に制 度がな い・わか らない	無 回 終 回 終	
	十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	547 100. 0	7 130	382	35		中	547	122	211	137	65	12 2.2	87	167	181	95	3.1	73	128	176	142	28	_
<u> </u>	男性	195	5 45				男性	195	52	36.9	39	25	3.6	33			39	9 4.6	25	51	46 23.6	56	17.8	
150	女在	342				世品	女性	342	70	136	94	37	LC 12	54		129	54	7	48	76	125		10	
`		100.00					無回答	100.0	0.0	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0	20.	50.0	20.0		0.0	10.0			10.0	_
40	ガスしている	118	3 20	91	7.9		加入している	118	35	38.1	29	& &	0.8	32	34	41	10	0.8	25	25		23	1.7	
- ME	加入していない	395				電器	加入していない	395	84		95	51	11 2.8	53	123	31.9	19.5	16	48	97	30.1	106	25	,
\-	- 無回答	34			0.0	ďΠ	瀬回郷	34	8.3		13	17.6	0.0	5.9	10	14	23.5	0.0	0.0	17.6	14	13	2.9	
I	専門的・技術的業務	i 153	3 37	106	10	<u> </u>	専門的・技術的業務	153	40	38.6	35	16	3 2.0	25	51	51	22	2.6	24	39	45	38	4.6	
	管理的業務	13	3 6	46.2	7.7		管理的業務	13	7 53.8	15.4	7.7	7.7	15.4	38.5	15.4	7.7	15.4	3 23.1	30.8	15.4	7.7	15.4	30.8	
	事務的業務	234	1 58	163	13		事務的業務	234	49 20.9	91	67	9.4	2.1	17.1	69	83	35	3.0	27	60 25.6	36.8	52 22. 2	9.8	
141 N	現 販売業務	24					1 販売業務	24	6 25.0	11 45.8	5 20.8	8.3	0.0	3 12.5	11 45.8	25.0	16.7	0.0	16.7	6 25.0	25.0	7 29.2	4.2	_
- J #	正 の サービス業務 業	56 100.0	3 13	41 73.2	3.6	P 6 巻	- サービス業務	56 100.0	17.9	27	9 16. 1	16.1	1.8	12.5	33.9	14 25.0	15	1.8	14.3	11 19.6	15 26.8	21 37.5	1.8	
w need D	养 務 保安業務 内	16 100.0	3 2	10 62.5	4 25.0	* 務内	6 保安業務	16	12.5	31.3	2 12. 5	43.8	0.0	6.3	3 18.8	2 12.5	9 56.3	6, 3	2 12. 5	6.3	12.5	10	1 6.3	
- 07	容運輸・通信業務	32	12.5	25 25	9.4	- 144	・ 運輸・通信業務	32	12.5	31.3	13	12.5	3.1	9.4	18.8	16	18.8	3.1	6.3	5	16 50.0	7 21.9	6.3	_
	生産工程・労務	12 100.0	2 2	9 75.0	8.3		生産工程・労務	12	3 25.0	33.3	3 25.0	16.7	0.0	16.7	33, 3	5 41.7	8.3	0.0	16.7	3 25.0	16.7	3 25.0	2 16.7	
	その街	3 100.0	0 0	100.0	0 0.0		その他	100.0	33.3	33, 3	33, 3	0.0	0.0	33, 3	33, 3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	_
	無回%	100.0	0.0	100.0	0.0		無回答	4 100.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	2 50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	2 50.0	2 50.0	0.0	
						出:	正社員と仕事の内容が同じ、(※)	272	64	76		22	2	44		111	33	ıc (99	105	56	11	_
						月	(※) 社員と仕事の量が同じ	258	69	35.7	32.0	24		16.2	8.8	90	35	1. 8	38	23.9		60	4.0	_
						Ŭ ŀ	※)	100.0	26.7	35.7	27.1	9.3	1.2	17.8	31	34.9	13.6	2.7	14.7	22.5	35, 3	23. 3	4.3	
						157	11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11.	100.0	24.1	35, 2	29.3	10.0	1.5	42 15.6	28.5	63	14.4	1.9	13.0	24.1	36,3	23, 3	3.3	
						<u> </u>	※閏10において、仕事の内容、	容、仕事の量	、仕事の責任	仕事の量、仕事の責任がそれぞれ正社員と		2	とした回答者に限定して集計)	,て集計)										

### 111(1) 1 日 1																								Г
1975 1975				-	問11(2) 正注	社員との労¶ ④通勤手当	6条件の相道	arii			:員との労働 ⑤有給休暇	条件の相違		<u>==</u>	311(2) 正社 ⑥特別	員との労働 休暇(慶弔	条件の相違 等)		<u> </u>	引1(2) 正名 ⑦食堂、更	t員との労働 f衣室、休憩	1条件の相道 (室の利用	žeti	
10 10 12 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15			供 存			相違があ り不合理 である	概能に制 展がな い・むか らない	無回称					斯 加 加					海回海	塵はな			職場に制 度がな い・わか らない	海 回 救	1
100 100		##	547	402						17	co 1~	46	11 2.0	331	77	52	70	3. 1	426		3.1	46	2	14
10.0 10.0	男性		195	130							24	18	3.1	111	30	21	24		140			20	4	∞ -
			342	264	34					63	27	7.9	1.5	215	45	8.5	45		280	21	10	26	1	10 10
1000.00 1.0	無回	铷	100.0	80.0						20.0		10.0	0.0	50.0	20.0	20.0	10.0			20.0	10.0	0.0	10.	- 0
100 23 1 1 1 1 1 1 1 1 1		している	118	85	16		2.			24	16	4 4		75	19	11 9.3	12			11 9.3	3.4	4.2	0	- ×
100.0 7. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2.		していない	395	291	_					63	33	10.1	10	236	13.2	37	55	3.8	300	31	11 2.8	40		00 00
118 118 118 119	兼	\$40	34	26						23.5	11.8	5.9	0.0	20	6 17.6	11.8		2.9	29	5.9	5.9	2.9	.0	0 0
13 11 12 13 13 14 12 14 15 15 15 15 15 15 15	指揮	的·技術的業務	153	118			ri	ci		20	17.1	11 7.2	1.3	97	22	17	14		126	9 2	3.9	10	1	2 8
24 176	毎番	的業務	13	11 84. 6						0.0		7.7		69.2	0.0	7.7	7.7	15.4	10	0.0	7.7	7.7	7.	1 2
24 20 4.2	事務!	的業務	234	176						48	77.3	14		153	30	71.3	28		188	71.3	2.6	16	e,	7 0
56 40 1 6 2 8 6 0 6 6 8 11 8 6 6 6 6 9 9 9 9 11 6 6 9 6 6 9 9 9 9 11 6 8 9 <td></td> <td>業務</td> <td>24</td> <td>20</td> <td>4.2</td> <td></td> <td>∞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>18</td> <td>3 12. 5</td> <td>0.0</td> <td>1 4.2</td> <td></td> <td>18</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>3 12.5</td> <td>4</td> <td>1 2</td>		業務	24	20	4.2		∞							18	3 12. 5	0.0	1 4.2		18		0.0	3 12.5	4	1 2
10 10 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15	+	ビス業務	56 100.0	40	7 12.5	7.		1.8	3 62.	21.4	7.1		0.0	28	9 16.1	8 14.3	11 19.6		42	8.9	3.6	6 10.7	ī	- 8
32 11 7 7 6 2 25 11 6 2 22 22 22 23 11 15 34 15 11 16 2 24 15 16 18 31 11 17 18 21 2 22 22 22 22 22 22 22 31 15 16 2 18 20 2 22 22 31 15 16 2 18 2 22 22 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 4 2 1 2 <td>-</td> <td>業務</td> <td>16 100.0</td> <td>11 68.8</td> <td></td> <td></td> <td>18.</td> <td>0.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4 25.0</td> <td></td> <td>50.0</td> <td></td> <td></td> <td>31.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6.3</td> <td>31.3</td> <td>.0</td> <td>0 0</td>	-	業務	16 100.0	11 68.8			18.	0.				4 25.0		50.0			31.3				6.3	31.3	.0	0 0
10 10 10 10 10 10 10 10		・通信業務	32	34.4	21.9	21.	15.		28.		34. 4			31.3		9 18.8			22 68.8		0 0 0	6.3	e,	
100.0 100.0 0.0	生産.	工程・労務	12 100.0		8.3		8.	8	50.		8.3						25.0				0.0	3 25.0	8	- 6
1	401	他	3 100.0		0.0		0.	0.	.99	33.3					33, 3	0.0					0.0	0.0	.0	0 0
272 206 30 21 11 4 187 46 25 12 2 183 39 25 21 4 236 19 100.0 75.7 11.0 7.7 4.0 1.5 68.8 16.9 9.2 4.4 0.7 67.3 14.3 9.2 7.7 1.5 86.8 7.0 1 258 206 24 16 24 16 4 0.7 67.3 14.3 9.2 7.7 1.5 86.8 7.0 1 100.0 79.6 9.3 5.4 16 9.3 6.9 1.9 22 2 7 1.2 89.8 1.7 1 21 20 22 2.3 67.4 16.7 9.3 5.8 8.8 8.5 1.9 86.8 1.7 1 1 1 1.7 3.4 1.7 3.4 1.7 3.4 1.7 3.4 3.9 1.2 <	無回,	铷	4 100. 0		0.0		0.		25.	25.0		1 25.0	0.0		1 25. 0	1 25.0			3 75.0	0.0	1 25.0	0.0	0.	0 0
258 206 64 14 9 174 16.7 24 15 16 23 15 179 179 29 23 179 20 179 20 179 20 12 22 12 22 12 22 12 22 12 22 12 22 12 22 12 22 12 22 23 23 23 23 24 23 25 17 31 32	E社員とf い(※)	仕事の内容が同	272	206	30		1.4.	1.		46	25	12		183	39	25	7.7	1.5	236		1.8	9 3.3	1.	23
270 211 26 22 8 3 180 44 30 15 1 177 34 26 27 6 234 17	E社員と作 (※)		258		24	4,	ri	2	174	43	24	15		179	29	23	22	5 1.9	224		6 2.3	12	-	4 9
100.0 78.1 9.6 8.1 3.0 1.1 66.7 16.3 11.1 5.6 0.4 65.6 12.6 9.6 10.0 2.2 86.7 6.3 1	E社員とf ご(※)	仕事の責任が同	270		26		eri	3	180	16.3	30	15	1 0 4	177	34	26	27	9 9	234	17		11	-	4 rc

				間11(2) 正	間11(2) 正社員との労働条件の相違	物条件の相選	2401		間11(2) 正	社員との労	正社員との労働条件の相違	±#I		問11(2) 正巻	土員との労働		類
				8 編和馬	8福利厚生(⑥、⑦を除く)	を除く)				⑤教布置練	tm/				⑩安全管理		
		供	相逢はな い	相違があ るが不合 理ではな い	相違があ り不合理 である	職場に制度がない・ むか	無回%	相違はな い	相違があ るが不合 理ではな い	相違があ り不合理 である	職場に制 東がな い・わか らない	斯 加	相違はな い	相違があ るが不合 理ではな い	相違があ り不合理 である	職場に制 度がな い・わか らない	無回答
	中	547	310	84	41	92	3.7	277 50.6	104 19.0	63	86 15.7	3.1	381	45	22	87 15.9	1 2.
	男性	195	102	29	15	37	12	112	32 32	12 6.2	28	11 5.6		19	7.3.6	30	et
世丽	女性	342			24			161						25			
	無回答	100.001	40.		20.	30		40.04	200	90		0			10.01		÷ 0
宋	加入している	118			8			72									0
衡組	加入していない	395				76	13			45							
⟨□	無回答	34	16		_		5.9	19				0.0					
	専門的・技術的業務	153	96	23	7.2	21	1.3	93	3 21	12 7.8	24	2.0	Ţ	5.9	5.2	24	1.
	管理的業務	13	10	7.7	0.0	7.7	7.7	8 61.5	3 1.7	7.7	7.7	15.4	11 84.6	0.0	0.0	7.7	.7.
	事務的業務	234	136	42	16	31	3.8	98 41.9	3 58	36	33	3.8	163	20	3.4	36	Έ
現在	販売業務	24	16	16.7	0.0	16.7	0.0	14 58.3	1 7	8.3	0.0	4.2	18	3 12.5	4.2	4.2	4.
# O #	サービス業務	56 100.0	31	7 12.5	7.1	12 21.4	3.6	31	14.3	8.9	21.4	0.0	43	8.9	1.8	7 12.5	0.
*務内	保安業務	16 100.0	31.3	0.0	0 0.0	11 68.8	0.0	11 68.8	1 1	0.0	25.0	0.0	10 62.5	0,0	0.0	37.5	'0
袋	運輸・通信業務	32 100.0	21.9	18.8	18.8	9 28.1	12. 5	34.4	7 1	15.6	8 8	3.1	13	21.9	9.4	8 25.0	3.
	生産工程・労務	12 100.0	33, 3	8.3	3 25.0	3 25.0	8.3	50.0	5 8.3	0.	33.3	8.3	58.3	8.3	0.0	33.3	0.
	その他	3 100.0	3 100.0	0.0	0 0.0	0.0	0 0.0	2 66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	3 100.0	0.0	0.0	0 0.0	0.
	無回答	4 100.0	2 50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	1 25.0	0.0	0.
担じ、	E社員と仕事の内容が同じ(※)	272	174	42	20	29	7.2.6	165	5 49	26	26	2.2	211	18	7.2.6	32	-
H#(*)	E社員と仕事の量が同じ (※)	258	179	31	11	31	9 3	161	15.5	22	29	9 6		16	1.6		_
正社,	正社員と仕事の責任が同じ(※)	270					000			-		i -			c		-
5	100, 0 04, 0 11, 0 0, 0	100.0	0.40	11.0	0.0	12. 2		03.0				Τ.	10.	0.7			T.

							上段	上段: 件数 下	下段:構成比
				噩	問11(3)不合理	Eと感じる最	とも大きな理由	#	
		供	業務内 が同じた から	業務に伴 う責任の 程度が同 じだから	勤務時間、勤務 国、勤務 日数が同 じだから	配置の変 対回で約 から から	なな なる ない ない ない ない ない こく こう といい こと が かい と が 単 本 は み は か ま か か か か か か か か か か か か か か か か か	みの名	斯 四 黎
	华	252	102	63	29	0	38	12	8 0
	男性	73					101	4	
世別	女性	100.0	43.8 67 38.7	31.5	8.2 22 19.7	0 0	9.6 30 17.3	6.8	1.4
	無回答	100.0			16.7		16.		0.0
绗	加入している	59	24 40.7	17 28.8	10.2	0.0	6 10. 2	3.4	6.8
電器	加入していない	174	68	40	23	0.0	30	5.2	2.3
√□	無回%	100.0	10	31.6	0.0	0.0	2 10.5	5.3	0.0
	専門的・技術的業務	74 100.0		22 29.7	7 9.5	0.0	11 14.9	5.4	3 4.1
	管理的業務	100.0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0
	事務的業務	111	43	22 19.8	16 14.4	0.0	22 19.8	4.5	3 2.7
現在	販売業務	9 100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
# O #	サービス業務	22 100.0	8 36.4	31.8	3 13.6	0.0	9.1	0.0	9.1
茶務内	保安業務	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0.0	1 14.3	28.6	0.0
参	運輸・通信業務	19	12 63.2	5 26.3	0 0 0	0.0	2 10.5	0.0	0.0
	生産工程・労務	100.0	2 40.0	0.0	40.0	0.0	0 0	20.0	0.0
	その他	2 100.0	0.0	2 100.0	0 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2 100. 0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

語、表記等 マボカリン (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
性 100 150 150 150 150 150 150 150 150 150
100.0 17 16 16 16 16 16 16 16
答 100.0 19.8 28.4 20.2 20.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0
回答 100.4 0.0 50.2 0.0
入している 100.0 20.0 22.5 17.7 100.0 20.0 22.5 17.7 18.3 21.4 25.2 18.9 18.9 18.9 18.9 18.9 18.9 18.9 18.9
入していない 168 23 41 3 回答 100.0 14.1 25.2 18. 回答・100.0 22.2 22.2 22.2 22.2 22.2 22.2 22.2
回答 100.0 22.2 22.2 22.2 22.2 22.2 22.2 22.
旧的・技術的業務
V VI
管理的業務 100.0 0.0 20.0 20.0
事務的業務 73 15 18 15 18 15 18 15
坂売業務 11 2 4 1 1 100.0 18.2 36.4 9.1
サービス業務 26 2 8 8 8 100.0 7.7 30.8 30.8
R安業務 6 0 0 0 16.7 16.7
運輸・通信業務 130.0 15.4 30.8 30.8
生産工程・労務 100.0 14.3 42.9 14.3
その他 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
無回答 1 0 0 0 100.0 0.0 0.0 0.0
10歳代 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
23 3 4 6 100.0 13.0 17.4 26.1
30歳代 32 5 9 8 8 100.0
4 0 歳代 35 8 12 6 17.1
5 0 歳代 44 9 18 7 7 100.0
6 0 歳以上 100.0 10.4 11.7 15.6
無回称 1 0 0 0 0

構成比		25	10	5.1	15	4.4	0.0	c 2	20	5. 1	0	0.0	8 6	2 2	r ox	3. 4	es 1	12. 5	7. 1	0	0.0	0 0	0	0.0	0	0.0	0 0
卜段:構	無	1		6	0)	2								00 -			9		6	6	3	ın c		. 00			0 0
上段:件数 7	特にない	5 134 9 24 5		0 35.6	3 62	18.	20.	7 16.1			0	0 11.8	3 37	0		4 20.		.c2	0 17.9		56.	1	40.	0 58.3		0	C
中學	その色	0	5	ï		o o	0.0	_		0.8		0.0	61		5	0.0		0.0	0.0		0.0	0 0	5	0.0		33.	0 0
トる研修	ネジメント と と を を を を を を を を を を を を を を を を を	19	0	4.6	10	6.0	0.0	0.0	17	4.3	2	5.9	4.6	2 2	4.01	1.7	2 .	8.8	7.1	0	0.0	0 0		0.0	0	0.0	0
今後希望寸	トンナ	71		11.3	47		20.0	19.23	41	10.4		20. 6	11 7. 2	1 1	3.5	13. 7	9	0.62	23. 2		6.3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		× 60		0.0	- G
間13(4) <	担当業務 以外の仕事の幅を 広げるた めの知 職・技術	33	-	3.6			0.0	00 00 Ci	21	5.3	4	11.8	7. 4. 6	0 0		9.4	0	0.0	3.6		0.0		0	0.0	1	33.3	0 0
	一様・ で・ ボト					1 9								1 2			es 1					9 0		. 00			
	パンコ ソ・0A機 器操作	14.6	98	14.			10.	16.9	99	14.2		11.8	16	t	. 2	21.		12.			0.0	9		00		0.0	-
	担当業務 に関する 専門的技 術・知識	180	47	24.1	128	37.4	20.0	34.7	126	31.9		38.2	41.8	4 00	70	29.9	4 1	16.7	35.7		37.5	E S		25.0	1	33.3	275.0
	無 容 本 は は は は は は は は は は は は は	47 8 6	16	8. 2	31	9.1	0.0	11.0	32	8. 1	2	5, 9	10	co =	1.00	9.0	00 1	12.5	7. 1		0.0			80	0	0.0	0 0
回%)	御御	49	06	10.3	27	7.9	20.0	9.3	34	8.6	4	11.8	13.1	0 0	17	7.3		2.5	5.4	1	6.3	9 01	0.01	0.0		33.3	0 0
場所(複数	過 過 分 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	253	66	47.2		3 3	30.0	35.6	194	49.1	17	50.0	77	7 0	110	47.0	15	67.9	41.1	9	37.5	00 0		41.7	1	33.3	1 76 0 76
を習得した場	(通 以前 育含 務先	119	3.4	17. 4			10.0	16. 1	96	24. 3		11.8	38	4 0		25. 2	4 1	19. <i>t</i>	10.7		6.3	. c		33. 3		0.0	0 0
:のスキルを	業 業 単価で 小教(で	28	9	3. 1	21	6.1	10,0	. e	20	5. 1	2	5, 9	2.6	1 1		6.0	0	0.0	10.7		6.3		0.1	× 60		0.0	0 0
3) 業務上	事 公共 等 訓練	120	96	13.3	92	26.9	0.0	32.2	74	3. 7	80	23.5	57	00 =	40	20.9	0	7.0	12.5	0	0.0	0 0	0.1	8 3	1	33.3	20 02
間13(本 な な な な な							63						2 4				0.00							2		
	社内の研 修	207		37	128		50.	23		33.	12		31	Ē	101	34.	1	31.	51	12		i i		33.		99.	75 0
	領 在	100 0	195	100.0	342		100.0	100.0	395	100.0		100.0	153	130		100.0	24	100.0	100.0		100.0	32		100.0	3	100.0	100 0
	無回答	1.6	4. 4	3, 3,			0.0	1.2	4	1.8		0.0	1.2	0	0.0	0.0	0	0.0	5.1		6.3	0 0	0.0	14.3	0	0.0	0
複数回答)	の色	5	-	0.8	4	2.1	0.0	1.2	4	1.8	0	0.0	1.2	0 0	0.0	2.3		, ,	0.0	0	0.0	0 0		0.0	0	0.0	0
実施方法	部の研 そに参加	58	7.6	22.3			16.7	19.8	37	17.1		22.7	24.7	1 2	10.1	14.6	4	30.8	15.4		12.5	9 1	0	0.0	0	0.0	0
胃13(2) 研修の実	社内のOJT 外部の研修に参加	247	2	62.8			83. 3	71.6	169	77. 9	20	90.9	59	10 0		80.0	10	79. A	87.2		68.8	13		85. 7		100.0	100 0
周1:	社内の 社 0ff-JT	31.9	45	37.2	99	29.0	16.7	37	63	29.0	2	9.1	34.6	1 2	43	33.1	7	23.8	20.5	3	18.8	10	49.0	14.3	0	0.0	33 3
	全体 0f	320	191	100.0	193	100.0	100.0	100.0	217	100.0	22	100.0	81	9 001	130	100.0	13	100. 0 30	100.0	16	100.0	23	7	100.0		100.0	100
ŝto	無回終	16 2 a	o oo	4.1	8	0 23	0,0	4.4	12	3.0	0	0.0	20 3	1 1	4. 1	1.7	2 5	, x	7. 1	0	0.0	010	0.0	0.0	0	0.0	0
期(複数回答)	実施され 無にていない	211	999	33.8	141	41.2	40.0	33	166	42.0	12	35, 3	69	9	100	42.7	6	37. 5	23. 2	0	0.0	7 0		41.7		33.3	25 0
施時	契約途中 実版 に実施 てい	180	60	30.8	115	33.6	50.0	39.0	124	31.4	10	29.4	31.4	4 00	76	32.5	9	0.62	35.7	10	62.5	6 - 00	20.1	41.7	0	0.0	20 02
□	採用時に 契約実施 実施 に実	209	79	40.5	127		30.0	55	137	34.7	17	50.0	37.9	ee =	84	35.9		31.3	39.3		62.5	17	33.1	25.0		7.99	1 25 0
=	採用: 実施 実施	547	195	100.0	342	100.0	100.0	118	395	100.0	34	100.0	153	13	93.4	100.0	24	100.0	100.0	16	100.0	32	12	100.0	6	100.0	4 001
L	ψ́H		1	_				_		_		,-1				-			-1								_
		中				郊		加入している	加工していかい		林回		專門的·技術的業務	理的業務	1	務的業務	販売業務		ーアメ業務	果安業務		1・通信業務	ale Ale man	生産工程・労務	の他		回答
			77 000	为任	性 女性	単		-12	動 thr 7A	_	令 無 回		車目	毎番		# ※		1	4	務保安		容運輸	1	世	20		単

L			間14(1)		育児休業制度の利用の有無	の有無	間14(2)	上段() 介護休業	・作数 制度の利	下段:構成比 用の有無
		争	22	対象番つ はあるが 利用した いとはな	なか なっかい たがない	無回零	& &	対象者で はあるが 利用した ことはな	対象者と なったこ とがない	斯 を
	#4	547	14	44 8.0	444	45	2 0.4	58	438	49
	男性	195		15	155	23	0, 5		152	24
世別	女性	342	3.	8.2	283	19		.11	278	23
	無回%	100.0	0.0	10.0	60.09	30.0	0.0	0.0	8 80.0	20.0
氷	加入している	118	3.4	9.7	96	9 2.6	0 0	13	95	10
亀沼	加入していない	395	10	31	321	33	0.3	44	314	36
√□	無回答	34 100.0	0.0	11.8	27 79.4	8.8	2.9	2.9	29	8.8
	専門的・技術的業務	153 100.0	3 2.0	19	121 79. 1	10	1 0.7	18 11.8	121 79.1	13
	管理的業務	13	0 '0	0.0	12 92.3	7.7	0 0	7.7	12 92.3	0 0
	事務的業務	234	1.7	18	203	9.8	1 0.4	27	196	10
東	販売業務	24	8.3	1.2	16		0 0	8.3	70.8	20.8
† € ∜	サービス業務	56 100.0	7.1	3.6	38 67.9	12 21.4	0 0	8.9	38	13
*	保安業務	16	1 6.3	6.3	12	12.5	0.0	3 18.8	11 68.8	2 12.5
4 2	運輸・通信業務	32 100.0	0 '0	6.3	25	5 15.6	0 '0	3.1	25	9 18.8
	生産工程・労務	12 100.0	0 '0	8.3	10 83.3	8.3	0.0	8.3	11 91.7	0.0
	その色	3 100.0	0 '0	0.0	3 100.0	0 0	0 0	0.0	3 100.0	0.0
	無回答	4 100. 0	0 0	0.0	4 100.0	0.0	0.0	0.0	4 100.0	0.0

L			上段:	上段:件数 下段:/	2:構成比 2:有	L							(6/2188	韓国被無場所 (の)コ田	700 F				ſ	上段: 年数	6	下段:構成比
		金体	更新され り	新なれ	無回答			9体	2	2回 3	3回 4回	回9		(5) 大門(5大利) (6回以上10 10 回未議 15	1 担担	15回以上 201 20回未膳	20回以上 無	三	平均(回)		単一に 本土の 一番	
<u> </u>	# 41	7		128	7		##	412	66	69	72	3.7	23	48	3	12	19	7	5.3	213	197	2
	пп	100.0	75.3	23.4	1.3		пп	100.0	24. 0	14.3	17.5	9.0	5.6	11.7	8.7	2.9	4.6	1.7		51.7	47.8	0.5
	単年	195	147	45	3		軍体	147	30	22	27	14	8	15	91	7	2	3	5.4	08	99	1
		100, 0	75. 4	23.1	1.5		72 II	100.0	20.4	15.0	18.4	9. 5	5.4	10.2	10.9	4.8	3.4	2.0		54. 4	44.9	0.7
世	中存	342	256	82	4	世	#4	256	69	35	45	22	15	30	19	4	13	4	5.2	127	128	1
忌	_	100.0	74.9	24.0	1.2	丽	1	100.0	27.0	13.7	17.6	8.6	5.9	11.7	7.4	1.6	5.1	1.6		49.6	50.0	0.4
	第回線	10	6	1	0		第回物	6	0	2	0	П	0	00	П		1	0	8.2		60	0
		100.0	90.0	10.0	0.0			100.0	0.0	22. 2	0.0	11.1	0.0	33, 3	11.1	11.1	11.1	0.0		66. 7	33, 3	0.0
	加入している	118	82	35	1		加入している	82	23	9	10	L	6	8	11	2	4	2	5.8	49	33	0
₩:	_	100.0	69. 5	29.7	0.8	K :	9	100.0	28. 0	7.3	12.2	8.5	11.0	8.6	13.4	2. 4	4.9	2.4		59.8	40.2	0.0
€.	加入していたい	395	306	84	5	€.	加入していたい	306	89	47	09	29	14	36	22	10	15	C	5.3	153	151	2
찙.		100.0	77. 5	21.3	1.3	찙	. S	100.0	22. 2	15.4	19.6	9, 5	4.6	11.8	7.2	3, 3	4.9	1.6		50, 0	49.3	0.7
ďΠ	第回祭	34	24	6	1	√□	第回祭	24	8	9	2	1	0	4	00	0	0	0	3.9	11	13	0
	шым	100.0	70.6	26.5	2.9		W. F. T. III	100.0	33, 3	25.0	8.3	4.2	0.0	16.7	12.5	0.0	0.0	0.0		45.8	54.2	0.0
	車用於, 其然於攀黎	153	110	42	1		専門的・技術的	110	25	20	17	10	7	10	6	2	7	3	5.4	29	51	0
	TT 149 1X 1114 3 78 373	100.0	71.9	27.5	0.7		業務	100.0	22. 7	18.2	15.5	9. 1	6.4	9.1	8.2	1.8	6.4	2.7		53. 6	46.4	0.0
	停曲化業務	13	11	2	0		学祖代業務	11	33	1	2	2	0	1	-	0	1	0	6.1	4	7	0
	E CHHOMON	100.0	84. 6	15.4	0.0		B ATHOMASA	100.0	27. 3	9.1	18.2	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0		36. 4	63.6	0.0
	主教化物数	234	171	29	4		用数化排数	171	51	20	31	15	10	19	14	co	7		5.0	83	87	1
	3F 375 H 3 345 375	100.0	73. 1	25.2	1.7		TF 020H 2 MC 020	100.0	29.8	11.7	18.1	8.8	5.8	11.1	8.2	1.8	4.1	9.0		48. 5	50.9	0.6
HH.	路本業務	24	17	9	1	H	経際半組	17	0	1	6	4	0	4	1	0	1	3	7.6	13	4	0
3 #	_	100.0	70.8	25.0	4.2	3 #	WA ZEJAKANA	100.0	0.0	5.9	17.6	23. 5	0.0	23.5	5.9	0.0	5.9	17.6		76. 5	23.5	0.0
16	キーアン排除	56	41	15	0	16	キーアン排除	41	10	10	6	m	2	∞	2	63	0	0	4.6	18	23	0
斜	`	100.0	73. 2	26.8	0.0	拼		100.0	24. 4	12.2	22.0	7.3	4.9	19.5	4.9	4.9	0.0	0.0		43.9	56.1	0.0
操	保力業務	16	15	1	0	(操	佐安業務	15	2	63	9	63	0	0	0	0	0	0	2.3	4	==	0
K		100.0	93. 8	6.3	0.0	K	NA AND	100.0	33, 3	13.3	40.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		26. 7	73.3	0.0
· ※	操業が連・細則		31	0	1	· ※	運動・運信機器	31	2	E.	2		4	63		4		0	8.8	19		1
	į	100.0	96.9	0.0	3.1		1	100.0	6.5	16.1	6.5	3.2	12.9	9.7	22.6	12.9	9.7	0.0		61.3	35.5	3.2
	午班一部・北端				0		午曜一雄・光楽	11			1		0		П	-	0	0	5.1	∞		0
		100.0	91. 7	8.3	0.0			100.0	27.3	27.3	9.1	0.0	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0		72. 7	27.3	0.0
	かの名				0		から街	23	0		1	0	0		0	0	0	0	2.5	2		0
	!	100.0	66. 7	33.3	0.0		!	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		100.0	0.0	0.0
	無回称	4	60	П	0		第回称	60	0	1	0	0	0	1		0	0	0	0.9	60	0	0
		100.0	75.0	25.0	0.0			100.0	0.0	33, 3	0.0	0.0	0.0	33, 3	33, 3	0.0	0.0	0.0		100.0	0.0	0.0

			問15(4)-1 寅	金の見直し	し結果	[日]	5(4)-2	労働時間の見	見直し結果		間15(4)-3	3① 契約期	間の見直し	、結果		間15(4))-3② 敷約	期間の上限	の設定の見証	直し結果	
	44 *	増加した	淡わらな い	減少した	無	題 た	o 数マ で	な 最れ な	第一個	長た	な と を な で が こ 一 が に に に に に に に に に に に に に	わらな 施 オ	くなっ	瀬 回 参	新たた 国事 関連 関係 で が が で た に に で の が た が が が が が が が が が が が が が が が が が	以前から でかされていた上 でいた上 でかん された	以前から でたなれ でいた上 ほが角縮 なわた	以前から でたされ ていた上 限は変わ らない	以 世 が が な な な な な な な な な な な な な	以 前 の を の の の が が の の の が の の の が の の が が の の が が の で が が が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に	無 阿 郊
中	213	147		L	9.2	2 6	2 9	185	13	6 4 4	15	187	3,3	1.9	11 5.2	12 5.6	0		0.9	108	45
男性	80		16		6	2 1	10 0		2 1		4 0	72			000						20
74	100.0	90			9	0	2 2	x. 80	2. b		9.0	110					Ö		Ţ		25. C
Ħ	100.0	70.9	24.4	4	7	0	2	0	8.7	0.8	8.7	9.98	3. 1	1.6	6.3	7.1	0.8	17	0.0	51.2	17.
無回答	100.0	4 66. 7	16.7		7	0 0	00	9 0	0 0.0	0 0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0	33	16.7	0.0	20
加入している	49	32	15		4	0	3	43	2		4	43		2							
	100.0	65, 3	26. £			0			4.1		8.5	87.8		4.1		10.2	0.	14.	2.		28.
加入していない	153	105			.8 .		6 6		7.2	0.7	7.2	134	4.6	0.7	5.2	4.6	0.7	25	0.	83 54.2	18, 3
無回答	11 100.0	10	9.1		0 0	0 0	0 0		0.0	1 6	0.0	10	0.0	9.1	9.1	0.0	0.	18.	0.	45.5	27.
専門的・技術的業務	59	39	15		2	0	m		es		33				1						15
	100.0	66. 1			2	0									1.7		-i		-i		729.
管理的業務	4 100. 0	3 75.0	0.0		0	0 0	0 0	0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.	20.	.0	50.0	.0
事務的業務	83				9	0 0	9	3	7 8 4		10 01	89 81 9		1 2		9 6	0	10	0		12
販売業務	13		7 7			2 4	1 2	11	0 0	7 7	0 0	12		7 7		0 0	0				15
トービス業務	18		29 29			000	1 9	91	0 0	2 1	0 0	17		5.6		0	0	LC	0		8
保安業務	100.0	3 75 0			0 0	00	1 0	80	0 0	0 0	0 0		0.0	0.0	0.0		0	ď	0		75
運輸・通信業務	100,00		26.3		2 12	0 0	0 0	18	5.3	0.0	0.0	100,00	0.0	0.0	0.0	5,3	0.0	LĆ	rç	13	15.
土産工程・労務	8 100.0	8 100.0	0.0		0	00	0 0	7	1 12.5	0.0	25.0	5 62.5	12.5	0.0	0.0	1 12.5	0.	12.	0.	6 75.0	0.0
その他	100.0	100.0	0.0		0 0	0 0	0 0	0.0	1 50.0	1 50.0	0.0	1 50.0	0.0	1 50.0	0.0	0.0	0	Ö	o.	1 50.0	50.
無回答	3 100.0	3 100.0	0.0		0 0	0 0	0 0	e 0	0.0	0.0	0.0	3 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	33.	o o	0.0	.99
	合計 男性 無回答 加入していない 無回答 審理的業務 事務的業務 中レビス業務 年金の他 無回答	1	100.0 10	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(1) 100.0 68.0 22.5 7.5 7.5 100.0 68.0 10.2 5 7.5 7.5 100.0 68.3 20.0 11.3 100.0 68.3 20.0 11.3 100.0 68.3 20.0 11.3 100.0 68.3 20.0 11.3 100.0 68.3 20.0 11.3 100.0 68.3 20.0 11.3 100.0 68.5 20.2 7.8 2 100.0 10.0 68.5 20.2 7.8 2 10.0 10.0 68.3 2 10.0 10.0 10.0 68.3 2 10.0 10.0 10.0 68.3 2 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(1) 100.0 (6.3 2.5 7.5 7.5 0.9 5.6 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(1) 100.0 (6.5) (7.5) (7.5) (7.5) (7.5) (7.5) (8.5)	(1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(1) 100-10 (69-1) (22.5) 7.5 (0.9 5.6 88.7 (1.1 4) 7.7 (1.1 4)	(中) 100.0 (66.0 22.5 7.5 0.9 5.6 85.9 6.1 1.4 7.0 87. 87. 87. 87. 87. 87. 87. 87. 87. 87.	(中) 100.0 (66.7 a) 22.5 7.5 0.9 5.6 88.7 a) 6.1 1.4 7.0 87.8 a) 8.8 (1.00.0) (66.3 a) 1.0 1.2 2.5 0.9 a) 6.1 1.3 2.5 6.5 a) 88.8 a) 7.1 5.2 2.5 5.0 9.0 a) 7.2 2.5 c) 7.2 3.4 a) 7.2 2.5 a) 8.8 a) 100.0 (66.3 a) 1.3 2.5 a) 88.8 a) 2.5 a) 8.8 a) 100.0 (66.3 a) 1.3 a) 2.5 a) 100.0 a) 6.6 a) 2.1 1.5 a) 0.0 a) 0	100.0 66.0 66.5 7.5 7.5 6.5 88.9 6.1 1.4 7.0 87.8 3.3 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	## 100.0 66.0 62.5 7.6 0.9 5.6 6.1 1.4 7.0 87.8 3.9 1.9 1.9 1.0 6.0 6.8 1.8 1.8 1.8 1.8 1.8 1.8 1.8 1.8 1.8 1	100 66 66 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100.0 66.0 22.5 7.5 0.0 5.6 88.0 6.7 1.4 7.0 87.7 3.2 3.2 1.9 5.2 5.6 6.0 1.	1975 1976	14 100	1975 1975

	/	問15(4)-3③ 更新(問15(4)-3③ 更新の基準の見直し結果	重し結果	開15(4)-4(問15(4)-4① 業務内容の見直し結 果	の見直し結		問15(4)-4② 業務量の見直し結果	务量の見直	し結果	間15(4	問15(4)-4③ 仕事の責任の見直し結果	E事の責任の見 直	し結果
		懸しく なった	変わらな い	緩和された	無回答	変わった	変わらな い	無回答	増加した	変わらな い	減少した	無回%	軽くなった	変わらな い	重くなっ た	無回%
4	~	14	172	0								2	3	3 167	39	
	100.0	6.6			12.7	21. 1	77.0	1.9	29. 6	66.2	2.3	3 1.1	9 1.4	78.4	18.3	1.
無体	80	4	99	0	1.0	13	19	3	20	99		1	3 1	. 63	13	
_	100.0	5.0		0.0	12.5	16.3	80.0	3.8	25.0	70.0	1.3	3.	8 1.3	78.8	16.3	3.
世 44	127		101	0	16	31	96	1	42	80		-	1 2	2 98	26	
_	100.0	7		0.0	12.6	24. 4	74.8	0.8	33. 1	63.0	3.1	0.	8 1.6	5 77.2	20.5	0.
第三条	9	0				1		0		ıc			0		0	
	100.0	0.0	83.	0.0	16.7	16.7	83.3	0.0	16.7		0.0	0.0	0 0 0	100.0	0.0	0.
加入している	49	9	38		9	15	32	2	17				2	2 33	12	
_	100.0	10.2		0.0	12.2	30.6	65.3	4.1	34. 7	59.2	2.	0 4.	1 4.1	67.3	24.5	4.
事ートしていない	153							1				***	1		26	
_	100.0	5.2	82.4	0.0	12. 4	18.3	81.0	0.7	29. 4	67.3	2.	6 0.7	7 0.7	81.7	17.0	0.
第回效	11				2	2		1	-			0	1 (1	
ELEJW.	100.0	9. 1	72.	0.0	18.2	18.2	72.7	9.1	9. 1	81.8	0.	0 9. 1	1 0.0	81.8	9.1	9.
東門的, 技術的業務	29	7	47		8	12	45	2	16	38		3	2	0 48	6	
TITH TANKEN	100.0	6.8		0.0	13.6	20.3	76.3	3.4	27. 1	64.4	5.1	3. 4	4 0.0	81.4	15.3	3.
存在で物数	4	0	4	0	0	1	33	0	1	33	_		0	0 3	1	
B CEH J MOD	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0	75.0	0.	0.0	0 0 0	75.0	25.0	0.
東黎哈泰黎	83	7	67		6	21		0	25				0 2	2 64	17	
平0547年05	100.0	8.4		0.0	10.8	25.3	74.7	0.0	30.1	68.7	1.	.2 0.0	0 2.4	77.1	20.5	0.
松条羊出	13	1	10	0	2	2	11	0	9	L		1	0	0 11	2	
# MAJC#833	100.0	7.7		0.0	15.4	15.4	84.6	0.0	38, 5	53.8	7.	7 0.0	0 0.0	84.6	15.4	0.
格様ペート	18	2	12	0	4	60	14	1	4	13	_	0	1	. 12	4	
株 人 こ、米切	100.0	11.1		0.0	22. 2	16.7	77.8	5.6	22. 2	72.2	0.0	5.	6 5.6	66.7	22.2	5.
松森华西	4	0	3	0	1	0	4	0	0	4		,	0	, 4	0	
_	100.0	0.0	75.	0.0	25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0. (0 0 0	100.0	0.0	0.
対 用語・単位券数	19	0	18	0	1	60	16	0	6	10	_	,	0	0 15	4	
_	100.0	0.0	94	0.0	5, 3	15.8	84.2	0.0	47. 4	52.6	0.	0 0.0	0 0 0	78.9	21.1	0.
年年一部・余禄	8	0			0	1	7	0	2	9	_		0	7 0	1	
WW #1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	100.0	0.0	100.0	0.0	0,0	12.5	87.5	0.0	25. 0	75.0	0.	0.0	0.0	87.5	12.5	0
4の告	2	0			1	1	0		1	0		0	1	0 0	1	
9	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.	0 50.0	0.0	0.0	50.0	50.
第四外	9	0	23		1	1	23	0	0			,	0	0	0	
	100	9	22	<	000	0 00	000	0								

		間16(1) 無	問16(1) 無期転換ルールの認知度	トの認知度					問16(2) 無	無期転換ルールの利用希望	の利用希望	med.
	領	知っていた	知らな かった	無回称			金体	利用したい	条件に よっては 利用した い	利用した くない	わからな い	海 回 黎
-	547 100. 0	194	345	8 1.5		智	547	104	228	70	132	13
男性	195		124	2.6		男性	195	25	92.8	38	91.3	eri
性 女性	342 100.0		213	3	世別	女性	342		160			
無回%	10	20.00	88.0	0.0		無回答	100.0		40.0	20.0	20.0	0.0
加入している	118		86 72.9	0.0	彩	加入している	118		50	13		
高 加入していない	395		239	2.0	働組	加入していない	395		159			
無回答	34		20	0.0	√¤	無回答	34		19		9 26.5	0
専門的·技術的業務	153 100.0		90	1.3		専門的・技術的業務	153	20	42. 5	27	36	
管理的業務	13			7.7		管理的業務	13		15.4	7	30.8	
事務的業務	234					事務的業務	234		109		40	
販売業務	24			3 12.5	現	販売業務	24				7 29.2	1.2
白 の サービス継続 #	56 100.0				±0#	サービス業務	100.0	9 16.1		ος.	35.7	1
保安業務	16 100, 0			0.0	* 務 t	保安業務	100.0	2 12.5	25.0	3 18.8	43.8	ő
運輸・通信業務	32 100.0	21.	24	3.1	※ 2	運輸・通信業務	32	12.	15		9 28.1	6.
生産工程・労務	12 100.0		8 86.7	0.0		生産工程・労務	12 100.0		16.7	16.7	7 58.3	0.0
その街	3 100.0	0.0	3 100.0	0.0		その街	100.0	3 100.0	0.0	0.0	0.0	0
無回答	4 100. 0	0.0	100.0	0.0		無回答	4 100.0	1 25.0	25.0	0.0	50.0	0.0
						10歳代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
						20歳代	119	26 21.8	4	10	32 26.9	0.8
						30歳代	103			_	21 20.4	3.9
					年 總	40歳代	111		52 46.8	4.5	22 19.8	1.8
						50歳代	91	22 24.2	45 49. 5		114	1.1
						60歳以上	119	6.3 7	32 26.9	33	42	4.3
						Am (23) Age.	4	1	1	0	9	

L					間16(3)	無期票権力	ークを利用さ	する条件 (複	上段(黎同答)	:: 件数 下段	受:構成比	L			間16(4)	(無期転換)	レールを利用	上段 11.たくない	: 件数 下段 中段 (細由 (複数)	段:構成片 回線)
		种	最務内容が現在と変わらないにといいと	責任の程 度が現在 と変わら ないこと	転送がな いい と い し と い に と い に と い に し い に し と り に し の に の に の に の に の に の に の に の に の に	残業や休 田出勤が 増えたない にとない	御 中間な で で が に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	より な 機 発 が に た た た た た た た た た た た た た	田社社員 の転換さ あるにと	その他 ・	炒			种	現在の 勝先に 地間 動め がないか の	数の総にはなる。 おが大人の を と の の の が の の が り り り り り り り り り り り り り	数約社 の方が専 門性で評 値しても のえるか	数約 の の の が が の が が が が が が が が が が が が が	その を	無回秦
	#	228	102	44	23	54 53 7 23.2	3 164 2 71.9	39	103	1.8	0.0		和	70	43	8 11.4	7.1	7 10.0	16 22.9	1.
	男性	64 100. 0	36	17 26.6	25	16 16 .0 25.0		9 14.1	21 32.8	0.0	0.0		男性	38	27	7.9	4 10.5	7.9	13.2	0.0
世別	女性	160	40.6	27	23	38 37	7 118	30	81 50.6	2.5	0.0	世別	女性	30	15 50.0	16.7	3, 3	3 10.0	36.7	0.0
	無回%	4 100.0	25.0	0.0	0	0 0	0 100.0	0	25.0		0.0		無回答	100.0	1 50.0	0.0	0.0	1 50.0	0.0	50.
氷	加入している	50	16 32.0	7 14.0	18.	9 12 0 24.0	2 38 0 76.0	16.0	25	2.0	0.0		加入している	13	9	7.7	0.0	3 23.1	3 23.1	0.0
働 流	加入していない	159	77	33	25.	3 22.	6 112	29	68 42.8	3.9	0.0	亀架	加入していない	57 100.0	34	7 12.3	8,8	7.0	13	1.8
ďΠ	※回%	19	9 47.4	21.1	21.	1 26.3	5 14 3 73.7	10.5	10 52.6	0.0	0.0		無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専門的・技術的業務	65	28	12 18.5	18	12 18 .5 27.7	8 41 7 63.1	16 24.6	31	3.1	0.0		専門的・技術的業務	27	13	7.4	5 18.5	7.4	9 33.3	ć
	管理的業務	2 100.0	100.0	100.0	50.	1 1	1 2 0 100.0	50.0	0.0	0,0	0.0		管理的業務	100.0	83.3	1 16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	事務的業務	109	42 38. 5	16	18.	3 17.4	9 83	17.4	53	0.9	0.0		事務的業務	22	16 72.7	4.5	0.0	9.1	5 22.7	0.0
現在	販売業務	9 100.0	44.4	11.1	55.	5 22.2	2 66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	現在	販売業務	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	2 66.7	0.0
± 6 ₩	キーバン継続	21	14	23.8	38.	1 23.8	5 15 8 71.4	9.5	33.3	4.8	0.0	1 C #	サービス業務	100.0	3 60.0	40.0	0.0	3 60.0	0.0	0.0
茶茶品	保安業務	4 100.0	75.0	25.0	0.	0 50.0	2 1 0 25.0	0.0	1 25.0	0.0	0.0	茶茶巾	保安業務	3 100.0	0.001	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
※ 2	運輸・通信業務	15	7 46.7	7 46.7	40.	6 40.0	6 13	6.7	7 46.7	0.0	0.0	4 2	運輸・通信業務	100.0	2 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	生産工程・労務	2 100.0	100.0	0 0.0	100.	0 0	0 2 0	0.0	0.0	0,0	0.0		生産工程・労務	100.0	1 50.0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.	0.0	0 0 0	0.0	0.0	0 0	0.0		その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	100.0	0.0	0.0	0	0 0 0	0 100.0	0.0	100.0	0.0	0.0		無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10歳代	0.0	0.0	0.0	0.	0.0	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0.0		10歳代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歲代	50 100.0	16 32.0	6 12.0	18.	9 11 0 22.0	1 37 0 74.0	11 22.0	32 64.0	2.0	0.0		20歳代	100.0	7 70.07	0 '0	0.0	1 10.0	40.0	0.0
	30歳代	48	22 45.8	8 16.7	25	112 13	3 34	16.7	27 56.3	0.0	0.0		30歳代	12	8 86.7	16.7	0.0	8.3	3 25.0	0.0
年 能	40歳代	52 100.0	38.5	17.3	32.	17 11 7 21.2	1 35 2 67.3	19.2	27 51.9	0.0	0.0	年 總	40歳代	100.0	1 20.0	1 20.0	0.0	2 40.0	9 60.0	0.0
	50歳代	45 100.0	26 57.8	12 26.7	28	13 12 .9 26.7	2 33 7 73.3	7 15.6	13 28.9	2.2	0.0		50歳代	10 100.0	30.0	30.0	1 10. 0	2 20.0	20.0	0.0
	6 0 歳以上	32 100.0	18 56.3	9 28.1	6	3 6	6 24 8 75.0	9.4	9.4	6.3	0.0		90歳以上	33	24 72.7	6.1	4 12. 1	3.0	4 12.1	3.
	無回答	100.0	0.0	0.0	0.	0 0 0	0 100.0	0.0	100.0	0.0	0.0		無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

																				上段:	件数 下段	:: 構成比
			周17(1) 色多	他社で契約社員 働いた経験	員として		周17(2) 雇1	雇止め通告をは 経験の有無	された					H11	問17(3) 雇止め	雇止め通告をされた主な理由	た主な理由	(複数回答)				
		全体	\$ \$	ない	無回答	全体	\$\$	美いない	無回答	全体	業務量の意味を表現の意味を	の悪化の悪化	プロジェ アトの終 ゴ	能力不足	本 を を を を を を を を を を を を を	労働者の 健 健 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関	風楽を車 がなている が、最後に りを契約でき めらかで な更新して であった。	通事類契約 期間また 人 は更新回 数の上限 に達した	高囲との 3人間関係	その他 **	なし なし	無
	슈큐	547 100. 0	137	402	8 1.5	137	37	99	0.7	37	9 16.2	12 32.4	8.1	2.7	2.7	5.4	5.4	8 21.6	8.1	8 21.6	8.1	2.7
	男性	195	40	152	3.5	40	10	29	1 2.5	100.0	20.0	40.0	10.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0	30.0	20.0	10.0
世別	女性	342	94 27.5	244	1.2	94	27	67	0.0	27	14.8	29.6	7.4	3.7	0.0	0.0	3.7	29.6	7.4	18.5	3.7	0.0
	無回答	100.0	30.0	60.09	10.0	3 100.0	0.0	3 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
织	加入している	118	21 17.8	96	1 0.8	21 100.0	6 28.6	15	0.0	100.0	33.3	3 50.0	16.7	0 0	0.0	1 16.7	1 16.7	16.7	0.0	1 16.7	0.0	0.0
亀架	加入していない	395	105	283	7.	105	30	74	1.0	30	13.3	9 30.0	6.7	3, 3	3.3	3.3	3, 3	6 20.0	3 10.0	7 23.3	3 10.0	3.3
√ □	無回答	34	11 32.4	23 67.6	0.0	11 100.0	9, 1	10	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専門的·技術的業務	153 100.0	39	111	3 2.0	39	9 23.1	29	1 2.6	9	0.0	44.4	11.1	11.11	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	2 22.2	2 22. 2	0.0
	管理的業務	13	30.8	9	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事務的業務	234	55	175	1.7	55 100.0	34.5	36	0.0	19	3	3 15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	7 36.8	5.3	5 26.3	5.3	0.0
現	販売業務	24 100.0	3 12.5	21 87.5	0.0	3 100.0	0.0	3 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
# C #	サービス業務	56 100.0	16 28.6	40	0.0	16	25.0	12 75.0	0.0	100.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	1 25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
未務内	保安業務	16 100.0	25.0	12 75.0	0.0	100.0	1 25.0	3 75.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 100.0	0.0	0.0
参	運輸・通信業務	32 100.0	9 28.1	22 68.8	3.1	9 100.0	22. 2	777.8	0.0	100.0	50.0	1 50.0	50.0	0.0	0.0	1 50.0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	生産工程・労務	12 100.0	33.3	8 66.7	0.0	100.0	25.0	75.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	3 100.0	33, 3	2 66.7	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	4 100. 0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	2 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

合計	全体 37 100.0	問17(4) 雇 で できた	雇止めに対して納得 できたか できな 無回答	て納得			間1	開17(5) 雇止め	70	法 (複数回:	(参	
合計		4.	できな									
合計 	37 100.0		かった	極回	争	雇用めた 数回する よう要求 した	退職日を 延期する よう要求 した	何らかの 補償を要 求した	やむを得ず、通告 ず、通告 を受入れ た	公的機関 や労働組 合い相談 した	その色	無回答
等している		13	24 64.9	0.0	24 100.0	3 12.5	8.3	3 12.5	20	3 12.5	4 16.7	0.0
本 している していない	100	5 2	5 52	0	5	0	1	0	4	0	1	0
等しているしていない	27		.00. 1	0.0		. 41	,02 R	. 41	00.	. 4	15	
していない	0.0			0.0	o	0	Ö	0	0	0	0	0 0
していない	9 100.0	50.0	3 50.0	0.0	3 100.0	0.0	0.0	0 0	2 66.7	33.3	33.3	0.0
	30	33, 3	20	0.0	20	10.0	10.0	3	18	10.0	3 15.0	0.0
	100.0	0.0	100.0	0.0	1 100.0)(0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
門的·技術的業務	9	44.4	5 55.6	0.0	100.	1 20.0	40.	0 0 0	4 80.0		2 40.0	0.0
管理的業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0	0.0	0,0	0.0	0.0	0 0
事務的業務	100.0	2	78.	0	15	13.	0		08	13.	1	0.0
販売業務	0.0	0.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.	0 0 0	0 0	0.0	0.0	0.0
ビス業務	4 100. 0	3 75.0	1 25.0	0.0	1 100.0	0.0	0.	0 0 0	1 100.0	0.0	0.0	0.0
呆安業務	1 100. 0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0.0
・通信業務	2 100.0	50.0	50.0	0.0	1 100.0	0.0	.0	0 0 0	1 100.0	0.0	0.0	0.0
生産工程・労務	1 100. 0	0 '0	1 100.0	0.0	100.0	0.0	.0	100.0	100.0	0 0.0	0.0	0.0
その他	1 100.0	0.0	1 100.0	0.0	100.0	0.0	0.	1 100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
回答	0.0		0.0	0.0	0.0				0,0		0.0	0.0
	- 技術的業務 業務 務務 務務 (2) 7 2 業務 自 目 (2) 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	* 技術的業務	- 技術的業務 100.0 6 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	・技術的業務 100,0 44,4 E 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3	・技術的業務	技術的業務 100.9 44.4 55.6 0.0 10 10 10 10 10 10 1	* 技術的業務 100.0 44.4 55.5 0.0 100.0 2	(本務) (10.0	(本務) (本務) (本務) (100.0 44.4 55.6 0.0 100.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 20.0 40.0 4	(本務) (本務) (本務) (10.0	技術的業務 100_0 44_4 55_6 0.0 100_0 20.0 40.0 0.0	技術的機器 100,0 44,4 55,6 0,0 100,0 20,0 40,0 0,0

			中 (1)81間	問18(1) 中途解約通告をされた 経験の右軸	とされた					問18(2) 中途	中途解約通告をされた理由		(複数回答)					周18(3)	中途解約通	・大学・日本 中途解約通告時の対応方法	5万法	
		金体	16 10	ない。	無回答	4	業務量の 減少 の	経営状況の悪化ク	ロ いの が 発	能力不足	勤務態度 7年度 7月 1月 1月 1月 1月 1日	労働者の 周 傷病など 人 の健康不 良	囲との間関係	そ (本な)	特に説明 (新 一 本 二	何の補償 	解雇子告 会 を を を を を を を を を を と と と と と と と と と	休業手当 (平均賃金 の6割相当 額以上)の 支払いを 受けて退 ?	残ち回の金額を回の金額を受けている。それでは、それには、それには、それには、それには、それには、それには、それには、それに	その他	無回答
	一十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	137	13	123	0.7	13	30.8	9 46.2	15.4	7.7	0.0	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	30.8	30.8	7.7	7.7	15.4	7.7
	男性	100.0			0.0	3	33.3	33.3	33.3	33. 1	0.0	0 0	0 0	0.0	0.0	0.0	0 0	33.3	0 0	33.3	33.3	0.0
世別	女性	94	6	84	1.1	9 100.0	33, 3	55.6	11:11	0 0	0.0	1 11	11.11	11.11	0.0	0.0	60 60	83.	11.11	0.0	11.11	11.1
	無回答	3 100.0	33.		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.00	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
米	加入している	21 100.0	9.5	19	0.0	2 100.0	0 0	1 50.0	0.0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 50.0	0.0	0.0	1 50.0	0.0
龟盆	加入していない	105	11 10.5	93	1.0	11 100.0	36. 4	5 45.5	18.2	0.0	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	36.4	3 27.3	9.1	9.1	9.1	9.1
√□		11 100.0		_	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	專門的·技術的業務	39	10.3	35	0.0	4 100. 0	0.0	75.0	1 25.0	0.0	0.0	0.0	1 25.0	1 25.0	0.0	0.0	0.0	1 25.0	1 25.0	0.0	25.0	1 25.0
	管理的業務	4 100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事務的業務	55 100.0	3.6	52	1.8	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 50.0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
現十	販売業務	3 100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
# O #	サービス業務	16 100.0	4 25.0	12 75.0	0.0	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0.0	1 25.0	0.0	2 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	1 25.0	0.0	0.0	1 25.0	0.0
* 務 4	保安業務	4 100. 0	0.0	100.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 2	運輸・通信業務	9 100.0	11.11	88.9	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	生産工程・労務	4 100. 0	1 25.0	75.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	1 100.0	1 100.0	0.0	0,0	1 100.0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0,0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	第回%	2 100. 0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

			文 要 (1)61開	途中退職を申し ことの有無	し出た				周19(2)		途中退職を申し出た理由	理由(複数回答)	回%)		_		周19(3) 途	途中退職を申し出た結果	し田た結
		金本	ある	ない	無回答	金体	自分の都 合	提示され た労働条 件と実際 との相譲	会社の扱いに対する不満	v.穴め・ 棄がの中	イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ	育児・介護の必要 性	会社から の退職制 奨	その色	無回答	金体	退職でき なかった	退職できた	無 回 黎
	中	137	80	56	0.7	08 100, 0	43	18	19	11 13.8	2,5	4 5.0	3,8	15	0'0	80 100, 0	5	74	1.
	男性	100 0	21		0 0	21	13		19.0	0 0	0		1 4 8		0 0	21	1 4 8		4
性別	女性					57	2 08	1 19.	14 24.6		5 -	i io	i ed	15.		57	. 7		0.0
414	無回答	3 100.0	2 66.7	33.3	0.0	2 100.0	1 50.0	50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	2 100.0	0.0	2 100.0	0.
- ' '	加入している	21	11 52.4	10	0.0	11 100.0	5 45.5	36.4	5 45.5	1 9.1	1 9.1	1 9.1	0.0	36.4	0.0	11 100.0	1 9.1	9 81.8	6
働組力	加入していない	105	63	41	1.0	63	34	13	12	8 12. 7	0.0	3.2	3,4.8	9	0.0	63	4.6	59	0.0
_	無回答	11 100.0	6 54. 5	5 45.5	0.0	9 100.0	66.7	1 16.7	33.3		1 16.7	1 16.7	0.0	33.3	0.0	9 100.0	0.0	6 100.0	0.0
147	専門的・技術的業務	39	22 56.4	17 43.6	0.0	22 100.0	11 50.0	3 13.6	3 13.6	9.1	0.0	9.1	1 4.5	5 22.7	0.0	22 100.0	9.1	20	0.0
el _{em}	管理的業務	100.0	4 100.0	0.0	0.0	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0.0	0.0	0.0	0 0 0	0.0	0.0	0.0	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0.0
ML	事務的業務	55	32	22	1.8	32	19	8 25.0	8 25.0	5 15.6	3.1	0.0	0.0	4 12.5	0.0	32	3, 1	31	0.0
	販売業務	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0.0	3 100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	3 100.0	33.3	2 66.7	0.0
± 0 ₩	サービス業務	16	97.5	10 62.5	0.0	9 100.0	1 16.7	0.0	50.0	1 16.7	0.0	1 16.7	1 16.7	1 16. 7	0.0	6 100.0	0.0	5 83.3	16.
	保安業務	100.0	2 50.0	2 50.0	0.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0.0	0.0	0.0	0 0 0	0 0	1 50.0	0.0	2 100.0	0.0	2 100.0	0.
	運輸・通信業務	9 100.0	9 66.7	33.3	0.0	9 100.0	4 66.7	50.0	50.0	1 16.7	0.0	0 0 0	1 16.7	33.3	0.0	6 100.0	0.0	100.0	0.
41	生産工程・労務	100.0	3 75.0	1 25.0	0.0	3 100.0	2 66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0 0 0	0.0	33.3	0.0	3 100.0	0.0	3 100.0	0.
15"	その他	100.0	0 '0	1 100.0	0.0	0 '0	0 0 0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0 0 0	0.
⊕ (無回称	2	2	0	0	2	1 0	1	1	1 0	1 01	1	0	0	0	2	0	2	

L				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が 10 (V) 3 開催 /	キ) 圏ずかり	上段:	件数	下段:構成比
		金	転職の機 会を逃す など、職 業生活設 計に支障 が生じた	性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の保護痛た務めた 人に神をまをせ	ケ家任にこきっ	その他	特に困っ たことは なかった	無 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
	十	100 0	2 40 0	2 40 0	0 09	0 0	0 0	1 20 0	0 0
	男性			•				901	0 0
世別	女性		50.	50.	75.			0.	0.0
	無回%	0.0		0.0	0 0 0	0.0	0, 0	0.0	0.0
彩	加入している	1 100.0	0 0 0	0.0	1 100.0	0.0	0 0	0.0	0.0
亀箔	加入していない	4 100.0	50.0	2 50.0	2 50.0	0.0	0 0	1 25.0	0.0
√□	無回答	0.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0
	専門的・技術的業務	2 100.0	1 50.0	0.0	1 50.0	0.0	0 0	0.0	0 0 0
	管理的業務	100.0	0 0	0.0	0.0	0.0	0 0	1 100.0	0.0
	事務的業務	100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0.0	0 0	0.0	0.0
現	販売業務	100.0	0 0 0	1 100.0	1 100.0	0.0	0 0	0.0	0.0
# C #	サービス業務	0 0	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0
茶務内	保安業務	0 0	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0
〉	運輸・通信業務	0 0	0 0 0	0.0	0.0	0.0	0 0	0.0	0.0
	生産工程・労務	0 0.0	0 0.0	0.0	0 0.0	0 0	0 0	0.0	0.0
	その他	0 0.0	0.0	0.0	0 0.0	0 0	0 0	0.0	0.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

L							間20 会社	高童の~	(30また)								間21 沙	近い将来の希	5	上級:	: 件数 下段	: 構成比
		争	継続した 雇用の確 保	賃金制度 用 の改善・ アップ	職場環境 (安全・衛 生等)の改善	乗場での 施別・17 だのみ・ 業 がのやす 新	※ 川	福利厚生 制度の充 実	2000年	告情・関 盟等への の は は が な が	正社員へ 名 の転換	米の色	参	現在の会 社で契約 社員とし に働きた	他の会社 で契約社 員として 働きたい た	在でいない。	他の会社 で正社員 になった も	田の無となる。	な・起したい	わからな そい	そ (本)	無回答
	合計	547	256	337	45	50	15.7	11.0	75	46	185	26	16	111	16	141	78	45	19	95	24	18
	男性	195		122	16	10			19	16	47	16	8 -	57	4 4	37	20	14	6	31	16	7
世目	女体	342	171	211	27.	38	15.	15.4	36			10	7.		111	100	10.3		10	63		3,0
Tip.		100. 0	50.0	61.7	7.9	11.1	17.3	20.02	16.4	8. 2 20. 0	39.2	0.0	2. 0	30, 0	3.2	29.2	17. 0	9.1	0.0	18.4	0.0	2.9
米	加入している	118		78	12	13	30	15	20	11.0	39.0	0.0	0.0	21	1 0.8	31	23	8 8	5.1	22	3. 4	2.1
뼥組	加入していない	395		237	88. %	35	51	42	13.2	31		26	15		3.5	91	51	36	13	7.71	20	16
<□	無回%	34	19	22 64.7	0.0	5.9	14.7	 	80	5.9	19	0.0	2.9	9 17.6	2.9	19	11.8	2.9	0.0		0.0	0.0
	専門的・技術的業務	153	65	98	13	12	36	15	18 11.8	5.2	49	7.4.6	7.4.6	31 20.3	2.6	44 28.8	23	5.2	3.9	21 13.7	4.6	5.9
	管理的業務	13	38.5	46.2	7.7	0.0	2 15.4	23.1	7.7	0.0	7.7	7.7	15.4	15.4	7.7	7.7	0.0	15.4	0.0	15.4	38.5	0.0
	事務的業務	234		132	15	20	30	21 9.0	36	20	97	10	2.6	40	3.0	61 26.1	39	26	3.4	39	3.4	2.6
東	販売業務	24		18	1.4.2	16.7	1 4.2	3 12.5	20.8	1 4.2	16.7	3 12.5	0.0	16.7	0.0	25.0	4.2	8, 3, 2,	8.3	7 29.2	0.0	8.3
# O #	サービス業務	56	18	37	7 12.5	8 14.3	7 12. 5	16.1	17.9	9 16.1	12 21.4	3.6	0.0	12 21.4	3.6	15 26.8	9 10.7	3.6	1.8	15 26.8	5.4	0.0
未務内	保安業務	16 100.0	43.8	12 75.0	12.5	12.5	3 18.8	18.8	12.5	12. 5	12.5	6.3	0.0	31.3	0.0	6.3	6.3	3 18.8	0.0	25.0	6.3	6.3
쑞	運輸・通信業務	32	15	24	15.6	6.3	15.6	15.6	3.1	18.8	31.3	0.0	0.0	34. 4	0.0	18.8	18.8	6.3	3.1	18.8	0.0	0.0
	生産工程・労務	12	50.0	7 58.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	33.3	16.7	0.0	50.0	8.3	16.7	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
	その他	3 100.0	33, 3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2 66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	無回答	100.0	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

参考 今回調査に使用した調査票

平成27年9月

契約社員に関する実態調査 [事業所調査票]

ご協力のお願い

この調査は、都内の企業における契約社員の雇用管理などの実態を調査することにより、今後の東京都の労働施策に役立てようとするもので、4年に1度調査しているものです。結果は、統計的数値としてまとめますので、貴企業のお名前などが出ることは一切ありません。

お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

【調査のお問い合わせ】

東京都 産業労働局 労働相談情報センター 相談調査課 (担当)出川、澤田電 話 03(5211)2347

(ご記入にあたってのお願い)

- 1 ご記入は、貴企業または貴事業所としてのお立場から、人事担当の方にお願いいたします。
 - 現在、契約社員を雇用していない事業所も、ご記入の上ご返送ください。
- 3 この調査は、貴事業所のことに関してお答えください(本社の場合は、本社のみについてお答えください)。 答えください)。
- 1 雇用人数などのデータは、原則として平成27年10月1日現在のものでご記入ください。
- 5 ご記入内容はすべて統計的に処理いたしますので、個々の調査票の結果が公表されたり、貴事業所のお名前等が公表されることは一切ありません。またこの調査にご協力いただいたことにより、貴事業所が不利益となることや、これに基づき行政の指導が行われることも一切。
- ご記入は下記の要領で、直接この調査票にお願いします。

9

- あらかじめ選択肢として回答が用意されている場合には、該当する番号を○印で囲んでください。なお、質問によって○印は、1つだけ、2つまで、いくつでもといったことわり書きが付してありますのの、「回答にご注意ください。

ご記入後は、同封の返信用封備(切手不要)にて、<mark>[10月13日(火)</mark>までにご投函くださいますようお願い申し上げます。

問1 貴事業所についておたずねします。(**選択質問の〇印は1つだけ**)

事業所名											
 所在地											
 電話											
記入者役職氏名											
主要事業内容	1	建設業	邿木		2	製造業		က	情報追	情報通信業	
	4	運輸業	捓		10	卸売・小売業	、売業	9	金融・	金融・保険業	
	<u>-</u>	不動産業	紫		œ	8 飲食店、宿泊業	宿泊業	6	医療、福祉	福祉	
	10	教育、	经	10 教育、学習支援業		11 サービス業	※	12	12 その他〔	_ 및	$\overline{}$
全常用労働者数及び	1	1 29 人以下	以下		2	2 30~99 人	~	3	3 100~299 人	7 662	
過去3年間で採用した 4 300~499人	4	300	-499 A	,	50	5 500~999 人	子 66	9	6 1000 人以上	\UXE	
正社員数と契約社員数	1_	林田老数	**************************************		14	正补昌数		松	約計昌	数	
(貴社全体の規模でお	· 3	層末3	(過去3年間)				\ \ ,	.		<u> </u>	,
答えください)				,							
労働組合の有無	1	1 20				2 tol	۲,				

◎本調査における各「就業形態」については、おおむね次のような定義でお答えください。

正社員………フルタイムで仕事に従事し、特に雇用期間を定められていない者。なお、他企業

への出向者は除く。 有期パートタイー・・・一般的に正社員より一日の所定労働時間が短いが、一週の所定労働日数が少な

い者で、雇用期間の定めがある者。

無期パーパヤー…一般的に正社員より一日の所定労働時間が短いか、一週の所定労働日数が少な

い者で、雇用期間の定めがない者。

嘱託社員……定年退職者等で、一定期間再雇用する目的で契約し雇用されている者。 派遣労働者…「労働者派遣法」に基づき、派遣元事業所より派遣されている者。 製約社員……—日の所定労働時間及び一週の所定労働日数が正社員とほぼ同じで、期間の定 めのある製約に基づき直接雇用されている者。 問 5 貴事業所の館業形態別従業者数にしいておたずねします。それぞれの館業形態に該当する人数を男女別にお答えください。

机米沙斯 由社员	ETT	XMUTT A	7H 3M	144 AU	WATTE	MULE な 製 由	国 C C C E C C C C C C C C C C C C C
			1 -14/4-	N -14/3-			[]
男性		~	~	~	Υ,	~	~
女性	Υ	Y	~	Υ	Y	~	\vee
抽	Υ	~	Υ	~	Υ	Υ	~
			L				
	(十十十) *	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	+4		11.47		

有期雇用者(太枠内)に人数を記入した方 → 水ページへお進みください有期雇用者(太枠内)に人数を記入しなかった方 → 11ページの間22へお進みください

問 3 貴事業所で有期雇用労働者を活用するようになったのはいつごろですか。 あてはまる年次の職に〇日をつけてください。 (〇日は製業形骸それぞれにつきもし)

1990 年以前 9 9 9 9 1995年 ы 10 ю ю $1991 \sim$ 2000年 $^{-9661}$ 2005年 က 2001က က က 2010年 Ø c1 2006 2015年 $2011\sim$ 有期。小外~ 派遣労働者 嘱託社員 契約社員

間 4 有増雇用労働者を活用している理由についておたずねします。それぞれの就業形態について、活用している理由に**3つまで**〇印をご記入ください。

	契約社員	有期パート	嘱託社員	派遣労働者
専門的・技術的な業務に対応するため	1	1	1	1
景気に応じて雇用量を調節するため	23	2	2	21
人件費節減のため	60	3	3	3
長い営業時間に対応するため	4	4	4	4
仕事の繁開に対応するため	5	2	2	2
一時的な業務に対応するため	9	9	9	9
正社員の確保が困難なため	7	7	7	7
高齢者の再雇用のため	œ	8	8	8
正社員としての適性をみるため	6	6	6	6
その他[10	10	10	10

ここからは、契約社員を雇用されている事業所の方のみお答えください 契約社員を雇用していない事業所の方 → 11ページの間 22~お進みください 問5 貴事業所で働いている契約社員の各年代の男女別人数及び合計人数をご記入ください。

# *	男性	女性	盂
1 20代以下	Υ	Υ	Υ
2 30代	Υ	Υ	Υ
3 40代	Υ	Υ	Υ
4 50代	Υ	Υ	Υ
5 60代以上	Υ	Y	Υ

間 6 貴事業所で働いている契約社員の業務内容ごとの人数及び平均賃金額(税込・年収)をご記入ください。なお、契約期間が1年未満の場合は、年収換算でご記入ください。

(業務内容の定義については以下をご参照ください)

業務内容	人数	平均賃金 (年収換算)	(
1 専門的・技術的業務	Υ	納	万円
2 管理的業務	Υ	約	万円
3 事務的業務	~	邻	万円
4 販売業務	~	約	万円
5 サービス業務	Y	货	万円
6 保安業務	~	Q.	万円
7 運輸・通信業務	~	#5	万円
8 生産工程・労務	~	卷	万円
9 その他[]	~	岩	2000

(参考) 各業務内容の定義

- 1 専門的・技術的業務…高度の専門的水準において、技術的な仕事に従事する者及び医療・法律・芸術その他の専門的性質の仕事に従事する者。機械・電気技術者、プログラマー、ツステムエンジニア、保育士、アナイナー、教員、編集者など。
 - 2 管理的業務・・・課(課相当を含む)以上の組織の管理的仕事に従事する者。 部長、課長、工場長など。
- 3 事務的業務・・無務・文書・人事・会計・調査・企画、運輸・通信・生産期証・営業販売・外期に関する事務及び事務用機械の機作の仕事に従事する者。受付係、案内係、レジ係、速記者、集金人、メーター検針員など。
- ・販売業務…商品、不動産・証券などの売買、売買の仲立ち・販次・代型などの仕事、商品の売買・製造などに関する取引上の勧誘・交渉・受注の仕事に往事する者。販売従事者、保険外交員、メーバー店長、不動産中介人など。
- 5 サービス業務: 理容・美容・クリーはング・課題・液容・蒸業など個人に対するサーにス、配在施設・パッなどの管理サービス及びその街のサービスの仕事に徐等する者。ツアーコングクター、ウォイター、ウェイトフス・ボーム・フィー、アン管理へなど。
 - 6 保安業務・・・・
 社会・個人・財産の保護、法と秩序の維持などの仕事に従事する者。守衛、警備員、監視人、建設現場誘導員など。
- 7 編集・連信業務・・電車・自動車・系組・航空機等運転・操縦の仕事、通信機の操作及びその他の関連作業に従事する者。修道運転士、タクシー運転士、電話交換手、郵便・小包配達員、ラジオ・テレビ放送技術ョムン。
- 8 4産工程・労務・・機械・器具・手道具などを用いて原料・材料を加工する仕事、各種の機械器具を組立・ 調整・修理する仕事、製板・印刷・製本の作業、その他の製造・製作工程の仕事、建設の仕事、並びに商 店・会社・網読などの雑務、及び他に分類されない運機・清掃など労務的作業に従事する者。大工、左官、 ペン・菓子製造工、製本工、清掃作業員など。
- . **9 その他・・・**農業、林業、漁業作業他に従事する者。

- 3

問7 契約社員を雇い入れるときに、労働条件をどのように明示していますか。 あてはまるもの

3		
0		
6		
,		
`		
6		
-J		
í		
Ú		
9		
3	~ °	
	2	
Ħ	だ	
e) K	灿	
1	ì	
É	すべてをご回答ください	
17	Ϋ	
7	<u>የ</u>	ĺ
_	Jos.	L

П	労働条件通知書	2	雇用契約書
3	就業規則の明示または交付	4	ロ頭による
70	特に明示していない		

問8 契約社員の労働契約期間についておうかがいします。

(8-1) 労働契約期間はどのように定めていますか。(1つだけ)

1 全員一律に定めている	-	1 3 か月未満
→ 契約期間を右の中から1つ選んでください。	2	3~6 か月未満
2 職種ごとに一律	က	3 6~12 か月未満
→ 一番多い職種の契約期間を右の中から10選んで	4	4 1年
ください。	ю	1年超~3年以下
3 契約社員ごとに違う	9	3年を超える
→ 一番多い契約期間を右の中から10選んでください。		

(8-2) 更新回数や通算勤続年数に上限を設定していますか。あてはまるものすべてをご回答くだ

	\ د			
	く8-8 1 1			
	Î	$\overline{}$		
ſ		井		
上限	上願			
ている	定している		~6	
見を設定し	二上限を設		←	
更新回数に上限を設定している	通算勤続年数に上限を設定している		3 設定していない → 間9~	
П	23		က	,

(8-3)「上限を設定している」と回答された方におたずねします。上限はどのように定めていま すか。(いくつでも)

2 雇用契約書で定めている	4 定めはないが慣行となっている	
労働条件通知書で定めている	就業規則で定めている	その街「
\vdash	က	ю

問9 労働契約を締結する際に、契約の更新に関して書面で明示をしていますか。(それぞれ1つ だけ)

	2 明示していない	2 明示していない
	ないたり半り	1 明示している
:	(1)更新の有無について	(2)更新の基準について (更新がある場合)

問10 契約社員の契約の更新はどのように行っていますか。(1**つだけ**)

Т	労使のどちらかから終了の申し出がない限り、ほぼ自動的に更新する
21	一定の更新の基準に基づき判断する
3	個々の労働者ごとに更新するかどうか判断する
4	更新はしない → 関12~
1	111 (

問 11 契約更新の判断要素について、該当する項目3つまで○印をご記入ください。

_
16
4
IJ
凾
意思に。
6
\prec
₩

- 会社の経営状況による

3 期間満了時の業務量による

- 4 プロジェクトなど従事している業務の進捗状況による
 - 5 労働者の勤務成績・勤務態度による
- 6 上限年齢に達したかどうかで判断する
- 7 更新の上限回数に達したかどうかで判断する 8 更新の上限年数に達したかどうかで判断する
- その街「

算契約期間が5年を超える場合に、労働者から申込みがあれば、無期労働契約に転換することと 間12 労働契約法が改正され、平成25年4月1日以降に開始または更新した有期労働契約の通

の転機を申し込む権利が発生するまでの通算契約期間を最長10年まで延長されます。また、「継続雇用の高齢 者」については、都道府県労働局長の認定を受けた事業主の下で、定年後引き続いて雇用される期間は、無期 *「高度専門職」については、都道府県労働局長の認定を受けた事業主に雇用される場合に、無期労働契約へ *大学等の研究者や教員等については、無期労働契約への転換を申し込む権利が発生するまでの期間が10年 なりました (以下、「無期転換ルール」といいます。)。 転換申込権が発生しません。 【無期転換ルールの特例】 となります。

(12-2)貴事業所で雇用している契約社員について、今後どのように無期転換ルールに対応してい 2 知らなかった く予定ですか、あてはまるものをご回答ください。(いくつをも) (12-1)この法改圧を知っていましたか。 1 知っていた

/	ノング しょう じょそうもじゃ 一旦中ノーひょっ (・・・) しも	
Ľ	1 今後は有期労働契約での雇い入れは行わず、全て無期労働契約により	
	雇用する	1~3 ₺
64	2 今後も有期労働契約で雇用し、通算5年を超える契約社員から申し込み → 選択した方は	→ 選択した方は
	があれば無期契約に転換する	関 12-3 ~
0.0	3 今後も有期労働契約で雇用し、通算5年を超える前に無期契約に転換	
	400	\neg
7.	4 更新回数や勤続年数に上限を設置し、通算勤続年数が5年以内となるようにする	うにする
-	R ケーニング書目※な事み、通知書目がニナン	

- 5 クーリング期間※を置き、通算期間をリセットする
- 6 現在検討中
- 7 その街[

※有期労働契約と次の有期労働契約の間に厚生労働省令で定める空白期間があれば、それ以前の有期労働契約が通算されない。

- 4 -

(12-3)無期労働契約により雇用または無期労働契約に転換する場合、どのような契約にしますか。

あてはまるものをご回答ください。 (いくつでも)

- 1 既存の正社員区分に転換する
- 2 職種や勤務地を限定するなど、新たな無期労働契約区分に転換する 3 有期労働契約時と同一の労働条件で、契約期間のみ無期契約とする
- 4 現在検討中

その他〔

問13 契約社員の労働条件についておたずねします。複数のケースがある場合、最も多いものに

ついてお答えください。 (選択質問のO印は各項目1つだけ)

(1)就業規則	1	契約社員用の就業規則を適用する	則を適用する	
	2	正社員の就業規則を準用している	:準用している	
	3	就業規則はない	4 かの他 [# [
(2)週所定労働時間			開報	分 (1週あたり)
(3)残業時間	П	ない		
	2	ある → 月平均	昌+	
(4)賞与	1	全員に支給	L	
	2	一部に支給	平均支給額 年間	万田
	3	支給なし		
(5)退職金制度	1	40	2 trl	
(6)雇用保険	1	全員加入	2 一部加入	3 加入させていない
(7)健康保険	1	全員加入	2 一部加入	3 加入させていない
(8)厚生年金保険	1	全員加入	2 一部加入	3 加入させていない
(9)定期健康診断	1	全員実施	2 一部実施	3 実施していない
(10)福利厚生制度	1	全員対象	2 一部対象	3 対象外

問14 正社員と比べた契約社員の仕事と賃金についておたずねします。(各項目1つだけ)

	K	· 114 () + 1 . ()	0 (6) 52 () 52 (\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
(1) 仕事の内容	1	1 簡易	2 同じ	3 困難
	4	どちらともいえない		
(2) 仕事の量	1	少ない	2 同じ	3 多い
	4	4 どちらともいえない		
(3) 仕事の責任	1	極い	2 同じ	3 重い
	4	4 どちらともいえない		
(4) 残業 (時間外労働)	1	少ない	2 同じ	3 多い
	4	4 どちらともいえない		
(2) 賃金 (時間単価)	1	. 低い	2 同じ	3 高い
	4	4 どちらともいえない		

問15 労働契約法が改正され、有期労働契約者と無期労働契約者(正社員等)との間で、期間の 定めがあることにより不合理に労働条件を相違させることが禁止されました。この法改正への対 応についておうかがいします。

【参考】期間の定めがあることによる不合理な労働条件の相違の禁止について

1 対象となる労働条件は、賃金や労働時間だけでなく、災害補償や服務規律、教育訓練、福利厚生など、 労働者に対する一切の待遇が含まれます。

2 労働条件の相違が不合理と認められるかどうかは、職務の内容(業務の内容および当該業務に伴う 責任の程度)、配置の変更の範囲、その他の事情を考慮して、個々の労働条件ごとに判断されます。 (15-1) 現在、貴事業所において、契約社員と正社員の労働条件に相違はありますか【A】。 た、相違がある労働条件について、今後見直しを行う予定はありますか【B】。

	[A]				[B]	
	労働条件の相違	· ・の相違			見直しの予定	
	相違	相違		見直しを	見直しは	1
	なし	40		行う	行わない	X W
① 賃金	1	2		1	2	3
② 賞与	1	2	-	1	2	3
 退職金 	1	2		1	2	3
④ 通勤手当	1	2	/ 回答した項目	1	2	3
⑤ 有給休暇	1	2	について、	1	2	3
⑥ 特別休暇(慶弔等)	1	2	見直しの予定	1	2	3
⑦ 食堂、更衣室、休 憩室等の利用	1	2	を 右の中から 1つ選んで	1	73	3
⑧ 福利厚生(⑥・⑦ を除く)	1	23	くだない	1	67	3
⑨ 教育訓練	1	2		1	2	3
⑩ 安全管理	1	2		1	2	3

(15-2) 「見直しを行う」と回答された方におたずねします。見直しを行う理由は何ですか。(い

1 業務内容が同じだから くつでも)

- 2 業務に伴う責任の程度が同じだから
- 3 勤務時間や勤務日数が同じだから
 - 4 配置の変更の範囲が同じだから
- 5 職務内容等の違いて比べて、労働条件の相違が大きいから

6 かの他

問16 契約社員の育児休業・介護休業の適用についておたずねします。

(16-1) 過去3年間(平成24年10月1日以降)、育児・介護休業をそれぞれ取得した契約社員 はいますか。(1つだけ)

育児休業取得者	1 115	2 いない→間17~	3 わからない→関17~
介護休業取得者	1 いる	2 いない→間17~	3 わからない→間17~

(16-2)「いる」と回答された方におたずねします。育児休業及び介護休業後の契約社員の現在の 就業状況について、それぞれに該当する人数をご記入ください。

	1復帰し	在職中	2 復帰後	後退職	3 復帰セ	上ず退職	4休業日	п	
児休業後		~		~		<u> </u>			~
護休業後		\prec		Y		\prec			\prec

問17 契約社員から正社員への転換についておたずねします。

(17-1) 契約社員から正社員への転換制度がありますか。

1 転換制度がある	2 転換制度はない
(17-2) 過去3年間に実験	(17-2) 過去 3 年間に実際に転換した実績がありますか。
1 85	2 ない → 間17-4~

①過去3年間に正社員に転換した契約社員数		Y
②契約社員として採用してから正社員に転換するま 1 1年未満	1	1年未満
での期間(転換者の平均でお答えください。)	2	1年以上3年未満
	3	3年以上5年未満
	4	5年以上
The state of the s		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

3 勤続年数 (17-4) 転換の基準として重視するのはどのようなものですか。(2つまで) 2 キャリア・資格 1 勤務評価

問18 契約社員の研修 (教育訓練) 制度についておたずねします。

5 選考試験

4 年齢

(18-1) 研修等をいつ実施していますか。(いくつでも)

6 かの街

(18-2) 「採用時に実施」「契約途中に実施」と回答された方におたずねします。研修はどこで 3 実施していない→間19~ 2 契約途中に実施 実施していますか。(いくつをも) 1 採用時に実施

1 社内のOff-JT	2 社内のOJT	3 外部の研修に参加	
4 その他[

【参考】 Off-JT と OJT の定義

OJL (On the Job Training) … 職場において、上司・先輩等が、職員に対して、仕事に必要な治職・ノウへり等を意識的・継続的に指導・伝授する人材育成のための多様な既組 … 職場外の研修機関で集合的に学ぶ職場外研修 Off-JT (Off the Job Training)

(18−3) 研修の内容についておたずねします。実施しているものに○印をつけてください。

	 知識
ハくつでも)	担当業務に関する専門的技術・
=	

2 パソコン・OA 機器操作 3 一般消職・マナー 4 担当業務以外の仕事の幅を広げるための知識・技術

5 マネジメントに関する知識

6 その他[

問19 契約社員の雇止めについておたずねします。

更新が可能な有期労働契約を締結している場合に、使用者が有期労働契約を更新しないことをいいます。た だし、あらかじめ労働者が契約の更新を希望しない旨を申し出ていた場合を除きます。 [参考] 「屈止め (やといどめ)」とは

(19-1) 過去3年間に、契約社員の雇止めを行ったことがありますか。

なお、契約期間の途中で雇用契約を解約する場合を含みません。

1 ある	2 次 → 間20~	2 ない → 間20~ 3 わからない → 間20~
\Rightarrow		
(19-2)「ある」と回答された方に	おたずねします。「雇止	(19-2) 「ある」と回答された方におたずねします。「雇止めを行ったことがある」場合の予告等
についてお答えください。		
(1) 1 年を超えて継続雇用し契約を 1 予告している	1 予告している	2 予告していない

更新しない人または 3 回以上契約 | 3 1 年を超えた継続雇用及び 3 回以上の契約更新のいずれ

も該当がないため予告していない

更新し契約を更新しない人への

(19-3) 「雇止め」の理由についてお答えください。(いくつでも)

1 説明している

(2) 更新しない理由の説明

30 日前の予告

説明していない

4 労働者の能力不足 2 経営状況の悪化 3 プロジェクトの終了 1 業務量の減少

7 契約更新を重ねていたが、最後の契約ではあらかじめ更新しない契約であった 6 労働者の傷病などの健康不良 5 労働者の勤務態度不良

8 通算契約期間または更新回数の上限に達した

10 その他[9 周囲との人間関係 (19-4)「雇止め」に伴うトラブルがありましたか。

→ 園20 3 わからない 2 なかった → 間20~ もった

- 6 -

(19-5) 「あった」と回答された方におたずねします。そのトラブルの原因はどのようなものでし

たか。(いくつでも)

1 雇止めの理由について納得してもらえなかった

2 雇止めの人選について納得してもらえなかった

3 契約期間の定めについて労使の認識が異なっていた

4 契約の更新の可能性について労使の認識が異なっていた

5 更新の基準について労使の認識が異なっていた

7 雇止めの予告をしなかった、あるいは予告が遅かった 6 更新後の労働条件について折り合いがつかなかった

8 かの街[

問20 契約期間途中の契約解除(中途解約)についておたずねします。

(20-1) 過去3年間に、中途解約を行ったことがありますか。

3 わからない → 間21~ 2 ない → 間21~ 1 25 (20-2)「ある」と回答された方におたずねします。中途解約を行ったことがある場合、その理由 についてお答えください。(いくつでも)

4 残期間の休業手当(平均賃金の6割以上)の支払い (20-3) 中途解約を行ったことがある場合、どのような対応をなさいましたか。(**いくつでも**) 6 労働者の傷病などの健康不良 労働者の能力不足 2 経営状況の悪化 2 解雇予告手当の支払い 8 その他[3 残期間の賃金の全額補償 5 労働者の勤務態度不良 3 プロジェクトの終了 1 特に何もしなかった 7 周囲との人間関係 1 業務量の減少 5 その他[

問21 契約社員からの退職の申し出についておたずねします。

(21-1) 過去3年間に、契約社員から契約途中での退職の申し出を受けたことがありますか。

(21-2)「ある」と回答された方におたずねします。申し出を受けた際、どのように対応されまし 3 わからない → 間22~ →間22~ 2 thu たか。(いくつでも) 1 83

3 認めなかったが、労働者が退職を強行した 4 認めず、期間満了まで働いてもらった 2 退職日等を協議したうえで、認めた 1 申し出どおりに認めた

6 その他[

5 損害賠償を請求した

ここからは、有期雇用の有無に関らず、全ての事業所の方がお答えください。

問 22 有期雇用労働者を活用するメリットとしてどのようなことが考えられますか。契約社員、 有期パートなどの契約形態ごとに、主要なもの2つまで0日をつけてください。

	契約社員	有期。小	嘱託社員	派遣労働者
自社従業員数の抑制	1	1	1	1
仕事量の変化への即応	2	2	2	2
一時的久員の補充	33	3	3	33
自社で養成できない労働者の確保	4	4	4	4
社内の活性化	20	2	22	20
賃金・福利厚生費の減少	9	9	9	9
高年齢者雇用継続制度への対応	7	7	7	7
その街[œ	8	œ	œ
わからない	6	6	6	6

問 23 有期雇用労働者を活用するデメリットとしてどのようなことが考えられますか。契約社員、

有期ペートなどの契約形態ごとに、主要なもの2つまで0日をつけてください。	要なもの2つまて	・〇甲をしげる	Cください。	
	契約社員	有期パー	嘱託社員	派遣労働者
人事管理の繁雑さ	1	1	1	1
労働者の質のバラツキ	23	2	23	2
継続的人材確保の困難	3	3	က	3
情報漏えいリスク等の増加	4	4	4	4
コストの増大	20	2	5	2
労働者の責任感の不足	9	9	9	9
労使間のトラブルの増加	7	7	7	7
技術伝承・ノウハウ蓄積の困難さ	œ	8	œ	8
その他〔	6	6	6	6
わからない	10	10	10	10

問24 貴事業所における今後の従業員の雇用計画についておたずねします。それぞれの契約形態 について、該当する番号に10ず00円をつけてください。

	正社員	契約社員	有期パー	無期。小	嘱託職員	派遣労働者	その他[]
増やす	1	1	1	1	1	1	1
現狀維持	2	2	2	2	2	23	2
減らす	3	3	3	3	3	3	3
わからない	4	4	4	4	4	4	4

- 11 -

問 25 有期雇用金般について、ご意見がありましたらご記入ください(欄が足りない場合は、お手数ですが別の用紙にご記入し、ご提出ください)。

THE V. C. VIETLAND CONTRACT BLANCE BL

10月に予定している「契約社員個人に対する調査」へのご協力のお願い

この調査では、あわせて個々の契約社員の方を対象としたアンケートを予定しています。契約社員のカ々の労働意識などについてお聞きするものです。

つきましては、貴事業所で現在雇用されている契約社員の方 (5 名程度) へのアンケート配布について別途ご協力をお願いさせていただくことがあります。その節は、ぜひご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

協力してもよい

2 協力できない

最後に契約社員に関する実態調査の結果報告書(概要版)の送付(無料)について、下記のいずれかにご回答ください。

1 希望する

2 希望しない

これで調査はすべて終了です。 お忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。

ご記入内容をご確認のうえ、同封の返信用封備(切手不要)にて[10 月 13 日(火)]までにご 校函くださいますようお臘い申し上げます。 東京都労働相談情報センターでは、労働問題に関する労使双方からのご相談をお受けしております。各種労働関連資料の提供も行っておりますので、どうぞご利用ください。

【労働拍駁信報センターボームページ】

http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/soudan-c/center/



リサイクル副体(A) この公開発は、印刷用の兼く リサイクルでは来す。

- 13 -

平成27年10月

契約社員に関する実態調査[契約社員調査票]

2 のお願 R 雄

この調査は、都内の企業における契約社員の雇用管理などの実態を調査することにより、今後 の東京都の労働施策に役立てようとするものです。結果は、統計的数値としてまとめますので、 企業や個人のお名前などが出ることは一切ありません。

お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう重ね なお、本調査における契約社員とは、有期雇用契約でフルタイム勤務の労働者と定義します。 Cお願い申し上げます。

【調査のお問い合わせ】

東京都 産業労働局 労働相談情報センター 相談調査課 (担当)出川、澤田 03 (5211) 2347 電話

くご記入にあたってのお願い>

- 1 ご回答は、契約社員個人としてのお立場からお願いいたします。
- 2 ご記入は、平成27年11月1日現在のものでお願いいたします。
- 3 ご記入内容はすべて統計的に処理いたしますので、個々の調査票の結果が公表されることは 一切ありません。また、ご回答の内容があなたの上司や同僚などに知られる心配はありませ
- 4 ご記入は次の要領で直接この調査票にお願いします。
- ① あらかじめ選択肢として回答が用意されている場合には、該当する番号を○印で囲んで ください。なお、これらの質問には、1つだけ、2つまで、いくつでも、といったこと わり書きが付してある質問もありますので、ご回答にご注意ください。
 - には、数字を記入してください。正確な数字がわからない場合には、お およその数字で結構ですので必ずご記入ください。 沿欄の
- 〕内にできるだけ具体的にご記入く 「その他」に〇印をおつけになった場合は、〔 だない。

ご記入後は、東京都で用意した返信用封筒(切手不要)にて、||1 月 13 日(金)|までに直接 ご投函くださいますようお願い申し上げます。

問1 あなたご自身のことについておたずねします。

(1) 性別	П	男性			2 女性	414		
(2) 年齡	1	10 歳代	2 20 歳代	菱代	3 30 1	30 歳代	4 40 歳代	競代
	ю	50 歳代	9 60 ∯	60 歳以上				
(3) 家計中心者	1	あなた自身	2 配偶者	担	3 子供	#	4 親	
	ю	兄弟姉妹	6 & th	あなた自身と家族の双方	き族の双	升		
(4) 最終学歴	1	李	2	高校		3	専門学校	
	4	高専・短大	ro	十		9	大学院	
	-	その他〔		7				
(5) 勤務先の主要	1	建設業	2	製造業		3	情報通信業	無
事業内容	4	運輸業	20	卸売・小売業	売業	9	金融・保険業	策業
	7	不動産業	∞	飲食店、宿泊業	宿泊業	6	医療、福祉	냶
	10	10 教育、学習支援業		11 サービス業	継	-	12 その他[, ,
(6) 労働組合	1	1 加入している	2	2 加入していない	112/1			

問2 契約社員になる前に他の勤務形態で働いた経験がありますか。

1 25		2 ない → 問4~	置	4~
回名「多多」と問	神	(ある)と回答された方におたずねします。契約社員になる前の勤務経験にしいてお答え	ž.	いる前の勤務経験についてお答え
ください。				
(1) 通算勤務年数	-	1年未満	2	2 1年以上3年未満
	က	3年以上5年末満	4	5年以上10年末満
	ю	10 年以上 20 年未満	9	20年以上
(2) 契約社員にな	-	正社員	2	パート・アルバイト
る直前の勤務形態	က	派遣社員	4	その街 []
(3) 直前の勤務先	-	自分の病気・健康	2	家族等の看護・介護
をやめた理由	က	結婚・出産による家事・育児専念	4	職場での結婚・出産退職慣行
(2つまで)	ю	定年制のため	9	人員整理・解雇・雇用期間満了
	!~	賃金への不満	∞	労働時間・残業・休暇への不満
	6	仕事の将来性への不安	10	10 職場の人間関係
	11	11 専門性を生かすため		
	12	12 その他 [

問4 あなたが契約社員の仕事を選んだ理由は何ですか。(2つまで)

⁸ 今の会社で正社員になりたいから 7 正社員として働ける適当な企業がなかったから

⁹ その他

問5 現雇用先での労働契約についておたずねします。

(5-1)現在の契約期間並びに現雇用先での継続動務期間はどれくらいですか。 契約期間 |

1		THE PROPERTY OF THE PROPERTY O	
	4年	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	カ月
-2)	(5-2)契約更新回数や通算動続年数に上限が設定されていますか。 あてはまるものすべて をご回	こされていますか。 あてはまるも	回すべてをご回
$\tilde{\gamma}$	答くだない。		
-	更新回数に上限が設定されている	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	
01	通算勤続年数に上限が設定されている	上限	
		世	

間6 現在の契約での業務内容は何ですか。(1つだけ)

3 上限は設定されていない

,		,				
Ι.	専門的・技術的業務	2	管理的業務	3	事務的業務	
	販売業務	10	サービス業務	9	保安業務	
	運輸・通信業務	œ	生産工程・労務	6	から街 []	

	1 専門的・技術的業務・・・高度の専門的水準において、技術的な仕事に従事する者及び医療・法律・芸術その他
【参考】各業務内容の定義	技術的業務・・・高度の専門的水準に対
参札	車門的

「夢考」や来的PYやの圧縮 **1 専門的・技術的業務・・**高度の専門的水準において、技術的な仕事に従事する者及び医療・法律・芸術その他 の専門的社質の仕事に従事する者。機裁・電気技術者、プログラマー、システムエンジコア、保育士、デザ イナー、教員、編集者など。

2 管理的業務・・課 (課相当を合む)以上の組織の管理的仕事に従事する者。前長、課長、工場長など。 8 事務的業務・・庶務・文書・人事・会計・調査・企画、運輸・通信・生産関連・営業販売・外動に関する事務及び事務用機器の操作の仕事に従事する者。受付係、案内係、レジ係、速記者、集金人、メーター検針員など。

・原元業務・・商品、不動産・証券などの売覧、売買の仲立ち・取次・代理などの仕事、商品の売買・製造など に関する取引上の勧誘・交渉・受注の仕事に従事する者。販売従事者、保険外交員、スーパー店長、不動産 仲介人など。 ・サービス業務・・理容・美容・クリーニング・調理・接客・娯楽など個人に対するサービス、居住施設・ビル などの管理サービス及びその他のサービスの仕事に従事する者。ツアーコンダクター、ウェイター、ウェイ などの管理サービス及びその他のサービスの仕事に従事する者。ツアーコンダクター、ウェイター、ウェイ

トレス、ホームへンレペー、ビル管理人など。 **保安業務・・**社会・個人・財産の保護、法と秩序の維持などの仕事に従事する者。守衛、警備員、監視人、建設現場務準員など。 (2) 連載・通信業務・・電車・自動車・船舶・航空機等運転・機能の仕事、通信機の機作及びその他の関連作業に 信事する者。鉄道運転士、タクシー運転士、電話交換手、郵便・小包配達員、ラジオ・テレビ放送技術員など。 ど。
仕継工器・労務・・機長・器具・手道具などを用いて原料・材料を加工する仕事、各種の機械器具を組立・調

整・修理する仕事、製版・印刷・製本の作業、その他の製造・製作工程の仕事、建設の仕事、並びに商店・会社・網院などの維務、及び他に分類されない運搬・清掃など労務的作業に従事する者。大工、左官、パン・

菓子製造工、製本工、滑掃作業員など。 **9 その他・・**農業、林業、漁業作業他に従事する者。

問7 あなたの労働条件についておたずねします。(選択質問の〇印は1つだけ)

(1)週の所定労働時間					
		剽	皇皇	\$	
(2)交通費の支給	1	全額支給	2	一部支給	
	3	支給されない	4	その衙「	
(3)賃金形態	1	時給	2 日給	3	月給
	4	年俸	5 歩合制	9	その街[]
(4)10月に支払われた					
賃金額		矣	万田	(税込、	通勤手当除く)
(5)賞与・一時金	1	ある ↓ 今夏支給額	三	5	
	21	ない	名		万円 (税込)
(6) あなたの年収見込額					
		9		万円 (税込)	(\overline{1})
(7)退職金制度	Т	\$5	2 ない		3 わからない
(8)定期健康診断	1	\$5	2 ない		3 わからない
(9)福利厚生制度	1	29	2 tsv		3 わからない
(10)雇用保険への加入	1	加入している	2 加入し	加入していない	3 わからない
(11)健康保険~の加入	1	会社の健康保険に加入している	こ加入している		
	2	配偶者等の健康保険(被扶養者)に加入している	R険 (被扶養者)	に加入して	511
	3	自分で国民健康保険に加入している	R険に加入してv	3	
	4	加入していない			
	20	わからない			
(12)公的年金への加入	1	厚生年金に加入している	2112		
	2	国民年金に加入している	ている		
	3	加入していない			
	4	わからない			
(13)就業規則	1	契約社員用の就業規則が適用される	线規則が適用さ ∤	27	
	01	正社員の就業規則が準用される	が準用される		
	3	就業規則はない			
	4	わからない			

問8 労働条件の通知の状況 [A] 及びその実態 [B] についておたずねします。(OPIは各項目

につき [A] [B] 1つずつ)

なお、文書による通知と口頭による通知を共に受けた場合は、「文書にて」に〇をつけてください。

なる、大書による通知とロ項による通知を共に区けた物では、「大書にて」に○密かけてください。	の運加を	米に対	7に場合	J. 大	「フリー	(√%)	いくいい	٥,١٥	
	[A	】 労働	条件等の	【A】労働条件等の通知の状況	k況]	[B] 実態	実態との差異	m±1'
	契約締結時に通知された	政務結構に 通知された	契約締通知さ	契約締結後に通知された	現在も明確でな	同じだった	少し違っている	まったく違って	わからない
	文帯	回道	本 /	口頭	45		Ą	しいた	
	ار د	١	ار د	ار د د					
	1	81	3	4	2	1	73	ಣ	4
就業場所及び従事する業務	1	2	3	4	5	1	2	3	4
就業時間、休憩時間	1	2	3	4	5	1	2	3	4
(4) 休日労働、時間外労働	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	1	2	3	4	5	1	2	3	4
(6) 退職に関する事項	1	2	3	4	5	1	2	3	4
中途解約の場合の措置	1	2	3	4	5	1	2	3	4
契約更新の有無	1	2	3	4	5	1	2	3	4
契約更新の基準(※)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
(10) 正社員への転換の有無	1	2	3	4	5	1	2	3	4
正社員への転換の基準(※)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
安全衛生	1	2	3	4	5	1	2	3	4
(13) 福利厚生制度	1	2	3	4	5	1	2	3	4
									l

※ (9)は契約更新がある場合、(11)は正社員への転換がある場合にお答えください。

間9 9月の残業 (時間外労働) についておたずねします。

(9-1) 残業はありましたか。

問10 正社員と比べて、あなたの仕事や賃金はどうだと思いますか。(各項目1つだけ)

(1)	(1) 仕事の内容	の内容	1	簡易	2 同じ	3	3 困難
			4	比較できる正社員がいない	っない	ю	5 わからない
3	(2) 仕事の量	の量		少ない	2 国じ	3	多い
			4	4 比較できる正社員がいない	いない	10	5 わからない
(3)	(3) 仕事の責任	の責任		軽い	2 国じ	3	重い
			4	比較できる正社員がいない	<i>ነላ</i> ታ/	70	5 わからない
4	残業	(4) 残業 (時間外労働)		1 少ない	2 国じ	3	3 多い
			4	比較できる正社員がいない	17211	ю	5 わからない
3	賃金	(2) 賃金 (時間単価)		低い	2 国じ	3	高い
			4	4 比較できる正社員がいない	<i>ነላ</i> ታ/	70	5 わからない

問 11 労働契約法が改正され、有期労働契約者と無期労働契約者との間で、期間の定めがあることにより不合理に労働条件を相違させることが禁止されました。

A HORRA	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1
期間の定めが	- 【参布】期間の足のかめることによる不白曲な光層米件の石庫の採止について
対象となる労働	1 対象となる労働条件は、賃金や労働時間だけでなく、災害補償や服務規律、教育訓練、福利厚生など、
沿価ポアヤナス	労権者に対する一世の徒組が会せさます
O. C. EVINI DE MINI CO	2011 ALL WAR ON 7 0
多種外子の出当さ	の・予備各件を由事式を入出しおみてきるようでも、事務を占分が、事務を占分れて記事表別を行うなる。
と選米下で石油が	・「これのほうシンクラン・ハンシュ・、長なシアンや(米なシアンから)」 突米をこ下 ノ
TE Catalate at	日子美国《美国·罗马·马马·马马·罗马·马马·马马·马马·马马·马马·马马·马马·马马·马马·
貝仕の程及/、配	其甘之角英)、昭貞の後史の禹田、たの旬の尹寅かん過して、恒々の万憲米午(とに世所られまり。

(11-1)この法改正を知っていましたか。

1 知っていた	2 知らなかった	った	
(11-2)無期労働契約者(正社員等)と比べて、あなたの労働条件はどうだと思いますか。(各項	と比べて、あなたの労働	条件はどうだと思い	ますか。 (各項
目1つだけ)			
	相違がある	相違があるが 相違があり	い計組

		相違があるが	りあがあり	職場に
	相違けない	不合理	不合理	制度がない・
		ではない	である	わからない
①賃金	1	21	8	4
②賞与	1	21	8	4
③ 追職金	1	23	3	4
④通勤手当	1	23	3	4
⑤有給休暇	1	21	8	4
⑥特別休暇 (慶弔等)	1	21	3	4
⑦食堂、更衣室、休憩室の利用	1	2	8	4
(8) (4) (8) (4) (8) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	1	2	8	4
⑨教育訓練	1	2	8	4
⑩安全管理	1	2	8	4
			\Rightarrow	
			開 11ー3~	

- rö-

(11-3)「相違があり不合理である」と回答された方におたずねします。不合理と感じる最も大き な理由は何ですか。(10だけ)

業務内容か同したから
 業務に伴う責任の程度が同じだから
 勤務時間、勤務日数が同じだから
 配置の変更の範囲が同じだから
 職務の内容等の違いて比べて、労働条件の相違が大きすぎるから
 かの街

問12 正社員への転換制度についておたずねします。

(12-1) 現在の職場には、正社員への転換制度はありますか。

(12-2) 正社員への転換を希望しますか。 1 希望する →問18~ 2 希望しない 3 どちらともいえない →問18~	1 80	757.	3 わからない
→ 間18~ 2 希望しない 3	(12-2) 正社員への転換を	:希望しますか。	
	1 希望する →間13~	2	

7	1 年刊から - Jist T9.~ 「7 年刊しない	444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444444	- COD はしていていない。 - 1は119:1
		\Rightarrow	
(15	(12-3) 希望しない理由は何ですか。(いくつでも)	きずか。 (いくこ	2でも)
1	希望の職種、業務につけないから		2 人事異動や転勤があるから
3	責任が重くなるから	4	労働時間(残業、休日出勤等)が長くなるから
ю	辞めづらくなりそうだから	9	仕事と私生活の両立が困難になるから
7	体力・体調面で心配だから	80	職場の人間関係が面倒だから
6	少の街 「		

問13 研修(教育訓練)についておたずねします。

(13-1) 現在の職場において研修はいつ実施されましたか。(いくつでも) 1 参加時におい

一次実施		力におたず	71.44	サービュー
			5	1
OJT 3	外部の研修に	2参加 4	・その他	[]
_	OJT 3	OJT 3 外部の研修に	OJT 3 外部の研修に参加 4	されましたか。(いくつでも) 社内の Off5/T 2 社内の OJT 3 外部の研修に参加 4 その他

(13-3) どいた業務上のスキラを身にしばましたが、(いくつをも)

導・伝授する人材育成のための多様な取組

職場において、上司・先輩等が、職員に対して、仕事に必要な知識・ノウハウ等を、意識的・継続的に指

職場外の研修機関で集合的に学ぶ職場外研修

OJT (On the Job Training)

1	社内の研修	2	学校·専門学校等
က	公共職業訓練	4	独学 (通信教育含む)
ю	以前の勤務先	9	その街[

(13-4) 今後どのような内容の研修を希望しますか。(1つだけ)

4 担当業務以外の仕事の幅を広げるための知識・技術 1 担当業務に関する専門的技術・知識 5 マネジメントに関する知識 2 パソコン・OA機器操作 3 一般常識・マナー 6 その他[7 特にない 問14 育児・介護休業制度についておたずねします。あなたは現在の職場で、これまでに育児休 業もしくは介護休業を利用したことがありますか。(10ずつ)

介護休業

育児休業

	80	_	_	
	対象者ではあるが利用したことはない	2	2	
	対象者となったことがない	33	3	
L	【参考】育児・介護休業の対象となる有期雇用労働者の範囲			
	休業の申出時点において、以下のすべての要件を満たす有期雇用労働者は、育児・介護休業の対象となりま	別雇用労働者は、	育児・介護休業	の対象となりま
	す。なお、労働契約の形式上、期間を定めて雇用されている者であっても、その契約が実質的に期間の定めの	行であっても、そ	の契約が実質的	に期間の定めの
	ない契約と異ならない状態となっている場合には、下記の条件に該当するか否かに関らず、育児・介護休業の	‡に該当するかぞ	5かに関らず、育	児・介護休業の

③ 子が1歳に達する日から1年を経過する日までの間に、労働契約期間が満了し、かつ、労働契約の ② 介護休業開始予定日から起算して 93 日を経過する日 (93 日経過日) を超えて引き続き雇用される ③ 93日経過日から1年を経過する日までの間に、労働契約期間が満了し、かつ、労働契約の更新が ② 子が1歳に達する日を超えて、引き続き雇用されることが見込まれること ① 同一の事業主に継続して雇用された期間が1年以上であること ① 同一の事業主に継続して雇用された期間が1年以上であること 更新がないことが明らかでないこと ないことが明らかでないこと ことが見込まれること 対象となります。 (育児休業)

問15 契約の更新に関しておたずねします。 (15-1) 現在の契約は更新されていますか。

(15-2)「更新されている」と回答された方におたずねします。更新は何回目ですか。 2 更新されていない → 間16~ 更新されている 更新回数

(15-3) 更新の際、労働条件の見直しが行われたことがありますか。

→ 間16~ 2 ない 1 82

- 7

- 9 -

(15-4)「ある」と回答された方におたずねします。下記の各項目について、更新時の見直し結果をお答えください。なお、更新時の見直しが複数回あった場合は、直近の見直し結果についてお答えください。(各項目1つだけ)

(1) 賃金	1	1 増加した	2	2 変わらない	က	3 減少した
(2) 労働時間	1	1 短くなった	2	2 変わらない	3	3 長くなった
(3) 契約 ①契約期間	1	長くなった	2	2 変わらない	က	3 短くなった
②契約期間の	-	新たに通算契約	約期	間または更新回	数	新たに通算契約期間または更新回数に上限が設定された
上限の設定	2	以前から設定。	なれ	以前から設定されていた上限が延長された	戦	れた
(更新回数の	3	以前から設定。	なれ	以前から設定されていた上限が短縮された	和郷	れた
上限を含む)	4	以前から設定。	なれ	以前から設定されていた上限は変わらない	35	ない
	ю	以前から設定。	なれ	以前から設定されていた上限がなくなった	× 2	いった
	9	以前の契約も	回	の更新でも上限	弘部	以前の契約も今回の更新でも上限は設定されていない
③更新の基準	-	厳しくなった	61	厳しくなった 2 変わらない 3 緩和された	က	緩和された
(4)仕事の内容 ①業務内容	1	変わった	2	2 変わらない		
②業務量	-	増加した	Ø	変わらない	ಣ	減少した
3責任	-	1 軽くなった	Ø	2 変わらない	က	重くなった
(5) その他)					1

問16 労働契約法が改正され、平成25年4月1日以降に開始または更新した有期労働契約の通算契約期間が5年を超える場合に、労働者から申込みがあれば、無期労働契約に転換することとなりました(以下、「無期転機ルール」といいます。)。

(集期労働契約の労働条件] 無期労働契約に転換後の労働条件 (職務、勤務地、賃金、労働時間等) は、直前の有期労働契約と同一と 集期労働契約に転換後の労働条件 (職務、勤務地、賃金、労働時間等) は、直前の有期労働契約と同一と なりますが、労働協約、撤業規則、個々の労働契約で別段の定めをすることにより変更が可能です。

(16-1) この法改正を知っていましたか。

 1 知ったいた 	2 知らなかった
16-2) あなたは、今後、無	(16-2) あなたは、今後、無期転換ルールを利用したいと思いますか。(1つだけ)
1 利用したい	→ 間17~
2 条件によっては利用したい	→ 関16-3 ~
3 利用したくない	→ 関16-4 ~
4 わからない	→ 間17 ~

(16-3) 「条件によっては利用したい」と回答された方におたずねします。どのような条件であれば利用したいと思いますか、(いくつでも)

_	職務内容が現在と変わらないこと	2	責任の程度が現在と変わらないこと
က	転勤がないこと	4	残業や休日出勤が増えないこと
10	賃金、賞与等の待遇がよくなること	9	より高度な職務に就けること
<u>_</u>	正社員への転換であること	œ	その街「

(16-4)「利用したくない」と回答された方におたずねします。利用したくない理由は何ですか。

(いくつでも)

1 現在の勤務先に長期間勤めるつもりがないから2 契約社員の方が契約更新時に労働条件の交渉をしやすいから3 契約社員の方が専門性で評価してもらえるから4 契約社員の方が職場の人間関係がわずらわしくないから5 その他[

間17 雇止めの経験についておたずねします。

[参考] 「雇止め」とは

更新が可能な有期労働契約を締結している場合に、使用者(企業)が有期労働契約を更新しないことをいい

ます。ただし、あらかじめ労働者が契約の更新を希望しない旨を申し出ていた場合を除きます。

なお、契約期間の途中で雇用契約を解約する場合を含みません。

(17-1) 過去にも他の会社で契約社員として働いたことがありますか。

1 ある 2 ない → **間20~**(17-2) 「ある」と回答された方におたずねします。雇止めを通告されたことはありますか。

1 ある 2 ない → **間18~**

(17—3)「ある」と回答された方におたずねします。雇止めの主な理由は何と説明されましたか。 **(いくつでも)**

 1 業務量の減少
 2 経営状況の悪化
 3 プロジェクトの終了

 4 能力不足
 5 勤務態度不良
 6 労働者の傷病などの健康不良

 7 更新を重ねていたが、最後の契約であらかじめ更新しない契約であった

 8 通算契約期間または更新回数の上限に達した

 9 周囲との人間関係
 10 その他[

 11 特に説明なし
 10 その他(

 (17-4) 雇止めに対して納得しましたか。

(17-5)「できなかった」と回答された方におたずねします。どのように対応しましたか (いくつでも)

2 できなかった

1 できた → 間18~

 1 雇止めを撤回するよう要求した
 2 退職日を延期するよう要求した

 3 何らかの補償を要求した
 4 やむを得ず、通告を受入れた

 5 公的機関や労働組合に相談した
 6 その他[

- 6 -

問18 契約期間中の中途解約についておたずねします。

[18-1] 会社から中途解約を通告されたことがありますか。

(18-2)「ある」と回答された方におたずねします。中途解約を通告された際、主な理由は何と説 2 ☆小 → 周19~ 1 25

6 労働者の傷病などの健康不良 2 経営状況の悪化 8 かの街[能力不足 明されましたか。(いくつでも) 3 プロジェクトの終了 7 周囲との人間関係 5 勤務態度不良 1 業務量の減少 9 特に説明なし

(18-3) 中途解約を通告された際の対応をお答えください。(1つだけ)

3 休業手当 (平均賃金の6割相当額以上)の支払いを受けて退社 なお、複数回ある場合は、直近の対応についてお答えください。 4 残期間の賃金の全額補償を受けて退社 2 解雇予告手当相当額を受けて退社 1 何の補償も受けず退社

(19-1) 自分から途中退職を会社に申し出たことがありますか。

問19 契約期間中の途中退職についておたずねします。

(19-2)「ある」と回答された方におたずねします。途中退職を申し出た理由は何ですか。(いく 2 ない → 間20~ 1 25

2 提示された労働条件と実際との相違 4 いじめ・嫌がらせ 自分の都合 つでも)

こついてお答えください。

(19-3) 途中退職を申し出た結果、退職できましたか。なお、複数回ある場合は、直近の申し出

6 育児・介護の必要性

5 セクシュアル・ハラスメント

会社からの退職勧奨

3 会社の扱いに対する不満

8 その他[

2 退職できた → 間20~ 1 退職できなかった (19-4)「退職できなかった」と回答された方におたずねします。退職することができず、困った ことがありましたか。それはどのようなことですか。(いくつでも)

- 1 転職の機会を逃すなど、職業生活設計に支障が生じた
- 2 仕事の量・内容が過重で、肉体的・精神的に疲れ果てたまま勤務を継続させられた
 - 3 職場の人間関係に強い精神的苦痛を感じたまま勤務を継続させられた
 - 4 育児・介護など家族的責任を十分に果たすことができなくなった
- 6 特に困ったことはなかった

問 20 会社 (現雇用先) へ要望したいことはどんなことですか。(3つまで)

Н	継続した雇用の確保	01	2 賃金制度の改善・アップ
က	職場環境(安全・衛生等)の改善	4	職場での差別・いじめ・嫌がらせ対策
10	時間外労働の削減・適正管理	9	福利厚生制度の充実
<u>r</u>	教育訓練の充実	œ	8 苦情・要望等への迅速な対応
6	正社員への転換	10	10 かの名 [

問21 近い将来についてのあなたの希望をお聞かせください。(1**つだけ**)

- 2 他の会社で契約社員として働きたい 4 他の会社で正社員になりたい 1 現在の会社で契約社員として働きたい 3 現在の会社で正社員になりたい
- 5 現在の会社で無期転換ルールを利用して働きたい
- 7 わからない 8 その他[6 独立・起業したい

問 22 契約社員という働き方に関してあなたの感じていることを自由にご配入ください。



ご記入内容をご確認のうえ、同封の返信用封筒(切手不要)にて[11月13日(金)|までにご お忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。 3函くださいますようお願い申し上げます。 これで調査はすべて終了です。

東京都労働相談情報センターでは、労働問題に関する労使双方からのご相談をお受けしており ます。各種労働関連資料の提供も行っておりますので、どうぞご利用ください。

【光動拍駁信載センタードームページ】

http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/soudan-c/center/



- 11

リサイクル道性(角)

- 10 -

平成28年3月印刷平成28年3月発行

平成 27 年度 登録第 49 号

契約社員に関する実態調査

編集・発行 東京都労働相談情報センター

所 在 地 東京都千代田区飯田橋 3-10-3

電話 (03)5211-2200 (代)

印 刷 所 株式会社 三響社

東京都千代田区神田小川町 3-2

電話 (03)3293-0841



この印刷物は、印刷用の紙へ リサイクルできます。



東京の「働く」を応援します。 はたらく TOKYO